

がん研究会有明病院



年 報

2024 年



目 次

はじめに

1. 理念・基本方針	1
2. 2024 年の動き	3
3. 組織図	4
4. 職員数	7
5. 診療科と責任者	8
6. 学会認定・指定・施設基準等	12
7. 統計資料	18
外来・入院実績	19
疾患別入院患者数	20
地区別外来患者数（総数）	23
◆全国	23
◆東京都	24
病理検査	25
病理検査・細胞診検査件数	25
CT 検査件数・MRI 検査件数・核医学検査件数	26
内視鏡検査数・超音波検査数	27
手術件数	28
院内がん登録集計	29
①部位別・男女別件数	29
②診断時居住地別件数（東京都医療圏別内訳）	30
③主要 5 部位治療別件数	31
④治療別件数	32
⑤ステージ別件数	33
⑥部位別・年齢別件数	34
⑦症例区分別件数	35
8. 一般公開講座	36
9. 学会・研究発表業績	37
10. 雑誌・単行本発表業績	167
11. 獲得研究費一覧	273
12. 学術研究講演	277
13. 財政状況	278

はじめに

2024 年のがん研有明病院年報をお届けします（2017 年分から電子媒体のみで作成しています）。外科手術に関してはコロナ禍からの回復がまだ不十分で、総手術件数 8 千件台半ば（コロナ禍前の 95%）で足踏み状態ですが、手術室では 4 台の da Vinci がフル稼働し、従来の体腔鏡手術と合わせて低侵襲手術の割合が着実に増加しました。平均入院日数は毎年短くなっています。化学療法は入院での投与から外来投与へのシフトが顕著です。先進がん治療開発センター（CDACT）が支える早期臨床治験数も増加しました。2024 年の明るいニュースの一つは、コロナ禍で中止していた「がん患者さんが歌う第九チャリティーコンサート」を再開できたことです。多くのがん患者さんやご家族の参加を得て、がん研究会のビジョンを共有していただくことができました。私たちは、「がん克服をもって人類の福祉に貢献する」というミッション遂行のために、より良い診療とより多くの治療選択肢を患者さんに提供する努力を続けます。

2025 年 11 月

公益財団法人がん研究会 有明病院
病院長 佐野 武

1. 理念・基本方針

未来を担う理想のがん専門病院となるために、病院の理念・基本方針として次の**使命(Mission)**、共有する**価値観(Core Values)**、**将来展望(Vision)**を定めました。

これに基づき、私たちは最高の医療を提供するとともに、下記の「患者さんの権利」を尊重した、やさしく心の通った医療を実践してまいります。

◆基本理念

「がん研究会はがん克服をもって人類の福祉に貢献する」

この基本理念達成のために、がん研究会は 研究所、病院およびがん化学療法センター等を擁し

1. がんの本態と個性を明らかにし、がんの診断・治療・予防に貢献すると共に、生命科学の先端を開拓する。
2. 優れたがんの診断・治療を実践し、がんを治す。
3. がんの新薬と新しい診断・治療法を開発する。
4. がんの予防研究と一次・二次予防の実践により、がんの発生と死亡を抑える。
5. がんの研究・診療・予防の、国内および国際交流を促進する。

◆使命・価値観・将来展望

使 命	Mission	「がん克服をもって人類の福祉に貢献する」
価 値 観	Core Values	「創造・革新・高質・親切・協調」
将来展望	Vision	「がんの診療・研究において世界に誇るがん研となる」

◆基本方針

1. 新しいがん医療の創造に努めます
2. 安全かつ質の高いがん医療を提供します
3. 患者さん中心の親切ながん医療を行います
4. 臓器別診療に基づくチーム医療を実践します
5. 人間性豊かな医療人の育成に努めます

◆患者さんの権利

1. 常に人格が尊重され、尊厳が守られる権利があります。（個人の尊厳）
2. 高質で安全な医療を等しく受けることができます。（基本的人権）
3. 十分な説明と情報提供を受けることができます。（十分な説明と情報提供）
4. 自己の意思に基づいて診療を受けることができます。（治療の自己決定）
5. 自己の受けた診療内容を知ることができます。（情報公開）
6. 個人情報及び医療情報は十分に保護され秘密が守られます。（個人情報保護）
7. 診断および治療内容について他の医師の意見を求めることができます。（選択の自由）

例えば…

※診療を受けることも、拒否することもできます。

※一方、自己決定したことに対して責務が存在することもご理解ください。

※診療内容、診療記録等について知りたいときは説明・開示をお求めください。

なお、新しい治療法開発のために必要な臨床試験をお願いすることがありますのでご理解下さい。

◆こどもの権利

こどもたちは、

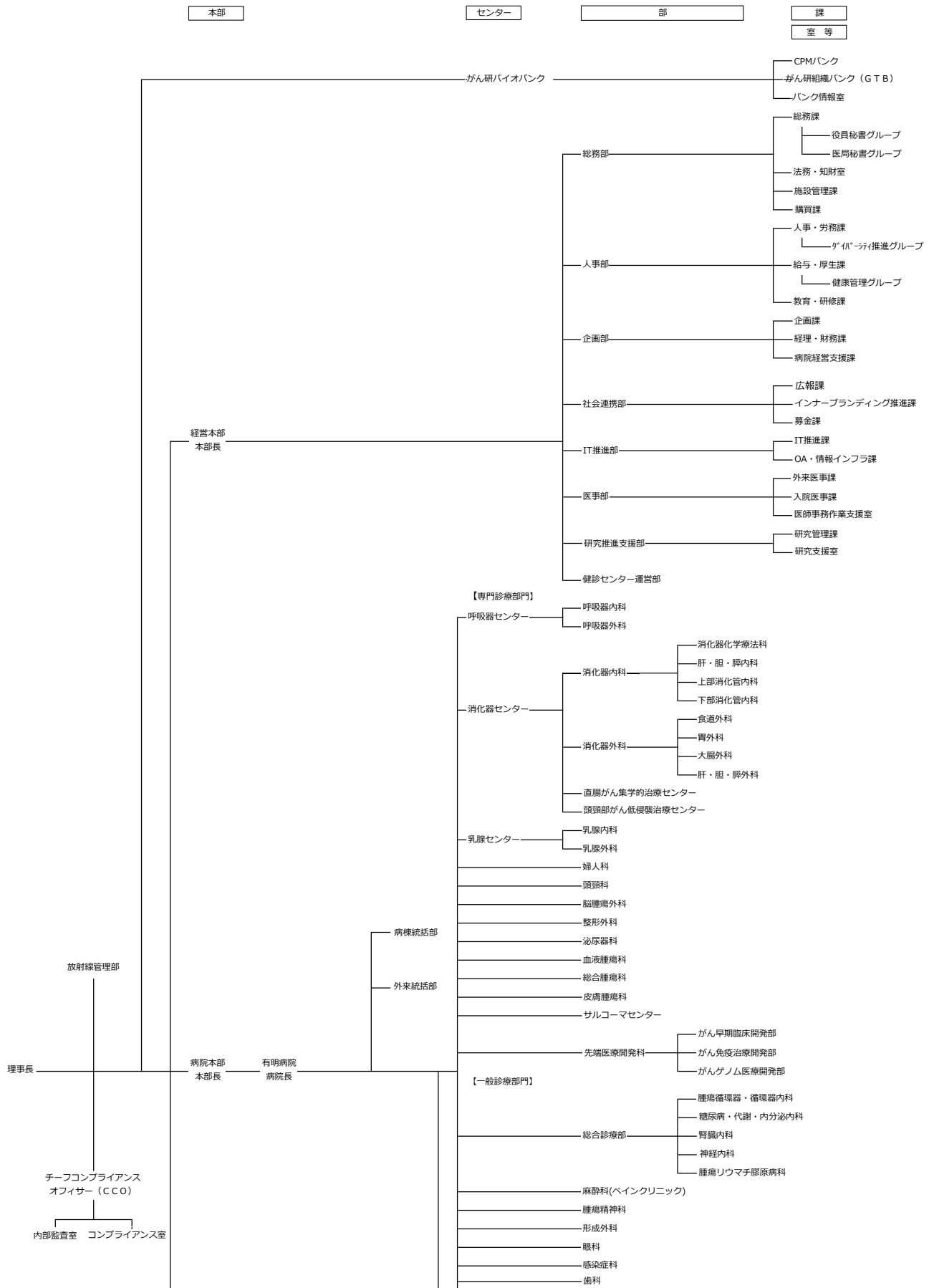
1. ひとりの人間として尊重され、いつでも安心して安全な治療を受けることができます。
2. 病気のことや病気を治していく方法について、それぞれの年齢や理解度にあわせて、十分な説明を受けることができます。
3. 病気を治していく方法について、自分で決めることができます。自分で決めることができないときは、代わりに家族の人に決めてもらうことができます。一度決めたことでも、いつでも変えることができます。
4. 病気のことや病気を治していく方法について、分からないことや不安なことがあるときは、いつでも分かりやすく教えてもらうことができます。
5. 病気のことや話したくないことを、ほかの人に知られたくないときは秘密にすることができます。
6. 年齢や症状にあわせて、あそび、レクリエーションに参加し、教育を受けることができます。
7. 病気や治療の研究に対して、それぞれの年齢や理解度にあわせて十分な説明を受けたうえで、協力するかどうかを自分で決めることができます。自分で決めることができないときは、代わりに家族の人に決めてもらうことができます。途中でやめたくなれば、いつでもやめることができます。

2. 2024 年の動き

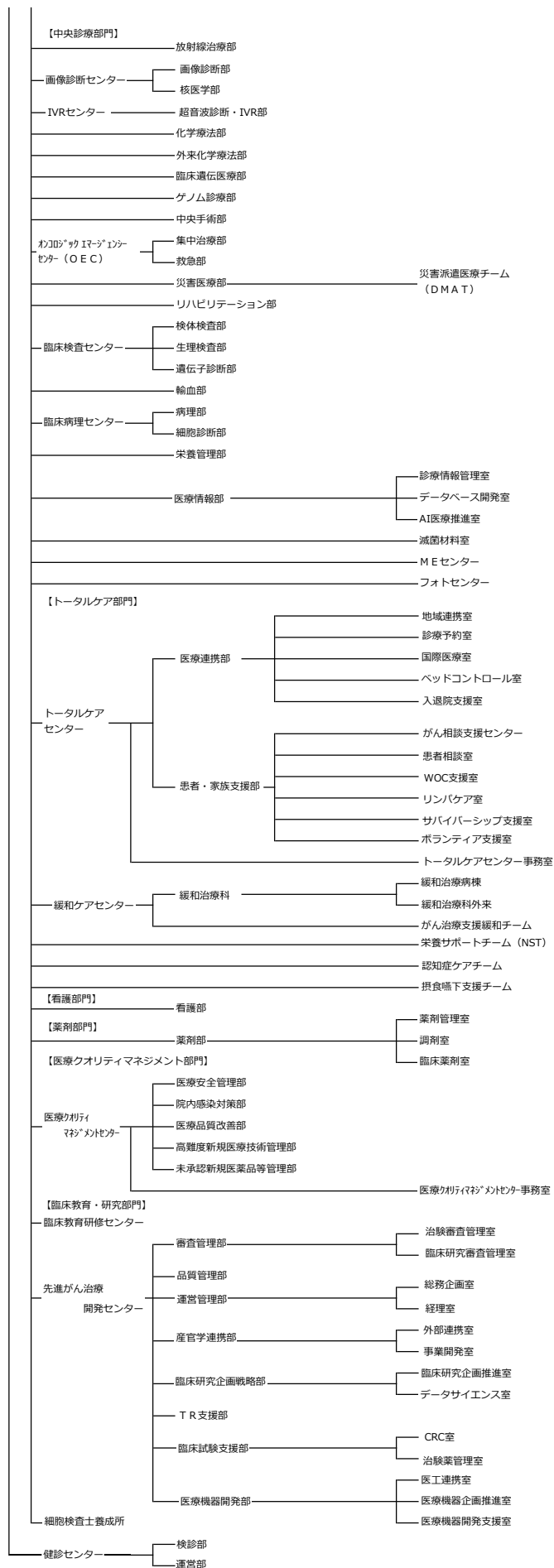
- 1 月 4 日 がん研究会永年勤続者等表彰式が挙行される。
25 年勤続表彰者 8 名、10 年勤続表彰者 98 名、特別賞 1 名、
チーム表彰 4 チーム、優良賞 6 名
- 3 月 7 日 Best English Paper of the Year の授賞式が挙行される。
ゴールド賞 1 名、シルバー賞 3 名、ブロンズ賞 3 名
- 3 月 11 日 がん研究会が、『健康経営優良法人 2024（大規模法人部門）』に認定される。
- 3 月 25 日 細胞検査士養成所の令和 6 年度入所式（総勢 12 名）が挙行される。
- 6 月 12 日 第 27 回定時評議員会・第 134 回理事会が開催される。
- 6 月 30 日 「がん患者さんが歌う 第九 チャリティーコンサート 2024」
5 年ぶりに第九合唱団を結成し、東京オペラシティコンサートホールで開催。
- 10 月 30 日 細胞検査士養成所の令和 6 年度退所式（総勢 11 名）が挙行される。
- 12 月 13 日 第 139 回理事会が開催される。

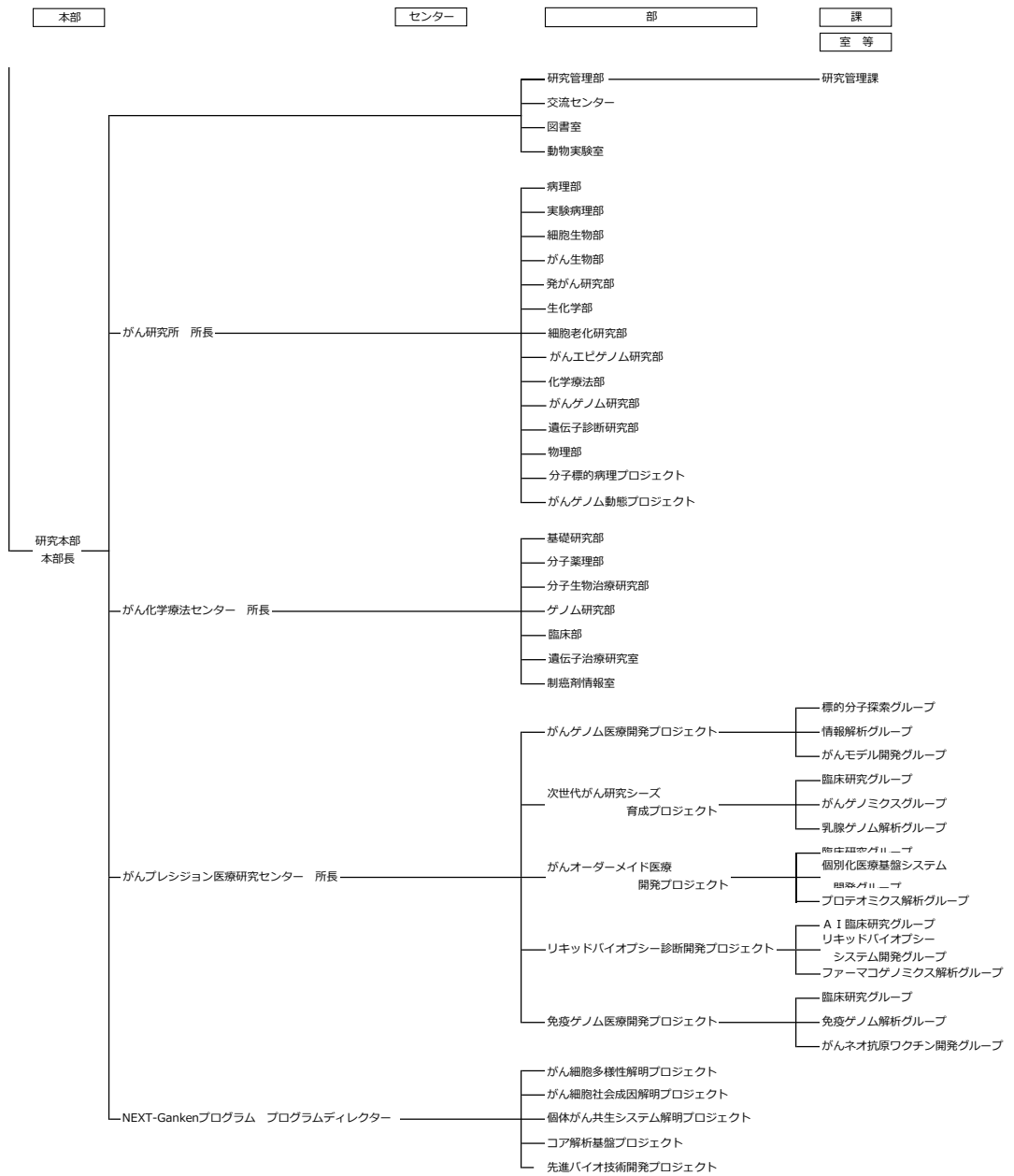
3. 組織図

【2024 年 11 月 1 日】



本部	センター	部	課
			室 等





4. 職員数

【2024 年 12 月】

	事務部門	病院部門	研究部門	合計	非常勤職員
医師	1	395	0	396	143
薬剤師	0	77	0	77	1
看護師	0	834	0	834	5
臨床検査技師	0	91	0	91	4
診療放射線技師	0	93	0	93	0
栄養士	0	19	0	19	0
事務職員	86	174	12	272	34
研究員	1	3	80	84	11
その他	0	209	71	280	54
計	88	1895	163	2146	252

5. 診療科と責任者

【2024 年 12 月 1 日】

名誉院長	中川 健（呼吸器外科）・山口 俊晴（消化器外科）
病院長	佐野 武（消化器外科）
副院長	渡邊 雅之（消化器外科）・米瀬 淳二（泌尿器科）・
	山口 研成（消化器化学療法科）・清水 多嘉子（看護部）
院長補佐	陳 勁松（外来化学療法部）・高橋 祐（肝・胆・膵外科）・
	丸山 大（血液腫瘍科）・志賀 太郎（総合診療部）・
	高野 利実（乳腺内科）・布部 創也（胃外科）・
	笹平 直樹（肝・胆・膵内科）・大橋 学（中央手術部）・
	後藤田 卓志（上部消化管内科）・山口 正和（薬剤部）・
	山本 晃史（人事部）
顧問	五十嵐 正広（消化器内科）・松本 誠一（整形外科）・
	小口 正彦（医療情報部）・高橋 俊二（総合腫瘍科）
病棟統括部	部長 高橋 祐
外来統括部	部長 陳 勁松
呼吸器センター	担当部長 宮北 康二
呼吸器内科	センター長 西尾 誠人
	部長 西尾 誠人
呼吸器外科	副部長 柳谷 典子
	部長 文 敏景
	副部長 中尾 将之
	副部長 松浦 陽介
消化器センター	センター長 渡邊 雅之
消化器内科	部長 山口 研成
消化器化学療法科	部長 山口 研成
	副部長 篠崎 英司
	副部長 大木 暁
肝・胆・膵内科	部長 笹平 直樹
	担当部長 尾阪 将人
	担当部長 佐々木 隆
上部消化管内科	部長 後藤田 卓志
	担当部長 平澤 俊明
	担当部長 由雄 敏之
	副部長 石山 晃世志
下部消化管内科	部長 斎藤 彰一
	副部長 千野 晶子
消化器外科	部長 渡邊 雅之
食道外科	部長 渡邊 雅之
胃外科	部長 布部 創也
	副部長 入野 誠之
大腸外科	部長 秋吉 高志
	副部長 山口 智弘
肝・胆・膵外科	部長 高橋 祐
	副部長 井上 陽介
直腸がん集学的治療センター	センター長 秋吉 高志
頭頸部がん低侵襲治療センター	センター長 石山 晃世志

乳腺センター	センター長	上野 貴之
乳腺内科	部長	高野 利実
	副部長	小林 隆之
乳腺外科	部長	上野 貴之
	副部長	坂井 威彦
婦人科	部長	金尾 祐之
	副部長	野村 秀高
	副部長	温泉川 真由
頭頸科	部長	三谷 浩樹
	副部長	佐々木 徹
脳腫瘍外科	部長	宮北 康二
整形外科	部長	阿江 啓介
泌尿器科	部長	米瀬 淳二
	担当部長	湯浅 健
	担当部長	沼尾 昇
血液腫瘍科	部長	丸山 大
	副部長	三嶋 裕子
総合腫瘍科	部長	三浦 裕司
皮膚腫瘍科	部長	吉野 公二
サルコーマセンター	センター長	松本 誠一
先端医療開発科	部長	北野 滋久
がん早期臨床開発部	部長	古川 孝広
がん免疫治療開発部	部長	北野 滋久
がんゲノム医療開発部	部長	上野 貴之
総合診療部	部長	志賀 太郎
腫瘍循環器・循環器内科	部長	志賀 太郎
糖尿病・代謝・内分泌内科	部長	中山 耕之介
	副部長	北澤 公
腎臓内科	—	—
神経内科	—	—
腫瘍リウマチ膠原病科	—	—
麻酔科（ペインクリニック）	部長	寺嶋 克幸
	副部長	大里 彰二郎
	副部長	蛭名 稔明
腫瘍精神科	部長	清水 研
形成外科	部長	矢野 智之
眼科	部長	辻 英貴
感染症科	部長	米瀬 淳二
歯科	部長	富塚 健
放射線治療部	部長	吉岡 靖生
画像診断センター	センター長	寺内 隆司
画像診断部	部長	森 健作
核医学部	部長	寺内 隆司
	副部長	小山 眞道
IVR センター	センター長	松枝 清
超音波診断・I V R 部	部長	松枝 清
	副部長	國分 優美
化学療法部	部長	西尾 誠人

外来化学療法部	部長	陳 勁松
臨床遺伝医療部	部長	植木 有紗
ゲノム診療部	部長	高橋 俊二
	副部長	深田 一平
中央手術部	部長	大橋 学
外科シミュレーションセンター（OEC）	センター長	寺嶋 克幸
集中治療部	部長	寺嶋 克幸
	副部長	望月 俊明
救急部	部長	寺嶋 克幸
災害医療部	部長	寺嶋 克幸
リハビリテーション部	部長	阿江 啓介
臨床検査センター	センター長	中山 耕之介
検体検査部	部長	中山 耕之介
生理検査部	部長	中山 耕之介
遺伝子診断部	部長	森 誠一
輸血部	部長	三嶋 裕子
臨床病理センター	センター長	竹内 賢吾
病理部	部長	河内 洋
細胞診断部	部長	千葉 知宏
栄養管理部	部長	片岡 明美
	副部長	斎野 容子
医療情報部	担当副部長	岡村 明彦
	部長	小口 正彦
トータルケアセンター	副部長	鈴木 一洋
医療連携部	センター長	渡邊 雅之
	部長	渡邊 雅之
	副部長	伊藤 寛倫
	副部長	坂口 日登美
	副部長	川口 武史
患者・家族支援部	部長	高野 利実
緩和ケアセンター	センター長	松本 禎久
緩和治療科	部長	松本 禎久
看護部	部長	清水 多嘉子
	副部長	長井 優子
	副部長	中山 章子
	副部長	羽田 忍
薬剤部	部長	山口 正和
	副部長	清水 久範
	副部長	山田 玲子
医療クオリティマネジメントセンター	センター長	米瀬 淳二
医療安全管理部	部長	山本 豊
院内感染対策部	部長	米瀬 淳二
	副部長	羽山 ブライアン
医療品質改善部	部長	望月 俊明
	副部長	水越 勝
高難度新規医療技術管理部	部長	高橋 祐
未承認新規医薬品等管理部	部長	山口 正和

臨床教育研修センター	センター長	高野 利実
	センター長補佐	奥村 栄
先進がん治療開発センター	センター長	石崎 秀信
審査管理部	部長	樽野 弘之
	担当部長	日高 輝明
品質管理部	部長	尾阪 将人
運営管理部	部長	藤崎 誠
産官学連携部	部長	石崎 秀信
臨床研究企画戦略部	部長	浅井 洋
TR 支援部	部長	渡邊 雅之
	副部長	今村 裕
臨床試験支援部	部長	丸山 大
医療機器開発部	部長	後藤田 卓志
	副部長	辛川 領
細胞検査士養成所	所長	千葉 知宏
健診センター	センター長	中島 寛隆
検診部	副部長	内田 靖子
	副部長	清水 貴子
運営部	部長	田中 正典

6. 学会認定・指定・施設基準等

1. 都道府県がん診療連携拠点病院の指定

がん研究会有明病院は、平成 14 年 3 月に厚生労働大臣から地域がん診療拠点病院の指定を受けておりましたが、その後の新たな制度下においても、継続して 2019 年 3 月に都道府県（東京都）がん診療連携拠点病院の指定を受けております。

2. 学会認定教育修練研修機関

当院は次の学会の認定医・専門医療制度の研修施設指定を受けております。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1) 日本医学放射線学会 | 21) 日本乳癌学会 |
| 2) 日本病理学会 | 22) 日本臨床細胞学会 |
| 3) 日本内科学会 | 23) 日本形成外科学会 |
| 4) 日本外科学会 | 24) 日本放射線腫瘍学会 |
| 5) 日本消化器外科学会 | 25) 日本整形外科学会 |
| 6) 日本消化器内視鏡学会 | 26) 日本婦人科腫瘍学会 |
| 7) 日本麻酔科学会 | 27) 日本肝胆膵外科学会 |
| 8) 日本眼科学会 | 28) 日本がん治療認定医機構 |
| 9) 日本産科婦人科学会 | 29) 日本甲状腺学会 |
| 10) 日本泌尿器科学会 | 30) 日本頭頸部外科学会 |
| 11) 日本消化器病学会 | 31) 日本皮膚科学会 |
| 12) 日本臨床腫瘍学会 | 32) 日本総合病院精神医学会 |
| 13) 日本静脈経腸栄養学会 | 33) 日本感染症学会 |
| 14) 日本呼吸器学会 | 34) 日本救急医学会 |
| 15) 日本大腸肛門病学会 | 35) 日本消化管学会 |
| 16) 日本耳鼻咽喉科学会 | 36) 日本緩和医療学会 |
| 17) 日本超音波医学会 | 37) 日本集中治療医学会 |
| 18) 日本血液学会 | 38) 日本食道学会 |
| 19) 日本核医学会 | |
| 20) 日本ペインクリニック学会 | |

3. 施設基準の指定

がん研究会有明病院における関東信越厚生局長から指定を受けている基本診療料、特掲診療料等にかかる施設基準については、次の通りです。

基本診療料の施設基準

- 1) 初診料（歯科）の注 1 に掲げる基準
- 2) 歯科外来診療医療安全対策加算 1
- 3) 歯科外来診療感染対策加算 1
- 4) 初診料（医科）の注 16 及び初診料（歯科）の注 15 に規定する医療 DX 推進体制整備加算
- 5) 特定機能病院入院基本料 7 : 1 一告示注 1 1（入院栄養管理体制加算）
- 6) 救急医療管理加算
- 7) 診療録管理体制加算 2
- 8) 医師事務作業補助体制加算 1 30 : 1
- 9) 急性期看護補助体制加算 25 : 1
告示注 2 夜間 100 対 1・告示注 3 夜間看護体制加算・告示注 4 看護補助体制充実加算
- 10) 看護職員夜間配置加算 12 : 1 配置加算 1

- 11) 療養環境加算
- 12) 重症者等療養環境特別加算
- 13) 無菌治療室管理加算 1
- 14) 無菌治療室管理加算 2
- 15) 放射線治療病室管理加算（治療用放射性同位元素による場合）
- 16) 緩和ケア診療加算
- 17) 栄養サポートチーム加算
- 18) 医療安全対策加算 1
- 19) 感染対策向上加算 1—抗菌薬適正使用加算
- 20) 重症患者初期支援充実加算
- 21) 患者サポート体制充実加算
- 22) 報告書管理体制加算
- 23) 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- 24) 後発医薬品使用体制加算 3
- 25) 病棟薬剤業務実施加算 1
- 26) 病棟薬剤業務実施加算 2
- 27) データ提出加算 2 及び 4
- 28) 入退院支援加算 1—入院時支援加算
- 29) せん妄ハイリスク患者ケア加算
- 30) 特定集中治療室管理料 3
告示注 4 早期離床・リハビリテーション加算・告示注 5 早期栄養介入管理加算
- 31) 緩和ケア病棟入院料 1

特掲診療料の施設基準

- 1) 外来栄養食事指導料の注 2 に規定する基準
- 2) 外来栄養食事指導料の注 3 に規定する基準
- 3) がん性疼痛緩和指導管理料
- 4) がん患者指導管理料イ
- 5) がん患者指導管理料ロ
- 6) がん患者指導管理料ハ
- 7) がん患者指導管理料ニ
- 8) 外来緩和ケア管理料
- 9) 小児運動器疾患指導管理料
- 10) 婦人科特定疾患治療管理料
- 11) 夜間休日救急搬送医学管理料—救急搬送看護体制加算
- 12) 外来放射線照射診療料
- 13) 外来腫瘍化学療法診療料 1—連携充実加算、がん薬物療法体制充実加算
- 14) 療養・就労両立支援指導料—相談支援加算
- 15) がん治療連携計画策定料
- 16) 薬剤管理指導料
- 17) 検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
- 18) 医療機器安全管理料 1
- 19) 医療機器安全管理料 2
- 20) 歯科治療時医療管理料
- 21) 遺伝学的検査
- 22) BRCA 1 / 2 遺伝子検査
- 23) がんゲノムプロファイリング検査
- 24) HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
- 25) ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
- 26) 検体検査管理加算（Ⅰ）

- 27) 検体検査管理加算 (Ⅳ)
- 28) 国際標準検査管理加算
- 29) 遺伝カウンセリング加算
- 30) 遺伝性腫瘍カウンセリング加算
- 31) ロービジョン検査判断料
- 32) 前立腺針生検法 (MRI 撮影及び超音波検査融合画像によるもの)
- 33) 画像診断管理加算 1
- 34) 画像診断管理加算 2
- 35) ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
- 36) CT 撮影及び MRI 撮影
- 37) 冠動脈 CT 撮影加算
- 38) 心臓 MRI 撮影加算
- 39) 乳房 MRI 撮影加算
- 40) 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 41) 外来化学療法加算 1
- 42) 無菌製剤処理料
- 43) ストーマ合併症加算
- 44) 脳血管疾患等リハビリテーション料 (Ⅱ)
- 45) 運動器リハビリテーション料 (Ⅰ)
- 46) 呼吸器リハビリテーション料(Ⅱ)
- 47) 摂食機能療法の注 3 に規定する摂食嚥下機能回復体制加算 2
- 48) がん患者リハビリテーション料
- 49) リンパ浮腫複合的治療料
- 50) 集団コミュニケーション療法料
- 51) 歯科口腔リハビリテーション料 2
- 52) 硬膜外自家血注入
- 53) 導入期加算 1
- 54) CAD/CAM 冠及び CAD/CAM インレー
- 55) センチネルリンパ節加算
- 56) 自家脂肪注入
- 57) 組織拡張器による再建手術 (乳房 (再建手術) の場合に限る。)
- 58) 四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に規定する処理骨再建加算
- 59) 骨移植術 (軟骨移植術を含む。)(同種骨移植 (非生体) (同種骨移植 (特殊なものに限る。))
- 60) 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- 61) 骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法 (一連として)
- 62) 内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
- 63) 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料の施設基準
- 64) 内視鏡下鼻・副鼻腔手術 V 型 (拡大副鼻腔手術) 及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 (頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
- 65) 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術 (軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)、
- 66) 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術 (軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合) 及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 67) 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
- 68) 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 (一連につき) (MRI によるもの)
- 69) 頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
- 70) 乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検 (併用) (乳がんセンチネルリンパ節加算 1)
- 71) 乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検 (単独) (乳がんセンチネルリンパ節加算 2)
- 72) 乳腺悪性腫瘍手術 (乳輪温存乳房切除術 (腋窩郭清を伴わないもの) 及び乳輪温存乳房切除術 (腋窩郭清を伴うもの))
- 73) ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術 (乳房切除後)

- 74) 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 75) 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 76) 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合）
- 77) 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 78) 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）
- 79) 胸腔鏡下肺切除術（区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 80) 肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
- 81) 胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 82) 食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腔腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）
- 83) 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
- 84) 腹腔鏡下リンパ節群郭清術（後腹膜）
- 85) 腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）
- 86) 腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）
- 87) 腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
- 88) 腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）
- 89) 腹腔鏡下胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 90) 腹腔鏡下噴門側胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下噴門側胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
- 91) 腹腔鏡下胃全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 92) 腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）
- 93) 胆管悪性腫瘍手術（臍頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）
- 94) 腹腔鏡下肝切除術
- 95) 腹腔鏡下肝切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 96) 腹腔鏡下臍腫瘍摘出術
- 97) 腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術
- 98) 腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 99) 腹腔鏡下臍頭部腫瘍切除術
- 100) 腹腔鏡下臍頭部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 101) 腹腔鏡下臍中央切除術
- 102) 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 103) 腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 104) 腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 105) 内視鏡的小腸ポリープ切除術
- 106) 骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
- 107) 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
- 108) 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 109) 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
- 110) 腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
- 111) 人工尿道括約筋植込・置換術
- 112) 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
- 113) 腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法

- 114) 精巣温存手術
- 115) 腹腔鏡下腔式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 116) 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 117) 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
- 118) 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る。）
- 119) 胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）（医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に規定する手術）
- 120) 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 19 に規定する手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。）
- 121) 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 19 に規定する手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術）
- 122) 輸血管理料 I
- 123) 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 124) 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- 125) 歯周組織再生誘導手術
- 126) 麻酔管理料（Ⅰ）
- 127) 麻酔管理料（Ⅱ）
- 128) 放射線治療専任加算
- 129) 外来放射線治療加算
- 130) 高エネルギー放射線治療
- 131) 1 回線量増加加算
- 132) 強度変調放射線治療（IMRT）
- 133) 画像誘導放射線治療（IGRT）
- 134) 体外照射呼吸性移動対策加算
- 135) 定位放射線治療
- 136) 定位放射線治療呼吸移動対策加算
- 137) 画像誘導密封小線源治療加算
- 138) デジタル病理画像による病理診断
- 139) 病理診断管理加算 2
- 140) 悪性腫瘍病理組織標本加算
- 141) 口腔病理診断管理加算 2
- 142) クラウン・ブリッジ維持管理料
- 143) 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 144) 看護職員処遇改善評価料 62
- 145) 外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
- 146) 歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
- 147) 入院ベースアップ評価料 103

酸素及び窒素の価格

入院時食事療養(Ⅰ)の施設基準

実施報告が必要なもの

- 1) 特別の療養環境の提供の実施(変更)報告書
- 2) 病床数が 200 床以上の病院について受けた初診,再診の実施報告書
- 3) 180 日を超える入院の実施(変更)報告書
- 4) 金属床による総義歯の提供の実施報告書

3. その他の指定

- 1) 指定自立支援医療機関（更生医療・育成医療）
- 2) 生活保護法指定医療機関
- 3) 東京都災害拠点病院
- 4) 臨床研修指定病院
- 5) 都道府県がん診療連携拠点病院
- 6) 救急告示医療機関
- 7) 休日・全夜間診療事業実施医療機関（東京都指定二次救急医療機関）
- 8) 外国医師臨床修練病院
- 9) 日本医療機能評価機構認定病院
- 10) 労災指定病院
- 11) 特定機能病院
- 12) がんゲノム医療拠点病院

4. 外来の受付時間（初診・再診）

月～金曜日 午前 8 時 30 分～正午

5. 休診日

土曜・日曜・祝祭日・年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

6. 面会時間

平 日 : 午後 2 時～午後 8 時（総合案内／正面玄関手続き）
（ICU は午後 2 時 30 分～午後 7 時 30 分）

土・日・祝日 : 午前 10 時～午後 8 時（守衛室／救急時間外入口手続き）
（ICU は午前 10 時 30 分～午後 7 時 30 分）

7. 統計資料

外来・入院実績	19
疾患別入院患者数	20
地区別外来患者数（総数）	23
◆全国	23
◆東京都	24
病理検査	25
病理検査件数・細胞診検査件数	25
CT 検査件数・MRI 検査件数・核医学検査件数	26
内視鏡検査件数・超音波検査件数	27
手術件数	28
院内がん登録集計	29
①部位別・男女別件数	29
②診断時居住地別件数（東京都医療圏別内訳）	30
③主要 5 部位治療別件数	31
④治療別件数	32
⑤ステージ別件数	33
⑥部位別・年齢別件数	34
⑦症例区分別件数	35

外来・入院実績【2024 年 1 月～ 12 月】

科名	初診患者数	外来延患者数	入院患者数	延患者数
呼吸内	409	15,559	1,273	15,593
呼吸外	374	8,300	591	4,703
消化内	0	1	0	0
消化外	0	1	0	0
乳腺外	1,386	44,732	1,267	9,907
婦人科	1,406	34,757	2,497	24,509
頭頸科	803	27,297	593	14,385
整形外	1,087	10,573	835	10,248
泌尿器	787	28,692	1,687	14,877
総腫瘍	111	5,890	513	8,744
放射線	15	30,306	0	0
総内科	280	7,005	0	0
腫瘍精	171	2,903	0	0
眼科	358	4,687	55	285
皮膚科	486	7,287	326	4,874
歯科	1,708	7,279	0	0
一般外	0	1	0	0
形成外	52	9,443	407	2,968
麻酔科	6	1,877	0	0
救急部	453	728	12	21
緩和	52	1,936	82	6,856
放診断	1	182	0	0
健内科	5	3,755	0	0
遺伝診	12	756	0	0
血液腫	223	13,987	710	9,216
乳腺内	33	23,029	341	3,391
食道外	194	4,435	208	4,051
胃外科	336	8,557	523	5,847
大腸外	670	20,088	1,056	13,898
消化療	474	22,931	1,568	16,887
上消内	871	13,419	967	6,103
下消内	843	9,056	757	4,073
肝胆外	402	11,774	862	12,593
肝胆内	569	21,469	1,326	12,784
腫瘍循	425	2,686	1	2
内分泌	105	3,788	0	0
腎臓内	15	196	0	0
神経内	0	45	0	0
脳腫外	73	648	64	1,002
感染症	4	647	0	0
地域連	0	21	0	0
が相談	0	724	0	0
WOC	9	2,580	0	0
ゲノム	28	1,420	0	0
先端科	179	3,628	416	2,368
	15,415	419,075	18,937	210,185

疾患別入院患者数【2024 年】

退院患者延べ数(第10回国際疾病分類による)

病 名	男	女	合計
総数①+②+③	9,711	10,446	20,157
①悪性新生物(C00－C97)	8,105	8,822	16,927
口唇,口腔及び咽頭の悪性新生物(C00－C14)	489	151	640
C 00 口唇の悪性新生物	0	0	0
C 01 舌根〈基底〉部の悪性新生物	20	5	25
C 02 その他及び部位不明の舌の悪性新生物	64	38	102
C 03 歯肉の悪性新生物	9	29	38
C 04 口腔底の悪性新生物	27	5	32
C 05 口蓋の悪性新生物	8	0	8
C 06 その他及び部位不明の口腔の悪性新生物	14	14	28
C 07 耳下腺の悪性新生物	16	4	20
C 08 その他及び部位不明の大唾液腺の悪性新生物	17	5	22
C 09 扁桃の悪性新生物	2	0	2
C 10 中咽頭の悪性新生物	133	28	161
C 11 鼻<上>咽頭の悪性新生物	13	6	19
C 12 梨状陥凹<洞>の悪性新生物	34	0	34
C 13 下咽頭の悪性新生物	131	17	148
C 14 その他及び部位不明確の口唇,口腔及び咽頭の悪性新生物	1	0	1
消化器の悪性新生物(C15－C26)	3,866	2,530	6,396
C 15 食道の悪性新生物	877	253	1,130
C 16 胃の悪性新生物	803	458	1,261
C 17 小腸の悪性新生物	36	22	58
C 18 結腸の悪性新生物	562	655	1,217
C 19 直腸 S 状結腸移行部の悪性新生物	8	10	18
C 20 直腸の悪性新生物	600	366	966
C 21 肛門及び肛門管の悪性新生物	14	28	42
C 22 肝及び肝内胆管の悪性新生物	157	70	227
C 23 胆のう<嚢>の悪性新生物	38	36	74
C 24 その他及び部位不明の胆道の悪性新生物	160	67	227
C 25 膵の悪性新生物	608	563	1,171
C 26 その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物	3	2	5
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物(C30－C39)	1,032	936	1,968
C 30 鼻腔及び中耳の悪性新生物	14	6	20
C 31 副鼻腔の悪性新生物	15	4	19
C 32 喉頭の悪性新生物	33	0	33
C 33 気管の悪性新生物	0	0	0
C 34 気管支及び肺の悪性新生物	940	920	1,860
C 37 胸腺の悪性新生物	19	1	20
C 38 心臓,縦隔及び胸膜の悪性新生物	11	5	16
C 39 その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器の悪性新生物	0	0	0
骨及び関節軟骨の悪性新生物(C40－C41)	102	100	202
C 40 (四)肢の骨及び関節軟骨の悪性新生物	53	67	120
C 41 その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物	49	33	82
皮膚の黒色腫及びその他の悪性新生物(C43－C44)	158	114	272
C 43 皮膚の悪性黒色腫	63	47	110
C 44 皮膚のその他の悪性新生物	95	67	162

病 名	男	女	合計
中皮及び軟部組織の悪性新生物(C45-C49)	235	240	475
C 45 中皮腫	5	6	11
C 46 カポシ<Kaposi>肉腫	0	0	0
C 47 末梢神経及び自律神経系の悪性新生物	2	1	3
C 48 後腹膜及び腹膜の悪性新生物	36	137	173
C 49 その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物	192	96	288
乳房の悪性新生物(C50)	3	1,799	1,802
C 50 乳房の悪性新生物	3	1799	1,802
女性性器の悪性新生物(C51-C58)		2,014	2,014
C 51 外陰の悪性新生物		30	30
C 52 膣の悪性新生物		16	16
C 53 子宮頸(部)の悪性新生物		451	451
C 54 子宮体部の悪性新生物		657	657
C 55 子宮の悪性新生物,部位不明		0	0
C 56 卵巣の悪性新生物		763	763
C 57 その他及び部位不明の女性性器の悪性新生物		97	97
C 58 胎盤の悪性新生物		0	0
男性性器の悪性新生物(C60-C63)	649		649
C 60 陰茎の悪性新生物	9		9
C61 前立腺の悪性新生物	571		571
C62 精巣(睾丸)の悪性新生物	54		54
C63 その他及び部位不明の男性性器の悪性新生物	15		15
尿路の悪性新生物(C64-C68)	702	246	948
C 64 腎盂を除く腎の悪性新生物	133	45	178
C 65 腎盂の悪性新生物	52	20	72
C 66 尿管の悪性新生物	45	30	75
C 67 膀胱の悪性新生物	472	141	613
C 68 その他及び部位不明の泌尿器の悪性新生物	0	10	10
眼,脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物(C69-C72)	22	14	36
C 69 眼及び付属器の悪性新生物	6	4	10
C 70 髄膜の悪性新生物	0	0	0
C 71 脳の悪性新生物	16	9	25
C 72 脊髄,脳神経系及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物	0	1	1
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物(C73-C75)	48	67	115
C 73 甲状腺の悪性新生物	48	63	111
C 74 副腎の悪性新生物	0	3	3
C 75 その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物	0	1	1
部位不明確,続発部位及び部位不明の悪性新生物(C76-C80)	372	352	724
C 76 その他及び部位不明確の悪性新生物	1	1	2
C 77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物	49	42	91
C 78 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物	210	179	389
C 79 その他の部位の続発性悪性新生物	80	102	182
C 80 部位の明示されない悪性新生物	32	28	60

病 名	男	女	合計
リンパ組織,造血組織及び関連組織の悪性新生物(C81-C96)	427	259	686
C 81 ホジキン〈HoDgkin〉病	12	7	19
C 82 ろく慮>胞性〔結節性〕非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫	49	30	79
C 83 びまん性非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫	159	85	244
C 84 末梢性及び皮膚T細胞リンパ腫	21	13	34
C 85 非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	61	27	88
C 88 悪性免疫増殖性疾患	8	8	16
C 90 多発性骨髄腫及び悪性形質細胞腫瘍	52	35	87
C 91 リンパ性白血病	22	9	31
C 92 骨髄性白血病	40	45	85
C 93 単球性白血病	1	0	1
C 94 その他の細胞型の明示された白血病	0	0	0
C 95 細胞型不明の白血病	2	0	2
C 96 リンパ組織,造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物	0	0	0
独立した(原発性)多部位の悪性新生物(C97)	0	0	0
C 97 独立した(原発性)多部位の悪性新生物	0	0	0
②その他の新生物(D00-D48)	467	685	1,152
上皮内新生物(D00-D09)	2	20	22
子宮頸〈部〉の上皮内癌(再掲)		(3)	(3)
良性新生物(D10-D36)	179	238	417
性状不詳又は不明の新生物(D37-D48)	286	427	713
③その他	1,139	939	2,078
血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D50-D89)	19	29	48
循環器系の疾患(I 00- I 99)	81	56	137
呼吸器系の疾患(J 00- J 99)	117	66	183
消化器系の疾患(K 00- K 93)	451	279	730
尿路性器系の疾患(N 00- N 99)	89	327	416
その他	382	182	564

地区別外来患者数（総数）【2024 年 1 ～ 12 月】

◆全国

都道府県	再来患者数	実患者数		新患者数	
		件数	割合	件数	実患者数に対する割合
北海道	519	119	0.18%	28	23.53%
青森県	858	178	0.27%	36	20.22%
岩手県	293	60	0.09%	17	28.33%
宮城県	228	78	0.12%	16	20.51%
秋田県	236	62	0.09%	11	17.74%
山形県	326	80	0.12%	26	32.50%
福島県	1,429	319	0.48%	66	20.69%
茨城県	7,067	1,295	1.96%	332	25.64%
栃木県	2,159	374	0.57%	84	22.46%
群馬県	2,187	380	0.58%	87	22.89%
埼玉県	47,348	7,418	11.25%	1,687	22.74%
千葉県	62,577	9,518	14.43%	2,392	25.13%
東京都	233,090	35,463	53.76%	8,270	23.32%
神奈川県	47,654	7,504	11.38%	1,550	20.66%
新潟県	592	149	0.23%	34	22.82%
富山県	406	65	0.10%	28	43.08%
石川県	111	27	0.04%	5	18.52%
福井県	101	11	0.02%	9	81.82%
山梨県	1,344	305	0.46%	55	18.03%
長野県	1,665	322	0.49%	67	20.81%
岐阜県	157	41	0.06%	8	19.51%
静岡県	1,291	276	0.42%	39	14.13%
愛知県	601	144	0.22%	45	31.25%
三重県	187	38	0.06%	11	28.95%
滋賀県	101	21	0.03%	16	76.19%
京都府	152	49	0.07%	4	8.16%
大阪府	428	114	0.17%	28	24.56%
兵庫県	413	99	0.15%	25	25.25%
奈良県	46	14	0.02%	3	21.43%
和歌山県	204	36	0.05%	10	27.78%
鳥取県	44	17	0.03%	2	11.76%
島根県	102	18	0.03%	5	27.78%
岡山県	110	26	0.04%	3	11.54%
広島県	293	60	0.09%	16	26.67%
山口県	144	42	0.06%	11	26.19%
徳島県	117	30	0.05%	6	20.00%
香川県	109	26	0.04%	6	23.08%
愛媛県	163	36	0.05%	10	27.78%
高知県	89	30	0.05%	7	23.33%
福岡県	218	68	0.10%	15	22.06%
佐賀県	88	9	0.01%	3	33.33%
長崎県	43	17	0.03%	4	23.53%
熊本県	50	31	0.05%	3	9.68%
大分県	139	27	0.04%	6	22.22%
宮崎県	184	49	0.07%	14	28.57%
鹿児島県	290	46	0.07%	16	34.78%
沖縄県	396	74	0.11%	26	35.14%
未分類	2,726	802	1.22%	273	34.04%
	419,075	65,967	100.00%	15,415	23.37%

地区別外来患者数（総数）【2024 年 1 ～ 12 月】

◆東京都

	再来患者数	実患者数		新患者数	
		件数	割合	件数	実患者数に対する割合
千代田区	1,552	320	0.90%	81	25.31%
中央区	5,573	924	2.59%	227	24.57%
港区	7,166	1,220	3.43%	270	22.13%
新宿区	4,160	748	2.10%	144	19.25%
文京区	3,230	525	1.47%	98	18.67%
台東区	2,712	464	1.30%	92	19.83%
墨田区	5,702	900	2.53%	234	26.00%
江東区	31,987	4,573	12.84%	1,348	29.48%
品川区	11,503	1,634	4.59%	407	24.91%
目黒区	5,388	853	2.39%	196	22.98%
大田区	16,670	2,305	6.47%	523	22.69%
世田谷区	16,384	2,524	7.09%	565	22.39%
渋谷区	5,085	799	2.24%	150	18.77%
中野区	4,437	687	1.93%	155	22.56%
杉並区	10,175	1,553	4.36%	356	22.92%
豊島区	4,750	806	2.26%	151	18.73%
北区	3,893	679	1.91%	144	21.21%
荒川区	1,815	305	0.86%	54	17.70%
板橋区	8,949	1,302	3.66%	305	23.43%
練馬区	12,491	1,913	5.37%	370	19.34%
足立区	6,198	1,003	2.82%	212	21.14%
葛飾区	7,302	1,032	2.90%	250	24.22%
江戸川区	21,959	2,997	8.41%	843	28.13%
都下	34,009	5,553	15.59%	1095	19.72%
	233,090	35,619	100.00%	8,270	23.22%

病理検査【2024 年 1 ～ 12 月】

病理検査数

	外来	入院	合計
総件数	17018	13018	30036
部位数（臓器分類単位）	23777	48017	71794
ブロック数（検体分類別）	19125	112785	131910
染色スライド数（特染含む）	69853	176310	246163
染色スライド数（特染のみ）	30705	28948	59653
保険部位数	41936	32189	74125
E M	—	—	—
抗体法	—	—	—
迅速件数	39	3718	3757
診断料	13802	8169	21971
診断のみ	2383	100	2483
レポート画像	—	—	—
ミクロ画像	—	—	—
マクロ画像	—	—	—
その他画像	—	—	—
呼吸器内科	185	92	277
呼吸器外科	73	1081	1154
消化器内科			0
消化器外科			0
乳腺外科	1414	2256	3670
婦人科	2016	1624	3640
頭頸科	594	734	1328
整形外科	426	1129	1555
泌尿器科	294	1116	1410
総合腫瘍科	53	15	68
放射線治療	2		2
総合内科	3		3
腫瘍精神科			0
眼科	168	56	224
皮膚腫瘍科	307	174	481
歯科	6		6
形成外科	5	12	17
麻酔科			0
救急部			0
画像診断部		1	1
健診ドック	41		41
健診（内科）	2681	5	2686
臨床遺伝医療部			0
血液腫瘍科	516	315	831
乳腺内科	48	5	53
食道外科	20	205	225
胃外科	140	698	838
大腸外科	118	930	1048
消化器化学療法科	37	16	53
上部消化管内科	4020	738	4758
下部消化管内科	3454	404	3858
肝胆膵外科	25	1058	1083
肝胆膵内科	319	195	514
内分泌・代謝科			0
腎臓内科			0
脳腫瘍外科		100	100
ゲノム診療部	24		24
先端医療開発科	29	59	88

細胞診検査数

項目	年間件数
子宮腔部・頸部	4,414
子宮内膜	2,525
その他（婦人科）	5,358
健診 子宮腔部・頸部・断端	4,742
健診 子宮内膜	3,425
婦人科合計	20,464
乳腺	712
甲状腺	289
頭頸部（甲状腺以外）	258
骨軟部	893
脳脊髄液	92
リンパ節	750
気管支・肺	189
EBUS縦隔・肺門リンパ節	157
喀痰・三連痰	20
体腔液	3,769
尿	3,655
食道・胃	13
肝・胆・膵・大腸	387
脳	47
その他	95
婦人科以外合計	11,326
総合計	31,790
術中迅速細胞診	2,663
LBC	4,419
オンサイトサイトロジー	861
セルブロック	124

◆ CT 検査件数・MRI 検査件数・核医学検査件数

CT 検査件数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
稼働日数	19	19	20	21	21	20	22	21	19	21	20	20	
2024年 件数	4,487	4,434	4,747	4,869	4,852	4,661	5,070	4,753	4,515	5,116	4,623	4,706	56,833
平均件数/日	236.2	233.4	237.4	231.9	231.0	233.1	230.5	226.3	237.6	243.6	231.2	235.3	

MRI 検査件数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
稼働日数	19	19	20	21	21	20	22	21	19	21	20	20	
2024年 件数	1,141	1,097	1,233	1,241	1,243	1,204	1,324	1,249	1,167	1,354	1,209	1,207	14,669
平均件数/日	60.1	57.7	61.7	59.1	59.2	60.2	60.2	59.5	61.4	64.5	60.5	60.4	

核医学検査件数

2024年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
外来													
PET-CT	454	465	479	507	467	506	573	507	463	526	527	451	5925
SPECT(-CT)	108	100	89	108	108	101	98	114	85	98	85	91	1185
骨 SPECT-CT	48	54	45	55	44	52	53	54	41	50	47	50	593
その他 SPECT-CT	3	5	4	4	7	3	5	1	2	2	1	1	38
シンチグラフィのみ	57	41	40	49	57	46	40	59	42	46	37	40	554
RI内用療法	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	5
入院													
PET-CT	2	5	7	0	4	0	4	4	5	3	2	1	37
SPECT(-CT)	90	78	83	107	89	70	80	106	81	88	95	82	1049
骨 SPECT-CT	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
その他 SPECT-CT	5	4	5	4	5	3	5	7	4	3	4	4	53
シンチグラフィのみ	85	74	78	102	83	67	75	99	77	85	91	78	994
RI内用療法	3	3	3	3	3	4	3	4	3	2	3	2	36
合計	855	829	833	940	868	852	937	957	804	904	892	800	10471

内視鏡検査件数

検 査 項 目	2024年
上部消化管	9,990
下部消化管	7,360
上部エコー	192
下部エコー	107
肝胆膵エコー	1,040
気管支鏡	248
ERCP	1,049
上部（EMRポリペク）	899
下部（EMRポリペク）	3651
下部（ESD）	514
EUS-FAN	303
その他	171

超音波検査件数

	2024
呼吸内	648
呼吸外	227
◆消外	1
乳腺外	15,787
婦人科	10,023
頭頸科	5,207
整形外	1,382
泌尿器	1,518
総腫瘍	209
放治	38
総合内	262
眼科	115
皮腫	349
形成外	1,045
救急部	6
緩和	12
画像診	2
健診ド	28,693
健診内	2
臨床遺	19
血液腫	913
乳腺内	1,355
食道外	206
胃外科	1,011
大腸外	2,516
消化療	648
上消内	307
下消内	137
肝外科	954
肝内科	708
腫循内	480
代謝科	231
腎臓内	6
脳腫外	27
感染症	1
先端科	247

手術件数【2024 年 1 ～ 12 月】

2024年		手術件数 件数	呼吸器外科 件数	消化器外科 件数	整形外科 件数	泌尿科 件数	乳癌外科 件数	泌尿器科 件数	婦人科 件数	形成外科 件数	眼科 件数	消化内科 件数	緩和 件数	麻酔科 件数	治療科 件数	化学科 件数	救急部 件数	呼吸内科 件数	血液腫 件数	皮膚 件数	救急外科 件数	胃外科 件数	肝胆脾外科 件数	大腸外科 件数	脳外 件数
1月	全病(硬膜外・局麻併用含む)	592	50		36	34	96	60	90	35		4			2					8	13	44	45	71	4
	硬膜外・腫瘍・脊髄	1			1																				
	局麻・その他	75			4	4		15		21	21									7					3
	計	668	50	0	41	38	96	75	90	56	21	4	0	0	2	0	0	0	0	15	13	44	45	71	7
2月	全病(硬膜外・局麻併用含む)	603	41		46	38	103	56	86	31		4			3					11	12	42	44	84	2
	硬膜外・腫瘍・脊髄	1			1																				
	局麻・その他	69			3	5	4	18		12	15		1							9					2
	計	673	41	0	50	43	107	74	86	43	15	4	1	0	3	0	0	0	0	20	12	42	44	84	4
3月	全病(硬膜外・局麻併用含む)	648	55		44	48	103	65	87	41		3			3					9	16	45	40	82	7
	硬膜外・腫瘍・脊髄	0																							
	局麻・その他	79			8	7	2	15		25	14									8					
	計	727	55	0	52	55	105	80	87	66	14	3	0	0	3	0	0	0	0	17	16	45	40	82	7
4月	全病(硬膜外・局麻併用含む)	692	55		59	40	115	59	106	26	2	5			2					11	14	52	46	97	3
	硬膜外・腫瘍・脊髄	1			1																				
	局麻・その他	70			5	7	2	15		13	21									6					1
	計	763	55	0	65	47	117	74	106	39	23	5	0	0	2	0	0	0	0	17	14	52	46	97	4
5月	全病(硬膜外・局麻併用含む)	645	41		51	28	104	69	105	38		4			3					10	17	40	41	90	4
	硬膜外・腫瘍・脊髄	0																							
	局麻・その他	62			5	6		17		9	19									4					2
	計	707	41	0	56	34	104	86	105	47	19	4	0	0	3	0	0	0	0	14	17	40	41	90	6
6月	全病(硬膜外・局麻併用含む)	598	44		57	30	80	63	100	37	3	4			5					7	16	36	46	66	4
	硬膜外・腫瘍・脊髄	1						1																	
	局麻・その他	62			6	7	1	13		15	15									5					
	計	661	44	0	63	37	81	77	100	52	18	4	0	0	5	0	0	0	0	12	16	36	46	66	4
7月	全病(硬膜外・局麻併用含む)	661	55		50	48	97	68	100	38	1	5			2					11	13	36	55	76	6
	硬膜外・腫瘍・脊髄	0																							
	局麻・その他	89			8	9	2	23	1	16	19														
	計	750	55	0	58	57	99	91	101	54	20	5	0	0	2	0	0	0	0	22	13	36	55	76	6
8月	全病(硬膜外・局麻併用含む)	654	46		52	40	116	56	106	33	1	3			5					10	15	31	49	86	5
	硬膜外・腫瘍・脊髄	1	1																						
	局麻・その他	73			11	7		20		13	14									8					
	計	728	47	0	63	47	116	76	106	46	15	3	0	0	5	0	0	0	0	18	15	31	49	86	5
9月	全病(硬膜外・局麻併用含む)	650	48		58	38	108	63	106	39	1	4			4					10	13	30	46	81	1
	硬膜外・腫瘍・脊髄	0																							
	局麻・その他	71			7	3	2	12		15	20									10					2
	計	721	48	0	65	41	110	75	106	54	21	4	0	0	4	0	0	0	0	20	13	30	46	81	3
10月	全病(硬膜外・局麻併用含む)	669	41		40	47	113	57	108	34	3	5			4					11	12	34	54	100	6
	硬膜外・腫瘍・脊髄	0	0																						
	局麻・その他	68			5	6	5	13		15	15									7					2
	計	737	41	0	45	53	118	70	108	49	18	5	0	0	4	0	0	0	0	18	12	34	54	100	8
11月	全病(硬膜外・局麻併用含む)	641	56		54	43	112	58	101	25	4	4			3					6	14	34	41	84	2
	硬膜外・腫瘍・脊髄	0																							
	局麻・その他	72			9	8	1	14		17	8									14					1
	計	713	56	0	63	51	113	72	101	42	12	4	0	0	3	0	0	0	0	20	14	34	41	84	3
12月	全病(硬膜外・局麻併用含む)	633	47		49	39	97	53	111	35	1	5			5					10	14	37	49	77	4
	硬膜外・腫瘍・脊髄	1			1																				
	局麻・その他	61			6	12	3	10		15	9									6					
	計	695	47	0	56	51	100	63	111	50	10	5	0	0	5	0	0	0	0	16	14	37	49	77	4
2024年計	全病(硬膜外・局麻併用含む)	7638	579	0	596	473	1244	727	1206	412	16	50	0	0	41	0	0	0	0	114	169	461	556	994	48
	硬膜外・腫瘍・脊髄	6	1	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	838	0	0	77	81	22	185	1	186	190	0	1	0	0	0	0	0	0	95	0	0	0	0	13
	計	8482	580	0	677	554	1266	913	1207	598	206	50	1	0	41	0	0	0	0	209	169	461	556	994	61

院内がん登録集計

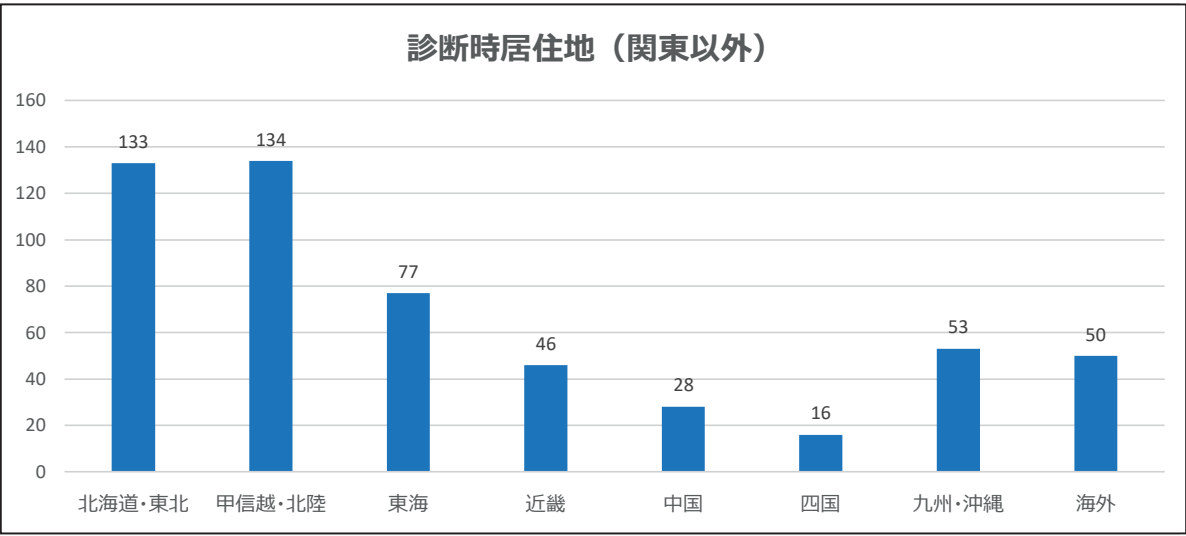
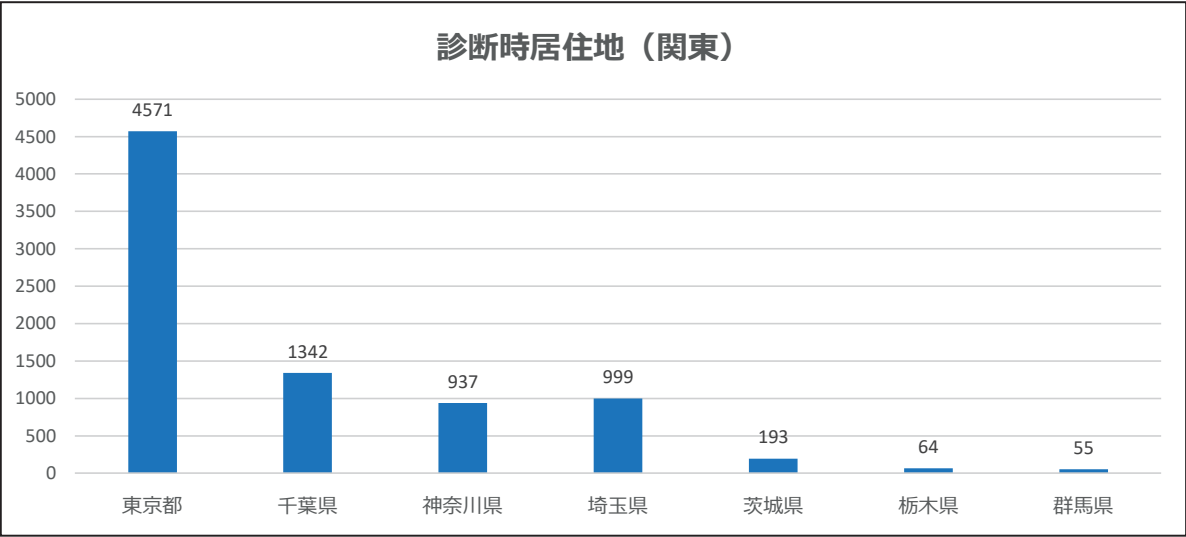
①部位別・男女別件数

部位	総数	男	女
口腔	123	74	49
唾液腺	29	21	8
咽頭（上・中・下）	278	239	39
食道	491	400	91
胃	879	539	340
十二指腸・小腸	57	30	27
大腸	1209	637	572
肝臓	124	94	30
胆嚢・胆管	109	66	43
膵臓	455	245	210
喉頭	40	38	2
肺	605	349	256
骨・軟部	205	104	101
皮膚	181	97	84
乳房	1471	4	1467
子宮頸部	382	0	382
子宮体部	350	0	350
卵巣・卵管	239	0	239
前立腺	376	376	0
膀胱	171	124	47
腎・他の尿路	154	111	43
脳・中枢神経系	53	22	31
甲状腺	140	56	84
悪性リンパ腫	220	114	106
多発性骨髄腫	28	19	9
白血病	37	24	13
他の造血器腫瘍	31	23	8
原発不明	28	15	13
その他	233	125	108
総計	8698	3946	4752

院内がん登録集計

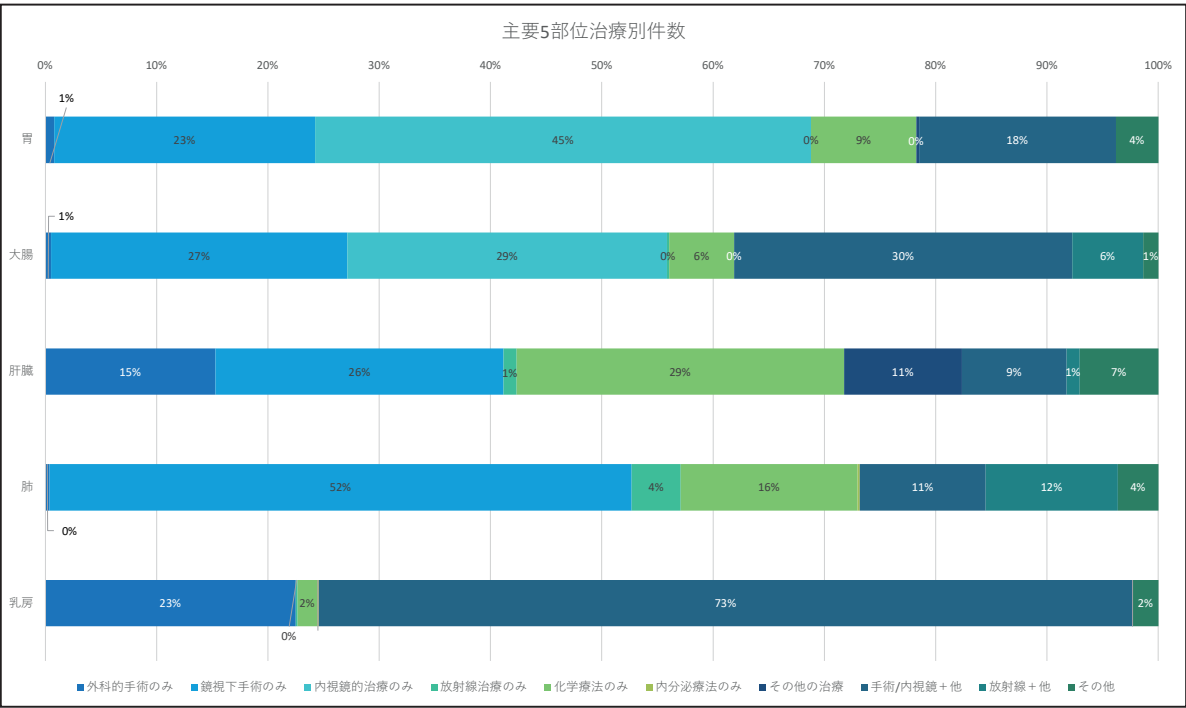
②診断時居住地別件数（東京都医療圏別内訳）

医療圏名	区市町村名	件数		医療圏名	区市町村名	件数	
区中央部	千代田区	24		南多摩	八王子市	80	178
	中央区	124			日野市	29	
	港区	144			多摩市	20	
	文京区	48			町田市	36	
	台東区	68	408		稲城市	13	
区東部	江東区	691		西多摩	羽村市	5	34
	江戸川区	467			福生市	5	
	墨田区	123	1281		青梅市	15	
区東北部	荒川区	118			あきる野市	9	
	足立区	118			瑞穂町	0	
	葛飾区	151	387		日の出町	0	
区西部	新宿区	70			奥多摩町	0	
	中野区	79			檜原村	0	
	杉並区	210	359	北多摩南部	武蔵野市	43	180
区西北部	豊島区	81			三鷹市	28	
	北区	90			調布市	46	
	板橋区	158			狛江市	19	
	練馬区	245	574		小金井市	16	
区西南部	目黒区	89			府中市	28	
	世田谷区	328		北多摩西部	国分寺市	20	79
	渋谷区	84	501		国立市	13	
区南部	品川区	229			東大和市	5	
	大田区	295	524		立川市	18	
島しょ部	大島町	3			武蔵村山市	6	
	利島村	0			昭島市	17	
	新島村	1		北多摩北部	清瀬市	14	144
	神津島村	1			東久留米市	19	
	三宅村	0			西東京市	56	
	御蔵島村	0			東村山市	17	
	八丈町	0			小平市	38	
	青ヶ島村	0		総計	4654		
	小笠原村	0	5				



③主要 5 部位治療別件数

当院で初回治療を開始した症例（症例区分 20・30）



院内がん登録集計

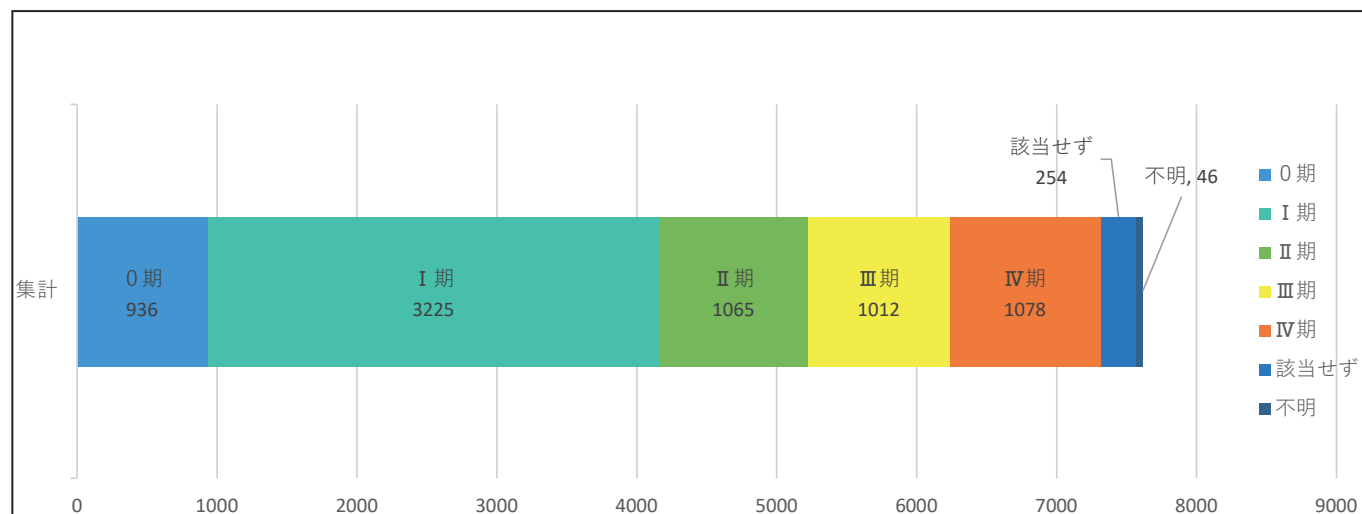
④治療別件数

当院で初回治療を開始した症例（症例区分 20・30）

	外科的 手術のみ	鏡視下 手術のみ	内視鏡的 治療のみ	放射線 治療のみ	化学 療法のみ	内分泌 療法のみ	その他の 治療のみ	放射線 + 化学療法	放射線 + 内分泌	手術 + 内視鏡	手術/内視鏡 + 放射線	手術/内視鏡 + 放射線 + 化学療法	手術/内視鏡 + 放射線 + 内分泌	手術/内視鏡 + 放射線 + 化学療法 + 内分泌	手術/内視鏡 + 放射線 + 化学療法 + 内分泌	その他の 組み合わせ	経過観察	統計	
口腔	84	0	0	2	1	0	0	2	0	0	2	0	0	8	0	0	3	102	
唾液腺	9	0	0	0	2	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	1	0	18	
咽頭（上・中・下）	22	0	89	8	11	0	0	44	0	0	8	1	0	20	0	1	29	234	
食道	1	33	212	5	22	0	3	25	0	6	1	66	0	6	11	0	29	431	
胃	6	179	340	0	72	0	2	0	0	43	0	89	0	1	2	0	29	763	
大腸	5	255	275	2	56	0	0	61	0	39	4	207	0	0	40	1	6	958	
十二指腸・小腸	2	15	16	0	4	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2	44	
肝臓	13	22	0	1	25	0	9	1	0	0	0	7	0	1	0	0	4	85	
胆嚢・胆管	15	11	1	2	18	0	0	2	0	0	0	23	0	0	0	0	1	77	
脾臓	16	29	0	3	141	1	0	10	2	0	0	91	0	2	0	2	14	311	
喉頭	7	0	2	15	0	0	0	4	0	0	1	0	0	1	0	0	2	32	
肺	2	273	0	23	83	1	0	62	0	0	2	57	0	0	0	0	19	522	
皮膚	96	1	0	7	2	0	1	6	0	0	5	6	0	1	0	0	3	128	
骨・軟部	112	1	0	3	4	0	0	3	0	0	3	25	0	1	0	0	2	154	
乳房	293	0	0	2	23	2	0	0	0	0	79	103	351	0	65	123	11	1302	
子宮頸部	67	130	0	4	7	0	3	45	0	0	5	9	0	0	19	0	3	327	
子宮体部	45	152	0	1	7	0	0	1	0	1	0	94	2	0	0	0	1	307	
卵巣・卵管	48	7	0	0	6	0	0	0	0	0	0	109	0	0	0	0	1	171	
前立腺	2	133	0	4	0	35	0	2	57	0	1	0	14	0	0	22	21	292	
膀胱	1	1	8	0	1	0	2	0	0	5	0	49	0	0	0	25	3	108	
腎・他の尿路	5	75	0	1	10	0	0	3	0	0	0	15	0	0	0	0	8	117	
脳・中枢神経系	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	5	0	0	12	29	
甲状腺	48	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	30	0	1	0	28	112	
悪性リンパ腫	1	1	2	23	109	0	0	8	0	0	0	7	0	0	0	0	41	192	
多発性骨腫瘍	0	0	0	1	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	24	
白血病	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	31	
他の造血器腫瘍	0	0	0	0	13	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	28	
原発不明	0	0	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	13	
その他	47	19	2	12	18	2	5	20	0	0	5	14	0	5	0	1	5	155	
総計	953	1337	947	120	692	43	26	299	59	94	125	982	397	22	181	124	98	335	7067

⑤ステージ別件数

当院で診断、治療を実施した症例（症例区分 10・20・21・30・31）

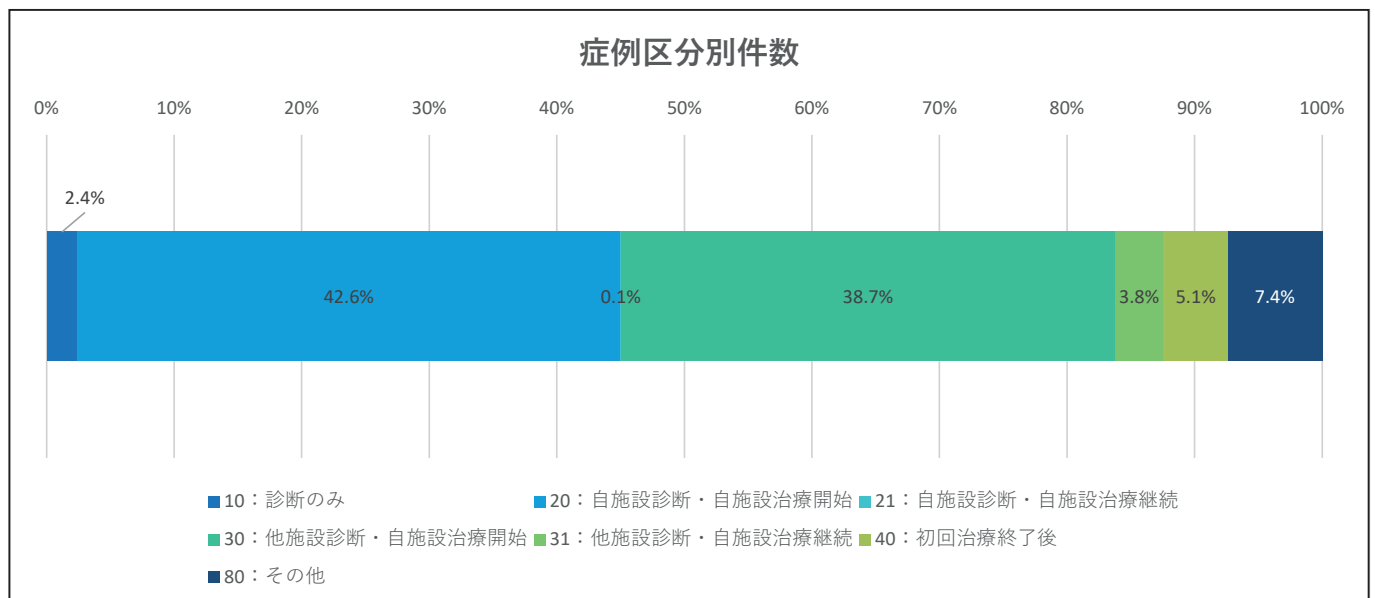


⑥部位別・年齢別件数

部位	年代									総計
	0-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90-	
口腔	0	2	10	15	18	25	32	21	0	123
唾液腺	0	0	2	4	7	5	9	2	0	29
咽頭（上・中・下）	1	0	2	18	54	94	82	26	1	278
食道	0	0	1	19	95	145	178	53	0	491
胃	0	3	27	61	159	202	300	122	5	879
十二指腸・小腸	0	0	2	5	9	12	22	7	0	57
大腸	1	12	46	140	291	318	304	89	8	1209
肝臓	0	0	2	2	17	29	54	19	1	124
胆嚢・胆管	0	0	2	4	8	37	42	15	1	109
膵臓	1	1	4	33	87	112	158	58	1	455
喉頭	0	0	0	2	6	10	13	8	1	40
肺	0	1	6	23	93	169	221	87	5	605
骨・軟部	11	13	22	25	33	37	42	19	3	205
皮膚	0	2	4	14	22	31	50	40	18	181
乳房	0	11	116	445	397	279	177	44	2	1471
子宮頸部	0	17	92	124	84	33	22	9	1	382
子宮体部	0	3	14	42	168	79	36	6	2	350
卵巣・卵管	4	5	17	53	81	46	25	8	0	239
前立腺	0	1	0	5	50	130	150	40	0	376
膀胱	0	0	1	9	31	39	63	27	1	171
腎・他の尿路	0	1	7	12	23	41	51	19	0	154
脳・中枢神経系	0	2	5	11	8	10	13	4	0	53
甲状腺	0	7	9	19	30	27	34	13	1	140
悪性リンパ腫	2	3	8	9	42	59	71	26	0	220
多発性骨髄腫	0	1	0	0	5	4	13	5	0	28
白血病	1	0	2	4	8	8	9	5	0	37
他の造血管腫瘍	0	0	1	1	4	6	10	9	0	31
原発不明	0	0	1	1	7	3	13	3	0	28
その他	1	7	20	19	59	50	44	33	0	233
総計	22	92	423	1119	1896	2040	2238	817	51	8698

⑦症例区分別件数

症例区分	件数	比率
10：診断のみ	210	2.4%
20：自施設診断・自施設治療開始	3704	42.6%
21：自施設診断・自施設治療継続	7	0.1%
30：他施設診断・自施設治療開始	3363	38.7%
31：他施設診断・自施設治療継続	332	3.8%
40：初回治療終了後	440	5.1%
80：その他	642	7.4%
総計	8698	100.0%



8. 一般公開講座

年		日程	時間	場所	題名	講師	担当科	参加人数
2024	1	2024年1月13日	10：30～12：00	オンライン	自分らしくがんに向き合うために	トータルケアセンター	トータルケアセンター	240名
	2	2024年11月16日	10：00～12：00	吉田富三記念講堂	～今日から使える！～がん治療におけるスキンケア	看護部	がん看護支援委員会	40名

9. 学会・研究発表業績

【呼吸器内科】

1. 内堀健
NGS マルチプレックス検査の伸びしろ再点検 .
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [イブニングセミナー]
2. 北 園 聡 , Paz-Ares, L., Ahn, M. J., Lisberg, A., Cho, B. C., Blumenschein Jr., G., Shum, E., Tostivint, E. P., 後藤 悌, 葉清隆, Heist, R., Baas, P., Planchard, D., Maurice, P., Felip, E., Su, W. C., Hong, Z. G., Lan, L., Liu, C., Sands, J.
TROPION-Lung05: Datopotamab derux-tecan (Dato-DXd) in previously treated NSCLC with actionable genomic alterations (AGAs) .
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [口述発表]
3. 有安亮
臨床試験結果・臨床経験から考える、IV 期非小細胞肺癌治療における POSEIDON レジメンへの期待 .
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [メディカルセミナー]
4. 柳谷典子
脳転移を有する非小細胞肺癌の治療戦略 .
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [司会]
5. 西尾誠人 , Ramalingam, S. S., Ciuleanu, T. E., Caro, R. B., 水谷 英明 , Lee, J. S., Audigier-Valette, C., Sangha, L., Urban, L., Burgers, J. A., Pluzanski, A., Lee, K. H., Zurawski, B., Schenker, M., Peters, S., Paz-Ares, L. G., Borghaei, H., O' byrne, K. J., Brahmer, J. R., Gupta, R. G., Bushong, J., Li, L., Yuan, Y., Blum, S. I., Reck, M.
6y update of 1L nivolumab + ipilimumab (N+I) in metastatic (m) NSCLC, including in Japanese pts, from CheckMate 227.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [口述発表]
6. 西尾誠人
小細胞肺癌の現状と免疫療法及びその有害事象について .
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [司会]
7. 西尾誠人
小細胞肺癌における周術期治療：進行再発期治療 .
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [司会]
8. 西尾誠人
高齢者肺癌における ICI+ 化学療法の実際 .
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [司会]
9. 有安亮
長期生存を目指す肺がん薬物療法 .
第 16 回日本がん薬剤学会 (JSOPP) 学術大会：東京，2024, [ランチョンセミナー]
10. 北園聡
進展型小細胞肺癌治療の治療戦略 .
第 28 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京，2024, [ランチョンセミナー]
11. 西尾誠人
工学と医学の進歩が切り拓く肺がん治療 .
第 28 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京，2024, [モデレーター]
12. 柳谷典子
IV 期 EGFR 遺伝子変異陽性 NSCLC の 1 次治療における最新の治療戦略 .
第 199 回日本肺癌学会関東支部学術集会：東京，2024, [ランチョンセミナー]
13. Sugai, M., Amino, Y., Miyadera, K., Tsugitomi, R., Ariyasu, R., Uchibori, K., Kitazono, S., Yanagitani, N., Nishio, M.
Impact of immune-related adverse event severity on overall survival in patients receiving PD-1/I1 therapy, with a focus on combination regimens.

IASLC 2024 World Conference on Lung Cancer: San Diego, CA, USA, 2024, [ポスター発表]

14. Uchibori, K., Siew-Kee, L., Ebina-Shibuya, R., Miyauchi, E., Hanibuchi, M., Nishioka, Y., Tambo, Y., Yano, S., Sugisaka, J., Kawashima, Y., Shoji, T., Sakakibara-Konishi, J., Nishio, M., Nakamura, Y.

The characteristics of plasma sample NGS analysis in the detection of lung cancer driver genes.

IASLC 2024 World Conference on Lung Cancer: San Diego, CA, USA, 2024, [ポスター発表]

15. Nishio, M., Negrao, M. V., Arbour, K. C., Burns, T. F., Cappuzzo, F., Dingemans, A.-M. C., Girard, N., Gronberg, B. H., Hochmair, M., Leal, T., Lindsay, C. R., Lu, S., Paz-Ares, L. G., Reck, M., Sabari, J. K., Spira, A. I., William, W. N., Chen, A., Merced, A., Visseren-Grul, C. M., Peters, S.

Olomorasib plus pembrolizumab /-chemotherapy for 1L KRAS G12C-mutant advanced NSCLC.

第 65 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2024, [口述発表]

16. Nishio, M., Seto, T., Reck, M., Garon, E. B., Nishio, K., Kasahara, K., Nishino, K., Satouchi, M., Yoh, K., Hayashi, H., Sakai, K., Enatsu, S., Matsui, T., Chacko, V. S., Carlsen, M., Visseren-Grul, C. M., Nakagawa, K.

Overall survival with ramucirumab gefitinib in untreated EGFR-mutated metastatic NSCLC.

第 65 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 +Web 開催，2024, [口述発表]

17. 伊藤雅弘，内堀健，藤嶋駿介，磯博和，丹生谷 究二郎，菅井万優，次富亮輔，網野喜彬，有安亮，北園聡，柳谷典子，西尾誠人

当院における初回 ALK-TKI 治療例の長期成績について。

第 65 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 +Web 配信，2024, [口述発表]

18. 内堀健

EGFR 陽性肺癌 1.

第 65 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 +Web 配信，2024, [座長]

19. 柳谷典子

根治を目指した切除不能 3 期 NSCLC の治療展望。

第 65 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 +Web 配信，2024, [座長]

20. 磯博和，有安亮，伊藤雅弘，藤嶋駿介，丹生谷 究二郎，菅井万優，次富亮輔，網野喜彬，内堀健，北園聡，柳谷典子，二宮浩範，西尾誠人

TTF-1 陰性非扁平上皮非小細胞肺癌の病理診断による細分化と予後に関する検討。

第 65 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 +Web 配信，2024, [口述発表]

21. 藤嶋駿介，網野喜彬，丹生谷 究二郎，磯博和，伊藤雅弘，菅井万優，次富亮輔，有安亮，内堀健，北園聡，柳谷典子，二宮浩範，片山量平，西尾誠人

EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺がんの小細胞癌転化後のサブタイプ解析。

第 65 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 +Web 配信，2024, [口述発表]

22. 西尾誠人

EGFR エクソン 20 挿入変異陽性非小細胞肺癌の診療。

第 65 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 +Web 配信，2024, [イブニングセミナー]

23. 西尾誠人，藤原豊，倉田宝保，猶木克彦，井上 貴子，大江裕一郎

REZILIENT3:P3 study of zipalertinib plus chemo in NSCLC patients harboring EGFR ex20ins mutations.

第 65 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 +Web 配信，2024, [口述発表]

24. 西尾誠人
がん治癒をもたらす T 細胞免疫メカニズム .
第 65 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 +Web
配信，2024，[ランチョンセミナー]
25. 西尾誠人
産学共同研究セッション .
第 65 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 +Web
配信，2024，[座長]

【呼吸器外科】

1. Ichinose, J., Kobayashi, N., Fukata, K., Kan-no, K., Suzuki, A., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Accuracy of artificial intelligence-based surgical support systems in recognizing thoracic nerves.
The 60th annual meeting of the Society of Thoracic Surgeons: San Antonio, TX, USA, 2024，[ポスター発表]
2. 松浦陽介
局所進行期 / 進行期肺癌に対する外科治療 .
WQW! 1 月：呼吸器領域の進歩 手術療法：Web 開催，2024，[講演]
3. 川原光恵，松浦陽介，立花太明，浦部貴史，鈴木あゆみ，一瀬淳二，中尾将之，奥村栄，文敏景
胸腔鏡下肺区域切除術におけるリンパ節郭清術のコツ .
日本胸部外科学会第 1 回 JATS-NEXT Annual Conference: 大阪市，2024，[一般口演]
4. 松浦陽介
数 mm へのこだわり .
日本胸部外科学会第 1 回 JATS-NEXT Annual Conference: 大阪市，2024，[一般口演]
5. 文敏景，中尾将之，松浦陽介，一瀬淳二，鈴木あゆみ，浦部貴史，立花太明，川原光恵
対面式ロボット支援手術における左反回神経周囲（4L）リンパ節郭清の実際 .
第 16 回日本ロボット外科学会学術集会：米子市，2024，[口述発表]
6. 一瀬淳二
呼吸器外科手術において反回神経麻痺を起こさないための工夫 .
第 34 回日本気管食道科学会認定気管食道科専門医大会：横浜市，2024，[パネルディスカッション]
7. 文敏景
がん研有明病院での低侵襲手術の現状：実践躬行 .
第 21 回スプリングセミナー IN OKINAWA: 那覇市，2024，[講演]
8. 松浦陽介
JATS-NEXT.
第 194 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会：宇都宮市，2024，[座長]
9. 矢崎裕紀，松浦陽介，川原光恵，浦部貴史，鈴木あゆみ，一瀬淳二，中尾将之，奥村栄，文敏景
不全分葉を伴う右肺下葉粘液性腺癌の気管支先行処理法 .
第 194 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会：宇都宮市，2024，[口述発表]
10. Matsuura, Y., Kawahara, M., Nakamura, S., Kinoshita, F., aokage, k., Asao, T., Chen-Yoshikawa, T., Mun, M.
Investigation of associated factors with non-relapse mortality and identification of patients who should be considered for adjuvant chemotherapy in lung cancer: a multicenter real world data analysis.
AATS 104th Annual Meeting: Toronto, ON, Canada, 2024，[口述発表]
11. 文敏景，中尾将之，松浦陽介，一瀬淳二，鈴木あゆみ，奥村栄
胸腔鏡下手術時の catastrophic situation に対する対応：適切な血流遮断法と縫合の重要性 .
第 124 回日本外科学会定期学術集会：常滑市，2024，[ワークショップ]

12. Mun, M.
Video-assisted thoracoscopic surgery lung-sparing left main bronchus sleeve resection en bloc with subcarinal lymph node.
The 23nd ESTS meeting: Barcelona, Spain, 2024, [口述発表]
13. Matsuura, Y.
Intersegmental tunneling in S9/S10 segmentectomy: clinical outcomes and complications.
第 41 回日本呼吸器外科学会学術集会：北佐久郡, 2024, [セッション]
14. 一瀬淳二, 川原光恵, 鈴木あゆみ, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景
ニボルマブ併用術前化学療法後に切除した左肺門部肺癌の一例.
第 41 回日本呼吸器外科学会学術集会：北佐久郡, 2024, [ミニオーラル]
15. 一瀬淳二, 早川景子, 鈴木あゆみ, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 阿江啓介, 文敏景
胸壁原発骨軟部悪性腫瘍に対する手術成績と予後因子.
第 41 回日本呼吸器外科学会学術集会：北佐久郡, 2024, [パネルディスカッション]
16. 中尾将之, 川原光恵, 浦部貴史, 立花太明, 鈴木あゆみ, 一瀬淳二, 松浦陽介, 奥村栄, 文敏景
TNM 第 9 版 N2 細分類の病理病期における予後への影響.
第 41 回日本呼吸器外科学会学術集会：北佐久郡, 2024, [口述発表]
17. 中尾将之
区域切除を考える：適応から標準化まで.
第 41 回日本呼吸器外科学会学術集会：北佐久郡, 2024, [アフタヌーンセミナー]
18. 川原光恵, 松浦陽介, 中村彰太, 木下文恵, 青景圭樹, 朝尾哲彦, 芳川豊史, 文敏景
肺癌術後の非再発死亡と補助化学療法の適応に関する多施設共同研究.
第 41 回日本呼吸器外科学会学術集会：北佐久郡, 2024, [口述発表]
19. 文敏景
アフタヌーンセミナー 3.
第 41 回日本呼吸器外科学会学術集会：北佐久郡, 2024, [座長]
20. 文敏景
微細解剖を利用した低侵襲手術の実際.
第 41 回日本呼吸器外科学会学術集会：北佐久郡, 2024, [アフタヌーンセミナー]
21. 文敏景
肺癌縮小手術 3.
第 41 回日本呼吸器外科学会学術集会：北佐久郡, 2024, [座長]
22. 鈴木あゆみ, 川原光恵, 浦部貴史, 立花太明, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景
当院における nivolumab 併用術前化学療法の使用経験.
第 41 回日本呼吸器外科学会学術集会：北佐久郡, 2024, [口述発表]
23. 文敏景
がん研有明病院における対面式視野を用いて低侵襲手術.
呼吸器外科カンファレンス：Web 開催, 2024, [講演]
24. 文敏景, 鈴木あゆみ, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之
薬物療法新時代における肺癌リンパ節郭清の役割.
第 78 回手術手技研究会：福岡市, 2024, [主題]
25. 橋本浩平, 加藤大喜, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 近藤晴彦, 大塚崇, 文敏景
3D モデルを用いた気管支スリーブ切除トレーニングの多施設前向き研究.
第 78 回手術手技研究会：福岡市, 2024, [講演]

26. 鈴木あゆみ, 矢崎裕紀, 川原光恵, 浦部貴史, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 文敬景
nivolumab 併用術前化学療法後、胸腔鏡下に完全切除を行った胸壁浸潤肺癌の一例。
第 78 回手術手技研究会: 福岡市, 2024, [サージカルフォーラム]
27. 松浦陽介
JATS-NEXT メンバーと語る領域横断手術。
第 195 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会: 宇都宮市, 2024, [座長]
28. 吉峯宗大, 川原光恵, 矢崎裕紀, 鈴木あゆみ, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景
胸腺右上極に発生した胸腺腫に対する胸腔鏡下胸腺右葉切除術。
第 872 回外科集談会: 東京, 2024, [口述発表]
29. 矢崎裕紀, 川原光恵, 吉峯宗大, 鈴木あゆみ, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景, 柳谷典子, 西尾誠人, 二宮浩範
胸腔鏡下胸膜生検で診断に至った節外性 NK/T 細胞リンパ腫の 1 例。
第 199 回日本肺癌学会関東支部学術集会: 東京, 2024, [口述発表]
30. Kawahara, M., Matsuura, Y., Nakamura, S., Kinoshita, F., Aokage, K., Asao, T., Chen-Yoshikawa, T., Mun, M.
Postoperative trends in stage II & III EGFR-mutant lung adenocarcinoma in the pre-ADURA era: a multicenter real-world data analysis.
AATS International Thoracic Surgical Oncology Summit: New York, NY, USA, 2024, [ポスター発表]
31. Mun, M.
Segmentectomy of upper right lobe.
Asis Pacific Thoracic Masters' Series: Web 開催, 2024, [講演]
32. Kawahara, M., Ichinose, J., Ninomiya, H., Yazaki, Y., Yoshimine, S., Suzuki, A., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S.
The fibrosis around the pulmonary artery is associated with difficulty in dissection during surgery after systemic therapy.
IASLC 2024 World Conference on Lung Cancer: San Diego, CA, USA, 2024, [e ポスター]
33. Mun, M., Nakao, M., Matsuura, Y., Ichinose, J., Suzuki, A.
Oncological outcomes after lobe-specific mediastinal lymph node dissection in thoracoscopic right upper lobectomy for clinical N0 NSCLC.
IASLC 2024 World Conference on Lung Cancer: San Diego, CA, USA, 2024, [ポスター発表]
34. Nakao, M., Tamagawa, S., Horikoshi, Y., Suzuki, A., Ichinose, J., Matsuura, Y., Okumura, S., Mun, M.
Staple formation by endostapler and bronchial wall thickness in pulmonary lobectomy.
IASLC 2024 World Conference on Lung Cancer: San Diego, CA, USA, 2024, [e ポスター]
35. Suzuki, A., Kawahara, M., Yazaki, Y., Yoshimine, S., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
The prognostic disparities between the T3 descriptors in surgically resected primary lung cancer.
IASLC 2024 World Conference on Lung Cancer: San Diego, CA, USA, 2024, [ポスター発表]
36. Yazaki, Y., Ichinose, J., Kawahara, M., Yoshimine, S., Suzuki, A., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Prognostic impact of serum CA125 level in patients with CN0 non-small cell lung cancer.
IASLC 2024 World Conference on Lung Cancer: San Diego, CA, USA, 2024, [ポスター発表]

37. Mun, M.
Proper indication and technique of lung segmentectomy for early-stage lung cancer.
Thoracic Advisory Board: Melbourne, Australia, 2024, [講演]
38. Suzuki, A.
Neoadjuvant / perioperative IO therapy.
2024 Asia Conference on Lung Cancer: Hong Kong, China, 2024, [講演]
39. Nakao, M.
Evolution in lung segmentectomy by Zio-station REVORAS.
TCVGH International Medical Conference in 2024: Taichung, Taiwan, 2024, [口述発表]
40. 一瀬淳二, 矢崎裕紀, 吉峯宗大, 川原光恵, 鈴木あゆみ, 松浦陽介, 中尾将之, 柳谷典子, 奥村栄, 西尾誠人, 文敏景
悪性胸水に対するユニタルクを用いた胸膜癒着療法の有効性と安全性: 単施設連続 324 例の経験.
第 65 回日本肺癌学会学術集会: 横浜市 +Web 配信, 2024, [ワークショップ]
41. 中尾将之
バーチャルカンサーボード: 高齢者肺癌症例について.
第 65 回日本肺癌学会学術集会: 横浜市 +Web 配信, 2024, [シンポジウム]
42. 吉峯宗大, 松浦陽介, 川原光恵, 矢崎裕紀, 鈴木あゆみ, 一瀬淳二, 中尾将之, 二宮浩範, 奥村栄, 文敏景
小型末梢肺癌に対する区域切除でのリンパ節郭清の意義とは?
第 65 回日本肺癌学会学術集会: 横浜市 +Web 配信, 2024, [口述発表]
43. 川原光恵, 松浦陽介, 中村彰太, 木下文恵, 青景圭樹, 朝尾哲彦, 芳川豊史, 文敏景
Pre-ADURA 時代の RWD からみる pStage II/III 期 EGFR-mutant 肺癌の術後経過.
第 65 回日本肺癌学会学術集会: 横浜市 +Web 配信, 2024, [口述発表]
44. 川原光恵, 一瀬淳二, 二宮浩範, 吉峯宗大, 矢崎裕紀, 鈴木あゆみ, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景
肺癌薬物治療後の肺動脈周囲線維化と肺動脈剥離困難性の関係.
第 65 回日本肺癌学会学術集会: 横浜市 +Web 配信, 2024, [ワークショップ]
45. 文敏景
薬物療法新時代における低侵襲手術の実際.
第 65 回日本肺癌学会学術集会: 横浜市 +Web 配信, 2024, [ランチョンセミナー]
46. 松浦陽介, 鈴木あゆみ, 一瀬淳二, 中尾将之, 二宮浩範, 奥村栄, 文敏景
肺葉切除高リスク症例の肺癌術後転帰に関する検討.
第 65 回日本肺癌学会学術集会: 横浜市 +Web 配信, 2024, [ワークショップ]
47. 矢崎裕紀, 一瀬淳二, 川原光恵, 吉峯宗大, 鈴木あゆみ, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景
cN0 非小細胞肺癌切除例における術前血清 CA125 値の重要性.
第 65 回日本肺癌学会学術集会: 横浜市 +Web 配信, 2024, [ポスター発表]
48. 鈴木あゆみ, 矢崎裕紀, 吉峯宗大, 川原光恵, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景
完全切除を行った同一肺葉内転移を伴う StageII 期原発性肺腺癌に対する術後補助化学療法の有用性.
第 65 回日本肺癌学会学術集会: 横浜市 +Web 配信, 2024, [口述発表]
49. 一瀬淳二
肺: 縦隔・胸壁 1.
第 196 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会: 東京, 2024, [座長]
50. 中尾将之
がん研胸腔鏡手術の現在地.
第 17 回埼玉 Surgery team for Thoracic Disease: さいたま市, 2024, [口述発表]

51. Mun, M., Suzuki, A., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S.
Evolution of surgical approaches to lung cancer - What is the optimal surgical approach?
第 77 回日本胸部外科学会定期学術集会：金沢市，2024, [シンポジウム]
52. 一瀬淳二，矢崎裕紀，吉峯宗大，川原光恵，鈴木あゆみ，松浦陽介，中尾将之，奥村栄，文敏景
肺癌に対する手術アプローチの選択：患者にメリットがある場合はあえて開胸を選ぶ。
第 77 回日本胸部外科学会定期学術集会：金沢市，2024, [ワークショップ]
53. 中尾将之，吉峯宗大，矢崎裕紀，川原光恵，鈴木あゆみ，一瀬淳二，松浦陽介，奥村栄，文敏景
薬物療法後の肺癌に対する胸腔鏡手術。
第 77 回日本胸部外科学会定期学術集会：金沢市，2024, [パネルディスカッション]
54. 文敏景
呼吸器外科手術における 4K 内視鏡カメラシステムの有用性。
第 77 回日本胸部外科学会定期学術集会：金沢市，2024, [ランチョンセミナー]
55. 文敏景
肺癌に対する手術アプローチの変遷：最適な手術アプローチとは？
第 77 回日本胸部外科学会定期学術集会：金沢市，2024, [シンポジウム]
56. 文敏景
肺癌に対する低侵襲手術の適応拡大。
第 77 回日本胸部外科学会定期学術集会：金沢市，2024, [座長]
57. 松浦陽介，鈴木あゆみ，一瀬淳二，中尾将之，奥村栄，文敏景
積極的領域切除で考慮すべきメリハリをつけたリンパ節郭清。
第 77 回日本胸部外科学会定期学術集会：金沢市，2024, [ワークショップ]
58. 文敏景，鈴木あゆみ，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，奥村栄
リトラクションアームと助手を活用して行う対面式ロボット支援下手術：胸腔鏡下手術の Strategy を踏襲する。
第 86 回日本臨床外科学会学術集会：宇都宮市，2024, [ワークショップ]
59. 川原光恵，一瀬淳二，早川景子，吉峯宗大，矢崎裕紀，鈴木あゆみ，松浦陽介，中尾将之，奥村栄，阿江啓介，文敏景
前縦隔肉腫に対し胸骨前面皮質を温存し腫瘍広範切除・胸骨肋骨切除再建を施行した 1 例。
第 196 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会：東京，2024, [口述発表]
60. 一瀬淳二，伊藤心二，成田伸太郎，吉住朋晴，羽瀨友則，文敏景
肝臓、肺、腎手術における ICG の適切な使用法および注意点（肺）/Appropriate use and precautions for ICG in liver, lung, and renal surgery (Lung)。
第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [シンポジウム]
61. 一瀬淳二，柴崎晋，宇山一朗，須田康一，文敏景
肺癌手術と食道癌手術の共通点と相違点を意識した系統的縦隔リンパ節郭清手技をどのように行うか？（肺）/Mediastinal lymphadenectomy : similarities and differences between lung and esophageal surgery.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [シンポジウム]
62. 中尾将之
呼吸器：その他。
第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [司会]
63. 中尾将之，吉峯宗大，矢崎裕紀，川原光恵，鈴木あゆみ，一瀬淳二，松浦陽介，文敏景
気管支縫合切離における断端のステープル形成と気管支壁厚に関する前向き観察研究。
第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [口述発表]

64. 吉峯宗大, 中尾将之, 川原光恵, 矢崎裕紀, 鈴木あゆみ, 一瀬淳二, 松浦陽介, 文敏景
肺葉切除移行または切除区域追加を要した肺区域切除症例の検討.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [口述発表]
65. 川原光恵, 一瀬淳二, 吉峯宗大, 矢崎裕紀, 鈴木あゆみ, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景
横隔膜デスマイド腫瘍再発に対し胸腔鏡下再切除および横隔膜再建を施行した一例.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [ミニオーラル]
66. 文敏景
上部・肺融合領域.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [司会]
67. 文敏景, 中尾将之, 松浦陽介, 一瀬淳二, 鈴木あゆみ, 川原光恵, 矢崎裕紀, 吉峯宗大
低悪性度粘表皮癌に対する肺実質温存胸腔鏡下左主気管支管状切除術.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [口述発表]
68. 松浦陽介
術中虚脱肺の再現を目指した肺脱気 3D 再構成モデルの初期報告.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [パネルディスカッション]
69. 矢崎裕紀, 鈴木あゆみ, 川原光恵, 吉峯宗大, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景
Aberrant V2 を温存して行う気管分岐部郭清における胸腔鏡アプローチの工夫.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [口述発表]
70. 菅野素子, 小澤梨紗子, 加藤慧, 伏木淳, 阿部彰子, 根津幸穂, 青木洋一, 尾身牧子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 野村秀高, 金尾祐之
当院における審査腹腔鏡の現状と HRD 検査の詳細.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [口述発表]

71. 一瀬淳二
外科治療.
第 200 回日本肺癌学会関東支部学術集会: 東京, 2024, [コーヒーブレイクセミナー]
72. 矢崎裕紀, 鈴木あゆみ, 川原光恵, 吉峯宗大, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景, 二宮浩範
肺癌と乳癌の重複癌に対しニボルマブ併用術前化学療法が奏功した 1 例.
第 200 回日本肺癌学会関東支部学術集会: 東京, 2024, [発表形式不明]

【食道外科】

1. 渡邊雅之
食道・胃「食道・胃癌の最新治療」.
第 18 回食道・胃外科フォーラム: 東京, 2024, [司会]
2. 渡邊雅之, 竹内裕也
肥満外科治療の現場と課題.
第 20 回日本消化管学会総会学術集会: 宜野湾市, 2024, [司会]
3. 岡村明彦, 金森淳, 由雄敏之, 渡邊雅之
食道癌診療における狭窄とその対応.
第 34 回日本気管食道科学会認定気管食道科専門医大会: 横浜市, 2024, [シンポジウム]
4. 渡邊雅之
学会奨励賞受賞講演.
第 34 回日本気管食道科学会認定気管食道科専門医大会: 横浜市, 2024, [司会]
5. 渡邊雅之, 塩崎敦
食道.
第 56 回制癌剤適応研究会: 下呂市, 2024, [座長]
6. 今村裕, 高松学, 原口郁実, 栗山健吾, 寺山仁祥, 高橋直規, 田村真弘, 岡村明彦, 金森淳, 布部創也, 沖英次, 山本学, 峯真司, 馬場秀夫, 渡邊雅之
TP53 IHC の AI genotyping と臨床的有用性.
第 96 回日本胃癌学会総会: 京都市, 2024, [シンポジウム]

7. 栗山健吾, 岡村明彦, 高橋直規, 田村真弘, 寺山仁祥, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
咽喉頭頸部食道摘出後の胸部食道癌術後に生じた気管壊死を保存的に加療し得た 1 例.
第 871 回外科集談会: 東京, 2024, [口述発表]
8. 田村真弘, 岡村明彦, 高橋直規, 寺山仁祥, 栗山健吾, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
バレット食道癌術後縫合不全治療後に胸椎化膿性椎間板炎・椎体炎を生じた 1 例.
第 871 回外科集談会: 東京, 2024, [口述発表]
9. 今村裕, 陳勁松, 布部創也, 深田一平, 林直美, 栗山健吾, 田村真弘, 高橋直規, 寺山仁祥, 岡村明彦, 金森淳, 山口研成, 高橋俊二, 渡邊雅之
当院における食道胃接合部腺癌の周術期および再発化学療法の実状と将来展望.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [シンポジウム]
10. 栗山健吾, 高橋直規, 田村真弘, 寺山仁祥, 岡村明彦, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
食道癌手術における短中期成績: VATS vs RA-MIE.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [サージカルフォーラム]
11. 田村真弘, 岡村明彦, 栗山健吾, 寺山仁祥, 高橋直規, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
食道癌術後の握力と長期予後.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ポスター発表]
12. 金森淳, 渡邊雅之, 栗山健吾, 寺山仁祥, 高橋直規, 田村真弘, 岡村明彦, 今村裕
食道ロボット手術での術中トラブルとその対策.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ワークショップ]
13. 高橋直規, 岡村明彦, 田村真弘, 寺山仁祥, 栗山健吾, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
食道悪性腫瘍手術における GLIM 基準による術前栄養評価の意義.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ポスター発表]
14. 今村裕, 栗山健吾, 高橋直規, 田村真弘, 寺山仁祥, 岡村明彦, 金森淳, 渡邊雅之
Non-EBV/non-MSI-H 食道胃接合部腺癌における新たな免疫回避機構の解明.
第 33 回日本癌病態治療研究会: 唐津市, 2024, [シンポジウム]
15. 今村裕
消化管 (基礎 1).
第 33 回日本癌病態治療研究会: 唐津市, 2024, [座長]
16. 寺山仁祥, 岡村明彦, 栗山健吾, 高橋直規, 田村真弘, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
咽頭喉頭 (頸部食道) 摘出術後の胸部食道癌に対する頸部温存術式 (Ivor-Lewis esophagectomy) の有用性.
第 33 回日本癌病態治療研究会: 唐津市, 2024, [ワークショップ]
17. 栗山健吾, 今村裕, 高橋直規, 田村真弘, 寺山仁祥, 岡村明彦, 金森淳, 布部創也, 渡邊雅之
食道胃接合部腺癌における Conversion 手術の治療成績.
第 33 回日本癌病態治療研究会: 唐津市, 2024, [ワークショップ]
18. 渡邊雅之
食道癌治療: 最新の進歩.
第 33 回日本癌病態治療研究会: 唐津市, 2024, [教育講演]
19. 高橋直規, 今村裕, 田村真弘, 寺山仁祥, 栗山健吾, 岡村明彦, 金森淳, 沖英次, 山本学, 馬場秀夫, 布部創也, 渡邊雅之
食道胃接合部癌における食道側切除断端距離の検討.
第 33 回日本癌病態治療研究会: 唐津市, 2024, [ポスター発表]
20. 渡邊雅之, 栗山健吾, 高橋直規, 田村真弘, 寺山仁祥, 岡村明彦, 金森淳, 今村裕
食道再建術のコツとピットフォール.
第 78 回手術手技研究会: 福岡市, 2024, [エキスパートビデオ]

21. 今村裕, 渡邊雅之, 森誠一, 野田哲生, 土岐祐一郎, 北川雄光, 加藤健, 藤田武郎, 小島隆嗣, 井元清哉, 柴田龍弘
日本人食道がんの全ゲノム解析の進捗.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024,
[プレナリーセッション]
22. 今村裕, 千野修
診断・マーカー.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024,
[司会]
23. 今村裕, 渡邊雅之, 栗山健吾, 高橋直規, 岡村明彦, 金森淳, 布部創也, 沖英次, 山本学, 馬場秀夫
食道腺癌の切除マージンの検討とロング・ショートバレット食道による臨床的特徴.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024,
[パネルディスカッション]
24. 寺山仁祥, 岡村明彦, 栗山健吾, 高橋直規, 田村真弘, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
75 歳以上高齢者食道癌における機能温存としての Ivor-Lewis esophagectomy の意義.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024,
[パネルディスカッション]
25. 寺山仁祥, 岡村明彦, 栗山健吾, 高橋直規, 田村真弘, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
集学的治療により根治切除を得た #112aoP リンパ節転移を伴う切除不能進行食道癌の 1 例.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024,
[Virtual Cancer Board]
26. 岡村明彦
こだわりの三角吻合: 三辺外翻三角吻合・有茎大網弁被覆.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024,
[ランチョンセミナー]
27. 岡村明彦
データベース研究・臨床試験.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024,
[司会]
28. 岡村明彦, 渡邊雅之, 奥居潤, 松田諭, 川久保博文, 武藤学, 掛地吉弘, 土岐祐一郎, 北川雄光, 竹内裕也
術前補助療法後の食道癌根治切除症例における病理学的奏効および再発の予測モデル構築.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024,
[ワークショップ]
29. 栗山健吾, 岡村明彦, 高橋直規, 田村真弘, 寺山仁祥, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
サルベージ手術の治療成績およびリンパ節郭清の意義.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024,
[パネルディスカッション]
30. 栗山健吾, 岡村明彦, 高橋直規, 田村真弘, 寺山仁祥, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
ロボット支援下食道切除術における現状と課題.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024,
[口述発表]
31. 栗山健吾, 岡村明彦, 高橋慶太, 高橋直規, 田村真弘, 寺山仁祥, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
左肺動脈右肺動脈起始症合併食道癌症例に対する手術手技.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024,
[要望ビデオ]
32. 栗山健吾
症例 5.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024,
[司会]
33. 渡邊雅之
Esophageal cancer registry and database analysis in Japan.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024,
[セッション]
34. 渡邊雅之
ゲノム医療.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024,
[司会]

35. 渡邊雅之
学んできたこと、伝えたいこと。
第 78 回日本食道学会学術集会：東京，2024，
[講演]
36. 渡邊雅之
理事長講演。
第 78 回日本食道学会学術集会：東京，2024，
[司会]
37. 渡邊雅之，坪佐恭宏
「食道疾患診断・治療の未来を拓く」医療機器
開発の現状と課題。
第 78 回日本食道学会学術集会：東京，2024，
[司会]
38. 田村真弘，岡村明彦，高橋直規，寺山仁祥，栗
山健吾，金森淳，今村裕，渡邊雅之
IVB 期食道扁平上皮癌に対するコンバージョン
手術を含めた治療戦略と治療成績。
第 78 回日本食道学会学術集会：東京，2024，
[ポスター発表]
39. 金森淳，須田康一
ロボット手術 1。
第 78 回日本食道学会学術集会：東京，2024，
[司会]
40. 金森淳，柴崎晋
ロボット手術 18。
第 78 回日本食道学会学術集会：東京，2024，
[司会]
41. 金森淳，渡邊雅之，栗山健吾，寺山仁祥，高橋
直規，田村真弘，岡村明彦，今村裕
胸腔鏡下アプローチによる右上縦隔郭清：2 領
域郭清における右頸部操作の省略。
第 78 回日本食道学会学術集会：東京，2024，
[口述発表]
42. 高橋直規，岡村明彦，田村真弘，寺山仁祥，栗
山健吾，金森淳，今村裕，渡邊雅之
当院手術症例における食道癌肉腫の臨床病理学
的特徴と治療成績。
第 78 回日本食道学会学術集会：東京，2024，
[要望演題]
43. 高橋直規，岡村明彦，石井美鈴，藤原彩，守屋
直紀，松下亜由子，金森淳，今村裕，佐藤崇文，
渡邊雅之
食道癌術後の外来栄養指導継続の意義。
第 78 回日本食道学会学術集会：東京，2024，
[口述発表]
44. Imamura, Y., Kuriyama, K., Takahashi, N.,
Tamura, M., Terayama, M., Okamura, A.,
Kanamori, J., Chin, K., Nunobe, S., Wata-
nabe, M.
Our treatment strategy and outcome for
EGJ adenocarcinoma/ 当院における食道胃接
合部癌の治療方針とその成績。
第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，
2024，[シンポジウム]
45. 今村裕
総論：教育・トレーニング 1。
第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，
2024，[司会]
46. 寺山仁祥，岡村明彦，栗山健吾，高橋直規，田
村直弘，金森淳，今村裕，渡邊雅之
75 歳以上の高齢者 StageII/III 進行胸部食道癌
手術症例における術前化学療法の有用性。
第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，
2024，[ポスター発表]
47. 栗山健吾，岡村明彦，高橋直規，田村真弘，寺
山仁祥，金森淳，今村裕，渡邊雅之
胸腔鏡 / ロボット支援下食道切除手術の胸部手
術時間に影響する因子の探索。
第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，
2024，[ポスター発表]
48. 渡邊雅之
上部消化管：術前治療 + 食道切除後の免疫
チェックポイント阻害剤による補助療法の現
状。
第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，
2024，[司会]
49. 田村真弘，岡村明彦，栗山健吾，寺山仁祥，高
橋直規，金森淳，今村裕，渡邊雅之
当院における食道癌術後補助二ボルマブ療法の
現状。

- 第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，2024, [ポスター発表]
50. 金森淳，渡邊雅之，栗山健吾，寺山仁祥，高橋直規，田村真弘，岡村明彦，今村裕
反回神経上膜を包む疎性結合組織を剥離境界としたロボット支援上縦隔リンパ節郭清．
第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，2024, [ポスター発表]
 51. 高橋直規，岡村明彦，田村真弘，寺山仁祥，栗山健吾，金森淳，今村裕，渡邊雅之
食道癌術後の外来栄養介入の意義．
第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，2024, [ポスター発表]
 52. 渡邊雅之
食道癌集学的治療：最新の進歩．
広島消化器がんセミナー：Web 開催，2024, [特別講演]
 53. Kanamori, J.
Clinical significance of local treatment for recurrence within the surgical field after radical esophagectomy.
20th ISDE World Congress for Esophageal Diseases (ISDE 2024) : Edinburgh, UK, 2024, [ポスター発表]
 54. Kuriyama, K., Kanamori, J., Terayama, M., Watanabe, M.
McKeown vs Ivor-Lewis esophagectomy for patients with a history of total pharyngolaryngectomy: a comparison study.
20th ISDE World Congress for Esophageal Diseases (ISDE 2024) : Edinburgh, UK, 2024, [ポスター発表]
 55. Watanabe, M.
Anastomotic procedures in MIE (McKeown and IL) .
20th ISDE World Congress for Esophageal Diseases (ISDE 2024) : Edinburgh, UK, 2024, [セッション]
 56. 岡村明彦
症例検討②「食道がん」．
2024 年度 がん病態栄養専門管理栄養士セミナー：東京，2024, [講演]
 57. 金森淳
がん研における食道癌手術の取り組み．
TMDSO meeting2024: Web 開催，2024, [講演]
 58. 今村裕，陳勁松，渡邊雅之
当院における食道癌コンバージョン手術の現状と展望．
第 32 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2024 : 消化器外科学会・消化器病学会) : 神戸市，2024, [シンポジウム]
 59. 渡邊雅之，竹内裕也
進行食道癌コンバージョン手術の現状と展望．
第 32 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2024 : 消化器外科学会・消化器病学会) : 神戸市，2024, [司会]
 60. 寺山仁祥，岡村明彦，大木暁，栗山健吾，高橋直規，田村真弘，金森淳，今村裕，宇田川翔平，下寄啓太郎，福岡聖大，大隅寛木，小倉真理子，陳勁松，渡邊雅之
食道癌術前 DCF 療法症例における非治癒切除の予測因子．
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [一般口演]
 61. 岡村明彦，栗山健吾，金森淳，渡邊雅之
頭頸部癌患者における同時性あるいは異時性食道癌に対する手術のベストプラクティス．
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [ワークショップ]
 62. 栗山健吾，岡村明彦，金森淳，由雄敏之，高橋直規，田村真弘，寺山仁祥，今村裕，渡邊雅之
食道癌による狭窄および瘻孔に対する緩和治療：バイパス vs スtent．
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [ワークショップ]

63. 渡邊雅之
周術期管理におけるチーム医療と ERAS.
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，
2024, [座長]
64. 高橋直規，岡村明彦，石井美鈴，藤原彩，守屋
直紀，稲用ゆうか，高木久美，中屋恵梨香，田
村真弘，寺山仁祥，栗山健吾，金森淳，今村裕，
斎野容子，渡邊雅之
食道癌術後外来栄養指導の意義．
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，
2024, [一般口演]
65. 寺山仁祥，岡村明彦，高橋直規，田村真弘，栗
山健吾，金森淳，今村裕，渡邊雅之
肝繊維化指標 Fibrosis-4 Index と食道癌術後
縫合不全との関連．
第 75 回日本気管食道学会総会ならびに学術講
演会：仙台市，2024, [口述発表]
66. 岡村明彦，渡邊雅之，奥居潤，栗山健吾，白石
治，黒河内喬範，安部哲也，佐藤弘，掛地吉弘，
河野浩二，折館伸彦，藤也寸志，竹内裕也，香
取幸夫
咽頭喉頭（頸部食道）摘出術・遊離空腸再建後
の胸部食道癌の手術成績に関する全国調査．
第 75 回日本気管食道学会総会ならびに学術講
演会：仙台市，2024, [口述発表]
67. 栗山健吾，岡村明彦，金森淳，由雄敏之，高橋
直規，田村真弘，寺山仁祥，今村裕，渡邊雅之
食道癌による瘻孔に対する緩和治療：パイパス
vs スtent．
第 75 回日本気管食道学会総会ならびに学術講
演会：仙台市，2024, [口述発表]
68. 渡邊雅之，吉田直矢
下咽頭・食道癌．
第 75 回日本気管食道学会総会ならびに学術講
演会：仙台市，2024, [座長]
69. 田村真弘，岡村明彦，高橋直規，寺山仁祥，栗
山健吾，金森淳，今村裕，渡邊雅之
当院における食道癌術後の乳糜胸に対する治療
とその成績について．
第 75 回日本気管食道学会総会ならびに学術講
演会：仙台市，2024, [口述発表]
70. 高橋直規，岡村明彦，田村真弘，寺山仁祥，栗
山健吾，金森淳，今村裕，渡邊雅之
食道癌術後縫合不全の早期診断における術後
CRP 値の有用性．
第 75 回日本気管食道学会総会ならびに学術講
演会：仙台市，2024, [口述発表]
71. 栗山健吾
働き方改革 実際どーなの？
第 196 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会：
東京，2024, [座長]
72. 寺山仁祥，岡村明彦，栗山健吾，高橋直規，田
村真弘，金森淳，今村裕，渡邊雅之
胸部食道扁平上皮癌における cStage IIIA の妥
当性と課題．
第 77 回日本胸部外科学会定期学術集会：金沢
市，2024, [パネルディスカッション]
73. 岡村明彦，北園聡，金森淳，今村裕，栗山健吾，
寺山仁祥，高橋直規，田村真弘，田井康裕，古
川栄美，馬城はるか，渡邊雅之
慢性閉塞性肺疾患併存食道癌手術症例に対する
周術期の気管支拡張吸入薬の効果を検討する非
盲検ランダム化パイロット試験．
第 77 回日本胸部外科学会定期学術集会：金沢
市，2024, [一般口演]
74. 栗山健吾，岡村明彦，高橋直規，田村真弘，寺
山仁祥，金森淳，今村裕，渡邊雅之
頭頸部癌と食道癌の同時性重複症例に対する
Staged surgery の意義．
第 77 回日本胸部外科学会定期学術集会：金沢
市，2024, [ワークショップ]
75. 渡邊雅之
上縦隔リンパ節郭清における MIE の工夫．
第 77 回日本胸部外科学会定期学術集会：金沢
市，2024, [座長]
76. 田村真弘，岡村明彦，高橋直規，寺山仁祥，栗
山健吾，金森淳，今村裕，渡邊雅之
初診時切除不能局所進行食道癌に対する con-
version/salvage 手術の治療成績．
第 77 回日本胸部外科学会定期学術集会：金沢
市，2024, [パネルディスカッション]

77. 金森淳, 渡邊雅之, 栗山健吾, 寺山仁祥, 高橋直規, 田村真弘, 岡村明彦, 今村裕
食道外科医が知っておくべき気管・血管の解剖変異.
第 77 回日本胸部外科学会定期学術集会: 金沢市, 2024, [一般口演]
 78. 高橋直規, 岡村明彦, 田村真弘, 寺山仁祥, 栗山健吾, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
食道癌術後縫合不全の早期診断における術後 Lactate 値の有用性.
第 77 回日本胸部外科学会定期学術集会: 金沢市, 2024, [パネルディスカッション]
 79. 寺山仁祥, 岡村明彦, 栗山健吾, 石田洋樹, 高橋直規, 田村真弘, 金森淳, 渡邊雅之
食道癌術後に残食道の捻れを生じた症例.
第 77 回日本胸部外科学会定期学術集会 / 食道困難症例検討セミナー: 金沢市, 2024, [口述発表]
 80. 金森淳
がん研食道外科における最近の取り組み.
第 9 回 UGI ミレニウムの会: Web 開催, 2024, [講演]
 81. 寺山仁祥, 岡村明彦, 栗山健吾, 高橋直規, 田村真弘, 今村裕, 金森淳, 渡邊雅之
同時性重複の食道癌および肺癌に対する低侵襲手術.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [ミニオーラル]
 82. 岡村明彦, 金森淳, 寺山健吾, 高橋直規, 田村真弘, 今村裕, 李基成, 幕内梨恵, 速水克, 入野誠之, 布部創也, 渡邊雅之
血管走行異常症例における cervicothorascopic 反回神経リンパ節郭清.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [口述発表]
 83. 栗山健吾, 金森淳, 高橋直規, 田村真弘, 寺山仁祥, 岡村明彦, 今村裕, 渡邊雅之
術後血清 CRP 値からみた手術侵襲度と治療成績の比較: VATS vs RAMIE.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [パネルディスカッション]
 84. 渡邊雅之
どうする食道癌外科治療: ロボットと IO、集約化で未来は変わる?
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [教育講演]
 85. 田村真弘, 岡村明彦, 寺山仁祥, 高橋直規, 栗山健吾, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
当院における胸腔鏡下食道切除後の乳糜胸に対する治療とその成績について.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [口述発表]
 86. 金森淳
どうする食道癌外科治療: ロボットと IO、集約化で未来は変わる?
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [教育講演]
 87. 金森淳, 渡邊雅之, 栗山健吾, 寺山仁祥, 高橋直規, 田村真弘, 岡村明彦, 今村裕
ロボット vs 胸腔鏡: ロボット支援胸腔内吻合は縫合不全の低率化に寄与する.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [口述発表]
 88. 金森淳
食道悪性 conversion surgery 術前治療.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [司会]
 89. 高橋直規, 岡村明彦, 田村真弘, 寺山仁祥, 栗山健吾, 金森淳, 今村裕, 渡邊雅之
低侵襲食道切除・再建術縫合不全の早期診断における lactate 値の意義.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [ミニオーラル]
- 【胃外科】**
1. 松井亮太
術前プレアルブミンと体組成から考える周術期栄養管理.
第 27 回日本病態栄養学会年次学術集会: 京都市, 2024, [シンポジウム]

2. 松井亮太, 胡慶江, 森戸淳, 山本森太郎, 東園和哉, 杉田裕, 石田洋樹, 原田宏輝, 李基成, 幕内梨恵, 速水克, 大橋学, 布部創也
頭頸部および消化管がんを対象とした周術期 immunonutrition による術後合併症の軽減効果: meta-analysis.
第 27 回日本病態栄養学会年次学術集会: 京都市, 2024, [口述発表]
3. 布部創也, 肥田候矢, 三澤健之, 本田五郎
今知りたい手技・今教えたい手技.
第 12 回次世代の臨床外科医のための特別セミナー: 東京, 2024, [コメンテーター]
4. 布部創也, 幕内梨恵, 李基成, 速水克, 大橋学
深達度 SS 以深の進行胃癌に対するロボット支援下胃切除術の短期・長期成績の検討.
第 16 回日本ロボット外科学会学術集会: 米子市, 2024, [シンポジウム]
5. 布部創也
胃①.
第 16 回日本ロボット外科学会学術集会: 米子市, 2024, [座長]
6. 原田宏輝, 大橋学, 李基成, 幕内梨恵, 速水克, 布部創也
胃 GIST に対して LECS を施行した 200 名の短期・長期成績.
第 20 回日本消化管学会総会学術集会: 宜野湾市, 2024, [パネルディスカッション]
7. 松井亮太
U45 クラブミーティング.
第 39 回日本臨床栄養代謝学会学術集会: 横浜市, 2024, [座長]
8. 松井亮太
炎症にフォーカスした周術期栄養管理: 栄養治療でアウトカムを変える.
第 39 回日本臨床栄養代謝学会学術集会: 横浜市, 2024, [学術セミナー]
9. 松井亮太, 原田宏輝, 熊谷厚志
臨床栄養における LLL programme を用いた教育効果と臨床研究への発展.
第 39 回日本臨床栄養代謝学会学術集会: 横浜市, 2024, [パネルディスカッション]
10. 松井亮太, 堤理恵, 宮崎安弘, 熊谷厚志, 青山徹, 奥川喜永, 島本和巳, 牧宏樹, 松尾晴代, 光永幸代, 石井良昌, 鍋谷圭宏, 竹内裕也, 市川大輔, 比企直樹
臨床研究の実現を目指した講義型セミナーと実践型セミナーの開催.
第 39 回日本臨床栄養代謝学会学術集会: 横浜市, 2024, [活動報告]
11. Ohashi, M., Koterazawa, Y., Ri, M., Makuuchi, R., Hayami, M., Sano, T., Nunobe, S.
Oncological impact of unexpected horizontal tumor spread in gastric cancer.
第 96 回日本胃癌学会総会: 京都市, 2024, [セッション]
12. 佐野武
「抵抗勢力」から「応援団」へ.
第 96 回日本胃癌学会総会: 京都市, 2024, [特別企画]
13. 原田宏輝, 大橋学, 李基成, 幕内梨恵, 速水克, 佐野武, 布部創也
十二指腸浸潤胃癌の臨床病理学的特徴と予後についての検討.
第 96 回日本胃癌学会総会: 京都市, 2024, [一般口演]
14. 大橋学
進行胃癌 1.
第 96 回日本胃癌学会総会: 京都市, 2024, [座長]
15. 寺山仁祥, 大橋学, 李基成, 幕内梨恵, 速水克, 井田智, 熊谷厚志, 佐野武, 布部創也
高齢者の stage II/III 進行胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術は、術後筋肉量維持及び体重維持に有用である.
第 96 回日本胃癌学会総会: 京都市, 2024, [ワークショップ]
16. 山本森太郎, 速水克, 布部創也, 吉水祥一, 藤崎順子, 李基成, 幕内梨恵, 大橋学, 佐野武

- 表在型非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同手術（D-LECS）膵臓側剥離の有無による比較検討．
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[ビデオワークショップ]
17. 布部創也，須田厚一
噴門側胃切除術後の再建について．
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[座長]
 18. 布部創也
胃癌切除術式の選択．
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[教育セミナー]
 19. 布部創也
郭清術：その手技に、自由を．
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[ランチョンセミナー]
 20. 幕内梨恵，李基成，速水克，大橋学，布部創也
深達度 SS 以深の進行胃癌に対するロボット支援下胃切除術の安全性の検討．
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[一般ビデオ]
 21. 幕内梨絵
ロボット支援下手術 2.
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[座長]
 22. 杉田裕，李基成，幕内梨恵，速水克，大橋学，布部創也
当院における胃癌肝転移に対する R0 切除症例の検討．
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[ワークショップ]
 23. 李基成，幕内梨恵，速水克，大橋学，佐野武，布部創也
4 型胃癌に対する胃全摘脾合併切除の治療成績．
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[ワークショップ]
 24. 東園和哉，大橋学，李基成，速水克，幕内梨恵，布部創也
出血・狭窄を伴う治癒切除不能進行胃癌に対する姑息的腹腔鏡下胃切除術の検討．
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[一般口演]
 25. 松井亮太，大橋学，胡慶江，森戸淳，山本森太郎，東園和哉，杉田裕，石田洋樹，原田宏輝，李基成，幕内梨恵，速水克，布部創也
胃癌胃切除症例を対象とした術前筋肉量による層別化と全生存期間との関係．
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[ワークショップ]
 26. 森戸淳，幕内梨恵，李基成，速水克，大橋学，布部創也
胃切除後骨障害における噴門側胃切除術の意義．
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[一般口演]
 27. 石田洋樹，速水克，李基成，幕内梨恵，大橋学，布部創也
上部進行胃癌に対する脾門部郭清を伴う腹腔鏡下胃全摘術の手術手技．
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[一般ビデオ]
 28. 胡慶江，大橋学，李基成，幕内梨恵，速水克，布部創也
噴門側胃切除上川法再建の治療成績においてロボット手術は腹腔鏡手術より優れるか？
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[一般口演]
 29. 速水克，森戸淳，胡慶江，山本森太郎，東園和哉，杉田裕，松井亮太，石田洋樹，原田宏輝，李基成，幕内梨恵，大橋学，布部創也
食道道胃接合部癌に対するロボット支援下噴門側胃切除術．
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[ビデオシンポジウム]

30. Matsui, R.
Implementation of enhanced recovery after surgery (ERAS) in geriatric patients.
39th Congress of the Korean Society of Surgical Metabolism and Nutrition (KSSMN 2024) : Busan, South Korea., 2024, [シンポジウム]
31. 中村慶仁, 東園和哉, 李基成, 幕内梨恵, 入野誠之, 速水克, 大橋学, 布部創也
胃癌に併発し、壁内進展との鑑別が困難だった胃アニサキス症の一例.
第 871 回外科集談会 : 東京, 2024, [研修医演題]
32. 東園和哉, 布部創也, 李基成, 幕内梨恵, 入野誠之, 速水克, 大橋学
生検にて術前診断し腹腔内視鏡合同胃局所切除を施行した胃 Glomus 腫瘍の一例.
第 871 回外科集談会 : 東京, 2024, [研修医演題]
33. Nunobe, S.
LECS application in Japan for gastric and duodenal tumor.
54th Congress of KSERS & 14th International Symposium (KSERS 2024) : Daejeon, South Korea, 2024, [シンポジウム]
34. 佐野武
モーニングセミナー 5.
第 124 回日本外科学会定期学術集会 : 常滑市, 2024, [司会]
35. 佐野武
知っておきたい外科学の最新トピックス 12 : ゲノム診療.
第 124 回日本外科学会定期学術集会 : 常滑市, 2024, [司会]
36. 原田宏輝, 大橋学, 栗原望, 李基成, 幕内梨恵, 速水克, 佐野武, 布部創也
早期胃癌に対する腹腔鏡下幽門保存胃切除術における体腔内器械式胃胃吻合の短期成績と体腔外手縫い胃胃吻合との比較.
第 124 回日本外科学会定期学術集会 : 常滑市, 2024, [ポスター発表]
37. 大橋学
胃 : 接合部・全般.
第 124 回日本外科学会定期学術集会 : 常滑市, 2024, [司会]
38. 山本森太郎, 速水克, 布部創也, 吉水祥一, 藤崎順子, 森戸淳, 胡慶江, 東園和哉, 杉田裕, 松井亮太, 石田洋樹, 原田宏輝, 李基成, 幕内梨恵, 大橋学, 佐野武
腹腔鏡・内視鏡合同手術 (D-LECS) : 脾臓側剥離の有無による比較検討.
第 124 回日本外科学会定期学術集会 : 常滑市, 2024, [ポスター発表]
39. 布部創也, 泉大輔, 幕内梨恵, 李基成, 速水克, 大橋学
ラーニングカーブより考える胃癌外科手術の教育.
第 124 回日本外科学会定期学術集会 : 常滑市, 2024, [ワークショップ]
40. 布部創也
胃 : 化学療法.
第 124 回日本外科学会定期学術集会 : 常滑市, 2024, [司会]
41. 布部創也
胃 : 高齢者 1.
第 124 回日本外科学会定期学術集会 : 常滑市, 2024, [司会]
42. 李基成, 大橋学, 幕内梨恵, 速水克, 佐野武, 布部創也
ポリグリコール酸シートが低侵襲胃癌手術の術後合併症に及ぼす効果.
第 124 回日本外科学会定期学術集会 : 常滑市, 2024, [サージカルフォーラム]
43. 東園和哉, 大橋学, 李基成, 速水克, 幕内梨恵, 布部創也
胃癌患者における思春期・若年成人 (AYA : adolescents and young adults) 世代の特徴と治療の現状.
第 124 回日本外科学会定期学術集会 : 常滑市, 2024, [ポスター発表]

44. 森戸淳, 幕内梨恵, 李基成, 速水克, 大橋学, 布部創也
胃切除後骨障害における幽門保存胃切除術の意義.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [サージカルフォーラム]
45. 石田洋樹, 幕内梨恵, 李基成, 速水克, 大橋学, 布部創也
残胃癌に対する低侵襲手術の短期成績.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [サージカルフォーラム]
46. 速水克, 森戸淳, 胡慶江, 山本森太郎, 東園和哉, 杉田裕, 松井亮太, 石田洋樹, 原田宏輝, 李基成, 幕内梨恵, 大橋学, 布部創也
局所進行胃癌に対する低侵襲胃全摘術.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [パネルディスカッション]
47. Nunobe, S.
Laparoscopic / robotic proximal gastrectomy and reconstruction methods.
4th Ho Chi Minh International Gastric Cancer Forum: Dak Lak, Vietnam, 2024, [発表形式不明]
48. Nunobe, S.
Current situations and latest advancement in gastrectomy in Japan.
GS TTT Training for CHO RAY Hospital : Laparoscopic Gastrectomy (1st Training) : Ho Chi Minh, Vietnam., 2024, [発表形式不明]
49. 佐野武
胃.
第 33 回日本癌病態治療研究会: 唐津市, 2024, [司会]
50. 森戸淳, 大橋学, 李基成, 幕内梨恵, 入野誠之, 速水克, 布部創也
傍大動脈リンパ節転移を有する進行胃癌に対する No.16 リンパ節の郭清効果.
第 33 回日本癌病態治療研究会: 唐津市, 2024, [ポスター発表]
51. 胡慶江, 大橋学, 李基成, 森戸淳, 東園和哉, 杉田裕, 松井亮太, 石田洋樹, 原田宏輝, 速水克, 幕内梨恵, 布部創也
食道胃接合部癌における鏡視下上川法再建の手術成績.
第 33 回日本癌病態治療研究会: 唐津市, 2024, [ワークショップ]
52. 速水克, 布部創也, 吉水祥一, 後藤田卓志, 森戸淳, 李基成, 幕内梨恵, 大橋学, 佐野武
当院における表在型非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術 (D-LECS) の治療成績.
第 33 回日本癌病態治療研究会: 唐津市, 2024, [ワークショップ]
53. Nunobe, S.
Robot vs. Laparoscopy.
16th Korea-Japan-China Laparoscopic Gastrectomy Joint Seminar: Seoul, Korea, 2024, [セッション]
54. Nunobe, S.
Robotic proximal gastrectomy with serosal tunnel technique for EGJ cancer.
16th Korea-Japan-China Laparoscopic Gastrectomy Joint Seminar: Seoul, Korea, 2024, [セッション]
55. Nunobe, S., Suo, J., Choi, S.
Splenic hilar dissection.
16th Korea-Japan-China Laparoscopic Gastrectomy Joint Seminar: Seoul, Korea, 2024, [セッション]
56. Nunobe, S.
Double flap technique after proximal gastrectomy.
27th Scientific Conference of the Korean Laparoendoscopic Gastrointestinal Surgery Study Group: Seoul, Korea, 2024, [シンポジウム]

57. Nunobe, S.
Hybrid in robotic surgery.
27th Scientific Conference of the Korean Laparoendoscopic Gastrointestinal Surgery Study Group: Seoul, Korea, 2024, [セッション]
58. Nunobe, S.
Global debate the final round: double tract reconstruction (DTR) vs double flap technique (DFT) (Voting) .
FORegut Surgery International Congress (FORS 2024) : Seoul, Korea, 2024, [発表形式不明]
59. Nunobe, S.
Recent LECS practices in Japan.
FORegut Surgery International Congress (FORS 2024) : Seoul, Korea, 2024, [発表形式不明]
60. 松井亮太
LLL diploma は外科医の人生を変える : LLL から学ぶ臨床と教育と研究の関わり方 .
日本栄養治療学会首都圏支部第 15 回支部学術集会 : 東京 , 2024, [要望演題]
61. 入野誠之
合併症ゼロの腹腔鏡下胃切除術 .
第 49 回日本外科系連合学会学術集会 : 東京 , 2024, [ランチョンセミナー]
62. 佐野武
胃 .
第 78 回手術手技研究会 : 福岡市 , 2024, [司会]
63. 原田宏輝 , 速水克 , 李基成 , 幕内梨恵 , 入野誠之 , 佐野武 , 布部創也
上部胃癌に対するロボット支援下胃切除術における良好な視野展開のための工夫 .
第 872 回外科集談会 : 東京 , 2024, [口述発表]
64. Sano, T.
Future of gastric cancer surgery.
10th Asia-Pacific Gastroesophageal Cancer Congress Singapore, 2024, [講演]
65. 松井亮太 , 胡慶江 , 森戸淳 , 東園和哉 , 杉田裕 , 石田洋樹 , 原田宏輝 , 李基成 , 幕内梨恵 , 入野誠之 , 速水克 , 大橋学 , 布部創也
周術期 immunonutrition は上部消化管がん患者の術後合併症を減少できるか : a systematic review and meta-analysis.
日本外科代謝栄養学会第 61 回学術集会 : 大阪市 , 2024, [シンポジウム]
66. Hayami, M., Lindblad, M., Nilsson, M., Rouvelas, I.
Minimally invasive esophagectomy for esophageal cancer in Sweden.
第 78 回日本食道学会学術集会 : 東京 , 2024, [口述発表]
67. 原田宏輝 , 大橋学 , 李基成 , 幕内梨恵 , 速水克 , 熊谷厚志 , 比企直樹 , 佐野武 , 布部創也
腹腔鏡下幽門保存胃切除における体腔内器械式吻合と体腔外手縫い吻合の安全性についての比較検討 .
第 79 回日本消化器外科学会総会 : 下関市 , 2024, [ワークショップ]
68. 布部創也
合併症低減を追求した PG 再建 : より高位での吻合 .
第 79 回日本消化器外科学会総会 : 下関市 , 2024, [ランチョンセミナー]
69. 布部創也
胃・十二指腸 : 噴門側胃切除 1.
第 79 回日本消化器外科学会総会 : 下関市 , 2024, [座長]
70. 幕内梨恵 , 李基成 , 速水克 , 大橋学 , 布部創也
ロボット支援下胃切除術の安全性 , 経済性 , 教育的視点からの検討 .
第 79 回日本消化器外科学会総会 : 下関市 , 2024, [パネルディスカッション]
71. 杉田裕 , 幕内梨恵 , 李基成 , 速水克 , 大橋学 , 布部創也
残胃癌に対する遠位側胃切除と残胃全摘の栄養学的変化と長期予後の検討 .
第 79 回日本消化器外科学会総会 : 下関市 , 2024, [要望演題]

72. 李基成, 布部創也, 成田丈格, 瀬戸泰之, 河添悦昌, 大江和彦, 東里奈, 竹下修由
機械学習を用いて胃癌術後の合併症を予測する多施設後ろ向き研究.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ポスター発表]
73. 東園和哉, 大橋学, 李基成, 幕内梨恵, 速水克, 布部創也
思 春 期 ・ 若 年 成 人 (AYA : adolescents and young adults) 世代胃癌患者の臨床病理学的検討.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ポスター発表]
74. 松井亮太, 杉田裕, 石田洋樹, 原田宏輝, 李基成, 幕内梨恵, 速水克, 大橋学, 布部創也
胃がん根治切除症例における術後プレアルブミン値の推移と予後との関係.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ワークショップ]
75. 森戸淳, 幕内梨恵, 李基成, 速水克, 大橋学, 布部創也
高齢者における胃切除後骨障害に対する幽門保存胃切除術の意義.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ポスター発表]
76. 石田洋樹, 布部創也, 李基成, 幕内梨恵, 速水克, 大橋学
十二指腸球部 NET に対する手術治療.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ポスター発表]
77. 胡慶江, 大橋学, 李基成, 速水克, 幕内梨恵, 布部創也
食道胃接合部癌における鏡視下上川法再建の手術成績.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ポスター発表]
78. 速水克, 李基成, 幕内梨恵, 大橋学, 布部創也
局所進行胃癌に対するロボット支援下胃全摘術の手技の工夫.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ポスター発表]
79. Irino, T.
No.6 Lymphadenectomy and reconstruction of the digestive tract after laparoscopic gastrectomy for gastric cancer: tips and tricks.
GS TTT Training for CHO RAY Hospital : Laparoscopic Gastrectomy (2nd Training) : Ho Chi Minh City, Vietnam, 2024, [講演]
80. Nunobe, S.
Laparoscopic total gastrectomy: How do I perform?
GS TTT Training for CHO RAY Hospital : Laparoscopic Gastrectomy (2nd Training) : Ho Chi Minh City, Vietnam, 2024, [講演]
81. Hayami, M., Ohashi, M., Kurihara, N., Nunobe, S.
Adequate gross resection margin length ensuring pathologically complete resection in gastrectomy for gastric cancer : a systematic review and meta-analysis.
Korea International Gastric Cancer Week 2024 (KINGCA WEEK 2024) : Seoul, South Korea, 2024, [ポスター発表]
82. Ri, M., Ohashi, M., Makuuchi, R., Hayami, M., Irino, T., Sano, T., Nunobe, S.
Effects of polyglycolic acid mesh on reducing pancreas-related complications following minimally invasive gastric cancer surgery : a propensity score matching analysis.
Korea International Gastric Cancer Week 2024 (KINGCA WEEK 2024) : Seoul, South Korea, 2024, [ポスター発表]
83. Sano, T.
Metastatic gastric cancer.
European Chapter Congress of the International Gastric Cancer Association (IGCA) : Siena, Italy, 2024, [座長]
84. Sano, T.
Tailored lymphadenectomy in clinical stages I/II gastric cancer.

- European Chapter Congress of the International Gastric Cancer Association (IGCA) :
Siena, Italy, 2024, [セッション]
85. 佐野武
医療経済の観点からみた消化器診療の方向性 .
第 32 回日本消化器関連学会週間 (JDDW
2024 : 消化器外科学会・消化器病学会・消化
器内視鏡学会・肝臓学会・消化器がん検診学会) :
神戸市, 2024, [司会]
86. 布部創也
上部消化管癌に対するロボット支援下手術の工
夫 .
第 32 回日本消化器関連学会週間 (JDDW
2024 : 消化器外科学会・消化器病学会・消化
器内視鏡学会) : 神戸市, 2024, [司会]
87. 幕内梨恵, 速水克, 布部創也
進行胃癌に対するロボット支援下胃切除術の安
全性・有効性の検証 .
第 32 回日本消化器関連学会週間 (JDDW
2024 : 消化器外科学会・消化器病学会・消化
器内視鏡学会) : 神戸市, 2024, [パネルディ
スカッション]
88. 松井亮太, 胡慶江, 森戸淳, 山本森太郎, 東園
和哉, 杉田裕, 石田洋樹, 原田宏輝, 李基成,
幕内梨恵, 入野誠之, 速水克, 大橋学, 布部創
也
長期予後と死因分析からみた超高齢胃癌患者
の手術適応と予後不良因子の検討 .
第 32 回日本消化器関連学会週間 (JDDW
2024 : 消化器外科学会) : 神戸市, 2024, [デ
ジタルポスターセッション]
89. 松井亮太
術前栄養介入後のプレアルブミン値上昇は胃癌
根治切除後の全生存期間に関わる独立した予
後因子である .
第 46 回日本臨床栄養学会総会 / 第 45 回日本
臨床栄養協会総会 第 22 回大連合大会 : 東京,
2024, [口述発表]
90. 布部創也, 入野誠之, 幕内梨恵, 速水克, 李基
成
胃癌に対する機能温存手術の工夫と手術成
績 .
第 62 回日本癌治療学会学術集会 : 福岡市,
2024, [シンポジウム]
91. 胡慶江, 大橋学, 李基成, 幕内梨恵, 入野誠之,
速水克, 佐野武, 布部創也
腹腔鏡手術と比較したロボット支援下上川法再
建術の安全性について .
第 62 回日本癌治療学会学術集会 : 福岡市,
2024, [一般口演]
92. Sano, T.
Can we tailor lymphadenectomy for resect-
able gastric cancer?
2024 Annual Congress of Surgical Branch
of Jiangsu Medical Association and the 12th
Jinling International Gastric Cancer Con-
gress: Nanjing, Chaina, 2024, [講演]
93. 杉田裕, 布部創也, 李基成, 幕内梨恵, 入野誠
之, 速水克, 大橋学
食道胃接合部 SMT に対する LECS 施行症例の
検討 .
第 28 回腹腔鏡内視鏡合同手術研究会 : 神戸市,
2024, [一般口演]
94. 布部創也
ロボット手術における電気メス使用のコツ .
第 54 回胃外科・術後障害研究会 : 仙台市,
2024, [司会]
95. 布部創也, 木南伸一
術後愁訴・QOL の経時的变化は予測可能か?
第 54 回胃外科・術後障害研究会 : 仙台市,
2024, [司会]
96. 李基成, 大橋学, 幕内梨恵, 速水克, 入野誠之,
佐野武, 布部創也
ポリグリコール酸シートが低侵襲胃癌手術後の
脾関連合併症に及ぼす効果 .
第 54 回胃外科・術後障害研究会 : 仙台市,
2024, [要望演題]

97. 塚原啓司, 速水克, 李基成, 幕内梨恵, 入野誠之, 布部創也
悪性胃十二指腸閉塞 (Gastric Outlet Obstruction : GOO) に対する胃空腸バイパス術における Partition の意義 .
第 86 回日本臨床外科学会学術集会 : 宇都宮市, 2024, [口述発表]
98. 布部創也, 胡慶江, 幕内梨恵, 李基成, 速水克, 入野誠之
食道胃接合部癌に対する観音開き法再建の最適化と工夫 .
第 86 回日本臨床外科学会学術集会 : 宇都宮市, 2024, [パネルディスカッション]
99. 松井亮太, 塚原啓司, 添野孝文, 胡慶江, 森戸淳, 東園和哉, 杉田裕, 石田洋樹, 李基成, 幕内梨恵, 入野誠之, 速水克, 布部創也
術前栄養介入によるプレアルブミン値の変化が胃がん術後の長期予後に及ぼす影響 .
第 86 回日本臨床外科学会学術集会 : 宇都宮市, 2024, [ワークショップ]
100. Nunobe, S.
Function-preserving gastrectomy.
2024 Seoul International Gastric Cancer Forum (SIGCF) and 53rd Korean Laparo-endoscopic Gastrointestinal Surgery Study Group (KLASS) Workshop: Seoul, Korea, 2024, [セッション]
101. Sano, T.
Special lecture 2.
Seoul International GC Forum & KLASS workshop: Seoul, Korea, 2024, [特別講演]
102. 入野誠之, 石田洋樹, 杉田裕, 松井亮太, 李基成, 幕内梨恵, 速水克, 大橋学, 布部創也
残胃癌に対する低侵襲手術のコツとピットフォール .
第 37 回日本内視鏡外科学会総会 : 福岡市, 2024, [ワークショップ]
103. 布部創也, 大内田研宙
低侵襲手術時代における噴門側胃切除の再建の工夫と成績 .
第 37 回日本内視鏡外科学会総会 : 福岡市, 2024, [司会]
104. 幕内梨恵, 李基成, 入野誠之, 速水克, 布部創也
ロボット支援下胃全摘後の RY 再建の工夫と短期成績 .
第 37 回日本内視鏡外科学会総会 : 福岡市, 2024, [口述発表]
105. 李基成
不易流行 continuity and change : 胃癌術後合併症ゼロの世界を目指せ !
第 37 回日本内視鏡外科学会総会 : 福岡市, 2024, [教育講演]
106. 李基成, 幕内梨恵, 速水克, 入野誠之, 大橋学, 布部創也
局所進行胃癌に対する低侵襲胃全摘術の短期成績 .
第 37 回日本内視鏡外科学会総会 : 福岡市, 2024, [ワークショップ]
107. 東園和哉, 大橋学, 塚原啓司, 添野孝文, 森戸淳, 胡慶江, 杉田裕, 松井亮太, 石田洋樹, 李基成, 幕内梨恵, 入野誠之, 速水克, 布部創也
思春期・若年成人 (AYA : adolescents and young adults) 世代胃癌患者に対する腹腔鏡下保存胃切除の有用性 .
第 37 回日本内視鏡外科学会総会 : 福岡市, 2024, [ミニオーラル]
108. 松井亮太, 塚原啓司, 添野孝文, 胡慶江, 森戸淳, 東園和哉, 杉田裕, 石田洋樹, 李基成, 幕内梨恵, 入野誠之, 速水克, 布部創也
進行胃癌における術前化学療法後の低侵襲手術の長期成績 : a propensity score matching analysis.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会 : 福岡市, 2024, [ミニオーラル]
109. 森戸淳, 幕内梨恵, 李基成, 入野誠之, 速水克, 布部創也
噴門部良性粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡下腫瘍核出術の治療成績 .

第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，
2024, [ミニオーラル]

110. 石田洋樹，速水克，李基成，幕内梨恵，入野誠之，布部創也

上部進行胃癌に対する脾門部郭清を伴う腹腔鏡下胃全摘術の手術手技．

第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，
2024, [口述発表]

111. 胡慶江，入野誠之，李基成，幕内梨恵，速水克，布部創也

鏡視下噴門側胃切除上川法再建の手術成績について．

第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，
2024, [パネルディスカッション]

112. 速水克，石田洋樹，李基成，幕内梨恵，入野誠之，布部創也

大彎浸潤のある胃上部進行胃癌に対する低侵襲胃全摘＋脾摘術．

第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，
2024, [シンポジウム]

【大腸外科】

1. Akiyoshi, T.
Minimally-invasive lateral lymph node dissection in the era of total neoadjuvant therapy.
International Colorectal Disease Symposium (ICDS 2024) Hong Kong, 2024, [講演]
2. Akiyoshi, T.
Robotic LPLND.
International Colorectal Disease Symposium (ICDS 2024) Hong Kong, 2024, [講演]
3. 福長洋介
Hybrid RAS：直腸切除・結腸切除それぞれのテクニック．
第 100 回大腸癌研究会学術集会：浜松市，
2024, [イブニングセミナー]

4. 福長洋介
大腸癌の至適リンパ節郭清．
第 100 回大腸癌研究会学術集会：浜松市，
2024, [座長]
5. 秋吉高志
若手外科医に伝えたい腹腔鏡下 / ロボット支援下直腸癌手術のコツ．
第 100 回大腸癌研究会学術集会：浜松市，
2024, [モーニングセミナー]
6. 山口智弘，花岡まりえ
下部消化管⑦．
第 16 回日本ロボット外科学会学術集会：米子市，2024, [座長]
7. 山口智弘，野口竜剛，坂本貴志，櫻井翼，松井信平，向井俊貴，秋吉高志，福長洋介
結腸癌に対するロボット手術の現状．
第 16 回日本ロボット外科学会学術集会：米子市，2024, [シンポジウム]
8. 向井俊貴
切除可能肝転移を有する直腸癌に対する治療戦略．
第 20 回日本消化管学会総会学術集会：宜野湾市，2024, [ワークショップ]
9. 山口智弘，賀川弘康
Da Vinci LIVE 1：結腸右半切除．
第 2 回ロボット大腸切除研究会：東京，2024, [ディスカッサント]
10. 山口智弘，賀川弘康
Da Vinci LIVE 2：側方郭清．
第 2 回ロボット大腸切除研究会：東京，2024, [ディスカッサント]
11. 佐藤健太郎
完全閉塞に至らないスコープ通過不能左側大腸癌に対する一期的切除吻合の妥当性について．
第 60 回日本腹部救急医学会総会：北九州市，
2024, [シンポジウム]

12. Akiyoshi, T.
Pelvic lateral lymph nodes dissection.
ASIA IRCAD-TAIWAN LAPAROSCOPIC & ROBOTIC COLORECTAL SURGERY MASTER COURSE: Taiwan, 2024, [講演]
13. 南原翔, 松井信平, 櫻井翼, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
当院における直腸癌患者の術後排便機能の後方視的検討.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ポスター発表]
14. 原口英里奈, 向井俊貴, 松井信平, 櫻井翼, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
閉塞性大腸癌に対する SEMS の Bridge to surgery の至適時期.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ポスター発表]
15. 向井俊貴, 松井信平, 櫻井翼, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
局所再発直腸癌に対する鏡視下手術手技の定型化と治療成績.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [シンポジウム]
16. 坂本貴志, 向井俊貴, 野口竜剛, 櫻井翼, 松井信平, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
隣接臓器合併切除を伴うロボット直腸癌手術の成績と手技の工夫.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ワークショップ]
17. 小澤直也, 松井信平, 野口竜剛, 櫻井翼, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
大腸印環細胞癌の検討.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ポスター発表]
18. 尾崎公輔, 櫻井翼, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
系統的リンパ節郭清を伴う回盲部切除術を施行した虫垂神経内分泌腫瘍の 4 例.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ポスター発表]
19. 山口智弘, 秋吉高志, 野口竜剛, 坂本貴志, 櫻井翼, 松井信平, 向井俊貴, 福長洋介
下部進行直腸癌に対する total neoadjuvant therapy と nonoperative management.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ワークショップ]
20. 山口智弘
括約筋間直腸切除術 (ISR) .
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ランチオンセミナー]
21. 松井信平, 秋吉高志, 櫻井翼, 向井俊貴, 山口智弘, 福長洋介
術前放射線療法を施行した下部直腸癌術後の晩期合併症についての検討.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [サージカルフォーラム]
22. 櫻井翼, 野口竜剛, 坂本貴志, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 河内洋, 福長洋介
直腸神経内分泌腫瘍における側方リンパ節転移の危険因子と予後への影響.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ポスター発表]
23. 甲津卓実, 松井信平, 櫻井翼, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
術前治療を施行した直腸粘液癌の治療成績.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ポスター発表]
24. 秋吉高志
局所進行直腸癌治療のパラダイムシフト: TNT から NOM まで: International.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [司会]
25. 秋吉高志, 櫻井翼, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 福長洋介, 河内洋, 森誠一
進行下部直腸癌における治療前生検検体のゲノム・トランスクリプトーム解析による術前化学放射線療法効果予測.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ワークショップ]

26. 野口竜剛, 秋吉高志, 櫻井翼, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 福長洋介
当院における側方リンパ節転移陽性直腸癌に対する術前治療の治療効果.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [サージカルフォーラム]
27. 山口智弘, 秋吉高志, 野口竜剛, 坂本貴志, 櫻井翼, 松井信平, 向井俊貴, 福長洋介
下部進行直腸癌に対する最適な術前治療: TNT と NOM を行う立場から.
第 49 回日本外科系連合学会学術集会: 東京, 2024, [パネルディスカッション]
28. 秋吉高志
ロボット支援下直腸癌手術の陰と陽.
第 78 回手術手技研究会: 福岡市, 2024, [口述発表]
29. 神馬真里奈, 坂本貴志, 山下享子, 甲津卓実, 野口竜剛, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
骨盤内に発生した巨大 Solitary fibrous tumor (SFT) の 1 例.
第 872 回外科集談会: 東京, 2024, [口述発表]
30. Akiyoshi, T., Mizushima, T.
Lower digestive tract : current status of robotic and laparoscopic surgery for locally advanced rectal cancer and efforts for overcoming issues.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [座長]
31. Sakamoto, T., Fukunaga, Y., Noguchi, T., Sakurai, T., Matsui, S., Mukai, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T.
Comparing oncological outcomes between transverse vs right hemi-colectomy in transverse colon cancer/ 右側および中央部横行結腸癌における横行結腸切除術と右半結腸切除術の短期・長期成績比較.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [シンポジウム]
32. 佐藤健太郎, 松井信平, 野口竜剛, 坂本貴志, 櫻井翼, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
腹水細胞診陽性の大腸癌腹膜播種に対する肉眼的 R0 切除手術の妥当性について.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ポスター発表]
33. 南原翔, 松井信平, 櫻井翼, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
直腸癌患者の術後排便機能の後方視的検討.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ポスター発表]
34. 向井俊貴
大腸: 術前治療 3.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [座長]
35. 向井俊貴, 松井信平, 櫻井翼, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
局所再発直腸癌に対する鏡視下手術の治療成績と課題.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ワークショップ]
36. 小澤直也, 山口智弘, 野口竜剛, 坂本貴志, 櫻井翼, 松井信平, 向井俊貴, 秋吉高志, 福長洋介
体腔内吻合を行った右側結腸癌手術における腸管前処置と SSI との関係.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [要望演題]
37. 尾崎公輔, 向井俊貴, 野口竜剛, 坂本貴志, 松井信平, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
左側大腸癌術後の骨盤内再発に対する腹腔鏡下骨盤内臓摘除術の治療成績.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ポスター発表]
38. 山口智弘
大腸: 術前治療 2.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [座長]

39. 山口智弘
直腸がん治療の未来を探る：進行直腸がんを考える。
第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，2024, [ランチョンセミナー]
40. 山口智弘，秋吉高志，野口竜剛，坂本貴志，櫻井翼，松井信平，向井俊貴，福長洋介
術前治療後に病理学的完全奏効となった直腸癌の長期成績と Nonoperative management の経験。
第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，2024, [パネルディスカッション]
41. 松井信平，秋吉高志，向井俊貴，山口智弘，福長洋介
術前放射線治療を施行した直腸癌根治手術後の再発症例に対する治療戦略とその治療成績について。
第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，2024, [ポスター発表]
42. 甲津卓実，向井俊貴，坂本貴志，野口竜剛，櫻井翼，松井信平，山口智弘，秋吉高志，福長洋介
肥満症例に対する鏡視下直腸癌手術の治療成績。
第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，2024, [要望演題ビデオ]
43. 福長洋介
大腸：術前治療 4。
第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，2024, [座長]
44. 秋吉高志，野口竜剛，坂本貴志，櫻井翼，松井信平，向井俊貴，山口智弘，福長洋介
TNT 時代における進行下部直腸癌に対する側方郭清の意義。
第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，2024, [パネルディスカッション]
45. 秋山貴彦，松井信平，野口竜剛，坂本貴志，櫻井翼，向井俊貴，山口智弘，秋吉高志，福長洋介
当院における急性虫垂炎に対する治療方針の検討。
第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，2024, [ポスター発表]
46. 野口竜剛，秋吉高志，坂本貴志，松井信平，向井俊貴，山口智弘，河内洋，福長洋介
進行下部直腸癌に対する、前治療と側方郭清を含めた治療戦略。
第 101 回大腸癌研究会学術集会：名古屋市，2024, [口述発表]
47. 甲津卓実，山口智弘，松浦信子，南原翔，坂本貴志，野口竜剛，松井信平，向井俊貴，秋吉高志
ロボット支援下直腸手術における小開腹先行アプローチの有用性。
第 55 回東京ストーマリハビリテーション研究会：東京，2024, [口述発表]
48. 坂本貴志，甲津拓実，野口竜剛，松井信平，向井俊貴，山口智弘，秋吉高志，福長洋介
機械学習を用いた直腸癌術後再発予測モデルの構築。
第 32 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2024：消化器外科学会）：神戸市，2024, [デジタルポスターセッション]
49. 安藤陽平，櫻井翼，野口竜剛，坂本貴志，松井信平，大庭篤志，向井俊貴，山口智弘，秋吉高志，福長洋介
Mismatch repair deficient の同時性肝転移を伴う下部直腸癌に対する PD-1 阻害薬，手術，watch and wait を組み合わせた治療戦略。
第 32 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2024：消化器外科学会）：神戸市，2024, [デジタルポスターセッション]
50. 甲津卓実，篠崎英司，秋吉高志，坂本貴志，野口竜剛，松井信平，向井俊貴，山口智弘，福岡聖大，大隅寛木，若槻尊，田口千蔵，河内洋，山口研成，福長洋介
進行直腸癌に対する術前治療後の病理組織学的効果および腫瘍縮小パターンの検討。
第 32 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2024：消化器外科学会）：神戸市，2024, [デジタルポスターセッション]

51. 向井俊貴, 野口竜剛, 坂本高志, 松井信平, 山口智弘, 秋吉高志
切除不能大腸癌肝転移に対する Conversion surgery の治療成績.
第 62 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [パネルディスカッション]
52. 山口智弘
ロボット支援下直腸癌手術の短期・長期成績と次世代への技術伝承.
第 62 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [シンポジウム]
53. 松井信平, 南原翔, 野口竜剛, 坂本貴志, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
直腸癌術後の排便機能障害の長期的観察研究.
第 62 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [一般口演]
54. 秋吉高志, 篠崎英司, 田口千蔵, 千野晶子, 小山眞道, 野口竜剛, 坂本貴志, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 山口研成
局所進行直腸癌に対する non-operative management (NOM) の現状と問題点.
第 62 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [ワークショップ]
55. 野口竜剛, 坂本貴志, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 河内洋, 秋吉高志
進行下部直腸癌に対する術前化学放射線療法後の組織学的治療効果.
第 28 回日本外科病理学会学術集会: 東京, 2024, [シンポジウム]
56. 佐藤健太郎, 福長洋介, 高松学, 野口竜剛, 坂本貴志, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘
スコープ通過不能左側大腸癌に対する大腸ステント留置が長期予後に与える影響に関する検討.
第 79 回日本大腸肛門病学会学術集会: 横浜市, 2024, [口述発表]
57. 南原翔, 松井信平, 野口竜剛, 坂本貴志, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
当院における直腸癌患者の術後排便機能障害の後方視的検討によるリスク因子の抽出.
第 79 回日本大腸肛門病学会学術集会: 横浜市, 2024, [口述発表]
58. 坂本貴志, 野口竜剛, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
機械学習を用いた直腸癌術後再発予測モデルの構築と評価.
第 79 回日本大腸肛門病学会学術集会: 横浜市, 2024, [パネルディスカッション]
59. 山口智弘, 甲津卓実, 野口竜剛, 坂本貴志, 松井信平, 向井俊貴, 秋吉高志, 福長洋介
結腸癌に対するロボット支援手術の現状と課題.
第 79 回日本大腸肛門病学会学術集会: 横浜市, 2024, [ビデオワークショップ]
60. 松井信平, 秋吉高志, 野口竜剛, 坂本貴志, 向井俊貴, 山口智弘, 福長洋介
術前放射線療法後の直腸癌術後慢性期合併症に対する側方リンパ節郭清の影響について.
第 79 回日本大腸肛門病学会学術集会: 横浜市, 2024, [要望演題]
61. 秋山貴彦, 松井信平, 甲津卓実, 野口竜剛, 坂本貴志, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
大腸粘液性腺癌の補助化学療法効果の検討.
第 79 回日本大腸肛門病学会学術集会: 横浜市, 2024, [ポスター発表]
62. 野口竜剛, 山口智弘, 坂本貴志, 松井信平, 向井俊貴, 秋吉高志, 福長洋介
腹腔鏡下結腸癌手術における体腔内吻合: 術後合併症と予後に関する検討.
第 79 回日本大腸肛門病学会学術集会: 横浜市, 2024, [パネルディスカッション]
63. 向井俊貴
当院のロボット大腸がん手術の取組み: 教育を見据えた手術手技の定型化.
第 86 回日本臨床外科学会学術集会: 宇都宮市, 2024, [学術セミナー]

64. 神馬真里奈, 坂本貴志, 河内洋, 甲津卓実, 野口竜剛, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
術前治療を行なった若年性直腸癌と非若年性直腸癌の背景および予後の比較検討.
第 86 回日本臨床外科学会学術集会: 宇都宮市, 2024, [ワークショップ]
65. 秋吉高志
下部進行直腸癌に対する術前治療と術前治療奏功例に対する治療方針について.
第 86 回日本臨床外科学会学術集会: 宇都宮市, 2024, [司会]
66. 野口竜剛, 山口智弘, 坂本貴志, 松井信平, 向井俊貴, 秋吉高志, 福長洋介
進行下部直腸癌に対する術前化学放射線療法の治療成績: TME と watch and wait.
第 86 回日本臨床外科学会学術集会: 宇都宮市, 2024, [パネルディスカッション]
67. 原口英里奈, 向井俊貴, 甲津卓実, 野口竜剛, 坂本貴志, 松井信平, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
骨盤内悪性腫瘍に対する経肛門的鏡視下アプローチ併用 2 チーム手術の治療成績.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [ワークショップ]
68. 向井俊貴, 野口竜剛, 坂本貴志, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
Total neoadjuvant therapy 後の側方リンパ節郭清の治療成績と手技の要点.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [パネルディスカッション]
69. 向井俊貴
下部悪性: ロボット支援手術 3.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [司会]
70. 坂本貴志, 甲津卓実, 野口竜剛, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
若手外科医から見た大腸ロボット支援手術教育の現状.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [ワークショップ]
71. 安藤陽平, 野口竜剛, 甲津卓実, 坂本貴志, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
直腸癌手術の肛門側切離端決定における直腸診と術中内視鏡の比較.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [口述発表]
72. 小澤直也, 野口竜剛, 甲津卓実, 坂本貴志, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
腹腔鏡下およびロボット支援下直腸癌手術における SSI を減少させる最適な腸管前処置の検討.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [ミニオーラル]
73. 尾崎公輔, 向井俊貴, 甲津卓実, 野口竜剛, 坂本貴志, 松井信平, 山口智弘, 秋吉高志
直腸癌術後骨盤内再発症例に対する低侵襲骨盤内臓摘除術の治療成績.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [シンポジウム]
74. 山口智弘
下部悪性: ロボット手術: 結腸 7.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [司会]
75. 松井信平, 秋吉高志, 山口智弘, 向井俊貴, 坂本貴志, 野口竜剛, 福長洋介
術前放射線療法後の直腸癌腹腔鏡術後合併症に対する側方リンパ節郭清手技の影響について.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [パネルディスカッション]
76. 甲津卓実, 山口智弘, 坂本貴志, 野口竜剛, 松井信平, 向井俊貴, 秋吉高志, 福長洋介
ロボット支援下結腸癌手術に対する定型化の取り組み.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [口述発表]
77. 神馬真里奈, 向井俊貴, 甲津卓実, 野口竜剛, 坂本貴志, 松井信平, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介

直腸 GIST に対する上直腸動脈完全温存鏡視下括約筋間直腸切除術の有用性。

第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [ミニオーラル]

78. 秋吉高志

低侵襲拡大手術：これまで・そしてこれからの歩み。

第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [教育講演]

79. 秋吉高志，沖英次

術前治療を行った直腸癌に対する鏡視下手術治療戦略。

第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [司会]

80. 竹中僚一，向井俊貴，甲津卓実，坂本貴志，野口竜剛，松井信平，山口智弘，秋吉高志，福長洋介

当科における局所進行結腸癌に対する腹腔鏡下他臓器切除術の治療成績。

第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [口述発表]

81. 野口竜剛，山口智弘，甲津卓実，坂本貴志，松井信平，向井俊貴，秋吉高志，福長洋介

ロボット支援下直腸癌手術の短期・長期成績：傾向スコアマッチングによる腹腔鏡下直腸癌手術との比較。

第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [シンポジウム]

【肝胆脾外科】

1. 小野嘉大，井上陽介，小林光助，大庭篤志，佐藤崇文，伊藤寛倫，高橋祐

長期成績から考える後腹膜脂肪肉腫に対する治療戦略。

第 7 回日本サルコーム治療研究学会学術集会：名古屋市，2024, [シンポジウム]

2. 高橋祐，根岸孝仁

一般演題（口演）1。

第 7 回日本サルコーム治療研究学会学術集会：名古屋市，2024, [座長]

3. 高橋祐

後腹膜脂肪肉腫術後、腹腔内再発に対する切除の意義は？

第 7 回日本サルコーム治療研究学会学術集会：名古屋市，2024, [ポスター発表]

4. Inoue, Y.

Arterial resection/ divestment technique for locally advanced pancreatic cancer following neoadjuvant chemotherapy.

HBP SURGERY WEEK 2024: Seoul, Korea 2024, [シンポジウム]

5. Kobayashi, K.

Outcome of initially unresectable colorectal liver metastases: optimization of conversion surgery and outcome after recurrence.

HBP SURGERY WEEK 2024: Seoul, Korea 2024, [口述発表]

6. Inoue, Y.

Principle of totally robotic pancreaticoduodenectomy in vision, trocar, and device.

ISLS-STs 2024: Seoul, Korea, 2024, [シンポジウム]

7. Inoue, Y.

The standardization of robotic liver resection and surgical outcome in our hospital - Lesson learned from robotic pancreatectomy.

Wakayama Medical University International Symposium 2024: 和歌山市，2024, [発表形式不明]

8. Ito, H., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Inoue, Y., Takahashi, Y.

Bile liquid biopsy for biliary cancer: a novel diagnostic tool in the era of precision medicine.

APHPBA 2024: Miami Beach, FL, USA, 2024, [口述発表]

9. Ito, H.

Mini Oral Session.

APHPBA 2024: Miami, FL, USA, 2024, [モデレーター]

10. Inoue, Y.
Cutting-edge of conversion surgery for colorectal liver metastases -experiences in Cancer Institute Hospital.
The Baltic Chapter-E-AHPBA/IHPBA Annual Meeting 2024: Vilnius, Lithuania, 2024, [発表形式不明]
11. 井上陽介
脾臓：合併症対策 .
第 124 回日本外科学会定期学術集会：常滑市，2024, [司会]
12. 大宮康次郎，大庭篤志，馬場逸人，田内潤，宮田辰徳，前川彩，小林光助，小野嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，井上陽介，高橋祐
切除不能脾癌に対する当科での外科的切除の適応とその有用性の検討 .
第 124 回日本外科学会定期学術集会：常滑市，2024, [ワークショップ]
13. 大庭篤志，小林光助，井上陽介，桐谷翔，前川彩，高橋敦，小林拓史，大宮康次郎，小野嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，高橋祐
ロボット支援下脾頭十二指腸切除術の定型化への歩み .
第 124 回日本外科学会定期学術集会：常滑市，2024, [シンポジウム]
14. 宮田辰徳，井上陽介，Takahashi, A., 大庭篤志，小野嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，高橋祐
腹腔動脈合併脾体尾部切除（DP-CAR）の短期予後を改善するための標準術式 .
第 124 回日本外科学会定期学術集会：常滑市，2024, [サージカルフォーラム]
15. 小林光助，井上陽介，大庭篤志，小野嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，高橋祐
再発大腸癌肝転移における腫瘍条件と生物学的悪性度に基づいた治療戦略 .
第 124 回日本外科学会定期学術集会：常滑市，2024, [ワークショップ]
16. 小野嘉大，小林光助，大庭篤志，佐藤崇文，伊藤寛倫，井上陽介，高橋祐
後腹膜脂肪肉腫の治療成績から考える治療戦略 .
第 124 回日本外科学会定期学術集会：常滑市，2024, [パネルディスカッション]
17. 高橋祐
後腹膜肉腫の治療：maximally invasive surgery の継承 .
第 124 回日本外科学会定期学術集会：常滑市，2024, [司会]
18. 高橋祐，井上陽介，伊藤寛倫，佐藤崇文，小野嘉大，大庭篤志
胆道癌に対する Major HPD：肝切除量でみた肝切・PD との術後成績の比較 .
第 124 回日本外科学会定期学術集会：常滑市，2024, [シンポジウム]
19. Inoue, Y., Kiritani, S., Kobayashi, K., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
Left-posterior artery-first approach with scope transition for the dissection of the superior mesenteric artery during robot-assisted pancreaticoduodenectomy.
65th DDW Annual Meeting: Washington, D.C, USA, 2024, [発表形式不明]
20. Baba, H., Inoue, Y., Kobayashi, K., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
The standardization of robot-assisted liver resection and surgical outcome in our hospital.
第 36 回日本肝胆脾外科学会・学術集会：広島市，2024, [ミニオーラル]
21. Hannes, J., Oba, A., Maekawa, A., Kobayashi, K., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Gilg, S., Inoue, Y., D' Souza, M., Takahashi, Y.
Comparative analysis of perihilar cholangiocarcinoma surgical treatments between Western and Eastern centers.
第 36 回日本肝胆脾外科学会・学術集会：広島市，2024, [ミニオーラル]
22. Inoue, Y., Kobayashi, K., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.

Is neoadjuvant therapy really beneficial to obtain cure in patient with resectable pancreatic ductal adenocarcinoma? Our experiences and current evidence.

第 36 回日本肝胆膵外科学会・学術集会：広島市，2024，[ディベート]

23. Ito, H., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Inoue, Y., Takahashi, Y.

Impact of nodal status of intraductal papillary mucinous carcinoma (IPMC) on the long-term outcomes after surgical resection.

第 36 回日本肝胆膵外科学会・学術集会：広島市，2024，[ワークショップ]

24. Kobayashi, K., Ono, Y., Oba, A., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y., Takahashi, Y.

Assessment of the appropriateness of treatment strategy for borderline resectable colorectal liver metastases: combination pre- and postoperative adjuvant chemotherapy.

第 36 回日本肝胆膵外科学会・学術集会：広島市，2024，[パネルディスカッション]

25. Kobayashi, K., Inoue, Y., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.

Robot-assisted laparoscopic pancreatoduodenectomy for pancreas head cancer: concept of artery first approach.

第 36 回日本肝胆膵外科学会・学術集会：広島市，2024，[ビデオワークショップ]

26. Kobayashi, H., Inoue, Y., Kobayashi, K., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.

Usefulness of elevated jejunal drainage tube in robot-assisted pancreaticoduodenectomy.

第 36 回日本肝胆膵外科学会・学術集会：広島市，2024，[ミニオーラル]

27. Maekawa, A., Oba, A., Omiya, K., Kobayashi, K., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y., Takahashi, Y.

Clinical implications of disappearing pancreatic cancer liver metastases in the era of hepatocyte specific MRI.

第 36 回日本肝胆膵外科学会・学術集会：広島市，2024，[口述発表]

28. Oba, A., Omiya, K., Ushida, Y., Inoue, Y., Maekawa, A., Kobayashi, K., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.

ABCD criteria for initially unresectable pancreatic cancer in the era of multidisciplinary treatment.

第 36 回日本肝胆膵外科学会・学術集会：広島市，2024，[ミニシンポジウム]

29. Oba, A., Okada, K.

Resectable pancreatic cancer.

第 36 回日本肝胆膵外科学会・学術集会：広島市，2024，[モデレーター]

30. Omiya, K., Ito, H., Kobayashi, K., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Inoue, Y., Takahashi, Y.

Outcomes of neoadjuvant chemotherapy and pancreatectomy for elderly pancreatic cancer patients over 80 years old.

第 36 回日本肝胆膵外科学会・学術集会：広島市，2024，[ワークショップ]

31. Ono, Y., Inoue, Y., Kobayashi, K., Oba, A., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.

Learning from postoperative complications and their treatment after hepato-pancreato-biliary operation.

第 36 回日本肝胆膵外科学会・学術集会：広島市，2024，[セッション]

32. Takahashi, Y., Kobayashi, K., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y.

Knack and pitfalls of major hepatectomy with combined vascular resection for perihilar cholangiocarcinoma.

第 36 回日本肝胆膵外科学会・学術集会：広島市，2024，[ビデオワークショップ]

33. Takahashi, Y., Kobayashi, K., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y.

- Left trisectionectomy for perihilar cholangiocarcinoma with left-sided predominance.
第 36 回日本肝胆膵外科学会・学術集会：広島市，2024, [パネルディスカッション]
34. Takahashi, Y., Shinoda, M.
Student & Resident 3.
第 36 回日本肝胆膵外科学会・学術集会：広島市，2024, [モデレーター]
35. Tauchi, J., Inoue, Y., Kobayashi, K., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
Incidence and risk factors of chyle leak after pancreaticoduodenectomy : Does robotic dissection have any impact on its incidence and severity?
第 36 回日本肝胆膵外科学会・学術集会：広島市，2024, [ミニオーラル]
36. 桐谷翔，小野嘉大，佐々木隆，大庭篤志，佐藤崇文，伊藤寛倫，井上陽介，尾阪将人，笹平直樹，高橋祐
肝門に近接する肝癌に対する術前 ENBD tube 留置の経験。
第 78 回手術手技研究会：福岡市，2024, [サージカルフォーラム]
37. 高橋祐，小林光助，大庭篤志，小野嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，井上陽介
肝門部領域胆管癌手術の陰と陽。
第 78 回手術手技研究会：福岡市，2024, [主題]
38. 宮田辰徳，伊藤寛倫，小林光助，大庭篤志，小野嘉大，井上陽介，高橋祐
抗 PD-L1 抗体併用化学療法後に肝切除を施行し pCR が得られた肝内胆管癌の一例。
第 872 回外科集談会：東京，2024, [口述発表]
39. 澤優維，井上陽介，桐谷翔，小林光助，大庭篤志，小野嘉大，伊藤寛倫，高橋祐
ロボット支援下膵頭十二指腸切除における Left-Posterior アプローチ。
第 872 回外科集談会：東京，2024, [口述発表]
40. 田内潤，大庭篤志，小林光助，小野嘉大，井上陽介，伊藤寛倫，高橋祐
UR-LA/M 膵頭部癌に対し集学的治療および二期的切除を施行した一例。
第 872 回外科集談会：東京，2024, [口述発表]
41. 井上陽介，大宮康次郎，大庭篤志，前川彩，小林光助，小野嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，佐々木隆，尾阪将人，笹平直樹，高橋祐
転移性膵癌の Best practice とは？Conversion Surgery を最適化する criteria の提案。
第 55 回日本膵臓学会大会：宇都宮市，2024, [シンポジウム]
42. 大宮康次郎，大庭篤志，小林光助，小野嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，井上陽介，高橋祐
CA19-9 非産生膵癌患者の治療効果評価における DUPAN-2 の有用性。
第 55 回日本膵臓学会大会：宇都宮市，2024, [シンポジウム]
43. 大庭篤志，橋本大輔，田中公貴，杉本元一，牛田雄太，菅原俊喬，市田洋文，赤星径一，山本智久，中村透，井上陽介，田邊稔，平野聡，後藤田直人，齋浦明夫，高橋祐，里井壮平
膵癌における化学療法後病理学的完全奏功の意義の検討：国際多施設研究。
第 55 回日本膵臓学会大会：宇都宮市，2024, [特別企画]
44. 小林光助，大庭篤志，馬場逸人，小野嘉大，佐藤崇文，伊藤寛倫，井上陽介，高橋祐
周術期早期回復プログラムに関するアプリの開発導入：膵癌術後の予後改善を目指して。
第 55 回日本膵臓学会大会：宇都宮市，2024, [シンポジウム]
45. 伊藤寛倫，大庭篤志，小野嘉大，佐藤崇文，井上陽介，高橋祐
肝外胆管がん患者に対する胆汁リキッドバイオペシー：プレジジョン医療時代の新しい診断法としての役割。
第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，2024, [ポスター発表]

46. 前川彩, 大庭篤志, 井上陽介, 小林光助, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐
進行膵体部癌に対する門脈合併膵切除の工夫.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ビデオシンポジウム]
47. 大宮康次郎, 伊藤寛倫, 小林光助, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 井上陽介, 高橋祐
80 歳以上の高齢膵頭部癌患者に対する術前化学療法と膵頭十二指腸切除術の治療成績の検討.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ポスター発表]
48. 大庭篤志, 井上陽介, 小林光助, 前川彩, 馬場逸人, 宮田辰徳, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐
ロボット支援下膵頭十二指腸切除術: 現在地と展望.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ビデオシンポジウム]
49. 大庭篤志
低侵襲膵切除術の現状と課題: 治療成績を踏まえて.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [イブニングセミナー]
50. 宮田辰徳, 小野嘉大, 小林光助, 大庭篤志, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
右半結腸切除を伴う膵頭十二指腸切除における上腸間膜動脈周囲神経叢郭清レベルと難治性下痢の関連.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ポスター発表]
51. 小林光助, 井上陽介, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐
Borderline resectable 大腸癌肝転移の基準と至適治療戦略.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [パネルディスカッション]
52. 桐谷翔, 小野嘉大, 大庭篤志, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
HCC 術後の再発形式から考える予後不良症例の検討.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ワークショップ]
53. 馬場逸人, 佐藤崇文, 小林光助, 大庭篤志, 小野嘉大, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
膵癌術前化学療法による筋肉量低下が治療成績に及ぼす影響の検討.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ポスター発表]
54. Oba, A., Taguchi, T., Fujikawa, N., Okami, S., Tsuji, T., Michel, A., Kado, Y., Goshima, S.
Impact of EOB-MRI on the outcome of patients with pancreatic cancer in real-world settings.
ASCO Breakthrough 2024: 横浜市, 2024, [ポスター発表]
55. 井上陽介, 小林光助, 大庭篤志, 小野嘉大, 伊藤寛倫, 高橋祐
膵頭部癌に対するロボット支援下膵頭十二指腸切除の現状とこれからの取組み.
第 51 回日本膵切研究会: 奈良市, 2024, [シンポジウム]
56. 井上陽介
術後合併症 2.
第 51 回日本膵切研究会: 奈良市, 2024, [座長]
57. Inoue, Y.
The optimal candidate for total pancreatectomy in patients with pre-malignant diseases: updates of recent evidences and our experiences.
ACKSC 2024: Seoul, Korea, 2024, [発表形式不明]
58. Inoue, Y.
How to minimize the blood loss during pancreatectomy? Our suggestions based on 125 RPD experiences.
IASGO-CME Advanced Post-Graduate Course in Tokyo 2024: 東京, 2024, [発表形式不明]

59. 井上陽介
一般演題 1 (ポスター) .
第 18 回膵癌術前治療研究会：鹿児島市，
2024, [司会]
60. 高橋祐，井上陽介，小野嘉大
肝門部領域胆管癌 Bismuth type I&II における
肝切除，右から取るべきか？
第 32 回日本消化器関連学会週間 (JDDW
2024：消化器外科学会・消化器病学会・消化
器内視鏡学会・肝臓学会)：神戸市，2024, [シ
ンポジウム]
61. 大宮康次郎，大庭篤志，小林光助，小野嘉大，
佐藤崇文，伊藤寛倫，井上陽介，高橋祐
Biological borderline resectable 膵癌患者に
対する術前化学療法の有効性の検討 .
第 32 回日本消化器関連学会週間 (JDDW
2024：消化器外科学会)：神戸市，2024, [デ
ジタルポスターセッション]
62. 高橋祐
高齢者胆道癌 2.
第 60 回日本胆道学会学術集会：名古屋市，
2024, [座長]
63. Inoue, Y.
Conversion surgery in hepato-biliary ad-
vanced cancers, Inoue and CIH experienc-
es.
Affiliated hospital of Jingnan University:
Wuxi, China, 2024, [招待講演]
64. Inoue, Y.
Gan-ken style pancreatectomy for invasive
pancreatic cancers detail of our approach
based on philosophy of Japanese cancer
surgery.
Hepatobiliary and Pancreatic Surgery Sa-
lon: Jiangyin, China, 2024, [招待講演]
65. 井上陽介
ロボット膵切除における出血最少化のコツと出
血時対応オプション .
第 18 回肝臓内視鏡外科研究会 / 第 16 回膵臓
内視鏡外科研究会：宇都宮市，2024, [シンポ
ジウム]
66. 井上陽介
症例報告 .
第 18 回肝臓内視鏡外科研究会 / 第 16 回膵臓
内視鏡外科研究会：宇都宮市，2024, [司会]
67. 小林光助，井上陽介，大庭篤志，小野嘉大，伊
藤寛倫，高橋祐
SMV 浸潤膵頭部癌に対するロボット支援膵頭
十二指腸切除術の可能性：left posterior ap-
proach and parachute technique.
第 18 回肝臓内視鏡外科研究会 / 第 16 回膵臓
内視鏡外科研究会：宇都宮市，2024, [セッ
ション]
68. 澤優維，井上陽介，小林光助，大庭篤志，小野
嘉大，伊藤寛倫，高橋祐
主膵管の腹側を走行する replaced hepatic ar-
tery を持つ膵管内乳頭粘液性腫瘍に対してロ
ボット支援下膵頭十二指腸切除術を施行した一
例 .
第 18 回肝臓内視鏡外科研究会 / 第 16 回膵臓
内視鏡外科研究会：宇都宮市，2024, [一般演
題]
69. 馬場逸人，井上陽介，小林光助，大庭篤志，小
野嘉大，伊藤寛倫，高橋祐
Scope transition technique を活用したロボッ
ト支援肝切除の定型化の工夫と短期成績 .
第 18 回肝臓内視鏡外科研究会 / 第 16 回膵臓
内視鏡外科研究会：宇都宮市，2024, [スポン
サードセッション]
70. 井上陽介，小林光助，大庭篤志，小野嘉大，伊
藤寛倫，高橋祐
膵頭部癌に対するロボット膵切除術の現状と展
望 .
第 86 回日本臨床外科学会学術集会：宇都宮市，
2024, [ビデオパネルディスカッション]
71. 井上陽介，小林光助，大庭篤志，小野嘉大，高
橋祐
見ていて安心感のある腹腔鏡下膵体尾部切除：
基本となる考え方と手術の組み立て .
第 86 回日本臨床外科学会学術集会：宇都宮市，
2024, [ビデオシンポジウム]

72. Inoue, Y.
Is robotic pancreatoduodenectomy superior to open pancreatoduodenectomy? Latest updates on our left-posterior approach for pancreatic cancer resection.
Talk to MIS Master Forum: Taipei, Taiwan, 2024, [招待講演]
73. Inoue, Y., Kobayashi, K., Oba, A., Ono, Y., Takahashi, Y.
Left posterior artery-first approach during robotic pancreatoduodenectomy for pancreas head cancers.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [セッション]
74. Oba, A., Baba, H., Nagakawa, Y., Nakamura, M., Yamaki, S., Tanaka, K., Kitago, M., Takami, H., Ishikawa, Y., Ijichi, T., Ogi, K., Ban, D., Uemura, K., Unno, M., Takahashi, Y.
Multicenter RCT of PGA-mesh and fibrin glue after MIS-DP (WRAP study) .
第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [シンポジウム]
75. 井上陽介，小林光助，大庭篤志，小野嘉大，伊藤寛倫，高橋祐
膵頭部癌に対するロボ PD の現状と技術的課題。
第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [教育講演]
76. 井上陽介，小林光助，大庭篤志，小野嘉大，高橋祐
膵頭部癌に対するロボット支援下膵頭十二指腸切除：技術的限界点を考える。
第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [シンポジウム]
77. 伊藤良太，小林光助，大庭篤志，小野嘉大，井上陽介，高橋祐
低侵襲再肝切除術 49 例の短期成績。
第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [ミニオーラル]
78. 大庭篤志
膵臓：治療成績 1.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [司会]
79. 宮田辰徳，大庭篤志，小林光助，小野嘉大，井上陽介，高橋祐
膵炎既往を有する膵頭部腫瘍に対するロボット支援下内視鏡下幽門輪温存膵頭十二指腸切除術の経験。
第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [ミニオーラル]
80. 小林光助，井上陽介，宮田辰徳，田内潤，前川彩，馬場逸人，澤優雅，嶋根学，柴田祥之，伊藤良太，杉浦孝太，大庭篤志，小野嘉大，高橋祐
日本とヨーロッパの High volume center における MIS training.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [口述発表]
81. 小野嘉大，井上陽介，小林光助，大庭篤志，佐藤崇文，高橋祐
ロボット支援下膵切除における術中トラブルシューティング。
第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [パネルディスカッション]
82. 嶋根学，小林光助，井上陽介，小野嘉大，大庭篤志，澤優雅，高橋祐
大腸癌同時性肝転移に対する同時切除における開腹手術と minimal invasive surgery の術後短期成績。
第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [ミニオーラル]
83. 杉浦孝太，小野嘉大，井上陽介，大庭篤志，小林光助，高橋祐
ロボット支援下膵頭十二指腸切除における膵実質離断法による術後膵液発生率の検討。
第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [ミニオーラル]
84. 澤優維，小林光助，大庭篤志，小野嘉大，井上陽介，高橋祐

複数箇所肝切除症例に対する低侵襲手術の可能性と適応。

第 37 回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [ミニオーラル]

85. 伊藤良太，大庭篤志，前川彩，宮田辰徳，馬場逸人，田内潤，柴田祥之，杉浦孝太，嶋根学，澤優維，小林光助，小野嘉大，伊藤寛倫，井上陽介，高橋祐

大腸癌と乳癌の重複肝転移切除の 1 例

第 874 回外科集談会：東京，2024, [口述発表]

86. 前川彩，佐藤崇文，小林光助，大庭篤志，小野嘉大，伊藤寛倫，井上陽介，高橋祐

脾切除後出血に対する一次的バルーン塞栓術が有効であった一例

第 874 回外科集談会：東京，2024, [口述発表]

【消化器化学療法科】

1. Tamba, M., Osumi, H., Fukuoka, S., Ogura, M., Okamura, A., Kanamori, J.

Safety and efficacy of neoadjuvant docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil (Neo DCF) therapy for locally advanced esophageal cancer: real world data analysis.

2024 ASCO GI Cancers Symposium: San Francisco, CA, USA, 2024, [ポスター発表]

2. Udagawa, S., Osumi, H., Ooki, A., Wakatsuki, T., Fukuoka, S., Yoshino, K., Tamba, M., Ogura, M., Takahari, D., Chin, K., Yamaguchi, K., Shinozaki, E.

Impact of early tumor shrinkage and depth of response in patients with BRAF V600E-mutant metastatic colorectal cancer. ASCO GI Cancer Symposium: San Francisco, CA, USA, 2024, [ポスター発表]

3. 下寄啓太郎，中山徹馬，高張大亮，長島健吾，吉野光一郎，福田晃史郎，福岡聖大，大隅寛木，小倉真理子，若槻尊，大木暁，篠崎英，陳勁松，山口研成

Trastuzumab deruxtecan and nivolumab as third- or later-line treatment for HER2-positive advanced gastric cancer.

第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [口述発表 / セッション]

4. 中山徹馬
Perioperative chemotherapy for gastric cancer: Role of ICI ?

第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [ディスカッション]

5. 大木暁，有山寛
消化器 2（胃がん・その他）。

第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [司会]

6. 大隅寛木，朴将源
Current insights of chemotherapy in colorectal cancer.

第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [ファシリテーター]

7. 大隅寛木
消化器 2（食道がん・大腸がん）。

第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [司会]

8. 宇田川翔平，大隅寛木，大木暁，若槻尊，福岡聖大，吉野光一郎，丹羽美香子，小倉真理子，高張大亮，陳勁松，山口研成，篠崎英司

Impact of early tumor shrinkage and depth of response in patients with BRAF V600E-mutant metastatic colorectal cancer. 第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [口述発表]

9. 山口研成
大腸がん薬物療法 2024 最新 Topics：大腸がん治療における Continuum of Care.

第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [司会]

10. 山口研成
胃癌薬物治療シーケンスの今後の展開。

第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [司会]

11. 福岡聖大
HER2 陽性大腸癌に対する治療開発。

第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [シンポジウム]

12. 篠崎英司
大腸癌薬物療法における抗 EGFR 抗体の変遷と位置づけ。
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024，[モーニングセミナー]
13. 高張大亮，Smyth，E.
Perioperative chemotherapy for gastric cancer: role of ICI ?
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024，[司会]
14. Yamaguchi, K., Shoji, H., Yasui, H., Oki, E., Sakai, D., Hamaguchi, T., Yang, J., Moran, D., Bhattacharya, P., Matsangou, M., Park, J. W., Oh, M., Nakanishi, Y., Furuki, S., Kuwamoto, K., Shitara, K.
1L zolbetuximab + mFOLFOX6 in advanced G/GEJ cancer: SPOTLIGHT Japanese subgroup analysis.
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[セッション]
15. 山口研成
HER2 陽性胃癌。
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[スポンサーシンポジウム]
16. 山口研成
エキスパートがそれぞれの視点で考える胃癌薬物療法。
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[司会]
17. 山口研成
エドルミズが生み出した価値とは何か：最新データを踏まえて。
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[ランチョンセミナー]
18. 山口研成，室圭
胃癌薬物療法の現状と課題。
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[座長]
19. 福田晃史郎，中山徹馬，高張大亮，石田洋樹，宇田川翔平，丹羽美香子，福岡聖大，大隅寛木，小倉真理子，若槻尊，大木暁，篠崎英司，陳勁松，布部創也，山口研成
術中腹腔内洗浄細胞診陽性（CY1P0）胃癌に対する治療戦略の検討。
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[ワークショップ]
20. 若槻尊，馬島哲夫，中山徹馬，高張大亮，大隅寛木，大木暁，小倉真理子，福岡聖大，宇田川翔平，吉野光一郎，丹羽美香子，篠崎英司，陳勁松，清宮啓之，山口研成
切除不能進行・再発胃癌における候補遺伝子解析法を用いたラムシルマブ治療効果予測因子の探索。
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[一般口演]
21. 陳頸松
化学療法 3。
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[座長]
22. 高張大亮
実臨床での進行胃癌に対する周術期薬物療法。
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，[座長]
23. 陳勁松，若槻尊，高張大亮，山本智理子，大木暁，小倉真理子，中山徹馬，庄司広和，朴成和，山口研成
切除不能進行・再発 HER2 陽性胃癌における Nivolumab (Nmab) +Trastsuzumab (Tmab) 併用化学療法のバイオマーカー解析。
第 110 回日本消化器病学会総会：徳島市，2024，[シンポジウム]
24. 丹羽美香子，大隅寛木，福岡聖大，小倉真理子，高張大亮，渡邊雅之，山口研成，陳勁松，大木暁
Safety and efficacy of Neo DCF therapy for locally advanced ESCC.
第 78 回日本食道学会学術集会：東京，2024，[口述発表]

25. 吉野光一郎, 大隅寛木, 福岡聖大, 小倉真理子, 高張大亮, 丹羽美香子, 若槻尊, 篠崎英司, 山口研成, 大木暁
ニボルマブ単剤治療を受けた ESCC 患者における LIPI と GPS の臨床的有用性.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024, [口述発表]
26. 大木暁
stage IVB 食道癌 2.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024, [座長]
27. 大隅寛木
化学療法 2.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024, [司会]
28. 山口研成
消化器癌治療におけるバイオシミラーの現状と展望.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024, [ランチョンセミナー]
29. 福岡聖大
化学療法 1.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024, [座長]
30. 陳勁松
高齢者・フレイル食道癌に対する治療選択.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024, [司会]
31. 山口研成
これだけは知っておくべき大腸がん薬物療法.
第 79 回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ランチョンセミナー]
32. 下嵯啓太郎, 篠崎英司, 深田一平, 林直美, 吉野光一郎, 宇田川翔平, 丹羽美香子, 大隅寛木, 福岡聖大, 若槻尊, 大木暁, 陳勁松, 高橋俊二, 山口研成
当院における切除不能進行・再発大腸癌に対するがん遺伝子パネル検査 272 例の検討.
第 101 回大腸癌研究会学術集会: 名古屋市, 2024, [示説]
33. 宇田川翔平, 大隅寛木, 大木暁, 福岡聖大, 下嵯啓太郎, 吉野光一郎, 丹羽美香子, 若槻尊, 小倉真理子, 陳勁松, 山口研成, 篠崎英司
MSI-H/dMMR または TMB-H 切除不能大腸癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の有効性と安全性に関する検討.
第 101 回大腸癌研究会学術集会: 名古屋市, 2024, [口述発表]
34. 福田晃史郎, 高島淳生, 大隅寛木, 栗津崇仁, 大木暁, 平野秀和, 福岡聖大, 宇田川翔平, 若槻尊, 庄司広和, 陳勁松, 藤城光弘, 加藤健, 朴成和, 山口研成, 篠崎英司
切除不能虫垂癌に対する初回薬物療法の治療効果と予後因子に関する多施設共同観察研究.
第 101 回大腸癌研究会学術集会: 名古屋市, 2024, [口述発表]
35. 福田晃史郎, 平野秀和, 大隅寛木, 高島淳生, 大木暁, 藤城光弘, 加藤健, 朴成和, 山口研成, 篠崎英司
切除不能消化管 NEC に対する IP・EP 療法の非 NEC 成分混在の有無別による有効性の比較: 多施設共同観察研究.
第 12 回日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会: 札幌市, 2024, [ポスター発表]
36. 山口研成
New developments in chemotherapy for HER2-positive gastric cancer : Understanding gastric cancer biomarkers and providing T-DXd treatment/HER2 陽性胃がんに対する薬物治療展開: 胃がんバイオマーカーを紐解き T-DXd へ繋ぐ.
第 83 回日本癌学会学術総会: 福岡市, 2024, [モーニングセミナー]
37. 下嵯啓太郎
Colorectal (Basic) .
第 62 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [座長]
38. 丹羽美香子, 岡村明彦, 大隅寛木, 今村裕, 金森淳, 小倉真理子, 福岡聖大, 吉野光一郎, 宇田川翔平, 若槻尊, 篠崎英司, 渡邊雅之, 山口研成, 陳勁松, 大木暁

局所進行食道扁平上皮癌に対する NACDCF 療法後の再発リスク因子としてのリンパ節転移率。

第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [ポスター発表]

39. 大木暁
ビロイが切り開く新たな胃がん治療：実臨床での最適な運用を目指して。
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [講演]

40. 大隅寛木
Gastrointestinal cancer.
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [ディスカッション]

41. 大隅寛木
大腸癌薬物療法の変遷と抗 EGFR 抗体薬の今後の展望。
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [イブニングセミナー]

42. 山口研成
エドミルズが最適な患者とは～効果的な投与対象を考える。
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [イブニングセミナー]

43. 山口研成
今知りたい、大腸がん薬物療法の最前線。
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [座長]

44. 山口研成，設楽紘平，Moehler, M., Ajani, J. A., Shen, L., Garrido, M., Gallardo, C., Wyrwicz, L., Cleary, J. M., Elimova, E., Bruges, R., Karamouzis, M., Skoczylas, T., Bragagnoli, A., Liu, T., Tehfe, M., Feeney, K., Wang, R., Zhang, J., Janjigian, Y. Y.
進行胃がんにおける 1L ニボルマブ + 化学療法：CheckMate 649 4 年フォローアップ。
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [講演]

45. 福田晃史郎，大隅寛木，大木暁，福岡聖大，吉野光一郎，丹羽美香子，宇田川翔平，小倉真理子，若槻尊，陳勁松，藤城光弘，山口研成，篠崎英司

術後再発大腸癌に対する抗 EGFR 抗体薬再導入の治療効果に関する検討。

第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [シンポジウム]

46. 篠崎英司
大腸がんガイドラインの薬物療法アップデート。
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [講演]

【肝胆膵内科】

- 岡本武士，平井達基，石塚隆浩，山田学，中川皓貴，三重堯文，古川貴光，武田剛志，春日章良，佐々木隆，尾阪将人，笹平直樹
肝細胞癌の大型病変と両葉多発小病変の比較検討。
第 29 回日本肝がん分子標的治療研究会：さいたま市，2024, [ポスター発表]
- 三重堯文
Comparison of FOLFIRINOX and gemcitabine with nab-paclitaxel as neoadjuvant therapy in BR pancreatic cancer.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [口述発表]
- 尾阪将人，大場彬博，水澤純基，奥坂拓志，小林智，山下太郎，池田公史，安田一朗，杉森一哉，笹平直樹，池澤賢治，三木生也，岡野尚弘，水野伸匡，古川正幸，白川博文，佐野裕亮，片山宏，古瀬純司，上野誠
GnP vs. mFOLFIRINOX or S-IROX in metastatic pancreatic cancer: additional data from the GENERATE (JCOG1611) trial.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [口述発表]
- 尾阪将人
最新の臨床試験結果に基づく切除不能膵癌の治療戦略。
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [司会]

5. 岡本武士
Short-term outcomes of gemcitabine, cisplatin, and durvalumab in previously treated unresectable biliary tract cancer.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [ポスター発表]
6. 平井達基，三重堯文，石塚隆浩，山田学，中川皓貴，古川貴光，岡本武，武田剛志，春日章良，佐々木隆，尾阪将人，笹平直樹
Treatment outcomes of FOLFOX therapy as late-line therapy in unresectable pancreatic cancer.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [ポスター発表]
7. 武田剛志，佐々木隆，岡本武士，平井達基，石塚隆浩，山田学，中川皓貴，古川貴光，三重堯文，春日章良，尾阪将人，笹平直樹
Bone loss over time and risk of osteoporosis in advanced pancreatic cancer.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [口述発表]
8. Sasahira, N.
Immune and target therapy for cholangiocarcinoma.
第 33 回アジア太平洋肝臓学会総会 (APASL) 2024: 京都市，2024, [モデレーター]
9. Sasaki, T.
Management of post operative biliary complications.
第 33 回アジア太平洋肝臓学会総会 (APASL) 2024: 京都市，2024, [モデレーター]
10. Sasaki, T.
Real world data of immune and target therapy for cholangiocarcinoma.
第 33 回アジア太平洋肝臓学会総会 (APASL) 2024: 京都市，2024, [口述発表]
11. 武田剛志，平井達基，石塚隆浩，山田学，中川皓貴，三重堯文，古川貴光，岡本武士，春日章良，佐々木隆，尾阪将人，笹平直樹
Impact of conversion surgery in patients with advanced intrahepatic cholangiocarcinoma.
第 33 回アジア太平洋肝臓学会総会 (APASL) 2024: 京都市，2024, [ポスター発表]
12. 岡本武士，藤原良将，石塚隆浩，笹平直樹
広範囲に及ぶ門脈腫瘍栓を来した膵腺房細胞癌の一例。
日本超音波医学会第 97 回学術集会：横浜市，2024, [口述発表]
13. Ishitsuka, T., Okamoto, T., Sasahira, N.
Bleeding from bile duct varices caused by extrahepatic portal vein obstruction due to pancreatic cancer.
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2024, [特別企画]
14. 三重堯文，佐々木隆，笹平直樹
Outcomes of endoscopic retrograde pancreatic drainage and ultrasound-guided drainage for pancreatic fistula after distal pancreatectomy.
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2024, [口述発表]
15. 中川皓貴，武田剛志，佐々木隆，森田祐規，平井達基，福田晃史郎，山田学，三重堯文，古川貴光，岡本武士，春日章良，尾阪将人，笹平直樹，石塚隆浩
70 歳以上の高齢者に対するシングルバルーン内視鏡下 ERCP 治療成績について。
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2024, [口述発表]
16. 佐々木隆
胆道：医療安全・その他。
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2024, [座長]
17. 平井達基，三重堯文，石塚隆浩，森田祐規，福田晃史郎，山田学，中川皓貴，古川貴光，岡本武士，武田剛志，春日章良，佐々木隆，尾阪将人，笹平直樹
当院における新型超音波内視鏡下穿刺針（Tribident Needle Biopsy System）の使用経験。

- 第 107 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2024, [ポスター発表]
18. 武田剛志，佐々木隆，笹平直樹
Outcomes of multi-hole self-expandable metal stents for unresectable distal malignant biliary obstruction.
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2024, [口述発表]
 19. 笹平直樹
IPMN に対する消化器内視鏡診療 .
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2024, [司会]
 20. 三重堯文，佐々木隆，古川貴光，岡本武士，武田剛志，春日章良，尾阪将人，井上陽介，高橋祐，笹平直樹
膵管空腸吻合部良性狭窄に対する内視鏡治療成績に関する検討 .
第 110 回日本消化器病学会総会：徳島市，2024, [口述発表]
 21. 佐々木隆
ICI が胆道がん薬物療法に変革をもたらしたか？
第 110 回日本消化器病学会総会：徳島市，2024, [ランチョンセミナー]
 22. 佐々木隆
膵癌 2.
第 110 回日本消化器病学会総会：徳島市，2024, [座長]
 23. 古川貴光，糸川昂平，宮田憲一，柴田智華子，春日章良，佐々木隆，尾阪将人，笹平直樹，丸山玲緒
オルガノイドの一細胞オープンクロマチン解析による膵癌多様性の検証 .
第 110 回日本消化器病学会総会：徳島市，2024, [ワークショップ]
 24. 岡本武士，武田剛志，三重堯文，平井達基，石塚隆浩，山田学，中川皓貴，古川貴光，春日章良，佐々木隆，尾阪将人，笹平直樹
切除不能膵尾部癌における脾門部浸潤の検討 .
第 110 回日本消化器病学会総会：徳島市，2024, [口述発表]
 25. 笹平直樹
膵癌 1.
第 110 回日本消化器病学会総会：徳島市，2024, [座長]
 26. 佐々木隆
膵癌・胆道がん .
第 24 回臨床腫瘍夏期セミナー：Web 開催，2024, [口述発表]
 27. 岡本武士，佐々木隆，笹平直樹
切除不能膵癌における胆管静脈瘤の検討 .
第 60 回日本肝臓学会総会：熊本市，2024, [口述発表]
 28. 岡本武士，三重堯文，武田剛志，佐々木隆，笹平直樹
EUS ガイド下インターベンションの穿刺部初回拡張におけるドリルダイレータの有用性 .
第 118 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京，2024, [口述発表]
 29. 前川有里，武田剛志，佐藤洋一郎，平井達基，鈴木由佳里，三重堯文，古川貴光，岡本武士，佐々木隆，尾阪将人，笹平直樹
当院で経験した免疫チェックポイント阻害剤関連膵障害 5 例の検討 .
日本消化器病学会関東支部第 380 回例会：東京，2024, [口述発表]
 30. 佐々木隆
膵癌（高精度医療）1.
第 55 回日本膵臓学会大会：宇都宮市，2024, [座長]
 31. 古川貴光，丸山玲緒，宮田憲一，柴田智華子，平井達基，山田学，中川皓貴，三重堯文，岡本武士，武田剛志，春日章良，佐々木隆，尾阪将人，野田哲生，笹平直樹
ヒト膵癌オルガノイドの膵同所移植による自然転移モデルマウス樹立の試み .
第 55 回日本膵臓学会大会：宇都宮市，2024, [ワークショップ]
 32. 尾阪将人，上野誠，池田公史，清水怜，仲地耕平，長島文夫，古瀬純司

- 切除不能 / 再発・進行性膵がんに対するアルカリ化剤 DFP-17729 の第 I/II 相試験 .
第 55 回日本膵臓学会大会 : 宇都宮市 , 2024 , [口述発表]
33. 尾阪将人
膵癌 (集学的治療) 1.
第 55 回日本膵臓学会大会 : 宇都宮市 , 2024 , [座長]
34. 山田学 , 古川貴光 , 平井達基 , 石塚隆浩 , 福田晃史郎 , 中川皓貴 , 三重堯文 , 岡本武士 , 武田剛志 , 春日章良 , 佐々木隆 , 尾阪将人 , 笹平直樹
嚢胞径 $\geq 30\text{mm}$ の分枝型 IPMN に対する経過観察の長期予後 .
第 55 回日本膵臓学会大会 : 宇都宮市 , 2024 , [ワークショップ]
35. 平井達基 , 岡本武士 , 石塚隆浩 , 福田晃史郎 , 山田学 , 中川皓貴 , 古川貴光 , 三重堯文 , 武田剛志 , 春日章良 , 佐々木隆 , 尾阪将人 , 笹平直樹
当院における膵がん疑い病変に対する EUS-FNA 陰性例の検討 .
第 55 回日本膵臓学会大会 : 宇都宮市 , 2024 , [パネルディスカッション]
36. 笹平直樹
膵 IPMN 長期経過観察例の評価 .
第 55 回日本膵臓学会大会 : 宇都宮市 , 2024 , [司会]
37. Sasaki, T.
Phase 2 trial of tasurgratinib (E7090) for patients (pts) with FGFR2 fusion-positive cholangiocarcinoma (CCA) : Encore Presentation .
第 60 回日本肝臓学会 : 姫路市 , 2024 , [シンポジウム]
38. 古川貴光 , 尾阪将人 , 平井達基 , 三重堯文 , 岡本武士 , 武田剛志 , 春日章良 , 佐々木隆 , 笹平直樹
当院における PRRT10 例の治療成績 .
第 12 回日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会 : 札幌市 , 2024 , [ポスター発表]
39. 佐藤洋一郎 , 武田剛志 , 平井達基 , 前川有里 , 鈴木由佳里 , 三重堯文 , 古川貴光 , 岡本武士 , 佐々木隆 , 尾阪将人 , 笹平直樹
Pembrolizumab で CR を維持している Lynch 症候群関連膵癌の一例 .
日本消化器病学会関東支部第 381 回例会 : 東京 , 2024 , [口述発表]
40. 前田寛子 , 岡本武士 , 佐藤洋一郎 , 平井達基 , 前川有里 , 鈴木由佳理 , 三重堯文 , 古川貴光 , 武田剛志 , 佐々木隆 , 尾阪将人 , 笹平直樹 , 武田孝一 , 芝原与喜 , 井上典仁 , 河内洋 , 後藤啓介
デュルバルマブによる治療歴がありソラフェニブ開始後に重症皮疹を呈した肝内胆管癌の 1 例 .
日本消化器病学会関東支部第 381 回例会 : 東京 , 2024 , [口述発表]
41. 笹平直樹
膵癌 .
第 78 回日本消化器画像診断研究会 : 横浜市 , 2024 , [座長]
42. 武田剛志 , 佐々木隆 , 笹平直樹
切除不能膵癌による遠位胆道閉塞に対する Conventional covered metal stent と Multi-hole covered metal stent の治療成績の比較 .
第 32 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2024 : 消化器内視鏡学会・消化器病学会・消化器外科学会) : 神戸市 , 2024 , [ワークショップ]
43. 笹平直樹
胆道・胆嚢 (内視鏡下治療) 1.
第 32 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2024 : 消化器内視鏡学会) : 神戸市 , 2024 , [座長]
44. 佐々木隆
胆道がんにおける最新の治療戦略 .
第 32 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2024 : 消化器外科学会) : 神戸市 , 2024 , [ランチョンセミナー]

45. 佐々木隆
膵臓（癌）3.
第 32 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2024:消化器病学会）：神戸市，2024, [座長]
46. 笹平直樹
膵臓（癌）4.
第 32 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2024:消化器病学会）：神戸市，2024, [座長]
47. 中川皓貴，武田剛志，佐々木隆，石塚隆浩，平井達基，三重堯文，古川貴光，岡本武士，尾阪将人，笹平直樹
悪性遠位胆道閉塞に対する新しい polytetrafluoroethylene (PTFE) -coated self-expandable metal stent (SEMS) の有効性.
第 60 回日本胆道学会学術集会：名古屋市，2024, [口述発表]
48. 佐々木隆
ENGETSU が導く胆膵治療の新時代：安全性と効率性の追求.
第 60 回日本胆道学会学術集会：名古屋市，2024, [座長]
49. 佐々木隆
化学療法 1.
第 60 回日本胆道学会学術集会：名古屋市，2024, [座長]
50. 笹平直樹
がんゲノム.
第 60 回日本胆道学会学術集会：名古屋市，2024, [座長]
51. 尾阪将人
ICI 時代の胆道癌薬物療法：Evidence と Best Practice.
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [講演]
52. 尾阪将人
胆道癌の薬物治療：新たな選択肢としてのペムブロリズマブ +GC 療法.
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [講演]
53. 尾阪将人
進行・再発 GIST に対する薬物療法.
第 86 回日本臨床外科学会総会：2024, [パネルディスカッション]
54. 岡本武士
専攻医 V（膵臓・その他 2）.
日本消化器病学会関東支部第 382 回例会：東京，2024, [座長]
55. 岡本武士，佐々木隆，笹平直樹
混合型肝癌における薬物治療シーケンスの検討.
第 45 回日本肝臓学会東部会：仙台市，2024, [シンポジウム]

【上部消化管内科】

1. 石山晃世志
咽頭、食道の表在性病変を考える：粘膜病変の概念，診断，治療について.
第 42 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会：札幌市，2024, [ワークショップ]
2. 後藤田卓志
内視鏡サムライ：早期胃癌の巻（胃癌の診断と治療）.
第 47 回日本消化器内視鏡学会関東セミナー：東京，2024, [司会]
3. 都宮美華，石山晃世志，福山知香，由雄敏之，中野薫，河内洋
上皮下腫瘍様の形態を呈した低分化扁平上皮癌の 1 例.
第 87 回食道色素研究会：福岡市，2024, [口述発表]
4. 山本浩之
小腸・大腸.
日本消化器病学会関東支部第 378 回例会：東京，2024, [座長]
5. 後藤田卓志
ピロリ菌と胃がん診療.
横須賀市医師会・三浦市医師会第 39 回胃がん大腸がん検診講演会：横須賀市，2024, [講演]

6. 木戸恒陽, 平澤俊明, 望月俊明, 山本豊, 山本浩之, 福山知香, 並河健, 渡海義隆, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 藤崎順子, 後藤田卓志
当院における内視鏡診療とMET (Medical Emergency Team) の関わり.
第9回ESD研究会: 京都市, 2024, [セッション]
7. 堀内裕介, 平澤俊明, 藤崎順子
胃癌の診断における狭帯域光併用 Endocytoscopy の有用性.
第20回日本消化管学会総会学術集会: 宜野湾市, 2024, [ビデオセッション]
8. 山本浩之, 吉水祥一, 藤崎順子
30mmを超える表在性非乳頭部十二指腸腫瘍に対するD-LECSの治療成績.
第20回日本消化管学会総会学術集会: 宜野湾市, 2024, [ビデオセッション]
9. 平澤俊明
AIが変える未来の内視鏡診療.
第20回日本消化管学会総会学術集会: 宜野湾市, 2024, [ランチョンセミナー]
10. 平澤俊明, 伊藤孝助, 原健三, 熊澤佑介, 山本浩之, 吉水祥一, 堀内裕介, 藤崎順子, 後藤田卓志
チームビルディング: チームとして質の高い内視鏡診療を提供する.
第20回日本消化管学会総会学術集会: 宜野湾市, 2024, [ワークショップ]
11. 後藤田卓志
GERDの新たな病態と治療.
第20回日本消化管学会総会学術集会: 宜野湾市, 2024, [司会]
12. 石山晃世志, 藤崎順子
病院機能評価受審における当院の鎮静管理体制の構築について.
第20回日本消化管学会総会学術集会: 宜野湾市, 2024, [口述発表]
13. Gotoda, T.
Endoscopic treatment for early gastric cancer in the current viewpoint.
第96回日本胃癌学会総会: 京都市, 2024, [セッション]
14. Gotoda, T.
JGCA-KGCA Joint Session.
第96回日本胃癌学会総会: 京都市, 2024, [司会]
15. 山本浩之, 渡海義隆, 福山知香, 並河健, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 藤崎順子, 後藤田卓志
Artificial intelligenceが内視鏡検診のダブルチェック機構に及ぼす影響の検討.
第96回日本胃癌学会総会: 京都市, 2024, [一般口演]
16. 山本浩之, 堀内裕介, 渡海義隆, 吉水祥一, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 後藤田卓志
ESD困難症例におけるtraineeへの手技指導法.
第96回日本胃癌学会総会: 京都市, 2024, [ビデオシンポジウム]
17. 平澤俊明
AIによる胃癌診断の新展開.
第96回日本胃癌学会総会: 京都市, 2024, [座長]
18. 平澤俊明
内視鏡AI: 開発の軌跡と展望.
第96回日本胃癌学会総会: 京都市, 2024, [ランチョンセミナー]
19. 後藤田卓志
内視鏡的切除の最先端.
第96回日本胃癌学会総会: 京都市, 2024, [座長]
20. 栗原渉, 平澤俊明, 熊澤佑介, 森田祐規, 福山知香, 山本浩之, 並河健, 渡海義隆, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 藤崎順子, 布部創也, 後藤田卓志
高ガストリン血症に起因する胃神経内分泌腫瘍に対する当院での治療選択.

- 第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，
[ワークショップ]
21. 鈴木啓太，堀内裕介，後藤田卓志
Helicobacter Pylori 未感染未分化型胃癌の内視鏡的
非治療切除リスク因子の検討．
第 96 回日本胃癌学会総会：京都市，2024，
[ワークショップ]
 22. 後藤田卓志
胃癌診療のパラダイムシフト．
江東区医師会消化器内視鏡医会学術講演会：東京，
2024，[講演]
 23. 平澤俊明
見逃し症例から学ぶ、胃癌の見つけ方：基本的な
観察法を含めて．
胃癌検診内視鏡検査スキルアップ研修会：宇都宮市，
2024，[講演]
 24. 平澤俊明
見逃し症例から学ぶ胃癌内視鏡検診．
我孫子医師会学術講演会：我孫子市，2024，
[講演]
 25. 平澤俊明
胃癌を見逃さない！内視鏡検診の精度を高める技術と
実践．
越谷市胃癌検診研修会：越谷市，2024，[講演]
 26. Namikawa, K., Konráðsson, M., Fridgeirsson, F. H.,
Sigmundsson, K. H., Jónasson, G. J., Björnsson, S. E.
Incidence and progression to neoplasm in Barrett' s
esophagus from a large population-based study in Iceland.
DDW2024: Washington D.C, USA, 2024，
[ポスター発表]
 27. 伊藤孝助，千野晶子，吉水祥一，堀内裕介，由雄敏之，
藤崎順子，幕内梨恵，植木有紗，金子景香，新川祐美，
幅野愛理，高松学
リンチ症候群のヘリコバクター・ピロリ菌未感染胃に発症
した低分化腺癌の症例．
第 30 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会：仙台市，2024，
[一般演題]
 28. Kido, K., Yoshio, T., Takamatsu, M.
Treatment outcomes of ESD for esophageal adenocarcinoma
in long segment Barrett' s esophagus.
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2024，
[シンポジウム]
 29. 山本浩之，吉水祥一，後藤田卓志
20mm 以上の SNADET に対する ESD+ 腹腔鏡下漿膜筋層補強
による D-LECS の治療成績．
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2024，
[パネルディスカッション]
 30. 平澤俊明
Lecture from the experts on METAVERSE.
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2024，
[指定演者]
 31. 平澤俊明
仮想空間で勉強する胃癌の内視鏡診断．
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2024，
[特別企画]
 32. 平澤俊明
良質な消化器内視鏡医を育てる教育とは？
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2024，
[指定演者]
 33. 平澤俊明，後藤田卓志
院内教育およびメールマガジンを用いた全国規模の内視鏡
教育．
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2024，
[パネルディスカッション]
 34. 後藤田卓志
消化管腫瘍に対する内視鏡切除の新たな挑戦．
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2024，
[司会]
 35. 栗原渉，堀内裕介，後藤田卓志
直接経口抗凝固薬内服例における食道上皮性腫瘍に対する
内視鏡的切除の治療成績．
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，2024，
[ポスター発表]

36. 森田祐規, 由雄敏之, 後藤田卓志
突如口から吐き出された巨大ポリープに対して
緊急 ESD を施行し良好な転帰を得た 1 例.
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京,
2024, [ポスター発表]
37. 渡邊昌人, 由雄敏之, 後藤田卓志
食道扁平上皮癌の AI 診断システムにおけるリ
アルタイム診断補助の前向き比較試験とその副
次解析について.
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京,
2024, [口述発表]
38. 都宮美華, 平澤俊明, 河内洋
散発性胃底腺ポリープに由来する胃上皮性腫瘍
の臨床病理学的特徴.
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京,
2024, [シンポジウム]
39. 都宮美華, 石山晃世志, 由雄敏之
舌根部～喉頭蓋 (谷) 病変 ESD における喉頭
展開およびカウンタートラクションの工夫.
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京,
2024, [ポスター発表]
40. 伊藤孝助, 石山晃世志, 藤崎順子, 福島啓文,
新橋渉, 佐々木徹, 瀬戸陽, 神山亮介, 佐藤由
紀子
舌根部～喉頭蓋 (谷) 病変 ESD における喉頭
展開の工夫.
第 110 回日本消化器病学会総会: 徳島市,
2024, [ポスター発表]
41. 伊藤孝助, 石山晃世志, 藤崎順子, 福島啓文,
新橋渉, 佐々木徹, 瀬戸陽, 神山亮介, 佐藤由
紀子
舌根部～喉頭蓋 (谷) 病変 ESD における喉頭
展開の工夫.
第 110 回日本消化器病学会総会: 徳島市,
2024, [パネルディスカッション]
42. 平澤俊明, 山本浩之, 福山知香, 渡海義隆, 吉
水祥一, 堀内祐介, 石山晃世志, 由雄敏之, 藤
崎順子, 後藤田卓志
医師アンケート調査による内視鏡 AI の現状と
展望.
第 110 回日本消化器病学会総会: 徳島市,
2024, [ミニオーラル]
43. 後藤田卓志
AI がつくる未来の内視鏡診療.
第 110 回日本消化器病学会総会: 徳島市,
2024, [座長]
44. 栗原渉, 堀内裕介, 山本浩之, 並河健, 渡海義
隆, 吉水祥一, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊
明, 藤崎順子, 後藤田卓志
直接経口抗凝固薬内服例における食道上皮性腫
瘍に対する内視鏡的切除の治療成績.
第 110 回日本消化器病学会総会: 徳島市,
2024, [ミニオーラル]
45. 藤崎順子
ピロリ未感染と除菌後胃癌の特徴.
日本消化器病学会北陸支部第 50 回教育講演会
2024, [講演]
46. 熊澤佑介, 並河健, 高松学, 藤崎順子
Helicobacter pylori 未感染の胃体上部に発生し
た、腸型優位の胃腸混合型粘膜下層浸潤胃癌の
1 例.
第 2 回ピロリ陰性時代の胃癌に関する研究会:
2024, [症例報告]
47. 後藤田卓志
ピロリ診断の諸問題.
第 30 回日本ヘリコバクター学会学術集会: 倉
敷市, 2024, [司会]
48. 熊澤佑介, 並河健, 高松学, 藤崎順子
ESD 症例からみた除菌後未分化型癌の検討.
第 30 回日本ヘリコバクター学会学術集会: 倉
敷市, 2024, [シンポジウム]
49. 後藤田卓志
低侵襲内視鏡治療における内科と外科のコラボ
レーション.
第 118 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会:
東京, 2024, [司会]
50. 栗原渉, 吉水祥一, 布部創也, 後藤田卓志
40mm 以上の非乳頭部十二指腸腫瘍に対する
D-LECS の治療成績.

第 118 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：
東京，2024，[口述発表]

51. 熊澤佑介
胃② .
第 118 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：
東京，2024，[座長]
52. 都宮美華
食道② .
第 118 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：
東京，2024，[座長]
53. Gotoda, T.
Advances in technologies for gastric cancer
diagnosis.
10th Annual Congress of Digestive Endos-
copy Society of Taiwan (DEST) , : Taiwan,
2024, [セッション]
54. Gotoda, T.
Advances in technologies for gastric cancer
diagnosis.
10th Asian Pacific Gastroesophageal Cancer
Congress: Singapore, 2024, [セッション]
55. Gotoda, T.
Special lecture 2 : cytosponge for diagnosis
of esophageal cancer.
10th Asian Pacific Gastroesophageal Cancer
Congress: Singapore, 2024, [座長]
56. Hirasawa, T.
Performance of an artificial intelli-
gence-based diagnostic support tool for
early gastric cancers: retrospective.
10th Asian Pacific Gastroesophageal Cancer
Congress: Singapore, 2024, [ポスター発表]
57. 後藤田卓志
仲間と創る内視鏡機器とデバイス .
第 24 回 EMR/ESD 研究会：東京，2024，[司
会]
58. 後藤田卓志
経鼻内視鏡を用いた咽喉頭・食道診療の Tips：
新型システムへの期待も含めて .

第 78 回日本食道学会学術集会：東京，2024，
[座長]

59. 木戸恒陽，由雄敏之，浅利崇生，佐々木隆，堀
内裕介，石山晃世志，平澤俊明，小倉真理子，
陳勁松，後藤田卓志
通過障害を伴う進行食道癌に対するステント留
置と緩和放射線療法の治療成績 .
第 78 回日本食道学会学術集会：東京，2024，
[パネルディスカッション]
60. 栗原渉，山本浩之，渡海義隆，吉水祥一，堀内
裕介，石山晃世志，由雄敏之，平澤俊明，後藤
田卓志
瘢痕に接した表在型食道癌に対する当院の内視
鏡治療成績 .
第 78 回日本食道学会学術集会：東京，2024，
[教育セッション]
61. 石山晃世志
内視鏡治療 .
第 78 回日本食道学会学術集会：東京，2024，
[座長]
62. 都宮美華，由雄敏之，石山晃世志，山本浩之，
渡海義隆，吉水祥一，堀内裕介，平澤俊明，後
藤田卓志
食道 ESD における治療困難因子の検討 .
第 78 回日本食道学会学術集会：東京，2024，
[ポスター発表]
63. 平澤俊明
未分化型胃癌の診断と治療 .
The Conference “Gastrointestinal Endosco-
py Oujiang Forum”: 温州市, 中国, 2024, [講
演]
64. 山本浩之，石山晃世志，神山亮介，高松学，河
内洋，佐藤由紀子
当院で経験した食道病変の 1 例 .
第 24 回臨床消化器病研究会：東京，2024，[口
述発表]
65. 平澤俊明
早期胃癌の内視鏡診断と治療 .
2024 年中国内視鏡医師大会：蘇州市，中国，
2024，[講演]

66. Gotoda, T., Kusano, C., Ishikawa, H.
A randomised controlled trial comparing the costs of gastric cancer screening systems between serological risk-based upper gastrointestinal endoscopy and the existing barium photofluorograph.
Korea International Gastric Cancer Week (KINGCA WEEK 2024) : Seoul, South Korea., 2024, [セッション]
67. Yoshio, T.
Characteristics of gastric cancers after ESD.
Korea International Gastric Cancer Week (KINGCA WEEK 2024) : Seoul, South Korea., 2024, [講演]
68. 平澤俊明
見逃し症例から学ぶ、胃がん内視鏡検診。
目黒区医師会胃がん内視鏡検診研修会：東京，2024, [講演]
69. 山本浩之，渡海義隆，藤崎順子
胃がん内視鏡検診の2次読影におけるAI併用の有用性。
第32回日本消化器関連学会週間（JDDW 2024：消化器がん検診学会・消化器病学会・消化器内視鏡学会）：神戸市，2024, [ワークショップ]
70. 後藤田卓志
消化器内視鏡治療の最前線：機器の進歩による新たな展開。
第32回日本消化器関連学会週間（JDDW 2024：消化器がん検診学会）：神戸市，2024, [司会]
71. 後藤田卓志
内視鏡診療における鎮静の”現状と課題”
第32回日本消化器関連学会週間（JDDW 2024：消化器内視鏡学会・消化器病学会・消化器がん検診学会）：神戸市，2024, [パネルディスカッション]
72. 木戸恒陽，石山晃世志，後藤田卓志
当院の消化管内視鏡診療における鎮静管理体制の構築とMedical Emergency Teamによる医療安全サポート。
第32回日本消化器関連学会週間（JDDW 2024：消化器内視鏡学会・消化器病学会・消化器がん検診学会）：神戸市，2024, [パネルディスカッション]
73. 平澤俊明
内視鏡検査に次なる可能性を”gastroAI model-G”
第32回日本消化器関連学会週間（JDDW 2024：消化器内視鏡学会）：神戸市，2024, [シンポジウム]
74. 平澤俊明
胃（GIST・リンパ腫・拡大内視鏡）。
第32回日本消化器関連学会週間（JDDW 2024：消化器内視鏡学会）：神戸市，2024, [座長]
75. 後藤田卓志
内視鏡検査・処置における鎮静管理。
第32回日本消化器関連学会週間（JDDW 2024：消化器内視鏡学会）：神戸市，2024, [座長]
76. 吉水祥一，布部創也，後藤田卓志
当院におけるD-LECSの位置づけと治療成績。
第32回日本消化器関連学会週間（JDDW 2024：消化器外科学会・消化器病学会・消化器内視鏡学会・肝臓学会・消化器がん検診学会）：神戸市，2024, [統合プログラム]
77. 後藤田卓志
高齢者消化器がんに対する診断と低侵襲治療の現状と課題。
第32回日本消化器関連学会週間（JDDW 2024：消化器外科学会・消化器病学会・消化器内視鏡学会・肝臓学会・消化器がん検診学会）：神戸市，2024, [司会]
78. 栗原渉，堀内裕介，山本安則
80歳以上の高齢者の食道扁平上皮癌に対する内視鏡的切除の治療成績と予後予測因子。
第32回日本消化器関連学会週間（JDDW 2024：消化器外科学会・消化器病学会・消化器内視鏡学会・肝臓学会・消化器がん検診学会）：神戸市，2024, [統合プログラム]

79. 渡邊昌人, 由雄敏之, 高松学
ラズベリー様腺窩上皮型胃腫瘍の臨床経過についての検討.
第 32 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2024: 消化器病学会・消化器内視鏡学会・消化器外科学会): 神戸市, 2024, [ワークショップ]
80. 都宮美華, 石山晃世志, 由雄敏之
頭頸部癌合併食道表在癌に対する治療戦略の妥当性の検討.
第 32 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2024: 消化器病学会・消化器内視鏡学会・消化器外科学会): 神戸市, 2024, [パネルディスカッション]
81. 後藤田卓志
胃食道接合部をもっと知ろう!
第 32 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2024): 神戸市, 2024, [司会]
82. 平澤俊明
胃癌検出の内視鏡 AI の臨床導入.
第 62 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [特別企画]
83. Gotoda, T.
The approach to increase the quality of gastrointestinal endoscopy.
Asia Pacific Digestive Week (APDW) 2024: Bali, Indonesia., 2024, [セッション]
84. Kishi, Y., Yoshio, T., Yamamoto, H., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishimaya, A., Hirasawa, T., Nakano, K.
A study of forceps resection for small esophageal squamous cell carcinoma.
Asia Pacific Digestive Week (APDW) 2024: Bali, Indonesia., 2024, [ポスター発表]
85. Tsunomiya, M., Yoshio, T., Ishiyama, A.
Factors affecting difficulties in esophageal ESD.
Asia Pacific Digestive Week (APDW) 2024: Bali, Indonesia., 2024, [口述発表]
86. Yoshio, T., Shimizu, R., Hijikata, K., Ishiyama, A., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Hirasawa, T., Kawachi, H., Fujisaki, J.
Characteristics of multiple esophageal squamous cell carcinomas detected in the surveillance after endoscopic resection.
Asia Pacific Digestive Week (APDW) 2024: Bali, Indonesia., 2024, [口述発表]
87. 後藤田卓志
より正確な「最後の診断」のための病理医と内視鏡医の協働 / Collaboration between pathologists and endoscopists for “The Final Diagnosis” .
第 70 回日本病理学会秋期特別総会: 東京, 2024, [シンポジウム]
88. Gotoda, T.
Endoscopy treatment: EMR and ESD.
ESMO Preceptorship on Gastric Cancer 2024: Singapore, 2024, [セッション]
89. 山本浩之
食道・胃.
第 119 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2024, [座長]
90. 栗原渉, 山本浩之, 吉水祥一, 速水克, 後藤田卓志
D-LECS で切除し得た巨大な十二指腸 Brunner 腺過誤腫の一例.
第 119 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2024, [主題]
91. 玉虫惇
胃.
第 119 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2024, [症例プレゼンター]
92. 由雄敏之
食道.
第 119 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2024, [総合コメンター]

93. 福山知香
十二指腸・小腸.
第 119 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：
東京，2024，[座長]

【下部消化管内科】

1. 斎藤彰一
これからの早期大腸癌治療に向けて.
第 100 回大腸癌研究会学術集会：浜松市，
2024，[座長]
2. 鈴木啓太，鈴木桂悟，斎藤彰一，福長洋介
当院における大腸内視鏡治療困難な早期大腸癌
に対する腹腔鏡内視鏡合同手術の治療成績.
第 100 回大腸癌研究会学術集会：浜松市，
2024，[口述発表]
3. 斎藤彰一，堀田欣一
大腸：内視鏡 2.
第 20 回日本消化管学会総会学術集会：宜野湾
市，2024，[司会]
4. 鈴木桂悟，斎藤彰一，福長洋介
虫垂口近傍の表在型腫瘍に対する大腸 LECS を
含む当院の治療戦略.
第 20 回日本消化管学会総会学術集会：宜野湾
市，2024，[シンポジウム]
5. 十倉淳紀，井出大資，斎藤彰一
専攻医における traction device を併用した大
腸 ESD の導入プログラムとその有用性.
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，
2024，[特別企画]
6. 千野晶子
大腸 9.
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，
2024，[コメンテーター]
7. 斎藤彰一
大腸：診断 2.
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，
2024，[座長]

8. 鈴木桂悟，斎藤彰一，福長洋介
内視鏡切除が困難な表在型大腸腫瘍に対する内
視鏡・腹腔鏡を用いた低侵襲治療の成績と今後
の展望.
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，
2024，[パネルディスカッション]
9. 斎藤彰一，河内洋，鈴木桂悟，十倉淳紀，安江
千尋，井出大資，千野晶子，中野薫，菅原江美
子
SSL および TSA 成分を伴った 0-Is IIa 型 S 状
結腸早期大腸癌の 1 例.
第 1 回大腸鋸歯状病変の内視鏡診断・治療の標
準化に向けた研究会：東京，2024，[症例報告]
10. 斎藤彰一
大腸.
第 118 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：
東京，2024，[司会]
11. 泉敦子
30 代での妊娠、出産、育休を経て感じたキャ
リアプランをイメージすることの難しさ.
日本消化器病学会関東支部第 380 回例会：東
京，2024，[口述発表]
12. 岡寄惣也，十倉淳紀，鈴木桂悟，安江千尋，井
出大資，千野晶子，五十嵐正広，斎藤彰一
大腸 ESD における牽引力が調整可能な新しい
traction device の有用性 Noose Knotmethod.
第 24 回 EMR/ESD 研究会：東京，2024，[ス
ポンサードセッション]
13. 副島啓太，千野晶子，十倉淳紀，斎藤彰一
リンチ症候群関連腫瘍におけるサーベイランス
プログラム：単施設後方視的観察研究.
第 101 回大腸癌研究会学術集会：名古屋市，
2024，[口述発表]
14. 井出大資
下部消化管内視鏡治療.
日本消化器病学会関東支部第 381 回例会：東
京，2024，[司会]

15. 副島啓太, 井出大資, 伊藤はるか, 石塚隆浩, 木戸恒陽, 栗原渉, 岡寄惣也, 熊澤佑介, 十倉淳紀, 鈴木桂悟, 安江千尋, 千野晶子, 五十嵐正広, 河内洋, 斎藤彰一
辺縁に発赤調の陥凹を伴った鋸歯状病変の1例.
第20回AI-拡大内視鏡研究会: 東京, 2024, [口述発表]
16. 伊藤はるか, ほか
Lynch症候群に発症した小型のIIc型SM浸潤癌の1例.
第33回大腸IIc研究会: 東京, 2024, [一般演題]
17. 熊澤佑介, ほか
早期大腸癌との鑑別を要した、0-IIa+IIcの低異型度管状腺腫の一例.
第33回大腸IIc研究会: 東京, 2024, [一般演題]
18. 石塚隆浩, ほか
内視鏡的粘膜下層剥離術を行ったdome-type carcinomaの2例.
第33回大腸IIc研究会: 東京, 2024, [一般演題]
19. 千野晶子
大腸(その他の内視鏡治療)1.
第32回日本消化器関連学会週間(JDDW 2024:消化器内視鏡学会): 神戸市, 2024, [座長]
20. 斎藤彰一
大腸(ポリペクトミー・EMR・ESD)2.
第32回日本消化器関連学会週間(JDDW 2024:消化器内視鏡学会): 神戸市, 2024, [座長]
21. 井出大資
HOS消化管1: もっと短く大腸挿入!
第32回日本消化器関連学会週間(JDDW 2024): 神戸市, 2024, [インストラクター]
22. 五十嵐正広
大腸内視鏡挿入法とトレーニング.
第42回日本大腸検査学会総会: 東京, 2024, [講演]
23. 原健三
Sessile Serrated Lesions (SSL)由来の癌化病変に対する内視鏡診断.
第42回日本大腸検査学会総会: 東京, 2024, [パネルディスカッション]
24. 斎藤彰一
症例検討.
第42回日本大腸検査学会総会: 東京, 2024, [司会]
25. 副島啓太, 鈴木桂悟, 高松学, 安江千尋, 伊藤はるか, 木戸恒陽, 栗原渉, 岡寄惣也, 熊澤佑介, 十倉淳紀, 井出大資, 千野晶子, 斎藤彰一
大腸T1b癌に対するESDの垂直断端陽性に関するリスク因子の検討.
第79回日本大腸肛門病学会学術集会: 横浜市, 2024, [パネルディスカッション]
26. 熊澤佑介, 鈴木桂悟, 伊藤はるか, 岡寄惣也, 木戸恒陽, 栗原渉, 副島啓太, 十倉淳紀, 安江千尋, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広, 斎藤彰一, 福長洋介
虫垂開口部の表在型腫瘍に対する大腸LECSを含む当院の治療戦略.
第79回日本大腸肛門病学会学術集会: 横浜市, 2024, [ワークショップ]

【乳腺内科】

1. 原文堅
Novel treatments in HER-2 driven meta-static breast cancer.
第21回日本臨床腫瘍学会学術集会: 名古屋市, 2024, [司会]
2. 原文堅
Recent advances in the treatment of tri-ple-negative breast cancer.
第21回日本臨床腫瘍学会学術集会: 名古屋市, 2024, [司会]

3. 原文堅
乳腺.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [セッション]
4. 原文堅
乳腺 1：HER2 陰性乳癌.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [司会]
5. 原文堅
周術期乳癌薬物療法.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [教育講演]
6. 尾崎由記範
SNS-WG シンポジウム.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [ディスカッション]
7. 尾崎由記範
リキッドバイオプシーの現在と未来.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [シンポジウム]
8. 尾崎由記範
乳癌周術期 ICI 治療の最新情報.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [シンポジウム]
9. 尾崎由記範
乳腺 5（周術期治療）.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [司会]
10. 深田一平，林直美，細永真理，川井沙織，木澤
莉香，西村明子，尾崎由記範，原文堅，小林隆
之，高野利実，上野貴之，山崎真澄，植木有紗，
清谷一馬，大迫智，外岡暁子，竹内賢吾，森誠
一，大野真司，高橋俊二
Prognostic impact of cancer genomic pro-
file testing for metastatic breast cancer in
clinical practice.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [口述発表]
11. 青山陽亮，尾崎由記範，木澤莉香，川井沙織，
倉田麻美，前田哲代，吉田和世，山下奈真，西
村明子，細永真理，深田一平，原文堅，小林隆
之，高野利実，上野貴之
Efficacy and tolerability of KEYNOTE-522
regimen for Japanese population: a single
institute retrospective study.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [口述発表]
12. 高野利実
HR 陽性 HER2 陰性乳癌周術期薬物療法の考え
方.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [モーニングセミナー]
13. 高野利実
JSMO 専門医部会がん教育プロジェクトの提
案.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [委員会企画]
14. 高野利実
New results from clinical trials in breast
cancer.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [司会]
15. 高野利実
Onco-cardiology ガイドライン：新しいステー
ジへ向けての橋頭堡.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [司会]
16. 高野利実
がん教育は何を目指すのか？：専門医よ、学校
へ行こう！
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [座長]
17. 高野利実
腫瘍内科の未来を創るのは君だ！
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，
2024, [シンポジウム]

18. 尾崎由記範
乳がんの治療法様々な疑問と最新情報 .
第 1 回がんアカデミーサミット：前橋市 ,
2024, [特別講演]
19. 原文堅
持続可能ながん薬物治療を考える：経済毒性の
観点から .
第 124 回日本外科学会定期学術集会：常滑市 ,
2024, [モーニングセミナー]
20. Ozaki, Y., Emi, T., Sagara, Y., Hara, F., Sa-
sada, S., Sawaki, M., Kanbayashi, C., Ya-
manaka, T., Onishi, T., Fujiki, Y., Suto, A.,
Takahashi, Y., Tokunaga, E., Aruga, T., Na-
kamura, R., Fujisawa, T., Saji, S., Iwata, H.,
Shien., T.
Benefit of perioperative chemotherapy in
the patients with loco-regional recurrence
of HR-positive HER2-negative breast can-
cer: A multi-institutional retrospective co-
hort study.
ASCO Annual Meeting: Chicago, IL, USA,
2024, [ポスター発表]
21. 尾崎由記範
私が考える HR 陽性 HER2 陰性 MBC 治療戦略
の現在とこれから .
チームオンコロジーセミナー . オールジャパン
2024: 札幌市 , 2024, [ランチョンセミナー]
22. 高野利実
やってみよう！ AYA がんに “効く” エクササ
イズ .
第 6 回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会
学術集会：東京 , 2024, [座長]
23. 尾崎由記範
乳癌薬物治療における最近のデータ整理と患者
さんの不安を取り除くコミュニケーションのコ
ツ .
第 9 回日本がんサポーターティブケア学会学術集
会：さいたま市 , 2024, [ランチョンセミナー]
24. 高野利実
AYA 研・JASCC 合同企画：みんなでがん教育
に取り組もう！
第 9 回日本がんサポーターティブケア学会学術集
会：さいたま市 , 2024, [座長]
25. 高野利実
Stroke Oncology のアンメットメディカルニー
ズ .
第 9 回日本がんサポーターティブケア学会学術集
会：さいたま市 , 2024, [座長]
26. 高野利実
乳癌薬物治療における最近のデータ整理と患者
さんの不安を取り除くコミュニケーションのコ
ツ .
第 9 回日本がんサポーターティブケア学会学術集
会：さいたま市 , 2024, [座長]
27. 高野利実
学校だけじゃないがん教育：AYA Week 2024
教育チームの取り組み .
第 9 回日本がんサポーターティブケア学会学術集
会：さいたま市 , 2024, [企画]
28. 高野利実
身体活動・運動によって期待されるアウトカム：
Exercise Oncology の今後の展望 .
第 9 回日本がんサポーターティブケア学会学術集
会：さいたま市 , 2024, [ワーキンググループ]
29. 高野利実
不確かな情報に揺れ動く患者を、私たちはどう
支援すれば良いのか？
第 29 回日本緩和医療学会学術大会 / 第 37 回
日本サイコオンコロジー学会総会 合同学術大
会：神戸市 , 2024, [座長]
30. 高野利実
脳卒中、がん治療、緩和ケア、サイコオンコロ
ジー：腫瘍内科医の立場から、学際的な取り組
みの重要性を考える .
第 29 回日本緩和医療学会学術大会 / 第 37 回
日本サイコオンコロジー学会総会 合同学術大
会：神戸市 , 2024, [シンポジウム]

31. 高野利実
骨転移以外の緩和ケア・緩和的放射線治療：骨メタだけじゃない。骨転移以外の緩和的放射線治療【公益社団法人 日本放射線腫瘍学会（JAS-TRO）】
第 29 回日本緩和医療学会学術大会 / 第 37 回日本サイコオンコロジー学会総会 合同学術大会：神戸市，2024，[座長]
32. 尾崎由記範
転移再発後の薬物療法最前線：HER2 陽性と TNBC.
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，2024，[セッション]
33. 尾崎由記範
進行再発乳癌：最新薬物治療コンセンサス。
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，2024，[ランチョンセミナー]
34. 深田一平，細永真理，川井沙織，木澤莉香，増田淳，西村明子，尾崎由記範，原文堅，小林隆之，高野利実，山崎真澄，植木有紗，清谷一馬，大迫智，外岡暁子，竹内賢吾，森誠一，上野貴之，高橋俊二
転移再発乳がん患者におけるがんゲノムプロファイル検査の有用性に関する検討。
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，2024，[シンポジウム]
35. 青山陽亮，片岡明美，阿部朋未，吉田奈央，木澤莉香，尾崎由記範，植弘奈津恵，古川孝広，北野滋久，高野利実，上野貴之
乳癌領域でのライフスタイル・インターベンションについて。
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，2024，[シンポジウム]
36. 高野利実
アンコール企画。
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，2024，[座長]
37. 高野利実
腫瘍循環器領域における多職種連携：こうやって作り上げてきました。
第 7 回日本腫瘍循環器学会学術集会：姫路市，2024，[座長]
38. 久野真弘，吉村雷輝，佐伯澄人，尾崎由記範，大迫智，大野真司，岩見真吾，丸山玲緒，高野利実，上野貴之
Breast cancer metastasis pattern analysis using dynamic time warping/Dynamic time warping を用いた乳がん転移パターンの解析。
第 83 回日本癌学会学術総会：福岡市，2024，[口述発表]
39. 尾崎由記範
MRD がもたらす切除可能固形がん周術期治療の近未来：切除可能固形がんにおける MRD 利用ガイダンス発刊に寄せて：.3. 各領域における臨床動向：乳腺。
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024，[シンポジウム]
40. 尾崎由記範
フランスにおける Gustave Roussy における ESMO/JSCO フェローシップ。
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024，[報告]
41. 尾崎由記範
乳がん周術期 ICI 併用化学療法のエビデンスと FN マネジメントの実際。
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024，[講演]
42. 尾崎由記範
乳癌薬物療法の基本から最新トピックス。
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024，[シンポジウム]
43. 尾崎由記範
転移・再発トリプルネガティブ乳癌の最新の話題。
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024，[講演]
44. 高野利実
ACP は本当に必要なのか？：腫瘍内科医の立場から、「人生会議」について考える。

- 第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [シンポジウム]
45. 高野利実
エキスパートに聞く、再発乳がん患者さんへ標準治療を届けきるためのコミュニケーション。
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [イブニングセミナー]
 46. 高野利実
免疫療法における PD-L1 検査のあり方 / 新たなバイオマーカー。
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [座長]
 47. 尾崎由記範
医師に聞いてみたいこと：乳がん治療の最新情報と双方向型のディスカッション。
日本乳腺人工知能研究会：高崎市，2024, [シンポジウム]
 48. 尾崎由記範
日本乳腺人工知能研究会と乳腺診療 Dx。
第 34 回日本乳癌検診学会学術総会：高崎市，2024, [シンポジウム]
 49. 高野利実
トリプルネガティブ乳癌とポジティブに向き合うために：周術期薬物療法の新展開。
第 34 回日本乳癌検診学会学術総会：高崎市，2024, [ランチョンセミナー]
 50. Ozaki, Y., Kitano, S., Kiyotani, K., Yamashita, M., Wang, L., Ikarashi, D., Tsurutani, J., Iwasa, T., Takahashi, M., Mukohara, T., Masuda, N., Futamura, M., Minami, H., Matsumoto, K., Tanabe, Y., Kawabata, H., Yoshimura, K., Takano, T.
Difference in transcriptional expression and immune infiltration analysis between recurrent and de novo stage IV HER2-negative breast cancer in the NEWBEAT trial; WJOG9917BTR.
SABCS 2024: San Antonio, TX. USA, 2024, [ポスター発表]
 51. 青山陽亮
乳がん治療の薬物療法と患者さんとのコミュニケーション。
第 2 回 Stroke Oncology 研究会：東京，2024, [ランチョンセミナー]
 52. 高野利実
Stroke Oncology と学際的腫瘍学：腫瘍内科医の立場から。
第 2 回 Stroke Oncology 研究会：東京，2024, [講演]
 53. 高野利実
パネルディスカッション。
第 2 回 Stroke Oncology 研究会：東京，2024, [座長]
 54. 山口祐平
乳腺診療医の働き方について：キャリア形成について。
第 20 回日本乳癌学会関東地方会：東京，2024, [パネリスト]
 55. 高野利実
Luminal タイプ転移性乳癌の個別化治療。
第 20 回日本乳癌学会関東地方会：東京，2024, [シンポジウム]
 56. 高野利実
グランドキャンサーボード。
第 20 回日本乳癌学会関東地方会：東京，2024, [座長]
- 【乳腺外科】**
1. 片岡明美
乳がんの最新治療とその後のサバイバーシップ支援について。
江東区健康講演会：WEB 開催，2024, [講演]
 2. 日向妙子，阿部朋未，片岡明美，佐山郁子，織本亜里沙，横井麻珠美，高野利実，新川裕美，植木有紗，小野麻紀子，青木洋一，上野貴之
当院で管理を行った妊孕性温存希望の AYA 世代の遺伝性乳癌卵巣癌患者の 1 例。
第 14 回日本がん・生殖医療学会学術集会：水戸市，2024, [ポスター発表]

3. 阿部朋未, 片岡明美, 植弘奈津恵, 松永有紀, 吉田奈央, 西村明子, 尾崎由記範, 古川孝広, 高野利実, 上野貴之
AYA 世代乳がん患者のライフスタイルの変遷.
第 14 回日本がん・生殖医療学会学術集会: 水戸市, 2024, [発表形式不明]
4. 坂井威彦
腫瘍内科医に知ってほしい外科治療の進歩: 集学的治療新時代における乳癌の個別 De-escalation surgery.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 名古屋市, 2024, [シンポジウム]
5. 片岡明美, 中村美穂
乳がん治療とその後の生活: がんになっても自分らしさを大切に.
がん研究会有明病院 & JAL Wellness セミナー: 東京 + Web 開催, 2024, [講演]
6. 片岡明美
乳がん治療とその後の生活: パートナーシップを考える.
第 6 回がん研究会有明病院・海上ビル診療所合同セミナー: 東京, 2024, [講演]
7. 片岡明美
POSITIVE 試験参加を経験して得られたもの.
第 14 回 JBCRG 学術集会: Web 開催, 2024, [講演]
8. 上野貴之
リキッドバイオプシーが変えるがん医療.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [司会]
9. 上野貴之
乳腺: 乳癌周術期治療 1.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [司会]
10. 井上有香, 植弘奈津恵, 山下奈真, Palfalvi, M., 山口裕樹, Maezono, S., 安東頼子, 西山結美, 水沼未雅, 市川裕樹, 松永有紀, 家里明日美, 尾崎由記範, 前田哲代, 原文堅, 小林隆之, 大迫智, 坂井威彦, 上野貴之
侵襲が少ない尿を用いた乳癌バイオマーカー開発への挑戦.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ワークショップ]
11. 山下奈真, Withers, H., 森本祥悠, 伏見淳, 原武直紀, Long, M., Kufe, D., 上野貴之
トリプルネガティブ乳癌の癌幹細胞性に焦点を当てた分子標的治療の探究.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [サージカルフォーラム]
12. 片岡明美, 阿部朋未, 植弘奈津恵, 吉田奈央, 松永有紀, 春山優理恵, 中平詩, 高畑史子, 井上有香, 山下奈真, 吉田和世, 前田哲代, 稲荷均, 坂井威彦, 中村美穂, 濱口恵子, 高野利実, 渡邊雅之, 上野貴之
いつでもどこでも誰からでもサバイバーシップケアが受けられる病院を目指して.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [特別企画]
13. 阿部朋未, 片岡明美, 植弘奈津恵, 吉田奈央, 松永有紀, 春山優理恵, 中平詩, 高畑史子, 井上有香, 山下奈真, 吉田和世, 前田哲代, 稲荷均, 坂井威彦, 上野貴之
ハイボリュームセンターにおける医療者・患者とともに win-win な働き方改革.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [サージカルフォーラム]
14. 春山優理恵, 稲荷均, 前田哲代, 中島絵里, 山下奈真, 坂井威彦, 久我亜沙美, 幅野愛理, 箕浦祐子, 新川裕美, 金子景香, 植木有紗, 上野貴之, 大野真司
乳癌未発症 BRCA1/2 病的バリエーション保持者に対する乳房サーベイランスおよび両側リスク低減乳房切除術の取り組み.
第 4 回 JOHBOC 学術総会: 東京 + Web 開催, 2024, [口述発表]
15. 片岡明美
妊孕性.
第 9 回日本がんサポーターシップケア学会学術集会: さいたま市, 2024, [ファシリテーター]

16. 片岡明美
拳児希望のある乳がん術後女性がホルモン療法を中断して妊娠を試みる国際共同研究 POSITIVE 試験に参加して。
第 9 回日本がんサポーターブケア学会学術集会：さいたま市，2024，[セッション]
17. 春山優理恵
保険収載が HBOC 患者の周術期治療選択に与えた影響についての検討。
第 30 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会：仙台市，2024，[要望演題]
18. 片岡明美
ピンクリボンアドバイザー活動発表。
NPO 法人乳房健康研究会ピンクリボンアドバイザーアニュアルミーティング 2024：東京，2024，[座長]
19. 前田哲代，山下奈真，上野貴之
トリプルネガティブ乳癌における Stimulator of Interferon Genes 発現の予後への影響。
第 28 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京，2024，[ワークショップ]
20. 山下奈真，森本祥悠，伏見淳，原武直紀，Mark, L., Donald, K., 上野貴之
トリプルネガティブ乳癌において MUC1-C はクロマチン調節を介してインターフェロン経路の慢性活性化および治療抵抗性を制御する。
第 28 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京，2024，[口述発表]
21. 片岡明美
がん教育模擬授業。
第 8 回ピンクリボンアドバイザーがん教育講師養成講座：東京，2024，[コメンテーター]
22. 片岡明美
トークセミナー。
第 20 回ミニウオーク & ラン フォー ブレストケア ピンクリボンウオーク 2024：東京，2024，[座長]
23. 上野貴之
Breast Cancer 企画：3. 講演。
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，2024，[座長]
24. 上野貴之
Breast Cancer 企画：4. パネルディスカッション。
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，2024，[座長]
25. 上野貴之
Breast Cancer 企画：臨床研究を始めてみよう。
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，2024，[総司会]
26. 上野貴之
リキッドバイオプシーの臨床展開と将来展望。
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，2024，[口述発表]
27. 上野貴之
乳がんのリキッドバイオプシーの最新情報の共有と社会的問題点を議論する。
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，2024，[座長]
28. 上野貴之
乳癌免疫療法のリアルワールドでの問題点、そして今後の展望。
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，2024，[座長]
29. 上野貴之
国際学会報告 (SABCS2023, GBC-C2023, TIBCS2023)。
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，2024，[座長]
30. 中平詩，坂井威彦，阿部朋未，井上有香，山下奈真，前田哲代，植弘奈津恵，片岡明美，高野利実，大迫智，上野貴之
cT1-2N0 症例のうち pN2（転移 4 個）以上となる群を予想できるか。
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，2024，[e ポスター]

31. 井上有香, 増田紘子, 木村優里, 網岡愛, 村上朱里, 尾崎由記範, 金本佑子, 田根香織, 森田翠, 岩朝勤, 北澤舞, 小谷はるる, 立花和之進, 松永有紀, 大西舞, 伏見淳, 井口雅史, 増田慎三, 戸井雅和
MIRAY1: 若手乳腺診療医の横断的ネットワーク形成、魅力的な乳腺診療医育成にむけて: 無印良品コラボイベント.
第 32 回日本乳癌学会学術総会: 仙台市, 2024, [ポスターディスカッション]
32. 佐伯澄人
Factors associated with financial toxicity in patients with breast cancer in Japan: a comparison of patient and physician perspectives.
第 32 回日本乳癌学会学術総会: 仙台市, 2024, [講演]
33. 佐伯澄人, 丸山玲緒, 大野真司, 上野貴之
乳癌患者組織及び患者由来オルガノイドにおける腫瘍内不均一性の検討: 日本における乳癌患者の経済毒性に関する研究.
第 32 回日本乳癌学会学術総会: 仙台市, 2024, [講演]
34. 佐伯澄人, 岩谷胤生, 北野敦子, 桜井なおみ, 田辺裕子, 山内智香子, 五十嵐中, 梶本裕介, 久芳さやか, 原文堅, 相良安昭, 大野真司
日本における乳癌患者の経済毒性に影響を与える要因: 患者と医師の視点からの比較.
第 32 回日本乳癌学会学術総会: 仙台市, 2024, [シンポジウム]
35. 坂井威彦
Web 改訂の要点: 外科療法.
第 32 回日本乳癌学会学術総会: 仙台市, 2024, [口述発表]
36. 坂井威彦
オンコプラスチックサージャリー 2.
第 32 回日本乳癌学会学術総会: 仙台市, 2024, [座長]
37. 坂井威彦
乳房部分切除後の局所治療の標準化に関する研究 (第 29 回中間報告).
- 第 32 回日本乳癌学会学術総会: 仙台市, 2024, [報告]
38. 山下奈真, 尾崎由記範, 細永真理, 植弘奈津恵, 稲荷均, 坂井威彦, 青山陽亮, 木澤莉香, 川井沙織, 西村明子, 深田一平, 原文堅, 小林隆之, 前田哲代, 吉田和世, 高野利実, 上野貴之
HER2 陽性早期乳癌 (T1N0) の周術期薬物療法の個別化に関する検討.
第 32 回日本乳癌学会学術総会: 仙台市, 2024, [e ポスター]
39. 山下奈真
バイオマーカー 1.
第 32 回日本乳癌学会学術総会: 仙台市, 2024, [座長]
40. 日向妙子, 阿部朋未, 片岡明美, 吉田奈央, 松永有紀, 高畑史子, 植弘奈津恵, 稲荷均, 木澤莉香, 新川裕美, 尾崎由記範, 高野利実, 植木有紗, 上野貴之
多職種・多施設で支援を行った妊孕性温存希望のある若年の遺伝性乳癌卵巣癌乳癌患者の 2 例.
第 32 回日本乳癌学会学術総会: 仙台市, 2024, [e ポスター]
41. 春山優理恵
乳癌未発症 BRCA1/2 病的バリエーション保持者に対する乳房サーベイランスの有効性.
第 32 回日本乳癌学会学術総会: 仙台市, 2024, [e ポスター]
42. 木村優里
地方会リーダー及びコメンテーターの先生方とのパネルディスカッション.
第 32 回日本乳癌学会学術総会: 仙台市, 2024, [パネルディスカッション]
43. 植弘奈津恵, 秋谷昌史, 大迫智, 前田哲代, 井上有香, 山下奈真, 片岡明美, 阿部朋未, 中平詩, 松永有紀, 吉田奈央, 坂井威彦, 上野貴之
オンコタイプ DX 乳がん再発スコアと腫瘍浸潤リンパ球との関連.
第 32 回日本乳癌学会学術総会: 仙台市, 2024, [口述発表]

44. 植弘奈津恵
外科医「不要」の立場から。
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，
2024, [ディベーター]
45. 片岡明美
ワークショップ「学びの広場：臨床試験と意思
決定」。
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，
2024, [座長]
46. 片岡明美
乳がんサバイバーシップ：運動・栄養・代謝。
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，
2024, [座長]
47. 片岡明美
乳がんのアピアランスケアについて。
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，
2024, [ランチョンセミナー]
48. 片岡明美，阿部朋未，植弘奈津恵，高畑史子，
春山優理恵，吉田奈央，家里明日美，河村雪乃，
中平詩，山下奈真，井上有香，前田哲代，吉田
和世，稲荷均，坂井威彦，上野貴之
妊娠期乳癌の特徴と今後の問題点について。
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，
2024, [シンポジウム]
49. 阿部朋未，片岡明美，植弘奈津恵，松永有紀，
尾崎由記範，西村明子，吉田奈央，高畑史子，
春山優理恵，中平詩，前田哲代，吉田和世，井
上有香，山下奈真，稲荷均，坂井威彦，古川孝
広，高野利実，上野貴之
若年乳癌女性の妊孕性温存に関する意識調査：
FELICE Trial。
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，
2024, [ポスターディスカッション]
50. 片岡明美
がんについて。
“がん”を知る！サマーセミナー in がん研：東
京，2024, [講演]
51. 片岡明美
治療終了後も長期的に残存する生活障害Ⅳ：乳
がんに焦点をあてて。
2024 年度高知県立大学がん高度実践看護師
コースセミナー：WEB 開催，2024, [講演]
52. 片岡明美
がん治療専門病院でのアピアランスケアへの取
組み。
NPO 法人エンパワリング ブレストキャンサー
/E-BeC. BC Venus Forum Vol.2 in 東京：東
京，2024, [講演]
53. 片岡明美
最新・乳がん治療白書：SDM から最新治療ま
で&なんでも質問。
NPO 法人女性医療ネットワーク第 166 回マン
マチアー：WEB 開催，2024, [講演]
54. 片岡明美
アピアランスケア：当院での取り組み。
第 21 回日本乳癌学会中国四国地方会：松山市，
2024, [ティータイムセミナー]
55. 木村優里
活動報告。
第 22 回日本乳癌学会九州地方会：福岡市，
2024, [アンバサダー]
56. 佐伯澄人，久野真弘，尾崎由記範，大迫智，高
野利実，大野真司，丸山玲緒，上野貴之
Stratification of advanced breast cancer
based on systemic pathophysiological con-
ditions/ 病態生理に基づく進行乳癌患者の層別
化：臨床的意義と癌生物学的特徴の探索。
第 83 回日本癌学会学術総会：福岡市，2024，
[口述発表]
57. 山下奈真，Kufe, D., 上野貴之，高橋暁子
Chronic interferon pathway activation in
triple-negative breast cancer: implications
for drug resistance/tumor immunity/ トリプ
ルネガティブ乳癌における慢性的インターフェ
ロン経路活性化の制御機構と薬剤耐性・腫瘍免
疫との関り。
第 83 回日本癌学会学術総会：福岡市，2024，
[シンポジウム]

58. 片岡明美
乳がん備える：正しい知識と頼れるなかまを持っておこう。
日本対がん協会ピンクリボンフェスティバル 2024: WEB 開催, 2024, [講演]
59. 前田哲代, 宮城由美, 中平詩, 春山優理恵, 高畑史子, 井上有香, 吉田和世, 植弘奈津恵, 高橋洋子, 片岡明美, 坂井威彦, 谷川千尋, 上野貴之
乳房部分切除術における乳房形態の三次元予測システムの開発。
第 12 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会: 金沢市, 2024, [口述発表]
60. 春山優理恵, 坂井威彦, 吉田奈央, 中平詩, 高畑史子, 井上有香, 吉田和世, 植弘奈津恵, 前田哲代, 山下奈真, 片岡明美, 上野貴之
オンコプラスチックサージャリーを目指して: 乳房下部領域の乳癌に V-mammoplasty を適応した 3 例の報告。
第 12 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会: 金沢市, 2024, [口述発表]
61. 中平詩, 井上有香, 前田哲代, 植弘奈津恵, 山下奈真, 片岡明美, 坂井威彦, 上野貴之
当院での腋窩マネジメントの変遷と前向き臨床試験について。
第 26 回 SNNS 研究会学術集会: 東京, 2024, [シンポジウム]
62. 上野貴之
乳癌治療: UpToDate。
第 62 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [教育セッション]
63. 井上有香, 竹内愛, 高橋輝, 笠原あや菜, 上間美夕紀, 織本亜理沙, 鈴木美智子, 大澤めぐみ, 鈴木一洋, 坂井威彦, 上野貴之, 小口正彦
乳癌診療におけるデジタル問診を用いたコミュニケーション支援システムの活用。
第 62 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [特別企画]
64. 坂井威彦
乳癌外科治療における腋窩リンパ節郭清省略の可能性。
第 62 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [パネルディスカッション]
65. 山下奈真, 森本祥悠, 伏見淳, 井上有香, 原武直紀, Mark, L., Donald, K., 上野貴之
MUC1-C による慢性的インターフェロン経路亢進は TNBC の薬剤耐性・免疫回避に関与する。
第 62 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [一般口演]
66. 植弘奈津恵, 坂井威彦, 大迫智, 片岡明美, 山下奈真, 前田哲代, 吉田和世, 井上有香, 中平詩, 上野貴之
局所再発低リスク症例における乳房温存術後放射線治療省略の可能性。
第 62 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [パネルディスカッション]
67. Sakai, T.
Axillary surgery after neoadjuvant chemotherapy.
ACKSS2024 76th Congress of The Korean Surgical Society: Seoul, Korea., 2024, [シンポジウム]
68. 片岡明美
乳がんの診療に関する基礎知識。
NPO 法人乳房健康研究会ピンクリボンワークショップキャラバン 2024: WEB 開催, 2024, [講演]
69. Abe, T., Kataoka, A., Uehiro, N., Ozaki, Y., Nishimura, M., Yoshida, N., Takahata, C., Haruyama, Y., Nakadaira, U., Maeda, T., Yoshida, K., Inoue, Y., Yamashita, N., Sakai, T., Kogawa, T., Takano, T., Ueno, T.
The fertility concerns in young breast cancer patients trial: FELICE trial.
The 8th World Congress of the International Society for Fertility Preservation: 東京, 2024, [ポスター発表]

70. Hyuga, T., Kataoka, A., Abe, T., Yoshida, N., Takahata, C., Uehiro, N., Arakawa, H., Ozaki, Y., Takano, T., Ono, M., Aoki, Y., Ueki, A., Ueno, T.
Case report : An adolescent-young adult patient with hereditary breast and ovarian cancer who had two children after breast cancer treatment.
The 8th World Congress of the International Society for Fertility Preservation: 東京, 2024, [ポスター発表]
71. Kataoka, A., Abe, T., Yoshida, N., Uehiro, N., Takahata, C., Ozaki, Y., Nishimura, M., Takano, T., Kogawa, T., Ueno, T.
Prognosis, fertility preservation trends, and pregnancy outcomes in young patients with triple negative breast cancer.
The 8th World Congress of the International Society for Fertility Preservation: 東京, 2024, [ポスター発表]
72. 片岡明美
乳がんアピアランスケアとサバイバーシップ支援.
国立病院機構福岡東医療センター第 50 回臨床腫瘍カンファレンス: WEB 開催, 2024, [講演]
73. 上野貴之
HR 陽性 HER2 陰性早期乳がんの当院での治療戦略.
第 22 回日本乳癌学会近畿地方会: 大阪市, 2024, [スイーツセミナー]
74. 坂井威彦
乳癌診療と生検の新時代: 治療の鍵となるアーカイブの重要性.
第 22 回日本乳癌学会近畿地方会: 大阪市, 2024, [講演]
75. 上野貴之
リキッドバイオプシーによる乳がん検診の可能性を考える.
第 34 回日本乳癌検診学会学術総会: 高崎市, 2024, [座長]
76. 宮城由美, 小口正彦, 鈴木一洋, 國分優美, 高橋洋子, 加山博規, 上野貴之
検診マンモグラフィ読影に AI を用いた際の読影精度の検討.
第 34 回日本乳癌検診学会学術総会: 高崎市, 2024, [シンポジウム]
77. 山下奈真, 岩瀬まどか, 田原梨絵, 寺田満雄, 家里明日美, 柴山朋子, 中澤祐子, 伏見淳
YouTube を用いた Breast Awareness の推進.
第 34 回日本乳癌検診学会学術総会: 高崎市, 2024, [シンポジウム]
78. 高橋洋子, 佐伯澄人, 高畑史子, 國分優美, 吉田和世, 上野貴之
乳癌検診におけるハイボリュームセンターの役割とその課題.
第 34 回日本乳癌検診学会学術総会: 高崎市, 2024, [ワークショップ]
79. 木村優里
乳腺造影 US による血流評価を用いた腫瘍浸潤リンパ球の診断予測への応用: AppTIL study.
第 52 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会: 札幌市, 2024, [口述発表]
80. 上野貴之, 深田一平
全ゲノム解析等実行計画に基づく全ゲノム解析の患者還元および臨床実装について.
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会: 千葉市, 2024, [シンポジウム]
81. 坂井威彦, 森園英智, 池畑浩一, 阿部仁, 千葉知宏
若手医師に伝えたい乳腺細胞診の魅力と重要性.
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会: 千葉市, 2024, [ワークショップ]
82. Inoue, Y., Yamashita, N., Uehiro, N., Satomura, A., Yamaguchi, H., Maezono, S., Palfalvi, M., Ando, Y., Nishiyama, Y., Mizunuma, M., Ichikawa, Y., Ozaki, Y., Maeda, T., Kobayashi, T., Osako, T., Sakai, T., Ueno, T.
Identification of urinary microRNA as potential biomarkers in breast cancer patients.

San Antonio Breast Cancer Symposium
2024: San Antonio, TX, USA, 2024, [ポスター発表]

83. 中平詩

診断編：提示症例に関する鑑別診断と治療に関して知っておきたいこと：治療編：腋窩・領域リンパ節のマネージメント。

第20回日本乳癌学会関東地方会：東京，2024, [パネリスト]

84. 片岡明美

妊孕性温存療法の現状。

第20回日本乳癌学会関東地方会：東京，2024, [座長]

85. 甲斐三紀子，井上有香，笠原実貴子，伊藤由季絵，中平詩，西村明子，植弘奈津恵，秋谷昌史，大迫智，國分優美，坂井威彦，高野利実，上野貴之

孤立性胃転移を認めた de novo Stage IV トリプルネガティブ乳癌の一例。

第20回日本乳癌学会関東地方会：東京，2024, [口述発表]

86. 笠原実貴子，植弘奈津恵，甲斐三紀子，伊藤由季絵，中平詩，井上有香，山下奈真，秋谷昌史，大迫智，西村明子，小野麻紀子，國分優美，坂井威彦，高野利実，上野貴之

原発性乳房血管肉腫の1例。

第20回日本乳癌学会関東地方会：東京，2024, [口述発表]

87. 谷口絵美，前田哲代，吉田奈央，秋谷昌史，高畑史子，片岡明美，千葉知宏，國分優美，坂井威彦，大迫智，上野貴之

嚢胞内腫瘍の形態を呈した乳腺腺筋上皮腫の1例。

第20回日本乳癌学会関東地方会：東京，2024, [口述発表]

88. 金澤あゆみ，山下奈真，井上有香，木村優里，春山優理恵，吉田和世，坂井威彦，小林隆之，高野利実，國分優美，秋谷昌史，大迫智，上野貴之

診断に難渋した乳房デスモイド線維腫症の一例。

第20回日本乳癌学会関東地方会：東京，2024, [口述発表]

【婦人科】

1. 金尾祐之

卵巣がん治療戦略。

Gynecology web in Kyushu: 北九州市，2024, [講演]

2. 野村秀高

SDSの至適症例とは？

卵巣癌治療のアプローチ：手術から薬物療法まで：Web開催，2024, [講演]

3. 野村秀高

子宮体癌に対するMIS。

第3回拡大学術研修会：神戸市，2024, [講演]

4. 金尾祐之，野村秀高，岡本三四郎，谷川輝美，尾身牧子，青木洋一，根津幸穂，伏木淳，菅野素子

精緻なロボット手術の適応と限界（腹腔鏡手術との相違）。

第16回日本ロボット外科学会学術集会：米子市，2024, [シンポジウム]

5. 野村秀高

Visionと挑戦。

第18回神奈川若手産婦人科医の会：川崎市，2024, [講演]

6. 温泉川真由

Essence of a investigator, my message to young doctors in gynecologic oncology.

第21回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [ファシリテーター]

7. 鎌田麻由美，野村秀高，吉満輝行，美坂聡樹，伏木淳，阿部彰子，金尾祐之

子宮内黄体ホルモン放出システム挿入中に子宮体癌を発症した2例。

第408回東京産科婦人科学会例会：東京，2024, [口述発表]

8. 野村秀高
SDS 至適症例を探る .
Ovarian Cancer Surgery in Hokkaido: 札幌市, 2024, [講演]
9. 阿部彰子
卵巣がんにおける遺伝診療とニラパリブのエビデンスレビュー .
第 5 回 CAP-J Workshop: Web 開催, 2024, [ランチョンセミナー]
10. 菅野素子
あなたが、あなたの大切な人が婦人科がんになったら：予防・早期発見・治療について .
第 6 回がん研究会有明病院・海上ビル診療所合同セミナー：Web 開催, 2024, [講演]
11. 野村秀高
若年女性に対する鼠経ヘルニア手術の影響 .
第 7 回茨城ヘルニア研究会：つくば市, 2024, [特別講演]
12. 野村秀高
SDS 至適症例を探る .
第 19 回産婦人科低侵襲スキルアップ研究会共催セミナー：Web 開催, 2024, [講演]
13. 西野翔吾
症例ディスカッション .
若手婦人科医師エキスパートセミナー：私たちはこう考える：Web 開催, 2024, [司会]
14. 野村秀高
ラパロ、どうやったらうまくなる？
令和 6 年度岐阜産科婦人科研究会：岐阜市, 2024, [特別講演]
15. 野村秀高
うまい手術を目指して .
第 19 回九州産婦人科内視鏡手術研究会：北九州市 +Web 開催, 2024, [特別講演]
16. 伏木淳, 加藤真弓, 古澤啓子, 三村貴志, 石川光也, 佐藤豊実
卵巣癌 IV 期の術前化学療法後の手術介入の意義に関するアンケート調査 .
第 76 回日本産科婦人科学会学術講演会：横浜市, 2024, [ポスター発表]
17. 根津幸穂
産婦人科手術にテクロノロジーを：LigaSureTM XP がもたらす、手術効果、効率化 .
第 76 回日本産科婦人科学会学術講演会：横浜市, 2024, [ランチョンセミナー]
18. 温泉川真由
子宮体癌薬物療法の現状と今後の展望 .
第 76 回日本産科婦人科学会学術講演会：横浜市, 2024, [ランチョンセミナー]
19. 金尾祐之
2) MIS の可能性を享受する .
第 76 回日本産科婦人科学会学術講演会：横浜市, 2024, [ランチョンセミナー]
20. Kanao, H.
Various laparoscopic radical, ultra-radical surgeries for gynecologic diseases.
36th ISGE annual meeting: Beijing, China, 2024, [発表形式不明]
21. 野村秀高
卵巣・卵管癌、腹膜癌「婦人科医、何考えてんだ？」 .
令和 6 年度第 1 回病理細胞診検査研究班研修会：Web 開催, 2024, [講演]
22. 野村秀高
RRSO の過去・現在・未来 .
第 4 回 JOHBOC 学術総会：東京 +Web 開催, 2024, [アフタヌーンセミナー]
23. 野村秀高
遺伝性乳癌卵巣癌未発症者に対する当科の現状 .
第 4 回 JOHBOC 学術総会：東京 +Web 開催, 2024, [口述発表]
24. 岡本三四郎
広汎子宮全摘術を今一度再考する .
第 4 回婦人科ロボット手術研究会：東京, 2024, [パネリスト]

25. 阿部彰子, 野村秀高, 伏木敦, 温泉川真由, 深田一平, 林直美, 王曉斐, 久我亜沙美, 幅野愛理, 箕浦祐子, 新川裕美, 金子景香, 尾身牧子, 青木洋一, 菅野素子, 外岡暁子, 森誠一, 高橋俊二, 植木有紗, 金尾祐之
婦人科腫瘍におけるゲノムプロファイルのランドスケープと、Germline findings について。
第 30 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会：仙台市, 2024, [要望演題]
26. 野村秀高
腹腔鏡で悪性腫瘍手術に挑む。
第 10 回新潟婦人科内視鏡手術セミナー Step3: 新潟市, 2024, [特別講演]
27. 野村秀高, 一木愛
ロボット時代の手術教育。
第 12 回日本婦人科ロボット手術学会：大津市, 2024, [口述発表]
28. 金尾祐之
ロボット支援下子宮体癌根治術における根治性と低侵襲性両立の試み。
第 12 回日本婦人科ロボット手術学会：大津市, 2024, [座長]
29. 青木洋一
ESGO courses “advanced course in robotic gynaecological oncology surgery ” へ参加して。
第 12 回日本婦人科ロボット手術学会：大津市, 2024, [口述発表]
30. 野村秀高, 阿部彰子, 伏木淳, 青木洋一, 尾身牧子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 温泉川真由, 千葉知宏, 金尾祐之
遺伝性乳癌卵巣癌における, 卵巣癌発症時の子宮頸部・内膜細胞診陽性率の検討。
第 65 回日本臨床細胞学会総会春期大会：大阪市, 2024, [口述発表]
31. 野村秀高
RRSO の過去・現在・未来。
埼玉県婦人科腫瘍オンラインカンファレンス Gynecologist Skill up Seminar: Web 開催, 2024, [特別講演]
32. 一木愛, 外岡暁子, 岡本三四郎, 鎌田麻由美, 豊原佑典, 西野翔吾, 菅野素子, 阿部彰子, 伏木淳, 尾身牧子, 根津幸穂, 青木洋一, 谷川輝美, 野村秀高, 温泉川真由, 秋谷昌史, 千葉知宏, 金尾祐之
成熟脳組織像を伴った卵巣類内膜癌の一例。
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：鹿児島市, 2024, [検討会]
33. 二村涼, 外岡暁子, 伊藤藍, 田中優美子, 菅野素子, 伏木淳, 阿部彰子, 根津幸穂, 青木洋一, 尾身牧子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 野村秀高, 温泉川真由, 金尾祐之
卵巣に発生した軟骨性腫瘍の一例。
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：鹿児島市, 2024, [検討会]
34. 伏木淳, 鎌田麻由美, 野村秀高, 阿部彰子, 渡部俊陽, 豊原佑典, 二村涼, 河本貴之, 西野翔吾, 菅野素子, 青木洋一, 根津幸穂, 尾身牧子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 温泉川真由, 金尾祐之
子宮頸癌手術における術中腫瘍散布予防の重要:「LACC 試験の手術とは異なる」という意識。
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：鹿児島市, 2024, [シンポジウム]
35. 吉満輝行, 渡部俊陽, 美坂聡樹, 佛原悠介, 菅野素子, 阿部彰子, 伏木淳, 根津幸穂, 尾身牧子, 谷川輝美, 青木洋一, 岡本三四郎, 温泉川真由, 野村秀高, 金尾祐之
画像上転移所見のない局所 1A 期子宮体癌における、リンパ管侵襲のリンパ節転移との関連性の検討。
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：鹿児島市, 2024, [講演]
36. 尾身牧子, 田中優美子, 栗原望, 外岡暁子, 菅野素子, 伏木淳, 青木洋一, 根津幸穂, 阿部彰子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 野村秀高, 杉山裕子, 金尾祐之
子宮頸部嚢胞の MRI 所見の検討：ナボット嚢胞と分葉状内頸部腺過形成の鑑別を中心に。
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：鹿児島市, 2024, [一般口演]

37. 岡本三四郎, 西野翔吾, 鎌田麻由美, 尾身牧子, 青木洋一, 阿部彰子, 温泉川真由, 野村秀高, 小嶋結, 外岡暁子, 北井里実, 田中優美子, 金尾祐之
当院で経験した類上皮性トロホブラスト腫瘍 (ETT : epithelioid trophoblastic tumor) の 1 症例 .
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 : 鹿児島市, 2024, [ポスター発表]
38. 温泉川真由, 豊原佑典, 西野翔吾, 一木愛, 菅野素子, 根津幸穂, 阿部彰子, 谷川輝美, 伏木淳, 尾身牧子, 青木洋一, 岡本三四郎, 野村秀高, 金尾祐之
MSI-H/dMMR/TMB-H 婦人科腫瘍に対する免疫チェックポイント阻害剤の最適な治療期間についての検討 .
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 : 鹿児島市, 2024, [シンポジウム]
39. 温泉川真由
卵巣腫瘍 : 症例報告 1.
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 : 鹿児島市, 2024, [座長]
40. 美坂聡樹, 温泉川真由, 吉満輝行, 伏木淳, 阿部彰子, 菅野素子, 根津幸穂, 青木洋一, 尾身牧子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 野村秀高, 金尾祐之
ペムブロリズマブ投与中に造影剤によるアナフィラキシーショックが遷延した卵巣癌の一例 .
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 : 鹿児島市, 2024, [ポスター発表]
41. 菅野素子, 豊原佑典, 西野翔吾, 伏木淳, 青木洋一, 阿部彰子, 根津幸穂, 尾身牧子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 野村秀高, 温泉川真由, 金尾祐之
PARP 阻害薬の導入後も R0 手術は進行卵巣癌の重要な予後因子であるか .
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 : 鹿児島市, 2024, [一般口演]
42. 西野翔吾, 谷川輝美, 豊原佑典, 鎌田麻由美, 一木愛, 菅野素子, 伏木淳, 阿部彰子, 根津幸穂, 青木洋一, 尾身牧子, 岡本三四郎, 温泉川真由, 野村秀高, 金尾祐之
子宮頸癌放射線治療後の局所再発におけるサーベイランスの有用性についての検討 .
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 : 鹿児島市, 2024, [一般口演]
43. 谷川輝美, 山田麻里沙, 西野翔吾, 河本貴之, 一木愛, 豊原佑典, 菅野素子, 根津幸穂, 青木洋一, 阿部彰子, 伏木淳, 尾身牧子, 岡本三四郎, 外岡暁子, 野村秀高, 温泉川真由, 千葉知宏, 吉岡靖生, 金尾祐之
子宮頸部細胞診による子宮頸癌放射線治療後の治癒判定の至適時期についての検討 .
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 : 鹿児島市, 2024, [一般口演]
44. 豊原佑典, 温泉川真由, 二村涼, 西野翔吾, 一木愛, 菅野素子, 根津幸穂, 谷川輝美, 伏木淳, 阿部彰子, 青木洋一, 尾身牧子, 岡本三四郎, 野村秀高, 金尾祐之
進行卵巣癌 PARP 阻害剤維持療法後の二次治療としてのプラチナ感受性についての検討 .
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 : 鹿児島市, 2024, [一般口演]
45. 野村秀高, 伏木淳, 阿部彰子, 佛原悠介, 美坂聡樹, 吉満輝行, 河本貴之, 西野翔吾, 鎌田麻由美, 一木愛, 菅野素子, 青木洋一, 根津幸穂, 尾身牧子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 温泉川真由, 金尾祐之
ロボット手術において適切なカウントートラクションと鋭的剥離を指導するために .
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 : 鹿児島市, 2024, [ワークショップ]
46. 野村秀高
子宮頸部に原発巣が限局する頸癌Ⅲ C1r 期は CCRT か広汎全摘か : 手術の立場から .
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 : 鹿児島市, 2024, [ディベートセッション]

47. 金尾祐之
手術療法の視点から .
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：鹿児島市，2024, [ランチョンセミナー]
48. 鎌田麻由美，伏木淳，佛原悠介，美坂聡樹，吉満輝行，菅野素子，阿部彰子，青木洋一，根津幸穂，谷川輝美，尾身牧子，岡本三四郎，温泉川真由，野村秀高，小嶋結，外岡暁子，田中優美子，金尾祐之
子宮体部脱分化癌の MRI の検討 .
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：鹿児島市，2024, [一般口演]
49. 阿部彰子，野村秀高，伏木淳，温泉川真由，岡本三四郎，青木洋一，谷川輝美，根津幸穂，尾身牧子，菅野素子，鎌田麻由美，西野翔吾，植木有紗，金尾祐之
卵巣癌におけるゲノムプロファイルのランドスケープについて .
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：鹿児島市，2024, [シンポジウム]
50. 青木洋一，菅野素子，一木愛，二村涼，豊原佑典，河本貴之，渡部俊陽，西野翔吾，鎌田麻由美，美坂聡樹，伏木淳，阿部彰子，根津幸穂，尾身牧子，谷川輝美，岡本三四郎，野村秀高，金尾祐之
ダブルコンソールを使用したロボット手術の指導効果 .
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：鹿児島市，2024, [ワークショップ]
51. 青木洋一
婦人科癌：その他 2.
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：鹿児島市，2024, [座長]
52. 青木洋一，菅野素子，一木愛，二村涼，豊原佑典，河本貴之，渡部俊陽，西野翔吾，鎌田麻由美，美坂聡樹，伏木淳，阿部彰子，根津幸穂，尾身牧子，谷川輝美，岡本三四郎，野村秀高，金尾祐之
子宮頸癌に対する腹腔鏡下 ICG センチネルリンパ節マッピングに対する予後解析結果 .
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：鹿児島市，2024, [一般口演]
53. Kanao, H.
Total laparoscopic radical hysterectomy (Type C) : How to do and how to master??
KSGO cadaver workshop: Seoul, Korea, 2024, [デモンストレーター]
54. 阿部彰子
婦人科腫瘍の化学療法と CIPN のマネジメント .
ここが知りたい！専門医から学ぶ Web Seminar -CIPN-: Web 開催，2024, [講演]
55. 阿部彰子
遺伝性腫瘍・がん 1.
第 48 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会：東京，2024, [座長]
56. 野村秀高
将来の夢は何ですか？
第 10 期 STEPS step1: 長野市，2024, [特別講演]
57. 杉山裕子
病理・細胞診における AI の活用 .
第 38 回関東臨床細胞学会学術集会 /2024 年度千葉県臨床細胞学会学術集会：千葉市，2024, [座長]
58. 一木愛，野村秀高，鎌田麻由美，西野翔吾，菅野素子，阿部彰子，伏木淳，尾身牧子，根津幸穂，青木洋一，谷川輝美，岡本三四郎，金尾祐之
腹腔鏡下悪性腫瘍手術の手技獲得を目指して：付属器切除術・単純子宮全摘術から得られる技術 .
第 64 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：東京，2024, [ポスター発表]
59. 伏木淳，野村秀高，阿部彰子，鎌田麻由美，加藤慧，倉富由理，今翼，船田瑛太郎，渡部俊陽，西野翔吾，菅野素子，根津幸穂，青木洋一，尾身牧子，谷川輝美，岡本三四郎，温泉川真由，金尾祐之
Robot-assisted modified radical hysterectomy with the resection of the uterine artery resection 'medial to the ureter' .
第 64 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：東京，2024, [ポスター発表]

60. 小澤梨紗子
シン・子宮モデル ハンズオンセミナー .
第 64 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 :
東京, 2024, [講師]
61. 岡本三四郎, 西川恭平, 後藤崇人, 二村涼, 河
本貴之, 西野翔吾, 尾身牧子, 青木洋一, 野村
秀高, 金尾祐之
当院におけるロボット支援下子宮全摘手術導入
に関しての検討: 腹腔鏡下子宮全摘出術とロ
ボット支援下子宮全摘術の導入初期を比較し
て .
第 64 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 :
東京, 2024, [一般口演]
62. 根津幸穂, 豊原佑典, 小澤梨紗子, 加藤慧, 菅
野素子, 谷川輝美, 温泉川真由, 野村秀高, 金
尾祐之
ライフイベントを通じて学んだこと .
第 64 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 :
東京, 2024, [ポスター発表]
63. 菅野素子, 豊原佑典, 伏木淳, 根津幸穂, 青木
洋一, 尾身牧子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 野村
秀高, 金尾祐之
ロボット支援下骨盤リンパ節郭清術におけるダ
ブルバイポーラー法の有用性 .
第 64 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 :
東京, 2024, [ポスター発表]
64. 西野翔吾, 青木洋一, 後藤崇人, 西川恭平, 二
村涼, 河本貴之, 鎌田麻由美, 菅野素子, 阿部
彰子, 伏木淳, 根津幸穂, 尾身牧子, 谷川輝美,
岡本三四郎, 温泉川真由, 野村秀高, 金尾祐之
がん専門病院において悪性腫瘍を中心に診療し
ながら限られた症例で技術認定資格取得に向け
て考え行った工夫 .
第 64 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 :
東京, 2024, [一般口演]
65. 豊原佑典, 谷川輝美, 小澤梨紗子, 加藤慧, 河
本貴之, 鎌田麻由美, 西野翔悟, 菅野素子, 根
津幸穂, 伏木淳, 阿部彰子, 尾身牧子, 青木洋
一, 岡本三四郎, 野村秀高, 温泉川真由, 金尾
祐之
デュアルコンソールシステム指導下でのロボッ
ト支援下手術において初学者の視点から Tips
を学ぶ .
- 第 64 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 :
東京, 2024, [一般口演]
66. 野村秀高
その他 教育・トレーニングの工夫 .
第 64 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 :
東京, 2024, [座長]
67. 野村秀高, 今翼, 船田瑛太郎, 倉富由理, 渡部
俊陽, 鎌田真由美, 伏木淳, 阿部彰子, 西野翔
吾, 菅野素子, 根津幸穂, 青木洋一, 尾身牧子,
岡本三四郎, 温泉川真由, 金尾祐之
そんなおもちゃで癌を治せるのか?
第 64 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 :
東京, 2024, [一般口演]
68. 金尾祐之
頭で行なう婦人科腹腔鏡手術: 手術手技を分析
し一般化する .
第 64 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 :
東京, 2024, [座長]
69. 金尾祐之
骨盤を超えた手術をマスターすることで見えて
きた婦人科良性 / 悪性手術攻略法 .
第 64 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 :
東京, 2024, [ランチョンセミナー]
70. Fusegi, A.
Challenges treating uterine cancer during
minimally invasive surgery.
CoE program GYN: 東京, 2024, [発表形式
不明]
71. Fusegi, A., Kamata, M., Nomura, H., Abe,
A., Nishino, S., Kanno, M., Netsu, S., Aoki,
Y., Omi, M., Tanigawa, T., Okamoto, S., Yu-
nokawa, M., Kanao, H.
Effect of avoiding tumor spillage in laparo-
scopic radical hysterectomy for early-stage
cervical cancer: a propensity score-adjust-
ed analysis.
KSGE international conference 2024: Seoul,
Korea, 2024, [口述発表]

72. Kanao, H.
Where is the limitation of laparoscopic surgery in GYN cancer?
KSGE international conference 2024: Seoul, Korea, 2024, [座長]
73. 伏木淳, 杉山裕子, 寺内公一, 野村秀高, 阿部彰子, 鎌田麻由美, 西野翔吾, 菅野素子, 根津幸穂, 青木洋一, 尾身牧子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 温泉川真由, 金尾祐之
若年婦人科がんサバイバーが経験する不安・うつとその他卵巣欠落症状との関連.
第 62 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [ワークショップ]
74. 谷川輝美, 西尾真, 吉原弘祐, 鍵村達夫, 金尾祐之, 徳永英樹, 谷川道洋, 竹井裕二, 市川亮子, 藤本悦子, 吉岡恵美, 中川慧, 田部宏, 島田宗昭, 岡本愛光
日本人における進行卵巣癌初回治療後オラパリブ維持療法の安全性の検討.
第 62 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [一般口演]
75. 野村秀高, 伏木淳, 阿部彰子, 鎌田真由美, 西野翔吾, 菅野素子, 根津幸穂, 青木洋一, 尾身牧子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 温泉川真由, 松枝清, 金尾祐之
術中リンパ管造影によるリンパ漏修復術.
第 62 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [ワークショップ]
76. 金尾祐之
婦人科がん鏡視下手術を完遂するために必要な女性骨盤解剖.
第 62 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [パネルディスカッション]
77. 鎌田麻由美, 野村秀高, 西野翔吾, 菅野素子, 伏木淳, 阿部彰子, 根津幸穂, 青木洋一, 尾身牧子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 温泉川真由, 千葉知宏, 外岡暁子, 金尾祐之
子宮内黄体ホルモン放出システム挿入中に子宮体癌を発症した 8 例.
第 62 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [ポスター発表]
78. 阿部彰子, 温泉川真由, 菅野素子, 根津幸穂, 青木洋一, 尾身牧子, 岡本三四郎, 西野翔吾, 鎌田麻由美, 谷川輝美, 伏木淳, 野村秀高, 金尾祐之
進行卵巣癌初回治療ニラパリブ維持療法の安全性の検討.
第 62 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [一般口演]
79. Fusegi, A.
Clinical significance of the superficial uterine vein pattern for dissecting the anterior layer of the vesicouterine ligament during radical hysterectomy.
ASGO 2024: Bali, Indonesia, 2024, [口述発表]
80. Kanao, H.
Laparoscopic LEER/TPE for recurrent cervical cancer.
ASGO 2024: Bali, Indonesia, 2024, [招待講演]
81. Fusegi, A.
Challenges treating uterine cancer during minimally invasive surgery.
CoE program GYN: 東京, 2024, [発表形式不明]
82. Abe, A.
Lessons we learned from the recent collaboration.
The 22nd JK Collaboration Meeting: Incheon, Korea, 2024, [講演]
83. 伏木淳
出会いと挑戦の連続: 婦人科腫瘍専門医のキャリアアップ.
第 1 回婦人科腫瘍医をめざす医学生と若手医師をサポートする座談会: Web 開催, 2024, [講演]
84. 伏木淳, 杉山裕子, 寺内公一, 野村秀高, 阿部彰子, 尾身牧子, 鎌田麻由美, 西野翔吾, 菅野素子, 根津幸穂, 青木洋一, 谷川輝美, 岡本三四郎, 温泉川真由, 宇津木久仁子, 金尾祐之

がん治療専門病院で女性ヘルスケア外来を立ち上げたことで見えてきた、婦人科腫瘍医が感じるオンコヘルスケアの壁。

第 39 回日本女性医学学会学術集会：宇都宮市，2024, [シンポジウム]

85. 倉富由理，伏木淳，鎌田麻由美，阿部彰子，野村秀高，今翼，舩田瑛太郎，渡部俊陽，西野翔吾，菅野素子，根津幸穂，青木洋一，尾身牧子，谷川輝美，岡本三四郎，温泉川真由，杉山裕子，金尾祐之

婦人科がんサバイバーにおける骨量低下の実態と危険因子の検討。

第 39 回日本女性医学学会学術集会：宇都宮市，2024, [口述発表]

86. 尾身牧子，伏木淳，杉山裕子，野村秀高，阿部彰子，鎌田麻由美，西野翔吾，金尾祐之
乳癌既往の遺伝性乳癌卵巣癌（HBOC）に対するリスク低減卵管卵巣摘出術（RRSO）後の卵巣欠落症状の検討。

第 39 回日本女性医学学会学術集会：宇都宮市，2024, [口述発表]

87. 舩田瑛太郎，伏木淳，鎌田麻由美，阿部彰子，野村秀高，今翼，倉富由理，渡部俊陽，西野翔吾，菅野素子，根津幸穂，青木洋一，尾身牧子，谷川輝美，岡本三四郎，温泉川真由，杉山裕子，金尾祐之

子宮と卵巣の重複癌症例に対するホルモン補充療法の経験。

第 39 回日本女性医学学会学術集会：宇都宮市，2024, [発表形式不明]

88. 鎌田麻由美，野村秀高，西野翔吾，尾身牧子，伏木淳，杉山裕子，金尾祐之

子宮内黄体ホルモン放出システム挿入中に子宮体癌を発症した 6 例における内膜検査についての検討。

第 39 回日本女性医学学会学術集会：宇都宮市，2024, [発表形式不明]

89. 伏木淳
「引くことは、足すこと」：子宮悪性腫瘍手術の理論整理。

第 47 回日本産婦人科手術学会：岡山市，2024, [ランチョンセミナー]

90. 小澤梨紗子，菅野素子，加藤慧，豊原佑典，根津幸穂，谷川輝美，温泉川真由，野村秀高，金尾祐之

婦人科がん手術における直腸授動の重要性：婦人科医でも安全に行える手技のポイント。

第 47 回日本産婦人科手術学会：岡山市，2024, [口述発表]

91. 尾身牧子，菅野素子，小澤梨紗子，加藤慧，豊原佑典，根津幸穂，谷川輝美，温泉川真由，金尾祐之

大腸切除を伴う卵巣癌腫瘍減量手術における surgical site infection の検討。

第 47 回日本産婦人科手術学会：岡山市，2024, [口述発表]

92. 菅野素子，小澤梨紗子，加藤慧，豊原佑典，伏木淳，阿部彰子，根津幸穂，青木洋一，尾身牧子，谷川輝美，岡本三四郎，野村秀高，温泉川真由，金尾祐之

BRCA 遺伝子変異陰性患者の予後因子の検討。

第 47 回日本産婦人科手術学会：岡山市，2024, [口述発表]

93. 野村秀高，阿部彰子，伏木淳，鎌田真由美，渡部俊陽，倉富由理，今翼，西野翔吾，菅野素子，根津幸穂，青木洋一，尾身牧子，谷川輝美，岡本三四郎，温泉川真由，金尾祐之

がん研有明病院における進行卵巣癌の治療戦略。

第 47 回日本産婦人科手術学会：岡山市，2024, [パネルディスカッション]

94. 金尾祐之
女性骨盤解剖に基づいた婦人科がん手術戦略。

第 47 回日本産婦人科手術学会：岡山市，2024, [企画]

95. 金尾祐之
骨盤手術に必要な解剖学的知識 第 1 部（診療科横断的な用語の統一、根治性向上に必要な骨盤解剖、機能温存に必要な骨盤解剖）。

第 47 回日本産婦人科手術学会：岡山市，2024, [座長]

96. 金尾祐之
骨盤手術に必要な解剖学的知識 第2部（骨盤外科手術の実際：他科領域の手術を知る）.
第47回日本産婦人科手術学会：岡山市，2024, [座長]
97. 西野翔吾，谷川輝美，千葉知宏，阿部彰子，伏木淳，青木洋一，尾身牧子，岡本三四郎，野村秀高，金尾祐之
子宮頸癌放射線治療後のサーベイランスにおける子宮頸部細胞診の有用性についての検討.
第63回日本臨床細胞学会秋期大会：千葉市，2024, [ポスター発表]
98. 後藤崇人，後藤志信，小澤史子，吉原紘行，北折珠央，杉浦真弓
慢性子宮脱膜炎（Chronic deciduitis）の不育症への関与.
第69回日本生殖医学会学術講演会・総会：名古屋，2024, [口述発表]
99. 伏木淳
うまいがん手術とは？
順天堂大学医学部附属練馬病院手術研究会：東京，2024, [講演]
100. 倉富由理
gBRCA2 病的バリエントが発がんドライバーではないと推察された卵巣粘液性癌の一例.
第10回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会：東京，2024, [ポスター発表]
101. 野村秀高
リスク低減卵管卵巣摘出術のさらなる低侵襲化への挑戦.
第10回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会：東京，2024, [ポスター発表]
102. 阿部彰子
HBOC 女性における QOL 評価と，納得尺度・意思決定因子について.
第10回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会：東京，2024, [口述発表]
103. 阿部彰子
HBOC 診療のこれから：HBOC 診療ガイドライン 2024 年版を踏まえて.
第10回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会：東京，2024, [座長]
104. 菅野素子，小澤梨紗子，加藤慧，伏木淳，阿部彰子，根津幸穂，青木洋一，尾身牧子，谷川輝美，岡本三四郎，野村秀高，金尾祐之
当院における審査腹腔鏡の現状と HRD 検査の詳細.
第37回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [口述発表]
105. 野村秀高，菅野素子，伏木淳，根津幸穂，青木洋一，尾身牧子，谷川輝美，岡本三四郎，金尾祐之
リスク低減卵管卵巣摘出術を vNOTES で行う Tips.
第37回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [ミニオーラル]
106. 金尾祐之
婦人科がんに対する骨盤リンパ節郭清術.
第37回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [教育講演]
107. 金尾祐之
進行・再発卵巣がんに対する腹腔鏡手術の役割.
第37回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [ワークショップ]
108. 金尾祐之
骨盤リンパ節郭清術と放射線治療を行った後の再発腫瘍切除時における血管損傷について.
第37回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [ワークショップ]
109. 金尾祐之
骨盤内視鏡外科：精密手術を極める.
第37回日本内視鏡外科学会総会：福岡市，2024, [イブニング講演]
- 【頭頸科】**
1. 小泉雄
頸部郭清術のすすめ方.
第42回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会：札幌市，2024, [ビデオセッション]

2. 福島啓文, 福島啓文, 市川千恭, 瀬戸陽, 鳥居淳一, 森田琢磨, 森田琢磨, 佐々木徹, 新橋渉, 神山亮介, 岩城弘尚, 今泉冴恵, 松居祐樹, 嘉陽祐紀, 八木建樹, 高橋優人, 大戸弘人, 山倉立也, 三谷浩樹
当科における経口的ロボット支援手術 (TORS) の検討.
第 16 回日本ロボット外科学会学術集会: 米子市, 2024, [口述発表]
3. 三谷浩樹
再建 1.
第 33 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会: 松山市, 2024, [座長]
4. 今泉冴恵, 福島啓文, 三谷浩樹, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 神山亮介, 市川千恭, 鳥居淳一, 岩城弘尚, 松居祐樹
下咽頭喉頭全摘術における前外側大腿皮弁再建についての検討.
第 33 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会: 松山市, 2024, [口述発表]
5. 大戸弘人, 福島啓文, 三谷浩樹, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 戸田和寿, 神山亮介, 市川千恭, 鳥居淳一
当科における中咽頭側壁癌に対する経口的ロボット支援手術の検討.
第 33 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会: 松山市, 2024, [口述発表]
6. 神山亮介
喉頭摘出後のシャント造設術、音声・呼吸器・嗅覚リハビリテーションの実際.
第 33 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会: 松山市, 2024, [ハンズオンセミナー]
7. 山倉立也, 新橋渉, 三谷浩樹, 福島啓文, 佐々木徹, 瀬戸陽, 戸田和寿, 小泉雄, 神山亮介, 市川千恭, 森田琢磨, 鳥居淳一
甲状腺乳頭癌気管合併切除症例において COVID-19 感染を契機に気道狭窄をきたした一例.
第 871 回外科集談会: 東京, 2024, [口述発表]
8. 神山亮介
音声リハビリテーション・永久気管孔用人工鼻の普及に向けて.
Global Postlaryngectomy Rehabilitation Academy in Japan: Web 開催, 2024, [講演]
9. 三谷浩樹
第 42 群: 甲状腺・副甲状腺.
第 125 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会: 大阪市, 2024, [座長]
10. 佐々木徹, 三谷浩樹, 新橋渉, 瀬戸陽, 小泉雄, 神山亮介, 市川千恭, 鳥居淳一, 岩城弘尚, 今泉冴恵, 松居祐樹, 嘉陽祐紀, 八木建樹, 高橋優人, 大戸弘人, 山倉立也, 利安隆史
当院における局所進行上顎洞扁平上皮癌の治療法の変遷と成績.
第 48 回日本頭頸部癌学会: 浜松市, 2024, [口述発表]
11. 大戸弘人, 佐々木徹, 佐藤由紀子, 三谷浩樹, 新橋渉, 瀬戸陽, 小泉雄, 神山亮介, 市川千恭, 鳥居淳一, 今泉冴恵, 岩城弘尚, 松居祐樹, 嘉陽祐紀, 八木健樹, 高橋優人, 山倉立也
当科における副鼻腔原発 Nuclear protein in testis (NUT) carcinoma の 4 例.
第 48 回日本頭頸部癌学会: 浜松市, 2024, [口述発表]
12. 松居祐樹, 佐々木徹, 三谷浩樹, 新橋渉, 瀬戸陽, 小泉雄, 神山亮介, 市川千恭, 鳥居淳一, 岩城弘尚, 今泉冴恵, 嘉陽祐紀, 八木建樹, 高橋優人, 山倉立也, 大戸弘人
当院における外耳道扁平上皮癌の治療成績.
第 48 回日本頭頸部癌学会: 浜松市, 2024, [口述発表]
13. 鳥居淳一, 戸田和寿, 杉谷巖, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 神山亮介, 市川千恭, 岩城弘尚, 松居祐樹, 今泉冴恵, 三谷浩樹
上縦隔病変のある甲状腺乳頭癌症例の検討.
第 48 回日本頭頸部癌学会: 浜松市, 2024, [口述発表]

14. 三谷浩樹
甲状腺 1.
第 86 回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会：
福井市，2024，[座長]
15. 嘉陽祐紀，新橋渉，三谷浩樹，佐々木徹，瀬戸陽，八木建樹，大戸弘人，泥谷匡祥，古賀浩之
Stage I. II 舌癌部分切除後に後発転移を来した症例の検討．
第 37 回日本口腔・咽頭科学会総会ならびに学術講演会：和歌山市，2024，[口述発表]
16. 泥谷匡祥，瀬戸陽，大戸弘人，三谷浩樹，佐藤由紀子
がん専門病院で経験した口腔梅毒の 2 例．
第 37 回日本口腔・咽頭科学会総会ならびに学術講演会：和歌山市，2024，[口述発表]
17. 神山亮介
喉頭摘出後の気管食道シャント造設術、音声・呼吸器・嗅覚リハビリテーションの実際．
第 75 回日本気管食道学会総会ならびに学術講演会：仙台市，2024，[ハンズオンセミナー]

【整形外科】

1. 早川景子，阿江啓介，谷澤泰介，齊藤正徳，黒澤紀雄，松本誠一
胸壁軟部悪性腫瘍の治療成績．
第 7 回日本サルコーム治療研究学会学術集会：名古屋市，2024，[口述発表]
2. 黒澤紀雄，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，齊藤正徳，有賀茜，松本誠一
進行期の悪性骨軟部腫瘍の局所制御における切断術の役割．
第 7 回日本サルコーム治療研究学会学術集会：名古屋市，2024，[ポスター発表]
3. 齊藤正徳，阿江啓介，松本誠一，谷澤泰介，早川景子，黒澤紀雄，船内雄生，吉井俊貴
骨盤周囲手術における、術後骨折についての検討．
第 7 回日本サルコーム治療研究学会学術集会：名古屋市，2024，[ポスター発表]
4. Funauchi, Y.
Follow-up case study presentations about previous SSMS meetings.
The 33rd Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma 第 33 回骨軟部肉腫外科研究会：東京，2024，[口述発表]
5. Hayakawa, K.
The safety margin analysis based on the surgical margin registration in Japan.
The 33rd Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma 第 33 回骨軟部肉腫外科研究会：東京，2024，[口述発表]
6. Hayashi, N., Ae, K., Matsumoto, S., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Saito, M., Kurosawa, N., Hayashida, Y., Tsubata, H., Yamashita, K., Hiruta, N.
A 35-year-old male, osteosarcoma of the right distal radius.
The 33rd Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma 第 33 回骨軟部肉腫外科研究会：東京，2024，[口述発表]
7. Kurosawa, N., Ae, K., Matsumoto, S., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Saito, M., Hayashi, N., Hayashida, Y., Tsubata, H., Yamashita, K., Hiruta, N.
A 52-year-old female, synovial sarcoma of the left tarsal tunnel.
The 33rd Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma 第 33 回骨軟部肉腫外科研究会：東京，2024，[口述発表]
8. Saito, M., Ae, K., Matsumoto, S., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Kurosawa, N., Hayashi, N., Hayashida, Y., Tsubata, H., Yamashita, K.
A 67-year-old male, dedifferentiated liposarcoma of the retroperitoneum.
The 33rd Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma 第 33 回骨軟部肉腫外科研究会：東京，2024，[口述発表]
9. 松本誠一
医療安全の観点からみた骨軟部腫瘍診療．

第 12 回リバーサイドセミナー：東京，2024，
[口述発表]

10. 松本誠一
結節性筋膜炎の診断治療。
第 45 回 静岡 骨 軟部 腫瘍 研究会：三島市，
2024，[特別講演]
11. 早川景子，阿江啓介，谷澤泰介，齊藤正徳，黒
澤紀雄，林直樹，嶋田壮太郎，松本誠一
延長型人工膝関節の長期治療成績。
第 97 回日本整形外科学会学術総会：福岡市
+Web 配信，2024，[ポスター発表]
12. 有賀茜，船内雄生，松本誠一，佐藤信吾，垣見
和宏，長岡孝治，小林由佳利，吉井俊貴，阿江
啓介
原発腫瘍の根治的切除後早期に遠隔転移を生じ
た骨・軟部肉腫症例の臨床的特徴。
第 97 回日本整形外科学会学術総会：福岡市
+Web 配信，2024，[口述発表]
13. 松本誠一，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，齊
藤正徳，黒澤紀雄，船内雄生，有賀茜，林直樹，
嶋田壮太郎，山下享子
大腿骨遠位骨肉腫における骨外病変周囲の腫瘍
塞栓の術前診断と治療成功例。
第 97 回日本整形外科学会学術総会：福岡市
+Web 配信，2024，[ポスター発表]
14. 阿江啓介
胸壁悪性骨・軟部腫瘍に対する外科治療の現状
と課題。
第 97 回日本整形外科学会学術総会：福岡市
+Web 配信，2024，[シンポジウム]
15. 齊藤正徳，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，黒
澤紀雄，松本誠一，船内雄生，吉井俊貴
骨盤周囲腫瘍に対する，新しい皮膚切開アプ
ローチ。
第 97 回日本整形外科学会学術総会：福岡市
+Web 配信，2024，[ポスター発表]
16. 早川景子，阿江啓介，谷澤泰介，齊藤正徳，黒
澤紀雄，林直樹，林田有希，松本誠一
四肢体幹発生脱分化型脂肪肉腫の治療成績（後
腹膜を除く）。

第 57 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集
会：福井市，2024，[口述発表]

17. 早川景子，阿江啓介，谷澤泰介，齊藤正徳，黒
澤紀雄，林直樹，林田有希，松本誠一
腫瘍用人工関節の感染例の検討と工夫。
第 57 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集
会：福井市，2024，[シンポジウム]
18. 有賀茜，船内雄生，小林由香利，長岡孝治，齊
藤正徳，早川景子，谷澤泰介，松本誠一，佐藤
信吾，吉井俊貴，阿江啓介，垣見和宏
浸潤性軟部肉腫の腫瘍内免疫環境および遺伝プ
ロファイルの探索。
第 57 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集
会：福井市，2024，[パネルディスカッション]
19. 有賀茜，船内雄生，小林由香利，長岡孝治，齊
藤正徳，早川景子，谷澤泰介，松本誠一，佐藤
信吾，吉井俊貴，阿江啓介，垣見和宏
骨肉腫の腫瘍内免疫環境および遺伝プロファイ
ル：二峰性の年齢分布による RNASeq データ
解析。
第 57 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集
会：福井市，2024，[シンポジウム]
20. 松本誠一，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，齊
藤正徳，黒澤紀雄，林直樹，林田有希，小泉満，
海原和巳
骨・軟部腫瘍の鑑別診断における血清骨型酒石
酸抵抗性酸性フォスファターゼ（Tracp-5b）の
役割。
第 57 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集
会：福井市，2024，[主題]
21. 林田有希，阿江啓介，松本誠一，谷澤泰介，齊
藤正徳，黒澤紀雄，林直樹，吉井俊貴
右大腿部に発生した悪性軟部巨細胞腫の 1 例。
第 57 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集
会：福井市，2024，[ポスター発表]
22. 谷澤泰介，阿江啓介，松本誠一，早川景子，齊
藤正徳，黒澤紀雄，林直樹，林田有希，山下享
子
悪性顆粒細胞腫 6 例の治療経験。
第 57 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集
会：福井市，2024，[ショートトーク]

23. 谷澤泰介
放射線治療・QOL.
第 57 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：福井市，2024, [座長]
 24. 阿江啓介
ランチョンセミナー 3.
第 57 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：福井市，2024, [座長]
 25. 阿江啓介，吉井俊貴，松本誠一
骨・軟部腫瘍手術の格致：その原則と創意工夫．
第 57 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：福井市，2024, [講演]
 26. 齊藤正徳，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，黒澤紀雄，林直樹，林田有希，松本誠一，船内雄生，有賀茜，吉井俊貴
骨盤発生腫瘍切除後の骨盤輪変形と歩行能力についての検討．
第 57 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：福井市，2024, [主題]
 27. Matsuo, T., Ae, K., Saito, M., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Kurosawa, N., Sakuda, T., Handa, W., Matsumoto, S.
Reconstruction with intramedullary nail and bone cement with extensive resection of humeral tumors.
111 回東京医科歯科大学整形外科集談会：東京，2024, [口述発表]
 28. Ae, K.
The importance of tissue type & quality for safe margins.
22nd International Society of Limb Salvage General Meeting: Brisbane, Australia, 2024, [口述発表]
 29. Kurosawa, N.
Comparative analysis of amputation strategies for advanced sarcoma.
22nd International Society of Limb Salvage General Meeting: Brisbane, Australia, 2024, [口述発表]
 30. 阿江啓介，松本誠一，谷澤泰介，早川景子，齊藤正徳，黒澤紀雄
発生部位からみた肉腫の適切な外科的切除縁とは？：領域横断的な認識の統合：四肢及び体幹表在発生軟部肉腫の安全な切除縁．
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [ワークショップ]
 31. 工藤結衣子
喉頭摘出後の気管食道シャント造設術、音声・呼吸器・嗅覚リハビリテーションの実際．
第 75 回日本気管食道学会総会ならびに学術講演会：仙台市，2024, [ハンズオンセミナー]
 32. 阿江啓介
骨盤悪性腫瘍手術における Concept & Consensus.
第 14 回名古屋運動器腫瘍セミナー：名古屋市，2024, [講演]
 33. 黒澤紀雄，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，齊藤正徳，松本誠一
術後合併症から見た 80 歳以上の軟部肉腫手術成績．
第 18 回信州骨軟部腫瘍研究会：松本市，2024, [口述発表]
 34. 倉澤友子
国際協力分野で求められる日本の作業療法士について．
第 58 回日本作業療法学会：札幌市，2024, [ポスター発表]
- 【泌尿器科】**
1. Aida, Y., Yasuda, Y., Yonese, I., Takemura, K., Yoneoka, Y., Fujiwara, R., Oguchi, T., Numao, N., Yuasa, T., Yamamoto, S., Yonese, J.
Validation of the selection for cytoreductive nephrectomy (SCREEN) score in patients with metastatic renal cell carcinoma treated with cytoreductive nephrectomy.
第 111 回日本泌尿器科学会総会：横浜市，2024, [一般ビデオ]

2. Fujiwara, R., Numao, N., Takemura, K., Oguchi, T., Yamamoto, S., Yasuda, Y., Yoneoka, Y., Yuasa, T., Yonese, J.
Frequency and risk factor for venous thromboembolism in patients treated with neoadjuvant chemotherapy for bladder cancer.
第 111 回日本泌尿器科学会総会：横浜市，2024, [ポスターディスカッション]
3. Sato, K., Yasuda, Y., Takemura, K., Yoneoka, Y., Fujiwara, R., Oguchi, T., Numao, N., Yuasa, T., Yamamoto, S., Yonese, J.
Efficacy and safety profile of olaparib for patients with metastatic castration-resistant prostate cancer.
第 111 回日本泌尿器科学会総会：横浜市，2024, [ポスター発表]
4. Shimozawa, Y., Yonese, I., Numao, N., Takemura, K., Urasaki, T., Yoneoka, Y., Yasuda, Y., Fujiwara, R., Oguchi, T., Yuasa, T., Yamamoto, S., Yonese, J.
C-reactive protein is an independent prognostic factor of clinically node-positive upper tract urothelial carcinoma treated with radical nephroureterectomy.
第 111 回日本泌尿器科学会総会：横浜市，2024, [ポスター発表]
5. Yonese, I., Takemura, K., Yuasa, T., Inamura, K., Amori, G., Yamamoto, T., Yoneoka, Y., Fujiwara, R., Yasuda, Y., Oguchi, T., Numao, N., Yamamoto, S., Yonese, J.
Clinical presentation of fumarate hydratase-deficient renal carcinoma: A single-center case series.
第 111 回日本泌尿器科学会総会：横浜市，2024, [ポスター発表]
6. 湯浅健
免疫チェックポイント阻害剤や分子標的治療薬における皮膚障害とマネジメント。
第 111 回日本泌尿器科学会総会：横浜市，2024, [ポスターディスカッション]
7. 浦崎哲也，大木遼佑，藤原遼，安田庸輔，米岡祐輔，小口智彦，沼尾昇，山本真也，林直美，山崎真澄，幅野愛理，久我亜沙美，新川裕美，金子景香，植木有紗，深田一平，湯浅健，米瀬淳二，高橋俊二
当施設における泌尿器科領域のがん遺伝子パネル検査の現状について。
第 30 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会：仙台市，2024, [ポスター発表]
8. 浦崎哲也
当院泌尿器科腫瘍症例における包括的がんゲノムプロファイリング検査結果の後方視的検討 / A retrospective analysis of results of comprehensive cancer genome profiling tests in genitourinary tumors at our hospital.
日本泌尿器腫瘍学会第 10 回学術集会：福岡市，2024, [ポスター発表]
9. 安田庸輔，浦崎哲也，大木遼佑，竹村公佑，米岡祐輔，藤原遼，小口智彦，沼尾昇，米瀬淳二，湯浅健
転移性去勢感受性前立腺癌患者に対する TRIP-LET 療法の効果と安全性についての検討。
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [ポスター発表]
10. 小口智彦，大木遼佑，長谷川滉，下澤佑揮，合田祐介，竹村公佑，浦崎哲也，米岡祐輔，安田庸輔，藤原遼，沼尾昇，湯浅健，米瀬淳二
術前化学療法としての dose dense MVAC (ddMVAC) 療法の初期経験。
第 76 回西日本泌尿器科学会総会：佐賀市，2024, [ポスター発表]
11. 湯浅健，大木遼佑，浦崎哲也，竹村公佑，米岡祐輔，安田庸輔，藤原遼，小口智彦，沼尾昇，米瀬淳二
mHSPC に対する Triplet 治療の初期治療経験。
第 89 回日本泌尿器科学会東部総会：山形市，2024, [口述発表]
12. 湯浅健
尿路上皮腫瘍 / 薬物療法 1。
第 89 回日本泌尿器科学会東部総会：山形市，2024, [座長]

13. 増田均, 山本真也, 沼尾昇, 小川将宏, 井上亨, 武田隼人, 上原翔, 三神晃, 萩原喜一, 湯浅健, 福井巖, 米瀬淳二
がん研究会有明病院における低侵襲手術の動向.
第 16 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会
学術集会: WEB 開催, 2024, [パネルディス
カッション]
14. 米瀬淳二
エキスパートに学ぶ低侵襲手術手技.
第 16 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会
学術集会: WEB 開催, 2024, [座長]
15. 米瀬淳二
前立腺全摘除.
第 16 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会
学術集会: WEB 開催, 2024, [座長]
16. 米瀬淳二
膀胱全摘.
第 16 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会
学術集会: WEB 開催, 2024, [ビデオディス
カッション]
17. 米瀬淳二
膀胱癌手術 (全摘除・部分切除・尿路再建).
第 16 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会
学術集会: WEB 開催, 2024, [座長]
18. 駒井好信, 後藤田直人, 井上雅晴, 三神晃, 井
上亨, 小川将宏, 山本真也, 米瀬淳二
Segmental ischemia での腎部分切除を可能に
する renovascular microdissection: 腹腔鏡下
アプローチにおける手技の実際.
第 16 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会
学術集会: WEB 開催, 2024, [口述発表]
19. 駒井好信, 石川雄大, 沼尾昇, 福井巖, 米瀬淳
二
他科から学ぶ腹腔鏡手術手技.
第 16 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会
学術集会: WEB 開催, 2024, [パネルディス
カッション]

20. 駒井好信, 後藤田直人, 松原伸晃, 米瀬淳二
腎癌手術のクオリティを向上させる 3D プリ
ンティッドモデル.
第 16 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会
学術集会: WEB 開催, 2024, [講演]
21. 沼尾昇, 藤原遼, 小口智彦
当院においてロボット支援膀胱全摘除を施行し
た膀胱癌の臨床像および腫瘍学的短期成績.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市,
2024, [ミニオーラル]

【形成外科】

1. Karakawa, R.
A novel lymphedema monitoring device
using bodysuit and smartphone a device
development study.
2024 American Society of Reconstructive
Microsurgery (ASRM) Annual Meeting:
Nassau, Bahama, 2024, [口述発表]
2. 関征央, 今井洋文, 辛川領, 吉松英彦, 矢野智
之
圧迫療法が行えない乳がん関連上肢リンパ浮腫
に対する dynamic-LVA 法.
第 7 回日本リンパ浮腫学会総会: 川越市,
2024, [ポスター発表]
3. 矢野智之
米国における手術用ロボットを用いた DIEP
flap 挙上の現状.
第 29 回日本形成外科手術手技学会: 佐賀市,
2024, [特別企画]
4. Seki, Y.
LVA as a treatment of neurogenic bladder
after gynecologic cancer treatment using
the SEKI method.
The 10th World Symposium for Lymph-
edema Surgery (WSLS): Taipei, Taiwan,
2024, [パネルディスカッション]
5. Seki, Y.
LVA beyond LVA.
The 10th World Symposium for Lymph-
edema Surgery (WSLS): Taipei, Taiwan,
2024, [パネルディスカッション]

6. Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Yano, T., Kojima, E., Kengo, O., Yamada, T., Eason, D. T., Goffinet, F. J. L.
A novel lymphedema monitoring device using bodysuit and smartphone: a device development study.
第 67 回日本形成外科学会総会・学術集会：神戸市，2024，[セッション]
7. Seki, Y.
Migraine surgery and lymphatic surgery.
第 67 回日本形成外科学会総会・学術集会：神戸市，2024，[司会]
8. Yano, T.
Reconstruction 1.
第 67 回日本形成外科学会総会・学術集会：神戸市，2024，[司会]
9. 矢野智之
乳房 7.
第 67 回日本形成外科学会総会・学術集会：神戸市，2024，[座長]
10. 矢野智之
乳房再建の未来を託す：乳房再建はどこへ向かっているのか。
第 67 回日本形成外科学会総会・学術集会：神戸市，2024，[シンポジウム]
11. 鍵本慎太郎
ニッポンの形成外科を若手形成外科医に託す：形成外科のこれまでとこれから。
第 67 回日本形成外科学会総会・学術集会：神戸市，2024，[シンポジウム]
12. 鍵本慎太郎
ニッポンの形成外科を若手形成外科医に託す。
第 67 回日本形成外科学会総会・学術集会：神戸市，2024，[オーガナイザー・司会]
13. Yano, T.
DIEP flap elevation with heads up microscope.
GAPS 2024: Gent, Belgium, 2024，[発表形式不明]
14. Yano, T.
Middle facial reconstruction after oncologic resection.
GAPS 2024: Gent, Belgium, 2024，[発表形式不明]
15. Yano, T.
Resurrection of the VRAM breast.
GAPS 2024: Gent, Belgium, 2024，[発表形式不明]
16. Seki, Y.
LVA for lower limb lymphedema: facilitating treatments beyond initial limitations.
Pre-congress of the 15th Annual Meeting of the European Plastic Surgery Research Council: Brno, Czech Republic, 2024，[招待講演]
17. Imai, H.
Profiling of circulating T cells and comprehensive T cell receptor analysis clarified exhaustion and diminished diversity in patients with lymphedema and relieved by lymphatic venous anastomosis.
The 15th Annual Meeting of the European Plastic Surgery Research Council: Brno, Czech Republic, 2024，[招待講演]
18. Karakawa, R.
Imaging application for flap surgery.
The 15th Annual Meeting of the European Plastic Surgery Research Council: Brno, Czech Republic, 2024，[講演]
19. Seki, Y.
The journey of treating lymphedema from mild to severe stages.
The 15th Annual Meeting of the European Plastic Surgery Research Council: Brno, Czech Republic, 2024，[招待講演]

20. Imai, H.
Analysis of circulating T cells and comprehensive T cell receptor of the patients with lymphedema: lymphatic venous anastomosis has a potential to influence to immune dysfunction of lymphedema.
Plastic Surgery The Meeting 2024: San Diego, CA, USA, 2024, [招待講演]
21. 今井洋文
リンパ浮腫における T 細胞：リンパ管細静脈吻合術の前後における変化 .
第 8 回日本リンパ浮腫治療学会学術総会：徳島市, 2024, [シンポジウム]
22. Fujii.T.
A study on bilateral breast reconstruction using split deep inferior epigastric perforator (DIEP) flaps at our institution.
Korean Society for Reconstructive Microsurgery 2024 Annual Meeting: Seoul, Korea, 2024, [発表形式不明]
23. Karakawa, R.
Impact of technological advancements on sarcoma reconstruction: A retrospective comparative analysis.
Korean Society for Reconstructive Microsurgery 2024 Annual Meeting: Seoul, Korea, 2024, [招待講演]
24. Karakawa, R.
SCIP-PSP flap for hand sarcoma.
Korean Society for Reconstructive Microsurgery 2024 Annual Meeting: Seoul, Korea, 2024, [招待講演]
25. Seki, Y.
LVA for minimizing compression therapy in upper extremity lymphedema.
Korean Society for Reconstructive Microsurgery 2024 Annual Meeting: Seoul, Korea, 2024, [パネルディスカッション]
26. Yano, T.
Secondary revision surgery using a free flap after primary free flap breast reconstruction .
Korean Society for Reconstructive Microsurgery 2024 Annual Meeting: Seoul, Korea, 2024, [発表形式不明]
27. Seki, Y.
Dynamic LVA utilizing the muscle pumping effect: high compression-free rates and outcomes for upper limb lymphedema treatment.
第 12 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会：金沢市, 2024, [パネルディスカッション]
28. 矢野智之
いつ使う、どう使う？攻略、モチバエキスパンダーとインプラント！
第 12 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会：金沢市, 2024, [ランチオンセミナー]
29. 矢野智之
がん研有明病院における HBOC 予防手術における乳房再建の傾向と方針について .
第 12 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会：金沢市, 2024, [講演]
30. 藤井壮人
がん研有明病院における Motiva Flora® ティッシュエキスパンダー使用後早期合併症に関する検討 .
第 12 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会：金沢市, 2024, [口述発表]
31. 鍵本慎太郎
ハイボリュームセンターにおける乳房再建方法の患者意思決定支援について .
第 12 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会：金沢市, 2024, [パネルディスカッション]
32. 関征央, 今井洋文, 辛川領, 小笠原麻衣子, 佐藤貴子, 矢野智之

- センチネルリンパ節生検後リンパ浮腫の現状と課題。
第 13 回国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン研究協議会学術集会：川崎市，2024，[パネルディスカッション]
33. Yano, T.
Reconstruction/regeneration 1.
第 33 回日本形成外科学会基礎学術集会 / 第 1 回国際形成外科基礎学術集会：東京，2024，[モデレーター]
34. 矢野智之
いまさら聞けない優しくて簡単な自家組織乳房再建。
第 33 回日本形成外科学会基礎学術集会 / 第 1 回国際形成外科基礎学術集会：東京，2024，[協賛セミナー]
35. 矢野智之，大野森太郎，嵯峨崎天音，高木麻那，岡田亮，半田高広，鍵本慎太郎，辛川領
患者向け顔面神経麻痺顔面スコアリングおよびリハビリテーションアプリの開発。
第 33 回日本形成外科学会基礎学術集会 / 第 1 回国際形成外科基礎学術集会：東京，2024，[口述発表]
36. 関征央
リンパ浮腫「合併症の治療」。
第 33 回日本形成外科学会基礎学術集会 / 第 1 回国際形成外科基礎学術集会：東京，2024，[講師]
37. 関征央
リンパ浮腫「外科的治療各論」。
第 33 回日本形成外科学会基礎学術集会 / 第 1 回国際形成外科基礎学術集会：東京，2024，[講師]
38. Karakawa, R.
Muscle preservation of donor site for sarcoma reconstruction.
PRS KOREA 2024: Seoul, Korea, 2024, [招待講演]
39. Seki, Y.
Additional effects of LVA for lymphedema.
PRS KOREA 2024: Seoul, Korea, 2024, [パネルディスカッション]
40. Yano, T.
Usability of head-up microscope for a perforator flap harvesting.
PRS KOREA 2024: Seoul, Korea, 2024, [発表形式不明]
41. Yano, T.
Insights and future expectations from observing 3 microsurgery robot startups.
RAMSES 2024: Singapore, Singapore, 2024, [発表形式不明]
42. 今井洋文，光嶋勲，大塚航，目瀬藤四郎，吉田周平，矢野智之
LVA による抗癌免疫の効果：基礎研究と血管肉腫治療例を通じて得た知見。
第 51 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：奈良市，2024，[一般演題]
43. 今井洋文，光嶋勲，大塚航，目瀬藤四郎，吉田周平，矢野智之
複数組織移植により鼠径 - 大腿部広範囲欠損に対する再建術後トラブルを救済した 1 例。
第 51 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：奈良市，2024，[セッション]
44. 矢野智之，辛川領，末貞伸子，鍵本慎太郎，今井洋文，関征央
安全な腹部浅層血管を用いる SIEA/SaS flap 挙上のコツと術前検査のすべて。
第 51 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：奈良市，2024，[ビデオセッション]
45. 矢野智之
遊離穿通枝皮弁を用いて自信をもち安心して乳房再建を行うために達成してきたマイルストーン。
第 51 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：奈良市，2024，[パネルディスカッション]

46. 藤井壮人, 矢野智之, 渡井彩, 辛川領, 今井洋文, 鍵本慎太郎, 関征央, 末貞伸子
当院における分割深下腹壁動脈穿通枝皮弁（分割 DIEP flap）を用いた両側乳房再建に関する検討.
第 51 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：奈良市, 2024, [講演]
47. 辛川領, 関征央, 今井洋文, 末貞伸子, 鍵本慎太郎, 矢野智之
高周波超音波および ICG を用いた、全身発生の軟部組織肉腫切除後の皮弁再建.
第 51 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：奈良市, 2024, [ビデオセッション]
48. 関征央, 今井洋文, 辛川領, 矢野智之, 沖野照仁, 浅井凜太郎, 友近真世, 梶川明義
婦人科がん術後神経因性膀胱への LVA 治療.
第 51 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：奈良市, 2024, [シンポジウム]
49. 関征央, 光嶋勲
破壊と創造：引きちぎれた深下腹壁動静脈穿通枝を repair し完遂した乳房再建例.
第 51 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：奈良市, 2024, [一般演題]
50. Seki, Y.
LVA for lymphedema.
Lymphatic Microsurgery Skills Workshop: Hangzhou, China, 2024, [招待講演]
51. Yano, T.
My 2 breast reconstruction journey with Motiva Flora® Tissue Expander and SmoothSilk Ergonomix.
TSPS 2024: Taipei, Taiwan, 2024, [発表形式不明]

【眼科】

1. 中島勇魚, 中泉知子, 辻英貴
Laissez-faire 法で治療した眼瞼部基底細胞癌の治療成績.
第 35 回日本眼瞼義眼床手術学会：京都市, 2024, [一般口演]

2. 中島勇魚, 辻英貴, 利安隆史, 中泉知子, 山城健児
眼瞼脂腺癌における手術治療及び放射線治療の予後の検討.
第 128 回日本眼科学会総会：東京, 2024, [口述発表]
3. 辻英貴
義眼を再考する.
第 128 回日本眼科学会総会：東京, 2024, [オーガナイザー]
4. 中島勇魚, 中泉知子, 辻英貴
眼窩内容除去術を施行した眼部悪性黒色腫の 7 例.
第 11 回日本眼形成再建外科学会学術集会：東京, 2024, [口述発表]
5. 辻英貴
腫瘍.
第 11 回日本眼形成再建外科学会学術集会：東京, 2024, [座長]
6. 中島勇魚, 田口千蔵, 辻英貴
眼部悪性リンパ腫に対する低線量放射線治療の検討.
第 41 回日本眼腫瘍学会：東京, 2024, [口述発表]
7. 辻英貴
転移性眼内腫瘍・その他.
第 41 回日本眼腫瘍学会：東京, 2024, [座長]
8. 中島勇魚
AI 画像を用いた脂腺癌識別訓練.
第 78 回日本臨床眼科学会：京都市, 2024, [講演]

【血液腫瘍科】

1. 丸山大
変わりゆく DLBCL 治療戦略.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市, 2024, [メディカルセミナー]
2. 丸山大
消化器、血液、泌尿器、TR、臨床薬理.

- 第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [ディスカッション]
3. 丸山大
ランチョンセミナー 3.
第 20 回日本血液学会関東甲信越地方会：東京，2024, [座長]
 4. 丸山大
リンパ腫 1.
第 20 回日本血液学会関東甲信越地方会：東京，2024, [座長]
 5. 寺本由加子，城内優子，吉田菊晃，美馬風花，平野慧，井上典仁，津山直子，平野光人，山内寛彦，石原優子，三嶋裕子，田口千藏，竹内賢吾，丸山大
末梢性 T 細胞リンパ腫患者における CHOP 療法後の放射線療法の意義。
第 20 回日本血液学会関東甲信越地方会：東京，2024, [口述発表]
 6. 山内寛彦，丸山大
Collaborate with cardiologists in the era of novel drugs for hematologic malignancies : needs for continuous elaboration of the JS-MO-JOCS guidelines.
第 88 回日本循環器学会学術集会：神戸市，2024, [シンポジウム]
 7. 中村慶仁，城内優子，吉田菊晃，武田孝一，美馬風花，平野光人，山内寛彦，三嶋裕子，竹内賢吾，丸山大
多彩な臨床症状を呈したサルコイドーシスの 1 例。
日本内科学会第 695 回関東地方会：東京，2024, [口述発表]
 8. 丸山大
日本臨床腫瘍研究グループ (JCOG) の取り組む研究成果の発信。
第 9 回日本がんサポーターブケア学会学術集会：さいたま市，2024, [企画]
 9. Mima, F., Yamauchi, N., Yoshida, K., Hirano, K., Teramoto, Y., Hirano, M., Koba, Y., Shi-rouchi, Y., Ishihara, Y., Mishima, Y., Inoue, N., Tsuyama, N., Taguchi, S., Terauchi, T., Hirasawa, T., Takeuchi, K., Maruyama, D.
Clinical features, treatment patterns, and outcomes of duodenal-type follicular lymphoma with a long-term follow-up observational study.
European Hematology Association 2024 Hybrid Congress: Madrid, Spain, 2024, [ポスター発表]
 10. Yoshida, K., Mima, F., Hirano, K., Teramoto, Y., Hirano, M., Koba, Y., Yamauchi, N., Shi-rouchi, Y., Ishihara, Y., Mishima, Y., Inoue, N., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Maruyama, D.
Impact of response to steroid administration before chemoimmunotherapy on prognosis in newly diagnosed diffuse large B-cell lymphoma.
European Hematology Association 2024 Hybrid Congress: Madrid, Spain, 2024, [誌上発表]
 11. 丸山大
Targeting CD38 and beyond in multiple myeloma.
第 28 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京，2024, [モデレーター]
 12. 丸山大
B 細胞腫瘍 4.
第 64 回日本リンパ網内系学会学術集会・総会 / 第 27 回日本血液病理研究会：東京 +Web 開催，2024, [座長]
 13. 丸山大
オミクロン株全国疫学調査から考える with コロナの FL 治療戦略。
第 64 回日本リンパ網内系学会学術集会・総会 / 第 27 回日本血液病理研究会：東京 +Web 開催，2024, [座長]

14. 丸山大
今さら聞けない、リンパ腫の基礎と臨床。
第 64 回日本リンパ網内系学会学術集会・総会
/ 第 27 回日本血液病理研究会：東京 +Web 開
催，2024，[座長]
15. 丸山大
BTKi 治療における心血管系副作用とマネジメ
ント：他診療科連携を通して。
第 7 回日本腫瘍循環器学会学術集会：姫路市，
2024，[座長]
16. 丸山大
がん専門施設での CTRCD サーベランスの現状：
ガイドラインを準拠すべきか。
第 7 回日本腫瘍循環器学会学術集会：姫路市，
2024，[ミニシンポジウム]
17. 木場悠介
カルフィルゾミブ使用における心血管副作用の
管理と多発性骨髄腫患者の well-being の向上。
第 7 回日本腫瘍循環器学会学術集会：姫路市，
2024，[ランチョンセミナー]
18. 城内優子，芳賀淑美，峯岸ゆり子，堀公法，三
嶋裕子，丸山大，植田幸嗣
Proteomic profiling of extracellular vesicles
to identify diagnostic and prognostic bio-
markers for multiple myeloma/ 細胞外小胞
タンパク質解析による多発性骨髄腫の診断およ
び予後のバイオマーカーの開発。
第 83 回日本癌学会学術総会：福岡市，2024，
[口述発表]
19. 丸山大，上野誠，木村綾，福田治彦
患者の視点をがん臨床試験の取り入れることの
意義と取り組み。
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，
2024，[シンポジウム]
20. 三嶋裕子
B 細胞リンパ腫：臨床 5。
第 86 回日本血液学会学術集会：京都市，
2024，[座長]
21. 三嶋裕子，橋本大吾，一井倫子，福原規子，内
田俊樹，加藤光次，尾見歩惟，興梠陽介，志賀
要，丸山大
初発マントル細胞リンパ腫に対するイブルチニ
ブ併用 BR 療法：完全奏効と無増悪生存期間延
長の関連。
第 86 回日本血液学会学術集会：京都市，
2024，[口述発表]
22. 丸山大
CAR-T cell therapy for B cell lymphomas。
第 86 回日本血液学会学術集会：京都市，
2024，[モデレーター]
23. 丸山大
HD-MTX の治療管理における古くて新しい
Plan-B：メグルダーゼの役割。
第 86 回日本血液学会学術集会：京都市，
2024，[座長]
24. 吉田菊晃，美馬風花，平野慧，寺本由加子，平
野光人，木場悠介，山内寛彦，城内優子，石原
優子，三嶋裕子，井上典仁，津山直子，竹内賢
吾，丸山大
DLBCL における化学免疫療法前のステロイド
投与の反応性が予後に及ぼす影響。
第 86 回日本血液学会学術集会：京都市，
2024，[口述発表]
25. 城内優子
B 細胞リンパ腫：臨床 4。
第 86 回日本血液学会学術集会：京都市，
2024，[座長]
26. 山内寛彦
70 代前半の PCNSL の治療方針（RT もしくは
auto）。
第 86 回日本血液学会学術集会：京都市，
2024，[ディベート]
27. 山内寛彦
末梢性 T 細胞リンパ腫に対する治療戦略とブレ
ンツキシマブベドチンのポジショニング。
第 86 回日本血液学会学術集会：京都市，
2024，[共催セミナー]

28. 木場悠介, 山内寛彦, 美馬風花, 吉田菊晃, 森田侑香, 桃木真美子, 城内優子, 石原優子, 三嶋裕子, 井上典仁, 津山直子, 田口千藏, 竹内賢吾, 丸山大
古典的ホジキンリンパ腫治療の変遷と予後に関する後方視的解析.
第 86 回日本血液学会学術集会: 京都市, 2024, [口述発表]
29. 美馬風花, 山内寛彦, 吉田菊晃, 平野慧, 寺本由加子, 平野光人, 木場悠介, 城内優子, 石原優子, 三嶋裕子, 井上典仁, 津山直子, 田口千藏, 寺内隆司, 平澤俊明, 竹内賢吾, 丸山大
十二指腸型濾胞性リンパ腫の臨床病理学的特徴と治療の変遷に関する後方視的研究.
第 86 回日本血液学会学術集会: 京都市, 2024, [口述発表]
30. Yoshida, K., Iwaki, N., Yamauchi, N., Koba, Y., Shirouchi, Y., Ishihara, Y., Mishima, Y., Makita, S., Fukuhara, S., Munakata, W., Inoue, N., Tsuyama, N., Taguchi, S., Terachi, T., Tsuji, H., Maeshima, A. M., Suzuki, S., Igaki, H., Takeuchi, K., Izutsu, K., Maruyama, D.
Clinical features and outcomes of localized primary ocular adnexal mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma: a large-scale, long-term retrospective observational study conducted at dual cancer hospitals in Japan.
66th ASH Annual Meeting: San Diego, CA, USA, 2024, [ポスター発表]
3. 高橋俊二
見放されたと感じる肉腫患者をなくすために: 腫瘍内科の見地から.
第 7 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会: 名古屋市, 2024, [講演]
4. 高橋俊二
頭頸部・皮膚の肉腫の薬物療法.
第 7 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会: 名古屋市, 2024, [シンポジウム]
5. 仲野兼司, 佐藤靖祥, 大木遼佑, 王曉斐, 須藤洋崇, 浦崎哲也, 福田直樹, 小野麻紀子, 友松純一, 三谷浩樹, 高橋俊二
Predictive factor of early failure in squamous cell carcinoma of head and neck patients with pembrolizumab monotherapy.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 名古屋市, 2024, [口述発表]
6. 小野麻紀子, 厚井裕三子
TR・臨床薬理 3 (橋渡し研究 (バイオマーカー研究、効果予測含)).
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 名古屋市, 2024, [司会]
7. 小野麻紀子, 長崎礼子, 中村美穂, 濱口恵子, 横井麻珠美, 松浦信子, 宇津木久仁子, 片岡明美, 高野利実
アピアランスケアニーズ把握のためのアンケート調査.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 名古屋市, 2024, [ポスター発表]
8. 小野麻紀子
腫瘍学は人気がないのか? 医学部教育の実態に迫る.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 名古屋市, 2024, [ディスカッション]
9. 浦崎哲也, 武田孝一, 小野麻紀子, 望月俊明, 友松純一, 志賀太郎, 古川孝広, 宮脇英里子, 宮本一平, 大木遼佑, 湯浅健, 米瀬淳二, 北野滋久, 高橋俊二
進行・転移性腎細胞癌におけるイピリムマブ+ニボルマブ併用療法施行時の免疫関連有害事象の発症時期と再発との関連性について.

【総合腫瘍科】

1. 仲野兼司
悪性骨軟部腫瘍 (サルコーマ) における分子標的治療のトレンド・今後の新規薬剤開発の見通し.
第 7 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会: 名古屋市, 2024, [シンポジウム]
2. 高橋俊二
がんゲノム医療: 骨軟部肉腫における分子標的治療と病理診断.
第 7 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会: 名古屋市, 2024, [座長]

- 第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [ポスター発表]
10. 温泉川真由
Essence of a investigator, my message to young doctors in gynecologic oncology.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [ファシリテーター]
 11. 王曉斐，林直美，深田一平，森誠一，温泉川真由，谷川輝美，野村秀高，金尾裕之，北野滋久，古川孝弘，山崎真澄，外岡暁子，清谷一馬，植木有紗，竹内賢吾，高橋俊二
Treatment strategies after comprehensive genomic profiling tests for advanced cervical cancer patients.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [ポスター発表]
 12. 高橋俊二
13 年間の使用経験から導き出される、レンバチニブの治療効果最大化を目指した治療戦略。
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [司会]
 13. 高橋俊二，田原信，清田尚臣，今井源，西山明宏，田村真吾，清水康，門脇重憲，伊藤研一，豊島優裕，平島詳典，上野真治，若澤広樹，杉谷巖
Post-hoc analysis of TRAEs observed in a phase 2 study of encorafenib + binimetinib in metastatic BRAF V600-mutated TC.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [口述発表]
 14. 小野麻紀子
AYA 世代の希少がん：新規治療開発に向けて。
第 6 回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会：東京，2024, [座長 / オーガナイザー]
 15. 高橋俊二
FN（発熱性好中球減少症）/Oncology emergency（腫瘍緊急症）。
第 9 回日本がんサポーターブケア学会学術集会：さいたま市，2024, [ファシリテーター]
 16. 浦崎哲也，大木遼佑，藤原遼，安田庸輔，米岡祐輔，小口智彦，沼尾昇，山本真也，林直美，山崎真澄，幅野愛理，久我亜沙美，新川裕美，金子景香，植木有紗，深田一平，湯浅健，米瀬淳二，高橋俊二
当施設における泌尿器科領域のがん遺伝子パネル検査の現状について。
第 30 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会：仙台市，2024, [ポスター発表]
 17. 福田直樹
ゲノム医療時代の甲状腺癌治療を考える。
第 36 回日本内分泌外科学会総会：久留米市，2024, [ランチョンセミナー]
 18. 高橋俊二
PRDM14 分子を標的とする革新的 siRNA 医薬による難治性乳がんの治療法開発。
第 28 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京，2024, [ワークショップ]
 19. 高橋俊二
新世代医薬品の展望。
第 28 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京，2024, [モデレーター]
 20. 仲野兼司
頭頸部に原発する骨軟部腫瘍（サルコーマ）に対する薬物療法。
第 48 回日本頭頸部癌学会：浜松市，2024, [シンポジウム]
 21. 福田直樹
頭頸部癌診療ガイドラインのこれまで，そして将来は。
第 48 回日本頭頸部癌学会：浜松市，2024, [特別企画]
 22. 高橋俊二
各癌腫におけるオリゴメタスタシスに対する治療。
第 49 回日本外科系連合学会学術集会：東京，2024, [司会]

23. 浦崎哲也, 大木遼佑, 湯浅健, 高橋俊二, 米瀬淳二
Pembrolizumab Axitinib/Lenvatinib 療法を施行した転移 / 進行性腎細胞がんの有効性および安全性の後方視的検討 .
第 54 回腎癌研究会 : 2024, [ポスター発表]
 24. 浦崎哲也
当院泌尿器科腫瘍症例における包括的がんゲノムプロファイリング検査結果の後方視的検討 / A retrospective analysis of results of comprehensive cancer genome profiling tests in genitourinary tumors at our hospital.
日本泌尿器腫瘍学会第 10 回学術集会 : 福岡市, 2024, [ポスター発表]
 25. 三浦裕司
尿路上皮がん薬物治療の副作用マネジメント : 最大の効果と最小の毒性を目指して .
第 62 回日本癌治療学会学術集会 : 福岡市, 2024, [講演]
 26. 仲尾岳大, 福田直樹, 大木遼佑, 王曉斐, 浦崎哲也, 仲野謙司, 小野麻紀子, 友松純一, 有安亮, 佐藤由紀子, 深田一平, 佐々木徹, 竹内賢吾, 西尾誠人, 高橋俊二
セルペルカチニブが奏効した GOLGA5-RET 融合遺伝子陽性の頭頸部悪性紡錘細胞肉腫の 1 例 .
第 62 回日本癌治療学会学術集会 : 福岡市, 2024, [企画]
 27. 仲野謙司, 大木遼佑, 王曉斐, 仲尾岳大, 福田直樹, 浦崎哲也, 小野麻紀子, 友松純一, 佐藤由紀子, 山下享子, 竹内賢吾, 林直美, 深田一平, 三谷浩樹, 高橋俊二
急速に進行する NTRK 融合遺伝子陽性頭頸部軟部肉腫に対し Larotrectinib が奏効した 1 例 .
第 62 回日本癌治療学会学術集会 : 福岡市, 2024, [企画]
 28. 小野麻紀子
抗がん剤の薬理学 .
第 62 回日本癌治療学会学術集会 : 福岡市, 2024, [教育セッション]
 29. 小野麻紀子
閉経前 HR+HER2- 乳がん患者における薬物療法の最適化 .
第 62 回日本癌治療学会学術集会 : 福岡市, 2024, [パネルディスカッション]
 30. 福田直樹
Gastric cancer, hepatocellular carcinoma, head & neck cancer, developmental therapeutics.
第 62 回日本癌治療学会学術集会 : 福岡市, 2024, [ディスカッション]
- 【総合診療部】**
1. 志賀太郎
腫瘍循環器学の最近の話題 .
札幌冬季がんセミナー (第 38 回) : 札幌市 + Web 開催, 2024, [講演]
 2. 志賀太郎
がん関連静脈血栓症治療の最近の話題について .
第 18 回 SSC シンポジウム : 東京, 2024, [講演]
 3. 志賀太郎, 山内寛彦
薬物療法に伴う心機能障害と Onco-Cardiology ガイドラインについて .
東京都がん診療連携協議会研修部会 医師小委員会 : Web 開催, 2024, [講演]
 4. 志賀太郎, 及川雅啓
Cardio-Oncology 3.
第 88 回日本循環器学会学術集会 : 神戸市, 2024, [座長]
 5. 志賀太郎
腫瘍循環器学の最近の話題 .
令和 6 年度第 1 回東北大学病院がんセミナー : 仙台市 + Web 開催, 2024, [講演]
 6. 志賀太郎
AYA がん患者の長期的健康管理支援に関する対応と課題 .
第 6 回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会 : 東京, 2024, [口述発表]

7. 志賀太郎
Cancer associated thrombosis (CAT) に関する最新研究 .
第 3 回阿蘇熊本血栓ウェビナー : Web 開催 , 2024, [座長]
8. 志賀太郎
がん治療関連心血管毒性 (CTR-CVT) 管理について最近の話題 : サバイバー期の課題についてもふれて .
第 8 回日本臨床薬理学会関東・甲信越地方会 : 下野市 , 2024, [講演]
9. 武田孝一 , 鎗水彰 , 榎田泰祐 , 大串大輔 , 羽山ブライアン
irAE (免疫関連有害事象) マネジメントに伴う日和見感染症の検討 .
第 98 回日本感染症学会学術講演会 / 第 72 回日本化学療法学会総会 合同学会 : 神戸市 , 2024, [口述発表]
10. 志賀太郎
心膜炎 / 腫瘍疾患 .
第 272 回日本循環器学会関東甲信越地方会 : 東京 , 2024, [座長]
11. 志賀太郎
がん診療における心房細動 .
多地点合同メディカル・カンファレンス : Web 開催 , 2024, [講演]
12. 志賀太郎
BTK 阻害薬に関連した心血管合併症とその管理について .
第 21 回日本血液学会関東甲信越地方会 : 足柄下郡 , 2024, [講演]
13. 北澤公
患者背景を考慮した糖尿病治療の実践 : がん拠点病院での糖尿病診療 .
第 26 回尾張地区糖尿病研究会学術研修会 : 名古屋市 + Web 開催 , 2024, [講演]
14. 志賀太郎
がんハイボリュームセンター : がん研有明病院で取り組み可能な CORE を考える .
第 30 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 : 神戸市 , 2024, [講演]
15. 志賀太郎
がん治療関連心血管毒性 (CTR-CVT) の最近の話題 .
第 32 回日本乳癌学会学術総会 : 仙台市 , 2024, [シンポジウム]
16. 志賀太郎
AYA がんサバイバーへの循環器医療者の関わり : がんハイボリュームセンターの循環器医に何ができるか .
第 7 回日本腫瘍循環器学会学術集会 : 姫路市 , 2024, [ミニシンポジウム]
17. 志賀太郎
JOCS 創設 7 年目の今 , 腫瘍医 , 循環器医 , それぞれの意識は : インターネットを用いた「余命期間と侵襲的循環器治療」に対するアンケート調査結果 .
第 7 回日本腫瘍循環器学会学術集会 : 姫路市 , 2024, [口述発表]
18. 志賀太郎
ますます重要度をます、老年腫瘍循環器学 .
第 7 回日本腫瘍循環器学会学術集会 : 姫路市 , 2024, [座長]
19. 志賀太郎
より良いチーム医療を目指した D/I : 現場からの提言 .
第 7 回日本腫瘍循環器学会学術集会 : 姫路市 , 2024, [座長]
20. 戸次宣史
高齢卵巣がん患者の化学療法実施中に増悪した有症候性重症 AS に対して , TAVI による介入治療を行い , TAVI 施行後に CGA が改善し , 化学療法を安全に再開できた貴重な一例 .
第 7 回日本腫瘍循環器学会学術集会 : 姫路市 , 2024, [ミニシンポジウム]
21. 上原雅恵
口演 (症例報告) 1 腫瘍 (症例) .
第 72 回日本心臓病学会学術集会 : 仙台市 , 2024, [座長]

22. 志賀太郎
がん関連血栓症のマネジメントについて：最近の話題．
第 72 回日本心臓病学会学術集会：仙台市，2024, [シンポジウム]
23. 上原雅恵
デバイス 1.
第 273 回日本循環器学会関東甲信越地方会：東京，2024, [座長]
24. 武田孝一
重症化させない imAE マネジメント：imAE 治療医の視点から．
第 65 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 +Web 配信，2024, [イブニングセミナー]
25. 志賀太郎
腫瘍循環器学：がん患者の心血管イベントとチーム医療．
第 21 回日本循環器看護学会学術集会：東京，2024, [口述発表]
26. 志賀太郎
がん関連血栓症の治療：腫瘍循環器領域の立場から．
第 2 回 Stroke Oncology 研究会：東京，2024, [パネルディスカッション]
27. 志賀太郎
がん関連静脈血栓症に対する診療の最近の話題．
第 2 回 Stroke Oncology 研究会：東京，2024, [ランチョンセミナー]

【麻酔科】

1. 寺嶋克幸
全身の血管障害と糖尿病を持つ中等度大動脈弁狭窄症患者の術中高度徐脈の 1 例．
第 36 回日本老年麻酔学会学術集会：佐賀市，2024, [口述発表]
2. 寺嶋克幸
区域麻酔と止血凝固の POC.
日本区域麻酔学会第 11 回学術集会：東京 +Web 開催，2024, [座長]

3. 寺嶋克幸
周術期の患者安全と費用：医療従事者のモニターの利用動機．
日本麻酔科学会第 71 回学術集会：神戸市，2024, [シンポジウム]
4. 寺嶋克幸
院内の緊急気道管理：ビデオ喉頭鏡の活用．
日本麻酔科学会第 71 回学術集会：神戸市，2024, [共催セミナー]
5. 升田茉莉子，ほか
重症肺気腫患者に対し，非挿管胸腔鏡手術を傍脊柱管ブロックを併用し施行した症例．
日本臨床麻酔学会第 44 回大会：東京，2024, [口述発表]
6. 寺嶋克幸
麻酔法．
日本臨床麻酔学会第 44 回大会：東京，2024, [座長]
7. 平島潤子
食道がん手術後早期の急性腎障害に影響を与える因子の検討．
日本臨床麻酔学会第 44 回大会：東京，2024, [セッション]

【腫瘍精神科】

1. 清水研
「自分らしい人生と治療」をサポートするために：患者さんへの精神心理的支援・Shared Decision Making を考える．
第 38 回日本がん看護学会学術集会：神戸市，2024, [教育セミナー]
2. 清水研
サルコーマ患者の精神的 care の最前線：精神科医の立場から．
第 67 回日本形成外科学会総会・学術集会：神戸市，2024, [口述発表]
3. 厚坊浩史
希死念慮．
第 29 回日本緩和医療学会学術大会 / 第 37 回日本サイコオンコロジー学会総会 合同学術大会：神戸市，2024, [座長]

4. 厚坊浩史
緩和ケアの現場におけるコンサルテーション・
リエゾン精神科の視点から。
第 29 回日本緩和医療学会学術大会 / 第 37 回
日本サイコオンコロジー学会総会 合同学術大
会：神戸市，2024，[シンポジウム]
5. 清水研
患者・家族の価値観を知るための傾聴スキル。
第 29 回日本緩和医療学会学術大会 / 第 37 回
日本サイコオンコロジー学会総会 合同学術大
会：神戸市，2024，[口述発表]
6. 清水研
死と向き合う患者のこころのケア。
第 29 回日本緩和医療学会学術大会 / 第 37 回
日本サイコオンコロジー学会総会 合同学術大
会：神戸市，2024，[口述発表]
7. 清水研
表出される怒りへの対応方法：このしくみを
知っておけば、もう悩まなくていい。
第 29 回日本緩和医療学会学術大会 / 第 37 回
日本サイコオンコロジー学会総会 合同学術大
会：神戸市，2024，[口述発表]
8. 厚坊浩史
コンサルテーション・リエゾン精神医学・心理
学を基盤とした骨・軟部腫瘍ケースへの介入に
ついて。
第 57 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集
会：福井市，2024，[シンポジウム]
9. 清水研
がん関連した告知への意思決定支援：腫瘍精神
科の立場から。
第 55 回東京ストーマリハビリテーション研究
会：東京，2024，[シンポジウム]
10. 清水研
エキスパートに聞く、再発乳がん患者さんへ標
準治療を届けきるためのコミュニケーション。
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，
2024，[イブニングセミナー]
11. 厚坊浩史，長谷川美由
コラボだヨ！全員集合。
第 37 回日本総合病院精神医学会総会：熊本市，
2024，[ファシリテーター]
12. 厚坊浩史，佐伯吉規
知りたい！あの先生のキャリアパス 2024。
第 37 回日本総合病院精神医学会総会：熊本市，
2024，[座長]
13. 土井善貴
がんと治療抵抗性精神疾患を併存した患者を抱
えるリエゾンカ。
第 37 回日本総合病院精神医学会総会：熊本市，
2024，[シンポジウム]
14. 川居利有
リエゾンに関わる専門家へのアドバイス。
第 37 回日本総合病院精神医学会総会：熊本市，
2024，[シンポジウム]
15. 清水研
がん医療から学ぶこと。
第 37 回日本総合病院精神医学会総会：熊本市，
2024，[シンポジウム]
16. 清水研
サイコオンコロジーが専門でなくてもがん患者
にできる精神療法。
第 37 回日本総合病院精神医学会総会：熊本市，
2024，[座長]
17. 矢鳴由起子，川居利有，厚坊浩史，清水研
がん医療における認知症スクリーニングに関す
る予備的検討。
第 37 回日本総合病院精神医学会総会：熊本市，
2024，[ポスター発表]
18. 川居利有
脳の神経可塑性から考える慢性疼痛の心理的ア
プローチ。
第 46 回日本疼痛学会：東京，2024，[シンポ
ジウム]

19. 清水研
乳がん治療の薬物療法と患者さんとのコミュニケーション。
第2回 Stroke Oncology 研究会：東京，2024，
[ランチョンセミナー]

【感染症科】

1. 武田孝一
ケースから学ぶ imAE マネジメント：抗 CTLA-4 抗体の話題を中心に。
第29回日本肝がん分子標的治療研究会：さいたま市，2024，[モーニングセミナー]
2. 羽山ブライアン
私の思い出のバイキンについて。
第35回日本臨床微生物学会総会・学術集会：横浜市，2024，[パネルディスカッション]
3. 武田孝一
新規学術分野【Onco-Rheumatology（腫瘍リウマチ学）】の誕生と，リウマチ科医に求められる知識 / スキル。
第68回日本リウマチ学会総会・学術集会：神戸市，2024，[口述発表]
4. 羽山ブライアン
がん患者の支持療法としてのワクチン接種：固形がんを中心に。
第9回日本がんサポーターブケア学会学術集会：さいたま市，2024，[ランチョンセミナー]
5. 武田孝一，鎗水彰，榎田泰祐，大串大輔，羽山ブライアン
irAE（免疫関連有害事象）マネジメントに伴う日和見感染症の検討。
第98回日本感染症学会学術講演会 / 第72回日本化学療法学会総会 合同学会：神戸市，2024，[口述発表]
6. 羽山ブライアン，原田壮平，鎗水彰，榎田泰祐，武田孝一，大串大輔
がん病院における抗菌薬適正使用プログラム：抗 MRSA 薬の使用についての分析。
第98回日本感染症学会学術講演会 / 第72回日本化学療法学会総会 合同学会：神戸市，2024，[ポスター発表]

7. 武田孝一
重症化させない imAE マネジメント：imAE 治療医の視点から。
第65回日本肺癌学会学術集会：横浜市 +Web 配信，2024，[イブニングセミナー]
8. 大串大輔
抗菌薬マスター：MSSA 治療における抗菌薬選択について。
第73回日本感染症学会東日本地方会学術集会 / 第71回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会：東京，2024，[司会]

【放射線治療部】

1. 高橋太郎
PMRT-VMAT について・腋窩郭清省略時代に対応して。
第22回九州放射線治療システム研究会：福岡市，2024，[講演]
2. 松林史泰
照合・照射位置管理の重要性。
第5回日本放射線治療専門放射線技師認定機構医療安全研修会：東京，2024，[講演]
3. 中島大
放射線治療の確実な遂行のためにできること。
第88回放射線治療部会：横浜市，2024，[司会]
4. 松林史泰
治療計画 CT でできること：情報把握や伝達，治療精度への関与。
第88回放射線治療部会：横浜市，2024，[口述発表]
5. Saotome, S.
Can synchrony eliminate the effects of set-up errors?
第127回日本医学物理学会学術大会：横浜市 +Web 開催，2024，[口述発表]
6. 吉岡靖生
前立腺癌の high-dose-rate (HDR) brachytherapy: 線量と技術の標準化により至高の放射線治療へ。

日本放射線腫瘍学会小線源治療部会第 26 回学術大会：高崎市，2024，[ランチョンセミナー]

7. 吉岡靖生
前立腺がんに対する放射線治療：PACE trials から読み解く前立腺 SBRT の今後．
第 5 回山梨・静岡放射線治療研究会：沼津市，2024，[特別講演]
8. 利安隆史，中村聡明，伊藤芳紀，中村直樹，齊藤吉弘，高橋聡，太田陽介，稲田正浩，村上祐司，西村恭昌，古平毅
T1-2N0-1M0 中咽頭癌に対する強度変調放射線治療（IMRT）の多施設共同単群検証的試験（JCOG1208）．
第 48 回日本頭頸部癌学会：浜松市，2024，[口述発表]
9. 利安隆史
中咽頭癌に対する治療戦略：放射線治療医の立場から．
第 48 回日本頭頸部癌学会：浜松市，2024，[シンポジウム]
10. 吉岡靖生
オリゴメタスタシスに対する放射線治療：定位照射による ablative な転移巣治療．
第 49 回日本外科系連合学会学術集会：東京，2024，[シンポジウム]
11. Yoshioka, Y.
A modern clinical workflow of automated organs at risk contouring in radiotherapy treatment planning. AI utilization in our radiotherapy practice.
The 9th Japan-Taiwan Radiation Oncology Symposium: 札幌市，2024，[招待講演]
12. 吉岡靖生
前立腺がんへの組織内照射：良好な治療成績の理由．
第 25 回放射線腫瘍学夏季セミナー：奈良市，2024，[教育講演]
13. 田口千蔵
集学的治療における放射線治療の役割とストーリー管理．

第 55 回東京ストーリーリハビリテーション研究会：東京，2024，[講演]

14. 上間達也
Knowledge-based planning の臨床導入．
日本医学物理士会 2024 医学物理セミナー「人工知能の導入」：Web 開催，2024，[講演]
15. 中島大
放射線治療（撮影技術 1）．
第 1 回日本放射線医療技術学術大会（第 40 回日本診療放射線技師学術大会・第 52 回日本放射線技術学会秋季学術大会合同大会）：宜野湾市，2024，[座長]
16. 原田亜里咲
乳癌腋窩リンパ節郭清省略時における放射線治療の考え方．
第 26 回 SNNS 研究会学術集会：東京，2024，[シンポジウム]
17. 松林史泰
測定機器の選定とスキャン方法の基礎知識（AAPM TG-106 を含めて）．
第 62 回放射線治療セミナー：Web 開催，2024，[講演]
18. 吉岡靖生
mHSPC/mCRPC における原発巣 / 転移巣に対する放射線治療の意義．
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024，[シンポジウム]
19. Yoshioka, Y.
Role of radiotherapy to the primary or to the metastases in metastatic prostate cancer.
The 19th National Meeting of Chinese Society for Radiation Oncology (CSTRO) : Beijing, China, 2024，[招待講演]
20. 上間達也，明石華奈，渡邊詩織，松林史泰，橘理絵，伊藤康，吉岡靖生
4DCT アーチファクト画像に対する腫瘍呼吸性移動量解析ソフトウェアの実行可能性．
日本放射線腫瘍学会第 37 回学術大会：横浜市，2024，[口述発表]

21. 五月女達子
VISICOIL を使用した Radixact による前立腺の追尾治療：Synchrony の使用経験について．
日本放射線腫瘍学会第 37 回学術大会：横浜市，2024, [イブニングセミナー]
22. 佐々木理栄，田口千藏，宮内輝，篠崎英司，秋吉高志，福長洋介，山口研成，山口智弘，向井俊貴，松井信平，大隅寛木，若槻尊，福岡聖大，宇田川翔平，佐々木良平，吉岡靖生
日本人の直腸癌に対する total neoadjuvant therapy の忍容性．
日本放射線腫瘍学会第 37 回学術大会：横浜市，2024, [ポスター発表]
23. 佐藤佳音，上間達也，宮内輝，村上幸，伊藤康，利安隆史，吉岡靖生
Knowledge-based planning の model 登録症例の治療部位が治療計画に及ぼす影響．
日本放射線腫瘍学会第 37 回学術大会：横浜市，2024, [ポスター発表]
24. 利安隆史，芹澤慈子，佐藤由紀子，辻英貴，三谷浩樹，高橋俊二，吉岡靖生
涙嚢部 - 鼻涙管の HPV 関連扁平上皮癌に対する IMRT を用いた同時化学放射線療法の実績．
日本放射線腫瘍学会第 37 回学術大会：横浜市，2024, [口述発表]
25. 吉岡靖生
がんセンターにおける「Radixact」の役割と課題．
日本放射線腫瘍学会第 37 回学術大会：横浜市，2024, [座長]
26. 吉岡靖生
前立腺 SO vs noSO 定位 vs ブラキー．
日本放射線腫瘍学会第 37 回学術大会：横浜市，2024, [座長]
27. 村上幸，上間達也，吉岡稔，佐藤洋輔，宮内輝，佐藤佳音，利安隆史，佐藤康，吉岡靖生
Knowledge-based planning の model 設定の違いが治療計画に及ぼす影響．
日本放射線腫瘍学会第 37 回学術大会：横浜市，2024, [ポスター発表]
28. 芹澤慈子，吉岡靖生，利安隆史，久能木裕明，田口千藏，原田亜里咲，徳増健二，下谷内奈々，阿武和
前立腺癌 IMRT においてネオアジュバントアンドロゲン除去療法が有害事象に及ぼす影響．
日本放射線腫瘍学会第 37 回学術大会：横浜市，2024, [ポスター発表]
29. 青木秀梨
放射線治療をメジャー科にする？ダイバーシティが目指すものは．
日本放射線腫瘍学会第 37 回学術大会：横浜市，2024, [セッション]
30. 上間達也
Knowledge-based planning の今後．
2024 年度 RTT 統一講習会：大阪府，2024, [講演]
31. 松林史泰
頭頸部がんの放射線治療計画 CT の撮影．
2024 年度第 1 回医学物理学講演会：前橋市，2024, [講演]

【緩和治療科】

1. 松本禎久
自分らしく過ごすために：在宅・入院で受けられる緩和ケアの実践．
Club CaNoW セミナー：Web 開催，2024, [一般向け講演会]
2. 松本禎久
早期からの緩和ケア提供とチーム医療．
令和 5 年度三郷市在宅緩和ケア講演会：三郷市，2024, [講演]
3. 松本禎久
いかに患者の在宅療養をサポートするか：病院側にできる在宅療養のサポート．
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024, [シンポジウム]
4. 松本禎久
緩和ケア医として患者さんから学んだ死生．
第 48 回金沢がん哲学外来オンライン講演：Web 開催，2024, [一般向け講演会]

5. 松本禎久
がん患者の痛み治療とケアについて .
第 11 回医学生・若手医師のための緩和ケアセミナー on WEB: Web 開催, 2024, [講演]
6. 松本禎久
複合的介入のランダム化比較試験：早期からの専門的緩和ケア介入試験の経験もふまえて .
第 9 回日本がんサポーターズケア学会学術集会：さいたま市, 2024, [ワーキンググループ]
7. 松本禎久
難治性がん疼痛治療における医療連携・相談体制の構築 .
第 9 回日本がんサポーターズケア学会学術集会：さいたま市, 2024, [企画]
8. 松本禎久
治療抵抗性の耐え難い苦痛に対する持続的鎮静における葛藤：医療倫理と意思決定支援 .
日本麻酔科学会第 71 回学術集会：神戸市, 2024, [口述発表]
9. 佐伯吉規
医療受診にまつわる LGBTQ の課題 .
第 29 回日本緩和医療学会学術大会 / 第 37 回日本サイコオンコロジー学会総会 合同学術大会：神戸市, 2024, [座長]
10. 佐伯吉規
「肝機能障害」「脳血管障害」を併存するがん患者の対応困難な病態に対する向精神薬投与を考える .
第 29 回日本緩和医療学会学術大会 / 第 37 回日本サイコオンコロジー学会総会 合同学術大会：神戸市, 2024, [ワークショップ]
11. 岡久将暢, 池田昌弘, 臼井優子, 磯野永依, 星野奈月, 秋月晶子, 佐伯吉規, 飯倉佑介, 石黒太造, 松本禎久
メサドンの内服が困難となったがん患者における他のオピオイドへの切り替えに関する後方視的検討 .
第 29 回日本緩和医療学会学術大会 / 第 37 回日本サイコオンコロジー学会総会 合同学術大会：神戸市, 2024, [ポスター発表]
12. 松本禎久
ProsCons 企画：週単位の予後と考えられる患者の頻回なレスキュー投与を許容するか .
第 29 回日本緩和医療学会学術大会 / 第 37 回日本サイコオンコロジー学会総会 合同学術大会：神戸市, 2024, [座長]
13. 松本禎久
がん疼痛に対するアルゴリズム治療における専門的鎮痛法の位置付け .
第 29 回日本緩和医療学会学術大会 / 第 37 回日本サイコオンコロジー学会総会 合同学術大会：神戸市, 2024, [シンポジウム]
14. 松本禎久
気持ちのつらさを有するがん患者に対して、早期からの緩和ケアは推奨されるか？
第 29 回日本緩和医療学会学術大会 / 第 37 回日本サイコオンコロジー学会総会 合同学術大会：神戸市, 2024, [シンポジウム]
15. 池田昌弘, 岡久将暢, 臼井優子, 磯野永依, 星野奈月, 秋月晶子, 佐伯吉規, 織壁里奈, 松本禎久
緩和ケア病棟入院患者におけるレストレスネスに関する後方視的検討 .
第 29 回日本緩和医療学会学術大会 / 第 37 回日本サイコオンコロジー学会総会 合同学術大会：神戸市, 2024, [ポスター発表]
16. 松本禎久
がんの痛み：緩和ケア医の視点も交えて .
日本ペインクリニック学会第 58 回学術集会：宇都宮市, 2024, [シンポジウム]
17. 松本禎久
がん患者の痛みの評価とマネジメント：がん疼痛から化学療法誘発性末梢神経障害まで .
第 43 回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム：東京, 2024, [メディカルセミナー]
18. 佐伯吉規
がん患者の心理的課題とその対応 .
松山赤十字病院オンコロジーセミナー：松山市, 2024, [メディカルセミナー]

19. 佐伯吉規
がん患者のせん妄の薬物療法を再考する。
第 6 回日本緩和医療学会関東・甲信越部学術大会 / 第 20 回長野県緩和医療研究会 松本市,
2024, [シンポジウム]
20. 杉部清佳, 池田昌弘, 松本禎久
緩和ケア病棟入院中に带状疱疹に伴う痛みに対して行った硬膜外ブロックが著効した 1 例。
第 6 回日本緩和医療学会関東・甲信越部学術大会 / 第 20 回長野県緩和医療研究会 松本市,
2024, [ポスター発表]
21. 松本禎久
がん疼痛に対する神経ブロックを適切に提供するためにはどうすればよいのか：わが国における全国調査から。
第 6 回日本緩和医療学会関東・甲信越部学術大会 / 第 20 回長野県緩和医療研究会 松本市,
2024, [教育講演]
22. 佐伯吉規
がん患者の感情的苦痛：疼痛管理を含めて。
栃木県の緩和ケアを考える：宇都宮市, 2024,
[メディカルセミナー]
23. 佐伯吉規
コラボだヨ！全員集合。
第 37 回日本総合病院精神医学会総会：熊本市,
2024, [座長]
24. 厚坊浩史, 佐伯吉規
知りたい！あの先生のキャリアパス 2024。
第 37 回日本総合病院精神医学会総会：熊本市,
2024, [座長]
25. 松本禎久
中枢性感作・痛覚変調性疼痛・一次性慢性痛。
第 46 回日本疼痛学会：東京, 2024, [座長]
26. 松本禎久
慢性期病態がもたらすストレス応答の分子理解。
第 46 回日本疼痛学会サテライトシンポジウム：
東京, 2024, [座長]

27. 佐伯吉規
入院患者が「眠れない」と訴えたとき。
日本サイコオンコロジー学会多職種支援セミナー：Web 開催, 2024, [講演]

【トータルケアセンター】

1. 田近忍
MSW の役割。
東京都緩和ケア研修会（多職種）：Web 開催,
2024, [講演]
2. 高木久美, 吉宮瑞穂, 伊丹優貴子, 稲用ゆうか,
古田桃子, 守屋直紀, 石井美鈴, 榎田滋穂, 中
屋恵梨香, 松下亜由子, 斎野容子, 岡村明彦,
佐藤崇文
Mini-cog による認知機能評価と栄養士による
栄養評価の関連。
第 27 回日本病態栄養学会年次学術集会：京都
市, 2024, [口述発表]
3. 片岡明美
乳がんの最新治療とその後のサバイバーシップ
支援について。
江東区健康講演会：WEB 開催, 2024, [講演]
4. 武本麻理絵
緩和ケア中心の医療が必要な患者さんへの対
応：MSW の視点から。
第 7 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会：
名古屋市, 2024, [講演]
5. 小野麻紀子, 長崎礼子, 中村美穂, 濱口恵子,
横井麻珠美, 松浦信子, 宇津木久仁子, 片岡明
美, 高野利実
アピアランスケアニーズ把握のためのアンケー
ト調査。
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市,
2024, [ポスター発表]
6. 大友陽子
がん患者さん・家族を支えるナースの仕事。
第 38 回日本がん看護学会学術集会：神戸市,
2024, [講演]
7. 花出正美, 天野慎介
市民公開講座：患者・家族の「今を生きる」に
寄り添うがん看護のチカラ。

- 第 38 回日本がん看護学会学術集会：神戸市，2024, [座長]
8. 花出正美
抗がん薬の安全な取り扱い（曝露対策）：US と日本のベストプラクティス。
・ HD management and exposure control in the U.S. now.
・ 組織として取り組むハザードス・ドラッグの曝露対策。
第 38 回日本がん看護学会学術集会：神戸市，2024, [座長]
 9. 高木久美，伊丹優貴子，稲用ゆうか，古田桃子，守屋直紀，石井美鈴，榎田滋穂，中屋恵梨香，松下亜由子，川名加織，斎野容子，岡村明彦，佐藤崇文
Geriatric 8 における高齢者機能評価と栄養士による栄養評価の関連の検討。
第 39 回日本臨床栄養代謝学会学術集会：横浜市，2024, [口述発表]
 10. 松浦信子
ストーマ合併症・皮膚変化。
第 41 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会：横浜市，2024, [座長]
 11. 松浦信子
腹腔鏡手術は術後の stoma の quality をあげたか？
第 41 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会：横浜市，2024, [パネルディスカッション]
 12. 片岡明美，中村美穂
乳がん治療とその後の生活：がんになっても自分らしさを大切に。
がん研究会有明病院 & JAL Wellness セミナー：東京 + Web 開催，2024, [講演]
 13. 中村美穂
看護師によるアピアランスケア。
医療従事者のためのアピアランスケアセミナー
患者さんと社会をつなぐ：WEB 開催，2024, [口述発表]
 14. 小野麻紀子
アピアランスケアの将来像。
医療従事者のためのアピアランスケアセミナー
患者さんと社会をつなぐ：WEB 開催，2024, [口述発表]
 15. 横井麻珠美
アピアランスケアの実際。
医療従事者のためのアピアランスケアセミナー
患者さんと社会をつなぐ：WEB 開催，2024, [口述発表]
 16. 濱口恵子
アピアランスケアについて。
医療従事者のためのアピアランスケアセミナー
患者さんと社会をつなぐ：Web 開催，2024, [口述発表]
 17. 片岡明美
乳がん治療とその後の生活：パートナーシップを考える。
第 6 回がん研究会有明病院・海上ビル診療所合同セミナー：東京，2024, [講演]
 18. 勝野幸子，小笠原麻衣子，中村美穂，石川弥生，佐藤貴子，下大川恵，福田浩子，増田真由美，高野利実，宇津木久仁子
保険診療施設での婦人科がん続発性下肢リンパ浮腫のケア。
第 7 回日本リンパ浮腫学会総会：川越市，2024, [ポスター発表]
 19. 宇津木久仁子
医療者と共に考えたい、患者からの SOS !
第 7 回日本リンパ浮腫学会総会：川越市，2024, [座長]
 20. 宇津木久仁子
臨床研究と患者・市民参画（PPI）。
第 7 回日本リンパ浮腫学会総会：川越市，2024, [シンポジスト]
 21. 小笠原麻衣子，勝野幸子，中村美穂，佐藤貴子，福田浩子，下大川恵，増田真由美，石川弥生，片岡明美，高野利実，宇津木久仁子
ドセタキセル治療歴のある腋窩リンパ節郭清乳がん患者のリンパ浮腫の病期と治療経過。

- 第7回日本リンパ浮腫学会総会：川越市，2024, [ポスター発表]
22. 宮城八重子，片岡綾華，河島地草，岡江晃児，花出正美
冊子『がんと診断されたあなたに知ってほしいこと』の活用推進に関する活動報告．
第12回日本がん相談研究会年次大会：東京，2024, [口述発表]
23. 片岡明美
POSITIVE 試験参加を経験して得られたもの．
第14回JBCRG 学術集会：Web 開催，2024, [講演]
24. Seki, Y.
LVA as a treatment of neurogenic bladder after gynecologic cancer treatment using the SEKI method.
The 10th World Symposium for Lymphedema Surgery (WSLS)：Taipei, Taiwan, 2024, [パネルディスカッション]
25. Seki, Y.
LVA beyond LVA.
The 10th World Symposium for Lymphedema Surgery (WSLS)：Taipei, Taiwan, 2024, [パネルディスカッション]
26. Seki, Y.
Migraine surgery and lymphatic surgery.
第67回日本形成外科学会総会・学術集会：神戸市，2024, [司会]
27. 片岡明美，阿部朋未，植弘奈津恵，吉田奈央，松永有紀，春山優理恵，中平詩，高畑史子，井上有香，山下奈真，吉田和世，前田哲代，稲荷均，坂井威彦，中村美穂，濱口恵子，高野利実，渡邊雅之，上野貴之
いつでもどこでも誰からでもサバイバーシップケアが受けられる病院を目指して．
第124回日本外科学会定期学術集会：常滑市，2024, [特別企画]
28. 濱口恵子，片岡明美，長崎礼子，横井麻珠美，中村美穂，宇津木久仁子，小野麻紀子，高野利実，渡邊雅之
アピアランスケアに関する職員の認識および対応の現状．
第9回日本がんサポーターシップケア学会学術集会：さいたま市，2024, [ポスター発表]
29. 片岡明美
妊孕性．
第9回日本がんサポーターシップケア学会学術集会：さいたま市，2024, [ファシリテーター]
30. 片岡明美
拳児希望のある乳がん術後女性がホルモン療法を中断して妊娠を試みる国際共同研究 POSITIVE 試験に参加して．
第9回日本がんサポーターシップケア学会学術集会：さいたま市，2024, [セッション]
31. 片岡明美
ピンクリボンアドバイザー活動発表．
NPO 法人乳房健康研究会ピンクリボンアドバイザーアニュアルミーティング 2024: 東京，2024, [座長]
32. 上田美佐江
「気になる家庭のカンファレンス」について．
第26回日本医療マネジメント学会学術総会：福岡市，2024, [口述発表]
33. 片岡明美
がん教育模擬授業．
第8回ピンクリボンアドバイザーがん教育講師養成講座：東京，2024, [コメンテーター]
34. 片岡明美
トークセミナー．
第20回ミニウオーク＆ラン フォー ブレストケア ピンクリボンウオーク 2024: 東京，2024, [座長]
35. 片岡明美
ワークショップ「学びの広場：臨床試験と意思決定」．
第32回日本乳癌学会学術総会：仙台市，2024, [座長]

36. 片岡明美
乳がんサバイバーシップ：運動・栄養・代謝．
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，
2024, [座長]
37. 片岡明美
乳がんのアピアランスケアについて．
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，
2024, [ランチョンセミナー]
38. 片岡明美，阿部朋未，植弘奈津恵，高畑史子，
春山優理恵，吉田奈央，家里明日美，河村雪乃，
中平詩，山下奈真，井上有香，前田哲代，吉田
和世，稲荷均，坂井威彦，上野貴之
妊娠期乳癌の特徴と今後の問題点について．
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，
2024, [シンポジウム]
39. 大友陽子
がんの要因から、いまでできること：がん予防と
生活習慣．
“がん”を知る！サマーセミナー in がん研：東
京，2024, [講演]
40. 片岡明美
がんについて．
“がん”を知る！サマーセミナー in がん研：東
京，2024, [講演]
41. Seki, Y.
How can we finish compression therapy af-
ter LVA?: limitation and methodology.
International Microsurgery Club (IMC) We-
binar: WEB 開催，2024, [特別パネル]
42. Seki, Y.
LVA for lower limb lymphedema: facilitat-
ing treatments beyond initial limitations.
Pre-congress of the 15th Annual Meeting
of the European Plastic Surgery Research
Council: Brno, Czech Republic, 2024, [招待
講演]
43. Seki, Y.
The journey of treating lymphedema from
mild to severe stages.
The 15th Annual Meeting of the European
Plastic Surgery Research Council: Brno,
Czech Republic, 2024, [招待講演]
44. 片岡明美
治療終了後も長期的に残存する生活障害Ⅳ：乳
がんに関心をあてて．
2024 年度高知県立大学がん高度実践看護師
コースセミナー：WEB 開催，2024, [講演]
45. 片岡明美
がん治療専門病院でのアピアランスケアへの取
組み．
NPO 法人エンパワリング ブレストキャンサー
/E-BeC. BC Venus Forum Vol.2 in 東京：東
京，2024, [講演]
46. 片岡明美
最新・乳がん治療白書：SDM から最新治療ま
で&なんでも質問．
NPO 法人女性医療ネットワーク第 166 回マン
マチアー：WEB 開催，2024, [講演]
47. 片岡明美
アピアランスケア：当院での取り組み．
第 21 回日本乳癌学会中国四国地方会：松山市，
2024, [ティータイムセミナー]
48. 松浦信子
ストーマサイトマーキングのレビューとイノ
ベーション．
第 55 回東京ストーマリハビリテーション研究
会：東京，2024, [講演]
49. 片岡明美
乳がんに関わる：正しい知識と頼れるなかまを
持っておこう．
日本対がん協会ピンクリボンフェスティバル
2024: WEB 開催，2024, [講演]
50. 稲見摩紀子，濱口恵子，床知恵子，鈴木美智子，
長崎礼子，中村美穂，井上杏奈，谷口愉香，片
岡明美，小野麻紀子，田近忍，宮城八重子，厚
坊浩史，高野利実，渡邊雅之
「患者が大切にしている家族等の診察同席」に
関する職員の意識調査．

第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，
2024, [シンポジウム]

51. 花出正美，廣瀬瑞穂，栗林理恵，一柳弘子，岡山慶子，清水多嘉子，松田美佐
ひとり暮らしのがん患者が治療前・治療中に直面する困りごと・悩みと対処行動。
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，
2024, [ポスター発表]
52. 片岡明美
乳がんの診療に関する基礎知識。
NPO 法人乳房健康研究会ピンクリボンワーク
ショップキャラバン 2024: WEB 開催，2024,
[講演]
53. Kataoka, A., Abe, T., Yoshida, N., Uehiro,
N., Takahata, C., Ozaki, Y., Nishimura, M.,
Takano, T., Kogawa, T., Ueno, T.
Prognosis, fertility preservation trends, and
pregnancy outcomes in young patients with
triple negative breast cancer.
The 8th World Congress of the International
Society for Fertility Preservation: 東京，
2024, [ポスター発表]
54. 片岡明美
乳がんアピアランスケアとサバイバーシップ支
援。
国立病院機構福岡東医療センター第 50 回臨床
腫瘍カンファレンス：WEB 開催，2024, [講
演]
55. 田近忍
脳卒中後のがん患者の生きる場所：あらゆる壁
を経験した MSW の事例。
第 2 回 Stroke Oncology 研究会：東京，2024,
[講演]
56. 片岡明美
妊孕性温存療法の現状。
第 20 回日本乳癌学会関東地方会：東京，
2024, [座長]

【医療安全管理部】

1. 山本豊
他山の石から学ぶ医療安全管理。
さがらウィメンズヘルスケアグループ 医療安
全全体研修会：鹿児島市，2024, [口述発表]
2. 山本豊
第Ⅳ期：第 2 回医療機器のみらいを担う人材育
成プロジェクト。
日本医療器機器産業連合会：東京，2024,
[ファシリテーター]
3. 山本豊
病院敷地内の道路鋸による患者家族の転倒。
認定病院患者安全推進協議会 施設・環境・設
備セミナー：Web 開催，2024, [口述発表]
4. 山本豊，根本真記，鈴木美智子，藤木由佳子
病院敷地内の道路鋸で患者家族が転倒した事故
への対応報告。
第 19 回医療の質・安全学会学術集会：横浜市，
2024, [口述発表]

【画像診断部】

1. 田中優美子
卵巣癌の画像診断。
Gynecology Kaleidoscope Symposium：チー
ムで考える病理／画像診断：Web 開催，2024,
[講演]
2. 菊池真理
術前薬物療法後の画像診断の実際：HER2 陽性
乳癌を中心に。
第 33 回日本乳癌画像研究会：東京，2024, [シ
ンポジウム]
3. 菊池真理
術前薬物療法後の画像診断の実際：HER2 陽性
乳癌を中心に。
第 43 回日本画像医学会：東京，2024, [シン
ポジウム]

4. Watanabe, H., Sato, Y., Oikado, K., Terauchi, T.
Correlation between iodine concentration in lung cancer on dual-energy CT and non-mucinous adenocarcinoma grading.
European Congress of Radiology 2024: Vienna, Austria., 2024, [口述発表]
5. 北井里実
婦人科領域の画像診断：MRI 撮影の工夫と診断のポイント。
産婦人科医会多摩ブロック：東京，2024, [講演]
6. 田中優美子
症例に学ぶ婦人科腫瘍の画像診断。
第 38 回 Diagnostic Imaging Conference: Web 開催，2024, [講演]
7. 佐藤嘉尚
デュアルエナジー CT での原発性肺癌と肺転移の鑑別における eclipse sign の有用性。
第 83 回日本医学放射線学会総会：横浜市，2024, [口演 + CyPos]
8. 一川良太，北井里実，田中優美子，寺内隆司，岡本三四郎，金尾祐之，小嶋結，外岡暁子
類上皮性トロホブラスト腫瘍の一例。
第 37 回日本腹部放射線学会：川越市，2024, [ポスター発表]
9. 北井里実
卵巣・卵管。
第 37 回日本腹部放射線学会：川越市，2024, [座長]
10. 山元龍哉
後腹膜 1。
第 37 回日本腹部放射線学会：川越市，2024, [座長]
11. 佐藤嘉尚
胸部。
第 461 回日本医学放射線学会関東地方会定期大会：東京，2024, [座長]
12. 田中優美子
Tumor Board：Tumor Board がん生殖：アンサーパッドで全員参加。
第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：鹿児島市，2024, [コメンテーター]
13. 植野映子
骨軟部腫瘍の画像診断について。
第 18 回診断病理サマーフェスト：病理と臨床の対話：東京，2024, [講演]
14. 植野映子
「悪性軟部腫瘍の画像診断」；特に後腹膜肉腫について。
腹部・後腹膜肉腫セミナー（埼玉骨軟部腫瘍研究会）：さいたま市，2024, [講演]
15. 北井里実
画像診断レポートのあり方。
JSAWI 第 25 回シンポジウム：淡路市，2024, [ワークショップ]
16. 田中優美子
転移性子宮・卵巣腫瘍の画像診断。
JSAWI 第 25 回シンポジウム：淡路市，2024, [講演]
17. 山下康輔，茂木一樹，伊藤良真，宮司典明，高津一郎，寺内隆司
111In-pentetreotide SPECT/CT を用いた核医学治療薬 177Lu-DOTATATE における腎臓吸収線量予測に向けた検討：Exploratory study on the prediction of renal absorbed dose in neuroendocrine tumor therapy with 177Lu-DOTATATE using 111in pentetreotide SPECT/CT.
第 1 回日本放射線医療技術学術大会（第 40 回日本診療放射線技師学術大会・第 52 回日本放射線技術学会秋季学術大会合同大会）：宜野湾市，2024, [口述発表]
18. 山下康輔
核医学治療の最前線。
第 1 回日本放射線医療技術学術大会（第 40 回日本診療放射線技師学術大会・第 52 回日本放射線技術学会秋季学術大会合同大会）：宜野湾市，2024, [司会]

19. 一川良太, 佐藤嘉尚, 松浦陽介, 文敏景, 二宮浩範, 森健作
腹部造影 MRI が診断の決め手となった肝類上皮血管内皮腫肺転移の症例.
第 60 回日本医学放射線学会秋季臨床大会 / 第 38 回胸部放射線研究会: 福岡市, 2024, [セッション]
20. 森健作
マルチモーダルアプローチによる画像診断.
第 462 回日本医学放射線学会関東地方会定期大会: 高崎市, 2024, [座長]

【臨床遺伝医療部】

1. 植木有紗
遺伝学的診断を治療戦略に活用する (BRCA1/2 を中心に).
日本臨床腫瘍学会教育企画部会「2024 年新春がんバイオマーカーの診断を横断的に学ぶ」: Web 開催, 2024, [講師]
2. 新川裕美, 金子景香, 幅野愛理, 箕浦祐子, 久我亜沙美, 横井麻珠美, 阿部朋未, 青木洋一, 小野麻紀子, 片岡明美, 高野利実, 植木有紗
遺伝性腫瘍における着床前遺伝学的検査 (PGT-M) に対する医療者の認識と今後の課題: 当院医療職におけるアンケート調査を通して.
第 14 回日本がん・生殖医療学会学術集会: 水戸市, 2024, [一般演題]
3. 植木有紗
遺伝性腫瘍領域の着床前遺伝学的検査 (PGT-M) に対する社会的課題と医療者における認知.
第 27 回東北家族性腫瘍研究会: 仙台市 +Web 開催, 2024, [特別講演]
4. 植木有紗
遺伝子パネル検査の意義とその実際.
第 30 回日本産婦人科乳癌医学会: 東京, 2024, [シンポジウム]
5. 植木有紗, 幅野愛理, 久我亜沙美, 新川裕美, 金子景香, 高橋俊二, 深田一平, 林直美, 森誠一, 田中教生, 清谷一馬, 竹内賢吾, 外岡暁子, 志賀太郎, 上原雅恵, 戸次宣史, 勝俣良紀, 桃井瑞生, 佐藤武志, 林香, 中島裕也, 藤波芳, 藤波優, 丸祐一, 小崎健次郎, 上野貴之

全ゲノム解析に伴う遺伝情報回付の現状と課題.

第 1 回がん・難病全ゲノム合同班会議: 東京, 2024, [ポスター発表]

6. 幅野愛理, 金子景香, 新川裕美, 箕浦祐子, 久我亜沙美, 林直美, 土橋映仁, 古川孝広, 深田一平, 田中教生, 森誠一, 高橋俊二, 上野貴之, 植木有紗
BRCA1/2 は非関連がんにおいてもドライバーとして検出される: 当院の全ゲノム解析の結果より.
第 4 回 JOHBOC 学術総会: 東京, 2024, [口述発表]
7. 植木有紗
乳腺領域: がん未発症 BRCA 病的バリエント保持者への医療.
第 4 回 JOHBOC 学術総会: 東京 +Web 開催, 2024, [座長]
8. 植木有紗
遺伝学的検査へのクリティカル・シンキング: 個人情報保護法の観点から遺伝医学の現在と未来を考える.
第 4 回 JOHBOC 学術総会: 東京 +Web 開催, 2024, [座長]
9. 箕浦祐子
データからみる遺伝性腫瘍診療の均てん化と地域連携.
第 4 回 JOHBOC 学術総会: 東京 +Web 開催, 2024, [口述発表]
10. 新川裕美
調査・研究委員会企画.
第 6 回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会: 東京, 2024, [口述発表]
11. 久我亜沙美, 金子景香, 新川裕美, 幅野愛理, 箕浦祐子, 土橋映仁, 林直美, 古川孝広, 植木有紗
当院における生殖細胞系列多遺伝子パネル検査の実施状況および課題と展望.
第 30 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2024, [要望演題]

12. 幅野愛理, 金子景香, 新川裕美, 箕浦祐子, 久我亜沙美, 林直美, 土橋映仁, 古川孝広, 植木有紗
遺伝性腫瘍当事者の語りを届ける:「当事者からのメッセージ」の取り組み.
第30回日本遺伝性腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2024, [要望演題]
13. 新川裕美, 金子景香, 幅野愛理, 箕浦祐子, 久我亜沙美, 林直美, 土橋映仁, 古川孝広, 植木有紗
がん専門施設医療職の PGT-M 等の情報提供についての考察: 当院医療職に実施したアンケート調査から.
第30回日本遺伝性腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2024, [一般演題]
14. 植木有紗
がん遺伝子パネル検査・全ゲノム解析に伴う遺伝情報回付の現状と課題.
第30回日本遺伝性腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2024, [シンポジウム]
15. 金子景香, 新川裕美, 幅野愛理, 箕浦祐子, 久我亜沙美, 土橋映仁, 林直美, 古川孝広, 植木有紗
HBOC の可能性が考慮されるがん未発症血縁者に遺伝医療を届けるためのチーム医療を考える.
第30回日本遺伝性腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2024, [要望演題]
16. 金子景香
遺伝カウンセリング.
第30回日本遺伝性腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2024, [座長]
17. 久我亜沙美, 箕浦祐子, 幅野愛理, 新川裕美, 金子景香, 林直美, 土橋映仁, 古川孝広, 植木有紗
当院における生殖細胞系列多遺伝子パネル検査の実施状況および課題と展望.
第30回日本遺伝性腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2024, [要望演題]
18. 植木有紗
徹底議論! HBOC 医療の最新動向と展望: 婦人科領域における HBOC 診療の展望.
第32回日本乳癌学会学術総会: 仙台市, 2024, [シンポジウム]
19. 植木有紗
HBOC ガイドライン.
第9回 JOHBOC e-learning セミナー: Web 開催, 2024, [講演]
20. 久我亜沙美, 箕浦祐子, 幅野愛理, 新川裕美, 金子景香, 林直美, 土橋映仁, 古川孝広, 植木有紗
MLH1 に病的意義が高いと考えられるバリエーションが検出された一例.
“Lynch Syndrome Day 2024” 第10回リンチ症候群研究会・第6回がんゲノム医療時代における Lynch 症候群研究会 合同学術集会: 東京, 2024, [一般演題]
21. 幅野愛理, 林直美, 山崎真澄
Germline Findings におけるチーム医療.
“Lynch Syndrome Day 2024” 第10回リンチ症候群研究会・第6回がんゲノム医療時代における Lynch 症候群研究会 合同学術集会: 東京, 2024, [パネルディスカッション]
22. 幅野愛理, 金子景香, 新川裕美, 箕浦祐子, 久我亜沙美, 石岡宏太, 林直美, 土橋映仁, 古川孝広, 千野晶子, 植木有紗
発端者の診断から10年以上経過後に血縁者の遺伝学的検査に至った Lynch 症候群の2例.
“Lynch Syndrome Day 2024” 第10回リンチ症候群研究会・第6回がんゲノム医療時代における Lynch 症候群研究会 合同学術集会: 東京, 2024, [一般演題]
23. 植木有紗
Germline Findings におけるチーム医療.
“Lynch Syndrome Day 2024” 第10回リンチ症候群研究会・第6回がんゲノム医療時代における Lynch 症候群研究会 合同学術集会: 東京, 2024, [モデレーター]

24. 石岡宏太, 新川裕美, 金子景香, 幅野愛理, 箕浦祐子, 久我亜沙美, 林直美, 土橋映仁, 一瀬淳二, 文敏景, 西尾誠人, 二宮浩範, 千野晶子, 植木有紗
リンチ症候群に関連して発症したと推定される肺癌の3症例.
“Lynch Syndrome Day 2024” 第10回リンチ症候群研究会・第6回がんゲノム医療時代における Lynch 症候群研究会 合同学術集会: 東京, 2024, [一般演題]
 25. 久我亜沙美, 金子景香, 新川裕美, 幅野愛理, 箕浦祐子, 石岡宏太, 林直美, 土橋映仁, 古川孝広, 植木有紗
Clinical characteristics of ATM germline pathogenic variants : insights from 11 families.
日本人類遺伝学会第69回大会: 札幌市, 2024, [ポスター発表]
 26. 幅野愛理, 田中教生, 土橋映仁, 金子景香, 新川裕美, 箕浦祐子, 久我亜沙美, 石岡宏太, 林直美, 古川孝広, 深田一平, 森誠一, 高橋俊二, 上野貴之, 植木有紗
Germline findings in whole genome sequencing: contribution to carcinogenesis?
日本人類遺伝学会第69回大会: 札幌市, 2024, [口述発表]
 27. 植木有紗, 幅野愛理, 森誠一, 深田一平, 志賀太郎, 桃井瑞生, 勝俣良紀, 小崎健次郎, 上野貴之
Comprehensive genomic analysis in cancer patients : germline findings associated with hereditary cardiovascular diseases.
日本人類遺伝学会第69回大会: 札幌市, 2024, [シンポジウム]
 28. 金子景香, 土橋映仁, 新川裕美, 幅野愛理, 箕浦祐子, 久我亜沙美, 石岡宏太, 林直美, 古川孝広, 植木有紗
Cascade genetic testing for HBOC relatives : verified from 117 families’ genetic counseling.
日本人類遺伝学会第69回大会: 札幌市, 2024, [ポスター発表]
 29. 新川裕美, 植木有紗
当院でのアンケート調査から考える遺伝性腫瘍と PGT-M.
第62回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [シンポジウム]
 30. 植木有紗
がんゲノム医療時代における遺伝性疾患の診断意義と Gene Awareness プロジェクト.
第62回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [ワークショップ]
 31. Habano, E., Ueki, A., Ueno, T.
Insights from whole-genome sequencing: Germline findings may contribute to carcinogenesis in off-tumors.
68th Annual meeting of Korean Society of Medical Genetics and Genomics (KSMGG) with 40th Educational symposium; 2024 Annual meeting of East Asian Union of Human Genetics Society: Seoul, Korea., 2024, [シンポジウム/ワークショップパネル]
 32. 植木有紗
腫瘍.
第10回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会: 東京, 2024, [座長]
 33. 植木有紗
HBOC ガイドライン.
第10回 JOHBOC e-learning セミナー: Web 開催, 2024, [講演]
- 【集中治療部】**
1. 望月俊明
学生研修医ポスター6 (SRP): 症例.
第51回日本集中治療医学会学術集会: 札幌市, 2024, [座長]
 2. 望月俊明, 福岡聖大, 武田孝一, 見市光寿, 風戸拓也, 寺嶋克幸
血栓性血小板減少性紫斑病 (TTP) との鑑別に難渋した重症免疫チェックポイント阻害薬 (ICI) 誘発性腎炎の1例.
第51回日本集中治療医学会学術集会: 札幌市, 2024, [口述発表]

【核医学部】

1. 島田直毅
核医学におけるセラノスティクスの現状と将来展望。
放射線多地点合同カンファレンス：Web 開催，2024, [講演]
2. 吉田ほのか
当院における PET/CT 検査の運用とコツ。
第 40 回東葛放射線画像 Web セミナー：Web 開催，2024, [講演]
3. 島田直毅，中山径生
研究発表 2。
第 19 回千葉県放射線技術フォーラム：千葉市 +Web 開催，2024, [座長]
4. 茂木一樹，宮司典明，山下康輔，伊藤良真，高津一郎，寺内隆司
骨 SPECT/CT における収集条件に依存した可変再構成パラメータの有用性。
第 80 回日本放射線技術学会総会学術大会：横浜市，2024, [口述発表]
5. 吉田ほのか，深井翔平，島田直毅，大澤敦，高津一郎，寺内隆司，大崎洋充，磯貝咲采
フルシクロビンにおける至適撮像条件：GE 社製 PET/CT3 機種における検討。
第 101 回日本核医学会関東甲信越地方会：柏市，2024, [口述発表]
6. 島田直毅，中澤脩人，浅野夏美，大澤敦，高津一郎，寺内隆司
FDG-PET における撮像条件：GE 社製 PET/CT 3 機種における検討。
第 101 回日本核医学会関東甲信越地方会：柏市，2024, [口述発表]
7. 伊藤良真，茂木一樹，山下康輔，高津一郎，寺内隆司
PET 撮像のオーバーラップエリアにおけるデータ駆動型呼吸同期の効果：Effectiveness of data-driven respiratory gating in the PET overlap area。
第 1 回日本放射線医療技術学術大会（第 40 回日本診療放射線技師学術大会・第 52 回日本放射線技術学会秋季学術大会合同大会）：宜野湾市，2024, [口述発表]
8. 茂木一樹，山下康輔，宮司典明，伊藤良真，高津一郎，寺内隆司
111In-pentetreotide SPECT/CT を用いた 177Lu-DOTA-TATE 治療における 1 センチメートル線量当量率の予測：Prediction of 1 centimeter dose equivalent rate for 177Lu-DOTA-TATE treatment using。
第 1 回日本放射線医療技術学術大会（第 40 回日本診療放射線技師学術大会・第 52 回日本放射線技術学会秋季学術大会合同大会）：宜野湾市，2024, [口述発表]
9. 茂木一樹
電子ポスター（研究）。
核医学（その他）。
第 1 回日本放射線医療技術学術大会（第 40 回日本診療放射線技師学術大会・第 52 回日本放射線技術学会秋季学術大会合同大会）：宜野湾市，2024, [座長]
10. 中澤脩人，島田直毅，浅野夏美，高津一郎，寺内隆司
Precision DL 画像再構成を搭載した PET/CT の臨床利用の実際。
第 21 回 TOPIC -Tokyo PET Imaging Conference-：Web 開催，2024, [口述発表]
11. 寺内隆司
がん研有明病院核医学部の立ち位置。
第 64 回日本核医学会学術総会 / 第 44 回日本核医学技術学会総会学術大会：横浜市，2024, [シンポジウム]
12. 深井翔平，大崎洋充，黒森一星，山下康輔，島田直毅，高津一郎，寺内隆司
乳癌患者を対象とした bone scan index 解析システムの精度評価。
第 71 回日本放射線技術学会関東支部研究発表大会：高崎市，2024, [口述発表]

【臨床検査センター】

1. 石山大治, 友田美穂子, 上東野誉司美, 高橋ひろみ, 阿部仁, 千葉知宏, 三宅一徳, 中山耕之介
尿沈渣中に卵巣明細胞腺癌細胞の出現を認めた1症例.
第73回日本医学検査学会: 金沢市, 2024, [ポスター発表]
2. 天海佐内絵
診療科・病棟で使える! ポータブル下肢静脈エコーハンズオンセミナー.
第44回日本静脈学会総会: 北佐久郡, 2024, [講師]
3. 永尾千夏, 梅原翼, 石山大治, 佐竹明日香, 宮前ちひろ, 関根凜太郎, 水野奈々, 阿部仁, 三宅一徳, 中山耕之介
芽球がB細胞/骨髄系の混合表現型を示し, 染色体所見からAML-MRと最終診断された一例.
第25回日本検査血液学会学術集会: 広島市, 2024, [一般演題]
4. 関根凜太郎, 梅原翼, 水野奈々, 永尾千夏, 宮前ちひろ, 佐竹明日香, 石山大治, 阿部仁, 三宅一徳, 中山耕之介
MYC陰性BPDCN(芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍)4症例の比較.
第25回日本検査血液学会学術集会: 広島市, 2024, [一般演題]
5. 藤巻立生明, 鈴木暁, 上林慧也, 関田綱基, 海原和己, 阿部仁, 三宅一徳, 中山耕之介
CK-MB蛋白量測定においてCK/CKMB比が異常高値を呈した一例.
第64回日本臨床化学学会年次学術集会: 宇都宮市, 2024, [口述発表]
6. 関田綱基
RCPC臨床化学検査を読む.
第64回日本臨床化学学会年次学術集会: 宇都宮市, 2024, [回答者]

【超音波診断・IVR部】

1. 國分優美
MRI検出病変の超音波診断.
第33回日本乳癌画像研究会 画像診断ワンポイントレッスン: Web開催, 2024, [セミナー]
2. 國分優美, 春山優理恵, 中島絵里, 加藤千絵子, 圓岡有里, 秋谷昌史, 大迫智, 坂井威彦, 上野貴之, 松枝清, 稲荷均
BRCA1/2バリエーション保持者に対するサーベイランス期間における乳癌発見契機と画像所見.
日本超音波医学会第97回学術集会: 横浜市, 2024, [パネルディスカッション]
3. 國分優美
MRI 2nd Look US.
第23回日本超音波医学会教育セッション: 横浜市, 2024, [口述発表]
4. 天海佐内絵
診療科・病棟で使える! ポータブル下肢静脈エコーハンズオンセミナー.
第44回日本静脈学会総会: 北佐久郡, 2024, [講師]
5. 土屋智史
中心静脈ポートのシステムチェックからみたフィブリンシースについて.
第48回リザーバー&ポート研究会: 盛岡市, 2024, [口述発表]
6. 松枝清
CVP2.
第48回リザーバー&ポート研究会: 盛岡市, 2024, [座長]
7. 加藤千絵子, 棚倉健太, 坂井威彦, 圓岡有里, 國分優美, 秋谷昌史, 大迫智, 松枝清, 矢野智之, 上野貴之
シリコーンプレストインプラント周囲の液体貯留の検討.
第32回日本乳癌学会学術総会: 仙台市, 2024, [eポスター]
8. Tsuchiya, S., Koizumi, J., Kubota, Y., Akatsu, A., Takeuchi, T.

A case of hemostasis achieved by combining transcatheter arterial embolization and sclerotherapy for refractory bleeding in angiosarcoma of the scalp.

CIRSE 2024: Lisbon, Portugal, 2024, [ポスター発表]

9. 土屋智史
ハンズオンインストラクター。
SIRAP (Seminar for Interventional Radiology in Asia-Pacific) 2024: 東京, 2024, [発表形式不明]
10. 加藤千絵子, 棚倉健太, 坂井威彦, 圓岡有里, 國分優美, 秋谷昌史, 大迫智, 松枝清, 矢野智之, 上野貴之
内胸リンパ節エコーがシリコーンプレストインプラント破損発見に有用であった1例。
日本超音波医学会第36回関東甲信越地方会学術集会: 東京, 2024, [口述発表]
11. 長谷川美遥, 小泉恵, 戸田和寿, 千葉知宏, 國分優美, 松枝清, 山田恵子
異所性腺腫様甲状腺腫と鑑別を要した頸部成熟奇形腫の一例。
日本超音波医学会第36回関東甲信越地方会学術集会: 東京, 2024, [口述発表]
12. 加藤千絵子, 坂井威彦, 棚倉健太, 圓岡有里, 國分優美, 秋谷昌史, 大迫智, 松枝清, 矢野智之, 上野貴之
Silicone granuloma と診断されたシリコーンプレストインプラントの破損に伴うリンパ節腫大の3例。
第12回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会: 金沢市, 2024, [口述発表]
13. 加藤千絵子
最新の超音波による乳房超音波検査。
第52回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会: 札幌市, 2024, [ランチョンセミナー]
14. 國分優美
組織像推定のMRIの知見。
第52回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会: 札幌市, 2024, [口述発表]

15. 土屋智史, 松枝清, 大澤まりえ, 高木治行
当院における骨RFAの症例と適切な鎮痛鎮静法の検討。
第544回東京アンギオ・IVR会: 東京, 2024, [口述発表]

【看護部】

1. 後藤志保
放射線リガンド療法における多職種で取り組む看護業務の準備と役割。
第21回PET核医学看護セミナー: Web開催, 2024, [座長]
2. 田村瑠美, 西山夢乃, 石井幸恵, 阪口智子, 長崎礼子
外来治療室における、脾臓がん患者を対象としたACP（アドバンスケアプランニング）質問紙を用いた面談の実践状況と今後の課題。
第21回日本臨床腫瘍学会学術集会: 名古屋市, 2024, [ポスター発表]
3. 吉澤舞, 久保出晴菜, 高橋尚子, 菊池佳菜子, 下倉美穂, 床知恵子
後期高齢者に着目した尿路ストーマ管理への取り組み。
第38回日本がん看護学会学術集会: 神戸市, 2024, [ポスター発表]
4. 大友陽子
がん患者さん・家族を支えるナースの仕事。
第38回日本がん看護学会学術集会: 神戸市, 2024, [講演]
5. 後藤志保
臨床現場の疑問をガイドラインへ: 急性放射線皮膚炎のケアに関する合同ガイドラインの作成を通して。
第38回日本がん看護学会学術集会: 神戸市, 2024, [講演]
6. 花出正美, 天野慎介
市民公開講座: 患者・家族の「今を生きる」に寄り添うがん看護のチカラ。
第38回日本がん看護学会学術集会: 神戸市, 2024, [座長]

7. 花出正美
抗がん薬の安全な取り扱い（曝露対策）：US と日本のベストプラクティス。
・ HD management and exposure control in the U.S. now.
・ 組織として取り組むハザードス・ドラッグの曝露対策。
第 38 回日本がん看護学会学術集会：神戸市，2024, [座長]
8. 鴨川郁子，植弘奈津恵，小野麻紀子，山本早紀，伊藤永里子，小笠原麻衣子，望月淑子，中村美穂，伴修平，柴田かおり，森安真優，濱口恵子，高野利実，片岡明美
チャイルド・AYA サポートチーム主催『キッズ探検隊』活動報告。
第 38 回日本がん看護学会学術集会：神戸市，2024, [ポスター発表]
9. 松浦信子
ストーマ合併症・皮膚変化。
第 41 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会：横浜市，2024, [座長]
10. 松浦信子
鏡下手術におけるストーマリハビリテーション：周術期における実際と今後の課題。
第 41 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会：横浜市，2024, [シンポジウム]
11. 石川加奈子，藤浪文子，松浦信子
A がん専門病院の外来看護師による術前ストーマオリエンテーションの現状と課題。
第 41 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会：横浜市，2024, [口述発表]
12. 勝野幸子，小笠原麻衣子，中村美穂，石川弥生，佐藤貴子，下大川恵，福田浩子，増田真由美，高野利実，宇津木久仁子
保険診療施設での婦人科がん続発性下肢リンパ浮腫のケア。
第 7 回日本リンパ浮腫学会総会：川越市，2024, [ポスター発表]
13. 小笠原麻衣子，勝野幸子，中村美穂，佐藤貴子，福田浩子，下大川恵，増田真由美，石川弥生，片岡明美，高野利実，宇津木久仁子
ドセタキセル治療歴のある腋窩リンパ節郭清乳がん患者のリンパ浮腫の病期と治療経過。
第 7 回日本リンパ浮腫学会総会：川越市，2024, [ポスター発表]
14. 上石響，安斎由姫，村中恵美，新村江李奈
身体拘束フローチャートを用いたカンファレンス導入による看護師の認識の変化。
第 51 回日本集中治療医学会学術集会：札幌市，2024, [口述発表]
15. 後藤志保
放射線治療中に見られる倦怠感への対応：臨床における看護師によるアセスメントとケア。
第 9 回日本がんサポーターブケア学会学術集会：さいたま市，2024, [教育シンポジウム]
16. 吉村まどか，内山朋恵，久納良子，龍見秋一，佐藤洋造，松枝清，後藤志保
看護師による静脈穿刺技術向上への取り組み：エコーと静脈穿刺に関する動画を用いた教育効果。
第 53 回日本 IVR 学会総会：和歌山市，2024, [口述発表]
17. 上石響，新村江李奈，眞弓理恵
ICU 看護師のコミュニケーションスキルに関する教育：現状と効果の報告。
第 20 回日本クリティカルケア看護学会学術集会：宜野湾市，2024, [口述発表]
18. 堀田真弓，大澤めぐみ，鈴木めぐみ
外来で 4 診療科をローテーションした取り組み：がん専門病院での外来看護充実のために。
第 26 回日本医療マネジメント学会学術総会：福岡市，2024, [口述発表]
19. 大澤めぐみ，鈴木めぐみ，相澤信也，堀田真弓
かかりつけ患者からの症状問い合わせ電話を繋がりやすくするための取り組み。
第 26 回日本医療マネジメント学会学術総会：福岡市，2024, [口述発表]
20. 加藤紀香，鈴木美智子，川尻恵子，織本亜里沙，大澤めぐみ，水野俊美
高齢がん患者の治療選択に関する意思決定支援における外来看護師の看護介入：アンケート調査。

第 29 回日本緩和医療学会学術大会 / 第 37 回
日本サイコオンコロジー学会総会 合同学術大
会：神戸市，2024，[ポスター発表]

21. 水野俊美
オピオイド 5.
第 29 回日本緩和医療学会学術大会 / 第 37 回
日本サイコオンコロジー学会総会 合同学術大
会：神戸市，2024，[座長]
22. 後藤志保
総合討論 .
第 40 回がん放射線治療看護セミナー：金沢市
+Web 開催，2024，[討論]
23. 後藤志保
中心静脈ポートの管理に関する看護師教育資料
の作成と評価 .
第 48 回リザーバー & ポート研究会：盛岡市，
2024，[口述発表]
24. 竹内愛，井上有香，高橋輝，笠原あや菜，織本
亜理沙，鈴木美智子，大澤めぐみ，鈴木一洋，
坂井威彦，上野貴之，小口正彦
乳癌診療におけるコミュニケーション支援シス
テム活用に関する研究 .
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，
2024，[ポスターディスカッション]
25. 平川菜穂美，釣江利，小田桐萌，馬城はるか，
森祐佳，式部さあ里，伊丹優貴子，下倉美穂，
大村朋子，米澤元樹，宮北康二
悪性脳腫瘍患者に対するがん研有明病院での
advance care planning (ACP) の取り組み .
第 2 回脳腫瘍支持療法研究学術集会：東京，
2024，[ポスター発表]
26. 清水多嘉子
障害を負ってもストーマになっても夢や目的は
変わらない！
第 55 回東京ストーマリハビリテーション研究
会：東京，2024，[司会]
27. 高橋絵里，橋本夏生
ロボット支援下手術でのアームによる皮膚損傷
を起こさないための取り組み .

第 38 回日本手術看護学会年次大会：札幌市，
2024，[ポスター発表]

28. 稲見摩紀子，濱口恵子，床知恵子，鈴木美智子，
長崎礼子，中村美穂，井上杏奈，谷口愉香，片
岡明美，小野麻紀子，田近忍，宮城八重子，厚
坊浩史，高野利実，渡邊雅之
「患者が大切にしている家族等の診察同席」に
関する職員の意識調査 .
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，
2024，[シンポジウム]
29. 堀田真弓
喉頭摘出後の気管食道シャント造設術、音声・
呼吸器・嗅覚リハビリテーションの実際 .
第 75 回日本気管食道学会総会ならびに学術講
演会：仙台市，2024，[ハンズオンセミナー]
30. 上間美夕紀
事例から学ぶがんゲノム医療に必要な看護と体
制について .
日本がん看護学会 地方分科会 4 地区 / 誰で
もわかるがんゲノム医療と看護 .: Web 開催，
2024，[事例提供]
31. 羽田忍
事例から学ぶがんゲノム医療に必要な看護と体
制について .
日本がん看護学会 地方分科会 4 地区 / 誰で
もわかるがんゲノム医療と看護 .: Web 開催，
2024，[司会]
32. 長崎礼子
事例から学ぶがんゲノム医療に必要な看護と体
制について .
日本がん看護学会 地方分科会 4 地区 / 誰で
もわかるがんゲノム医療と看護 .: Web 開催，
2024，[司会]
33. 中山章子，和住淑子，高木夏恵，鈴木美智子，
稲城陽子
患者の力を前提とした看護師の自律的判断に基
づき医療安全策を考えられるスタッフ育成の取
組みの検討 .
第 44 回日本看護科学学会学術集会：熊本市，
2024，[口述発表]

【薬剤部】

1. Yokokawa, T., Tsuji, D., Hatori, M., Suzuki, K., Kawakami, K., Nakao, M., Yano, T., Arakawa, Y., Matsuo, K., Ohashi, Y., Ozaka, M., Sasahira, N., Sakata, Y., Kogure, Y., Tamaki, S., Wada, A., Taki, Y., Ishii, H., Itoh, K., Yamaguchi, K.
Pharmacogenomic study of gemcitabine on the safety and efficacy in patients with metastatic pancreatic cancer (GENESELECT study) : analysis of a subpopulation.
ASCO GI Cancer Symposium San Francisco, CA, USA, 2024, [ポスター発表]
2. 横川貴志
『臨床』研究者への道しるべ：挑戦と挫折こそが研究スキルを向上させる。
関信地区国立病院薬剤師会令和5年度第5回臨床研究推進研修会：東京，2024，[研修会講演]
3. 川上和宜，安武夫
がん治療における薬剤師の貢献とその評価：医療、臨床研究、教育という視点で。
日本薬学会第144年会：横浜市，2024，[司会]
4. 橋本幸輝
医師・薬剤師間でのプロトコールに基づく薬物治療管理（PBPM）で始める一歩進んだ周術期の持参薬管理：タスクシフトから考えるがん治療への貢献。
日本薬学会第144年会：横浜市，2024，[シンポジウム]
5. 中村匡志
実臨床におけるCIPNを考える。
第13回日本臨床腫瘍薬学会学術大会：神戸市，2024，[シンポジウム]
6. 中村匡志，根本真記，清水久範，青山剛，磯松華，小島萌葉，蓮見萌，平出誠，鈴木賢一，佐野元彦，山口正和，山本豊
抗がん薬治療前方評価を用いた複数がん種における緊急入院発生率調査：胃がん、膵がん、乳がんでの相違。
第13回日本臨床腫瘍薬学会学術大会：神戸市，2024，[口述発表]
7. 副島梓，橋本幸輝，川上和宜，鈴木亘，青山剛，阿江啓介，山口正和
若年悪性骨軟部腫瘍患者におけるシスプラチン投与後の悪心・嘔吐発現に関する調査研究。
第13回日本臨床腫瘍薬学会学術大会：神戸市，2024，[口述発表]
8. 小林一男
みんなどうやってるの？抗がん薬における職業性曝露対策：バタフライ・エフェクトで院内の曝露対策を飛躍的に推進させる。
第13回日本臨床腫瘍薬学会学術大会：神戸市，2024，[座長]
9. 小林一男
若手薬剤師の飛躍！戦略的後進育成と次世代がん医療への貢献。
第13回日本臨床腫瘍薬学会学術大会：神戸市，2024，[座長]
10. 山端悠介，橋本幸輝，小林一男，平岡知子，米山美里，川上和宜，井上有香，上野貴之，矢野智之，山口正和
薬剤師によるプロトコールに基づいた持参薬処方代行に関する医師・看護師のアンケート評価。
第13回日本臨床腫瘍薬学会学術大会：神戸市，2024，[ポスター発表]
11. 松井礼子，川上和宜，高橋郷，川崎敏克，山口正和，遠藤一司，近藤直樹
医師を対象とした薬剤師の診察前の患者対応に対する有用性の調査。
第13回日本臨床腫瘍薬学会学術大会：神戸市，2024，[ポスター発表]
12. 清水久範
BD® HD チェックシステムを用いた定期的な環境モニタリングの有用性への示唆。
第13回日本臨床腫瘍薬学会学術大会：神戸市，2024，[ランチョンセミナー]
13. 清水久範
がん治療専門施設としての抗がん薬曝露対策に向けて。
第13回日本臨床腫瘍薬学会学術大会：神戸市，2024，[シンポジウム]

14. 清水久範, 野々宮悠真, 大塚優芽, 谷口愉香, 石渡幸則, 岩崎雄介, 平出誠, 鈴木賢一, 山口正和
抗がん薬除染効果を期待した強酸性電解水を用いた調製作業環境の新たな清掃法の開発.
第 13 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会: 神戸市, 2024, [ポスター発表]
15. 清水久範, 橋本幸輝
高齢者がん薬物治療におけるクリニカルクエスチョン.
第 13 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会: 神戸市, 2024, [座長]
16. 清水久範
高齢者がん薬物治療をとりまく問題点 (制度、医療経済の視点から).
第 13 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会: 神戸市, 2024, [シンポジウム]
17. 青山剛
病院薬剤師として多職種、多施設との連携により実施できた研究.
第 17 回日本緩和医療薬学会年会: 東京, 2024, [口述発表]
18. 中野泰寛
がん専門病院の取り組み.
第 16 回日本がん薬剤学会 (JSOPP) 学術大会: 東京, 2024, [シンポジウム]
19. 中野泰寛
薬剤師教育の現状と今後の展望、我々は後進をどう育て繋いでいくのか?
第 16 回日本がん薬剤学会 (JSOPP) 学術大会: 東京, 2024, [座長]
20. 山口正和
つながる心、広がる未来、多様性が切り開く JSOPP の新展開.
第 16 回日本がん薬剤学会 (JSOPP) 学術大会: 東京, 2024, [会長講演]
21. 山口正和
東京都がん薬物療法協議会・3 団体合同から編み出す “東京モデル” の将来.
- 第 16 回日本がん薬剤学会 (JSOPP) 学術大会: 東京, 2024, [講演]
22. 川上和宜
みんなで取り組もう!! がん薬剤師外来.
第 16 回日本がん薬剤学会 (JSOPP) 学術大会: 東京, 2024, [座長]
23. 川上和宜
みんなで取り組もう!! がん薬剤師外来.
第 16 回日本がん薬剤学会 (JSOPP) 学術大会: 東京, 2024, [シンポジウム]
24. 木村優花, 川上和宜, 中村匡志, 横川貴志, 小林一男, 青山剛, 鈴木亘, 清水久範, 羽鳥正浩, 平出誠, 鈴木賢一, 高張大亮, 山口研成, 山口正和
胃がん術後ドセタキセル+S-1 療法における S-1 の残薬評価.
第 16 回日本がん薬剤学会 (JSOPP) 学術大会: 東京, 2024, [ポスター発表]
25. 横川貴志
真価が問われる薬剤師外来: 多様化するがん薬物療法への対応.
第 16 回日本がん薬剤学会 (JSOPP) 学術大会: 東京, 2024, [シンポジウム]
26. 河野慎吾, 横川貴志, 中村匡志, 木村俊哉, 川上和宜, 小林一男, 副島梓, 橋本幸輝, 前勇太郎, 舘合慶一, 清水久範, 山口正和
カペシタビン+オキサリプラチン併用療法における初回指導動画ツールを用いた服薬指導業務の効率化の検討.
第 16 回日本がん薬剤学会 (JSOPP) 学術大会: 東京, 2024, [ポスター発表]
27. 清水久範
Personal Health Record 組み込みトレーニングレポートの取組に向けて.
第 16 回日本がん薬剤学会 (JSOPP) 学術大会: 東京, 2024, [座長]
28. 清水久範
多様性時代に挑む! 薬局薬剤師が切り拓くがん治療の新たな安全管理.

- 第 16 回日本がん薬剤学会 (JSOPP) 学術大会 :
東京, 2024, [座長]
29. 瀧口友美
令和 6 年度第 1 回東京都がん薬物療法協議会 :
3 団体合同研修会 : がん領域における広域地区
情報連携 .
第 16 回日本がん薬剤学会 (JSOPP) 学術大会 :
東京, 2024, [総司会]
30. 越智美月, 野々宮悠真, 小林一男, 青山剛, 山
口正和
スピルキット使用実態調査から曝露対策を考え
る .
第 16 回日本がん薬剤学会 (JSOPP) 学術大会 :
東京, 2024, [ポスター発表]
31. 青山剛
職場のエンゲージメント向上について考えよ
う .
第 16 回日本がん薬剤学会 (JSOPP) 学術大会 :
東京, 2024, [司会]
32. 青山剛
薬剤師が取り組む irAE マネジメント .
第 16 回日本がん薬剤学会 (JSOPP) 学術大会 :
東京, 2024, [座長]
33. 高野有紀, 小林一男, 副島梓, 川上和宜, 前勇
太郎, 横川貴志, 橋本幸輝, 舘合慶一, 清水久
範, 小野塚駿, 櫻畑知広, 古澤亜利耶, 河合明
希子, 山口正和
テンプレート導入によるハイリスク薬算定件数
向上の成果報告 .
第 16 回日本がん薬剤学会 (JSOPP) 学術大会 :
東京, 2024, [ポスター発表]
34. 羽鳥正浩
勤務表自動作成クラウドサービス導入後の時間
外業務軽減効果 .
第 26 回日本医療マネジメント学会学術総会 :
福岡市, 2024, [ポスター発表]
35. 小林一男
肝・胆・膵がんにおける薬学的な介入 .
日本臨床腫瘍薬学会ブラッシュアップセミナー
2024: Web 配信, 2024, [シンポジウム]
36. 小林一男
病院の薬剤師外来における抗がん薬などの副作
用としての高血圧管理 .
第 7 回日本病院薬剤師会 Future Pharmacist
Forum: Web 配信, 2024, [シンポジウム]
37. 山口正和
がん領域をはじめ様々な分野での薬薬連携につ
いて .
第 26 回日本医薬品情報学会総会・学術大会 :
千葉市, 2024, [講演]
38. 三木真梨杏, 橋本幸輝, 小林一男, 伊藤和之,
川村舞雪, 川上和宜, 秋吉高志, 山口正和
薬剤師によるプロトコールに基づいた持参薬処
方代行に関する医師・看護師のアンケート評価 .
日本病院薬剤師会関東ブロック第 54 回学術大
会 : さいたま市, 2024, [ポスター発表]
39. 大塚優芽, 清水久範, 野々宮悠真, 羽鳥正浩,
鈴木莉羅, 河野慎吾, 岩崎雄介, 平出誠, 山口
正和
ドキシソルビシンを対象とした電解水の物質除去
効果について .
日本病院薬剤師会関東ブロック第 54 回学術大
会 : さいたま市, 2024, [ポスター発表]
40. 野々宮悠真, 中島勇魚, 山口航輝, 横山雄太,
原龍星, 竹花和美, 中村智徳, 辻英貴, 山口正
和
0.04% マイトマイシン C 点眼液の保存条件に
対する検討 .
第 41 回日本眼腫瘍学会 : 東京, 2024, [口述
発表]
41. Kobayashi, K.
Current status and future prospects of oc-
cupational exposure control for cytotoxic
drugs in each country.
Asia Pacific Oncology Pharmacy Congress
2024: 東京, 2024, [オーガナイザー・座長]
42. Kobayashi, K.
Latest occupational exposure prevention
measures and technological innovations in
Japan.

43. 清水久範
医療現場の無菌操作区域における電解水の有効利用 .
第 22 回日本機能水学会学術大会 : 東京, 2024, [講演]
44. 前勇太郎
当院の取り組みと今後の展望 .
第 34 回日本医療薬学会年会 : 千葉市, 2024, [シンポジウム]
45. 小林一男
プレアボイド報告による薬学の進化 : 未来医療における薬剤師の新たな挑戦 .
第 34 回日本医療薬学会年会 : 千葉市, 2024, [オーガナイザー・座長]
46. 小林一男, 長谷川佳孝, 清水久範, 月岡良太, 辻将成, 鈴木賢一, 市村丈典, 中野泰寛, 山口俊司, 大山実, 山口正和
在宅医療におけるウェアラブルデバイス導入に関する薬剤師の意識調査 .
第 34 回日本医療薬学会年会 : 千葉市, 2024, [ポスター発表]
47. 山口正和
がん薬物療法 (多職種連携) .
第 34 回日本医療薬学会年会 : 千葉市, 2024, [座長]
48. 川上和宜
がん薬物療法 (他の副作用対策) 6.
第 34 回日本医療薬学会年会 : 千葉市, 2024, [座長]
49. 木村俊哉, 羽鳥正浩, 福岡聖大, 川上和宜, 橋本幸輝, 小林一男, 山口研成, 山口正和
フルオロウラシル+シスプラチン療法施行食道癌患者における 3 剤併用制吐療法の糖尿病既往有無による有効性比較検討 .
第 34 回日本医療薬学会年会 : 千葉市, 2024, [ポスター発表]

50. 横川貴志
制吐療法の個別化を目指した悪心嘔吐リスク因子の同定 : PATROL 試験の付随研究 .
第 34 回日本医療薬学会年会 : 千葉市, 2024, [シンポジウム]
51. 横川貴志
制吐薬の臨床試験から学ぶ研究デザインの考え方・創り方 .
第 34 回日本医療薬学会年会 : 千葉市, 2024, [座長]
52. 野々宮悠真, 中村匡志, 山口正和
新人薬剤師を対象とした新たな研修講義導入の効果 .
第 34 回日本医療薬学会年会 : 千葉市, 2024, [ポスター発表]
53. 青山剛
制吐療法の未来展望 : 改定ガイドライン、新規エビデンス、未解決課題の研究と患者報告アウトカムの視点から .
第 34 回日本医療薬学会年会 : 千葉市, 2024, [オーガナイザー・座長]

【栄養管理部】

1. 松下亜由子, 佐藤崇文, 柄島美咲, 山根有貴, 古田桃子, 守屋直紀, 石井美鈴, 稲用ゆうか, 榎田滋穂, 伊丹優貴子, 中屋恵梨香, 高木久美, 斎野容子, 岡村明彦, 高橋祐
臍頭十二指腸切除術後食事スケジュール変更の安全性評価 .
第 27 回日本病態栄養学会年次学術集会 : 京都市, 2024, [口述発表]
2. 稲用ゆうか, 松下亜由子, 高木久美, 坂本莉菜, 奥沢歩未, 高橋幸亜, 松崎凜子, 柄島美咲, 山根有貴, 古田桃子, 守屋直紀, 石井美鈴, 榎田滋穂, 伊丹優貴子, 中屋恵梨香, 斎野容子, 岡村明彦, 佐藤崇文
高齢者機能評価 G8 に基づく栄養介入がもたらす栄養状態の変化 .
第 27 回日本病態栄養学会年次学術集会 : 京都市, 2024, [口述発表]

3. 高木久美, 吉宮瑞穂, 伊丹優貴子, 稲用ゆうか, 古田桃子, 守屋直紀, 石井美鈴, 榎田滋穂, 中屋恵梨香, 松下亜由子, 斎野容子, 岡村明彦, 佐藤崇文
Mini-cog による認知機能評価と栄養士による栄養評価の関連.
第 27 回日本病態栄養学会年次学術集会: 京都市, 2024, [口述発表]
4. 高木久美, 伊丹優貴子, 稲用ゆうか, 古田桃子, 守屋直紀, 石井美鈴, 榎田滋穂, 中屋恵梨香, 松下亜由子, 川名加織, 斎野容子, 岡村明彦, 佐藤崇文
Geriatric 8 における高齢者機能評価と栄養士による栄養評価の関連の検討.
第 39 回日本臨床栄養代謝学会学術集会: 横浜市, 2024, [口述発表]
5. 石井美鈴, 松下亜由子, 守屋直紀, 高木久美, 斎野容子, 岡村明彦, 高橋直規, 金森淳, 佐藤崇文, 渡邊雅之
食道がん患者における術前高齢者機能評価と臨床病理学的因子との関連.
第 78 回日本食道学会学術集会: 東京, 2024, [口述発表]
6. 斎野容子
日本における入院栄養管理体制の変遷: GLIM 基準の臨床活用に向けて.
第 46 回日本臨床栄養学会総会 / 第 45 回日本臨床栄養協会総会 / 第 22 回大連合大会: 東京, 2024, [ワークショップ]
7. 斎野容子, 高木久美, 中屋恵梨香, 伊丹優貴子, 榎田滋穂, 稲用ゆうか, 石井美鈴, 守屋直紀, 古田桃子, 山根有貴, 柄島美咲, 松崎凜子, 佐保麻貴, 岡村明彦, 片岡明美
がん患者の栄養管理を考える: 多職種介入における管理栄養士の役割.
第 62 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [企画]
2. 千葉知宏
甲状腺腫瘍の鑑別診断: WHO 分類第 5 版に沿った考え方.
2023 年度第 4 回希少がん病理診断講習会: Web 開催, 2024, [講演]
3. 千葉知宏
甲状腺病理・細胞診のアップデート.
第 54 回多摩細胞診研究会: 川崎市, 2024, [講演]
4. 千葉知宏
甲状腺の細胞診.
第 42 回埼玉県臨床細胞学会・埼玉県臨床細胞医会学術集会: さいたま市, 2024, [講演]
5. 千葉知宏, 井上典仁
甲状腺分化型高異型度癌の 4 例.
第 36 回日本内分泌外科学会総会: 久留米市, 2024, [パネルディスカッション]
6. 千葉知宏
甲状腺未分化癌研究コンソーシアム.
第 36 回日本内分泌外科学会総会: 久留米市, 2024, [エキスパートパネル]
7. 千葉知宏
甲状腺腫瘍の形態と遺伝子異常: 細胞診で重要なこと.
第 63 回東京都細胞検査士会学術研修会: 東京, 2024, [講演]
8. 伊藤崇彦, 二宮浩範, 山田麻里沙, 山崎奈緒子, 池畑浩一, 藤山淳三, 阿部仁, 柳谷典子, 宝来威, 千葉知宏
胸水で中皮腫・肺癌との鑑別に苦慮した Calretinin 陽性腫瘍の 1 例.
第 65 回日本臨床細胞学会総会春期大会: 大阪市, 2024, [ポスター発表]
9. 千葉知宏
唾液腺 P1.
第 65 回日本臨床細胞学会総会春期大会: 大阪市, 2024, [座長]

【細胞診断部】

1. 千葉知宏
甲状腺腫瘍とゲノム異常.
第 15 回神戸甲状腺診断セミナー: 神戸市, 2024, [講演]

10. 山崎奈緒子, 池畑浩一, 佐直映理, 伊藤崇彦, 山田麻里沙, 藤山淳三, 阿部仁, 千葉知宏
乳頭癌の核所見と鑑別病変.
第 65 回日本臨床細胞学会総会春期大会: 大阪市, 2024, [シンポジウム]
11. 池畑浩一, 山下享子, 伊藤崇彦, 山崎奈緒子, 山田麻里沙, 阿部仁, 植野映子, 松本誠一, 阿江啓介, 千葉知宏
軟骨成分が悪性転化をきたした皮膚付属器混合腫瘍の一例.
第 65 回日本臨床細胞学会総会春期大会: 大阪市, 2024, [ポスター発表]
12. 阿部仁
HPV 検査単独法導入における細胞検査士のあり方について考える.
第 65 回日本臨床細胞学会総会春期大会: 大阪市, 2024, [シンポジウム]
13. 千葉知宏
2. 甲状腺病変.
第 110 回日本病理組織技術学会: 東京 +Web 開催, 2024, [講演]
14. 阿部仁
1.PAM 染色について.
第 110 回日本病理組織技術学会: 東京 +Web 開催, 2024, [講演]
15. 千葉知宏, 杉山裕子, 池畑浩一, 山崎奈緒子, 山田麻里沙, 伊藤崇彦, 石井脩平, 阿部仁
甲状腺腫瘍におけるデジタル化、AI 開発の現状.
第 38 回関東臨床細胞学会学術集会 /2024 年度 千葉県臨床細胞学会学術集会: 千葉市, 2024, [シンポジウム]
16. 池畑浩一
乳腺.
第 38 回関東臨床細胞学会学術集会 /2024 年度 千葉県臨床細胞学会学術集会: 千葉市, 2024, [スライドカンファレンス]
17. 千葉知宏, 福田直樹, 戸田和寿, 井上典仁, 山崎奈緒子, 池畑浩一, 山田麻里沙, 伊藤崇彦, 阿部仁
ダブラフェニブ・トラメチニブ併用療後に腫瘍切除された甲状腺未分化癌の一例.
第 28 回日本臨床内分泌病理学会学術総会: 長崎市, 2024, [シンポジウム]
18. 千葉知宏
甲状腺・睪.
第 28 回日本臨床内分泌病理学会学術総会: 長崎市, 2024, [座長]
19. 伊藤崇彦, 山下享子, 石井脩平, 山田麻里沙, 山崎奈緒子, 池畑浩一, 阿江啓介, 松本誠一, 阿部仁, 千葉知宏
Angiofibroma of soft tissue の細胞学的特徴.
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会: 千葉市, 2024, [ポスター発表]
20. 伊藤崇彦
その他 3.
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会: 千葉市, 2024, [座長]
21. 千葉知宏, 山崎奈緒子, 池畑浩一, 山田麻里沙, 伊藤崇彦, 佐直映理, 城本空輝, 阿部仁
甲状腺癌取扱い規約第 9 版と細胞診検体を用いた遺伝学的検査.
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会: 千葉市, 2024, [ワークショップ]
22. 千葉知宏, 池畑浩一, 山田麻里沙, 山崎奈緒子, 伊藤崇彦, 佐直映理, 城本空輝, 安住未紀, 佐藤由紀子, 阿部仁
細胞検査士の教育: 細胞検査士養成機関として.
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会: 千葉市, 2024, [シンポジウム]
23. 千葉知宏
脳腫瘍.
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会: 千葉市, 2024, [座長]
24. 山崎奈緒子
甲状腺 2.
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会: 千葉市, 2024, [座長]

25. 山崎奈緒子
甲状腺 .
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会：千葉市，
2024, [座長]
26. 山田麻里沙，佐藤由紀子，池畑浩一，山崎奈緒子，伊藤崇彦，佐直映理，城本空輝，安住未紀，阿部仁，千葉知宏
がん専門病院における術中迅速細胞診の運用と精度管理について .
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会：千葉市，
2024, [ワークショップ]
27. 池畑浩一，佐藤由紀子，森園英智，坂井威彦，柳谷典子，伊藤崇彦，山崎奈緒子，山田麻里沙，阿部仁，千葉知宏
不適正検体改善のための工夫 .
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会：千葉市，
2024, [ワークショップ]
28. 阿部仁
ISO 15189:2022 発行に伴う病理・細胞診検査室認定の移行 .
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会：千葉市，
2024, [座長]
29. 阿部仁，池畑浩一，山田麻里沙，山崎奈緒子，伊藤崇彦，佐直映理，城本空輝，安住未紀，佐藤由紀子，千葉知宏
細胞検査士養成機関の立場から .
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会：千葉市，
2024, [口述発表]
30. 千葉知宏
総合的に考える甲状腺細胞診 .
第 75 回栃木県臨床細胞学会学術集会：下都賀郡，2024, [講演]
31. 佐直映理，池畑浩一，山崎奈緒子，山田麻里沙，伊藤崇彦，城本空輝，阿部仁
細胞診検査業務におけるインシデント・アクシデントレポートの分析 .
第 19 回東京都医学検査学会：東京，2024, [口述発表]

【健診センター】

1. 上田和彦
セミナーのモチーフ .
第 30 回肝血流動態機能イメージ研究会：Web
開催，2024, [イントロダクション]
2. 上田和彦
画像上の肝小葉 .
第 30 回肝血流動態機能イメージ研究会：Web
開催，2024, [セミナー]
3. 宇津木久仁子
医療者と共に考えたい、患者からの SOS !
第 7 回日本リンパ浮腫学会総会：川越市，
2024, [座長]
4. 宇津木久仁子
臨床研究と患者・市民参画（PPI） .
第 7 回日本リンパ浮腫学会総会：川越市，
2024, [シンポジスト]
5. 上田和彦
医療の質：診断（必須）：医療の質：診断 .
第 83 回日本医学放射線学会総会：横浜市，
2024, [座長]
6. 藤崎順子
胃：治療 .
第 107 回日本消化器内視鏡学会総会：東京，
2024, [座長]
7. 藤崎順子
Helicobacter pylori 陰性胃癌を熟知する .
日本消化器病学会関東支部第 44 回教育講演会：WEB 開催，2024, [講師]
8. 宇津木久仁子
当院におけるリンパ浮腫チーム医療 .
第 48 回日本リンパ学会総会：仙台市，2024,
[シンポジウム]
9. 藤崎順子
JGES-Kanto Cup.
第 118 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京，2024, [評価者]

10. 内田靖子, 藤崎順子, 清水貴子, 春木聡美, 窪田素子, 恵木容子, 御子柴幸, 中嶋由樹, 素川沙矢香, 宇津木久仁子
内視鏡検査鎮静薬としてのレミマゾラムの安全性と有効性の検討.
第 65 回日本人間ドック・予防医療学会学術大会: 横浜市, 2024, [口述発表]
11. 宇津木久仁子
増えている子宮体がん: あなたは大丈夫?
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会: 千葉市, 2024, [座長]
12. 藤崎順子
十二指腸・小腸腫瘍に対する安全な切除法: 内視鏡治療から LECS まで.
第 119 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2024, [総括発言]
13. 齋藤格, 藤崎順子, 中島寛隆
上部消化管内視鏡の鎮静薬としてのレミマゾラムの有用性と安全性に関する検討.
第 119 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2024, [主題]

【先進がん治療開発センター】

1. 石崎秀信
ライフサイエンスのエコシステム形成に向けた実践的ディスカッション.
日本政策投資銀行設備投資研究所フリーストーキング: 東京, 2024, [ディスカッサント]
2. 樽野弘之
精神科領域におけるアカデミア主導の DCT 推進の取り組み.
日本臨床試験学会シンポジウム: 日本における DCT (分散型臨床試験) 推進の課題と方向性を考える: 東京 + Web 開催, 2024, [座長]
3. 樽野弘之
欧米企業への DCT 実施に関するインタビュー及び DCT に対する公益財団法人がん研究会有明病院の現状.
東京理科大学薬学部医療薬学教育研究センター: 東京, 2024, [講演]
4. 樽野弘之
新倫理指針及び学会発表に関する研修.
一宮市立病院: 一宮市, 2024, [講演]
5. 樽野弘之, 宋菜緒子
第 11 回がん専門 CRC のためのアドバンスセミナー.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 名古屋市, 2024, [司会]
6. 浅井洋
次世代医療基盤法の改正と活用における今後の展望.
名古屋大学大学院臨床教育学セミナー: 名古屋市, 2024, [講演]
7. 井添由香子, 栗原望, 澤木香代, 松井美子, 平井友紀子, 大野るみ子, 神戸萌, 安藤聡美, 布部創也, 松井亮太, 山口研成, 石崎秀信
電磁的患者報告アウトカム (ePRO) 実装に向けた問題点の検討.
日本臨床試験学会第 15 回学術集会総会: 大阪市 + Web 開催, 2024, [ポスター発表]
8. 樽野弘之
次世代医療基盤法の概要とそのポイント.
日本臨床試験学会第 15 回学術集会総会: 大阪市 + Web 開催, 2024, [講演]
9. 樽野弘之
臨床研究専門職にとっての検定・認定の意義を考える.
日本臨床試験学会第 15 回学術集会総会: 大阪市 + Web 開催, 2024, [座長]
10. 浅井洋
改正次世代医療基盤法と今後の展望.
日本臨床試験学会第 15 回学術集会総会: 大阪市 + Web 開催, 2024, [講演]
11. 浅井洋, 樽野弘之
次世代医療基盤法 TF 第 2 期の特別委員会の活動内容と今後の取り組み.
日本臨床試験学会第 15 回学術集会総会: 大阪市 + Web 開催, 2024, [ポスター発表]

12. 小出恵子
医学系研究と医療データ保護法制を考える！：正しい理解で臨床研究に対応するために。
日本臨床試験学会教育セミナー：東京 +Web 開催，2024，[座長]
13. 芳賀洋子
アカデミア医療機関で働く CRC の仕事。
東京理科大学薬学部キャリア学習：千葉，2024，[講演]
14. 芳賀洋子
スタートアップ タイムライン短縮、効率化の意義・価値とは。
第 12 回 DIA クリニカルオペレーション・モニタリングワークショップ：東京，2024，[パネリスト]
15. 小出恵子
第 10 回倫理審査委員会を考える！：医学系研究における医療情報の二次利用の留意点。
日本臨床試験学会教育セミナー：東京 +Web 開催，2024，[座長]
16. 尾阪将人
ICI 時代の胆道癌薬物療法：Evidence と Best Practice。
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024，[講演]
17. 浅井洋
エビデンスジェネレーションのあるべき姿とは。
医薬品企業法務研究会：東京，2024，[講演]

【皮膚腫瘍科】

1. 吉野公二
乳房外パジェット。
2023 年度日本皮膚科学会研修講習会 / 選択(冬)：東京，2024，[講演]
2. 西澤綾，篠崎英司，若槻尊，佐藤貴浩，山崎直也，小山田隼佑，有吉恵介，木原康太，坪井正博，山口研成
レゴラフェニブによって生じる手足症候群 (HFSR) に対する塩化アルミニウムの発症予防効果の有効性：単群非ランダム化観察試験。

第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024，[口述発表]

3. 松崎友里江，芝原与喜，鈴木魁杜，上原治朗，北野滋久，後藤啓介，河内洋，吉野公二
骨髄癌腫症を呈した乳房外 paget 病の 1 例。
第 911 回日本皮膚科学会東京地方会城東地区：Web 開催，2024，[一般演題]
4. 上原治朗，松崎友里江，吉村有彩，豊島梨乃，後藤啓介，河内洋，北野滋久，吉野公二
血管肉腫における予後予測因子として血小板減少の検討。
第 123 回日本皮膚科学会総会：京都市 +Web 開催，2024，[一般演題 / ポスター演題]
5. 吉野公二
乳房外パジェット病。
第 123 回日本皮膚科学会総会：京都市 +Web 開催，2024，[教育講演]
6. 吉野公二
治療ゴールを見据えた進行期 BRAF 陽性メラノーマの薬剤選択：エビデンスと使用経験から。
第 123 回日本皮膚科学会総会：京都市 +Web 開催，2024，[ランチョンセミナー]
7. 芝原与喜，鈴木魁杜，松崎友里江，上原治朗，甲津卓実，向井俊貴，後藤啓介，河内洋，北野滋久，吉野公二
小腸転移で発見された前頭部血管肉腫の 1 例。
第 912 回日本皮膚科学会東京地方会合同臨床地方会：東京，2024，[発表形式不明]
8. 吉野公二
進行期メラノーマにおける薬物療法。
第 76 回日本皮膚科学会西部支部学術大会：徳島市，2024，[シンポジウム]
9. 吉野公二
これまでも、これからも：がん免疫療法のさらなるがん治療への貢献。
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024，[パネルディスカッション]

10. 松崎友里江, 芝原与喜, 鈴木魁杜, 上原治朗, 北野滋久, 後藤啓介, 河内洋, 吉野公二
BRAF/MEK 阻害薬治療中に Vogt- 小柳 - 原田病に類似したぶどう膜炎を発症した左腋窩悪性黒色腫の 1 例。
第 75 回日本皮膚科学会中部支部学術大会: 名古屋市, 2024, [一般演題]
 11. 芝原与喜, 鈴木魁杜, 松崎友里江, 上原治朗, 後藤啓介, 河内洋, 北野滋久, 吉野公二
右踵部悪性黒色腫切除 11 年後に再建皮弁内に再発した悪性黒色腫の 1 例。
第 75 回日本皮膚科学会中部支部学術大会: 名古屋市, 2024, [一般演題]
 12. 鈴木魁杜, 芝原与喜, 松崎友里江, 上原治朗, 北野滋久, 後藤啓介, 河内洋, 吉野公二
ニボルマブ + イピリムマブ併用療法により無症候性アミラーゼ / リパーゼ血症を来した膝窩メラノーマの 1 例。
第 75 回日本皮膚科学会中部支部学術大会: 名古屋市, 2024, [一般演題]
 13. 松崎友里江, 芝原与喜, 鈴木魁杜, 上原治朗, 北野滋久, 後藤啓介, 河内洋, 吉野公二
ニボルマブで奏効を得た転移性基底細胞癌の 1 例。
第 913 回日本皮膚科学会東京地方会 城東地区: Web 開催, 2024, [一般演題]
 14. 鈴木魁杜, 芝原与喜, 松崎友里江, 上原治朗, 北野滋久, 後藤啓介, 河内洋, 吉野公二
irAE 筋炎を来した sweat-gland carcinoma with neuroendocrine differentiation の 1 例。
第 913 回日本皮膚科学会東京地方会 城東地区: Web 開催, 2024, [一般演題]
 15. 上原治朗, 芝原与喜, 鈴木魁杜, 松崎友里江, 後藤啓介, 河内洋, 北野滋久, 吉野公二
インターフェロンβ投与終了後に再発・転移をきたした悪性黒色腫の 4 例。
第 88 回日本皮膚科学会東京支部学術大会: 東京, 2024, [一般演題]
 16. 松崎友里江, 芝原与喜, 鈴木魁杜, 上原治朗, 北野滋久, 後藤啓介, 河内洋, 吉野公二
原発不明メラノーマに対し免疫チェックポイント阻害薬投与中に原発巣と思わせる皮膚病変が踵に生じた 1 例。
第 88 回日本皮膚科学会東京支部学術大会: 東京, 2024, [一般演題]
 17. 芝原与喜, 鈴木魁杜, 松崎友里江, 上原治朗, 後藤啓介, 河内洋, 北野滋久, 吉野公二
骨転移に対してドセタキセルとデノスマブで病勢制御し得た腋窩アポクリン腺癌の 1 例。
第 88 回日本皮膚科学会東京支部学術大会: 東京, 2024, [一般演題]
 18. 鈴木魁杜, 芝原与喜, 松崎友里江, 上原治朗, 後藤啓介, 河内洋, 北野滋久, 吉野公二
切除困難な左側頭部有棘細胞癌に対し化学放射線療法が有効であった 1 例。
第 88 回日本皮膚科学会東京支部学術大会: 東京, 2024, [一般演題]
 19. 鈴木魁杜, 芝原与喜, 松崎友里江, 上原治朗, 後藤啓介, 河内洋, 北野滋久, 吉野公二
遺伝子パネル検査により BRAF 変異が検出されたメラノーマの 1 例。
第 88 回日本皮膚科学会東京支部学術大会: 東京, 2024, [一般演題]
 20. 芝原与喜, 鈴木魁杜, 松崎友里江, 上原治朗, 後藤啓介, 河内洋, 北野滋久, 吉野公二
ニボルマブ投与後 irAE 筋炎, 眼筋型重症筋無力症を併発した転移性有棘細胞癌の 1 例。
第 914 回日本皮膚科学会東京地方会 城東地区: Web 開催, 2024, [一般演題]
- 【先端医療開発科】**
1. 久野真弘, 宮脇英里子, 宮本一平, 福岡聖大, 尾崎由記範, 温泉川真由, 小野麻紀子, 古川孝広, 高橋俊二, 上野貴之, 北野滋久
単施設研究: 第 I 相試験の奏効率に関する後方視的検討。
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 名古屋市, 2024, [口述発表]
 2. 宮脇英里子, 宮本一平, 古川孝広, 尾崎由記範, 福岡聖大, 小野麻紀子, 温泉川真由, 篠崎英司, 尾阪将人, 福田直樹, 高橋俊二, 上野貴之, 北野滋久

- 早期薬剤開発を専門的に行う診療科における第 I 相試験に組み入れられる患者背景についての検討。
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024，[ポスター発表]
3. 小野麻紀子，厚井裕三子
TR・臨床薬理 3（橋渡し研究（バイオマーカー研究、効果予測含））。
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024，[司会]
 4. 小野麻紀子，長崎礼子，中村美穂，濱口恵子，横井麻珠美，松浦信子，宇津木久仁子，片岡明美，高野利実
アピアランスケアニーズ把握のためのアンケート調査。
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024，[ポスター発表]
 5. 尾崎由記範
乳癌の MRD 検出を目的とした ctDNA の開発。
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024，[シンポジウム]
 6. 尾崎遥，宮脇英里子，宮本一平，福岡聖大，尾崎由記範，小野麻紀子，温泉川真由，高橋俊二，上野貴之，古川孝広，北野滋久
第 I 相試験においてスクリーニング不適格、脱落となる患者の背景因子の探索。
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024，[口述発表]
 7. 戸田恵有沙，宮本一平，古川孝広，宮脇英理子，尾崎由記範，福岡聖大，小野麻紀子，温泉川真由，上野貴之，高橋俊二，北野滋久
当科における希少がん患者の第 I 相試験実態調査。
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市，2024，[口述発表]
 8. 北野滋久
泌尿器腫瘍におけるがん免疫療法：基礎から応用まで。
第 111 回日本泌尿器科学会総会：横浜市，2024，[ランチョンセミナー]
 9. 古川孝広
Year in review 化学療法誘発性末梢神経障害。
第 9 回日本がんサポーターティブケア学会学術集会：さいたま市，2024，[口述発表]
 10. 古川孝広
神経障害。
第 9 回日本がんサポーターティブケア学会学術集会：さいたま市，2024，[ファシリテーター]
 11. 古川孝広
薬剤開発における支持療法研究の実施。
第 9 回日本がんサポーターティブケア学会学術集会：さいたま市，2024，[座長]
 12. 北野滋久
個別化医療が進む肺がん薬物療法：Driver 変異と免疫学的因子の意義。
第 28 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京，2024，[ランチョンセミナー]
 13. 北野滋久
日本で生まれた薬剤レンバチニブががん治療にもたらしたもの。
第 28 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京，2024，[モデレーター]
 14. 北野滋久
細胞免疫療法の進展。
第 28 回日本がん分子標的治療学会学術集会：東京，2024，[口述発表]
 15. 古川孝広
乳がんにおける新薬開発。
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，2024，[シンポジウム]
 16. 尾崎由記範
転移再発後の薬物療法最前線：HER2 陽性と TNBC。
第 32 回日本乳癌学会学術総会：仙台市，2024，[セッション]
 17. 北野滋久
Oncolytic viral immunotherapy/ 腫瘍溶解性ウイルス免疫療法。

第 83 回日本癌学会学術総会：福岡市，2024，
[座長]

18. 北野滋久
腎細胞がんにおけるがん免疫療法の進歩 /Advances in cancer immunotherapy for renal cell carcinoma.
日本泌尿器腫瘍学会第 10 回学術集会：福岡市，2024，[スポンサーセミナー]
19. 北野滋久
免疫関連有害事象に対する取り組み .
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024，[パネルディスカッション]
20. 北野滋久
泌尿器腫瘍におけるがん免疫療法：基礎から応用まで .
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024，[講演]
21. 宮本一平，在原洋平，黒川加奈，宮脇英里子，福岡聖太，尾崎由記範，小野麻紀子，温泉川真由，古川孝広，高橋俊二，上野貴之，北野滋久
当科早期臨床試験における genotype-matched trials の臨床的意義の検証 .
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024，[一般口演]
22. 小野麻紀子
抗がん剤の薬理学 .
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024，[教育セッション]
23. 尾崎由記範
フランスにおける Gustave Roussy における ESMO/JSCO フェローシップ .
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024，[報告]
24. 尾崎由記範
乳がん周術期 ICI 併用化学療法のエビデンスと FN マネジメントの実際 .
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024，[講演]

25. 尾崎由記範
乳癌薬物療法の基本から最新トピックス .
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024，[シンポジウム]
26. 尾崎由記範
転移・再発トリプルネガティブ乳癌の最新の話題 .
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024，[講演]
27. 上野貴之
リキッドバイオプシーによる乳がん検診の可能性を考える .
第 34 回日本乳癌検診学会学術総会：高崎市，2024，[座長]
28. 尾崎由記範
日本乳腺人工知能研究会と乳腺診療 Dx.
第 34 回日本乳癌検診学会学術総会：高崎市，2024，[シンポジウム]
29. 北野滋久
胃癌における複合がん免疫療法の意義：個別化医療に向けての課題 .
第 35 回日本消化器癌発生学会総会：東京，2024，[ランチョンセミナー]

【先端医療開発科がん早期臨床開発部】

1. Kogawa, T., Yamashita, T., Ishida, T., Yonemori, K., Iwata, H., Shimomura, A., Aogi, K., Inoue, K., Mukohara, T., Nakayama, T., Sakai, H., Kitano, S., Kobayashi, S., Nakada, T., Suzuki, I., Otake, Y., Tsurutani, J.
Phase Ib trial of tasurgratinib (E7090) with or without endocrine therapies for patients (pts) with ER+, HER2 – recurrent/metastatic breast cancer (BC) after receiving a CDK4/6 inhibitor.
ASCO Annual Meeting: Chicago, IL, USA, 2024，[発表形式不明]
2. 古川孝広
Year in review 化学療法誘発性末梢神経障害 .
第 9 回日本がんサポーターティブケア学会学術集会：さいたま市，2024，[口述発表]

3. 宮本一平, 在原洋平, 黒川加奈, 宮脇英里子, 福岡聖太, 尾崎由記範, 小野麻紀子, 温泉川真由, 古川孝広, 高橋俊二, 上野貴之, 北野滋久
当科早期臨床試験における genotype-matched trials の臨床的意義の検証。
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市, 2024, [一般口演]

【先端医療開発科がん免疫治療開発部】

1. 北野滋久, 武田真幸
TR・臨床薬理。
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市, 2024, [司会]
2. 北野滋久
免疫チェックポイント阻害薬。
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市, 2024, [教育講演]
3. 北野滋久
複合がん免疫療法の現状と今後の展望：泌尿器腫瘍を中心に。
第 28 回日本がん免疫学会総会・第 37 回日本バイオセラピー学会学術集会総会合同大会：2024, [シンポジウム]
4. 北野滋久
New precision medicine pioneered by spatial analysis of the bone marrow immune microenvironment in hematological malignancies/ 新製品 Hyperion XTi を使用した骨髄免疫微小環境の空間解析によるプレシジョンメディスンの最先端例。
第 83 回日本癌学会学術総会：福岡市, 2024, [座長]
5. 北野滋久
免疫チェックポイント阻害剤。
第 65 回日本肺癌学会学術集会：横浜市 +Web 配信, 2024, [座長]

【ゲノム診療部】

1. 山崎真澄, 林直美, 深田一平, 王曉斐, 細永真理, 外岡暁子, 竹内賢吾, 森誠一, 高橋俊二
CGP 検査結果に基づく前期と後期の治療到達率の比較について。
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市, 2024, [口述発表]
2. 林直美, 小野麻紀子, 森誠一, 深田一平, 山崎真澄, 細永真理, 王曉斐, 片岡明美, 清谷一馬, 外岡暁子, 植木有紗, 高野利実, 渡邊雅之, 竹内賢吾, 高橋俊二
Utility of comprehensive genomic profiling among AYA cancer patients.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市, 2024, [口述発表]
3. 深田一平, 林直美, 細永真理, 川井沙織, 木澤莉香, 西村明子, 尾崎由記範, 原文堅, 小林隆之, 高野利実, 上野貴之, 山崎真澄, 植木有紗, 清谷一馬, 大迫智, 外岡暁子, 竹内賢吾, 森誠一, 大野真司, 高橋俊二
Prognostic impact of cancer genomic profile testing for metastatic breast cancer in clinical practice.
第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会：名古屋市, 2024, [口述発表]
4. 高橋俊二
VEGFR-TKI 投与中の蛋白尿を考える。
第 111 回日本泌尿器科学会総会：横浜市, 2024, [座長]
5. 林直美
がんゲノム医療ってなに？
第 124 回日本外科学会定期学術集会：常滑市, 2024, [講師]
6. 浦崎哲也, 大木遼佑, 藤原遼, 安田庸輔, 米岡祐輔, 小口智彦, 沼尾昇, 山本真也, 林直美, 山崎真澄, 幅野愛理, 久我亜沙美, 新川裕美, 金子景香, 植木有紗, 深田一平, 湯浅健, 米瀬淳二, 高橋俊二
当施設における泌尿器科領域のがん遺伝子パネル検査の現状について。
第 30 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会：仙台市, 2024, [ポスター発表]

7. 深田一平, 細永真理, 川井沙織, 木澤莉香, 増田淳, 西村明子, 尾崎由記範, 原文堅, 小林隆之, 高野利実, 山崎真澄, 植木有紗, 清谷一馬, 大迫智, 外岡暁子, 竹内賢吾, 森誠一, 上野貴之, 高橋俊二
転移再発乳がん患者におけるがんゲノムプロファイル検査の有用性に関する検討.
第 32 回日本乳癌学会学術総会: 仙台市, 2024, [シンポジウム]
8. 阿部彰子
遺伝性腫瘍・がん 1.
第 48 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会: 東京, 2024, [座長]
9. 浦崎哲也
当院泌尿器科腫瘍症例における包括的がんゲノムプロファイリング検査結果の後方視的検討 / A retrospective analysis of results of comprehensive cancer genome profiling tests in genitourinary tumors at our hospital.
日本泌尿器腫瘍学会第 10 回学術集会: 福岡市, 2024, [ポスター発表]
10. 深田一平
がん遺伝子パネル検査の意義を考える: ゲノム医療の恩恵を届けるために.
第 62 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [講演]
11. 深田一平
今後のがんゲノム医療における診療体制をどう考える?
第 62 回日本癌治療学会学術集会: 福岡市, 2024, [ディスカッション]
12. 林直美
ゲノム医療の一般的な基礎知識: 医師の立場から.
日本がん看護学会 地方分科会 4 地区 / 誰でもわかるがんゲノム医療と看護.: Web 開催, 2024, [講演]
13. 阿部彰子
HBOC 女性における QOL 評価と, 納得尺度・意思決定因子について.

第 10 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会: 東京, 2024, [口述発表]

14. 山崎真澄
がんゲノム医療コーディネーター (CGMC) の役割.
第 45 回日本臨床薬理学会学術総会: さいたま市, 2024, [シンポジウム]

【医療情報部学会】

1. 小口正彦
統合がん臨床データベースと AI 開発.
札幌冬季がんセミナー (第 38 回): 札幌市 +Web 開催, 2024, [講演]
2. 上田和彦
セミナーのモチーフ.
第 30 回肝血流動態機能イメージ研究会: Web 開催, 2024, [イントロダクション]
3. 上田和彦
画像上の肝小葉.
第 30 回肝血流動態機能イメージ研究会: Web 開催, 2024, [セミナー]
4. 鈴木一洋
統合がん臨床データベースによる RWD 集積: 薬物療法問診から患者生活支援ソリューションへ.
第 78 回京大データヘルス研究会: 京都市 +Web 開催, 2024, [口述発表]
5. 阿部真由子, 布施里保, 牧野吉展, 町村知美, 内藤那津子, 甲賀麻友美, 湯浅早貴, 栗城清夏, 川崎健一, 鈴木一洋, 小口正彦
院内がん登録データから見た AYA 世代がん患者の特徴.
日本がん登録協議会第 33 回学術集会: 出雲市, 2024, [ポスター発表]
6. 小口正彦
統合がん臨床データベースと後利用: 医療 DX へ.
第 16 回日本がん薬剤学会 (JSOPP) 学術大会: 東京, 2024, [講演]

7. 鈴木一洋
院内開発データベースシステムを用いた NCD
登録作業の省力化 .
NCD セミナー 2024: 東京, 2024, [講師]
8. 鈴木一洋
Revolutionizing cancer research: telemed-
icine and data infrastructure in the era of
polycrisis.
第 83 回日本癌学会学術総会 : 福岡市, 2024,
[セッション]
9. 小口正彦
新たな常識 : 乳癌温存療法における照射 .
日本放射線腫瘍学会第 37 回学術大会 : 横浜市,
2024, [座長]
10. 栗城清夏, 甲賀麻友美, 鈴木一洋, 高橋輝, 中
村弘希, 川崎健一, 小口正彦
検査報告書確認システムと半自動リマインド管
理システムによる院内周知 .
第 44 回医療情報学連合大会 / 第 25 回日本医
療情報学会学術大会 : 福岡市, 2024, [一般口
演]
11. 鈴木一洋
がん研有明病院における医療情報システムのサ
イバーレジリエンス強化 .
第 44 回医療情報学連合大会 / 第 25 回日本医
療情報学会学術大会 : 福岡市, 2024, [ラン
チョンセミナー]
12. 鈴木一洋, 高橋輝, 町田未来, 後藤紫野, 中村
弘希, 由雄敏之, 小口正彦
がん臨床統合データベースの活用 : 食道内視鏡
におけるカンファレンスと症例集積 .
第 44 回医療情報学連合大会 / 第 25 回日本医
療情報学会学術大会 : 福岡市, 2024, [一般口
演]
13. 鈴木一洋
がん領域の RWD 集積とデータ活用の取り組み:
院内開発「統合がん臨床データベース」の社会
実装・多施設展開 : SIP 第 3 期の取り組み .
第 44 回医療情報学連合大会 / 第 25 回日本医
療情報学会学術大会 : 福岡市, 2024, [ラン
チョンセミナー]

【脳腫瘍外科】

1. 大村朋子
脳実質転移をみとめた前立腺癌の一例 .
第 1 回転移性脳腫瘍研究会 : 東京, 2024, [口
述発表]
2. 宮北康二
転移性脳腫瘍 .
第 1 回転移性脳腫瘍研究会 : 東京, 2024, [座
長]
3. 米澤元樹
聴力低下で発症し薬物療法が奏功をした肺癌か
らの髄膜播種の一例 .
第 1 回転移性脳腫瘍研究会 : 東京, 2024, [口
述発表]
4. 宮北康二
脳神経 .
第 62 回日本癌治療学会学術集会 : 福岡市,
2024, [座長]
5. 大村朋子, 宮北康二, 米澤元樹, 柳澤俊介, 大
野誠, 成田善孝
膠芽腫患者の終末期医療の実際と COVID-19
での変化 .
第 83 回日本脳神経外科学会学術集会 : 横浜市,
2024, [ポスター発表]
6. 宮北康二, 柳澤俊介, 大野誠, 福田隆浩, 成田
善孝
中枢神経系原発悪性リンパ腫に対する自家造血
幹細胞移植併用大量化学療法 .
第 83 回日本脳神経外科学会学術集会 : 横浜市,
2024, [口述発表]
7. 宮北康二
悪性リンパ腫 01 : 病態・診断 .
第 83 回日本脳神経外科学会学術集会 : 横浜市,
2024, [座長]
8. 米澤元樹, 大村朋子, 網野喜彬, 西尾誠人, 宮
北康二
聴力低下で発症し薬物療法が奏効した肺癌か
らの髄膜播種の一例 .
第 83 回日本脳神経外科学会学術集会 : 横浜市,
2024, [ポスター発表]

9. 宮北康二, 柳澤俊介, 大野誠, 武田航, 福田隆浩, 成田善孝
中枢神経系原発悪性リンパ腫に対する自家造血幹細胞移植併用大量化学療法.
第 42 回日本脳腫瘍学会学術集会: 志摩市, 2024, [口述発表]

【先端医療開発科がんゲノム医療開発部】

1. 上野貴之
リキッドバイオプシーが変えるがん医療.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [司会]

【直腸がん集学的治療センター】

1. Akiyoshi, T.
Minimally-invasive lateral lymph node dissection in the era of total neoadjuvant therapy.
International Colorectal Disease Symposium (ICDS 2024) Hong Kong, 2024, [講演]
2. Akiyoshi, T.
Robotic LPLND.
International Colorectal Disease Symposium (ICDS 2024) Hong Kong, 2024, [講演]
3. 福長洋介
Hybrid RAS: 直腸切除・結腸切除それぞれのテクニック.
第 100 回大腸癌研究会学術集会: 浜松市, 2024, [イブニングセミナー]
4. 福長洋介
大腸癌の至適リンパ節郭清.
第 100 回大腸癌研究会学術集会: 浜松市, 2024, [座長]
5. 秋吉高志
若手外科医に伝えたい腹腔鏡下 / ロボット支援下直腸癌手術のコツ.
第 100 回大腸癌研究会学術集会: 浜松市, 2024, [モーニングセミナー]

6. 山口智弘, 花岡まりえ
下部消化管⑦.
第 16 回日本ロボット外科学会学術集会: 米子市, 2024, [座長]
7. 山口智弘, 野口竜剛, 坂本貴志, 櫻井翼, 松井信平, 向井俊貴, 秋吉高志, 福長洋介
結腸癌に対するロボット手術の現状.
第 16 回日本ロボット外科学会学術集会: 米子市, 2024, [シンポジウム]
8. 向井俊貴
切除可能肝転移を有する直腸癌に対する治療戦略.
第 20 回日本消化管学会総会学術集会: 宜野湾市, 2024, [ワークショップ]
9. 山口智弘, 賀川弘康
Da Vinci LIVE 1: 結腸右半切除.
第 2 回ロボット大腸切除研究会: 東京, 2024, [ディスカッサント]
10. 山口智弘, 賀川弘康
Da Vinci LIVE 2: 側方郭清.
第 2 回ロボット大腸切除研究会: 東京, 2024, [ディスカッサント]
11. Akiyoshi, T.
Pelvic lateral lymph nodes dissection.
ASIA IRCAD-TAIWAN LAPAROSCOPIC & ROBOTIC COLORECTAL SURGERY MASTER COURSE: Taiwan, 2024, [講演]
12. 南原翔, 松井信平, 櫻井翼, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
当院における直腸癌患者の術後排便機能の後方視的検討.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ポスター発表]
13. 原口英里奈, 向井俊貴, 松井信平, 櫻井翼, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
閉塞性大腸癌に対する SEMS の Bridge to surgery の至適時期.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ポスター発表]

14. 向井俊貴, 松井信平, 櫻井翼, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
局所再発直腸癌に対する鏡視下手術手技の定型化と治療成績.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [シンポジウム]
15. 坂本貴志, 向井俊貴, 野口竜剛, 櫻井翼, 松井信平, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
隣接臓器合併切除を伴うロボット直腸癌手術の成績と手技の工夫.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ワークショップ]
16. 小澤直也, 松井信平, 野口竜剛, 櫻井翼, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
大腸印環細胞癌の検討.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ポスター発表]
17. 尾崎公輔, 櫻井翼, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
系統的リンパ節郭清を伴う回盲部切除術を施行した虫垂神経内分泌腫瘍の 4 例.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ポスター発表]
18. 山口智弘, 秋吉高志, 野口竜剛, 坂本貴志, 櫻井翼, 松井信平, 向井俊貴, 福長洋介
下部進行直腸癌に対する total neoadjuvant therapy と nonoperative management.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ワークショップ]
19. 山口智弘
括約筋間直腸切除術 (ISR) .
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ランチョンセミナー]
20. 松井信平, 秋吉高志, 櫻井翼, 向井俊貴, 山口智弘, 福長洋介
術前放射線療法を施行した下部直腸癌術後の晩期合併症についての検討.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [サージカルフォーラム]
21. 櫻井翼, 野口竜剛, 坂本貴志, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 河内洋, 福長洋介
直腸神経内分泌腫瘍における側方リンパ節転移の危険因子と予後への影響.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ポスター発表]
22. 甲津卓実, 松井信平, 櫻井翼, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
術前治療を施行した直腸粘液癌の治療成績.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ポスター発表]
23. 秋吉高志
局所進行直腸癌治療のパラダイムシフト: TNT から NOM まで: International.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [司会]
24. 秋吉高志, 櫻井翼, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 福長洋介, 河内洋, 森誠一
進行下部直腸癌における治療前生検検体のゲノム・トランスクリプトーム解析による術前化学放射線療法効果予測.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [ワークショップ]
25. 野口竜剛, 秋吉高志, 櫻井翼, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 福長洋介
当院における側方リンパ節転移陽性直腸癌に対する術前治療の治療効果.
第 124 回日本外科学会定期学術集会: 常滑市, 2024, [サージカルフォーラム]
26. 山口智弘, 秋吉高志, 野口竜剛, 坂本貴志, 櫻井翼, 松井信平, 向井俊貴, 福長洋介
下部進行直腸癌に対する最適な術前治療: TNT と NOM を行う立場から.
第 49 回日本外科系連合学会学術集会: 東京, 2024, [パネルディスカッション]
27. 秋吉高志
ロボット支援下直腸癌手術の陰と陽.
第 78 回手術手技研究会: 福岡市, 2024, [口述発表]

28. 神馬真里奈, 坂本貴志, 山下享子, 甲津卓実, 野口竜剛, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
骨盤内に発生した巨大 Solitary fibrous tumor (SFT) の1例.
第872回外科集談会: 東京, 2024, [口述発表]
29. Akiyoshi, T., Mizushima, T.
Lower digestive tract : current status of robotic and laparoscopic surgery for locally advanced rectal cancer and efforts for overcoming issues.
第79回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [座長]
30. Sakamoto, T., Fukunaga, Y., Noguchi, T., Sakurai, T., Matsui, S., Mukai, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T.
Comparing oncological outcomes between transverse vs right hemi-colectomy in transverse colon cancer/ 右側および中央部横行結腸癌における横行結腸切除術と右半結腸切除術の短期・長期成績比較.
第79回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [シンポジウム]
31. 佐藤健太郎, 松井信平, 野口竜剛, 坂本貴志, 櫻井翼, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
腹水細胞診陽性の大腸癌腹膜播種に対する肉眼的 R0 切除手術の妥当性について.
第79回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ポスター発表]
32. 南原翔, 松井信平, 櫻井翼, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
直腸癌患者の術後排便機能の後方視的検討.
第79回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ポスター発表]
33. 向井俊貴
大腸: 術前治療 3.
第79回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [座長]
34. 向井俊貴, 松井信平, 櫻井翼, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
局所再発直腸癌に対する鏡視下手術の治療成績と課題.
第79回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ワークショップ]
35. 小澤直也, 山口智弘, 野口竜剛, 坂本貴志, 櫻井翼, 松井信平, 向井俊貴, 秋吉高志, 福長洋介
体腔内吻合を行った右側結腸癌手術における腸管前処置と SSI との関係.
第79回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [要望演題]
36. 尾崎公輔, 向井俊貴, 野口竜剛, 坂本貴志, 松井信平, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
左側大腸癌術後の骨盤内再発に対する腹腔鏡下骨盤内臓摘除術の治療成績.
第79回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ポスター発表]
37. 山口智弘
大腸: 術前治療 2.
第79回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [座長]
38. 山口智弘
直腸がん治療の未来を語る: 進行直腸がんを考える.
第79回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [ランチョンセミナー]
39. 山口智弘, 秋吉高志, 野口竜剛, 坂本貴志, 櫻井翼, 松井信平, 向井俊貴, 福長洋介
術前治療後に病理学的完全奏効となった直腸癌の長期成績と Nonoperative management の経験.
第79回日本消化器外科学会総会: 下関市, 2024, [パネルディスカッション]
40. 松井信平, 秋吉高志, 向井俊貴, 山口智弘, 福長洋介
術前放射線治療を施行した直腸癌根治手術後の再発症例に対する治療戦略とその治療成績について.

- 第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，2024, [ポスター発表]
41. 甲津卓実，向井俊貴，坂本貴志，野口竜剛，櫻井翼，松井信平，山口智弘，秋吉高志，福長洋介
肥満症例に対する鏡視下直腸癌手術の治療成績．
第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，2024, [要望演題ビデオ]
42. 福長洋介
大腸：術前治療 4.
第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，2024, [座長]
43. 秋吉高志，野口竜剛，坂本貴志，櫻井翼，松井信平，向井俊貴，山口智弘，福長洋介
TNT 時代における進行下部直腸癌に対する側方郭清の意義．
第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，2024, [パネルディスカッション]
44. 秋山貴彦，松井信平，野口竜剛，坂本貴志，櫻井翼，向井俊貴，山口智弘，秋吉高志，福長洋介
当院における急性虫垂炎に対する治療方針の検討．
第 79 回日本消化器外科学会総会：下関市，2024, [ポスター発表]
45. 野口竜剛，秋吉高志，坂本貴志，松井信平，向井俊貴，山口智弘，河内洋，福長洋介
進行下部直腸癌に対する、前治療と側方郭清を含めた治療戦略．
第 101 回大腸癌研究会学術集会：名古屋市，2024, [口述発表]
46. 坂本貴志，甲津拓実，野口竜剛，松井信平，向井俊貴，山口智弘，秋吉高志，福長洋介
機械学習を用いた直腸癌術後再発予測モデルの構築．
第 32 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2024：消化器外科学会）：神戸市，2024, [デジタルポスターセッション]
47. 安藤陽平，櫻井翼，野口竜剛，坂本貴志，松井信平，大庭篤志，向井俊貴，山口智弘，秋吉高志，福長洋介
Mismatch repair deficient の同時性肝転移を伴う下部直腸癌に対する PD-1 阻害薬，手術，watch and wait を組み合わせた治療戦略．
第 32 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2024：消化器外科学会）：神戸市，2024, [デジタルポスターセッション]
48. 甲津卓実，篠崎英司，秋吉高志，坂本貴志，野口竜剛，松井信平，向井俊貴，山口智弘，福岡聖大，大隅寛木，若槻尊，田口千藏，河内洋，山口研成，福長洋介
進行直腸癌に対する術前治療後の病理組織学的効果および腫瘍縮小パターンの検討．
第 32 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2024：消化器外科学会）：神戸市，2024, [デジタルポスターセッション]
49. 山口智弘
ロボット支援下直腸癌手術の短期・長期成績と次世代への技術伝承．
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [シンポジウム]
50. 松井信平，南原翔，野口竜剛，坂本貴志，向井俊貴，山口智弘，秋吉高志，福長洋介
直腸癌術後の排便機能障害の長期的観察研究．
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [一般口演]
51. 秋吉高志，篠崎英司，田口千藏，千野晶子，小山眞道，野口竜剛，坂本貴志，松井信平，向井俊貴，山口智弘，山口研成
局所進行直腸癌に対する non-operative management (NOM) の現状と問題点．
第 62 回日本癌治療学会学術集会：福岡市，2024, [ワークショップ]
52. 野口竜剛，坂本貴志，松井信平，向井俊貴，山口智弘，河内洋，秋吉高志
進行下部直腸癌に対する術前化学放射線療法後の組織学的治療効果．
第 28 回日本外科病理学会学術集会：東京，2024, [シンポジウム]

53. 南原翔, 松井信平, 野口竜剛, 坂本貴志, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
当院における直腸癌患者の術後排便機能障害の後方視的検討によるリスク因子の抽出.
第 79 回日本大腸肛門病学会学術集会: 横浜市, 2024, [口述発表]
54. 坂本貴志, 野口竜剛, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
機械学習を用いた直腸癌術後再発予測モデルの構築と評価.
第 79 回日本大腸肛門病学会学術集会: 横浜市, 2024, [パネルディスカッション]
55. 松井信平, 秋吉高志, 野口竜剛, 坂本貴志, 向井俊貴, 山口智弘, 福長洋介
術前放射線療法後の直腸癌術後慢性期合併症に対する側方リンパ節郭清の影響について.
第 79 回日本大腸肛門病学会学術集会: 横浜市, 2024, [要望演題]
56. 神馬真里奈, 坂本貴志, 河内洋, 甲津卓実, 野口竜剛, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
術前治療を行なった若年性直腸癌と非若年性直腸癌の背景および予後の比較検討.
第 86 回日本臨床外科学会学術集会: 宇都宮市, 2024, [ワークショップ]
57. 秋吉高志
下部進行直腸癌に対する術前治療と術前治療奏功例に対する治療方針について.
第 86 回日本臨床外科学会学術集会: 宇都宮市, 2024, [司会]
58. 野口竜剛, 山口智弘, 坂本貴志, 松井信平, 向井俊貴, 秋吉高志, 福長洋介
進行下部直腸癌に対する術前化学放射線療法の治療成績: TME と Watch and Wait.
第 86 回日本臨床外科学会学術集会: 宇都宮市, 2024, [パネルディスカッション]
59. 原口英里奈, 向井俊貴, 甲津卓実, 野口竜剛, 坂本貴志, 松井信平, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
骨盤内悪性腫瘍に対する経肛門的鏡視下アプローチ併用 2 チーム手術の治療成績.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [ワークショップ]
60. 向井俊貴, 野口竜剛, 坂本貴志, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
Total neoadjuvant therapy 後の側方リンパ節郭清の治療成績と手技の要点.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [パネルディスカッション]
61. 向井俊貴
下部悪性: ロボット支援手術 3.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [司会]
62. 坂本貴志, 甲津卓実, 野口竜剛, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
若手外科医から見た大腸ロボット支援手術教育の現状.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [ワークショップ]
63. 安藤陽平, 野口竜剛, 甲津卓実, 坂本貴志, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
直腸癌手術の肛門側切離端決定における直腸診と術中内視鏡の比較.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [口述発表]
64. 小澤直也, 野口竜剛, 甲津卓実, 坂本貴志, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
腹腔鏡下およびロボット支援下直腸癌手術における SSI を減少させる最適な腸管前処置の検討.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [ミニオーラル]
65. 尾崎公輔, 向井俊貴, 甲津卓実, 野口竜剛, 坂本貴志, 松井信平, 山口智弘, 秋吉高志
直腸癌術後骨盤内再発症例に対する低侵襲骨盤内臓摘除術の治療成績.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [シンポジウム]

66. 松井信平, 秋吉高志, 山口智弘, 向井俊貴, 坂本貴志, 野口竜剛, 福長洋介
術前放射線療法後の直腸癌腹腔鏡術後合併症に対する側方リンパ節郭清手技の影響について.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [パネルディスカッション]
67. 神馬真里奈, 向井俊貴, 甲津卓実, 野口竜剛, 坂本貴志, 松井信平, 山口智弘, 秋吉高志, 福長洋介
直腸 GIST に対する上直腸動脈完全温存鏡視下括約筋間直腸切除術の有用性.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [ミニオーラル]
68. 秋吉高志
低侵襲拡大手術: これまで・そしてこれからの歩み.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [教育講演]
69. 秋吉高志, 沖英次
術前治療を行った直腸癌に対する鏡視下手術治療戦略.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [司会]
70. 野口竜剛, 山口智弘, 甲津卓実, 坂本貴志, 松井信平, 向井俊貴, 秋吉高志, 福長洋介
ロボット支援下直腸癌手術の短期・長期成績: 傾向スコアマッチングによる腹腔鏡下直腸癌手術との比較.
第 37 回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2024, [シンポジウム]

【頭頸部がん低侵襲治療センター】

1. 石山晃世志
咽頭、食道の表在性病変を考える: 粘膜病変の概念, 診断, 治療について.
第 42 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会: 札幌市, 2024, [ワークショップ]

【病理部】

1. 重松康之, 田中一仁, 亜森グランバル, 竹内賢吾, 稲村健太郎

Impact of Oncostatin M expression in tumor microenvironment of hepatocellular carcinoma on pathological features.

第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 名古屋市, 2024, [口述発表]

2. 河内洋
病理.
第 96 回日本胃癌学会総会: 京都市, 2024, [座長]
3. 二宮浩範
肺癌治療の新たな地平を切り拓く: 病理医の役割.
第 64 回日本肺癌学会九州支部学術集会・第 47 回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会: 宮崎市, 2024, [教育講演]
4. 山下享子
骨軟部腫瘍の細胞診: 脂肪性腫瘍を中心に.
第 87 回細胞検査士ワークショップ: Web 開催, 2024, [教育講演]
5. 佐藤由紀子
遺伝子解析により深化する唾液腺腫瘍分類.
第 101 回日本病理学会関東支部会学術集会: 東京, 2024, [座長]
6. 二宮浩範
今後も変革する肺がん治療: 病理診断医が関与すべきポイント: 術前治療の効果判定.
第 113 回日本病理学会総会: 名古屋市 + Web 開催, 2024, [ランチョンセミナー]
7. 二宮浩範
肺癌遺伝子検査の成功への道: 臨床現場に必要な知識と注意点.
第 113 回日本病理学会総会: 名古屋市 + Web 開催, 2024, [スイーツセミナー]
8. 加藤憲一郎, 山下享子, 土橋映仁, 馬場郷子, 富樫由紀, 植野映子, 阿江啓介, 松本誠一, 竹内賢吾
新規融合遺伝子 THBS1::IGF1R を有する myopericytic tumor の一例.
第 113 回日本病理学会総会: 名古屋市 + Web 開催, 2024, [ポスター発表]

9. 外岡暁子, 土橋映仁, 千葉知宏, 伊藤藍, 箕浦祐子, 植木有紗, 金尾祐之
MLH1 タンパク発現消失子宮体癌症例における EPM2AIP1 免疫染色の有用性.
第 113 回日本病理学会総会: 名古屋市 +Web 開催, 2024, [ポスター発表]
10. 小嶋結, 伊藤藍, 千葉知宏, 金尾祐之, 外岡暁子
卵巣 mesonephric-like adenocarcinoma 6 例の臨床病理学的特徴.
第 113 回日本病理学会総会: 名古屋市 +Web 開催, 2024, [口述発表]
11. 山下享子
骨・軟部 2.
第 113 回日本病理学会総会: 名古屋市 +Web 開催, 2024, [座長]
12. 山下享子
骨軟部・運動器 2.
第 113 回日本病理学会総会: 名古屋市 +Web 開催, 2024, [座長]
13. 杉田佳祐
間接的 CRISPR screening 法の確立と細胞間相互作用による薬剤耐性遺伝子の同定.
第 113 回日本病理学会総会: 名古屋市 +Web 開催, 2024, [口述発表]
14. 河内洋
MSI 検査と MMR 免疫組織化学検査の比較.
第 113 回日本病理学会総会: 名古屋市 +Web 開催, 2024, [ランチョンセミナー]
15. 秋谷昌史, 大迫智, 國分優美, 坂井威彦, 上野貴之, 竹内賢吾
針生検で非浸潤性小葉癌と診断された症例の臨床病理学的特徴.
第 113 回日本病理学会総会: 名古屋市 +Web 開催, 2024, [口述発表]
16. 河内洋
胃がんにおける診断と治療の最新アップデート.
2024 年度日本病理学会九州沖縄支部スライドカンファレンス共催セミナー: 福岡市, 2024, [講演]
17. 一川良太, 北井里実, 田中優美子, 寺内隆司, 岡本三四郎, 金尾祐之, 小嶋結, 外岡暁子
類上皮性トロホブラスト腫瘍の一例.
第 37 回日本腹部放射線学会: 川崎市, 2024, [ポスター発表]
18. 佐藤由紀子
唾液腺 P2.
第 65 回日本臨床細胞学会総会春期大会: 大阪市, 2024, [座長]
19. 河内洋
Claudin と胃がんのマリアージュ: CLDN18 免疫染色の時代をむかえて.
第 65 回日本臨床細胞学会総会春期大会: 大阪市, 2024, [ランチョンセミナー]
20. 石井脩平, 高松学, 阿部仁, 竹内賢吾, 塚本徹哉, 前田一郎
AI と細胞診の現状.
第 65 回日本臨床細胞学会総会春期大会: 大阪市, 2024, [講演]
21. 石井脩平
婦人科: 出題と解説.
第 65 回日本臨床細胞学会総会春期大会: 大阪市, 2024, [スライドカンファレンス]
22. 後藤啓介
皮膚腫瘍における遺伝子異常.
第 123 回日本皮膚科学会総会: 京都市 +Web 開催, 2024, [教育講演]
23. 河内洋
Post HP 時代の胃疾患に向き合う: 病理医の立場から: 胃癌診療に繋げるために.
胃癌治療を考える: 宇都宮市, 2024, [講演]
24. 秋谷昌史, 坂井威彦, 國分優美, 上野貴之, 大迫智
針生検で非浸潤性小葉癌と診断された症例の臨床病理学的特徴.
第 32 回日本乳癌学会学術総会: 仙台市, 2024, [e ポスター]

25. 山下享子
Bone Tumor Club.
第 57 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：福井市，2024, [座長]
26. 河内洋
病理診断の現状と課題：臨床の要望に応える．
第 78 回日本食道学会学術集会：東京，2024, [司会]
27. 河内洋
総括：臨床に資する病理診断を目指して：病理委員会の取り組み．
第 78 回日本食道学会学術集会：東京，2024, [ワークショップ]
28. 山下享子
血管肉腫とその鑑別．
第 18 回診断病理サマーフェスト：病理と臨床の対話：東京，2024, [講演]
29. Yamashita, K., Ueno, T., Kitahama, T., Hayakawa, K., Ae, K., Matsumoto, A., Kunieda, J., Machinami, R., Yamaguchi, T.
A 30-year-old male presented with several months duration of a mass in the right thoracic wall.
50th Annual Meeting: ISS Musculoskeletal Diagnostic Meeting: Montreal, Canada, 2024, [口述発表]
30. 河内洋
大腸 (II) ．
第 20 回 AI- 拡大内視鏡研究会：東京，2024, [コメンテーター]
31. 河内洋
一般演題 (1) ．
第 33 回大腸 IIc 研究会：東京，2024, [コメンテーター]
32. 山下享子
骨軟部腫瘍の細胞診：その利用法、疾患概念や実際の見方について．
第 49 回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会：大津市，2024, [特別講演]
33. 河内洋
ワクワクするデジタル病理診断：消化管疾患を中心に．
第 32 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2024：消化器がん検診学会)：神戸市，2024, [ランチョンセミナー]
34. 河内洋
食道胃接合部を病理学的にどう同定するか：柵状血管下端の評価を含めて．
第 32 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2024)：神戸市，2024, [特別企画]
35. 土橋映仁，富樫由紀，津山直子，馬場郷子，成田健太郎，横山雅大，照井康仁，丸山大，野口雅章，末永孝生，竹内賢吾
メトトレキサート関連リンパ増殖異常症の遺伝子変異プロファイリング．
第 86 回日本血液学会学術集会：京都市，2024, [口述発表]
36. 佐藤由紀子
口腔・歯科．
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会：千葉市，2024, [口述発表]
37. 千葉知宏，山崎奈緒子，池畑浩一，山田麻里沙，伊藤崇彦，佐直映理，城本空輝，阿部仁
甲状腺癌取扱い規約第 9 版と細胞診検体をういた遺伝学的検査．
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会：千葉市，2024, [ワークショップ]
38. 千葉知宏，池畑浩一，山田麻里沙，山崎奈緒子，伊藤崇彦，佐直映理，城本空輝，安住未紀，佐藤由紀子，阿部仁
細胞検査士の教育：細胞検査士養成機関として．
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会：千葉市，2024, [シンポジウム]
39. 安住未紀，二宮浩範，伊藤崇彦，山田麻里沙，山崎奈緒子，池畑浩一，阿部仁，柳谷典子，千葉知宏
2. 呼吸器．
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会：千葉市，2024, [スライドカンファレンス]

40. 山下享子
中皮・体腔液 5.
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会：千葉市，
2024, [座長]
41. 山下享子
血管性腫瘍 .
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会：千葉市，
2024, [解説者]
42. 星利良
子宮頸部 5.
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会：千葉市，
2024, [座長]
43. 河内洋
消化器 .
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会：千葉市，
2024, [座長]
44. 石井脩平
中皮・体腔液 3.
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会：千葉市，
2024, [座長]
45. 菅原江美子
泌尿器 5.
第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会：千葉市，
2024, [座長]
46. 杉田佳祐，高松学，朝賀礼美，竹内賢吾
膵 IPMN から発生した破骨細胞様巨細胞を伴う
未分化癌の一例 /A case report : Anaplastic
carcinoma with osteoclast-like giant cells
arising from IPMN of the pancreas.
第 70 回日本病理学会秋期特別総会：東京，
2024, [ポスター発表]
47. 河内洋
消化管病理の最前線と将来展望 /The cutting -
edge and future perspective in gastrointes-
tinal pathology.
第 70 回日本病理学会秋期特別総会：東京，
2024, [座長]
48. 河内洋
病理医が指摘する自己免疫性胃炎 /Autoim-
mune gastritis : a diagnosis driven by pa-
thologists.
第 70 回日本病理学会秋期特別総会：東京，
2024, [シンポジウム]
49. 熊田雄仁，千葉知宏，小嶋結，野村秀高，外岡
暁子
高エストラジオール血症を伴う性索間質性腫瘍
の一例 .
第 59 回日本婦人科病理学会学術集会：金沢市，
2024, [口述発表]
50. 熊田雄仁，佐藤由紀子，坂田征士，馬場郷子，
佐々木徹，小泉雄，神山亮介，瀬戸陽，三谷浩
樹，竹内賢吾
非脂腺型リンパ腺腫に類似した著明なリンパ球
浸潤を伴う粘表皮癌の一例 .
第 68 回日本唾液腺学会学術集会：東京，
2024, [症例検討]
51. 河内洋
胃 .
第 119 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：
東京，2024, [コメンテーター]

10. 雑誌・単行本発表業績

【呼吸器内科】

1. Akamatsu, H., Koh, Y., Nishio, M., Goto, Y., Hayashi, H., Miura, S., Tamada, K., Kagamu, H., Gemma, A., Yoshino, I., Misumi, T., Mouri, A., Saito, R., Takase, N., Yanagitani, N., Nokihara, H., Seike, M., Takamura, K., Mori, M., Iwasawa, S., Nakagawa, S., Mitsudomi, T.
Comprehensive serum biomarker analysis reveals IL-8 changes as the only predictor of the effectiveness of immune checkpoint inhibitors for patients with advanced non-small cell lung cancer.
Lung Cancer, 2024. 198: 108017
2. Akita, T., Ariyasu, R., Kakuto, S., Miyadera, K., Kiritani, A., Tsugitomi, R., Amino, Y., Uchibori, K., Kitazono, S., Yanagitani, N., Tasaka, S., Nishio, M.
Distinction of ALK fusion gene- and EGFR mutation-positive lung cancer with tumor markers.
Thorac. Cancer, 2024. 15 (10) : 788-796
3. Hashimoto, K., Murakami, Y., Omura, K., Takahashi, H., Suzuki, R., Yoshioka, Y., Oguchi, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Ninomiya, H., Nishio, M., Mun, M.
Prediction of tumor PD-L1 expression in resectable non-small cell lung cancer by machine learning models based on clinical and radiological features: performance comparison with preoperative biopsy.
Clin. Lung Cancer, 2024. 25 (1) : e26
4. Hayashi, H., Nishio, M., Akamatsu, H., Goto, Y., Miura, S., Gemma, A., Yoshino, I., Misumi, T., Kijima, T., Takase, N., Fujita, M., Tasaka, S., Mouri, A., Kondo, T., Takamura, K., Kawashima, Y., Imaizumi, K., Iwasawa, S., Nakagawa, S., Mitsudomi, T.
Association between immune-related adverse events and atezolizumab in previously treated patients with unresectable advanced or recurrent non-small cell lung cancer.
Cancer Res. Commun., 2024. 4 (11) : 2858-2867
5. Ikeda, S., Tsuboi, M., Sakai, K., Misumi, T., Akamatsu, H., Shoda, H., Sakakura, N., Nakamura, A., Ohde, Y., Hayashi, H., Okishio, K., Okada, M., Yoshino, I., Okami, J., Takahashi, K., Ikeda, N., Tanahashi, M., Tambo, Y., Saito, H., Toyooka, S., Inokawa, H., Chen-Yoshikawa, T., Yokoyama, T., Okamoto, T., Yanagitani, N., Oki, M., Takahama, M., Sawa, K., Tada, H., Nakagawa, K., Mitsudomi, T., Nishio, K.
NOTCH1 and CREBBP co-mutations negatively affect the benefit of adjuvant therapy in completely resected EGFR-mutated NSCLC: translational research of phase III IMPACT study.
Mol. Oncol., 2024. 18 (2) : 305-316
6. Imai, H., Kijima, T., Azuma, K., Kishi, K., Saito, H., Yamaguchi, T., Tanizaki, J., Yoneshima, Y., Fujita, K., Watanabe, S., Kitazono, S., Fukuhara, T., Hataji, O., Toi, Y., Mizutani, H., Hamakawa, Y., Maemondo, M., Ohsugi, T., Suzuki, K., Horinouchi, H., Ohe, Y.
First-line nivolumab plus ipilimumab with or without chemotherapy for Japanese patients with non-small cell lung cancer: LIGHT-NING study.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2024. 54 (4) : 452-462
7. Miura, K., Yamaguchi, O., Mori, K., Nakamura, A., Tamiya, M., Oba, T., Yanagitani, N., Mizutani, H., Ninomiya, T., Kajiwarra, T., Ito, K., Miyanaga, A., Arai, D., Kodama, H., Kobayashi, K., Kaira, K.
Prophylactic pegfilgrastim reduces febrile neutropenia in ramucirumab plus docetaxel after chemoimmunotherapy in advanced

- NSCLC: post hoc analysis from NEJ051.
Sci. Rep., 2024. 14 (1) : 3816
8. Miyadera, K., Kakuto, S., Sugai, M., Tsugitomi, R., Amino, Y., Uchibori, K., Yanagitani, N., Sugiura, H., Seike, M., Nishio, M., Ariyasu, R.
Serum CYFRA 21-1 as a prognostic marker in non-small-cell lung cancer patients treated with immune checkpoint inhibitors.
Cancers (Basel) , 2024. 16 (21) : 3712
 9. Mok, T., Jänne, P. A., Nishio, M., Novello, S., Reck, M., Steuer, C., Wu, Y. L., Fougerey, R., Fan, P. D., Meng, J., Sternberg, D. W., Esker, S., Yu, H. A.
HERTHENA-Lung02: phase III study of patritumab deruxtecan in advanced EGFR-mutated NSCLC after a third-generation EGFR TKI.
Future Oncol., 2024. 20 (15) : 969-980
 10. Ninomiya, H., Sato, Y., Inamura, K., Dobashi, A., Takeuchi, K., Mitani, H., Mun, M., Nishio, M., Ishikawa, Y.
Neuroendocrine and squamous cell phenotypes of NUT carcinoma are potential diagnostic pitfalls that discriminating it from mimickers, such as small cell and squamous cell carcinoma.
Diagn. Pathol., 2024. 19 (1) : 27
 11. Nishio, M., Watanabe, S., Udagawa, H., Aragane, N., Nakagawa, Y., Kobayashi, Y., Saito, H.
Integrated analysis of older adults and patients with renal dysfunction in the IMpower130 and IMpower132 randomized controlled trials for advanced non-squamous non-small cell lung cancer.
Lung Cancer 2024. 196: 107859
 12. Nishio, M., Murakami, S., Kawakami, H., Okishio, K., Tamiya, M., Kobayashi, H., Fujimoto, D., Sugawara, S., Kozuki, T., Oya, Y., Izumi, H., Shiroyama, T., Satouchi, M., Yamamoto, N., Kaname, S., Matsuoka, D., Otake, Y., Takase, T., Semba, T., Azuma, K.
Phase II study of the liposomal formulation of eribulin (E7389-LF) in combination with nivolumab: results from the small cell lung cancer cohort.
Cancer Res. Commun., 2024. 29 (1) : 226-235
 13. Nogami, N., Tokito, T., Zenke, Y., Satouchi, M., Seto, T., Saka, H., Ohtani, J., Han, S., Noguchi, K., Nishio, M.
Phase 1 study of pembrolizumab plus chemotherapy in Japanese patients with extensive-stage small-cell lung cancer.
Invest. New Drugs., 2024. 42 (1) : 136-144
 14. Shiraishi, A., Oh-Hara, T., Takahashi, Y., Uchibori, K., Nishio, M., Katayama, R.
3D layered co-culture model enhances Trastuzumab Deruxtecan sensitivity and reveals the combined effect with G007-LK in HER2-positive non-small cell lung cancer.
Biochem. Biophys. Res. Commun., 2024. 725 (17) : 150255
 15. Shiraishi, Y., Kishimoto, J., Sugawara, S., Mizutani, H., Daga, H., Azuma, K., Matsumoto, H., Hataji, O., Nishino, K., Mori, M., Shukuya, T., Saito, H., Tachihara, M., Hayashi, H., Tsuya, A., Wakuda, K., Yanagitani, N., Sakamoto, T., Miura, S., Hata, A., Okada, M., Kozuki, T., Sato, Y., Harada, T., Takayama, K., Yamamoto, N., Nakagawa, K., Okamoto, I.
Atezolizumab and platinum plus pemetrexed with or without bevacizumab for metastatic nonsquamous non-small cell lung cancer: a phase 3 randomized clinical trial.
JAMA Oncol., 2024. 10 (3) : 315-324
 16. Solomon, B. J., Dagogo-Jack, I., Lee, S. H., Boyer, M. J., Ramalingam, S. S., Carcereny, E., Felip, E., Han, J. Y., Hida, T., Hughes, B.

- G. M., Kim, S. W., Nishio, M., Seto, T., Okamoto, T., Zhang, X., Martini, J. F., Wang, E., De Beukelaer, S., Bauer, T. M.
Avelumab in combination with lorlatinib or crizotinib in patients with previously treated advanced NSCLC: phase 1b/2 results from the JAVELIN lung 101 trial.
JTO Clin. Res. Rep., 2024. 5 (7) : 100685
17. Suzuki, M., Uchibori, K., Oh-Hara, T., Nomura, Y., Suzuki, R., Takemoto, A., Arai, M., Matsumoto, S., Sagae, Y., Kukimoto-Niino, M., Kawase, Y., Shirouzu, M., Okuno, Y., Nishio, M., Fujita, N., Katayama, R.
A macrocyclic kinase inhibitor overcomes triple resistant mutations in EGFR-positive lung cancer.
npj Precis. Oncol., 2024. 8 (1) : 46
 18. Tachibana, T., Matsuura, Y., Ninomiya, H., Ichinose, J., Nakao, M., Okumura, S., Nishio, M., Ikeda, N., Mun, M.
Optimal treatment strategy for oligo-recurrence lung cancer patients with driver mutations.
Cancers (Basel) , 2024. 16 (2) : 464
 19. Tanaka, H., Makiguchi, T., Tozuka, T., Kawashima, Y., Oba, T., Tsugitomi, R., Koyama, J., Tambo, Y., Ogusu, S., Saiki, M., Gyotoku, H., Hasegawa, T., Miyauchi, E., Sonoda, T., Saito, R., Nakatomi, K., Sakatani, T., Kudo, K., Tsuchiya-Kawano, Y., Nishio, M.
Comparison of immune checkpoint inhibitor plus chemotherapy or ipilimumab plus nivolumab-based therapy for NSCLC patients with PD-L1 TPS (1-49 %) : TOPGAN2023-01.
Eur. J. Cancer, 2024. 213: 115117
 20. Teraoka, S., Hayashi, H., Goto, Y., Nishio, M., Sugawara, S., Inoue, T., Oizumi, S., Toyozumi, S., Matsumura, M., Messina, R., Kato, T.
Long-term efficacy and safety of lorlatinib in Japanese patients with ALK-positive advanced NSCLC: A brief report from the CROWN study.
JTO Clin. Res. Rep., 2024. 5 (3) : 100632
 21. Watanabe, S., Yoshioka, H., Sakai, H., Hotta, K., Takenoyama, M., Yamada, K., Sugawara, S., Takiguchi, Y., Hosomi, Y., Tomii, K., Niho, S., Nishio, M., Kato, T., Takahashi, T., Ebi, H., Aono, M., Yamamoto, N., Ohe, Y., Nakagawa, K.
Association between skin toxicity and efficacy of necitumumab in squamous non-small-cell lung cancer: a pooled analysis of two randomized clinical trials-SQUIRE and JFCM.
ESMO Open, 2024. 9 (4) : 102975
 22. Watanabe, K., Sasaki, K., Machida, R., Shimizu, J., Yamane, Y., Tamiya, M., Saito, S., Takada, Y., Yoh, K., Yoshioka, H., Murakami, H., Kitazono, S., Goto, Y., Horinouchi, H., Ohe, Y.
High-cost treatments for advanced lung cancer in Japan (Lung Cancer Study Group of the Japan Clinical Oncology Group) .
Jpn. J. Clin. Oncol., 2024. 54 (10) : 1084-1092
 23. Wei, X., Uchibori, K., Kondo, N., Utsumi, T., Takemoto, A., Koike, S., Takagi, S., Yanagitani, N., Nishio, M., Katayama, R.
MIG6 loss increased RET inhibitor tolerant persister cells in RET-rearranged non-small cell lung cancer.
Cancer Lett., 2024. 604: 217220
 24. Wolf, J., Hochmair, M., Han, J. Y., Reguart, N., Souquet, P. J., Smit, E. F., Orlov, S. V., Vansteenkiste, J., Nishio, M., de Jonge, M., Akerley, W., Garon, E. B., Groen, H. J. M., Tan, D. S. W., Seto, T., Frampton, G. M., Robeva, A., Carbin, M., Le Mouhaer, S., Yovine, A., Boran, A., Bossen, C., Yang, Y., Ji, L., Fairchild, L., Heist, R. S.

- Capmatinib in MET exon 14-mutated non-small-cell lung cancer: final results from the open-label, phase 2 GEOMETRY mono-1 trial.
Lancet Oncol., 2024. 25 (10) : 1357-1370
25. Wu, Y. L., Dziadziuszko, R., Ahn, J. S., Barlesi, F., Nishio, M., Lee, D. H., Lee, J. S., Zhong, W., Horinouchi, H., Mao, W., Hochmair, M., de Marinis, F., Migliorino, M. R., Bondarenko, I., Lu, S., Wang, Q., Ochi Lohmann, T., Xu, T., Cardona, A., Ruf, T., Noe, J., Solomon, B. J.
Alectinib in resected ALK-positive non-small-cell lung cancer.
N. Engl. J. Med., 2024. 390 (14) : 1265-1276
 26. Yagishita, S., Goto, Y., Nishio, M., Akamatsu, H., Hayashi, H., Miura, S., Tamada, K., Kagamu, H., Hamada, A., Ohuchi, M., Gemma, A., Yoshino, I., Misumi, T., Hata, A., Hara, S., Kijima, T., Masaki, F., Iwasawa, S., Nakagawa, S., Tatsuno, M., Mitsudomi, T.
Real-world pharmacokinetics, effectiveness, and safety of atezolizumab in patients with unresectable advanced or recurrent NSCLC: an exploratory study of J-TAIL.
JTO Clin. Res. Rep., 2024. 5 (7) : 100683
 27. Yamamoto, N., Satouchi, M., Doi, T., Fujiwara, Y., Yanagitani, N., Kawa, Y., Yoh, K., Leopold, L., Munteanu, M., Sawada, T., Han, S., Noguchi, K., Nishio, M.
KEYNOTE-434 part B: A phase 1 study evaluating the combination of epacadostat, pembrolizumab, and chemotherapy in Japanese patients with previously untreated advanced non-small-cell lung cancer.
Invest. New Drugs., 2024. 42 (3) : 261-271
 28. Yoh, K., Azuma, K., Hayashi, H., Nishio, M., Chikamori, K., Ichihara, E., Watanabe, Y., Asato, T., Kitagawa, T., Fram, R. J., Ohe, Y.
A phase 2 study of mobocertinib as first-line treatment in Japanese patients with non-small cell lung cancer harboring EGFR exon 20 insertion mutations.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (10) : 1461-1474
 29. Yu, H. A., Baik, C., Kim, D. W., Johnson, M. L., Hayashi, H., Nishio, M., Yang, J. C., Su, W. C., Gold, K. A., Koczywas, M., Smit, E. F., Steuer, C. E., Felip, E., Murakami, H., Kim, S. W., Su, X., Sato, S., Fan, P. D., Fujimura, M., Tanaka, Y., Patel, P., Sternberg, D., Selami, D., Jänne, P. A.
Translational insights and overall survival in the U31402-A-U102 study of patritumab deruxtecan (HER3-DXd) in EGFR-Mutated NSCLC.
Ann. Oncol., 2024. 35 (5) : 437-447
 30. 内堀健
治りにくい肺炎に出会ったら : [Chapter : 4]
気がつかずにいると危機的になりうる疾患 : 肺がん (閉塞性肺炎を含む) .
内科 , 2024. 133 (2) : 297-301
 31. 有安亮 , 西尾誠人
肺がん , 胸腺腫瘍 , 悪性胸膜中皮腫 , 頭頸部がん治療の成果と展望 : ROS1 陽性肺がん治療の展望 .
腫瘍内科 , 2024. 34 (5) : 455-459
 32. 松浦陽介 , 内堀健 , 二宮浩範 , 一瀬淳二 , 中尾将之 , 奥村栄 , 西尾誠人 , 文敏景
肺手術検体からマルチプレックス遺伝子検査解析を成功させるための検体処理方法に関する探索的研究 .
肺癌 , 2024. 64 (1) : 11-16
 33. 柳谷典子
呼吸器疾患ペディア : 各疾患 : 縦隔の疾患 : 縦隔腫瘍 : 胚細胞腫瘍 : 神経原性腫瘍など .
日本医師会雑誌 , 2024. 153 (特別2) : S285-S286

34. 次富亮輔, 柳谷典子
肺癌診療における保険診療での包括的がんゲノムパネル検査 (CGP) .
呼吸器内科, 2024. 45 (3) : 322-325

【呼吸器外科】

1. Hashimoto, K., Murakami, Y., Omura, K., Takahashi, H., Suzuki, R., Yoshioka, Y., Oguchi, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Ninomiya, H., Nishio, M., Mun, M.
Prediction of tumor PD-L1 expression in resectable non-small cell lung cancer by machine learning models based on clinical and radiological features: Performance comparison with preoperative biopsy.
Clin. Lung Cancer, 2024. 25 (1) : e26
2. Hashimoto, K., Kato, D., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Kondo, H., Ohtsuka, T., Mun, M.
A prospective study of a training program for bronchial sleeve resection using operable 3-dimensional models.
JTCVS Tech., 2024. 27: 217-224
3. He, C., Ni, M., Liu, J., Teng, X., Ke, L., Matsuura, Y., Okuda, K., Sakairi, Y., Cheng, J., Yu, L., Lv, W., Hu, J.
A survival nomogram model for patients with resectable non-small cell lung cancer and lymph node metastasis (N1 or N2) based on the surveillance, epidemiology, and end results database and single-center data.
Transl. Lung Cancer Res., 2024. 13 (3) : 573-586
4. Ichinose, J., Kobayashi, N., Fukata, K., Kanno, K., Suzuki, A., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Accuracy of thoracic nerves recognition for surgical support system using artificial intelligence.
Sci. Rep., 2024. 14 (1) : 18329
5. Ichinose, J., Suzuki, A., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Anatomical partial lobectomy is a minimally invasive and precise procedure: beware of overuse.
J. Thorac. Dis., 2024. 16 (5) : 3528-3530
6. Ichinose, J., Suzuki, A., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Ninomiya, H., Mun, M.
Impact of tumor location and pleural invasion on the frequency of skip hilar lymph node metastasis in lung cancer.
J. Thorac. Dis., 2024. 16 (9) : 5958-5968
7. Ichinose, J., Okamura, A.
The search for cancer using light having longer wavelength.
Ann. Surg. Oncol., 2024. 31 (4) : 2196-2197
8. Miyoshi, T., Aokage, K., Watanabe, S. I., Ito, H., Sakakura, N., Mun, M., Yamashita, M., Ohde, Y., Aoki, T., Nishio, W., Taguri, M., Tsuboi, M.
The effect of epidermal growth factor receptor mutation on adjuvant chemotherapy with tegafur/uracil for patients with completely resected, non-lymph node metastatic non-small cell lung cancer (> 2 cm) : a multicenter, retrospective, observational study as exploratory analysis of the CSPOR-LC03 study.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2024. 54 (11) : 1185-1193
9. Ninomiya, H., Sato, Y., Inamura, K., Dobashi, A., Takeuchi, K., Mitani, H., Mun, M., Nishio, M., Ishikawa, Y.
Neuroendocrine and squamous cell phenotypes of NUT carcinoma are potential diagnostic pitfalls that discriminating it from mimickers, such as small cell and squamous cell carcinoma.
Diagn. Pathol., 2024. 19 (1) : 27

10. Nishino, S., Yunokawa, M., Matsuura, Y., Fusegi, A., Misaka, S., Aoki, Y., Abe, A., Omi, M., Kanao, H.
Secondary spontaneous pneumothorax during chemotherapy with bevacizumab for cervical cancer: a case report and literature review.
Int. Cancer Conf. J., 2024. 13 (4) : 395-400
11. Noritake, O., Nakamura, S., Kinoshita, F., Aokage, K., Asao, T., Matsuura, Y., Chen-Yoshikawa, T. F.
Prognostic impact of adjuvant therapy for cisplatin-unfit patients with non-small-cell lung cancer: a multicenter analysis.
Lung Cancer, 2024. 188: 107470
12. Omiya, K., Maekawa, A., Oba, A., Inoue, Y., Hirose, Y., Kobayashi, K., Ono, Y., Sato, T., Ichinose, J., Sasaki, T., Ozaka, M., Wu, Y. H. A., Hiratsuka, M., Matsueda, K., Mun, M., Sasahira, N., Ito, H., Saiura, A., Takahashi, Y.
A proposal of ABCD metastasectomy criteria for synchronous/metachronous metastatic pancreatic cancer in the era of multidisciplinary treatment.
Br. J. Surg., 2024. 111 (1) : znad417
13. Sakurai, H., Goto, Y., Yoh, K., Takamochi, K., Shukuya, T., Hishida, T., Tsuboi, M., Yoshida, K., Ohde, Y., Okumura, S., Taguri, M., Kunitoh, H.
Prognostic significance of ground-glass areas within tumors in non-small cell lung cancer.
Eur. J. Cardiothorac. Surg., 2024. 65 (4) : ezae158
14. Tachibana, T., Nakao, M., Ninomiya, H., Sato, Y., Oikado, K., Kawahara, M., Urabe, T., Suzuki, A., Ichinose, J., Matsuura, Y., Okumura, S., Ikeda, N., Mun, M.
Minimally invasive surgery for intradiaphragmatic bronchogenic cyst.
JTCVS Tech., 2024. 25: 250-253
15. Tachibana, T., Matsuura, Y., Ninomiya, H., Ichinose, J., Nakao, M., Okumura, S., Nishio, M., Ikeda, N., Mun, M.
Optimal treatment strategy for oligo-recurrence lung cancer patients with driver mutations.
Cancers (Basel) , 2024. 16 (2) : 464
16. Tamagawa, S., Nakao, M., Oikado, K., Sato, Y., Hashimoto, K., Ichinose, J., Matsuura, Y., Okumura, S., Satoh, Y., Mun, M.
Prognostic impact of ground-glass opacity components in lung cancer with lymph node metastasis.
J. Thorac. Dis., 2024. 16 (5) : 2975-2982
17. Tamagawa, S., Matsuura, Y., Ichinose, J., Nakao, M., Okumura, S., Satoh, Y., Mun, M.
Utility of visualization and quantification of surgical techniques using motion analysis software for thoracoscopic surgery.
Asian J. Endosc. Surg., 2024. 17 (3) : e13343
18. Watanabe, H., Oikado, K., Sato, Y., Ichikawa, R., Ninomiya, H., Mun, M., Nakao, M., Matsuura, Y., Ichinose, J., Terauchi, T.
A case of colloid adenocarcinoma of the lung with coarse calcification.
J. Thorac. Imaging, 2024. 39 (6) : W108-W110
19. Yamauchi, Y., Sato, M., Iwata, T., Endo, M., Ikeda, N., Hashimoto, H., Hato, T., Suzuki, H., Matsuguma, H., Shintani, Y., Kondo, H., Oyama, T., Azuma, Y., Iida, T., Sakakura, N., Mun, M., Asakura, K., Ohtsuka, T., Uehara, H., Sakao, Y.
Survival after lung metastasectomy from urothelial carcinoma: a multi-institutional database study.
Cancers (Basel) , 2024. 16 (19) : 16193333

20. 文敏景
手術の tips and pitfalls : 対面式ロボット支援
肺葉切除の tips and pitfalls : 対面式ロボット
支援下手術における右上葉切除術時の tips and
pitfalls.
日本外科学会雑誌, 2024. 125 (3) : 277-
282
21. 松浦陽介, 内堀健, 二宮浩範, 一瀬淳二, 中尾
将之, 奥村栄, 西尾誠人, 文敏景
肺手術検体からマルチプレックス遺伝子検査解
析を成功させるための検体処理方法に関する探
索的研究.
肺癌, 2024. 64 (1) : 11-16

【食道外科】

1. Doki, Y., Tanaka, K., Kawachi, H., Shiraka-
wa, Y., Kitagawa, Y., Toh, Y., Yasuda, T.,
Watanabe, M., Kamei, T., Oyama, T., Seto,
Y., Murakami, K., Arai, T., Muto, M., Mine, S.
Japanese Classification of Esophageal Can-
cer, 12th Edition: Part II.
Esophagus, 2024. 21 (3) : 216-269
2. Ichinose, J., Okamura, A.
The search for cancer using light having
longer wavelength.
Ann. Surg. Oncol., 2024. 31 (4) : 2196-
2197
3. Ishikawa, S., Hirashima, J., Hiroyama, M.,
Ozato, S., Watanabe, M., Terajima, K.
Analysis of factors related to anesthetic
management affecting acute kidney injury
occurring within 72 h after esophagectomy
for esophageal cancer: a historical cohort
study.
JA Clin. Rep., 2024. 10 (1) : 74
4. Izumi, D., Nunobe, S., Ishizuka, N., Yagi,
T., Hayami, M., Makuuchi, R., Ohashi, M.,
Watanabe, M., Sano, T.
Identification of the factor affecting learn-
ing curves of laparoscopic gastrectomy
through the experience at a Japanese
high-volume center over the last decade.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2024. 8 (4) :
604-610
5. Kakeji, Y., Yamamoto, H., Watanabe, M.,
Kono, K., Ueno, H., Doki, Y., Kitagawa, Y.,
Takeuchi, H., Shirabe, K., Seto, Y.
Outcome research on esophagectomy ana-
lyzed using nationwide databases in Japan:
evidences generated from real-world data.
Esophagus 2024. 21 (4) : 411-418
6. Kanamori, J., Watanabe, M., Maruyama,
S., Kanie, Y., Kuriyama, K., Terayama, M.,
Takahashi, N., Tamura, M., Okamura, A.,
Imamura, Y.
Fully robotic side-to-side stapled anasto-
mosis provides less anastomotic leakage
than conventional minimally invasive ap-
proach in Ivor Lewis esophagectomy.
Asian J. Endosc. Surg., 2024. 17 (3) :
e13340
7. Kanamori, J., Watanabe, M.
Robotic-assisted minimally invasive
esophagectomy (RAMIE) —leveraging the
advantages of robotics compared to con-
ventional thoracoscopic surgery.
Ann Esophagus, 2024. 7: 23
8. Kouzu, K., Tsujimoto, H., Imamura, Y.,
Kajiwara, Y., Nearchou, I. P., Einama, T.,
Takamatsu, M., Haraguchi, I., Watanabe,
T., Horiguchi, H., Kishi, Y., Tsuda, H., Wata-
nabe, M., Ueno, H.
Development and validation study of the
prognostic impact of deep learning-deter-
mined myxoid stroma after neoadjuvant
chemotherapy in patients with esophageal
squamous cell carcinoma.
Ann. Surg. Oncol., 2024. 31 (9) : 6300-
6308
9. Kuriyama, K., Okamura, A., Kanamori, J.,
Imamura, Y., Tamura, M., Takahashi, N.,
Terayama, M., Kanie, Y., Maruyama, S.,
Watanabe, M.

Anatomical factor associated with thoracic procedural difficulty in robot-assisted minimally invasive esophagectomy.
Langenbecks Arch. Surg., 2024. 409 (1) : 190

10. Matsuda, S., Irino, T., Okamura, A., Mayanagi, S., Booka, E., Takeuchi, M., Kawakubo, H., Takeuchi, H., Watanabe, M., Kitagawa, Y. ASO visual abstract: Endoscopic evaluation of pathologic complete response using deep neural network in esophageal cancer patients who received neoadjuvant chemotherapy: multicenter retrospective study from four Japanese esophageal centers. Ann. Surg. Oncol., 2024. 31: 2525-2526
11. Matsumiya, G., Sato, Y., Takeuchi, H., Abe, T., Endo, S., Hirata, Y., Ishida, M., Iwata, H., Kamei, T., Kawaharada, N., Kawamoto, S., Kohno, K., Kumamaru, H., Minatoya, K., Motomura, N., Nakahara, R., Okada, M., Saji, H., Saito, A., Shimizu, H., Suzuki, K., Takemura, H., Taketani, T., Toh, Y., Tatsuishi, W., Yamamoto, H., Yasuda, T., Watanabe, M., Yoshimura, N., Tsuchida, M., Sawa, Y.
Thoracic and cardiovascular surgeries in Japan during 2020 : annual report by the Japanese Association for Thoracic Surgery. Gen. Thorac. Cardiovasc. Surg., 2024. 72 (1) : 61-94
12. Mine, S., Tanaka, K., Kawachi, H., Shirakawa, Y., Kitagawa, Y., Toh, Y., Yasuda, T., Watanabe, M., Kamei, T., Oyama, T., Seto, Y., Murakami, K., Arai, T., Muto, M., Doki, Y. Japanese Classification of Esophageal Cancer, 12th Edition: Part I. Esophagus, 2024. 21 (3) : 179-215
13. Nunobe, S., Endo, H., Honda, M., Watanabe, M., Yamamoto, H., Kanaji, S., Kakeji, Y., Kodera, Y., Kitagawa, Y.
Impact of treatment guidelines and pivotal clinical trial results on a surgeon's decision

regarding treatment for gastric cancer: a retrospective cohort study using the National Clinical Database.
Surg. Today, 2024. 54 (9) : 1084-1092

14. Okamura, A., Watanabe, M., Okui, J., Kuriyama, K., Shiraishi, O., Kuroguchi, T., Abe, T., Sato, H., Miyata, H., Kawaguchi, Y., Sato, Y., Nagano, H., Takeno, S., Nakajima, M., Matsuo, K., Murakami, K., Takebayashi, K., Matsumoto, S., Okumura, T., Kakeji, Y., Kono, K., Oridate, N., Toh, Y., Takeuchi, H., Katori, Y.
Esophagectomy for esophageal cancer in patients with a history of total pharyngolaryngectomy: a Japanese nationwide retrospective cohort study. Esophagus, 2024. 21 (4) : 438-446
15. Okamura, A., Watanabe, M., Okui, J., Matsuda, S., Takemura, R., Kawakubo, H., Kakeji, Y., Kono, K., Kitagawa, Y., Takeuchi, H. Outcomes of patients with esophageal squamous cell carcinoma who achieved a pathological complete response in the primary lesion by neoadjuvant treatment: a Japanese nationwide cohort study. Esophagus, 2024. 21 (1) : 2-10
16. Okui, J., Nagashima, K., Matsuda, S., Sato, Y., Okamura, A., Kawakubo, H., Muto, M., Kakeji, Y., Kono, K., Takeuchi, H., Watanabe, M., Doki, Y., Bamba, T., Fukuda, T., Fujiwara, H., Sato, S., Noma, K., Miyata, H., Fujita, T., Kitagawa, Y.
Recurrence-free survival as a surrogate endpoint for overall survival after neoadjuvant chemotherapy and surgery for esophageal squamous cell carcinoma. Br. J. Surg., 2024. 111 (2) : znae038
17. Shimomura, A., Hagiwara, T., Yamada, K., Yokoi, C., Terayama, M., Nohara, K., Igari, T., Kawamura, Y. I.
ASO visual abstract: Induction of kallikrein-related peptidase 13 and TET2/3

- by anticancer drugs and the poor prognosis for patients with esophageal squamous cell carcinoma after preoperative treatment.
Ann. Surg. Oncol., 2024. 31 (1) : 249-250
18. Shimomura, A., Hagiwara, T., Yamada, K., Yokoi, C., Terayama, M., Nohara, K., Igari, T., Kawamura, Y. I.
Induction of kallikrein-related peptidase 13 and TET2/3 by anticancer drugs and poor prognosis of patients with esophageal squamous cell carcinoma after preoperative treatment.
Ann. Surg. Oncol., 2024. 31 (1) : 251-261
 19. Suzuki, T., Yajima, S., Okamura, A., Yoshida, N., Taniyama, Y., Murakami, K., Ohkura, Y., Nakajima, Y., Yagi, K., Fukuda, T., Oga-
wa, R., Hoshino, I., Kunisaki, C., Narumiya, K., Tsubosa, Y., Yamada, K., Shimada, H.
Prognostic impact of serum SCC antigen in the 566 upfront surgery group of esophageal squamous cell carcinoma: a multi-institutional study of the Japan Esophageal Society.
Ann. Thorac. Cardiovasc. Surg., 2024. 30 (1) : 24-00028
 20. Takahashi, N., Okamura, A., Ishii, M., Moriya, N., Yamaguchi, A., Inamochi, Y., Takagi, K., Nakaya, E., Kuriyama, K., Terayama, M., Tamura, M., Kanamori, J., Imamura, Y., Saino, Y., Watanabe, M.
Intensified outpatient nutrition management improves body weight and skeletal muscle loss after esophageal cancer surgery: a single-center, retrospective, single-arm clinical study.
Langenbecks Arch. Surg., 2024. 409 (1) : 333
 21. Tanaka, K., Fujita, T., Nakajima, Y., Okamura, A., Kawada, K., Watanabe, M., Doki, Y.
Validation of the cutoff values for the number of metastatic lymph nodes for esophageal cancer staging: a multi-institutional analysis of 655 patients in Japan.
Esophagus, 2024. 21 (4) : 464-471
 22. Terayama, M., Okamura, A., Kanamori, J., Watanabe, M.
ASO author reflections: Highlighted advantages of minimally invasive esophagectomy over open esophagectomy in locally advanced esophageal cancer.
Ann. Surg. Oncol., 2024. 31 (9) : 6032-6033
 23. Terayama, M., Okamura, A., Kuriyama, K., Takahashi, N., Tamura, M., Kanamori, J., Imamura, Y., Watanabe, M.
ASO visual abstract: Minimally invasive esophagectomy provides better short- and long-term outcomes over open esophagectomy in locally advanced esophageal cancer.
Ann. Surg. Oncol., 2024. 31 (9) : 5780
 24. Terayama, M., Okamura, A., Kuriyama, K., Takahashi, N., Tamura, M., Kanamori, J., Imamura, Y., Watanabe, M.
Minimally invasive esophagectomy provides better short- and long-term outcomes than open esophagectomy in locally advanced esophageal cancer.
Ann. Surg. Oncol., 2024. 31 (9) : 5748-5756
 25. Terayama, M., Ohashi, M., Ri, M., Makuuchi, R., Hayami, M., Ida, S., Kumagai, K., Sano, T., Nunobe, S.
Possible muscle-sparing advantage and bodyweight maintenance of laparoscopic gastrectomy for older patients with locally advanced gastric cancer.
Langenbecks Arch. Surg., 2024. 409 (1) : 365
 26. Ugai, S., Yao, Q., Takashima, Y., Zhong, Y., Matsuda, K., Kawamura, H., Imamura, Y., Okadome, K., Mima, K., Arima, K., Kosumi, K., Song, M., Meyerhardt, J. A., Giannakis, M., Nowak, J. A., Ugai, T., Ogino, S.

- Clinicopathological, molecular, and prognostic features of colorectal carcinomas with KRAS c.34G>T (p.G12C) mutation. *Cancer Sci.*, 2024. 115 (10) : 3455-3465
27. Watanabe, M., Takahashi, N., Tamura, M., Terayama, M., Kuriyama, K., Okamura, A., Kanamori, J., Imamura, Y.
Gastric conduit reconstruction after esophagectomy.
Dis. Esophagus, 2024. 37 (10) : doae045
 28. Watanabe, M.
Skeletal muscle loss during neoadjuvant therapy for esophageal cancer: Is it an unpreventable event due to tumor progression or manageable by intervention?
Ann. Surg. Oncol., 2024. 31 (12) : 7661-7662
 29. Yoshimura, N., Sato, Y., Takeuchi, H., Abe, T., Endo, S., Hirata, Y., Ishida, M., Iwata, H., Kamei, T., Kawaharada, N., Kawamoto, S., Kohno, K., Kumamaru, H., Minatoya, K., Motomura, N., Nakahara, R., Okada, M., Saji, H., Saito, A., Tsuchida, M., Suzuki, K., Takemura, H., Taketani, T., Toh, Y., Tatsuishi, W., Yamamoto, H., Yasuda, T., Watanabe, M., Matsumiya, G., Sawa, Y., Shimizu, H., Chida, M.
Thoracic and cardiovascular surgeries in Japan during 2021 : Annual report by the Japanese Association for Thoracic Surgery.
Gen. Thorac. Cardiovasc. Surg., 2024. 72 (4) : 254-291
 30. 寺山仁祥, 金森淳, 栗山健吾, 岡村明彦, 今村裕, 渡邊雅之
外科修練医必携: これだけは押さえておきたい
外科日常診療の基礎: 周術期管理: 術後合併症とその対応: 消化管術後の縫合不全: 上部消化管の術後縫合不全.
外科, 2024. 86 (5) : 448-452
 31. 木戸恒陽, 由雄敏之, 石山晃世志, 平澤俊明, 金森淳, 今村裕, 藤崎順子
症例から学ぶ咽頭・食道 ESD : 表在型 Barrett 食道腺癌の ESD : Barrett 食道腺癌 ESD 病理結果が pT1b-SM \geq 500 μ m, 脈管侵襲陽性だった.
消化器内視鏡, 2024. 36 (8) : 1216-1221
 32. 栗山健吾, 金森淳, 高橋直規, 寺山仁祥, 田村真弘, 渡邊雅之
食道癌機能温存手術の最新知見と手術手技: 各論 (手術手技): 機能温存を重視した食道切除後再建.
手術, 2024. 78 (11) : 1777-1783
 33. 渡邊雅之
食道癌 2024 : 基礎・臨床の最新動向: 食道癌の治療: 食道癌の治療戦略: 概論: 胸部食道癌.
日本臨床, 2024. 82 (増刊 3 食道癌 2024) : 260-265
 34. 片岡明美, 阿部朋未, 植弘奈津恵, 吉田奈央, 松永有紀, 春山優理恵, 中平詩, 高畑史子, 井上有香, 山下奈真, 吉田和世, 前田哲代, 稲荷均, 坂井威彦, 中村美穂, 濱口恵子, 高野利実, 渡邊雅之, 上野貴之
がん診療拠点病院とは: がん診療の均てん化を考える: いつでもどこでも誰からでもサバイバーシップケアが受けられる病院を目指して.
日本外科学会雑誌, 2024. 125 (6) : 585-588
 35. 金森淳, 渡邊雅之, 栗山健吾, 寺山仁祥, 高橋直規, 田村真弘, 岡村明彦, 今村裕
2024 年最新版: 外科局所解剖全図: ランドマークの出し方と損傷回避法: 上部消化管: 食道癌に対する頸部郭清に必要な局所解剖.
臨床外科, 2024. 79 (11) : 9-14
 36. 金森淳, 渡邊雅之
食道癌 2024 : 基礎・臨床の最新動向: 食道癌の治療: 外科治療: 食道再建: 大腸を用いた再建法.
日本臨床, 2024. 82 (増刊 3 食道癌 2024) : 358-361
 37. 高橋直規, 金森淳, 岡村明彦, 栗山健吾, 寺山仁祥, 田村真弘, 今村裕, 渡邊雅之

がん研究会有明病院食道外科の技と工夫：食道切除・再建術における反回神経麻痺および縫合不全軽減のための手技のコツと工夫．
臨床外科，2024. 79（8）：879-884

【胃外科】

1. Amada, A., Amada, E., Mitobe, Y., Nunobe, S., Inagaki, Y.
The influence of total fat mass and skeletal muscle mass index on the occurrence of perioperative hypothermia in patients undergoing open gastrectomy.
Yonago Acta Med., 2024. 67（4）：321-328
2. Harada, H., Eto, K., Ohashi, M., Kurihara, N., Ri, M., Makuuchi, R., Ida, S., Hayami, M., Kumagai, K., Sano, T., Nunobe, S.
Equal short-term outcomes of intracorporeal mechanical gastrogastrotomy in laparoscopic pylorus-preserving gastrectomy for cT1N0 gastric cancer in the middle stomach compared with the extracorporeal hand-sewing method.
Surg. Endosc., 2024. 38（6）：3115-3125
3. Hashimoto, Y., Abe, N., Nunobe, S., Kawakubo, H., Sumiyoshi, T., Yoshida, N., Morita, Y., Terashima, M., Saze, Z., Onimaru, M., Otsuji, E., Hoteya, S., Yamashita, H., Fujimura, T., Oyama, T., Ohata, K., Shichijo, S., Tanabe, K., Shuto, K., Ikeya, T., Shinohara, H., Tanabe, S., Hiki, N.
Outcomes of laparoscopic and endoscopic cooperative surgery for gastric submucosal tumors: A retrospective multicenter study at 21 Japanese institutions.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2024. 8（5）：778-786
4. Hayami, M., Ohashi, M., Kurihara, N., Nunobe, S.
Adequate gross resection margin length ensuring pathologically complete resection in gastrectomy for gastric cancer: A systematic review and meta-analysis.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2024. 8（2）：202-213
5. Honda, M., Ri, M., Kinoshita, T., Kawakubo, H., Aizawa, M., Bamba, T., Matsuda, S., Kawamura, H., Yoshida, M., Nunobe, S.
Comparison of the survival outcomes between retrocolic and antecolic Roux-en-Y reconstruction after gastrectomy for gastric cancer.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2024. 8（3）：443-449
6. Hu, Q., Ohashi, M., Ri, M., Makuuchi, R., Irino, T., Hayami, M., Sano, T., Nunobe, S.
Safety of robotic double-flap technique following proximal gastrectomy in the introductory phase compared with laparoscopic procedure: a propensity score-matched analysis.
Surg. Endosc., 2024. 38（10）：5824-5831
7. Izumi, D., Nunobe, S., Ishizuka, N., Yagi, T., Hayami, M., Makuuchi, R., Ohashi, M., Watanabe, M., Sano, T.
Identification of the factor affecting learning curves of laparoscopic gastrectomy through the experience at a Japanese high-volume center over the last decade.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2024. 8（4）：604-610
8. Kitagawa, Y., Matsuda, S., Gotoda, T., Kato, K., Wijnhoven, B., Lordick, F., Bhandari, P., Kawakubo, H., Kodera, Y., Terashima, M., Muro, K., Takeuchi, H., Mansfield, P. F., Kurokawa, Y., So, J., Mönig, S. P., Shitara, K., Rha, S. Y., Janjigian, Y., Takahari, D., Chau, I., Sharma, P., Ji, J., de Manzoni, G., Nilsson, M., Kassab, P., Hofstetter, W. L., Smyth, E. C., Lorenzen, S., Doki, Y., Law, S., Oh, D. Y., Ho, K. Y., Koike, T., Shen, L., van Hillegersberg, R., Kawakami, H., Xu, R. H., Wainberg, Z., Yahagi, N., Lee, Y. Y., Singh, R., Ryu, M. H., Ishihara, R., Xiao, Z., Kusano, C., Grabsch, H. I., Hara, H., Mukaisho, K. I., Makino, T., Kanda, M., Booka, E., Suzuki, S., Hatta, W., Kato, M., Maekawa, A., Kawazoe, A., Yamamoto, S., Nakayama, I.,

- Narita, Y., Yang, H. K., Yoshida, M., Sano, T. Clinical practice guidelines for esophago-gastric junction cancer: Upper GI Oncology Summit 2023. Gastric Cancer, 2024. 27 (3) : 401-425
9. Kodera, Y., Yoshida, K., Kochi, M., Sano, T., Ichikawa, W., Kakeji, Y., Sunakawa, Y., Takeuchi, M., Fujii, M.
Correction: Addition of docetaxel to S-1 results in significantly superior 5-year survival outcomes in Stage III gastric cancer: a final report of the JACCRO GC-07 study. Gastric Cancer, 2024. 27 (5) : 1157
 10. Kumagai, K., Yoshida, M., Ishida, H., Ishizuka, N., Ohashi, M., Makuuchi, R., Hayami, M., Ida, S., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Fujisaki, J., Nunobe, S.
Diagnostic performance of near-infrared fluorescent marking clips in laparoscopic gastrectomy. J. Surg. Res., 2024. 300: 157-164
 11. Kurokawa, Y., Doki, Y., Kitabayashi, R., Yoshikawa, T., Nomura, T., Tsuji, K., Goto, M., Cho, H., Hihara, J., Hiki, N., Nunobe, S., Mizusawa, J., Boku, N., Terashima, M.
Short-term outcomes of preoperative chemotherapy with docetaxel, oxaliplatin, and S-1 for gastric cancer with extensive lymph node metastasis (JCOG1704) . Gastric Cancer, 2024. 27 (2) : 366
 12. Lee, J., Mashima, T., Kawata, N., Yamamoto, N., Morino, S., Inaba, S., Nakamura, A., Kumagai, K., Wakatsuki, T., Takeuchi, K., Yamaguchi, K., Seimiya, H.
Pharmacologic targeting of histone H3K27 acetylation/BRD4-dependent induction of ALDH1A3 for early-phase drug tolerance of gastric cancer. Cancer Res. Commun., 2024. 4 (5) : 1307-1320
 13. Matsui, R., Sagawa, M., Sano, A., Sakai, M., Hiraoka, S. I., Tabei, I., Imai, T., Matsumoto, H., Onogawa, S., Sonoi, N., Nagata, S., Ogawa, R., Wakiyama, S., Miyazaki, Y., Kumagai, K., Tsutsumi, R., Okabayashi, T., Uneno, Y., Higashibeppu, N., Kotani, J.
Impact of perioperative immunonutrition on postoperative outcomes for patients undergoing head and neck or gastrointestinal cancer surgeries: a systematic review and meta-analysis of randomized controlled trials. Ann. Surg., 2024. 279 (3) : 419-428
 14. Matsui, R., Sagawa, M., Inaki, N., Fukunaga, T., Nunobe, S.
Impact of perioperative immunonutrition on postoperative outcomes in patients with upper gastrointestinal cancer: A systematic review and meta-analysis of randomized controlled trials. Nutrients, 2024. 16 (5) : 577
 15. Matsui, R., Ida, S., Ri, M., Makuuchi, R., Hayami, M., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T., Nunobe, S.
Impact of preoperative prealbumin levels on long-term prognosis in patients with gastric cancer after gastrectomy: a retrospective cohort study. Gastric Cancer, 2024. 27 (3) : 611-621
 16. Matsui, R., Nunobe, S., Ri, M., Makuuchi, R., Irino, T., Hayami, M., Ohashi, M., Sano, T.
Prealbumin prognostic score: a novel prognostic indicator after radical gastrectomy in patients with gastric cancer. Cancers (Basel) , 2024. 16 (22) : 3889
 17. Matsui, R., Inaki, N., Tsuji, T., Fukunaga, T.
Preoperative chronic inflammation is a risk factor for postoperative complications independent of body composition in gastric cancer patients undergoing radical gastrectomy. Cancers (Basel) , 2024. 16 (4) : 833

18. Matsuo, H., Matsui, R., Kumagai, K., Ida, S., Saino, Y., Fujihara, A., Takagi, K., Itami, Y., Ishii, M., Moriya, N., Izumi-Mishima, Y., Nomura, K., Tsutsumi, Y. M., Nunobe, S., Tsutsumi, R., Sakaue, H.
Impact of olfactory change on postoperative body weight loss in patients with gastric cancer after gastrectomy.
Nutrients, 2024. 16 (6) : 851
19. Matsuo, H., Matsui, R., Kumagai, K., Ida, S., Saino, Y., Fujiwara, A., Takagi, K., Itami, Y., Ishii, M., Moriya, N., Izumi-Mishima, Y., Nomura, K., Tsutsumi, Y. M., Nunobe, S., Tsutsumi, R., Sakaue, H.
Reply to Lee, S.Y. Comment on "Matsuo et al. Impact of olfactory change on postoperative body weight loss in patients with gastric cancer after gastrectomy. *nutrients* 2024, 16, 851"
Nutrients, 2024. 16 (15) : 2423
20. Nakamura, A., Mashima, T., Lee, J., Inaba, S., Kawata, N., Morino, S., Kumagai, K., Yamaguchi, K., Seimiya, H.
Intratumor transforming growth factor- β signaling with extracellular matrix-related gene regulation marks chemotherapy-resistant gastric cancer.
Biochem. Biophys. Res. Commun., 2024. 721: 150108
21. Nakayama, I., Ohashi, M., Nunobe, S.
Perioperative or neoadjuvant chemotherapy for locally advanced gastric or gastroesophageal junction cancer: from independent evidence in the West, the East, and Japan to global collaboration.
Chin. Clin. Oncol., 2024. 13 (1) : 8
22. Noda, H., Sakata, S., Baba, S., Togashi, Y., Nakano, K., Hirasawa, T., Nakayama, I., Hata, C., Takamatsu, M., Sugawara, E., Yamamoto, N., Fujisaki, J., Nunobe, S., Iwakiri, K., Takeuchi, K., Kawachi, H.
Early gastric cancer with RhoGAP fusion is linked to frequent nodal metastasis and a part of microtubular-mucocellular histology.
Gastric Cancer, 2024. 27 (4) : 772-784
23. Nunobe, S., Endo, H., Honda, M., Watanabe, M., Yamamoto, H., Kanaji, S., Kakeji, Y., Kodera, Y., Kitagawa, Y.
Impact of treatment guidelines and pivotal clinical trial results on a surgeon's decision regarding treatment for gastric cancer: a retrospective cohort study using the National Clinical Database.
Surg. Today, 2024. 54 (9) : 1084-1092
24. Ri, M., Ohashi, M., Makuuchi, R., Hayami, M., Sano, T., Nunobe, S.
Clinical impact of polyglycolic acid mesh to reduce pancreas-related complications after minimally invasive surgery for gastric cancer: a propensity score matching analysis.
J. Gastric. Cancer, 2024. 24 (2) : 220-230
25. Schneider, M. A., Kim, J., Berlth, F., Sugita, Y., Grimminger, P. P., Sano, T., Rosati, R., Baiocchi, G. L., Bencivenga, M., De Manzoni, G., Nunobe, S., Yang, H. K., Gutschow, C. A.
Defining benchmarks for total and distal gastrectomy: global multicentre analysis.
Br. J. Surg., 2024. 111 (2) : znad379
26. Schneider, M. A., Kim, J., Berlth, F., Sugita, Y., Grimminger, P. P., Wijnhoven, B. P. L., Overtoom, H., Gockel, I., Thieme, R., Griffiths, E. A., Butterworth, W., Nienhuser, H., Muller, B., Crnovrsanin, N., Gero, D., Nickel, F., Gisbertz, S., van Berge Henegouwen, M. I., Pucher, P. H., Khan, K., Chaudry, A., Patel, P. H., Pera, M., Dal Cero, M., Garcia, C., Martinez Salinas, G., Kassab, P., Prado Castro, O. A., Norero, E., Wisniewski, P., Putnam, L. R., Lombardi, P. M., Ferrari, G., Gudaityte, R., Maleckas, A., Prodehl, L., Castaldi, A., Prudhomme, M., Lee, H. J., Sano, T., Baiocchi, G. L., De Manzoni, G.,

- Giacopuzzi, S., Bencivenga, M., Rosati, R., Puccetti, F., D'Ugo, D., Nunobe, S., Yang, H. K., Gutschow, C. A., consortium, G. Reconstruction techniques and associated morbidity in minimally invasive gastrectomy for cancer - insights from the Gastro-Benchmark and GASTRODATA databases. *Ann. Surg.*, 2024. 280 (5) : 788-798
27. Terayama, M., Ohashi, M., Ri, M., Makuuchi, R., Hayami, M., Ida, S., Kumagai, K., Sano, T., Nunobe, S.
Possible muscle-sparing advantage and bodyweight maintenance of laparoscopic gastrectomy for older patients with locally advanced gastric cancer.
Langenbecks Arch. Surg., 2024. 409 (1) : 365
 28. Tian, Y., Cheng, M., Shao, Q., Yan, S., Peng, W., Ren, R., Liu, T., Wu, Y., Nunobe, S.
A case-series study of hepatic left lateral segment inversion for surgical field exposure in laparoscopic gastrectomy.
BMC Surg., 2024. 24 (1) : 327
 29. Toriumi, T., Terashima, M., Mizusawa, J., Uemura, K., Kurokawa, Y., Takiguchi, S., Doki, Y., Hihara, J., Imamura, H., Takagane, A., Ito, S., Yoshikawa, T., Sano, T., Sasako, M.
Association between the antiadhesion membrane and small bowel obstruction after open gastrectomy: a supplemental analysis of the randomized controlled JCOG1001 trial.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2024. 8 (1) : 30-39
 30. Uyama, I., Shibasaki, S., Inaki, N., Ehara, K., Oshiro, T., Okabe, H., Obama, K., Kasama, K., Kinoshita, T., Kurokawa, Y., Kojima, K., Shiraishi, N., Suda, K., Takiguchi, S., Tokunaga, M., Naitoh, T., Nagai, E., Nishizaki, M., Nunobe, S., Fukunaga, T., Hosoda, K., Sano, T., Sagawa, H., Shindo, K., Nakagawa, M., Hiratsuka, T.
Practice guidelines on endoscopic surgery for qualified surgeons by the endoscopic surgical skill qualification system: Stomach. *Asian J. Endosc. Surg.*, 2024. 17 (4) : e13365
 31. Yagi, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Ishizuka, N., Yamaguchi, T., Imai, Y., Tsuda, M., Haruta, S., Fukunaga, H., Yamada, T., Goto, M.
Risk factors for early recurrence after radical gastrectomy followed by adjuvant chemotherapy for stage II or III gastric cancer: a multicenter, retrospective study.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2024. 54 (4) : 403-415
 32. Yamaguchi, T., Kumagai, K., Yagi, S., Nomura, T., Nagashima, K., Watanabe, M., Makuuchi, R., Kawakami, K., Matsushima, T., Kadowaki, S., Haruta, S., Cho, H., Kaki-hara, N., Otsuka, S., Yamada, T., Imai, Y., Boku, N.
Efficacy of chemotherapy for patients with gastric cancer with early recurrence during or after adjuvant chemotherapy with S-1 alone: a multicenter retrospective study.
Sci. Rep., 2024. 14 (1) : 21854
 33. Yoshikawa, T., Terashima, M., Mizusawa, J., Nunobe, S., Nishida, Y., Yamada, T., Kaji, M., Nomura, T., Hato, S., Choda, Y., Yabusaki, H., Yoshida, K., Misawa, K., Masuzawa, T., Tsuda, M., Kawachi, Y., Katayama, H., Fukuda, H., Kurokawa, Y., Boku, N., Sano, T., Sasako, M.
5-year follow-up results of a JCOG1104 (OPAS-1) phase III non-inferiority trial to compare 4 courses and 8 courses of S-1 adjuvant chemotherapy for pathological stage II gastric cancer.
Gastric Cancer, 2024. 27 (1) : 155-163
 34. 伊丹優貴子, 片岡明美, 榎田滋穂, 中屋恵梨香, 高木久美, 松下亜由子, 川名加織, 斎野容子, 井田智, 熊谷厚志
乳がん関連上肢リンパ浮腫患者における体脂肪量と浮腫の関連.

学会誌 JSPEN, 2024. 6 (3) : 133-138

35. 佐野武
編集ペン：外科カンファレンスの英語化．
外科, 2024. 86 (1) : 100
36. 幕内梨恵
これからの胃癌診療：早期胃癌に対する低侵襲
外科手術．
臨床消化器内科, 2024. 39 (8) : 890-896
37. 李基成, 布部創也
噴門側胃切除の再建法は？：上川法 vs.SOFY 法
vs. ダブルトラクト法（胃癌）：上川法の立場か
ら：腹腔鏡下噴門側胃切除・観音開き再建法の
手技と工夫．
消化器外科, 2024. 47 (5) : 584-589
38. 松井亮太
がんサバイバーを支える：栄養・身体活動支援
の充実に向けて：高齢がんサバイバーのサルコ
ペニア, フレイルと低栄養への対策．
臨床栄養, 2024. 145 (5) : 594-600
39. 松井亮太
ホスピタリストのための栄養療法：(Part : 3)
入院編：急性期からの栄養療法各論：周術期の
栄養療法：消化器がん領域での評価と介入．
Hospitalist, 2024. 11 (3) : 738-746
40. 森戸淳
各論：Ⅱ．胃《Note》噴門部 LECS のテクニカ
ル Tips : 動画付き．
消化器内視鏡, 2024. 36 (7) : 不明
41. 森戸淳, 布部創也
消化管粘膜下腫瘍のすべて：胃：噴門部 LECS
のテクニカル Tips.
消化器内視鏡, 2024. 36 (7) : 1030-1032
42. 熊谷厚志, 比企直樹, 布部創也
外科医の働き方改革を考える：医療の質を担保
する働き方改革とは：北欧外科医の働き方と抱
える課題．
手術, 2024. 78 (1) : 94-98

43. 石崎秀信, 小出恵子, 澤田幸子, 浅井洋, 佐野
武
外科臨床研究・臨床試験：どう計画し, どう取
り組むか：総論：臨床研究法施行規則を理解す
る．
外科, 2024. 86 (11) : 1167-1173
44. 胡慶江, 布部創也
2024 年最新版：外科局所解剖全図：ランドマー
クの出し方と損傷回避法：上部消化管：胃癌に
対する幽門下リンパ節郭清に必要な局所解剖．
臨床外科, 2024. 79 (11) : 45-49
45. 速水克, 李基成, 幕内梨恵, 入野誠之, 布部創
也
進行胃癌手術のモダリティーの長短を考える
（ロボット, 腹腔鏡, 開腹）：局所進行胃癌に対
する低侵襲胃全摘術．
癌の臨床, 2024. 68 (4) : 231-238

【大腸外科】

1. Ando, Y., Sakurai, T., Ozaki, K., Matsui, S.,
Mukai, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Na-
kayama, I., Shigematsu, Y., Oba, A., Chino,
A., Fukunaga, Y.
Integrating surgical intervention and
watch-and-wait approach in dMMR meta-
static rectal cancer with pembrolizumab: a
case report.
Surg. Case Rep., 2024. 10 (1) : 198
2. Chen, M., Mashima, T., Oishi, T., Muramat-
su, Y., Seto, Y., Takamatsu, M., Kawata,
N., Morino, S., Nakamura, A., Inaba, S.,
Yuan, X., Maruyama, K., Suzuki, M., Sato,
A., Yoshida, H., Jang, M. K., Mizutani, A.,
Takeuchi, K., Yamaguchi, K., Shirai, F.,
Nagayama, S., Katayama, R., Seimiya, H.
APC/PIK3CA mutations and β -catenin sta-
tus predict tankyrase inhibitor sensitivity of
patient-derived colorectal cancer cells.
Br. J. Cancer, 2024. 130 (1) : 151-162
3. Emoto, S., Fukunaga, Y., Takamatsu, M.,
Kawachi, H., Sano, S., Tominaga, T., Mukai,
T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T.,
Konishi, T., Nagayama, S., Ueno, M.

Prognostic factors of para-aortic lymph node metastasis from colorectal cancer in highly selected patients undergoing para-aortic lymph node dissection.
Surg. Today, 2024. 54 (4) : 356

4. Fujiyoshi, K., Sudo, T., Fujita, F., Tanihara, S., Ishida, H., Shichijo, S., Chino, A., Nagasaki, T., Takao, A., Sasaki, K., Akagi, K., Matsubara, T., Ueno, H., Hirata, K., Miyakura, Y., Ishikawa, T., Sunami, E., Takahashi, Y., Yamaguchi, T., Tanakaya, K., Tomita, N., Ajioka, Y.
Marital status after colorectal surgery in familial adenomatous polyposis: a nationwide multicenter study in Japan.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (9) : 1274-1283
5. Fukata, K., Fukunaga, Y., Hiyoshi, Y., Mukai, T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Nagayama, S., Akiyoshi, T.
Clinical outcomes and prognostic factors for R0 resected colorectal cancer with synchronous peritoneal metastasis : a retrospective study.
J. Anus Rectum Colon, 2024. 8 (4) : 365-374
6. Goto, K., Watanabe, J., Nagasaki, T., Uemura, M., Ozawa, H., Kurose, Y., Akagi, T., Ichikawa, N., Iijima, H., Inomata, M., Takeuchi, A., Naitoh, T.
Impact of the endoscopic surgical skill qualification system on conversion to laparotomy after low anterior resection for rectal cancer in Japan (a secondary analysis of the EnSSURE study) .
Surg. Endosc., 2024. 38 (5) : 2454-2464
7. Gries, J. J., Virk, H. U. H., Chen, B., Sakamoto, T., Alam, M., Krittanawong, C.
Advancements in revascularization strategies for acute mesenteric ischemia: a comprehensive review.
J. Clin. Med., 2024. 13 (2) : 570

8. Gries, J. J., Sakamoto, T., Chen, B., Virk, H. U. H., Alam, M., Krittanawong, C.
Revascularization strategies for acute and chronic mesenteric ischemia: a narrative review.
J. Clin. Med., 2024. 13 (5) : 1217
9. Gunji, D., Abe, Y., Muraoka, S., Narumi, R., Isoyama, J., Ikemoto, N., Ishida, M., Shinkura, A., Tomonaga, T., Nagayama, S., Takahashi, Y., Fukunaga, Y., Sakai, Y., Obama, K., Adachi, J.
Longitudinal phosphoproteomics reveals the PI3K-PAK1 axis as a potential target for recurrent colorectal liver metastases.
Cell Rep., 2024. 43 (12) : 115061
10. Hamabe, A., Takemasa, I., Kotake, M., Nakano, D., Hasegawa, S., Shiomi, A., Numata, M., Sakamoto, K., Kimura, K., Hanai, T., Naitoh, T., Fukunaga, Y., Kinugasa, Y., Watanabe, J., Kawamura, J., Ozawa, M., Okabayashi, K., Matoba, S., Takano, Y., Uemura, M., Kanemitsu, Y., Sakai, Y., Watanabe, M.
Feasibility of robotic-assisted surgery in advanced rectal cancer: a multicentre prospective phase II study (VITRUVIANO trial) .
BJS Open, 2024. 8 (3) : zrae048
11. Ito, S., Kinugasa, Y., Yamauchi, S., Sato, H., Hirakawa, A., Ishihara, S., Shiomi, A., Kanemitsu, Y., Suto, T., Takahashi, H., Itabashi, M., Shiozawa, M., Hiyoshi, M., Kobatake, T., Komori, K., Egi, H., Ozawa, H., Yamaguchi, T., Inada, R., Ito, M., Hirano, Y., Furutani, A., Tanabe, Y., Ueno, H., Ohue, M., Hida, K., Kawai, K., Sunami, E., Ishida, H., Uehara, K., Watanabe, J., Hotchi, M., Ishibe, A., Takii, Y., Hiro, J., Numata, M., Takemasa, I., Kato, T., Kakeji, Y., Hirata, A., Ajioka, Y.
Long-term outcome after surgical resection of paraaortic lymph node metastasis of colorectal cancer: a multicenter retrospective study.

- Dis. Colon Rectum, 2024. 67 (11) : 1423-1436
12. Ito, S., Tsukamoto, S., Kagawa, H., Kanemitsu, Y., Hiro, J., Kawai, K., Nozawa, H., Takii, Y., Yamaguchi, T., Akagi, Y., Suto, T., Hirano, Y., Ozawa, H., Komori, K., Ohue, M., Toiyama, Y., Shinji, S., Minami, K., Shimizu, T., Sakamoto, K., Uehara, K., Sugihara, K., Kinugasa, Y., Ajioka, Y.
Short- and long-term outcomes of surgical treatment for inguinal lymph node metastasis in rectal and anal canal adenocarcinoma.
Colorectal Dis., 2024. 26 (7) : 1378-1387
 13. Kagawa, H., Kinugasa, Y., Yamaguchi, T., Ohue, M., Kawai, K., Hiro, J., Shinji, S., Nozawa, H., Hirano, Y., Komori, K., Takii, Y., Suto, T., Tsukamoto, S., Akagi, Y., Ozawa, H., Toiyama, Y., Minami, K., Shimizu, T., Uehara, K., Sakamoto, K., Mori, K., Sugihara, K., Ajioka, Y.
Impact of resection for ovarian metastases from colorectal cancer and clinicopathologic analysis: a multicenter retrospective study in Japan.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2024. 8 (2) : 273-283
 14. Kono, E., Nomura, S., Sakamoto, T., Okoshi, K., Tanaka, C., Shirabe, K., Lee, S. W., Kitagawa, Y.
Gender equity in surgical instruments: ergonomics of ring-handled forceps.
Minim. Invasive Ther. Allied Technol., 2024. 33 (1) : 21-28
 15. Miyakura, Y., Yamaguchi, T., Lefor, A. K., Tamaki, S., Takao, A., Takao, M., Mori, Y., Chikatani, K., Ishida, H., Kono, M., Takeuchi, Y., Ishikawa, H., Nagasaki, T., Sasaki, K., Matsubara, T., Hirata, K., Taniguchi, F., Tanakaya, K., Tomita, N., Ajioka, Y.
Clinical features and distribution of the APC variant in duodenal and ampullary polyps in patients with familial adenomatous polyposis: a multicenter retrospective cohort study in Japan.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (2) : 169-178
 16. Morino, S., Mashima, T., Shirai, F., Nagayama, S., Katayama, R., Seimiya, H.
BET protein-dependent E2F pathway activity confers bell-shaped type resistance to tankyrase inhibitors in APC-mutated colorectal cancer.
Cancer Lett., 2024. 584: 216632
 17. Mukai, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Hiyoshi, Y., Yamaguchi, T., Kawachi, H., Fukunaga, Y.
The impact of staple transection of the dorsal venous complex and urethra on intraoperative blood loss in cooperative laparoscopic and transperineal endoscopic pelvic exenteration.
Surg. Today, 2024. 54 (1) : 23-30
 18. Mukai, T., Matsui, S., Sakurai, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y.
Short-term outcomes of the "minimal skin incision and no stoma" procedure in needlescopic intersphincteric resection and delayed coloanal anastomosis for low rectal cancer.
Tech. Coloproctol., 2024. 28 (1) : 110
 19. Nakano, T., Takao, S., Dairaku, K., Uno, N., Low, S. A., Hashimoto, M., Tsuda, Y., Hisamatsu, Y., Toshima, T., Yonemura, Y., Masuda, T., Eto, K., Ikegami, T., Fukunaga, Y., Niida, A., Nagayama, S., Mimori, K.
Implementable assay for monitoring minimum residual disease after radical treatment for colorectal cancer.
Cancer Sci., 2024. 115 (6) : 1989-2001
 20. Nishikawa, Y., Horimatsu, T., Oka, S., Yamada, T., Mitsui, K., Yamamoto, H., Takahashi, K., Shiomi, A., Hotta, K., Takeuchi, Y.,

- Kuwai, T., Ishida, F., Kudo, S. E., Saito, S., Ueno, M., Sunami, E., Yamano, T., Itabashi, M., Ohtsuka, K., Kinugasa, Y., Matsumoto, T., Sugai, T., Uraoka, T., Kurahara, K., Yamaguchi, S., Kato, T., Okajima, M., Kashida, H., Fujita, F., Ikematsu, H., Ito, M., Esaki, M., Kawai, M., Yao, T., Hamada, M., Koda, K., Fukai, Y., Komori, K., Saitoh, Y., Kanemitsu, Y., Takamaru, H., Yamada, K., Nozawa, H., Takayama, T., Togashi, K., Shinto, E., Torisu, T., Toyoshima, A., Ohmiya, N., Kato, T., Otsuji, E., Nagata, S., Hashiguchi, Y., Sugihara, K., Ajioka, Y., Tanaka, S.
- Outcomes of metastatic and unresectable small bowel adenocarcinoma in Japan according to the treatment strategy: a nationwide observational study.
- JCO Glob. Oncol., 2024. 10: e2300392
21. Numata, M., Yamaguchi, T., Shiomi, A., Inada, R., Shiozawa, M., Kazama, K., Hotchi, M., Yamamoto, D., Hasegawa, S., Miguchi, M., Ohnuma, S., Uehara, K., Munakata, K., Kinugasa, Y., Horie, H., Yamaguchi, S., Takeshima, T., Hida, K., Akagi, T., Kagawa, H., Oyamada, S., Rino, Y., Sakai, Y., Watanabe, M., Naitoh, T.

Prospective multicenter comprehensive survey on male sexual dysfunction following laparoscopic, robotic, and transanal approaches for rectal cancer (the LANDMARC Study)

Ann. Surg., 2024: in press

 22. Oka, S., Tanaka, S., Kajiwara, Y., Saito, S., Fukunaga, Y., Takamatsu, M., Kawachi, H., Hotta, K., Ikematsu, H., Kojima, M., Saito, Y., Yamada, M., Kanemitsu, Y., Sekine, S., Nagata, S., Yamada, K., Kobayashi, N., Ishihara, S., Saitoh, Y., Matsuda, K., Togashi, K., Komori, K., Ishiguro, M., Kuwai, T., Okuyama, T., Ohuchi, A., Ohnuma, S., Sakamoto, K., Sugai, T., Katsumata, K., Matsushita, H. O., Yamano, H. O., Eda, H., Uraoka, T., Akimoto, N., Kobayashi, H., Sugihara, K., Ueno, H.

Correction to: Treatment decision for locally resected T1 colorectal carcinoma-verification of the Japanese guideline criteria for additional surgery based on long-term clinical outcomes.

Am. J. Gastroenterol., 2024. 119 (11) : 2352

 23. Oka, S., Tanaka, S., Kajiwara, Y., Saito, S., Fukunaga, Y., Takamatsu, M., Kawachi, H., Hotta, K., Ikematsu, H., Kojima, M., Saito, Y., Yamada, M., Kanemitsu, Y., Sekine, S., Nagata, S., Yamada, K., Kobayashi, N., Ishihara, S., Saitoh, Y., Matsuda, K., Togashi, K., Komori, K., Ishiguro, M., Kuwai, T., Okuyama, T., Ohuchi, A., Ohnuma, S., Sakamoto, K., Sugai, T., Katsumata, K., Matsushita, H. O., Yamano, H. O., Eda, H., Uraoka, T., Akimoto, N., Kobayashi, H., Sugihara, K., Ueno, H.

Treatment decision for locally resected T1 colorectal carcinoma-verification of the Japanese guideline criteria for additional surgery based on long-term clinical outcomes.

Am. J. Gastroenterol., 2024. 119 (8) : 1483-1491

 24. Okamura, K., Wang, L., Nagayama, S., Yamashita, M., Tate, T., Matsumoto, S., Takamatsu, M., Kitano, S., Kiyotani, K., Nakamura, Y.

Characterization of double-negative T cells in colorectal cancers and their corresponding lymph nodes.

Oncoimmunology, 2024. 13 (1) : 2373530

 25. Okazaki, T., Omotehara, T., Kawata, S., Amano, T., Enomoto, M., Nagakawa, Y., Itoh, M.

Two types of variational artery's course from the superior mesenteric artery to supply the splenic flexure: gross anatomical study.

Dis. Colon Rectum, 2024. 67 (1) : 120-128

26. Ota, E., Fukunaga, Y., Mukai, T., Hiyoshi, Y., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T. Cytoreductive surgery without intra-peritoneal chemotherapy for metachronous colorectal peritoneal metastases. *World J. Surg. Oncol.*, 2024. 22 (1) : 205
27. Ota, E., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Mukai, T., Hiyoshi, Y., Yamaguchi, T., Fukunaga, Y. Incidence and risk factors of bowel dysfunction after minimally invasive rectal cancer surgery and discrepancies between the Wexner score and the low anterior resection syndrome (LARS) score. *Surg. Today*, 2024. 54 (7) : 763-770
28. Ouchi, A., Komori, K., Masahiro, T., Toriyama, K., Kajiwar, Y., Oka, S., Fukunaga, Y., Hotta, K., Ikematsu, H., Tsukamoto, S., Nagata, S., Yamada, K., Konno, M., Ishihara, S., Saitoh, Y., Matsuda, K., Togashi, K., Ishiguro, M., Kuwai, T., Okuyama, T., Ohuchi, A., Ohnuma, S., Sakamoto, K., Sugai, T., Katsumata, K., Matsushita, H. O., Nakai, K., Uraoka, T., Akimoto, N., Kobayashi, H., Ajioka, Y., Sugihara, K., Ueno, H. How does omitting additional surgery after local excision affect the prognostic outcome of patients with high-risk T1 colorectal cancer? *Ann. Surg.*, 2024. 279 (2) : 290-296
29. Sakimoto, Y., Kumegawa, K., Matsui, S., Yamaguchi, T., Mukai, T., Okabayashi, K., Mori, S., Kitagawa, Y., Akiyoshi, T., Maruyama, R. Single-cell RNA-seq analysis of cancer-endothelial cell interactions in primary tumor and peritoneal metastasis from a single patient with colorectal cancer. *BJC Rep.*, 2024. 2 (1) : 88
30. Sano, S., Fukunaga, Y., Sakamoto, T., Hiyoshi, Y., Mukai, T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T. Laparoscopic resection for locally advanced rectal cancer: propensity score-matched analysis. *Br. J. Surg.*, 2024. 111 (1) : znad350
31. Takahashi, Y., Morimura, R., Tsukamoto, K., Gomi, S., Kato, A., Mizukami, M., Naito, Y., Irie, S., Nagayama, S., Shinozaki, E., Yamaguchi, K., Fujita, N., Kitano, S., Katayama, R., Matsusaki, M. In vitro throughput screening of anticancer drugs using patient-derived cell lines cultured on vascularized three-dimensional stromal tissues. *Acta Biomater.*, 2024. 183: 111-129
32. Tamaru, Y., Kuwai, T., Kajiwar, Y., Oka, S., Saito, S., Fukunaga, Y., Kawachi, H., Takamatsu, M., Hotta, K., Ikematsu, H., Kojima, M., Saito, Y., Kanemitsu, Y., Yamada, M., Sekine, S., Tanaka, S., Nagata, S., Nakamura, T., Yamada, K., Konno, M., Ishihara, S., Saitoh, Y., Matsuda, K., Togashi, K., Komori, K., Ishiguro, M., Okuyama, T., Ohuchi, A., Ohnuma, S., Sakamoto, K., Sugai, T., Katsumata, K., Matsushita, H. O., Yamano, H. O., Nakai, K., Uraoka, T., Akimoto, N., Kobayashi, H., Ajioka, Y., Sugihara, K., Ueno, H. Long-term outcomes of additional surgery after endoscopic resection versus primary surgery for T1 colorectal cancer. *Am. J. Gastroenterol.*, 2024. 119 (12) : 2418-2425
33. Udagawa, S., Osumi, H., Kozuki, R., Ooki, A., Wakatsuki, T., Kurihara, N., Mukai, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y., Yamaguchi, K., Shinozaki, E. Clinical utility of the carcinoembryonic antigen level in patients with stage III colon cancer after surgery and adjuvant chemotherapy. *Surg. Today*, 2024. 54 (7) : 692-701

34. Yatabe, Y., Hanaoka, M., Hanazawa, R., Hirakawa, A., Mukai, T., Kimura, K., Yamanoi, K., Kono, J., Yokota, M., Takahashi, H., Kobayashi, A., Kobayashi, K., Ichikawa, N., Yasui, M., Nakane, K., Yamamoto, M., Takenaka, A., Nakamura, Y., Takemasa, I., Yabusaki, N., Akamoto, S., Tatarano, S., Murata, K., Manabe, T., Fujimura, T., Kawamura, M., Egi, H., Yamaguchi, S., Terai, Y., Inoue, S., Ito, A., Kinugasa, Y.
Robotic versus open and laparoscopic pelvic exenterations for pelvic cancer: a multicenter propensity-matched analysis in Japan.
Surg. Endosc., 2024. 38 (8) : 4390-4401
35. 佐藤健太郎
直腸癌(Rb,cT3N1,cCRM-)に対する治療選択; 術前療法 vs. 側方郭清: 術前療法の立場から.
消化器外科, 2024. 47 (8) : 946-950
36. 南原翔, 山口智弘, 松井信平, 向井俊貴, 秋吉高志, 福長洋介
ロボット支援結腸癌手術の現在地: ロボット支援結腸癌手術における体腔内オーバーラップ吻合のコツと方法.
手術, 2024. 78 (10) : 1643-1650
37. 向井俊貴, 秋吉高志
JSES 技術認定取得をめざせ 2025: 大腸: 腹腔鏡下 S 状結腸切除術.
臨床外科, 2024. 79 (13) : 1360-1366
38. 坂本貴志, 山口智弘, 甲津卓実, 野口竜剛, 松井信平, 向井俊貴, 秋吉高志, 福長洋介
2024 年最新版: 外科局所解剖全図: ランドマークの出し方と損傷回避法: 下部消化管: 直腸間膜全切除 (TME) に必要な局所解剖.
臨床外科, 2024. 79 (11) : 136-141
39. 小澤直也, 山口智弘, 向井俊貴, 秋吉高志, 福長洋介
ロボット支援手術 標準治療としてのさらなる普及を目指して: 消化器外科領域のロボット支援手術: 直腸切除術: ロボット支援下直腸手術に対する標準的手術手技.
日本臨床, 2024. 82 (増刊 1 ロボット支援手術) : 197-203
40. 甲津卓実, 山口智弘, 秋吉高志
消化器外科領域におけるロボット手術の最前線: 脾彎曲部癌に対するロボット支援手術.
医学のあゆみ, 2024. 288 (6) : 481-485
41. 秋山貴彦, 福長洋介, 野口竜剛, 坂本貴志, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志
エキスパートから学ぶ大腸癌に対するロボット支援下手術の実際: ロボット支援下腹腔鏡下結腸右半切除術.
外科, 2024. 86 (13) : 1357-1363
42. 野口竜剛
全国消化器外科紹介: がん研究会有明病院消化器外科.
消化器外科, 2024. 47 (4) : 489-492

【肝胆脾外科】

1. Baba, H., Oba, A., Tanaka, K., Miura, T., Ban, D., Edanami, M., Ishikawa, Y., Ohgi, K., Tanaka, H., Shintakuya, R., Ikenaga, N., Ijichi, T., Kiya, Y., Muranushi, R., Yamaki, S., Miyazaki, N., Takeuchi, S., Aoki, S., Mizui, T., Tanaka, M., Ueda, H., Dei, H., Takami, H., Okada, K., Nakata, K., Mataka, Y., Osakabe, H., Shibuya, K., Hashimoto, D., Inoue, Y., Hirano, S., Unno, M., Esaki, M., Kitago, M., Akahoshi, K., Sugiura, T., Ebata, T., Uemura, K., Nakamura, M., Otsuka, T., Nagakawa, Y., Fujii, T., Satoi, S., Takahashi, Y.
The efficacy of wrapping with polyglycolic acid mesh and fibrin glue in preventing clinically relevant pancreatic fistula after minimally invasive distal pancreatectomy (WRAP Study) : study protocol for a multicenter randomized controlled trial in Japan.
BMC Surg., 2024. 24 (1) : 314
2. Girardet, R., Knebel, J. F., Dromain, C., Viotti Violi, N., Tsoumakidou, G., Villard, N., Denys, A., Halkic, N., Demartines, N., Kobayashi, K., Digkila, A., Schaefer, N., Prior, J. O., Boughdad, S., Duran, R.

- Anatomical quantitative volumetric evaluation of liver segments in hepatocellular carcinoma patients treated with selective internal radiation therapy: Key parameters influencing untreated liver hypertrophy. *Cancers (Basel)* , 2024. 16 (3) : 586
3. Gunji, D., Abe, Y., Muraoka, S., Narumi, R., Isoyama, J., Ikemoto, N., Ishida, M., Shinkura, A., Tomonaga, T., Nagayama, S., Takahashi, Y., Fukunaga, Y., Sakai, Y., Obama, K., Adachi, J.
Longitudinal phosphoproteomics reveals the PI3K-PAK1 axis as a potential target for recurrent colorectal liver metastases. *Cell Rep.*, 2024. 43 (12) : 115061
 4. Hirose, Y., Oba, A., Takamatsu, M., Hamada, T., Takeda, T., Suzuki, T., Maekawa, A., Kitano, Y., Sato, S., Kobayashi, K., Omiya, K., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Sasaki, T., Ozaka, M., Takeuchi, K., Sasahira, N., Inoue, Y., Wakai, T., Takahashi, Y.
Caveolin-1 expression is a predictor of survival and recurrence patterns in resected pancreatic ductal adenocarcinoma. *Pancreatology*, 2024. 24 (7) : 1021-1030
 5. Ichida, H., Imamura, H., Takahashi, A., Yoshioka, R., Mise, Y., Inoue, Y., Takahashi, Y., Saiura, A.
Evaluation of pancreatic morphometric parameters, exocrine function, and nutritional status and their causal relationships in long-term survivors following pancreatectomy. *Surgery*, 2024. 176 (4) : 1189-1197
 6. Ichida, A., Arita, J., Hatano, E., Eguchi, S., Saiura, A., Nagano, H., Shindoh, J., Hashimoto, M., Takemura, N., Taura, K., Sakamoto, Y., Takahashi, Y., Seyama, Y., Sasaki, Y., Uemura, K., Kokudo, N., Hasegawa, K.
A multicenter phase 2 trial evaluating the efficacy and safety of preoperative lenvatinib therapy for patients with advanced hepatocellular carcinoma (LENS-HCC Trial) . *Liver Cancer*, 2024. 13 (3) : 322-334
 7. Kato, S., Shigematsu, Y., Saito, R., Ito, H., Inamura, K.
Schistosoma japonicum-related hepatitis: potential contributor to hepatocellular carcinoma. *QJM*, 2024. 117 (10) : 737-738
 8. Kiritani, S., Ono, Y., Takamatsu, M., Yoshio, S., Miyashita, M., Oba, A., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y., Saiura, A., Takahashi, Y.
Unique biology of pancreatic ductal adenocarcinoma accompanied by rapidly impaired diabetes: A favorable long-term survival after curative resection. *Ann. Surg. Oncol.*, 2024. 31 (1) : 514-524
 9. Kitano, Y., Inoue, Y., Kobayashi, H., Kobayashi, K., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
Development of the multiple scope transition method in robotic pancreaticoduodenectomy. *Surg. Endosc.*, 2024. 38 (10) : 6169-6176
 10. Kitano, Y., Inoue, Y., Sato, Y., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Matsueda, K., Baba, H., Takahashi, Y.
Management of potential portal vein thrombus during laparoscopic right hemihepatectomy following portal vein embolization. *Langenbecks Arch. Surg.*, 2024. 409 (1) : 56
 11. Kitano, Y., Ono, Y., Kobayashi, K., Oba, A., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y., Shinozaki, E., Yamaguchi, K., Saiura, A., Baba, H., Takahashi, Y.
Neoadjuvant chemotherapy for borderline resectable colorectal cancer liver metastases: A single-institution retrospective study. *HPB (Oxford)* , 2024. 26 (2) : 282-290

12. Kobayashi, S., Nakachi, K., Ikeda, M., Konishi, M., Ogawa, G., Sugiura, T., Yanagimoto, H., Morinaga, S., Wada, H., Shimada, K., Takahashi, Y., Nakagohri, T., Kamata, K., Shimizu, Y., Ajiki, T., Hirano, S., Gotohda, N., Ueno, M., Okusaka, T., Furuse, J.
Feasibility of S-1 adjuvant chemotherapy after major hepatectomy for biliary tract cancers: An exploratory subset analysis of JCOG1202.
Eur. J. Surg. Oncol., 2024. 50 (2) : 107324
13. Kobayashi, K., Shitara, C., Halkic, N.
Major hepatectomy following liver venous deprivation.
Safe major hepatectomy after preoperative liver regeneration : preoperative PVE, two-satage hepatotomy, ALPPS and hepatic vein deprivation. (Makuuchi, M., Sakamoto, Y., eds.) , London, Academic Press: pp.217-226, 2024
14. Lucocq, J., Hawkyard, J., Haugk, B., Mownah, O., Menon, K., Furukawa, T., Inoue, Y., Hirose, Y., Sasahira, N., Feretis, M., Balakrishnan, A., Ceresa, C., Davidson, B., Pande, R., Dasari, B., Tanno, L., Karavias, D., Helliwell, J., Young, A., Nunes, Q., Urbonas, T., Silva, M., Gordon-Weeks, A., Barrie, J., Gomez, D., Van Laarhoven, S., Robertson, F., Nawara, H., Doyle, J., Bhogal, R., Harrison, E., Roalso, M., Ciprani, D., Aroori, S., Ratnayake, B., Koea, J., Capurso, G., Bellotti, R., Stättner, S., Alsaoudi, T., Bhardwaj, N., Rajesh, S., Jeffery, F., Connor, S., Cameron, A., Jamieson, N., Sheen, A., Mittal, A., Samra, J., Gill, A., Roberts, K., Søreide, K., Pandanaboyana, S.
Adjuvant chemotherapy for adenocarcinoma arising from intraductal papillary mucinous neoplasia: multicentre ADENO-IPMN study.
Br. J. Surg., 2024. 111 (4) : znae100
15. Lucocq, J., Haugk, B., Joseph, N., Hawkyard, J., White, S., Mownah, O., Menon, K., Furukawa, T., Inoue, Y., Hirose, Y., Sasahira, N., Mittal, A., Samra, J., Sheen, A., Feretis, M., Balakrishnan, A., Ceresa, C., Davidson, B., Pande, R., Dasari, B. V. M., Tanno, L., Karavias, D., Helliwell, J., Young, A., Nunes, Q., Urbonas, T., Silva, M., Gordon-Weeks, A., Barrie, J., Gomez, D., van Laarhoven, S., Nawara, H., Doyle, J., Bhogal, R., Harrison, E., Roalso, M., Zaharia, C., Ciprani, D., Aroori, S., Ratnayake, B., Koea, J., Capurso, G., Bellotti, R., Stättner, S., Alsaoudi, T., Bhardwaj, N., Jeffery, F., Connor, S., Cameron, A., Jamieson, N., Roberts, K., Søreide, K., Gill, A. J., Pandanaboyana, S.
Invasive intraductal oncocytic papillary neoplasms (IOPN) and adenocarcinoma arising from intraductal papillary mucinous neoplasms (A-IPMN) of the pancreas: comparative analysis of clinicopathological features, patterns of recurrence and survival: a multicentre study.
HPB (Oxford) , 2024. 26 (11) : 1421-1428
16. Lucocq, J., Halle-Smith, J., Haugk, B., Joseph, N., Hawkyard, J., Lye, J., Parkinson, D., White, S., Mownah, O., Zen, Y., Menon, K., Furukawa, T., Inoue, Y., Hirose, Y., Sasahira, N., Mittal, A., Samra, J., Sheen, A., Feretis, M., Balakrishnan, A., Ceresa, C., Davidson, B., Pande, R., Dasari, B. V. M., Tanno, L., Karavias, D., Helliwell, J., Young, A., Marks, K., Nunes, Q., Urbonas, T., Silva, M., Gordon-Weeks, A., Barrie, J., Gomez, D., van Laarhoven, S., Nawara, H., Doyle, J., Bhogal, R., Harrison, E., Roalso, M., Ciprani, D., Aroori, S., Ratnayake, B., Koea, J., Capurso, G., Bellotti, R., Stättner, S., Alsaoudi, T., Bhardwaj, N., Rajesh, S., Jeffery, F., Connor, S., Cameron, A., Jamieson, N., Søreide, K., Gill, A. J., Roberts, K., Pandanaboyana, S.
Long-term outcomes following resection of adenocarcinoma arising from intraductal papillary mucinous neoplasm (A-IPMN) versus pancreatic ductal adenocarcinoma

(PDAC) : A propensity-score matched analysis.

Ann. Surg., 2024: in press

17. Lucocq, J., Haugk, B., Parkinson, D., Darne, A., Joseph, N., Hawkyard, J., White, S., Mownah, O., Menon, K., Furukawa, T., Inoue, Y., Hirose, Y., Sasahira, N., Mittal, A., Samra, J., Sheen, A., Feretis, M., Balakrishnan, A., Ceresa, C., Davidson, B., Pande, R., Dasari, B. V. M., Tanno, L., Karavias, D., Helliwell, J., Young, A., Nunes, Q., Urbonas, T., Silva, M., Gordon-Weeks, A., Barrie, J., Gomez, D., van Laarhoven, S., Nawara, H., Doyle, J., Bhogal, R., Harrison, E., Roalso, M., Ciprani, D., Aroori, S., Ratnayake, B., Koea, J., Capurso, G., Bellotti, R., Stättner, S., Alsaoudi, T., Bhardwaj, N., Jeffery, F., Connor, S., Cameron, A., Jamieson, N., Roberts, K., Soreide, K., Gill, A. J., Pandanaboyana, S.

Precursor epithelial subtypes of adenocarcinoma arising from intraductal papillary mucinous neoplasms (A-IPMN) : clinicopathological features, recurrence and response to adjuvant chemotherapy.

Ann. Surg. Oncol., 2024. 31 (10) : 7023-7032

18. Lucocq, J., Joseph, N., Hawkyard, J., Haugk, B., White, S., Lye, J., Parkinson, D., Mownah, O., Menon, K., Furukawa, T., Hirose, Y., Sasahira, N., Inoue, Y., Mittal, A., Samra, J., Sheen, A., Feretis, M., Balakrishnan, A., Ceresa, C., Davidson, B., Pande, R., Dasari, B., Roberts, K., Tanno, L., Karavias, D., Helliwell, J., Young, A., Marks, K., Nunes, Q., Urbonas, T., Silva, M., Gordon-Weeks, A., Barrie, J., Gomez, D., van Laarhoven, S., Nawara, H., Doyle, J., Bhogal, R., Harrison, E., Roalso, M., Ciprani, D., Aroori, S., Ratnayake, B., Koea, J., Capurso, G., Stättner, S., Bellotti, R., Alsaoudi, T., Bhardwaj, N., Rajesh, S., Jeffery, F., Connor, S., Cameron, A., Jamieson, N., Gill, A., Soreide, K., Pandanaboyana, S. Predictors of long-term survival after re-

section of adenocarcinoma arising from intraductal papillary mucinous neoplasm and derivation of a prognostic model: an international multicenter study (ADENO-IPMN study) .

Surgery, 2024. 176 (3) : 890-898

19. Lucocq, J., Hawkyard, J., Robertson, F. P., Haugk, B., Lye, J., Parkinson, D., White, S., Mownah, O., Zen, Y., Menon, K., Furukawa, T., Inoue, Y., Hirose, Y., Sasahira, N., Feretis, M., Balakrishnan, A., Zelga, P., Ceresa, C., Davidson, B., Pande, R., Dasari, B., Tanno, L., Karavias, D., Helliwell, J., Young, A., Nunes, Q., Urbonas, T., Silva, M., Gordon-Weeks, A., Barrie, J., Gomez, D., van Laarhoven, S., Doyle, J., Bhogal, R., Harrison, E., Roalso, M., Ciprani, D., Aroori, S., Ratnayake, B., Koea, J., Capurso, G., Bellotti, R., Stättner, S., Alsaoudi, T., Bhardwaj, N., Jeffery, F., Connor, S., Cameron, A., Jamieson, N., Sheen, A., Mittal, A., Samra, J., Gill, A., Roberts, K., Soreide, K., Pandanaboyana, S.

Risk of recurrence after surgical resection for adenocarcinoma arising from intraductal papillary mucinous neoplasia (IPMN) with patterns of distribution and treatment: An international, multicentre, observational study.

Ann. Surg., 2024. 280 (1) : 126-135

20. Maekawa, A., Oba, A., Omiya, K., Inoue, Y., Takahashi, Y.
ASO author reflections: Surgical strategies for pancreatic body cancers with portal vein involvement: distal pancreatectomy or pancreaticoduodenectomy?
Ann. Surg. Oncol., 2024. 31 (2) : 1366-1367
21. Maekawa, A., Oba, A., Inoue, Y., Omiya, K., Ono, Y., Sato, T., Watanabe, S., Uchino, Y., Kobayashi, K., Ito, H., Sato, Y., Tanabe, M., Saiura, A., Takahashi, Y.
ASO visual abstract: Technical strategy for pancreatic body cancers-A raison d'être

- of distal pancreatectomy with portal resection.
Ann. Surg. Oncol., 2024. 31 (2) : 1371-1372
22. Maekawa, A., Oba, A., Inoue, Y., Omiya, K., Ono, Y., Sato, T., Watanabe, S., Uchino, Y., Kobayashi, K., Ito, H., Sato, Y., Tanabe, M., Saiura, A., Takahashi, Y.
Technical strategy for pancreatic body cancers: a *raison d'être* of distal pancreatectomy with portal resection.
Ann. Surg. Oncol., 2024. 31 (2) : 1347-1357
 23. Matsumura, M., Mise, Y., Takemura, N., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y., Takahashi, Y., Saiura, A.
An elemental diet reduces chylous ascites of patients undergoing pancreatoduodenectomy in the setting of early enteral feeding.
Pancreas, 2024. 53 (4) : e343
 24. Mie, T., Sasaki, T., Kobayashi, K., Takeda, T., Okamoto, T., Kasuga, A., Inoue, Y., Takahashi, Y., Saiura, A., Sasahira, N.
Impact of preoperative self-expandable metal stent on benign hepaticojejunostomy anastomotic stricture after pancreaticoduodenectomy.
DEN Open, 2024. 4 (1) : e307
 25. Miyashita, M., Yoshioka, R., Fukumura, Y., Takamatsu, M., Oba, A., Ono, Y., Inoue, Y., Mise, Y., Takahashi, Y., Saiura, A.
Low incidence of pancreatic fistula and well-preserved endocrine function with non-reconstructed small remnant pancreas after pancreaticoduodenectomy.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2024. 8 (5) : 860-867
 26. Nguyen, T. K., Nguyen, H. H., Luong, T. H., Dang, K. K., Le, V. D., Tran, D. D., Do, V. M., Pham, H. Q., Pham, H. M., Tran, T. L., Nguyen, C. T., Trinh, H. S., Inoue, Y.
Pancreaticoduodenectomy with superior mesenteric artery first-approach combined total meso-pancreas excision for periampullary malignancies: a high-volume single-center experience with short-term outcomes.
Ann. Hepatobiliary Pancreat. Surg., 2024. 28 (1) : 59-69
 27. Okamoto, T., Takeda, T., Sasaki, T., Inoue, Y., Mie, T., Hirai, T., Ishitsuka, T., Yamada, M., Nakagawa, H., Furukawa, T., Kasuga, A., Ozaka, M., Takahashi, Y., Sasahira, N.
Liver oligometastasis in biliary tract cancer and impact on survival outcomes.
J. Gastrointest. Cancer, 2024. 55 (4) : 1530-1540
 28. Okano, N., Kawai, M., Ueno, M., Yu, X., Inoue, Y., Takahashi, S., Wang, W., Takahashi, H., Okamura, Y., Morinaga, S., Matsumoto, I., Shimizu, Y., Yoshida, K., Yamamoto, T., Ohtsuka, M., Inokawa, Y., Nara, S., Tamura, J., Shinoda, S., Yamamoto, K., Yamaue, H., Furuse, J.
Outcomes of patients with initially unresectable pancreatic cancer who underwent conversion surgery after FOLFIRINOX or gemcitabine plus nab-paclitaxel chemotherapy: a multicenter retrospective cohort study (PC-CURE-1) .
J. Hepatobiliary Pancreat. Sci., 2024. 31 (11) : 816-829
 29. Omiya, K., Inoue, Y., Kobayashi, K., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
ASOauthor reflections: Advanced techniques in robot-assisted pancreaticoduodenectomy with dissection of the nerve plexus around the superior mesenteric artery for invasive pancreatic head cancer.
Ann. Surg. Oncol., 2024. 31 (10) : 7076-7077
 30. Omiya, K., Maekawa, A., Oba, A., Inoue, Y., Hirose, Y., Kobayashi, K., Ono, Y., Sato, T., Ichinose, J., Sasaki, T., Ozaka, M., Wu, Y. H. A., Hiratsuka, M., Matsueda, K., Mun, M.,

- Sasahira, N., Ito, H., Saiura, A., Takahashi, Y.
A proposal of ABCD metastasectomy criteria for synchronous/metachronous metastatic pancreatic cancer in the era of multidisciplinary treatment.
Br. J. Surg., 2024. 111 (1) : znad417
31. Omiya, K., Inoue, Y., Kobayashi, K., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
Robot-assisted pancreaticoduodenectomy with hemicircumferential dissection of nerve plexus around the superior mesenteric artery.
Ann. Surg. Oncol., 2024. 31 (10) : 7064-7065
 32. Ono, Y., Inoue, Y., Ito, H., Takahashi, Y.
ASO author reflections: Advancing two-stage hepatectomy: Laparoscopic portal vein ligation and embolization for initially unresectable colorectal liver metastases.
Ann. Surg. Oncol., 2024. 31 (5) : 3114
 33. Ono, Y., Inoue, Y., Kobayashi, K., Sato, S., Kitano, Y., Oba, A., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
Laparoscopic portal vein ligation and embolization during first-stage hepatectomy for initially unresectable colorectal liver metastases.
Ann. Surg. Oncol., 2024. 31 (5) : 3069-3070
 34. Sadamori, H., Hasegawa, K., Oba, A., Kato, Y., Soejima, Y., Monden, K., Umeda, Y., Abe, Y., Ko, S., Saiura, A., Ohtsuka, M., Kubo, S., Shirabe, K., Nagano, H., Fujiwara, T., Nakamura, M., Endo, I.
Short- and long-term outcomes of liver resection with hepatic vein reconstruction for liver tumors: a nationwide multicenter survey.
J. Hepatobiliary Pancreat. Sci., 2024. 31 (12) : 863-875
 35. Sakata, T., Yoshio, S., Yamazoe, T., Mori, T., Kakazu, E., Aoki, Y., Aoyanagi, N., Okamoto, T., Ito, T., Toyoda, H., Kawaguchi, T., Ono, Y., Takahashi, Y., Taketomi, A., Kanto, T.
Immunoglobulin-like transcript 2 as an impaired anti-tumor cytotoxicity marker of natural killer cells in patients with hepatocellular carcinoma.
Front. Immunol., 2024. 15: 1389411
 36. Sato, S., Inoue, Y., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y.
Scope transition and early arterial inflow control provide safe and comfortable dissection in robotic distal pancreatectomy.
Langenbecks Arch. Surg., 2024. 409 (1) : 171
 37. Seki, M., Saiura, A., Takahashi, Y., Inoue, Y., Katori, M., Yamamoto, N., Takamatsu, M., Kato, Y.
Surgical treatment of pancreatic metastases: more appropriate surgical methods based on a clinicopathologic study of 43 patients.
Langenbecks Arch. Surg., 2024. 409 (1) : 371
 38. Shigematsu, Y., Saito, R., Amori, G., Kanda, H., Takahashi, Y., Takeuchi, K., Takahashi, S., Inamura, K.
Fusobacterium nucleatum, immune responses, and metastatic organ diversity in colorectal cancer liver metastasis.
Cancer Sci., 2024. 115 (10) : 3248-3255
 39. Shigematsu, Y., Saito, R., Kanda, H., Takahashi, Y., Takeuchi, K., Takahashi, S., Inamura, K.
Inverse correlation between pks-carrying Escherichia Coli abundance in colorectal cancer liver metastases and the number of organs involved in recurrence.
Cancers (Basel) , 2024. 16 (17) : 3003

40. Shigematsu, Y., Tanaka, K., Amori, G., Kanda, H., Takahashi, Y., Takazawa, Y., Takeuchi, K., Inamura, K.
Potential involvement of oncostatin M in the immunosuppressive tumor immune microenvironment in hepatocellular carcinoma with vessels encapsulating tumor clusters. *Hepatol. Res.*, 2024. 54 (4) : 368-381
41. Stoop, T. F., Oba, A., Wu, Y. H. A., Beaty, L. E., Colborn, K. L., Janssen, B. V., Al-Musawi, M. H., Franco, S. R., Sugawara, T., Franklin, O., Jain, A., Saiura, A., Sauvaget, A., Coppola, A., Javed, A. A., Groot Koerkamp, B., Miller, B. N., Mack, C. E., Hashimoto, D., Caputo, D., Kleive, D., Sereini, E., Belfiori, G., Ichida, H., van Dam, J. L., Dembinski, J., Akahoshi, K., Roberts, K. J., Tanaka, K., Labori, K. J., Falconi, M., House, M. G., Sugimoto, M., Tanabe, M., Gotohda, N., Krohn, P. S., Burkhart, R. A., Thakkar, R. G., Pande, R., Dokmak, S., Hirano, S., Burgdorf, S. K., Crippa, S., van Roessel, S., Satoi, S., White, S. A., Hackert, T., Nguyen, T. K., Yamamoto, T., Nakamura, T., Bachu, V., Burns, W. R., Inoue, Y., Takahashi, Y., Ushida, Y., Aslami, Z. V., Verbeke, C. S., Fariña, A., He, J., Wilmink, J. W., Messersmith, W., Verheij, J., Kaplan, J., Schulick, R. D., Besselink, M. G., Del Chiaro, M.
Pathological complete response in patients with resected pancreatic adenocarcinoma after preoperative chemotherapy. *JAMA Netw. Open*, 2024. 7 (6) : e2417625
42. Sugiura, Y., Machinami, R., Matsumoto, S., Ae, K., Takahashi, Y., Hiruta, N., Takeuchi, K.
The association between CD34 expression status and the clinicopathological behavior of dedifferentiated liposarcoma. *Pathol. Res. Pract.*, 2024. 260: 155376
43. Yamamoto, Y., Sugiura, T., Esaki, M., Takahashi, Y., Arita, J., Hashimoto, M., Sakamoto, Y., Konishi, M., Sano, T., Notsu, A., Uesaka, K., Shimada, K.
Impact of biliary drainage method before pancreaticoduodenectomy on short- and long-term outcomes in patients with periampullary carcinoma and obstructive jaundice: a multicenter retrospective analysis. *Surgery*, 2024. 176 (3) : 616-625
44. 井上陽介, 高橋祐
2024 年最新版 : 外科局所解剖全図 : ランドマークの出し方と損傷回避法 : 肝胆膵 : 膵頭十二指腸切除に必要な局所解剖 : 腹腔・肝動脈周囲 .
臨床外科, 2024. 79 (11) : 227-233
45. 井上陽介, 高橋祐
ロボット支援肝胆膵外科手術における手術デバイスの選択とその使い方 : 総論 : ロボット支援手術の剥離操作における手術デバイスの選択と使い方 .
手術, 2024. 78 (9) : 1435-1440
46. 井上陽介
急性期から終末期まで : がん看護の最新知識 : 消化器がんコンプリート BOOK : 病態・検査・治療・ケア : (5 章) 膵臓がん 検査・診断 どんな検査を行う? どう診断する?
消化器ナーシング, 2024 (2024 秋季増刊) : 159-163
47. 井上陽介
急性期から終末期まで : がん看護の最新知識 : 消化器がんコンプリート BOOK : 病態・検査・治療・ケア : (5 章) 膵臓がん 病態・症状 膵臓がんはどんな疾患?
消化器ナーシング, 2024 (2024 秋季増刊) : 156-158
48. 佐藤彰記, 井上陽介, 高橋祐
ロボット支援手術 : 標準治療としてのさらなる普及を目指して : 消化器外科領域のロボット支援手術 : 膵臓切除術 : ロボット支援下膵体尾部切除 : より安全なロボット手術実現に向けた創意工夫 .
日本臨床, 2024. 82 (増刊 1 ロボット支援手術) : 236-243

49. 大宮康次郎, 小林光助, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
肝門部胆管癌: 診断と治療の標準化へ向けて: 周術期管理: 肝門部胆管癌術後合併症の早期発見のコツと発生時の対応法
胆と膵, 2024. 45 (6) : 621-626
50. 宮田辰徳, 井上陽介, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐
エキスパートに習う術野展開の極意: 膵癌切除術(膵頭十二指腸切除術, 尾側膵切除術)における術野展開のコツ.
消化器外科, 2024. 47 (1) : 103-111
51. 宮田辰徳, 大庭篤志, 井上陽介, 小林光助, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐
エキスパートに聞く! 膵頭十二指腸切除のすべて: PDの標準術式: 当科における膵頭十二指腸切除術の標準術式: Supracolic anterior artery-first approachによる上腸間膜動脈周囲郭清を中心に.
臨床外科, 2024. 79 (4) : 392-398
52. 小林光助, 伊藤寛倫, 井上陽介, 高橋祐
外科医のための臨床研究入門: 海外の先進施設における外科臨床研究の進め方.
手術, 2024. 78 (2) : 203-207
53. 小野嘉大, 加藤智敬, 小林光助, 大庭篤志, 伊藤寛倫, 高橋祐, 井上陽介
胆道癌・膵癌に対する周術期対策: 術後晩期合併症: 膵頭十二指腸切除後の左側門脈圧亢進症の病態, 予防と治療.
胆と膵, 2024. 45 (12) : 1769-1775
54. 田内潤, 大庭篤志, 井上陽介, 小野嘉大, 佐藤崇文, 高橋祐
必携: 消化器・一般外科医のための外科解剖アトラス: 肝胆膵: 後腹膜一括郭清を伴う膵体尾部切除に必要な局所解剖.
手術, 2024. 78 (4) : 545-551
55. 田内潤, 井上陽介, 小林光助, 大庭篤志, 小野嘉大, 伊藤寛倫, 高橋祐
肝胆膵外科領域のロボット支援下・腹腔鏡下手術: 膵臓: 低侵襲膵頭十二指腸切除術における膵空腸吻合, 胆管空腸吻合.
外科, 2024. 86 (12) : 1336-1341
56. 馬場逸人, 大庭篤志, 井上陽介, 小林光助, 小野嘉大, 伊藤寛倫, 高橋祐
胆膵手術のちょっとしたコツ: 膵体尾部切除の断端閉鎖をどう行う?
胆と膵, 2024. 45 (10) : 1055-1057

【消化器化学療法科部】

1. Ando, Y., Sakurai, T., Ozaki, K., Matsui, S., Mukai, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Nakayama, I., Shigematsu, Y., Oba, A., Chino, A., Fukunaga, Y.
Integrating surgical intervention and watch-and-wait approach in dMMR metastatic rectal cancer with pembrolizumab: a case report.
Surg. Case Rep., 2024. 10 (1) : 198
2. Bokemeyer, C., Ciardiello, F., Dubreuil, O., Guigay, J., Kasper, S., Pfeiffer, P., Pinto, C., Yamaguchi, K., Yoshino, T., Zielinski, C., Esser, R., Tabernero, J.
Cetuximab every 2 weeks versus standard weekly dosing administration schedule.
Future Oncol., 2024. 20 (7) : 393
3. Boku, N., Omori, T., Shitara, K., Sakuramoto, S., Yamaguchi, K., Kato, K., Kadowaki, S., Tsuji, K., Ryu, M. H., Oh, D. Y., Oh, S. C., Rha, S. Y., Lee, K. W., Chung, I. J., Sym, S. J., Chen, L. T., Chen, J. S., Bai, L. Y., Nakada, T., Hagihara, S., Makino, R., Nishiyama, E., Kang, Y. K.
Nivolumab plus chemotherapy in patients with HER2-negative, previously untreated, unresectable, advanced, or recurrent gastric/gastroesophageal junction cancer: 3-year follow-up of the ATTRACTION-4 randomized, double-blind, placebo-controlled, phase 3 trial.
Gastric Cancer, 2024. 27 (6) : 1287-1301
4. Chen, M., Mashima, T., Oishi, T., Muramatsu, Y., Seto, Y., Takamatsu, M., Kawata, N., Morino, S., Nakamura, A., Inaba, S.,

- Yuan, X., Maruyama, K., Suzuki, M., Sato, A., Yoshida, H., Jang, M. K., Mizutani, A., Takeuchi, K., Yamaguchi, K., Shirai, F., Nagayama, S., Katayama, R., Seimiya, H. APC/PIK3CA mutations and β -catenin status predict tankyrase inhibitor sensitivity of patient-derived colorectal cancer cells. *Br. J. Cancer*, 2024. 130 (1) : 151-162
5. Fukuda, K., Osumi, H., Yoshinami, Y., Ooki, A., Takashima, A., Wakatsuki, T., Hirano, H., Nakayama, I., Ouchi, K., Sawada, R., Fukuoka, S., Ogura, M., Takahari, D., Chin, K., Shoji, H., Okita, N., Kato, K., Ishizuka, N., Boku, N., Yamaguchi, K., Shinozaki, E. Efficacy of anti-epidermal growth factor antibody rechallenge in RAS/BRAF wild-type metastatic colorectal cancer: a multi-institutional observational study. *J. Cancer Res. Clin. Oncol.*, 2024. 150 (7) : 369
 6. Fukuda, K., Nakayama, I., Ooki, A., Kamiimabeppu, D., Shinozaki, K., Osumi, H., Fukuoka, S., Yoshino, K., Ogura, M., Wakatsuki, T., Chin, K., Shinozaki, E., Yamaguchi, K., Takahari, D. Real-world outcomes of trifluridine/tipiracil for heavily pretreated patients with advanced gastric cancer. *ESMO Gastrointest. Oncol.*, 2024. 3: 100046
 7. Hatori, M., Fukuoka, S., Kimura, S., Kawakami, K., Yamaguchi, K., Yamaguchi, M. Comparing the efficacy of a triplet anti-emetic regimen in patients with esophageal cancer and diabetes mellitus treated with cisplatin-based chemotherapy: a retrospective study. *Oncology*, 2024: 1-9
 8. Janjigian, Y. Y., Ajani, J. A., Moehler, M., Shen, L., Garrido, M., Gallardo, C., Wyrwicz, L., Yamaguchi, K., Cleary, J. M., Elimova, E., Karamouzis, M., Bruges, R., Skoczylas, T., Bragagnoli, A., Liu, T., Tehfe, M., Zander, T., Kowalyszyn, R., Pazo-Cid, R., Schenker, M., Feeny, K., Wang, R., Lei, M., Chen, C., Nathani, R., Shitara, K. First-line nivolumab plus chemotherapy for advanced gastric, gastroesophageal junction, and esophageal adenocarcinoma: 3-year follow-up of the phase III Check-Mate 649 trial. *J. Clin. Oncol.*, 2024. 42 (17) : 2012-2020
 9. Kang, Y. K., Qin, S., Lee, K. W., Oh, S. C., Kim, I. H., Kim, J. G., Li, Y., Yan, Z., Li, J., Bai, L. Y., Chan, C., Yusuf, A., Zahlten-Kumeli, A., Taylor, K., Yamaguchi, K. Bemarituzumab plus mFOLFOX6 as first-line treatment in East Asian patients with FGFR2b-overexpressing locally advanced or metastatic gastric/gastroesophageal junction cancer: subgroup of FIGHT final analysis. *Gastric Cancer*, 2024. 27 (5) : 1046-1057
 10. Kawazoe, A., Yamamoto, N., Sugimoto, N., Kawakami, H., Oshima, T., Yamaguchi, K., Hino, K., Hirao, M., Kurokawa, Y., Kawakami, T., Tsuda, M., Hara, H., Kaname, S., Matsuoka, D., Otake, Y., Yasuda, K., Takase, T., Takashima, S., Semba, T., Muro, K. Phase 2 study of the liposomal formulation of eribulin (E7389-LF) in combination with nivolumab: Results from the gastric cancer cohort. *Clin. Cancer Res.*, 2024. 30 (7) : 1264-1272
 11. Kitagawa, Y., Matsuda, S., Gotoda, T., Kato, K., Wijnhoven, B., Lordick, F., Bhandari, P., Kawakubo, H., Kodera, Y., Terashima, M., Muro, K., Takeuchi, H., Mansfield, P. F., Kurokawa, Y., So, J., Mönig, S. P., Shitara, K., Rha, S. Y., Janjigian, Y., Takahari, D., Chau, I., Sharma, P., Ji, J., de Manzoni, G., Nilsson, M., Kassab, P., Hofstetter, W. L., Smyth, E. C., Lorenzen, S., Doki, Y., Law, S.,

- Oh, D. Y., Ho, K. Y., Koike, T., Shen, L., van Hillegersberg, R., Kawakami, H., Xu, R. H., Wainberg, Z., Yahagi, N., Lee, Y. Y., Singh, R., Ryu, M. H., Ishihara, R., Xiao, Z., Kusano, C., Grabsch, H. I., Hara, H., Mukaisho, K. I., Makino, T., Kanda, M., Booka, E., Suzuki, S., Hatta, W., Kato, M., Maekawa, A., Kawazoe, A., Yamamoto, S., Nakayama, I., Narita, Y., Yang, H. K., Yoshida, M., Sano, T. Clinical practice guidelines for esophago-gastric junction cancer: Upper GI Oncology Summit 2023. *Gastric Cancer*, 2024. 27 (3) : 401-425
12. Kitano, Y., Ono, Y., Kobayashi, K., Oba, A., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y., Shinozaki, E., Yamaguchi, K., Saiura, A., Baba, H., Takahashi, Y.
Neoadjuvant chemotherapy for borderline resectable colorectal cancer liver metastases: A single-institution retrospective study. *HPB (Oxford)* , 2024. 26 (2) : 282-290
 13. Lee, J., Mashima, T., Kawata, N., Yamamoto, N., Morino, S., Inaba, S., Nakamura, A., Kumagai, K., Wakatsuki, T., Takeuchi, K., Yamaguchi, K., Seimiya, H.
Pharmacologic targeting of histone H3K27 acetylation/BRD4-dependent induction of ALDH1A3 for early-phase drug tolerance of gastric cancer. *Cancer Res. Commun.*, 2024. 4 (5) : 1307-1320
 14. Nakamura, A., Mashima, T., Lee, J., Inaba, S., Kawata, N., Morino, S., Kumagai, K., Yamaguchi, K., Seimiya, H.
Intratumor transforming growth factor- β signaling with extracellular matrix-related gene regulation marks chemotherapy-resistant gastric cancer. *Biochem. Biophys. Res. Commun.*, 2024. 721: 150108
 15. Ooki, A., Osumi, H., Yoshino, K., Yamaguchi, K.
Potent therapeutic strategy in gastric cancer with microsatellite instability-high and/or deficient mismatch repair. *Gastric Cancer*, 2024. 27 (5) : 907-931
 16. Oshima, T., Yamamoto, S., Kawakami, H., Makino, T., Kawazoe, A., Masuishi, T., Tsuchida, T., Hirao, M., Tsuda, M., Hino, K., Yamamoto, N., Hara, H., Kaname, S., Matsuo, D., Otake, Y., Yasuda, K., Takase, T., Takashima, S., Semba, T., Ooki, A.
Phase 1b/2 study of the liposomal formulation of eribulin (E7389-LF) in combination with nivolumab: Results from the phase 2 esophageal cancer cohort. *BJC Rep.*, 2024. 2 (1) : 66
 17. Osumi, H., Shinozaki, E., Nakamura, Y., Esaki, T., Yasui, H., Taniguchi, H., Satake, H., Sunakawa, Y., Komatsu, Y., Kagawa, Y., Denda, T., Shiozawa, M., Satoh, T., Nishina, T., Goto, M., Takahashi, N., Kato, T., Bando, H., Yamaguchi, K., Yoshino, T.
Clinical features associated with NeoRAS wild-type metastatic colorectal cancer A SCRUM-Japan GOZILA substudy. *Nat. Commun.*, 2024. 15 (1) : 5885
 18. Qiu, M. Z., Oh, D. Y., Kato, K., Arkenau, T., Tabernero, J., Correa, M. C., Zimina, A. V., Bai, Y., Shi, J., Lee, K. W., Wang, J., Podubskaya, E., Pan, H., Rha, S. Y., Zhang, R., Hirano, H., Spigel, D., Yamaguchi, K., Chao, Y., Wyrwicz, L., Disel, U., Cid, R. P., Fornaro, L., Evesque, L., Wang, H., Xu, Y., Li, J., Sheng, T., Yang, S., Li, L., Moehler, M., Xu, R. H.
Tislelizumab plus chemotherapy versus placebo plus chemotherapy as first line treatment for advanced gastric or gastro-oesophageal junction adenocarcinoma: RATIONALE-305 randomised, double blind, phase 3 trial. *BMJ*, 2024. 385: e078876

19. Raghav, K., Siena, S., Takashima, A., Kato, T., Van den Eynde, M., Pietrantonio, F., Komatsu, Y., Kawakami, H., Peeters, M., Andre, T., Lonardi, S., Yamaguchi, K., Tie, J., Castro, C. G., Hsu, H. C., Strickler, J. H., Kim, T. Y., Cha, Y., Barrios, D., Yan, Q., Kamio, T., Kobayashi, K., Boran, A., Koga, M., Allard, J. D., Yoshino, T.
Trastuzumab deruxtecan in patients with HER2-positive advanced colorectal cancer (DESTINY-CRC02) : primary results from a multicentre, randomised, phase 2 trial.
Lancet Oncol., 2024. 25 (9) : 1147-1162
20. Sato, R., Tokunaga, M., Mizusawa, J., Sato, Y., Ito, S., Takahari, D., Sano, T., Onaya, H., Yoshikawa, T., Boku, N., Terashima, M.
Clinical impact of skeletal muscle mass change during the neoadjuvant chemotherapy period in patients with gastric cancer: an ancillary study of JCOG1002.
World J. Surg., 2024. 48 (1) : 163-174
21. Shimizu, T., Aoki, T., Ishizuka, M., Sakamoto, K., Beppu, T., Honda, G., Kotake, K., Yamamoto, M., Takahashi, K., Endo, I., Hasegawa, K., Itabashi, M., Hashiguchi, Y., Kotera, Y., Kobayashi, S., Yamaguchi, T., Natsume, S., Tabuchi, K., Kobayashi, H., Yamaguchi, K., Tani, K., Morita, S., Miyazaki, M., Sugihara, K., Ajioka, Y.
Evaluation of two-stage hepatectomy using portal vein embolization for colorectal liver metastasis: a retrospective nationwide cohort survey in Japan.
Int. J. Surg., 2024. 110 (10) : 6691-6701
22. Shimozaaki, K., Fukuoka, S., Ooki, A., Yamaguchi, K.
HER2-low gastric cancer: is the subgroup targetable?
ESMO Open, 2024. 9 (9) : 103679
23. Shimozaaki, K., Fukuda, K., Ooki, A., Nakayama, I., Yoshino, K., Tamba, M., Udagawa, S., Fukuoka, S., Osumi, H., Wakatsuki, T., Takahari, D., Shinozaki, E., Ogura, M., Chin, K., Yamaguchi, K.
Safety and efficacy of first-line nivolumab plus chemotherapy for HER2-negative advanced gastric or gastroesophageal junction adenocarcinoma: real-world data analysis.
ESMO Gastrointest. Oncol., 2024. 5: 100072
24. Shitara, K., Fleitas, T., Kawakami, H., Curigliano, G., Narita, Y., Wang, F., Wardhani, S. O., Basade, M., Rha, S. Y., Wan Zamaniah, W. I., Sacdalan, D. L., Ng, M., Yeh, K. H., Sunpaweravong, P., Sirachainan, E., Chen, M. H., Yong, W. P., Peneyra, J. L., Ibtisam, M. N., Lee, K. W., Krishna, V., Pribadi, R. R., Li, J., Lui, A., Yoshino, T., Baba, E., Nakayama, I., Pentheroudakis, G., Shoji, H., Cervantes, A., Ishioka, C., Smyth, E.
Pan-Asian adapted ESMO Clinical Practice Guidelines for the diagnosis, treatment and follow-up of patients with gastric cancer.
ESMO Open, 2024. 9 (2) : 102226
25. Shitara, K., Bang, Y. J., Iwasa, S., Sugimoto, N., Ryu, M. H., Sakai, D., Chung, H. C., Kawakami, H., Yabusaki, H., Sakamoto, Y., Nishina, T., Inaki, K., Kuwahara, Y., Wada, N., Suto, F., Arita, T., Sugihara, M., Tsuchihashi, Z., Saito, K., Kojima, A., Yamaguchi, K.
Trastuzumab deruxtecan in HER2-positive advanced gastric cancer: exploratory biomarker analysis of the randomized, phase 2 DESTINY-Gastric01 trial.
Nat. Med., 2024. 30 (7) : 1933-1942
26. Shitara, K., Yamaguchi, K., Muro, K., Yasui, H., Sakai, D., Oshima, T., Fujimura, M., Sato, Y., Yamazaki, S., Wakabayashi, T., Sugihara, M., Kamio, T., Shoji, H.
Trastuzumab deruxtecan in patients with locally advanced or metastatic HER2-positive gastric cancer: a multicenter, open-label, expanded-access study.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (1) : 27-35

27. Shitara, K., Shah, M. A., Lordick, F., Van Cutsem, E., Ilson, D. H., Klemptner, S. J., Kang, Y. K., Lonardi, S., Hung, Y. P., Yamaguchi, K., Enzinger, P., Nakajima, T., Matsangou, M., Cao, Y., Li, R., Moran, D., Pophale, R., Oh, M., Ranganath, R., Ajani, J. A., Xu, R. H.
Zolbetuximab in gastric or gastroesophageal junction adenocarcinoma.
N. Engl. J. Med., 2024. 391 (12) : 1159-1162
28. Shoji, H., Kudo-Saito, C., Nagashima, K., Imazeki, H., Tsugaru, K., Takahashi, N., Kawakami, T., Amanuma, Y., Wakatsuki, T., Okano, N., Narita, Y., Yamamoto, Y., Kizawa, R., Muro, K., Aoki, K., Boku, N.
Myeloid subsets impede the efficacy of anti-PD1 therapy in patients with advanced gastric cancer (WJOG10417GTR study)
J. Immunother. Cancer, 2024. 12 (11) : e010174
29. Siena, S., Raghav, K., Masuishi, T., Yamaguchi, K., Nishina, T., Elez, E., Rodriguez, J., Chau, I., Di Bartolomeo, M., Kawakami, H., Suto, F., Koga, M., Inaki, K., Kuwahara, Y., Takehara, I., Barrios, D., Kobayashi, K., Grothey, A., Yoshino, T.
HER2-related biomarkers predict clinical outcomes with trastuzumab deruxtecan treatment in patients with HER2-expressing metastatic colorectal cancer: biomarker analyses of DESTINY-CRC01.
Nat. Commun., 2024. 15 (1) : 10213
30. Suenaga, M., Mashima, T., Kawata, N., Dan, S., Seimiya, H., Yamaguchi, K.
Exploratory study identifies matrix metalloproteinase-14 and -9 as potential biomarkers of regorafenib efficacy in metastatic colorectal cancer.
Cancers (Basel) , 2024. 16 (16) : 2855
31. Takahashi, R., Osumi, H., Wakatsuki, T., Yamamoto, N., Taguchi, S., Nakayama, I., Ooki, A., Ogura, M., Takahara, D., Chin, K., Yamaguchi, K., Shinozaki, E.
Clinical outcomes and prognostic factors of concurrent chemoradiotherapy for anal squamous cell carcinoma in Japan.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (8) : 1161-1172
32. Takahashi, Y., Morimura, R., Tsukamoto, K., Gomi, S., Kato, A., Mizukami, M., Naito, Y., Irie, S., Nagayama, S., Shinozaki, E., Yamaguchi, K., Fujita, N., Kitano, S., Katayama, R., Matsusaki, M.
In vitro throughput screening of anticancer drugs using patient-derived cell lines cultured on vascularized three-dimensional stromal tissues.
Acta Biomater., 2024. 183: 111-129
33. Takei, S., Tanaka, Y., Lin, Y. T., Koyama, S., Fukuoka, S., Hara, H., Nakamura, Y., Kuboki, Y., Kotani, D., Kojima, T., Bando, H., Mishima, S., Ueno, T., Kojima, S., Wakabayashi, M., Sakamoto, N., Kojima, M., Kuwata, T., Yoshino, T., Nishikawa, H., Mano, H., Endo, I., Shitara, K., Kawazoe, A.
Multiomic molecular characterization of the response to combination immunotherapy in MSS/pMMR metastatic colorectal cancer.
J. Immunother. Cancer, 2024. 12 (2) : e008210
34. Udagawa, S., Osumi, H., Kozuki, R., Ooki, A., Wakatsuki, T., Kurihara, N., Mukai, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y., Yamaguchi, K., Shinozaki, E.
Clinical utility of the carcinoembryonic antigen level in patients with stage III colon cancer after surgery and adjuvant chemotherapy.
Surg. Today, 2024. 54 (7) : 692-701
35. Wainberg, Z. A., Kang, Y. K., Lee, K. W., Qin, S., Yamaguchi, K., Kim, I. H., Saeed, A., Oh, S. C., Li, J., Turk, H. M., Teixeira, A., Hitre, E., Udrea, A. A., Cardellino, G. G., Sanchez, R. G., Zahlten-Kümel, A., Taylor, K., Enzinger, P. C.

Bemarituzumab as first-line treatment for locally advanced or metastatic gastric/gastroesophageal junction adenocarcinoma: final analysis of the randomized phase 2 FIGHT trial.

Gastric Cancer, 2024. 27 (3) : 558-570

36. Wakatsuki, T., Ishizuka, N., Hironaka, S., Minashi, K., Kadowaki, S., Goto, M., Shoji, H., Hirano, H., Nakayama, I., Osumi, H., Ogura, M., Chin, K., Yamaguchi, K., Takahari, D.
Exploratory analysis of serum HER2 extracellular domain for HER2 positive gastric cancer treated with SOX plus trastuzumab. Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (6) : 801-812
37. Yamada, Y., Nagashima, K., Azuma, M., Masutani, M., Ichikawa, H., Iwasa, S., Takahashi, N., Hirano, H., Kanato, K., Machida, N., Kinoshita, T., Hata, H., Kawakami, H., Takahari, D., Boku, N., Kurokawa, Y., Terashima, M., Yoshikawa, T., Sekine, S., Hirao, N.
Predictive and prognostic value of excision repair cross-complementing group 1 in patients with advanced gastric cancer. BJC Rep., 2024. 2 (1) : 18
38. 下寄啓太郎, 篠崎英司
Lower G.I./Colon and Rectum Cancer : 大腸癌 : 大腸癌治療ガイドライン 2024 年版 : 大腸癌薬物療法の変更点 : 全身薬物療法 : 大腸癌治療ガイドライン 2024 年版的改訂ポイント . 癌と化学療法, 2024. 51 (11) : 1120-1124
39. 丹羽美香子, 大隅寛木, 高張大亮
ICI を用いた各臓器がんの標準的治療と新規免疫療法の課題 : 胃がんにおけるがん免疫療法 . 腫瘍内科, 2024. 33 (2) : 130-137
40. 山口研成
セカンドオピニオンについて . 日本外科系連合学会誌, 2024. 49 (4) : 419-421

41. 山口研成, 大隅寛木, 丹羽美香子, 吉野光一郎, 宇田川翔平, 下寄啓太郎, 若槻尊, 大木暁, 陳勁松, 篠崎英司
徹底解説:大腸癌治療ガイドライン 2024:概観: 切除不能・再発大腸癌に対する薬物療法 . 臨床外科, 2024. 79 (9) : 974-978

42. 山口研成, 大木暁, 吉野光一郎, 丹羽美香子, 宇田川翔平, 福岡聖大, 大隅寛木, 小倉真理子, 若槻尊, 篠崎英司, 陳勁松
消化管がん(食道, 胃, 大腸等)薬物治療の進歩: 胃がん診療の進歩と展望 (切除不能転移性) . 腫瘍内科, 2024. 33 (5) : 458-464
43. 福岡聖大
ICI を用いた各臓器がんの標準的治療と新規免疫療法の課題 : MSI-H/dMMR 腫瘍におけるがん免疫療法 . 腫瘍内科, 2024. 33 (2) : 166-170

【肝胆膵内科】

1. Furuse, J., Ikeda, M., Ueno, M., Furukawa, M., Morizane, C., Takehara, T., Nishina, T., Todaka, A., Okano, N., Hara, K., Nakai, Y., Ohkawa, K., Sasaki, T., Sugimori, K., Yokoyama, N., Yamamoto, K.
Phase II placebo-controlled study of the effect and safety of nanvuranlat in patients with advanced biliary tract cancers previously treated by systemic chemotherapy. Clin. Cancer Res., 2024. 30 (18) : 3990-3995
2. Hatori, M., Tsuji, D., Suzuki, K., Yokokawa, T., Kawakami, K., Moriyama, R., Osada-Tsuchiya, M., Otake, A., Nakao, M., Yano, T., Arakawa, Y., Matsuo, K., Ohashi, Y., Sakata, Y., Kogure, Y., Tamaki, S., Wada, A., Taki, Y., Sasahira, N., Ishii, H., Yamaguchi, M., Itoh, K.
Pharmacogenomic study of gemcitabine efficacy in patients with metastatic pancreatic cancer: A multicenter, prospective, observational cohort study (GENESECT study) . Cancer, 2024. 130 (17) : 2988-2999

3. Hirose, Y., Oba, A., Takamatsu, M., Hamada, T., Takeda, T., Suzuki, T., Maekawa, A., Kitano, Y., Sato, S., Kobayashi, K., Omiya, K., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Sasaki, T., Ozaka, M., Takeuchi, K., Sasahira, N., Inoue, Y., Wakai, T., Takahashi, Y.
Caveolin-1 expression is a predictor of survival and recurrence patterns in resected pancreatic ductal adenocarcinoma.
Pancreatology, 2024. 24 (7) : 1021-1030
4. Hirota, S., Tateishi, U., Nakamoto, Y., Yamamoto, H., Sakurai, S., Kikuchi, H., Kanada, T., Kurokawa, Y., Cho, H., Nishida, T., Sawaki, A., Ozaka, M., Komatsu, Y., Naito, Y., Honma, Y., Takahashi, F., Hashimoto, H., Udo, M., Araki, M., Nishidate, S.
English version of Japanese Clinical Practice Guidelines 2022 for gastrointestinal stromal tumor (GIST) issued by the Japan Society of Clinical Oncology.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (6) : 647-680
5. Isayama, H., Hamada, T., Fujisawa, T., Fukasawa, M., Hara, K., Irisawa, A., Ishii, S., Ito, K., Itoi, T., Kanno, Y., Katanuma, A., Kato, H., Kawakami, H., Kawamoto, H., Kitano, M., Kogure, H., Matsubara, S., Mukai, T., Naitoh, I., Ogura, T., Ryozaawa, S., Sasaki, T., Shimatani, M., Shiomi, H., Sugimori, K., Takenaka, M., Yasuda, I., Nakai, Y., Fujita, N., Inui, K.
TOKYO criteria 2024 for the assessment of clinical outcomes of endoscopic biliary drainage.
Dig. Endosc., 2024. 36 (11) : 1195-1210
6. Ishiwatari, H., Kawabata, T., Kawashima, H., Nakai, Y., Miura, S., Kato, H., Shiomi, H., Fujimori, N., Ogura, T., Inatomi, O., Kubota, K., Fujisawa, T., Takenaka, M., Mori, H., Noguchi, K., Fujii, Y., Sugiura, T., Ideno, N., Nakafusa, T., Masamune, A., Isayama, H., Sasahira, N.
Endoscopic nasobiliary drainage versus endoscopic biliary stenting for preoperative biliary drainage in patients with malignant hilar biliary obstruction: propensity score-matched multicenter comparative study.
Dig. Endosc., 2024. 36 (6) : 726-734
7. Lucocq, J., Hawkyard, J., Haugk, B., Mownah, O., Menon, K., Furukawa, T., Inoue, Y., Hirose, Y., Sasahira, N., Feretis, M., Balakrishnan, A., Ceresa, C., Davidson, B., Pande, R., Dasari, B., Tanno, L., Karavias, D., Helliwell, J., Young, A., Nunes, Q., Urbonas, T., Silva, M., Gordon-Weeks, A., Barrie, J., Gomez, D., Van Laarhoven, S., Robertson, F., Nawara, H., Doyle, J., Bhogal, R., Harrison, E., Roalso, M., Ciprani, D., Aroori, S., Ratnayake, B., Koea, J., Capurso, G., Bellotti, R., Stättner, S., Alsaoudi, T., Bhardwaj, N., Rajesh, S., Jeffery, F., Connor, S., Cameron, A., Jamieson, N., Sheen, A., Mittal, A., Samra, J., Gill, A., Roberts, K., Søreide, K., Pandanaboyana, S.
Adjuvant chemotherapy for adenocarcinoma arising from intraductal papillary mucinous neoplasia: multicentre ADENO-IPMN study.
Br. J. Surg., 2024. 111 (4) : znae100
8. Lucocq, J., Haugk, B., Joseph, N., Hawkyard, J., White, S., Mownah, O., Menon, K., Furukawa, T., Inoue, Y., Hirose, Y., Sasahira, N., Mittal, A., Samra, J., Sheen, A., Feretis, M., Balakrishnan, A., Ceresa, C., Davidson, B., Pande, R., Dasari, B. V. M., Tanno, L., Karavias, D., Helliwell, J., Young, A., Nunes, Q., Urbonas, T., Silva, M., Gordon-Weeks, A., Barrie, J., Gomez, D., van Laarhoven, S., Nawara, H., Doyle, J., Bhogal, R., Harrison, E., Roalso, M., Zaharia, C., Ciprani, D., Aroori, S., Ratnayake, B., Koea, J., Capurso, G., Bellotti, R., Stättner, S., Alsaoudi, T., Bhardwaj, N., Jeffery, F., Connor, S., Cameron, A., Jamieson, N., Roberts, K., Søreide, K., Gill, A. J., Pandanaboyana, S.

Invasive intraductal oncocytic papillary neoplasms (IOPN) and adenocarcinoma arising from intraductal papillary mucinous neoplasms (A-IPMN) of the pancreas: comparative analysis of clinicopathological features, patterns of recurrence and survival: a multicentre study.

HPB (Oxford) , 2024. 26 (11) : 1421-1428

9. Lucocq, J., Halle-Smith, J., Haugk, B., Joseph, N., Hawkyard, J., Lye, J., Parkinson, D., White, S., Mownah, O., Zen, Y., Menon, K., Furukawa, T., Inoue, Y., Hirose, Y., Sasahira, N., Mittal, A., Samra, J., Sheen, A., Feretis, M., Balakrishnan, A., Ceresa, C., Davidson, B., Pande, R., Dasari, B. V. M., Tanno, L., Karavias, D., Helliwell, J., Young, A., Marks, K., Nunes, Q., Urbonas, T., Silva, M., Gordon-Weeks, A., Barrie, J., Gomez, D., van Laarhoven, S., Nawara, H., Doyle, J., Bhogal, R., Harrison, E., Roalso, M., Ciprani, D., Aroori, S., Ratnayake, B., Koea, J., Capurso, G., Bellotti, R., Stättner, S., Alsaoudi, T., Bhardwaj, N., Rajesh, S., Jeffery, F., Connor, S., Cameron, A., Jamieson, N., Soreide, K., Gill, A. J., Roberts, K., Pandanaboyana, S.
Long-term outcomes following resection of adenocarcinoma arising from intraductal papillary mucinous neoplasm (A-IPMN) versus pancreatic ductal adenocarcinoma (PDAC) : A propensity-score matched analysis.
Ann. Surg., 2024: in press
10. Lucocq, J., Haugk, B., Parkinson, D., Darne, A., Joseph, N., Hawkyard, J., White, S., Mownah, O., Menon, K., Furukawa, T., Inoue, Y., Hirose, Y., Sasahira, N., Mittal, A., Samra, J., Sheen, A., Feretis, M., Balakrishnan, A., Ceresa, C., Davidson, B., Pande, R., Dasari, B. V. M., Tanno, L., Karavias, D., Helliwell, J., Young, A., Nunes, Q., Urbonas, T., Silva, M., Gordon-Weeks, A., Barrie, J., Gomez, D., van Laarhoven, S., Nawara, H., Doyle, J., Bhogal, R., Harrison, E., Roalso,

M., Ciprani, D., Aroori, S., Ratnayake, B., Koea, J., Capurso, G., Bellotti, R., Stättner, S., Alsaoudi, T., Bhardwaj, N., Jeffery, F., Connor, S., Cameron, A., Jamieson, N., Roberts, K., Soreide, K., Gill, A. J., Pandanaboyana, S.

Precursor epithelial subtypes of adenocarcinoma arising from intraductal papillary mucinous neoplasms (A-IPMN) : clinicopathological features, recurrence and response to adjuvant chemotherapy.

Ann. Surg. Oncol., 2024. 31 (10) : 7023-7032

11. Lucocq, J., Joseph, N., Hawkyard, J., Haugk, B., White, S., Lye, J., Parkinson, D., Mownah, O., Menon, K., Furukawa, T., Hirose, Y., Sasahira, N., Inoue, Y., Mittal, A., Samra, J., Sheen, A., Feretis, M., Balakrishnan, A., Ceresa, C., Davidson, B., Pande, R., Dasari, B., Roberts, K., Tanno, L., Karavias, D., Helliwell, J., Young, A., Marks, K., Nunes, Q., Urbonas, T., Silva, M., Gordon-Weeks, A., Barrie, J., Gomez, D., van Laarhoven, S., Nawara, H., Doyle, J., Bhogal, R., Harrison, E., Roalso, M., Ciprani, D., Aroori, S., Ratnayake, B., Koea, J., Capurso, G., Stättner, S., Bellotti, R., Alsaoudi, T., Bhardwaj, N., Rajesh, S., Jeffery, F., Connor, S., Cameron, A., Jamieson, N., Gill, A., Soreide, K., Pandanaboyana, S.
Predictors of long-term survival after resection of adenocarcinoma arising from intraductal papillary mucinous neoplasm and derivation of a prognostic model: an international multicenter study (ADENO-IPMN study) .
Surgery, 2024. 176 (3) : 890-898
12. Lucocq, J., Hawkyard, J., Robertson, F. P., Haugk, B., Lye, J., Parkinson, D., White, S., Mownah, O., Zen, Y., Menon, K., Furukawa, T., Inoue, Y., Hirose, Y., Sasahira, N., Feretis, M., Balakrishnan, A., Zelga, P., Ceresa, C., Davidson, B., Pande, R., Dasari, B., Tanno, L., Karavias, D., Helliwell, J., Young, A., Nunes, Q., Urbonas, T., Silva,

- M., Gordon-Weeks, A., Barrie, J., Gomez, D., van Laarhoven, S., Doyle, J., Bhogal, R., Harrison, E., Roalso, M., Ciprani, D., Aroori, S., Ratnayake, B., Koea, J., Capurso, G., Bellotti, R., Stättner, S., Alsaoudi, T., Bhardwaj, N., Jeffery, F., Connor, S., Cameron, A., Jamieson, N., Sheen, A., Mittal, A., Samra, J., Gill, A., Roberts, K., Soreide, K., Pandanaboyana, S.
Risk of recurrence after surgical resection for adenocarcinoma arising from intraductal papillary mucinous neoplasia (IPMN) with patterns of distribution and treatment: An international, multicentre, observational study.
Ann. Surg., 2024. 280 (1) : 126-135
13. Mie, T., Sasaki, T., Okamoto, T., Furukawa, T., Takeda, T., Kasuga, A., Ozaka, M., Sasahira, N.
Current status of targeted therapy for biliary tract cancer in the era of precision medicine.
Cancers (Basel) , 2024. 16 (5) : 879
 14. Mie, T., Sasaki, T., Sasahira, N.
Endoscopic transpapillary drainage through the pancreatic stump for postoperative pancreatic fistula after distal pancreatectomy.
Dig. Endosc., 2024. 36 (10) : 1176-1178
 15. Mie, T., Nakagawa, H., Sasaki, T.
Hemostasis for postendoscopic sphincterotomy hemorrhage using a stone exaction balloon filled with ice-cold water.
Dig. Endosc., 2024. 35 (5) : 636-637
 16. Mie, T., Sasaki, T., Kobayashi, K., Takeda, T., Okamoto, T., Kasuga, A., Inoue, Y., Takahashi, Y., Saiura, A., Sasahira, N.
Impact of preoperative self-expandable metal stent on benign hepaticojejunostomy anastomotic stricture after pancreaticoduodenectomy.
DEN Open, 2024. 4 (1) : e307
 17. Mie, T., Sasaki, T., Okamoto, T., Takeda, T., Mori, C., Yamada, Y., Furukawa, T., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Sasahira, N.
Risk factors for recurrent stenosis after balloon dilation for benign hepaticojejunostomy anastomotic stricture.
Clin. Endosc., 2024. 57 (2) : 253-262
 18. Mukai, T., Nakai, Y., Hamada, T., Matsubara, S., Sasaki, T., Ishiwatari, H., Hijioka, S., Shiomi, H., Takenaka, M., Iwashita, T., Masuda, A., Saito, T., Isayama, H., Yasuda, I.
Early versus delayed EUS-guided drainage for postoperative pancreatic fluid collections: a systematic review and meta-analysis.
Surg Endosc, 2024. 38 (1) : 47-55
 19. Nakagawa, H., Takeda, T., Okamoto, T., Mie, T., Kasuga, A., Sasaki, T., Ozaka, M., Matsuda, T., Igarashi, Y., Sasahira, N.
Outcomes of 6-mm diameter fully covered self-expandable metal stents for preoperative biliary drainage in pancreatic cancer.
DEN Open, 2024. 4 (1) : e360
 20. Nakai, Y., Matsubara, S., Mukai, T., Hamada, T., Sasaki, T., Ishiwatari, H., Hijioka, S., Shiomi, H., Takenaka, M., Iwashita, T., Masuda, A., Saito, T., Isayama, H., Yasuda, I.
Drainage for fluid collections post pancreatic surgery and acute pancreatitis: similar but different?
Clin. Endosc., 2024. 57 (6) : 735-746
 21. Okamoto, T., Nakagawa, H., Sasahira, N.
Gel immersion cold polypectomy with a duodenoscope for supra-ampullary adenoma.
Dig. Endosc., 2024. 36 (2) : 252-253
 22. Okamoto, T., Takeda, T., Sasaki, T., Inoue, Y., Mie, T., Hirai, T., Ishitsuka, T., Yamada, M., Nakagawa, H., Furukawa, T., Kasuga, A., Ozaka, M., Takahashi, Y., Sasahira, N.
Liver oligometastasis in biliary tract cancer and impact on survival outcomes.

- J. Gastrointest. Cancer, 2024. 55 (4) : 1530-1540
23. Okamoto, T., Sasaki, T., Takeda, T., Hirai, T., Ishitsuka, T., Yamada, M., Nakagawa, H., Mie, T., Furukawa, T., Kasuga, A., Ozaka, M., Sasahira, N.
Outcomes of partially covered self-expandable metal stents with different uncovered lengths in endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy: a Japanese retrospective study.
Clin. Endosc., 2024. 57 (4) : 515-526
 24. Okamoto, T., Hirasawa, T.
Quality indicators in endoscopic screening and the role of artificial intelligence.
Dig. Endosc., 2024. 36 (1) : 16-18
 25. Okamoto, T., Sasaki, T., Takeda, T., Mie, T., Mori, C., Furukawa, T., Yamada, Y., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Sasahira, N.
Rotatable sphincterotome as a rescue device for endoscopic retrograde cholangiopancreatography cannulation: a single-center experience.
Clin. Endosc., 2024. 57 (1) : 96-104
 26. Okano, N., Morizane, C., Okusaka, T., Sadachi, R., Kataoka, T., Kobayashi, S., Ikeda, M., Ozaka, M., Mizutani, T., Sugimori, K., Todaka, A., Shimizu, S., Mizuno, N., Yamamoto, T., Sano, K., Tobimatsu, K., Katanuma, A., Gotoh, K., Yamaguchi, H., Ishii, H., Ohba, A., Furuse, J., Ueno, M.
Early tumor shrinkage and depth of response as predictors of survival for advanced biliary tract cancer: an exploratory analysis of JCOG1113.
Oncologist, 2024. 29 (1) : e97-e107
 27. Omiya, K., Maekawa, A., Oba, A., Inoue, Y., Hirose, Y., Kobayashi, K., Ono, Y., Sato, T., Ichinose, J., Sasaki, T., Ozaka, M., Wu, Y. H. A., Hiratsuka, M., Matsueda, K., Mun, M., Sasahira, N., Ito, H., Saiura, A., Takahashi, Y.
A proposal of ABCD metastasectomy criteria for synchronous/metachronous metastatic pancreatic cancer in the era of multidisciplinary treatment.
Br. J. Surg., 2024. 111 (1) : znad417
 28. Sano, Y., Kanai, M., Morizane, C., Sasaki, K., Yoshimura, M., Ito, Y., Furuse, J., Ozaka, M., Fukuda, H., Ueno, M., Hepatobiliary and Pancreatic Oncology Group in Japan Clinical Oncology Group
Protocol digest of a randomized phase III trial comparing S-1-based chemoradiotherapy with/without nivolumab for unresectable locally advanced or borderline resectable pancreatic cancer: JCOG1908E (PENETRATE) .
Jpn. J. Clin. Oncol., 2024. 54 (11) : 1214-1218
 29. Sasaki, T., Sato, Y., Maegawa, Y., Okamoto, T., Sasahira, N.
One-step endoscopic ultrasound-guided pancreatic duct drainage using a 7-Fr ultra-tapered plastic stent and a novel 0.035-inch guidewire.
Endoscopy, 2024. 56 (S 01) : E1098-E1099
 30. Sudo, K., Nakamura, Y., Ueno, M., Furukawa, M., Mizuno, N., Kawamoto, Y., Okano, N., Umemoto, K., Asagi, A., Ozaka, M., Ohtsubo, K., Shimizu, S., Matsushashi, N., Itoh, S., Matsumoto, T., Satoh, T., Okuyama, H., Goto, M., Hasegawa, H., Yamamoto, Y., Odegaard, J. I., Bando, H., Yoshino, T., Ikeda, M., Morizane, C.
Clinical utility of BRCA and ATM mutation status in circulating tumour DNA for treatment selection in advanced pancreatic cancer.
Br. J. Cancer, 2024. 131 (7) : 1237-1245
 31. Takeda, T., Sasaki, T., Okamoto, T., Hirai, T., Ishitsuka, T., Yamada, M., Nakagawa, H., Furukawa, T., Mie, T., Kasuga, A., Ozaka, M., Sasahira, N.

- Bone loss over time and risk of osteoporosis in advanced pancreatic cancer.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2024. 54 (6) : 667-674
32. Tezuka, S., Ozaka, M., Furuse, J., Yokoyama, M., Uemura, K., Sano, Y., Nakachi, K., Imaoka, H., Unno, M., Shirakawa, H., Shimizu, S., Kato, N., Kojima, Y., Sano, K., Kobayashi, S., Terashima, T., Morizane, C., Ikeda, M., Ueno, M.
Early tumor shrinkage as a prognostic predictor in chemotherapy-naïve patients with locally advanced pancreatic cancer treated with modified FOLFIRINOX or gemcitabine plus nab-paclitaxel combination therapy: an exploratory analysis of JCOG1407.
Pancreatology, 2024. 24 (6) : 909-916
 33. Ueno, M., Morizane, C., Ikeda, M., Ozaka, M., Nagashima, F., Kataoka, T., Mizusawa, J., Ohba, A., Kobayashi, S., Imaoka, H., Kasuga, A., Okano, N., Nagasaka, Y., Sasaki, M., Furuse, J., Okusaka, T.
Phase I/II study of nivolumab plus lenvatinib for advanced biliary tract cancer (JCOG1808/NCCH1817, SNIPE) .
ESMO Open, 2024. 9 (10) : 103919
 34. 三重堯文, 笹平直樹
急性期から終末期まで : がん看護の最新知識 : 消化器がんコンプリート BOOK : 病態・検査・治療・ケア : (3 章) 肝臓がん : 治療・ケア : 肝臓がん薬物療法 .
消化器ナーシング , 2024 (2024 秋季増刊) : 111-116
 35. 三重堯文, 笹平直樹
急性期から終末期まで : がん看護の最新知識 : 消化器がんコンプリート BOOK : 病態・検査・治療・ケア : (4 章) 胆道がん : 治療・ケア : 胆道がん薬物療法 .
消化器ナーシング , 2024 (2024 秋季増刊) : 145-149
 36. 三重堯文, 笹平直樹
急性期から終末期まで : がん看護の最新知識 : 消化器がんコンプリート BOOK : 病態・検査・治療・ケア : (5 章) 膵臓がん : 治療・ケア : 膵臓がん薬物療法 .
消化器ナーシング , 2024 (2024 秋季増刊) : 176-180
 37. 佐々木隆
今この研究が面白い! : (第 7 章) 肝・胆・膵 : 胆道がん : 胆道がんにおける免疫療法・分子標的治療薬などの薬物療法 .
内科 , 2024. 134 (3) : 623-626
 38. 佐々木隆
外科医が知っておくべき : 肝胆膵腫瘍に対する薬物療法 : 胆道・膵臓 : 切除不能・再発膵癌に対する薬物療法 .
臨床外科 , 2024. 79 (7) : 763-767
 39. 佐々木隆
患者さんからよく尋ねられる内科診療の Question : (第 8 章) 肝・胆・膵 : [75 歳男性, 胆管がん] 胆管がんと診断され, 手術ができないと言われました . どのような治療法がありますか ?
内科 , 2024. 133 (4) : 871-873
 40. 佐々木隆
悪性胆道・十二指腸閉塞に対する内視鏡治療戦略の現状と課題 .
Gastroenterol. Endosc., 2024. 66 (12) : 2639-2647
 41. 佐々木隆, 佐藤洋一郎, 前川有里, 平井達基, 石塚隆浩, 鈴木由佳理, 三重堯文, 古川貴光, 岡本武士, 武田剛志, 尾阪将人, 笹平直樹
胆膵 Interventional : Endoscopy を極める : 胆膵治療内視鏡テクニック : 内視鏡的十二指腸ステントング動画付 .
胆と膵 , 2024. 45 (臨増特大) : 1225-1230
 42. 佐々木隆
膵癌・胆道癌の早期診断に挑む : 胆道癌 : 胆道癌のリスク因子 .
肝胆膵 , 2024. 89 (3) : 371-376

43. 尾阪将人
ICI を用いた各臓器がんの標準的治療と新規免疫療法の課題：胆道がんにおけるがん免疫療法．腫瘍内科，2024. 33 (2) : 143-147
44. 尾阪将人
消化管間質腫瘍（GIST）の診断と治療の最前線：治療：転移・再発 GIST の治療：切除不能 GIST に対する薬物療法．外科，2024. 86 (2) : 154-159
45. 岡本武士，笹平直樹
新しい診断・薬の情報：デュルバルマブ．肝臓クリニカルアップデート，2024. 10 (2) : 211-215
46. 平井達基，笹平直樹
日常診療での超音波検査のおさえどころ：超音波検査の最近の進歩：脾の超音波内視鏡．臨牀と研究，2024. 101 (7) : 843-850

【上部消化管内科】

1. Gotoda, T., Ishikawa, H., Kusano, C., Suzuki, S., Ohnishi, H., Sugano, K., Matsuyama, Y.
Randomized controlled trial comparing the costs of gastric cancer screening systems between serological risk-based upper gastrointestinal endoscopy and the existing barium photofluorography: gastric cancer screening labeled by serum examination in place of aged gastric cancer organized screening systems (GALAPAGOS study) . Gastric Cancer, 2024. 27 (1) : 36-48
2. Hatta, W., Gotoda, T., Ogata, Y., Koike, T., Masamune, A.
W-eCura score versus eCura system: comparison in the external cohort is required. Gut, 2024. 73 (11) : e24
3. Horiuchi, Y., Hirasawa, T., Fujisaki, J.
Application of artificial intelligence for diagnosis of early gastric cancer based on magnifying endoscopy with narrow-band imaging. Clin. Endosc., 2024. 57 (1) : 11-17
4. Horiuchi, Y., Hirasawa, T., Fujisaki, J.
Endoscopic features of undifferentiated-type early gastric cancer in patients with Helicobacter pylori-uninfected or -eradicated stomachs: a comprehensive review. Gut Liver, 2024. 18 (2) : 209-217
5. Ichijima, R., Ikehara, H., Yamaguchi, D., Nagata, Y., Ogura, K., Esaki, M., Minoda, Y., Ono, H., Maeda, Y., Kiriya, S., Sumiyoshi, T., Kanmura, Y., Gotoda, T.
Randomized controlled trial of remimazolam compared with placebo in Japanese patients undergoing upper gastrointestinal endoscopy: Phase III investigator-initiated clinical trial. Dig. Endosc., 2024. 36 (9) : 995-1002
6. Ikenoyama, Y., Namikawa, K., Takamatsu, M., Kumazawa, Y., Tokai, Y., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Fujisaki, J.
Long- vs short-segment Barrett' s esophagus-derived adenocarcinoma: clinical features and outcomes of endoscopic submucosal dissection. Surg. Endosc., 2024. 38 (7) : 3636-3644
7. Ikenoyama, Y., Namikawa, K., Takamatsu, M., Kumazawa, Y., Tokai, Y., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Ogura, T., Fujisaki, J.
Risk stratification for synchronous/meta-chronous recurrence after endoscopic submucosal dissection for Barrett' s esophageal adenocarcinoma using the length of Barrett' s esophagus. Esophagus, 2024. 21 (3) : 357-364
8. Ikenoyama, Y., Goda, K., Fujisaki, J., Ishihara, R., Takeuchi, M., Takahashi, A., Takaki, Y., Hirasawa, D., Momma, K., Amano, Y., Yagi, K., Furuhashi, H., Hashimoto, S., Kanesaka, T., Shimizu, T., Ono, Y., Yamagata, T., Fujiwara, J., Azumi, T., Watanabe, G., Ohkura, Y., Nishikawa, M., Oyama, T.

A simpler diagnostic algorithm of the Japan Esophageal Society classification for Barrett's esophagus-related superficial neoplasia.

Esophagus, 2024. 21 (1) : 22-30

9. Ishibashi, F., Okusa, K., Tokai, Y., Hirasawa, T., Kawakami, T., Mochida, K., Yanai, Y., Yokoi, C., Hayashi, Y., Ozawa, S. I., Uraushihara, K., Minato, Y., Nakanishi, H., Ueyama, H., Kataoka, M., Toyama, Y., Mizokami, Y., Suzuki, S.

A mathematical simulation model to determine the optimal endoscopic screening strategy for detection of H. pylori-naïve gastric neoplasms.

Gastric Cancer 2024. 27 (5) : 1078-1087

10. Ishihara, R., Oyama, T., Takeuchi, M., Hirasawa, D., Kanetaka, K., Uesato, M., Tsuji, Y., Matsuura, N., Abe, S., Kadota, T., Yoshio, T., Tanaka, T., Urabe, Y., Suzuki, Y., Muto, M.

Multicenter retrospective analysis of complications and risk factors in endoscopic resection for esophageal cancer across Japan.

Esophagus 2024. 21 (4) : 430-437

11. Izumi, A., Horiuchi, Y., Takamatsu, M., Fukuyama, C., Yamamoto, H., Namikawa, K., Tokai, Y., Yoshimizu, S., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Fujisaki, J., Gotoda, T.

Prognostic factors for patients 85 years or older undergoing endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer.

Surg. Endosc., 2024. 38 (8) : 4306-4315

12. Kitagawa, Y., Matsuda, S., Gotoda, T., Kato, K., Wijnhoven, B., Lordick, F., Bhandari, P., Kawakubo, H., Kodera, Y., Terashima, M., Muro, K., Takeuchi, H., Mansfield, P. F., Kurokawa, Y., So, J., Mönig, S. P., Shitara, K., Rha, S. Y., Janjigian, Y., Takahari, D., Chau, I., Sharma, P., Ji, J., de Manzoni, G., Nilsson, M., Kassab, P., Hofstetter, W. L.,

Smyth, E. C., Lorenzen, S., Doki, Y., Law, S., Oh, D. Y., Ho, K. Y., Koike, T., Shen, L., van Hillegersberg, R., Kawakami, H., Xu, R. H., Wainberg, Z., Yahagi, N., Lee, Y. Y., Singh, R., Ryu, M. H., Ishihara, R., Xiao, Z., Kusano, C., Grabsch, H. I., Hara, H., Mukaisho, K. I., Makino, T., Kanda, M., Booka, E., Suzuki, S., Hatta, W., Kato, M., Maekawa, A., Kawazoe, A., Yamamoto, S., Nakayama, I., Narita, Y., Yang, H. K., Yoshida, M., Sano, T. Clinical practice guidelines for esophago-gastric junction cancer: Upper GI Oncology Summit 2023.

Gastric Cancer, 2024. 27 (3) : 401-425

13. Kobayashi, M., Fujisaki, J., Namikawa, K., Hoteya, S., Sasaki, A., Shibagaki, K., Yao, K., Abe, S., Oda, I., Ueyama, H., Isomoto, H., Ito, M., Sugimoto, M., Kawai, T., Kodama, M., Murakami, K., Adachi, K., Matsushashi, N., Ohata, K., Ushijima, T., Kato, M., Miyamoto, S., Yoshimura, D., Yao, T., Yagi, K., Iwaizumi, M., Uemura, N.

Multicenter study of invasive gastric cancer detected after 10 years of Helicobacter pylori eradication in Japan: Clinical, endoscopic, and histopathologic characteristics.

DEN Open, 2024. 4 (1) : e345

14. Kumagai, K., Yoshida, M., Ishida, H., Ishizuka, N., Ohashi, M., Makuuchi, R., Hayami, M., Ida, S., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Fujisaki, J., Nunobe, S.

Diagnostic performance of near-infrared fluorescent marking clips in laparoscopic gastrectomy.

J. Surg. Res., 2024. 300: 157-164

15. Kusano, C., Gotoda, T., Ishikawa, H., Suzuki, S., Ikehara, H., Matsuyama, Y.

Gastric cancer detection rates using gastrointestinal endoscopy with serological risk stratification: a randomized controlled trial. Gastrointest. Endosc., 2024. 100 (1) : 55-63, e1

16. Mimura, T., Yamamoto, Y., Suzuki, H., Takizawa, K., Hirasawa, T., Takeuchi, Y., Ishido, K., Hoteya, S., Yano, T., Tanaka, S., Kudara, N., Nakagawa, M., Mashimo, Y., Ishigooka, M., Fukase, K., Shimazu, T., Ono, H., Tanabe, S., Kondo, H., Iishi, H., Ninomiya, M., Oda, I.
Risk factors for intraoperative and delayed perforation related with gastric endoscopic submucosal dissection.
J. Gastroenterol. Hepatol., 2024. 39 (7) : 1358-1366
17. Morita, Y., Yoshimizu, S., Takamatsu, M., Kawachi, H., Nakano, K., Ikenoyama, Y., Tokai, Y., Namikawa, K., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Fujisaki, J.
Prediction of the invasion depth of superficial nonampullary duodenal adenocarcinoma.
Dig. Endosc., 2024. 58 (8) : 927-938
18. Namikawa, K., Björnsson, E. S.
Rebound acid hypersecretion after withdrawal of long-term proton pump inhibitor (PPI) treatment-are PPIs addictive?
Int. J. Mol. Sci., 2024. 25 (10) : 5459
19. Noda, H., Sakata, S., Baba, S., Togashi, Y., Nakano, K., Hirasawa, T., Nakayama, I., Hata, C., Takamatsu, M., Sugawara, E., Yamamoto, N., Fujisaki, J., Nunobe, S., Iwakiri, K., Takeuchi, K., Kawachi, H.
Early gastric cancer with RhoGAP fusion is linked to frequent nodal metastasis and a part of microtubular-mucocellular histology.
Gastric Cancer, 2024. 27 (4) : 772-784
20. Okamoto, T., Hirasawa, T.
Quality indicators in endoscopic screening and the role of artificial intelligence.
Dig. Endosc., 2024. 36 (1) : 16-18
21. Ono, S., Yamamoto, K., Ishibashi, F., Fujimoto, A., Urabe, Y., Takeda, T., Ishikawa, H., Fujishiro, M., Gotoda, T., Kaminishi, M., Sugano, K.
Red dichromatic imaging and linked color imaging as reliable image-enhanced endoscopic procedures for detecting the distal end of the palisade vessels in the columnar metaplastic mucosa of the gastroesophageal junction zone.
J. Gastroenterol., 2024. 59 (8) : 647-657
22. Sekiguchi, M., Suzuki, H., Takizawa, K., Hirasawa, T., Takeuchi, Y., Ishido, K., Hoteya, S., Yano, T., Tanaka, S., Toya, Y., Nakagawa, M., Toyonaga, T., Takemura, K., Hirasawa, K., Matsuda, M., Yamamoto, H., Tsuji, Y., Hashimoto, S., Maeda, Y., Oyama, T., Takenaka, R., Yamamoto, Y., Shimazu, T., Ono, H., Tanabe, S., Kondo, H., Iishi, H., Ninomiya, M., Oda, I., group, J. W. E.
Potential for expanding indications and curability criteria of endoscopic resection for early gastric cancer in elderly patients: results from a Japanese multicenter prospective cohort study.
Gastrointest. Endosc., 2024. 100 (3) : 438-448 e1
23. Takasu, A., Gotoda, T., Suzuki, S., Kusano, C., Goto, C., Ishikawa, H., Kogure, H.
Daily diet and nutrition risk factors for gastric cancer incidence in a Japanese population.
Gut Liver, 2024. 18 (4) : 602-610
24. Tan, C. K., Suzuki, S., Ang, T. L., Koh, X. H., Wang, L. M., Aniwani, S., Chiu, H. M., Lao-havichitra, K., Chirapongsathorn, S., Yamamura, T., Kuo, C. Y., Yoshida, N., Takezawa, T., Rerknimitr, R., Ishikawa, H., Gotoda, T.
Sessile serrated lesion prevalence and factors associated with their detection: a post-hoc analysis of a multinational randomized controlled trial from Asia.
Endoscopy, 2024. 56 (9) : 684-693
25. Ueyama, H., Hirasawa, T., Yano, T., Doyama, H., Isomoto, H., Yagi, K., Kawai, T., Yao, K.

- Advanced diagnostic endoscopy in the upper gastrointestinal tract: review of the Japan Gastroenterological Endoscopic Society core sessions.
DEN Open, 2024. 4 (1) : e359
26. Yoshida, N., Hayashi, Y., Togo, D., Oka, S., Takada, K., Fukunaga, S., Morita, Y., Hayashi, T., Kozuka, K., Tsuji, Y., Murakami, T., Yamamura, T., Komeda, Y., Takeuchi, Y., Shinmura, K., Fukuda, H., Yoshii, S., Ono, S., Katsuki, S., Kawashima, K., Nemoto, D., Yamamoto, H., Saito, Y., Tamai, N., Iwao, A., Itoi, Y., Tsuji, S., Inagaki, Y., Inada, Y., Soga, K., Hasegawa, D., Murakami, T., Yori-ki, H., Fukumoto, K., Motoyoshi, T., Nakatani, Y., Sano, Y., Iguchi, M., Fujii, S., Ban, H., Harada, K., Okamoto, K., Nishiyama, H., Sasaki, F., Mizukami, K., Shono, T., Shimoda, R., Miike, T., Yamaguchi, N.
An analysis of delayed bleeding in cases of colorectal endoscopic submucosal dissection due to types of direct oral anticoagulants in Japan.
Clin. Gastroenterol. Hepatol., 2024. 22 (2) : 271-282.e3
 27. Yoshida, M., Mori, K., Urabe, Y., Hirasawa, D., Sasaki, F., Takeuchi, M., Kadota, T., Yoshio, T., Yoshinaga, S., Kitamura, Y., Ohno, K., Ono, Y., Igarashi, K., Takahashi, H., Ishihara, R.
Evaluating the usefulness of considering the size and morphological type of type B2 vessel area based on Japan Esophageal Society classification in estimating tumor invasion depth in superficial esophageal squamous cell carcinomas: study protocol for a prospective observational study (Japan BEES study) .
BMC Gastroenterol., 2024. 24 (1) : 50
 28. 並河健
日本のピロリ菌，世界のピロリ菌 .
Helicobacter Research, 2024. 28 (1) : 96-98
 29. 中野薫，河内洋，後藤田卓志
皮下発育を呈する食道病変の診断：食道上皮下病変の病理診断 .
胃と腸，2024. 59 (3) : 279-293
 30. 伊藤孝助，平澤俊明，堀内裕介，石山晃世志，由雄敏之，後藤田卓志
内視鏡の読み方：胃の褪色調陥凹性病変の鑑別診断 .
臨床消化器内科，2024. 39 (5) : 593-598
 31. 山本浩之，平澤俊明，後藤田卓志
治療法の再整理とアップデートのために：専門家による私の治療：バレット食道 .
日本医事新報，2024. 5232: 36
 32. 平澤俊明，並河健，堀内裕介，藤崎順子，多田智裕，後藤田卓志
AI 支援下消化器外科手術の現状と展望：上部消化管領域の内視鏡画像リアルタイム診断支援 AI の開発 .
手術，2024. 78 (5) : 785-792
 33. 平澤俊明，並河健，堀内裕介，藤崎順子，多田智裕，後藤田卓志
これからの胃癌診療：胃癌診断と治療における AI の現状と展望 .
臨床消化器内科，2024. 39 (8) : 951-959
 34. 平澤俊明，多田智裕
わが国における胃がんスクリーニング体制：胃がん検診先進国として，科学的検証，海外への発信：胃がんスクリーニングに AI を活かす .
Helicobacter Research, 2024. 28 (2) : 201-205
 35. 平澤俊明，後藤田卓志
今日のカンファレンス：内視鏡後に吐き気とめまいが止まりません・・・ .
消化器クリニカルアップデート，2024. 6 (1) : 90-94
 36. 平澤俊明，並河健，渡海義隆，吉水祥一，堀内裕介，石山晃世志，由雄敏之，藤崎順子，多田智裕，後藤田卓志，河内洋
基本が大切：胃内視鏡診断：胃癌診断の振り返り（ピロリ関連胃癌） .

消化器内視鏡, 2024. 36 (2) : 256-264

37. 平澤俊明, 渡邊昌人, 中野薫
壁細胞機能不全症
病態を考える! : はるま先生の見るから診るへの内視鏡診断学 (春間賢編集), 東京, 文光堂 : pp.108-113, 2024
38. 平澤俊明, 栗原渉, 森田祐規, 並河健
消化管粘膜下腫瘍のすべて : 胃 : 胃 NET の取り扱い.
消化器内視鏡, 2024. 36 (7) : 1011-1014
39. 平澤俊明, 東佑香, 中野薫, 山本浩之, 福山知香, 並河健, 渡海義隆, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 藤崎順子, 河内洋, 後藤田卓志
自己免疫性胃炎 : 病期分類と画像所見 : 自己免疫性胃炎を背景とした胃癌の臨床病理学的特徴.
胃と腸, 2024. 59 (1) : 63-75
40. 平澤俊明著, 高松学病理監修
Dr. : 平澤俊明の白熱講義実況中継 : 胃 SEL/ SMT の診断と治療
東京, 医学書院 : 2024
41. 木戸恒陽, 平澤俊明, 後藤田卓志
Meet the expert : プロが教える内視鏡基本手技とコツ : 上部内視鏡のスクリーニング : 上部消化管癌を見落とさない.
消化器クリニカルアップデート, 2024. 6 (1) : 8-20
42. 木戸恒陽, 由雄敏之, 石山晃世志, 平澤俊明, 金森淳, 今村裕, 藤崎順子
症例から学ぶ咽頭・食道 ESD : 表在型 Barrett 食道腺癌の ESD : Barrett 食道腺癌 ESD 病理結果が pT1b-SM \geq 500 μ m, 脈管侵襲陽性だった.
消化器内視鏡, 2024. 36 (8) : 1216-1221
43. 渡邊昌人, 平澤俊明, 中野薫, 福山知香, 山本浩之, 並河健, 渡海義隆, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之
胃・十二指腸神経内分泌腫瘍 (NEN) : up to

date : Rindi 分類に含まれない胃神経内分泌腫瘍 (NET) の疾患概念.

胃と腸, 2024. 59 (5) : 731-736

44. 畑森裕之, 由雄敏之, 藤崎順子
手技の解説 : 食道術後縫合不全による瘻孔に対するポリグリコール酸シートとフィブリン糊を用いた内視鏡的瘻孔充填術について.
Gastroenterol. Endosc., 2024. 66 (2) : 172-180
45. 石山晃世志
症例 : 70 歳台男性。検査目的 : スクリーニングで発見された病変の精査.
ESD エキスパートが教える 上部消化管内視鏡診療のすべて (菊池大輔編集), 東京, 日本医事新報社 : pp.71-77, 2024
46. 藤崎順子
H.pylori 未感染胃癌の現状.
日本ヘリコバクター学会誌, 2024. 25 (2) : 110-116
47. 都宮美華, 由雄敏之, 中野薫, 河内洋, 石山晃世志
消化管粘膜下腫瘍のすべて : 食道 : case study : 粘膜下腫瘍様の形態を呈した食道表在癌の 1 例.
消化器内視鏡, 2024. 36 (7) : 988-989

【下部消化管内科】

1. Ando, Y., Sakurai, T., Ozaki, K., Matsui, S., Mukai, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Nakayama, I., Shigematsu, Y., Oba, A., Chino, A., Fukunaga, Y.
Integrating surgical intervention and watch-and-wait approach in dMMR metastatic rectal cancer with pembrolizumab: a case report.
Surg. Case Rep., 2024. 10 (1) : 198
2. Chikatani, K., Ishida, H., Mori, Y., Nakajima, T., Ueki, A., Akagi, K., Takao, A., Yamada, M., Taniguchi, F., Komori, K., Sasaki, K., Sudo, T., Miyakura, Y., Chino, A., Yamaguchi, T., Tanakaya, K., Tomita, N., Ajioka, Y.

- Risk of metachronous colorectal cancer after surgical resection of index rectal cancer in Lynch syndrome: A multicenter retrospective study in Japan.
Surg. Today, 2024. 54 (9) : 1075-1083
3. Chino, A., Tanakaya, K., Nakajima, T., Akagi, K., Takao, A., Yamada, M., Ishida, H., Komori, K., Sasaki, K., Miguchi, M., Hirata, K., Sudo, T., Miyakura, Y., Ishikawa, T., Yamaguchi, T., Tomita, N., Ajioka, Y.
Colorectal cancer and advanced adenoma characteristics according to causative mismatch repair gene variant in Japanese colorectal surveillance for Lynch syndrome.
J. Gastroenterol., 2024. 59 (8) : 699-708
 4. Chino, A., Ide, D., Abe, S., Yoshinaga, S., Ichimasa, K., Kudo, T., Ninomiya, Y., Oka, S., Tanaka, S., Igarashi, M.
Performance evaluation of a computer-aided polyp detection system with artificial intelligence for colonoscopy.
Dig. Endosc., 2024. 36 (2) : 185
 5. Djinbachian, R., Rex, D. K., Chiu, H. M., Fukami, N., Aihara, H., Bastiaansen, B. A. J., Bechara, R., Bhandari, P., Bhatt, A., Bourke, M. J., Byeon, J. S., Cardoso, D., Chino, A., Chiu, P. W. Y., Dekker, E., Draganov, P. V., Elkholy, S., Emura, F., Goldblum, J., Haji, A., Ho, S. H., Jung, Y., Kawachi, H., Khashab, M., Khomvilai, S., Kim, E. R., Maselli, R., Messmann, H., Moons, L., Mori, Y., Nakaniishi, Y., Ngamruengphong, S., Parra-Blanco, A., Pellisé, M., Pinto, R. C., Pioche, M., Pohl, H., Rastogi, A., Repici, A., Sethi, A., Singh, R., Suzuki, N., Tanaka, S., Vieth, M., Yamamoto, H., Yang, D. H., Yokoi, C., Saito, Y., von Renteln, D.
International consensus on the management of large (≥ 20 mm) colorectal laterally spreading tumors: World Endoscopy Organization Delphi study.
Dig. Endosc., 2024. 36 (11) : 1253-1268
 6. Fujiyoshi, K., Sudo, T., Fujita, F., Tanihara, S., Ishida, H., Shichijo, S., Chino, A., Nagasaki, T., Takao, A., Sasaki, K., Akagi, K., Matsubara, T., Ueno, H., Hirata, K., Miyakura, Y., Ishikawa, T., Sunami, E., Takahashi, Y., Yamaguchi, T., Tanakaya, K., Tomita, N., Ajioka, Y.
Marital status after colorectal surgery in familial adenomatous polyposis: a nationwide multicenter study in Japan.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (9) : 1274-1283
 7. Nishikawa, Y., Horimatsu, T., Oka, S., Yamada, T., Mitsui, K., Yamamoto, H., Takahashi, K., Shiomi, A., Hotta, K., Takeuchi, Y., Kuwai, T., Ishida, F., Kudo, S. E., Saito, S., Ueno, M., Sunami, E., Yamano, T., Itabashi, M., Ohtsuka, K., Kinugasa, Y., Matsumoto, T., Sugai, T., Uraoka, T., Kurahara, K., Yamaguchi, S., Kato, T., Okajima, M., Kashida, H., Fujita, F., Ikematsu, H., Ito, M., Esaki, M., Kawai, M., Yao, T., Hamada, M., Koda, K., Fukai, Y., Komori, K., Saitoh, Y., Kanemitsu, Y., Takamaru, H., Yamada, K., Nozawa, H., Takayama, T., Togashi, K., Shinto, E., Torisu, T., Toyoshima, A., Ohmiya, N., Kato, T., Otsuji, E., Nagata, S., Hashiguchi, Y., Sugihara, K., Ajioka, Y., Tanaka, S.
Outcomes of metastatic and unresectable small bowel adenocarcinoma in Japan according to the treatment strategy: a nationwide observational study.
JCO Glob. Oncol., 2024. 10: e2300392
 8. Oka, S., Tanaka, S., Kajiwarra, Y., Saito, S., Fukunaga, Y., Takamatsu, M., Kawachi, H., Hotta, K., Ikematsu, H., Kojima, M., Saito, Y., Yamada, M., Kanemitsu, Y., Sekine, S., Nagata, S., Yamada, K., Kobayashi, N., Ishihara, S., Saitoh, Y., Matsuda, K., Togashi, K., Komori, K., Ishiguro, M., Kuwai, T., Okuyama, T., Ohuchi, A., Ohnuma, S., Sakamoto, K., Sugai, T., Katsumata, K., Matsushita, H. O., Yamano, H. O., Eda, H., Uraoka, T., Akimoto, N., Kobayashi, H., Sugihara, K., Ueno, H.
Correction to: Treatment decision for local-

ly resected T1 colorectal carcinoma-verification of the Japanese guideline criteria for additional surgery based on long-term clinical outcomes.

Am. J. Gastroenterol., 2024. 119 (11) : 2352

9. Oka, S., Tanaka, S., Kajiwar, Y., Saito, S., Fukunaga, Y., Takamatsu, M., Kawachi, H., Hotta, K., Ikematsu, H., Kojima, M., Saito, Y., Yamada, M., Kanemitsu, Y., Sekine, S., Nagata, S., Yamada, K., Kobayashi, N., Ishihara, S., Saitoh, Y., Matsuda, K., Togashi, K., Komori, K., Ishiguro, M., Kuwai, T., Okuyama, T., Ohuchi, A., Ohnuma, S., Sakamoto, K., Sugai, T., Katsumata, K., Matsushita, H. O., Yamano, H. O., Eda, H., Uraoka, T., Akimoto, N., Kobayashi, H., Sugihara, K., Ueno, H.

Treatment decision for locally resected T1 colorectal carcinoma-verification of the Japanese guideline criteria for additional surgery based on long-term clinical outcomes. Am. J. Gastroenterol., 2024. 119 (8) : 1483-1491

10. Saito, Y., Sakamoto, T., Dekker, E., Pioche, M., Probst, A., Ponchon, T., Messmann, H., Dinis-Ribeiro, M., Matsuda, T., Ikematsu, H., Saito, S., Wada, Y., Oka, S., Sano, Y., Fujishiro, M., Murakami, Y., Ishikawa, H., Inoue, H., Tanaka, S., Tajiri, H., Iee-Jnet Group.

First report from the international evaluation of endoscopic classification Japan NBI expert team: international multicenter web trial.

Dig. Endosc., 2024. 36 (5) : 591-599

11. Sano, Y., Hotta, K., Matsuda, T., Murakami, Y., Fujii, T., Kudo, S. E., Oda, Y., Ishikawa, H., Saito, Y., Kobayashi, N., Sekiguchi, M., Ikematsu, H., Katagiri, A., Konishi, K., Takeuchi, Y., Iishi, H., Igarashi, M., Kobayashi, K., Sada, M., Osera, S., Shinohara, T., Yamaguchi, Y., Hasuda, K., Morishima,

T., Miyashiro, I., Shimoda, T., Taniguchi, H., Fujimori, T., Ajioka, Y., Yoshida, S.

Endoscopic removal of premalignant lesions reduces long-term colorectal cancer risk: results from the Japan Polyp Study.

Clin. Gastroenterol. Hepatol., 2024. 22 (3) : 542-551.e3

12. Sasaki, K., Kawai, K., Nozawa, H., Ishihara, S., Ishida, H., Ishibashi, K., Mori, Y., Shichijo, S., Tani, Y., Takeuchi, Y., Chino, A., Takao, M., Fujiyoshi, K., Matsubara, T., Miyakura, Y., Taniguchi, F., Yamaguchi, T., Tanakaya, K., Tomita, N., Ajioka, Y.

Risk of gastric adenoma and adenocarcinoma in patients with familial adenomatous polyposis in Japan: a nationwide multicenter study.

J. Gastroenterol., 2024. 59 (3) : 187-194

13. Takada, K., Imai, K., Yamada, T., Ohata, K., Kanesaka, T., Nagami, Y., Yamasaki, Y., Kobara, H., Inokuchi, Y., Chino, A., Yamaguchi, S., Ikehara, H., Kawamura, T., Yabuuchi, Y., Mizuguchi, Y., Ikematsu, H., Yokoi, C., Hattori, S., Ohno, K., Yoshizawa, Y., Fukuzawa, M., Tsuji, Y., Konishi, J., Yamamura, T., Osawa, S., Oka, S., Hikichi, T., Togashi, K., Hirasawa, K., Uraoka, T., Takeuchi, Y., Chiba, H., Komeda, Y., Doyama, H., Oba, M. S., Saito, Y.

Efficacy of endoscopic submucosal resection with a ligation device for small rectal neuroendocrine tumor: study protocol of a multicenter open-label randomized control trial (BANDIT trial) .

BMC Gastroenterol., 2024. 24 (1) : 69

14. Tamaru, Y., Kuwai, T., Kajiwar, Y., Oka, S., Saito, S., Fukunaga, Y., Kawachi, H., Takamatsu, M., Hotta, K., Ikematsu, H., Kojima, M., Saito, Y., Kanemitsu, Y., Yamada, M., Sekine, S., Tanaka, S., Nagata, S., Nakamura, T., Yamada, K., Konno, M., Ishihara, S., Saitoh, Y., Matsuda, K., Togashi, K., Komori, K., Ishiguro, M., Okuyama, T., Ohuchi, A., Ohnuma, S., Sakamoto,

- K., Sugai, T., Katsumata, K., Matsushita, H. O., Yamano, H. O., Nakai, K., Uraoka, T., Akimoto, N., Kobayashi, H., Ajioka, Y., Sugihara, K., Ueno, H.
Long-term outcomes of additional surgery after endoscopic resection versus primary surgery for T1 colorectal cancer.
Am. J. Gastroenterol., 2024. 119 (12) : 2418-2425
15. Tanaka, H., Uraoka, T., Kobayashi, N., Ohta, K., Takeuchi, Y., Chino, A., Yamada, M., Tsuji, Y., Hotta, K., Harada, K., Ikematsu, H., Murakami, T., Tsuji, S., Katagiri, A., Hori, S., Michida, T., Suzuki, T., Fukuzawa, M., Kiriya, S., Fukase, K., Murakami, Y., Ishikawa, H., Nagahara, A., Saito, Y.
Short-term and long-term outcomes of submucosal dissection for residual or recurrent colorectal tumors after endoscopic resection: analysis of a multicenter prospective study.
Dig. Endosc., 2024. 36 (9) : 1003-1011
 16. Tsuji, S., Doyama, H., Kobayashi, N., Ohta, K., Takeuchi, Y., Chino, A., Takamaru, H., Tsuji, Y., Hotta, K., Harada, K., Ikematsu, H., Uraoka, T., Murakami, T., Katagiri, A., Hori, S., Michida, T., Suzuki, T., Fukuzawa, M., Kiriya, S., Fukase, K., Murakami, Y., Ishikawa, H., Saito, Y.
Outcomes of noncurative endoscopic submucosal dissection for T1 colorectal cancer: prospective, multicenter, cohort study in Japan.
Dig. Endosc., 2024. 36 (12) : 1369-1379
 17. Yamashita, K., Oka, S., Yamada, T., Mitsui, K., Yamamoto, H., Takahashi, K., Shiomi, A., Hotta, K., Takeuchi, Y., Kuwai, T., Ishida, F., Kudo, S. E., Saito, S., Ueno, M., Sunami, E., Yamano, T., Itabashi, M., Ohtsuka, K., Kinugasa, Y., Matsumoto, T., Sugai, T., Uraoka, T., Kurahara, K., Yamaguchi, S., Kato, T., Okajima, M., Kashida, H., Akagi, Y., Ikematsu, H., Ito, M., Esaki, M., Kawai, M., Yao, T., Hamada, M., Horimatsu, T., Koda, K., Fukai, Y., Komori, K., Saitoh, Y., Kanemitsu, Y., Takamaru, H., Yamada, K., Nozawa, H., Takayama, T., Togashi, K., Shinto, E., Torisu, T., Toyoshima, A., Ohmiya, N., Kato, T., Otsuji, E., Nagata, S., Hashiguchi, Y., Sugihara, K., Ajioka, Y., Tanaka, S.
Clinicopathological features and prognosis of primary small bowel adenocarcinoma: a large multicenter analysis of the JSCCR database in Japan.
J. Gastroenterol., 2024. 59 (5) : 376-388
 18. 伊藤孝助, 斎藤彰一, 泉敦子, 熊澤祐介, 鈴木啓太, 唐渡修一郎, 東佑香, 古谷建悟, 渡邊昌人, 十倉淳紀, 鈴木桂悟, 安江千尋, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広, 高松学
大腸ポリープのすべて: 大腸上皮性ポリープの鑑別診断: 腫瘍性ポリープ: 内視鏡診断の立場から.
胃と腸, 2024. 59 (2) : 151-162
 19. 十倉淳紀, 千野晶子, 小林望, 大園研, 竹内洋司, 斎藤彰一, 山田真善, 辻陽介, 堀田欣一, 原田馨太, 池松弘朗, 高取祐作, 浦岡俊夫, 村上敬, 辻重継, 片桐敦, 堀伸一郎, 道田知樹, 鈴木拓人, 福澤誠克, 桐山真典, 深瀬和利, 村上義孝, 石川秀樹, 斎藤豊
大腸 ESD 長期予後研究 (CREATE-J) 参加施設における大腸 ESD に対するクリニカルパスの現状: 多施設共同 (20 施設) アンケート調査.
Gastroenterol. Endosc., 2024. 66 (1) : 89-98
 20. 十倉淳紀, 河内洋, 千野晶子, 鈴木桂悟, 安江千尋, 井出大資, 五十嵐正広, 斎藤彰一
大腸ポリープのすべて: 隆起型粘膜脱症候群に合併した早期直腸癌の 1 例.
胃と腸, 2024. 59 (2) : 244-249
 21. 千野晶子
消化管疾患の分類 2024: 小腸・大腸: 放射線性腸炎: 病期・内視鏡重症度分類.
胃と腸, 2024. 59 (4) : 606

22. 唐渡修一郎, 斎藤彰一, 鈴木桂悟, 千野晶子, 五十嵐正広, 高松学
大腸内視鏡治療: CP/EMR/ESD/Underwater
関連手技の今: 総論: 内視鏡治療の適応と内視
鏡診断 Up to Date.
臨床消化器内科, 2024. 39 (6) : 607-615
23. 渡邊昌人, 斎藤彰一, 十倉淳紀, 鈴木桂悟, 安
江千尋, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広, 高
松学
臨床と病理のマリアージュ: 臨床医の考える臨
床画像と病理所見の対比: 大腸.
胃と腸, 2024. 59 (8) : 1153-1162
24. 鈴木啓太, 安江千尋, 高松学, 斎藤彰一
大腸内視鏡のトラブルシューティング: 診断に
おけるトラブルシューティング: 早期癌の深達
度診断で迷うときどうする?
消化器内視鏡, 2024. 36 (3) : 364-368
25. 鈴木啓太, 鈴木桂悟
消化管疾患の分類 2024: 小腸・大腸: 大腸腫瘍:
肉眼型分類 (大腸癌取扱い規約).
胃と腸, 2024. 59 (4) : 522-523

【乳腺内科】

1. Abe, T., Kataoka, A., Uehiro, N., Yoshida, N., Nishimura, M., Ozaki, Y., Kogawa, T., Takano, T., Ohno, S., Ueno, T.
Desire for pregnancy and fertility preserva-
tion in young patients with breast cancer.
Breast Cancer, 2024. 31 (6) : 1137-1143
2. Baba, T., Kusumoto, M., Kato, T., Kurihara, Y., Sasaki, S., Oikado, K., Saito, Y., Endo, M., Fujiwara, Y., Kenmotsu, H., Sata, M., Takano, T., Kato, K., Hirata, K., Katagiri, T., Saito, H., Kuwano, K.
Correction to: Clinical and imaging features of interstitial lung disease in cancer pa-
tients treated with trastuzumab deruxtec-
an.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (1) : 78-79
3. Fehm, T., Cottone, F., Dunton, K., André, F., Krop, I., Park, Y. H., De Laurentiis, M., Miyoshi, Y., Armstrong, A., Borrego, M. R., Yerushalmi, R., Duhoux, F. P., Takano, T., Lu, W., Egorov, A., Kim, S. B.
Trastuzumab deruxtecan versus treat-
ment of physician' s choice in patients with
HER2-positive metastatic breast cancer
(DESTINY-Breast02) : patient-reported
outcomes from a randomised, open-label,
multicentre, phase 3 trial.
Lancet Oncol., 2024. 25 (5) : 614-625
4. Ganz, P. A., Bandos, H., Španić, T., Fried-
man, S., Müller, V., Kuemmel, S., Delaloge, S., Brain, E., Toi, M., Yamauchi, H., de
Dueñas, E. M., Armstrong, A., Im, S. A., Song, C. G., Zheng, H., Sarosiek, T.,
Sharma, P., Geng, C., Fu, P., Rhiem, K., Frauchiger-Heuer, H., Wimberger, P., t' Kint
de Roodenbeke, D., Liao, N., Goodwin, A., Chakiba-Brugère, C., Friedlander, M.,
Lee, K. S., Giacchetti, S., Takano, T., Hen-
ao-Carrasco, F., Virani, S., Valdes-Albini, F., Domchek, S. M., Bane, C., McCarron, E. C.,
Mita, M., Rossi, G., Rastogi, P., Fielding, A., Gelber, R. D., Scheepers, E. D., Cameron, D., Garber, J., Geyer, C. E., Tutt, A. N. J.
Patient-reported outcomes in OlympiA: A
phase III, randomized, placebo-controlled
trial of adjuvant olaparib in gBRCA1/2 mu-
tations and high-risk human epidermal
growth factor receptor 2-negative early
breast cancer.
J. Clin. Oncol., 2024. 42 (11) : 1288-1300
5. Hara, F., Nagasaki, R., Minami, R., Izutani, T., Yoshida, T., Arai, A., Nihei, A., Sakurai, N., Ohno, S.
Survey on adverse events associated with
drug therapy for breast cancer patients.
BMC women' s health, 2024. 24 (1) : 545
6. Hattori, M., Honma, N., Nagai, S., Narui, K., Shigechi, T., Ozaki, Y., Yoshida, M., Saka-
tani, T., Sasaki, E., Tanabe, Y., Tsurutani, J., Takano, T., Saji, S., Masuda, S., Horii, R., Tsuda, H., Yamaguchi, R., Toyama, T., Ya-
mauchi, C., Toi, M., Yamamoto, Y.

- Trastuzumab deruxtecan for human epidermal growth factor receptor 2-low advanced or metastatic breast cancer: Recommendations from the Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guidelines. *Breast Cancer*, 2024. 31 (3) : 335-339
7. Hayashi, N., Ono, M., Fukada, I., Yamazaki, M., Sato, N., Hosonaga, M., Wang, X., Kaneko, K., Arakawa, H., Habano, E., Kuga, A., Kataoka, A., Ueki, A., Kiyotani, K., Tonooka, A., Takeuchi, K., Kogawa, T., Kitano, S., Takano, T., Watanabe, M., Mori, S., Takahashi, S.
Addressing the knowledge gap in the genomic landscape and tailored therapeutic approaches to adolescent and young adult cancers. *ESMO Open*, 2024. 9 (8) : 103659
 8. Hayashi, N., Mori, S., Ohmoto, A., Fukada, I., Yamazaki, M., Hosonaga, M., Wang, X., Ueki, A., Kiyotani, K., Tonooka, A., Takeuchi, K., Takahashi, S.
Availability of genome-matched therapy based on clinical practice. *Int. J. Clin. Oncol.*, 2024. 29 (7) : 964-971
 9. Hirose, T., Ito, M., Tsuchihashi, K., Ozaki, Y., Nishio, H., Ichihara, E., Miura, Y., Yano, S., Maruyama, D., Yoshinami, T., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Baba, E., Ochi, N., Kubo, T., Uchino, K., Kimura, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T., Endo, M.
Effectiveness and safety of primary prophylaxis with G-CSF for patients with Ewing sarcomas: a systematic review for the Clinical Practice Guidelines for the Use of G-CSF 2022 of the Japan Society of Clinical Oncology. *Int. J. Clin. Oncol.*, 2024. 29 (8) : 1081-1087
 10. Hirose, T., Ito, M., Tsuchihashi, K., Ozaki, Y., Nishio, H., Ichihara, E., Miura, Y., Yano, S., Maruyama, D., Yoshinami, T., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Baba, E., Ochi, N., Kubo, T., Uchino, K., Kimura, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T., Endo, M.
Primary prophylaxis with G-CSF for patients with non-round cell soft tissue sarcomas: a systematic review for the Clinical Practice Guidelines for the Use of G-CSF 2022 of the Japan Society of Clinical Oncology. *Int. J. Clin. Oncol.*, 2024. 29 (8) : 1067-1073
 11. Hosonaga, M., Habano, E., Arakawa, H., Kaneko, K., Nakajima, T., Hayashi, N., Fukada, I., Nakamura, A., Haruyama, Y., Maeda, T., Inari, H., Kobayashi, T., Nakashima, E., Ueno, T., Takano, T., Takahashi, S., Ohno, S., Ueki, A.
Case series of Li-Fraumeni syndrome: carcinogenic mechanisms in breast cancer with TP53 pathogenic variant carriers. *Breast Cancer*, 2024. 31 (5) : 988-996
 12. Ichihara, E., Ochi, N., Makimoto, G., Kudo, K., Harada, D., Ozaki, Y., Nishio, H., Tsuchihashi, K., Miura, Y., Endo, M., Yano, S., Maruyama, D., Yoshinami, T., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Ito, M., Baba, E., Uchino, K., Kimura, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T., Kubo, T.
Effectiveness and safety of primary prophylaxis with G-CSF for lung cancer: a systematic review and meta-analysis to develop clinical practice guidelines for the use of G-CSF 2022. *Int. J. Clin. Oncol.*, 2024. 29 (4) : 355-362
 13. Im, S. A., Cortes, J., Cescon, D. W., Yusof, M. M., Iwata, H., Masuda, N., Takano, T., Huang, C. S., Chung, C. F., Tsugawa,

- K., Park, Y. H., Matsumoto, K., Inoue, K., Kwong, A., Loi, S., Fu, W., Pan, W., Karantz, V., Rugo, H. S., Schmid, P.
Results from the randomized KEYNOTE-355 study of pembrolizumab plus chemotherapy for Asian patients with advanced TNBC. *npj Breast Cancer*, 2024. 10 (1) : 79
14. Ito, M., Okumura, Y., Nio, K., Baba, E., Ozaki, Y., Nishio, H., Ichihara, E., Miura, Y., Endo, M., Yano, S., Maruyama, D., Yoshinami, T., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Ochi, N., Kubo, T., Uchino, K., Kimura, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T., Tsuchihashi, K.
Effectiveness of G-CSF in chemotherapy for digestive system tumors: a systematic review of the Clinical Practice Guidelines for the Use of G-CSF 2022 delineated by the Japan Society of Clinical Oncology. *Int. J. Clin. Oncol.*, 2024. 29 (6) : 689-699
 15. Iwamoto, T., Niikura, N., Watanabe, K., Takeshita, T., Kikawa, Y., Kobayashi, K., Iwakuma, N., Okamura, T., Kobayashi, T., Katagiri, Y., Kitada, M., Tomioka, N., Miyoshi, Y., Shigematsu, H., Miyashita, M., Ishiguro, H., Masuda, N., Saji, S.
Prognostic value of the 21-Gene Breast Recurrence Score® assay for hormone receptor-positive/human epidermal growth factor 2-negative advanced breast cancer: subanalysis from Japan Breast Cancer Research Group-M07 (FUTURE trial) . *Breast Cancer Res. Treat.*, 2024. 208 (2) : 253-262
 16. Kimura, S., Shigeta, K., Tamura, S., Uchino, K., Kimura, T., Ozaki, Y., Nishio, H., Tsuchihashi, K., Ichihara, E., Endo, M., Yano, S., Maruyama, D., Yoshinami, T., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Ito, M., Baba, E., Ochi, N., Kubo, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T., Miura, Y.
Effectiveness and safety of primary prophylaxis of G-CSF during chemotherapy for prostate cancer, Japanese clinical guideline for appropriate use of G-CSF: clinical practice guidelines for the use of G-CSF 2022. *Int. J. Clin. Oncol.*, 2024. 29 (5) : 559-563
 17. Kobayashi, T., Nishimura, M., Hosonaga, M., Kizawa, R., Kawai, S., Aoyama, Y., Ozaki, Y., Fukada, I., Hara, F., Takano, T., Ueno, T.
Absolute lymphocyte count predicts efficacy of palbociclib in patients with metastatic luminal breast cancer. *BMC Cancer*, 2024. 24 (1) : 1156
 18. Kudo-Saito, C., Ozaki, Y.
Targeting Myeloid Determinants of Breast Cancer. *Breast Cancer Genetics, Immunology, and Immunotherapy: An Interdisciplinary Approach* (Editor : Rezaei, N.) , Singapore, Springer pp.255-285, 2024
 19. Maeda, T., Najima, Y., Kamiyama, Y., Nakao, S., Ozaki, Y., Nishio, H., Tsuchihashi, K., Ichihara, E., Miumra, Y., Endo, M., Maruyama, D., Yoshinami, T., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Ito, M., Baba, E., Ochi, N., Kubo, T., Uchino, K., Kimura, T., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T., Yano, S.
Effectiveness and safety of primary prophylaxis with G-CSF after induction therapy for acute myeloid leukemia: a systematic review and meta-analysis of the clinical practice guidelines for the use of G-CSF 2022 from the Japan Society of Clinical Oncology. *Int. J. Clin. Oncol.*, 2024. 29 (5) : 535-544
 20. Najima, Y., Maeda, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Ozaki, Y., Nishio, H., Tsuchihashi, K., Ichihara, E., Miumra, Y., Endo, M., Maruyama, D., Yoshinami, T., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Ito, M., Baba, E., Ochi, N., Kubo, T., Uchino, K., Kimura, T.,

- Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T., Yano, S.
Effectiveness and safety of granulocyte colony-stimulating factor priming regimen for acute myeloid leukemia: A systematic review and meta-analysis of the Clinical Practice Guideline for the use of G-CSF 2022 from the Japan Society of Clinical Oncology. *Int. J. Clin. Oncol.*, 2024. 29 (7) : 899-910
21. Nonomiya, Y., Nakayama, I., Kobayashi, K., Amakawa, Y., Shibata, N., Soejima, A., Kawakami, K., Shimizu, H., Takahari, D., Kawai, S., Hara, F., Takano, T., Yamaguchi, K., Yamaguchi, M.
Analysis of adverse events associated with trastuzumab deruxtecan in patients with gastric and breast cancer: a retrospective study.
Biol. Pharm. Bull., 2024. 47 (2) : 411-416
 22. Nozawa, K., Ozaki, Y., Yoshinami, T., Yokoe, T., Nishio, H., Tsuchihashi, K., Ichihara, E., Miura, Y., Endo, M., Yano, S., Maruyama, D., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Ito, M., Baba, E., Ochi, N., Kubo, T., Uchino, K., Kimura, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T.
Effectiveness and safety of primary prophylaxis with G-CSF during chemotherapy for invasive breast cancer: a systematic review and meta-analysis from Clinical Practice Guidelines for the Use of G-CSF 2022. *Int. J. Clin. Oncol.*, 2024. 29 (4) : 1074-1080
 23. Otsuji, K., Takahashi, Y., Osako, T., Kobayashi, T., Takano, T., Saeki, S., Yang, L., Baba, S., Kumegawa, K., Suzuki, H., Noda, T., Takeuchi, K., Ohno, S., Ueno, T., Maruyama, R.
Serial single-cell RNA sequencing unveils drug resistance and metastatic traits in stage IV breast cancer.
npj Precis. Oncol., 2024. 8 (1) : 222
 24. Ozaki, Y., Yokoe, T., Yoshinami, T., Nozawa, K., Nishio, H., Tsuchihashi, K., Ichihara, E., Miura, Y., Endo, M., Yano, S., Maruyama, D., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Ito, M., Baba, E., Ochi, N., Kubo, T., Uchino, K., Kimura, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T.
Optimal timing of prophylactic pegylated G-CSF after chemotherapy administration for patients with cancer: a systematic review and meta-analysis from Clinical Practice Guidelines for the use of G-CSF 2022. *Int. J. Clin. Oncol.*, 2024. 29 (5) : 551-558
 25. Saeki, Y., Sumi, Y., Ozaki, Y., Hosonaga, M., Kenmotsu, Y., Onoe, T., Yamaguchi, K., Matsumoto, Y.
Proposal for managing cancer-related insomnia: a systematic literature review of associated factors and a narrative review of treatment.
Cancer Med., 2024. 13 (22) : e70365
 26. Shien, T., Tsuda, H., Sasaki, K., Mizusawa, J., Akiyama, F., Kurosumi, M., Sawaki, M., Tamura, N., Tanaka, K., Kogawa, T., Takahashi, M., Hayashi, N., Mukai, H., Masuda, N., Hara, F., Iwata, H.
Comparison of proportions and prognostic impact of pathological complete response between evaluations of representative specimen and total specimen in primary breast cancer after neoadjuvant chemoradiotherapy: an ancillary study of JCOG0306.
Breast Cancer Res. Treat., 2024. 208 (1) : 145-154
 27. Suzuki, K., Yokokawa, T., Kawaguchi, T., Takada, S., Tamaki, S., Kawasaki, Y., Yamaguchi, T., Koizumi, K., Matsumoto, T., Sakata, Y., Arakawa, Y., Ayuhara, H., Hosonaga, M., Yamaguchi, M., Tsuji, D.
A multicenter, phase II trial of triplet antiemetic therapy with palonosetron,

- aprepitant, and olanzapine for highly emetogenic chemotherapy in breast cancer (PATROL-II) .
Sci. Rep., 2024. 14 (1) : 28271
28. Taira, N., Kikawa, Y., Iwamoto, T., Miyoshi, Y., Hara, K., Yoshitomi, S., Hikino, H., Takahashi, H., Takabatake, D., Kubo, S., Ikeda, M., Doihara, H., Shien, T., Okuyama, H., Tanabe, Y., Hara, F., Yamanouchi, K., Hagiwara, Y., Sawaki, M.
Pilot trial of an electronic patient-reported outcome monitoring system in patients with metastatic breast cancer undergoing chemotherapy.
Breast Cancer, 2024. 31 (2) : 283-294
 29. Takano, T., Masuda, N., Ito, M., Inoue, K., Tanabe, Y., Kawaguchi, K., Yasojima, H., Bando, H., Nakamura, R., Yamanaka, T., Ishida, K., Aruga, T., Yanagita, Y., Tokunaga, E., Aogi, K., Ohno, S., Kasai, H., Kataoka, T. R., Morita, S., Toi, M.
Long-term outcomes of neoadjuvant trastuzumab emtansine + pertuzumab (T-DM1 + P) and docetaxel + carboplatin + trastuzumab + pertuzumab (TCbHP) for HER2-positive primary breast cancer: results of the randomized phase 2 JBCRG20 study (Neo-peaks) .
Breast Cancer Res. Treat., 2024. 207 (1) : 33-48
 30. Tolaney, S. M., DeMichele, A., Takano, T., Rugo, H. S., Perou, C., Lynce, F., Parsons, H. A., Santa-Maria, C. A., Rocque, G. B., Yao, W., Sun, S. W., Mocci, S., Partridge, A. H., Carey, L. A.
OptimICE-RD: sacituzumab govitecan + pembrolizumab vs pembrolizumab (± capecitabine) for residual triple-negative breast cancer.
Future Oncol., 2024. 20 (31) : 2343-2355
 31. Tomomatsu, T., Shimizu, H., Yokokawa, T., Fukada, I., Kawakami, K., Kobayashi, K., Aoyama, T., Suzuki, W., Sugisaki, T., Hashimoto, K., Asano, M., Mori, Y., Hara, F., Takano, T., Ohno, S., Yamaguchi, M.
Cost of pegfilgrastim for the prophylaxis of chemotherapy-induced febrile neutropenia in patients with breast cancer receiving perioperative chemotherapy in daily practice in Japan.
YAKUGAKU ZASSHI, 2024. 144 (9) : 897-904
 32. Tsuchihashi, K., Ito, M., Okumura, Y., Nio, K., Ozaki, Y., Nishio, H., Ichihara, E., Miura, Y., Endo, M., Yano, S., Maruyama, D., Yoshinami, T., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Ochi, N., Kubo, T., Uchino, K., Kimura, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T., Baba, E.
Therapeutic use of granulocyte colony-stimulating factor (G-CSF) in patients with febrile neutropenia: a comprehensive systematic review for clinical practice guidelines for the use of G-CSF 2022 from the Japan Society of Clinical Oncology.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (6) : 700-705
 33. Uchino, K., Tamura, S., Kimura, S., Shigeta, K., Kimura, T., Ozaki, Y., Nishio, H., Tsuchihashi, K., Ichihara, E., Endo, M., Yano, S., Maruyama, D., Yoshinami, T., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Ito, M., Baba, E., Ochi, N., Kubo, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T., Miura, Y.
Effectiveness and safety of primary prophylaxis of granulocyte colony-stimulating factor during dose-dense chemotherapy for urothelial cancer: Clinical Practice Guidelines for the Use of G-CSF 2022.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (5) : 545-550
 34. Yoshinami, T., Nozawa, K., Yokoe, T., Ozaki, Y., Nishio, H., Tsuchihashi, K., Ichihara, E., Miura, Y., Endo, M., Yano, S., Maruyama, D., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T.,

- Ito, M., Baba, E., Ochi, N., Kubo, T., Uchino, K., Kimura, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T.
Comparison between a single dose of PEG G-CSF and multiple doses of non-PEG G-CSF: a systematic review and meta-analysis from Clinical Practice Guidelines for the use of G-CSF 2022.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (6) : 681-688
35. 三宅美穂, 坂井威彦, 前田哲代, 高橋洋子, 春山優理恵, 井上有香, 片岡明美, 稲荷均, 荻谷朗子, 宮城由美, 上野貴之, 金子景香, 植木有紗, 菊池真理, 大迫智, 高野利実, 大野真司
Li-Fraumeni 症候群のサーベイランス中に診断した乳癌の 1 例.
乳癌の臨床, 2024. 39 (3) : 291-297
36. 井上有香, 鈴木一洋, 松下大介, 小林洋子, 高山文博, 西口周, 中村友昭, 佐々木成聖, 阿部朋未, 吉田和世, 前田哲代, 高橋洋子, 荻谷朗子, 宮城由美, 清水研, 高野利実, 上野貴之, 大野真司, 小口正彦
AI ホスピタル事業におけるインフォームド Consent 高度化ソリューション開発研究.
乳癌の臨床, 2024. 39 (3) : 255-266
37. 増田淳
Precision oncology : がんゲノム医療の最前線における成果と問題点 : ゲノム医療の新たな進展と課題 : 全ゲノム解析の実地臨床導入の課題.
腫瘍内科, 2024. 34 (3) : 222-230
38. 増田淳
乳がん診療の未来 : 乳がん免疫療法の未来.
腫瘍内科, 2024. 34 (2) : 164-172
39. 尾崎由記範
ICI を用いた各臓器がんの標準的治療と新規免疫療法の課題 : 乳がんにおけるがん免疫療法.
腫瘍内科, 2024. 33 (2) : 108-115
40. 尾崎由記範
乳がんの再発とは何か?
腫瘍内科, 2024. 34 (2) : 193-197
41. 尾崎由記範
乳癌のすべて 2024 : 最新の治療 : 早期乳癌に対する薬物療法 : 最新トピックスまとめ.
医学のあゆみ, 2024. 290 (5) : 422-426
42. 尾崎由記範
乳癌学 2024 (下) : 最新の診断と治療 : 乳癌の薬物療法 : 乳房内および領域リンパ節再発根治切除後の全身療法はどのように考えるか.
日本臨床, 2024. 82 (増刊 7 乳癌学 2024 (下)) : 46-50
43. 尾崎由記範
乳癌簡単解説.
乳癌の臨床, 2024. 39 (3) : 252-253
44. 浅野舞美, 清水久範, 横川貴志, 鈴木亘, 川上和宜, 小林一男, 杉崎崇人, 青山剛, 式部さあ里, 友松拓哉, 深田一平, 高野利実, 山口正和
乳癌周術期 FEC 療法におけるペグフィルグラスチム使用による血球成分の推移調査.
癌と化学療法, 2024. 51 (9) : 913-918
45. 深田一平
特集新しいがんの分子解析技術の臨床応用 : がん全ゲノム解析の今とこれから.
癌と化学療法, 2024. 51 (1) : 7-13
46. 片岡明美, 阿部朋未, 植弘奈津恵, 吉田奈央, 松永有紀, 春山優理恵, 中平詩, 高畑史子, 井上有香, 山下奈真, 吉田和世, 前田哲代, 稲荷均, 坂井威彦, 中村美穂, 濱口恵子, 高野利実, 渡邊雅之, 上野貴之
がん診療拠点病院とは : がん診療の均てん化を考える : いつでもどこでも誰からでもサバイバーシップケアが受けられる病院を目指して.
日本外科学会雑誌, 2024. 125 (6) : 585-588
47. 高野利実
G-CSF 適正使用ガイドライン 2022 年版.
腫瘍内科, 2024. 33 (1) : 86-91

【乳腺外科】

1. Abe, T., Kataoka, A., Uehiro, N., Yoshida, N., Nishimura, M., Ozaki, Y., Kogawa, T., Takano, T., Ohno, S., Ueno, T.
Desire for pregnancy and fertility preservation in young patients with breast cancer.
Breast Cancer, 2024. 31 (6) : 1137-1143
2. Abe, A., Nomura, H., Fusegi, A., Yunokawa, M., Ueki, A., Habano, E., Arakawa, H., Kaneko, K., Minoura, Y., Inari, H., Ueno, T., Kanao, H.
Risk-reducing decisions regarding germline BRCA pathogenic variant: Focusing on the timing of genetic testing and RRSO.
J. Med. Genet., 2024. 61 (4) : 392-398
3. Azim, H. A., Jr., Niman, S. M., Partridge, A. H., Demeestere, I., Ruggeri, M., Colleoni, M., Saura, C., Shimizu, C., Saetersdal, A. B., Kroep, J. R., Mailliez, A., Warner, E., Borges, V. F., Amant, F., Gombos, A., Kataoka, A., Rousset-Jablonski, C., Borstnar, S., Takei, J., Lee, J. E., Walshe, J. M., Ruíz-Borrego, M., Moore, H. C. F., Saunders, C., Bjelic-Radisic, V., Susnjar, S., Cardoso, F., Klar, N. J., Spanic, T., Ruddy, K., Piccart, M., Korde, L. A., Goldhirsch, A., Gelber, R. D., Pagani, O., Peccatori, F. A.
Fertility preservation and assisted reproduction in patients with breast cancer interrupting adjuvant endocrine therapy to attempt pregnancy.
J. Clin. Oncol., 2024. 42 (23) : 2822-2832
4. Bhattacharya, A., Wang, K., Penailillo, J., Chan, C. N., Fushimi, A., Yamashita, N., Daimon, T., Haratake, N., Ozawa, H., Nakashoji, A., Shigeta, K., Morimoto, Y., Miyo, M., Kufe, D. W.
MUC1-C regulates NEAT1 lncRNA expression and paraspeckle formation in cancer progression.
Oncogene, 2024. 43 (28) : 2199-2214
5. Cardoso, F., Paluch-Shimon, S., Schumacher-Wulf, E., Matos, L., Gelmon, K., Aapro, M. S., Bajpai, J., Barrios, C. H., Bergh, J., Bergsten-Nordström, E., Biganzoli, L., Cardoso, M. J., Carey, L. A., Mac Gregor, M. C., Chidebe, R., Cortés, J., Curigliano, G., Dent, R. A., El Saghir, N. S., Eniu, A., Fallowfield, L., Francis, P. A., Franco Millan, S. X., Gilchrist, J., Gligorov, J., Gradishar, W. J., Haidinger, R., Harbeck, N., Hu, X., Kaur, R., Kiely, B., Kim, S. B., Koppikar, S., Kuper-Hommel, M. J. J., Lecouvet, F. E., Mason, G., Mertz, S. A., Mueller, V., Myerson, C., Neciosup, S., Offersen, B. V., Ohno, S., Pagani, O., Partridge, A. H., Penault-Llorca, F., Prat, A., Rugo, H. S., Senkus, E., Sledge, G. W., Swain, S. M., Thomssen, C., Vorkobiof, D. A., Vuylsteke, P., Wiseman, T., Xu, B., Costa, A., Norton, L., Winer, E. P.
6th and 7th International consensus guidelines for the management of advanced breast cancer (ABC guidelines 6 and 7) .
Breast, 2024. 76: 103756
6. Daimon, T., Bhattacharya, A., Wang, K., Haratake, N., Nakashoji, A., Ozawa, H., Morimoto, Y., Yamashita, N., Kosaka, T., Oya, M., Kufe, D. W.
MUC1-C is a target of salinomycin in inducing ferroptosis of cancer stem cells.
Cell Death Discov., 2024. 10 (1) : 9
7. Hosonaga, M., Habano, E., Arakawa, H., Kaneko, K., Nakajima, T., Hayashi, N., Fukada, I., Nakamura, A., Haruyama, Y., Maeda, T., Inari, H., Kobayashi, T., Nakashima, E., Ueno, T., Takano, T., Takahashi, S., Ohno, S., Ueki, A.
Case series of Li-Fraumeni syndrome: carcinogenic mechanisms in breast cancer with TP53 pathogenic variant carriers.
Breast Cancer, 2024. 31 (5) : 988-996
8. Iesato, A., Fushimi, A., Tahara, R., Terada, M., Iwase, M., Kawamura, C., Yamashita, N.
A novel system to provide information via

online YouTube videos and an evaluation of current online information about hereditary breast cancer.

Breast Cancer, 2024. 31 (1) : 63-74

9. Kato, S., Mori, H., Saiga, M., Watanabe, S., Sasada, S., Sasaki, A., Ogiya, A., Yamamoto, M., Narui, K., Takano, J., Seki, H., Nagura, N., Ishitobi, M., Shien, T.
Nipple-areolar complex malposition in breast reconstruction after nipple-sparing mastectomy: A multi-institutional retrospective observational study in Japan.
Breast Cancer, 2024. 31 (4) : 649-658
10. Kim, J., Kim, J., Seo, K. H., Lee, K. H., Park, Y. H., Lin, C. H., Lu, Y. S., Ueno, T., Yap, Y. S., Wong, F. Y., Tan, V. K. M., Lim, G. H., Tan, S. M., Yeo, W., Liu, Q., Leung, R., Naito, Y., Li, H., Lee, H. B., Han, W., Im, S. A.
Survival outcomes of young-age female patients with early breast cancer: an international multicenter cohort study.
ESMO Open, 2024. 9 (11) : 103732
11. Kobayashi, T., Nishimura, M., Hosonaga, M., Kizawa, R., Kawai, S., Aoyama, Y., Ozaki, Y., Fukada, I., Hara, F., Takano, T., Ueno, T.
Absolute lymphocyte count predicts efficacy of palbociclib in patients with metastatic luminal breast cancer.
BMC Cancer, 2024. 24 (1) : 1156
12. Kojima, R., Ishitobi, M., Nagura, N., Shimo, A., Seki, H., Ogiya, A., Sakurai, T., Seto, Y., Sasada, S., Oshiro, C., Kato, M., Kawate, T., Kondo, N., Shien, T.
Receptor discordance after nipple-sparing mastectomy.
Surg. Pract. Sci., 2024. 17: 100239
13. Nishimura, T., Velaga, R., Masuda, N., Kawaguchi, K., Kawaguchi, S., Takada, M., Maeshima, Y., Tanaka, S., Kikawa, Y., Kadoya, T., Bando, H., Nakamura, R., Ya-

mamoto, Y., Ueno, T., Yasojima, H., Ishiguro, H., Morita, S., Ohno, S., Haga, H., Matsuda, F., Ogawa, S., Toi, M.

Genomic and transcriptomic profiling of pre- and postneoadjuvant chemotherapy triple negative breast cancer tumors.

Cancer Sci., 2024. 115 (12) : 3928-3942

14. Nogi, H., Ogiya, A., Ishitobi, M., Yamauchi, C., Mori, H., Shimo, A., Narui, K., Nagura, N., Seki, H., Sasada, S., Sakurai, T., Shien, T.
Impact of neoadjuvant chemotherapy on the safety and long-term outcomes of patients undergoing immediate breast reconstruction after mastectomy.
Breast Cancer, 2024. 31 (3) : 507-518
15. Ogiya, A., Kimura, K., Ueno, T., Iwase, T., Ohno, S.
Time trend of breast cancer-related lymphedema according to body mass index.
Eur. J. Surg. Oncol., 2024. 50 (6) : 108350
16. Otsuji, K., Takahashi, Y., Osako, T., Kobayashi, T., Takano, T., Saeki, S., Yang, L., Baba, S., Kumegawa, K., Suzuki, H., Noda, T., Takeuchi, K., Ohno, S., Ueno, T., Maruyama, R.
Serial single-cell RNA sequencing unveils drug resistance and metastatic traits in stage IV breast cancer.
npj Precis. Oncol., 2024. 8 (1) : 222
17. Rediti, M., Venet, D., Joaquin Garcia, A., Maetens, M., Vincent, D., Majjaj, S., El-Abed, S., Di Cosimo, S., Ueno, T., Izquierdo, M., Piccart, M., Pusztai, L., Loi, S., Salgado, R., Viale, G., Rothé, F., Sotiriou, C.
Identification of HER2-positive breast cancer molecular subtypes with potential clinical implications in the ALTTO clinical trial.
Nat. Commun., 2024. 15 (1) : 10402

18. Sakai, T., Kutomi, G., Shien, T., Asaga, S., Aruga, T., Ishitobi, M., Kuba, S., Sawaki, M., Terata, K., Tomita, K., Yamauchi, C., Yamamoto, Y., Iwata, H., Saji, S.
The Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guidelines for surgical treatment of breast cancer, 2022 edition.
Breast Cancer, 2024. 31 (1) : 1-7
19. Saldajeno, D. P., Kawaoka, S., Masuda, N., Tanaka, S., Bando, H., Nishimura, T., Kadoya, T., Yamanaka, T., Imoto, S., Velaga, R. M., Tamura, N., Aruga, T., Ikeda, K., Fukui, Y., Maeshima, Y., Takada, M., Suzuki, E., Ueno, T., Ogawa, S., Haga, H., Ohno, S., Morita, S., Kawaguchi, K., Toi, M.
Time-series blood cytokine profiles correlate with treatment responses in triple-negative breast cancer patients.
Br. J. Cancer, 2024. 130 (6) : 1023-1035
20. Sasada, S., Nagura, N., Shimo, A., Ogiya, A., Saiga, M., Seki, H., Mori, H., Kondo, N., Ishitobi, M., Narui, K., Nogi, H., Yamauchi, C., Sakurai, T., Shien, T.
Impact of radiation therapy for breast cancer with involved surgical margin after immediate breast reconstruction: A multi-institutional observational study.
Eur. J. Surg. Oncol., 2024. 50 (6) : 108360
21. Seki, H., Ogiya, A., Nagura, N., Shimo, A., Narui, K., Sasada, S., Ishitobi, M., Nogi, H., Kondo, N., Sakurai, T., Yamauchi, C., Mori, H., Saiga, M., Niikura, N., Shien, T.
Prognosis of isolated locoregional recurrence after early breast cancer with immediate breast reconstruction surgery: a retrospective multi-institutional study.
Breast Cancer, 2024. 31 (5) : 935-944
22. Takahashi, S., Sato, N., Kaneko, K., Masuda, N., Kawai, M., Hirakawa, H., Nomizu, T., Iwata, H., Ueda, A., Ishikawa, T., Bando, H., Inoue, Y., Ueno, T., Ohno, S., Kubo, M., Yamauchi, H., Okamoto, M., Tokunaga, E., Kamigaki, S., Aogi, K., Komatsu, H., Kitada, M., Uemoto, Y., Toyama, T., Yamamoto, Y., Yamashita, T., Yanagawa, T., Yamashita, H., Matsumoto, Y., Toi, M., Miyashita, M., Ishida, T., Fujishima, F., Sato, S., Yamaguchi, T., Takahashi, F., Ishioka, C.
TP53 signature predicts pathological complete response after neoadjuvant chemotherapy for breast cancer: observational and confirmational study using prospective study cohorts.
Transl. Oncol., 2024. 48: 102060
23. Tan, R. Y. C., Ong, W. S., Lee, K. H., Park, S., Iqbal, J., Park, Y. H., Lee, J. E., Yu, J. H., Lin, C. H., Lu, Y. S., Ono, M., Ueno, T., Naito, Y., Onishi, T., Lim, G. H., Tan, S. M., Lee, H. B., Koh, J., Han, W., Im, S. A., Tan, V. K. M., Phyu, N., Wong, F. Y., Tan, P. H., Yap, Y. S.
Outcomes in nonmetastatic hormone receptor-positive HER2-negative pure mucinous breast cancer: a multicenter cohort study.
J. Natl. Compr. Canc. Netw, 2024. 22 (2D) : e237121
24. Tomomatsu, T., Shimizu, H., Yokokawa, T., Fukada, I., Kawakami, K., Kobayashi, K., Aoyama, T., Suzuki, W., Sugisaki, T., Hashimoto, K., Asano, M., Mori, Y., Hara, F., Takano, T., Ohno, S., Yamaguchi, M.
Cost of pegfilgrastim for the prophylaxis of chemotherapy-induced febrile neutropenia in patients with breast cancer receiving perioperative chemotherapy in daily practice in Japan.
YAKUGAKU ZASSHI, 2024. 144 (9) : 897-904
25. Tsuchida, Y., Niikura, N., Chishima, T., Mizuno, M., Kawate, T., Fuchikami, H., Miyoshi, Y., Sakai, T., Kotani, H., Kondo, N., Hayashi, N.
Correlation between postoperative treatment selection and prognosis determined using the Oncotype DX® test data: a ret-

- rospective multicenter study in Japan.
Breast Cancer, 2024. 31 (3) : 401-408
26. Yamamoto, Y., Yamauchi, C., Toyama, T., Nagai, S., Sakai, T., Kutomi, G., Yoshimura, M., Kawai, M., Ohtani, S., Kubota, K., Nakashima, K., Honma, N., Yoshida, M., Tokunaga, E., Taira, N., Iwata, H., Saji, S. Correction: The Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guidelines for Breast Cancer, 2022 Edition: changes from the 2018 edition and general statements on breast cancer treatment.
Breast Cancer, 2024. 31 (4) : 736-737
 27. Yamamoto, Y., Yamauchi, C., Toyama, T., Nagai, S., Sakai, T., Kutomi, G., Yoshimura, M., Kawai, M., Ohtani, S., Kubota, K., Nakashima, K., Honma, N., Yoshida, M., Tokunaga, E., Taira, N., Iwata, H., Saji, S. The Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guidelines for Breast Cancer, 2022 Edition: changes from the 2018 edition and general statements on breast cancer treatment.
Breast Cancer, 2024. 31 (3) : 340-346
 28. Yang, L., Kumegawa, K., Saeki, S., Nakadai, T., Maruyama, R. Identification of lineage-specific epigenetic regulators FOXA1 and GRHL2 through chromatin accessibility profiling in breast cancer cell lines.
Cancer Gene Ther., 2024. 31 (5) : 736-745
 29. Yoshida, R., Kaneyasu, T., Ueki, A., Yamauchi, H., Ohsumi, S., Ohno, S., Aoki, D., Baba, S., Kawano, J., Matsumoto, N., Nagasaki, M., Ueno, T., Inari, H., Kobayashi, Y., Takei, J., Gotoh, O., Nishi, M., Okamura, M., Kaneko, K., Okawa, M., Suzuki, M., Amino, S., Inuzuka, M., Noda, T., Mori, S., Nakamura, S. High-risk pathogenic germline variants in blood relatives of BRCA1/2 negative probands.
Breast Cancer, 2024. 31 (6) : 1028-1036
 30. 三宅美穂, 坂井威彦, 前田哲代, 高橋洋子, 春山優理恵, 井上有香, 片岡明美, 稲荷均, 荻谷朗子, 宮城由美, 上野貴之, 金子景香, 植木有紗, 菊池真理, 大迫智, 高野利実, 大野真司 Li-Fraumeni 症候群のサーベイランス中に診断した乳癌の 1 例.
乳癌の臨床, 2024. 39 (3) : 291-297
 31. 上野貴之 Women' s Imaging 2024 Breast Imaging Vol.19 : 乳がん診療の新しい診断と治療を理解する : 乳がん診療における新たな診断技術を理解する リキッドバイオプシーの概要.
INNERVISION, 2024. 39 (8) : 48-50
 32. 上野貴之 乳癌のすべて 2024 : 予防・診断の進歩 : 乳癌のバイオロジー : ゲノム医療の視点から.
医学のあゆみ, 2024. 290 (5) : 355-358
 33. 中村暁, 荻谷朗子, 大迫智, 丸山大, 竹内賢吾, 上野貴之, 大野真司 乳腺原発医原性免疫不全関連リンパ増殖性疾患と対側乳癌を同時に認めた 1 例.
乳癌の臨床, 2024. 39 (1) : 85-92
 34. 井上有香, 鈴木一洋, 松下大介, 小林洋子, 高山文博, 西口周, 中村友昭, 佐々木成聖, 阿部朋未, 吉田和世, 前田哲代, 高橋洋子, 荻谷朗子, 宮城由美, 清水研, 高野利実, 上野貴之, 大野真司, 小口正彦 AI ホスピタル事業におけるインフォームドコンセント高度化ソリューション開発研究.
乳癌の臨床, 2024. 39 (3) : 255-266
 35. 井上有香 最新の診断と治療 : 乳房の手術 : 非触知乳癌の手術における病変部位同定の工夫.
日本臨床, 2024. 82 (増刊 6 乳癌学 2024 (上)) : 221-224
 36. 坂井威彦 乳癌治療における手術の省略について考える : 腋窩リンパ節郭清省略における Targeted Axillary Dissection の現状.

日本外科学会雑誌, 2024. 125 (5) : 435-442

37. 春山優理恵, 中島絵里, 稲荷均, 前田哲代, 西村明子, 幅野愛理, 新川裕美, 金子景香, 國分優美, 大迫智, 植木有紗, 上野貴之, 大野真司
多遺伝子パネル検査で診断に至った Li-Fraumeni 症候群の未発症血縁者: 初回の乳房ハイリスクサーベイランスで両側乳癌の診断に至った 1 例.
遺伝性腫瘍, 2024. 24 (2) : 153-160
38. 木村優里
最新の診断と治療: バイオロジー, 基礎研究の進歩: DNA 修復不全と乳癌.
日本臨床, 2024. 82 (増刊 6 乳癌学 2024 (上)) : 46-50
39. 深田一平, 上野貴之
わが国におけるがんゲノム医療の現在と未来: パネル検査から全ゲノム解析研究を含めて.
日本外科学会雑誌, 2024. 125 (3) : 252-257
40. 片岡明美
AYA 世代乳癌診療.
日本臨床外科学会雑誌, 2024. 85 (1) : 1-8
41. 片岡明美, 阿部朋未, 植弘奈津恵, 吉田奈央, 松永有紀, 春山優理恵, 中平詩, 高畑史子, 井上有香, 山下奈真, 吉田和世, 前田哲代, 稲荷均, 坂井威彦, 中村美穂, 濱口恵子, 高野利実, 渡邊雅之, 上野貴之
がん診療拠点病院とは: がん診療の均てん化を考える: いつでもどこでも誰からでもサバイバーシップケアが受けられる病院を目指して.
日本外科学会雑誌, 2024. 125 (6) : 585-588
42. 片岡明美
乳癌学 2024 (下): 最新の診断と治療: フォロアアップとトータルヘルスケア: AYA 世代乳癌の特徴とサバイバーシップ, 妊孕性保持.
日本臨床, 2024. 82 (増刊 7 乳癌学 2024 (下)) : 175-179

【婦人科】

1. Abe, A., Nomura, H., Fusegi, A., Yunokawa, M., Ueki, A., Habano, E., Arakawa, H., Kaneko, K., Minoura, Y., Inari, H., Ueno, T., Kanao, H.
Risk-reducing decisions regarding germline BRCA pathogenic variant: Focusing on the timing of genetic testing and RRSO.
J. Med. Genet., 2024. 61 (4) : 392-398
2. Birrer, M., Li, G., Yunokawa, M., Lee, J. Y., Kim, B. G., Oppermann, C. P., Zhou, Q., Nishio, S., Okamoto, A., Wu, X., Mileskin, L., Oaknin, A., Ray-Coquard, I., Hasegawa, K., Jehl, G., Vugmeyster, Y., Zhang, S., Bajars, M., Yonemori, K.
Bintrafusp alfa for recurrent or metastatic cervical cancer after platinum failure: a nonrandomized controlled trial.
JAMA Oncol., 2024. 10 (9) : 1204-1211
3. Cho, H. W., Kim, H. S., Park, J. Y., Lee, Y. Y., Lim, M. C., Lee, S. J., Min, K. J., Eoh, K. J., Lee, K. B., Kim, M. K., Song, J. Y., Shim, S. H., Ji, Y. I., Song, Y. J., Chang, S. J., Kim, M. K., Abe, A., Kobayashi, Y., Kajiya, H., Shimada, M., Okamoto, A., Ng, J. S., Lee, J. Y.
A randomized phase II study of secondary cytoreductive surgery in patients with relapsed ovarian cancer who have progressed on a PARP inhibitor as first-line maintenance therapy: the SOCCER-P study (KGOG 3067/JGOG 3036/APGOT-OV11) .
Int. J. Gynecol. Cancer, 2024. 34 (11) : 1809-1812
4. Doi, T., Takahashi, S., Aoki, D., Yonemori, K., Hara, H., Hasegawa, K., Takehara, K., Harano, K., Yunokawa, M., Nomura, H., Shimoi, T., Horie, K., Ogasawara, A., Okame, S.
A first-in-human phase I study of TAS-117, an allosteric AKT inhibitor, in patients with advanced solid tumors.
Cancer Chemother. Pharmacol., 2024. 93 (6) : 605-616

5. Fusegi, A., Kanao, H., Kamata, M., Nishino, S., Abe, A., Omi, M., Nomura, H.
Clinical implications of the superficial uterine vein pattern for the dissection of the anterior layer of the vesicouterine ligament in radical hysterectomy.
J. Gynecol. Oncol., 2024. 35 (4) : e50
6. Fusegi, A., Nomura, H., Ueki, A., Abe, A., Kamata, M., Misaka, S., Aoki, Y., Tanigawa, T., Yunokawa, M., Kanao, H.
Ovarian surveillance including endometrial cytology for patients with hereditary breast and ovarian cancer before risk-reducing salpingo-oophorectomy: A retrospective analysis.
J. Obstet. Gynecol. Res., 2024. 50 (6) : 1002-1009
7. Gotoh, O., Sugiyama, Y., Tonooka, A., Kosugi, M., Kitaura, S., Minegishi, R., Sano, M., Amino, S., Furuya, R., Tanaka, N., Kaneyasu, T., Kumegawa, K., Abe, A., Nomura, H., Takazawa, Y., Kanao, H., Maruyama, R., Noda, T., Mori, S.
Genetic and epigenetic alterations in precursor lesions of endometrial endometrioid carcinoma.
J. Pathol., 2024. 263 (3) : 275-287
8. Kanao, H., Tamate, M., Matsuura, M., Nagao, S., Nakazawa, M., Habata, S., Saito, T.
Step-by-step demonstration of “sciatic-nerve-preserved beyond-LEER” in a Thiel-embalmed cadaver: a novel salvage surgery for recurrent gynecologic malignancies.
J. Gynecol. Oncol., 2024. 35 (5) : e112
9. Kanno, M., Yunokawa, M., Fusegi, A., Abe, A., Nomura, H., Kanao, H.
Author’ s reply to: Revisiting the meaning of Trousseau sign and syndrome.
J. Gynecol. Oncol., 2024. 35 (3) : e93
10. Kanno, M., Yunokawa, M., Fusegi, A., Abe, A., Nomura, H., Kanao, H.
Cerebral infarction caused by Trousseau syndrome associated with cervical cancer.
J. Gynecol. Oncol., 2024. 35 (4) : e41
11. Komatsu, H., Matsumoto, K., Morita, M., Nagasawa, T., Nishio, H., Suzuki, J., Nishio, S., Kobara, H., Yunokawa, M., Ariyoshi, K., Hirayama, T., Tokunaga, H., Ukita, M., Yori-ki, K., Mori-Uchino, M., Furusawa, A., Togami, S., Nakamura, H., Ishikawa, M., Satoh, T.
A survey of carboplatin desensitization therapy in Japan: A multicenter retrospective study.
Cancer Med., 2024. 13 (5) : e6968
12. Maehana, T., Nishikubo, T., Maekawa, R., Hotta, T., Nishikawa, K., Waki, K., Makino, Y., Akasaka, J., Kawaguchi, R., Kimura, F.
Clinical implications of genetic testing for congenital protein C deficiency in pregnancy.
J. Obstet. Gynecol. Res., 2024. 50 (12) : 2367-2371
13. Matsuo, K., Shimada, M., Matsuzaki, S., Machida, H., Shigeta, S., Yoshida, H., Kato, K., Kanao, H., Takekuma, M., Mikami, M., Okamoto, A.
Assessment of postoperative therapy de-escalation for early-stage, intermediate-risk cervical cancer.
Int. J. Gynecol. Cancer, 2024. 34 (9) : 1349-1358
14. Murakami, A., Nomura, H., Abe, A., Fusegi, A., Aoki, Y., Omi, M., Tanigawa, T., Okamoto, S., Yunokawa, M., Kanao, H.
Influence of COVID-19 on the clinical characteristics of patients with uterine cervical cancer in Japan: A single-center retrospective study.
J. Obstet. Gynecol. Res., 2024. 50 (12) : 2280-2285

15. Murakami, A., Nomura, H., Sugiyama, Y., Kanao, H.
Successful surveillance using endometrial cytology in a woman with Lynch syndrome. *Cureus*, 2024. 16 (8) : e66250
16. Nakano, K., Hayashi, N., Wang, X., Ohmoto, A., Urasaki, T., Fukuda, N., Sato, Y., Ono, M., Tomomatsu, J., Yunokawa, M., Funachi, Y., Hayakawa, K., Tanizawa, T., Ae, K., Matsumoto, S., Takahashi, S.
Gemcitabine-based chemotherapy for advanced soft tissue sarcoma: identifying the appropriate dose and schedule. *Cureus*, 2024. 16 (12) : e76149
17. Nishino, S., Yunokawa, M., Matsuura, Y., Fusegi, A., Misaka, S., Aoki, Y., Abe, A., Omi, M., Kanao, H.
Secondary spontaneous pneumothorax during chemotherapy with bevacizumab for cervical cancer: a case report and literature review. *Int. Cancer Conf. J.*, 2024. 13 (4) : 395-400
18. Oaknin, A., Gladieff, L., Martínez-García, J., Villacampa, G., Takekuma, M., De Giorgi, U., Lindemann, K., Woelber, L., Colombo, N., Duska, L., Leary, A., Godoy-Ortiz, A., Nishio, S., Angelergues, A., Rubio, M. J., Fariñas-Madrid, L., Yamaguchi, S., Lorusso, D., Ray-Coquard, I., Manso, L., Joly, F., Alarcón, J., Follana, P., Romero, I., Lebreton, C., Pérez-Fidalgo, J. A., Yunokawa, M., Dahlstrand, H., D' Hondt, V., Randall, L. M.
Atezolizumab plus bevacizumab and chemotherapy for metastatic, persistent, or recurrent cervical cancer (BEATcc) : a randomised, open-label, phase 3 trial. *Lancet*, 2024. 403 (10421) : 31-43
19. Omi, M., Tanaka, Y. O., Kurihara, N., Sugiyama, Y., Tonooka, A., Kanno, M., Fusegi, A., Aoki, Y., Netsu, S., Abe, A., Tanigawa, T., Okamoto, S., Nomura, H., Kanao, H.
Preoperative diagnosis of cervical cystic lesions using magnetic resonance imaging: a retrospective study. *BMC women' s health*, 2024. 24 (1) : 460
20. Takahashi, N., Seki, T., Sasaki, K., Machida, R., Ishikawa, M., Yunokawa, M., Matsuoka, A., Kagabu, M., Yamaguchi, S., Hiranuma, K., Ohnishi, J., Sato, T.
High cost of chemotherapy for gynecologic malignancies. *Jpn. J. Clin. Oncol.*, 2024. 54 (10) : 1078-1083
21. Ueda, A., Nakai, H., Miyagawa, C., Otani, T., Yoshida, M., Murakami, R., Komiyama, S., Tanigawa, T., Yokoi, T., Takano, H., Baba, T., Miura, K., Shimada, M., Kigawa, J., Enomoto, T., Hamanishi, J., Okamoto, A., Okuno, Y., Mandai, M., Matsumura, N.
Artificial intelligence-based histopathological subtyping of high-grade serous ovarian cancer. *Am. J. Pathol.*, 2024. 194 (10) : 1913-1923,
22. Wang, X., Nakano, K., Shiga, T., Ohmoto, A., Oyakawa, T., Ebihara, A., Sato, Y., Fukuda, N., Nishizawa, M., Urasaki, T., Ono, M., Yunokawa, M., Tomomatsu, J., Takahashi, S.
Assessment of pazopanib-related heart failure in patients with advanced soft tissue sarcoma: a single institute analysis. *Circ. J.*, 2024. 88 (2) : 228-233
23. Yonemori, K., Fujiwara, K., Hasegawa, K., Yunokawa, M., Ushijima, K., Suzuki, S., Shikama, A., Minobe, S., Usami, T., Kim, J. W., Kim, B. G., Wang, P. H., Chang, T. C., Yamamoto, K., Han, S., McKenzie, J., Orlowski, R. J., Miura, T., Makker, V., Man Kim, Y.
Analysis of East Asia Subgroup in Study 309/KEYNOTE-775: Lenvatinib plus pembrolizumab versus treatment of physician's choice chemotherapy in patients with

previously treated advanced or recurrent endometrial cancer.

J. Gynecol. Oncol., 2024. 35 (2) : e40

24. Yoshiizumi, E., Onuki, M., Kukimoto, I., Takahashi, F., Matsui, T., Hamasaki, K., Kanao, H., Nio, A., Yahata, H., Goda, M., Yokoyama, T., Hisa, T., Tasaki, K., Tenjimbayashi, Y., Saji, H., Kudaka, W., Takei, Y., Shigeta, S., Motohara, T., Matsumiya, H., Nakamura, K., Yoshida, H., Ishikawa, M., Hamanishi, J., Nakai, H., Mori-Uchino, M., Hirashima, Y., Sekizawa, A., Yoshikawa, H., Yaegashi, N., Matsumoto, K.
Declining prevalence of human papilloma-virus co-infections among young Japanese women with cervical cancer and its precursors.
J. Med. Virol., 2024. 96 (12) : e70096
25. Yunokawa, M., Kurihara, N., Ishizuka, N., Kanao, H., Kajiyama, H., Shimada, M., Okamoto, A., Aoki, D., Sugiyama, T., Enomoto, T.
Investigating the timing and site of recurrence for ovarian clear cell carcinoma: analysis of the JGOG/GCIG trial-JGOG 3017-A3.
Gynecol. Oncol., 2024. 190: 113-118
26. 伊藤藍, 伏木淳, 植木有紗, 千葉知宏, 外岡暁子
MLH1/PMS2 の subclonal loss を示した MLH1 病的バリエントを有する Lynch 症候群の一例 .
日本婦人科病理学会誌, 2024. 15 (1) : 35-42
27. 小嶋結, 外岡暁子, 伊藤藍, 千葉知宏, 幅野愛理, 田中優美子, 植木有紗, 野村秀高
卵巣類内膜癌の診断の後に遺伝性乳癌卵巣癌 (HBOC) と判明した 1 例 .
日本婦人科病理学会誌, 2024. 15 (1) : 15-22
28. 杉山裕子
子宮体癌早期発見への提言 .
恵寿総合病院医学雑誌, 2024. 12: 32-37

29. 河本貴之, 野村秀高, 佛原悠介, 美坂聡樹, 吉満輝行, 伏木淳, 阿部彰子, 温泉川真由, 金尾祐之, 伊藤崇彦, 千葉知宏, 外岡暁子
子宮頸癌治療後, 腔断端再発に対する腔内照射後に腔内に再発した上皮内病変に対してイミキモドクリームが有効であった 1 例 .
東京産科婦人科学会会誌, 2024. 73 (4) : 786-790
30. 温泉川真由
婦人科がん化学療法の進化: 最適レジメンと管理を考える: 子宮体がん: 進行・再発子宮体がん治療: ペムブロリズマブをどう使う? レンバチニブとの併用は?
産科と婦人科, 2024. 91 (3) : 279-282
31. 谷川輝美, 西野翔吾, 一木愛, 豊原佑典, 菅野素子, 根津幸穂, 伏木淳, 青木洋一, 尾身牧子, 岡本三四郎, 野村秀高, 阿部彰子, 温泉川真由, 金尾祐之
進行・再発卵巣癌患者における実臨床での PARP 阻害薬維持療法別の有害事象 .
日本婦人科腫瘍学会雑誌, 2024. 42 (3) : 243-249
32. 鎌田麻由美, 野村秀高, 吉満輝行, 美坂聡樹, 伏木淳, 阿部彰子, 金尾祐之, 千葉知宏, 伊藤崇彦, 外岡暁子
子宮内黄体ホルモン放出システム挿入中に子宮体癌を発症した 2 例 .
東京産科婦人科学会会誌, 2024. 73 (3) : 522-526

【頭頸科】

1. Ariizumi, Y., Hanai, N., Asakage, T., Seto, A., Tomioka, T., Miyabe, J., Kessoku, H., Mukaigawa, T., Omura, G., Teshima, M., Nishikawa, D., Saito, Y., Asada, Y., Fujisawa, T., Makino, T., Nishino, H., Sano, D., Nakahira, M., Tokashiki, K., Uemura, H., Ueda, T., Sakai, A., Masuda, M., Tsujikawa, T., Hiei, Y., Nishio, N., Matsui, H., Kiyota, N., Homma, A.
Extent of thyroidectomy and paratracheal lymph node dissection in total pharyngolaryngectomy for pyriform sinus cancer, and recurrence, survival, and postoperative hy-

- poparathyroidism: A multicenter retrospective study.
Head Neck, 2024. 46 (2) : 269
2. Fukuda, N., Toda, K., Suto, H., Oki, R., Wang, X., Urasaki, T., Sato, Y., Nakano, K., Ono, M., Tomomatsu, J., Mitani, H., Takahashi, S.
Clinical impact of proteinuria on renal function and treatment outcomes in patients with radioiodine-refractory thyroid cancer treated with lenvatinib.
Endocr. J., 2024. 71 (4) : 363-371
 3. Hayama, B., Harada, S., Suzuki, M., Doi, Y., Nomura, Y., Aoki, K., Takehana, K., Akatsuchi, T., Enokida, T., Takeda, K., Seto, A., Mitani, H., Ohkushi, D.
Outbreak of *Streptococcus pyogenes* emm89 ST646 in a head and neck surgical oncology ward.
Microbiol. Spectr., 2024. 12 (5) : e0426023
 4. Imamura, Y., Kiyota, N., Tahara, M., Kodaira, T., Hayashi, R., Nishino, H., Asada, Y., Mitani, H., Iwae, S., Nishio, N., Onozawa, Y., Hanai, N., Ohkoshi, A., Hara, H., Monden, N., Nagaoka, M., Minami, S., Kitabayashi, R., Sasaki, K., Homma, A.
Effect of acute kidney injury and overall survival in patients with postoperative head and neck cancer who received chemoradiotherapy with cisplatin: A supplementary analysis of the phase II/III trial of JCOG1008.
Cancer Med., 2024. 13 (18) : e70235
 5. Imamura, Y., Kiyota, N., Tahara, M., Kodaira, T., Hayashi, R., Nishino, H., Asada, Y., Mitani, H., Iwae, S., Nishio, N., Onozawa, Y., Hanai, N., Ohkoshi, A., Hara, H., Monden, N., Nagaoka, M., Minami, S., Kitabayashi, R., Sasaki, K., Homma, A.
Risk prediction model for cisplatin-induced acute kidney injury in patients with head and neck cancer receiving chemoradiotherapy: A re-analysis of a phase II/III JCOG1008 trial.
Oral Oncol., 2024. 154: 106868
 6. Matoba, T., Minohara, K., Kawakita, D., Sawabe, M., Takano, G., Oguri, K., Murashima, A., Iwaki, S., Tsuge, H., Imaizumi, S., Hojo, W., Kondo, A., Tsukamoto, K., Iwasaki, S.
Impact of salvage chemotherapy after immune checkpoint inhibitor for recurrent or metastatic head and neck cancer.
Head Neck, 2024. 46 (8) : 1855-1864
 7. Morita, T., Sasaki, T., Koizumi, Y., Fukushima, H., Shimbashi, W., Mitani, H.
Favourable swallowing outcomes after sub-total glossectomy with laryngeal suspension.
Int. J. Oral Maxillofac. Surg., 2024. 53 (3) : 191-198
 8. Ninomiya, H., Sato, Y., Inamura, K., Dobashi, A., Takeuchi, K., Mitani, H., Mun, M., Nishio, M., Ishikawa, Y.
Neuroendocrine and squamous cell phenotypes of NUT carcinoma are potential diagnostic pitfalls that discriminating it from mimickers, such as small cell and squamous cell carcinoma.
Diagn. Pathol., 2024. 19 (1) : 27
 9. 鳥居淳一, 戸田和寿
これだけは知っておきたい: 甲状腺・副甲状腺診療: 外科的治療: 外切開手術.
JOHNS, 2024. 40 (4) : 401-405
 10. 鳥居淳一, 瀬戸陽, 佐藤由紀子, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 神山亮介, 市川千恭, 岩城弘尚, 松居祐樹, 今泉冴恵, 三谷浩樹
低悪性度耳下腺癌 Stage I・II の検討.
頭頸部外科, 2024. 34 (2) : 151-155

【整形外科】

1. Ariga, A., Tanizawa, T., Sato, S., Funauchi, Y., Matsumoto, S., Ae, K.
Bipolar head perforation with rhabdomyosarcoma of the thigh: A case report with literature review.
Cancer Diagn. Progn., 2024. 4 (1) : 71-76
2. Jeys, L. M., Thorkildsen, J., Kurisunkal, V., Puri, A., Ruggieri, P., Houdek, M. T., Boyle, R. A., Ebeid, W., Botello, E., Morris, G. V., Laitinen, M. K., Abudu, A., Ae, K., Agarwal, M., Ajit Singh, V., Akiyama, T., Albergo, J. I., Alexander, J., Alpan, B., Aoude, A., Asavamongkolkul, A., Aston, W., Baad-Hansen, T., Balach, T., Benevenia, J., Bergh, P., Bernthal, N., Binitie, O., Boffano, M., Bramer, J., Branford White, H., Brennan, B., Cabrol-lier, J., Calvo Haro, J. A., Campanacci, D. A., Cardoso, R., Carey Smith, R., Casales Fresnga, N., Casanova, J. M., Ceballos, O., Chan, C. M., Chung, Y. G., Clara-Altamirano, M. A., Cribb, G., Dadia, S., Dammerer, D., de Vaal, M., Delgado Obando, J., Deo, S., Di Bella, C., Donati, D. M., Endo, M., Eralp, L., Erol, B., Evans, S., Eward, W., Fiorenza, F., Freitas, J., Funovics, P. T., Galli Serra, M., Ghert, M., Ghosh, K., Gomez Mier, L. C., Gomez Vallejo, J., Griffin, A., Gulia, A., Guzman, M., Hardes, J., Healey, J., Hernandez, A., Hesla, A., Hongsaprabhas, C., Hornicek, F., Hosking, K., Iwata, S., Jagiello, J., Johnson, L., Johnston, A., Joo, M. W., Jutte, P., Kapanci, B., Khan, Z., Kobayashi, H., Kollender, Y., Koob, S., Kotrych, D., Le Nail, L. R., Legosz, P., Lehner, B., Leithner, A., Lewis, V., Lin, P., Linares, F., Lozano Calderon, S., Mahendra, A., Mahyudin, F., Mascard, E., Mattei, J. C., McCullough, L., Medellin Rincon, M. R., Morgan-Jones, R., Moriel Garcesco, D. J., Mottard, S., Nakayama, R., Narhari, P., O' Toole, G., Vania, O., Olivier, A., Omar, M., Ortiz-Cruz, E., Ozger, H., Ozkan, K., Palmerini, E., Papagelopoulou, P., Parry, M., Patton, S., Petersen, M. M., Powell, G., Puhaindran, M., Raja, A., Rajasekaran, R. B., Repsa, L., Ropars, M., Sambri, A., Schubert, T., Shehadeh, A., Siegel, G., Sommerville, S., Spiguel, A., Stevenson, J., Sys, G., Temple, T., Traub, F., Tsuchiya, H., Valencia, J., Van de Sande, M., Vaz, G., Velez Villa, R., Vyrva, O., Wafa, H., Wan Faisham Numan, W. I., Wang, E., Warnock, D., Werier, J., Wong, K. C., Norio, Y., Zhaoming, Y., Zainul Abidin, S., Zamora, T., Zumarraga, J. P., Abou-Nouar, G., Gebert, C., Randall, R. L.
Controversies in orthopaedic oncology.
Bone Joint J., 2024. 106-b (5) : 425-429
3. Nakamura, T., Ogura, K., Hayakawa, K., Ikuta, K., Nezu, Y., Miwa, S., Yoshida, S., Nakai, S., Kinoshita, H., Kawabata, Y., Hamada, S., Nabeshima, A., Outani, H., Kobayashi, H., Hara, H., Tsugita, M., Koyanagi, H., Setsu, N., Maekawa, A., Daisaku, A., Mori, T., Oike, N., Kubota, Y., Tanaka, T., Noguchi, T., Tajima, T., Tanaka, K., Ozaki, T.
Real-world referral pattern of unplanned excision in patients with soft-tissue sarcoma: a multicenter study conducted by the bone and soft-tissue Tumor Study Group of the Japan Clinical Oncology Group.
In Vivo, 2024. 38 (6) : 2712-2717
4. Sugiura, Y., Machinami, R., Matsumoto, S., Ae, K., Takahashi, Y., Hiruta, N., Takeuchi, K.
The association between CD34 expression status and the clinicopathological behavior of dedifferentiated liposarcoma.
Pathol. Res. Pract., 2024. 260: 155376
5. Tatsuno, R., Ichikawa, J., Komohara, Y., Pan, C., Kawasaki, T., Enomoto, A., Aoki, K., Hayakawa, K., Iwata, S., Jubashi, T., Haro, H.
Correction: Pivotal role of IL-8 derived from the interaction between osteosarcoma and tumor-associated macrophages in osteosarcoma growth and metastasis via the FAK pathway.
Cell Death Dis., 2024. 15 (7) : 471

6. Tatsuno, R., Ichikawa, J., Komohara, Y., Pan, C., Kawasaki, T., Enomoto, A., Aoki, K., Hayakawa, K., Iwata, S., Jubashi, T., Haro, H.
Pivotal role of IL-8 derived from the interaction between osteosarcoma and tumor-associated macrophages in osteosarcoma growth and metastasis via the FAK pathway.
Cell Death Dis., 2024. 15 (2) : 108
7. 早川景子, 阿江啓介, 谷澤泰介, 齊藤正徳, 黒澤紀雄, 松本誠一
これからの生物学的再建: 当院における下肢長管骨 intercalary allograft の治療成績.
日本整形外科学会雑誌, 2024. 98 (10) : 810-815
4. Nishiyama, H., Yonese, J., Kawahara, T., Matsumoto, R., Miyake, H., Matsubara, N., Uemura, H., Eto, M., Azuma, H., Obara, W., Terai, A., Fukasawa, S., Suekane, S.
TAS0313 plus pembrolizumab for post-chemotherapy immune checkpoint inhibitor-naïve locally advanced or metastatic urothelial carcinoma.
Mol. Cancer Ther., 2024. 23 (4) : 532-540
5. Saad, E., Gebrael, G., Semaan, K., Eid, M., Saliby, R. M., Labaki, C., Sayegh, N., Wells, J. C., Takemura, K., Ernst, M. S., Lemelin, A., Basappa, N. S., Wood, L. A., Powles, T., Ernst, D. S., Lalani, A. A., Agarwal, N., Xie, W., Heng, D. Y. C., Choueiri, T. K.
Impact of smoking status on clinical outcomes in patients with metastatic renal cell carcinoma treated with first-line immune checkpoint inhibitor-based regimens.
Oncologist, 2024. 29 (8) : 699-706

【泌尿器科】

1. Fujiwara, R., Yamamoto, S., Takemura, K., Yuasa, T., Numao, N., Oguchi, T., Yasuda, Y., Yoneoka, Y., Yonese, J.
Clinical outcomes and prognostic factors in nonmetastatic castration-resistant prostate cancer treated with androgen receptor signaling inhibitors therapy.
Cancers (Basel), 2024. 16 (15) : 2659
2. Kitahama, K., Shigematsu, Y., Amori, G., Sugawara, E., Yonese, J., Shibahara, J., Takeuchi, K., Inamura, K.
RAS family gene mutations, clinicopathological features, and spread patterns of inverted urothelial papilloma of the bladder.
Am. J. Surg. Pathol., 2024. 48 (4) : 458-464
3. Nishino, T., Yamamoto, S., Numao, N., Komaï, Y., Oguchi, T., Yasuda, Y., Fujiwara, R., Yuasa, T., Yonese, J.
Predictors of progression to castration-resistant prostate cancer after radical prostatectomy in high-risk prostate cancer patients.
Cancer Diagn. Progn., 2024. 4 (5) : 646-651
6. Serizawa, I., Kozuka, T., Soyano, T., Sasamura, K., Kamima, T., Kunogi, H., Numao, N., Yamamoto, S., Yonese, J., Yoshioka, Y.
Impact of neoadjuvant androgen deprivation therapy on toxicity in intensity-modulated radiation therapy for prostate cancer.
J. Radiat. Res., 2024. 65 (5) : 693-700
7. Takemura, K., Ernst, M. S., Navani, V., Wells, J. C., Bakouny, Z., Donskov, F., Basappa, N. S., Wood, L. A., Meza, L., Pal, S. K., Szabados, B., Powles, T., Beuselinck, B., McKay, R. R., Lee, J. L., Ernst, D. S., Kapoor, A., Yuasa, T., Choueiri, T. K., Heng, D. Y. C.
Characterization of patients with metastatic renal cell carcinoma undergoing deferred, upfront, or no cytoreductive nephrectomy in the era of combination immunotherapy: results from the international metastatic renal cell carcinoma database consortium.
Eur. Urol. Oncol., 2024. 7 (3) : 501-508

8. Takemura, K., Lemelin, A., Ernst, M. S., Wells, J. C., Saliby, R. M., El Zarif, T., Labaki, C., Basappa, N. S., Szabados, B., Powles, T., Davis, I. D., Wood, L. A., Lalani, A. A., McKay, R. R., Lee, J. L., Meza, L., Pal, S. K., Donskov, F., Yuasa, T., Beuselinck, B., Gebrael, G., Agarwal, N., Choueiri, T. K., Heng, D. Y. C.
Outcomes of patients with brain metastases from renal cell carcinoma receiving first-line therapies: results from the International Metastatic Renal Cell Carcinoma Database Consortium.
Eur. Urol., 2024. 86 (6) : 488-492
9. Takemura, K., Heng, D. Y. C.
Potential of neutrophil-to-eosinophil ratio as a new prognostic tool for patients with advanced renal cell carcinoma receiving first-line immuno-oncology combinations.
BMJ Oncol, 2024. 3 (1) : e000481
10. Takemura, K., Yuasa, T., Lemelin, A., Ferrier, E., Wells, J. C., Saad, E., Saliby, R. M., Basappa, N. S., Wood, L. A., Jude, E., Pal, S. K., Donskov, F., Beuselinck, B., Szabados, B., Powles, T., McKay, R. R., Gebrael, G., Agarwal, N., Choueiri, T. K., Heng, D. Y. C.
Prognostic significance of absolute lymphocyte count in patients with metastatic renal cell carcinoma receiving first-line combination immunotherapies: results from the International Metastatic Renal Cell Carcinoma Database Consortium.
ESMO Open, 2024. 9 (7) : 103606
11. Takemura, K., Yuasa, T., Choueiri, T. K., Heng, D. Y. C.
Reply to Yudai Ishiyama and Fumihiko Urabe's Letter to the Editor re: Kosuke Takemura, Audreylie Lemelin, Matthew S. Ernst, et al. Outcomes of patients with brain metastases from renal cell carcinoma receiving first-line therapies: results from the International Metastatic Renal Cell Carcinoma Database Consortium.
Eur. Urol. In press. <https://doi.org/10.1016/j.euro.2024.01.006>.
Eur. Urol., 2024. 86 (6) : e143-e144
12. Tanabe, K., Kobayashi, S., Maezawa, Y., Ishihara, K., Inoue, N., Izumi, K., Fujiwara, M., Toide, M., Yamamoto, T., Uehara, S., Araki, S., Inoue, M., Takazawa, R., Numao, N., Ohtsuka, Y., Tanaka, H., Yoshida, S., Fujii, Y.
Gustave Roussy Immune score as a prognostic biomarker in patients with platinum-refractory metastatic urothelial carcinoma treated with pembrolizumab: YUSHIMA study.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (9) : 1302-1310
13. Yasuda, Y., Numao, N., Urasaki, T., Oki, R., Oguchi, T., Fujiwara, R., Yoneoka, Y., Takemura, K., Yonese, J., Yuasa, T.
Efficacy and safety of adjuvant nivolumab after radical surgery for high-risk urothelial carcinoma: a preliminary report of real-world data from a single institution.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (12) : 1925-1930
14. Yasuda, Y., Numao, N., Fujiwara, R., Takemura, K., Yoneoka, Y., Oguchi, T., Yamamoto, S., Yonese, J.
Surgical outcomes and predictive value for major complications of robot-assisted radical cystectomy of real-world data in a single institution in Japan.
Int. J. Urol., 2024. 31 (7) : 724-729
15. Yonese, I., Numao, N., Inamura, K., Yoneoka, Y., Fujiwara, R., Yasuda, Y., Oguchi, T., Yamamoto, S., Yuasa, T., Yonese, J.
A case of neoadjuvant chemotherapy-resistant muscle-invasive bladder cancer that markedly responded to pembrolizumab before conversion radical cystectomy.
IJU Case Rep., 2024. 7 (1) : 64-67

16. Yoshida, S., Maezawa, Y., Ishihara, K., Inoue, N., Tanabe, K., Izumi, K., Fujiwara, M., Toide, M., Yamamoto, T., Uehara, S., Araki, S., Inoue, M., Takazawa, R., Numao, N., Ohtsuka, Y., Tanaka, H., Fujii, Y.
Outcomes and prognostic factors in patients with synchronous and metachronous oligometastatic urothelial carcinoma with visceral metastases.
Int. J. Urol., 2024. 31 (11) : 1234-1240
17. Yuasa, T.
Editorial comment to prognostic outcomes in patients with metastatic renal cell carcinoma receiving second-line treatment with tyrosine kinase inhibitor following first-line immune-oncology combination therapy.
Int. J. Urol., 2024. 31 (5) : 534
18. Zarba, M., Fujiwara, R., Yuasa, T., Koga, F., Heng, D. Y. C., Takemura, K.
Multidisciplinary systemic and local therapies for metastatic renal cell carcinoma: a narrative review.
Expert Rev. Anticancer Ther., 2024. 24 (8) : 693-703
19. 沼尾昇
臨床腎・泌尿器癌 (中) : 基礎・臨床研究の進歩 : 膀胱癌の治療 : 手術療法 : 膀胱全摘除術 : 男性に対する膀胱全摘除術 .
日本臨床 , 2024. 82 (増刊 9 臨床腎・泌尿器癌 (中)) : 172-177
20. 湯浅健
Urological Pharmacotherapy: これ一冊でパーフェクト!! : 泌尿器科薬物療法 2024 : がん薬物療法における支持療法 : Immune related AEs 対処総論 .
泌尿器外科 , 2024. 37 (特別号) : 188-191
21. 湯浅健, 竹村公佑
臨床腎・泌尿器癌 (上) : 基礎・臨床研究の進歩 : 腎癌の診断・マーカー : 腎癌のマーカー : 転移癌のリスク分類 .
日本臨床 , 2024. 82 (増刊 8 臨床腎・泌尿器癌 (上)) : 169-172

【形成外科】

1. Hashikawa, K., Satake, T., Asano, Y., Kashimura, T., Ono, S., Yano, T., Inoue, Y., Dogo, K., Kadota, H., Miyamoto, S., Uemura, T.
The first national survey of endoscopic plastic surgery by the Japan Society of Plastic and Reconstructive Surgery 2020-2021.
J. Plast. Reconstr. Surg., 2024. 3 (4) : 138-141
2. Karakawa, R., Konishi, T., Yoshimatsu, H., Hashimoto, Y., Matsui, H., Fushimi, K., Yano, T., Yasunaga, H.
Association between body mass index and outcomes after autologous breast reconstruction: a nationwide inpatient database study in Japan.
Breast Cancer Res. Treat., 2024. 204 (1) : 69-78
3. Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Imai, H., Yano, T.
L-shaped scapular and parascapular combined flap for reconstruction of a large surface defect after sarcoma resection using ICG angiography: a case series of 6 patients.
Microsurgery, 2024. 44 (8) : e31259
4. Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Nakatsuka, K., Fuse, Y., Nishiyama, S., Kawahara, T., Yano, T.
Supermicrosurgical anastomosis training using the chick embryos within the egg-in-cube system.
Plast. Reconstr. Surg., 2024. 153 (4) : 741e-745e

5. Matsuoka, Y., Fukui, M., Hihara, M., Mitsui, T., Karakawa, R., Kakudo, N.
Ultrastructural changes of vascular smooth muscle cells and resistance to vasospasm treatment in femoral arteries of an arteriosclerotic rat model.
Med. Mol. Morphol., 2024. 57 (1) : 45-48
6. Nakatsuka, K., Fuse, Y., Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Yano, T.
Indocyanine green lymphography-guided lymphatic vessel suture ligation for superficial abdominal flap donor site for breast reconstruction.
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2024. 12 (8) : e6051
7. Nemoto, H., Nakatsuka, K., Morita, D., Seki, Y., Imagawa, K., Tsunoda, Y., Komaba, C., Hanai, U.
Potential of the thoracoepigastric vein as a drainage vein in breast reconstruction with a free flap: an anatomical study using computed tomography.
Microsurgery, 2024. 44 (6) : e31230
8. Otsuka, W., Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Yano, T.
Breast reconstruction using a superficial inferior epigastric artery flap with pedicle elongation via an arteriovenous loop: A case report.
Microsurgery, 2024. 44 (4) : e31183
9. Shirota, M., Karakawa, R., Yano, T., Yoshimatsu, H.
Using descending genicular artery as the recipient artery for free superficial circumflex iliac artery perforator flap.
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2024. 12 (9) : e6184
10. Yoshimatsu, H., Nakatsuka, K., Karakawa, R., Fuse, Y., Yano, T.
The piggyback superficial circumflex iliac perforator flap for complex free flap reconstructions.
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2024. 12 (6) : e5899
11. 眞島昂也, 矢野智之, 辛川領, 吉松英彦, 倉元有木子, 布施佑馬, 鍵本慎太郎, 末貞伸子
Profunda Artery Perforator (PAP) : flap による乳房再建において, 皮弁挙上の際に坐骨神経が術野に露出した 1 例 .
Oncoplast. Breast Surg., 2024. 9 (1) : 16-18
12. 鍵本慎太郎, 矢野智之
最新の診断と治療 : 乳房の手術 : 人工物を用いた乳房再建, 術後合併症とフォローアップの工夫 (リンパ腫や長期合併症も含む) .
日本臨床, 2024. 82 (増刊 6 乳癌学 2024 (上)) : 239-245

【眼科】

1. Nakajima, I., Nakaizumi, T., Tsuji, H.
Bilateral progressive orbital myositis as immune-related adverse event of pembrolizumab.
Can. J. Ophthalmol., 2024. 59 (4) : e388
2. Nakajima, I., Nakaizumi, T., Tsuji, H.
Lacrimal canaliculitis as a mimicker of conjunctival tumor.
J. Fr. Ophtalmol., 2024. 47 (9) : 104181
3. Sato, Y., Takahashi, S., Toshiyasu, T., Tsuji, H., Hanai, N., Homma, A.
Squamous cell carcinoma of the eyelid.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2024. 54 (1) : 4-12
4. Tabuchi, H., Nakajima, I., Day, M., Yoneda, T., Tanabe, M., Strang, N., Engelmann, J., Deguchi, H., Akada, M., Moriguchi, T., Nakaniida, Y., Tsuji, H.
Comparative educational effectiveness of AI generated images and traditional lectures for diagnosing chalazion and sebaceous carcinoma.
Sci. Rep., 2024. 14 (1) : 29200

5. 中島勇魚, 辻英貴
Clinical Challenge : 再発を繰り返す上眼瞼腫瘍 .
臨床眼科, 2024. 78 (7) : 795-797
6. 中島勇魚, 辻英貴
これで盤石! 眼窩疾患の診かた: 悪性眼窩腫瘍 .
あたらしい眼科, 2024. 41 (12) : 1417-1423
7. 中島勇魚, 辻英貴
急性眼窩炎症, : 眼窩蜂巣炎, : 慢性眼窩炎症, :
突発性眼窩炎症, : 転移性眼窩腫瘍, : 続発眼窩腫瘍 .
眼科診療ガイド 第2版 (根木昭監修, 石川均ほか編集), 東京, 文光堂: pp.20, 21, 39-41, 2024
8. 中島勇魚, 辻英貴
眼部悪性腫瘍の診断と治療: 眼瞼脂腺癌 .
眼科, 2024. 66 (10) : 963-968
9. 辻英貴
涙道: II 眼瞼: III 結膜: IV 眼窩, : 涙腺: V 眼球, :
眼筋: VI 角膜, : 強膜: VII ぶどう膜: VIII 眼房, :
網膜: IX 水晶体, : 硝子体
手術術式の完全解説 2024-25 年版 東京, 医学
通信社: pp.101-135, 2024
10. 辻英貴
転移性脈絡膜腫瘍 .
眼科疾患最新の治療 2025-2027 (白石敦 / 辻
川明孝編集), 東京, 南江堂: pp.265, 2024

【血液腫瘍科】

1. Hirose, T., Ito, M., Tsuchihashi, K., Ozaki, Y., Nishio, H., Ichihara, E., Miura, Y., Yano, S., Maruyama, D., Yoshinami, T., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Baba, E., Ochi, N., Kubo, T., Uchino, K., Kimura, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T., Endo, M.
Effectiveness and safety of primary prophylaxis with G-CSF for patients with Ewing sarcomas: a systematic review for the Clinical Practice Guidelines for the Use of G-CSF 2022 of the Japan Society of Clinical Oncology.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (8) : 1081-1087
2. Hirose, T., Ito, M., Tsuchihashi, K., Ozaki, Y., Nishio, H., Ichihara, E., Miura, Y., Yano, S., Maruyama, D., Yoshinami, T., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Baba, E., Ochi, N., Kubo, T., Uchino, K., Kimura, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T., Endo, M.
Primary prophylaxis with G-CSF for patients with non-round cell soft tissue sarcomas: a systematic review for the Clinical Practice Guidelines for the Use of G-CSF 2022 of the Japan Society of Clinical Oncology.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (8) : 1067-1073
3. Ichihara, E., Ochi, N., Makimoto, G., Kudo, K., Harada, D., Ozaki, Y., Nishio, H., Tsuchihashi, K., Miura, Y., Endo, M., Yano, S., Maruyama, D., Yoshinami, T., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Ito, M., Baba, E., Uchino, K., Kimura, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T., Kubo, T.
Effectiveness and safety of primary prophylaxis with G-CSF for lung cancer: a systematic review and meta-analysis to develop clinical practice guidelines for the use of G-CSF 2022.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (4) : 355-362
4. Ito, M., Okumura, Y., Nio, K., Baba, E., Ozaki, Y., Nishio, H., Ichihara, E., Miura, Y., Endo, M., Yano, S., Maruyama, D., Yoshinami, T., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Ochi, N., Kubo, T., Uchino, K., Kimura, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T., Tsuchihashi, K.

Effectiveness of G-CSF in chemotherapy for digestive system tumors: a systematic review of the Clinical Practice Guidelines for the Use of G-CSF 2022 delineated by the Japan Society of Clinical Oncology.

Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (6) : 689-699

5. Kimura, S., Shigeta, K., Tamura, S., Uchino, K., Kimura, T., Ozaki, Y., Nishio, H., Tsuchihashi, K., Ichihara, E., Endo, M., Yano, S., Maruyama, D., Yoshinami, T., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Ito, M., Baba, E., Ochi, N., Kubo, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T., Miura, Y.

Effectiveness and safety of primary prophylaxis of G-CSF during chemotherapy for prostate cancer, Japanese clinical guideline for appropriate use of G-CSF: clinical practice guidelines for the use of G-CSF 2022. Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (5) : 559-563

6. Kusumoto, S., Munakata, W., Machida, R., Terauchi, T., Onaya, H., Oguchi, M., Iida, S., Nosaka, K., Suzuki, Y., Harada, Y., Miyazaki, K., Maruta, M., Fukuhara, N., Toubai, T., Kubota, N., Ohmachi, K., Saito, T., Rai, S., Mizuno, I., Fukuhara, S., Takeuchi, M., Tateishi, U., Maruyama, D., Tsukasaki, K., Nagai, H.

Interim PET-guided ABVD or ABVD/escalated BEACOPP for newly diagnosed advanced-stage classic Hodgkin lymphoma (JCOG1305) .

Cancer Sci., 2024. 115 (10) : 3384-3393

7. Maeda, T., Najima, Y., Kamiyama, Y., Nakao, S., Ozaki, Y., Nishio, H., Tsuchihashi, K., Ichihara, E., Miumra, Y., Endo, M., Maruyama, D., Yoshinami, T., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Ito, M., Baba, E., Ochi, N., Kubo, T., Uchino, K., Kimura, T., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T., Yano, S.

Effectiveness and safety of primary prophylaxis with G-CSF after induction therapy for acute myeloid leukemia: a systematic review and meta-analysis of the clinical practice guidelines for the use of G-CSF 2022 from the Japan Society of Clinical Oncology. Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (5) : 535-544

8. Makita, S., Ota, S., Mishima, Y., Usuki, K., Ennishi, D., Yanada, M., Fukuhara, N., Yamamoto, R., Takamine, A., Nohara, G., Izutsu, K.

Japanese phase Ib study of the oral PI3K- δ and - γ inhibitor duvelisib in patients with relapsed or refractory chronic lymphocytic leukemia or small lymphocytic lymphoma.

Int. J. Hematol., 2024. 119 (2) : 156-163

9. Maruyama, D., Yamauchi, N.
- Isatuximab plus carfilzomib-dexamethasone for relapsed multiple myeloma. Lancet Haematol., 2024. 11 (10) : e710-e711

10. Maruyama, D., Omi, A., Nomura, F., Touma, T., Noguchi, Y., Takebe, K., Izutsu, K.
- Real-world effectiveness and safety of ibrutinib in relapsed/refractory mantle cell lymphoma in Japan: post-marketing surveillance.

Int. J. Hematol., 2024. 119 (2) : 146-155

11. Maruyama, D., Jacobsen, E., Porcu, P., Allen, P., Ishitsuka, K., Kusumoto, S., Narita, T., Tobinai, K., Foss, F., Tsukasaki, K., Feldman, T., Imaizumi, Y., Izutsu, K., Morishima, S., Yamauchi, N., Yuda, J., Brammer, J. E., Kawamata, T., Ruan, J., Nosaka, K., Utsunomiya, A., Wang, J., Zain, J., Kakurai, Y., Yamauchi, H., Hizukuri, Y., Biserna, N., Tachibana, M., Inoue, A., Horwitz, S. M.
- Valemetostat monotherapy in patients with relapsed or refractory non-Hodgkin lymphoma: a first-in-human, multicentre, open-label, single-arm, phase 1 study. Lancet Oncol., 2024. 25 (12) : 1589-1601

12. Najima, Y., Maeda, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Ozaki, Y., Nishio, H., Tsuchihashi, K., Ichihara, E., Miumra, Y., Endo, M., Maruyama, D., Yoshinami, T., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Ito, M., Baba, E., Ochi, N., Kubo, T., Uchino, K., Kimura, T., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T., Yano, S.
Effectiveness and safety of granulocyte colony-stimulating factor priming regimen for acute myeloid leukemia: A systematic review and meta-analysis of the Clinical Practice Guideline for the use of G-CSF 2022 from the Japan Society of Clinical Oncology. *Int. J. Clin. Oncol.*, 2024. 29 (7) : 899-910
13. Nozawa, K., Ozaki, Y., Yoshinami, T., Yokoe, T., Nishio, H., Tsuchihashi, K., Ichihara, E., Miura, Y., Endo, M., Yano, S., Maruyama, D., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Ito, M., Baba, E., Ochi, N., Kubo, T., Uchino, K., Kimura, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T.
Effectiveness and safety of primary prophylaxis with G-CSF during chemotherapy for invasive breast cancer: a systematic review and meta-analysis from Clinical Practice Guidelines for the Use of G-CSF 2022. *Int. J. Clin. Oncol.*, 2024. 29 (4) : 1074-1080
14. Rai, S., Kim, W. S., Ando, K., Choi, I., Izutsu, K., Tsukamoto, N., Maruyama, D., Tsukasaki, K., Kuroda, J., Ando, J., Hidaka, M., Koh, Y., Kato, H., Uchida, T., Yang, D. H., Ishitsuka, K., Ishizawa, K., Kim, J. S., Lee, H. G., Minami, H., Eom, H. S., Kurosawa, M., Lee, J. H., Lee, J. S., Lee, W. S., Nagai, H., Shindo, T., Yoon, D. H., Yoshida, S., Gillings, M., Onogi, H., Tobinai, K.
Long-term efficacy and safety of tucidinos-tat in patients with relapsed or refractory peripheral T-cell lymphoma: final analysis of phase IIb results. *Haematologica*, 2024. 109 (10) : 3357-3362
15. Shimada, K., Ohmachi, K., Machida, R., Ota, S., Itamura, H., Tsujimura, H., Takayama, N., Shimada, T., Kurosawa, M., Tabayashi, T., Shimoyama, T., Ohshima, K., Miyazaki, K., Maruyama, D., Kinoshita, T., Ando, K., Hotta, T., Tsukasaki, K., Nagai, H.
Secondary central nervous system involvement in patients with diffuse large B-cell lymphoma treated with rituximab combined CHOP therapy: a supplementary analysis of JCOG0601. *Ann. Hematol.*, 2024. 103 (6) : 2021-2031
16. Shirouchi, Y., Kaihara, K., Sekita, T., Amano, N., Nakayama, K., Miyake, K., Abe, H., Oinuma, H., Maruyama, D.
Impact of M-protein detection on the response evaluations of patients undergoing treatment with the IgG- κ monoclonal antibodies daratumumab or isatuximab, and discrepancies between immunofixation electrophoresis (IFE) systems and reagents. *Cancer Med.*, 2024. 13 (16) : e70128
17. Shirouchi, Y., Maruyama, D.
Recent advances and future perspectives of T-cell engagers in lymphoid malignancies. *Jpn. J. Clin. Oncol.*, 2024. 54 (4) : 376-385
18. Tsuchihashi, K., Ito, M., Okumura, Y., Nio, K., Ozaki, Y., Nishio, H., Ichihara, E., Miura, Y., Endo, M., Yano, S., Maruyama, D., Yoshinami, T., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Ochi, N., Kubo, T., Uchino, K., Kimura, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T., Baba, E.
Therapeutic use of granulocyte colony-stimulating factor (G-CSF) in patients with febrile neutropenia: a comprehen-

- sive systematic review for clinical practice guidelines for the use of G-CSF 2022 from the Japan Society of Clinical Oncology. *Int. J. Clin. Oncol.*, 2024. 29 (6) : 700-705
19. Uchino, K., Tamura, S., Kimura, S., Shigeta, K., Kimura, T., Ozaki, Y., Nishio, H., Tsuchihashi, K., Ichihara, E., Endo, M., Yano, S., Maruyama, D., Yoshinami, T., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Ito, M., Baba, E., Ochi, N., Kubo, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T., Miura, Y.
Effectiveness and safety of primary prophylaxis of granulocyte colony-stimulating factor during dose-dense chemotherapy for urothelial cancer: Clinical Practice Guidelines for the Use of G-CSF 2022. *Int. J. Clin. Oncol.*, 2024. 29 (5) : 545-550
 20. Uryu, H., Mishima, Y., Ishihara, Y., Shirouchi, Y., Yamauchi, N., Hirano, M., Hirano, K., Teramoto, Y., Yoshida, K., Maruyama, D.
Complex karyotype determined using conventional cytogenetic analysis is a poor prognostic factor in patients with multiple myeloma. *J. Clin. Exp. Hematop.*, 2024. 64 (1) : 10
 21. Watanabe, T., Matsuno, Y., Wakabayashi, M., Maruyama, D., Yamamoto, K., Kubota, N., Shimada, K., Asagoe, K., Yamaguchi, M., Ando, K., Ogura, M., Kuroda, J., Suehiro, Y., Tsukasaki, K., Tobinai, K., Nagai, H.
Analyzing the risk factors for disease progression within 2 years and histological transformation in patients treated with rituximab plus cyclophosphamide, doxorubicin, vincristine, and prednisone as first-line treatment: a 15-year follow-up of patients with advanced follicular lymphoma in JCOG0203. *Hematol. Oncol.*, 2024. 42 (3) : e3272
 22. Yamauchi, N., Maruyama, D.
Current development of chimeric antigen receptor T-cell therapy for diffuse large B-cell lymphoma and high-grade B-cell lymphoma. *Eur. J. Haematol.*, 2024. 112 (5) : 662-677
 23. Yonezawa, H., Narita, Y., Nagane, M., Mishima, K., Terui, Y., Arakawa, Y., Asai, K., Fukuhara, N., Sugiyama, K., Shinojima, N., Aoi, A., Nishikawa, R.
Three-year follow-up analysis of phase 1/2 study on tirabrutinib in patients with relapsed or refractory primary central nervous system lymphoma. *Neurooncol. Adv.*, 2024. 6 (1) : vdae037
 24. Yoshinami, T., Nozawa, K., Yokoe, T., Ozaki, Y., Nishio, H., Tsuchihashi, K., Ichihara, E., Miura, Y., Endo, M., Yano, S., Maruyama, D., Susumu, N., Takekuma, M., Motohashi, T., Ito, M., Baba, E., Ochi, N., Kubo, T., Uchino, K., Kimura, T., Kamiyama, Y., Nakao, S., Tamura, S., Nishimoto, H., Kato, Y., Sato, A., Takano, T.
Comparison between a single dose of PEG G-CSF and multiple doses of non-PEG G-CSF: a systematic review and meta-analysis from Clinical Practice Guidelines for the use of G-CSF 2022. *Int. J. Clin. Oncol.*, 2024. 29 (6) : 681-688
 25. 中村暁, 荻谷朗子, 大迫智, 丸山大, 竹内賢吾, 上野貴之, 大野真司
乳腺原発免疫不全関連リンパ増殖性疾患と対側乳癌を同時に認めた1例.
乳癌の臨床, 2024. 39 (1) : 85-92
 26. 丸山大
濾胞性リンパ腫の標準治療と今後の展望.
臨床血液, 2024. 65 (9) : 1004-1011

27. 城内優子
リンパ系腫瘍に対する治療開発動向と展望
2024：未治療マントル細胞リンパ腫に対する
治療開発動向と展望．
血液内科，2024. 88（4）：363-371
 28. 山内寛彦
RINKETSU Dictionary 二重特異性抗体．
臨床血液，2024. 65（5）：477
 29. 山内寛彦，丸山大
広く浅く知る白血病：令和になってこう変わった：[Chapter：4] 白血病治療の合併症：心
血管系合併症．
内科，2024. 134（4）：912-917
 30. 山内寛彦
抗体医薬の現状と展望：二重特異性抗体の現状
と展望．
BIO Clinica，2024. 39（8）：651-656
 31. 山内寛彦
未治療進行期ホジキンリンパ腫における bren-
tuximab vedotin の累積投与量の意義．
血液内科，2024. 89（4）：423-427
 32. 山内寛彦
芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍に対する治療開
発動向．
血液内科，2024. 88（5）：528-534
 33. 山内寛彦
高齢者びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に対す
る CAR-T 細胞療法．
血液内科，2024. 88（1）：76-86
 34. 木場悠介，丸山大
臓器別がん：最新エビデンスに基づいた薬物療
法と看護の実践：悪性リンパ腫．
がん看護，2024. 29（6）：661-666
- 【総合腫瘍科】**
1. Birrer, M., Li, G., Yunokawa, M., Lee, J. Y.,
Kim, B. G., Oppermann, C. P., Zhou, Q.,
Nishio, S., Okamoto, A., Wu, X., Mileskin,
L., Oaknin, A., Ray-Coquard, I., Hasegawa,
K., Jehl, G., Vugmeyster, Y., Zhang, S., Ba-
jars, M., Yonemori, K.
Bintrafusp alfa for recurrent or metastat-
ic cervical cancer after platinum failure: a
nonrandomized controlled trial.
JAMA Oncol., 2024. 10（9）：1204-1211
 2. Doi, T., Takahashi, S., Aoki, D., Yonemo-
ri, K., Hara, H., Hasegawa, K., Takehara,
K., Harano, K., Yunokawa, M., Nomura,
H., Shimoi, T., Horie, K., Ogasawara, A.,
Okame, S.
A first-in-human phase I study of TAS-117,
an allosteric AKT inhibitor, in patients with
advanced solid tumors.
Cancer Chemother. Pharmacol., 2024. 93
（6）：605-616
 3. Fukuda, N., Toda, K., Suto, H., Oki, R.,
Wang, X., Urasaki, T., Sato, Y., Nakano, K.,
Ono, M., Tomomatsu, J., Mitani, H., Taka-
hashi, S.
Clinical impact of proteinuria on renal func-
tion and treatment outcomes in patients
with radioiodine-refractory thyroid cancer
treated with lenvatinib.
Endocr. J., 2024. 71（4）：363-371
 4. Hasegawa, K., Takahashi, S., Ushijima,
K., Okadome, M., Yonemori, K., Yokota,
H., Vergote, I., Monk, B. J., Tewari, K. S.,
Fujiwara, K., Li, J., Jamil, S., Paccaly, A.,
Takehara, K., Usami, T., Aoki, Y., Suzuki, N.,
Kobayashi, Y., Yoshida, Y., Watari, H., See-
bach, F., Lowy, I., Mathias, M., Fury, M. G.,
Oaknin, A.
Cemiplimab monotherapy in Japanese pa-
tients with recurrent or metastatic cervical
cancer.
Cancer Med., 2024. 13（18）：e70236
 5. Hayashi, N., Mori, S., Ohmoto, A., Fukada,
I., Yamazaki, M., Hosonaga, M., Wang, X.,
Ueki, A., Kiyotani, K., Tonooka, A., Takeu-
chi, K., Takahashi, S.
Availability of genome-matched therapy
based on clinical practice.

- Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (7) : 964-971
6. Kanno, M., Yunokawa, M., Fusegi, A., Abe, A., Nomura, H., Kanao, H.
Cerebral infarction caused by Trousseau syndrome associated with cervical cancer.
J. Gynecol. Oncol., 2024. 35 (4) : e41
 7. Kato, S., Shigematsu, Y., Saito, R., Ito, H., Inamura, K.
Schistosoma japonicum-related hepatitis: potential contributor to hepatocellular carcinoma.
QJM, 2024. 117 (10) : 737-738
 8. Koga, M., Fukuda, A., Nojima, M., Ishizaka, A., Itoh, T., Eguchi, S., Endo, T., Kakinuma, A., Kinai, E., Goto, T., Takahashi, S., Takeda, H., Tanaka, T., Teruya, K., Hanai, J., Fujii, T., Fujitani, J., Hosaka, T., Mita, E., Minami, R., Moro, H., Yokomaku, Y., Watanabe, D., Watanabe, T., Yotsuyanagi, H.
Non-acquired immunodeficiency syndrome defining malignancies in people living with haemophilia and human immunodeficiency virus after direct-acting antiviral era.
Glob. Health Med., 2024. 6 (5) : 316-323
 9. Miyamoto, K., Ohmoto, A., Yoneoka, D., Rahman, M. O., Ota, E.
First-line therapy for high-risk people with chronic lymphocytic leukemia: a network meta-analysis.
Cochrane Database Syst. Rev., 2024. 10 (10) : CD015169
 10. Nishino, S., Yunokawa, M., Matsuura, Y., Fusegi, A., Misaka, S., Aoki, Y., Abe, A., Omi, M., Kanao, H.
Secondary spontaneous pneumothorax during chemotherapy with bevacizumab for cervical cancer: a case report and literature review.
Int. Cancer Conf. J., 2024. 13 (4) : 395-400
 11. Oaknin, A., Gladieff, L., Martínez-García, J., Villacampa, G., Takekuma, M., De Giorgi, U., Lindemann, K., Woelber, L., Colombo, N., Duska, L., Leary, A., Godoy-Ortiz, A., Nishio, S., Angelergues, A., Rubio, M. J., Fariñas-Madrid, L., Yamaguchi, S., Lorusso, D., Ray-Coquard, I., Manso, L., Joly, F., Alarcón, J., Follana, P., Romero, I., Lebreton, C., Pérez-Fidalgo, J. A., Yunokawa, M., Dahlstrand, H., D' Hondt, V., Randall, L. M.
Atezolizumab plus bevacizumab and chemotherapy for metastatic, persistent, or recurrent cervical cancer (BEATcc) : a randomised, open-label, phase 3 trial.
Lancet, 2024. 403 (10421) : 31-43
 12. Ohmoto, A., Fuji, S.
Letermovir for cytomegalovirus infection in allogeneic hematopoietic stem-cell transplantation: tips and notes for effective use in clinical practice.
Expert Rev. Anti Infect. Ther., 2024. 22(4) : 169-178
 13. Ohmoto, A., Fuji, S.
Non-cancerous complications in HTLV-1 carriers.
Expert Rev. Anti Infect. Ther., 2024. 22(5) : 307-316
 14. Sato, Y., Takahashi, S., Toshiyasu, T., Tsuji, H., Hanai, N., Homma, A.
Squamous cell carcinoma of the eyelid.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2024. 54 (1) : 4-12
 15. Seiwert, T. Y., Wildsmith, S., Fayette, J., Harrington, K., Gillison, M., Ahn, M. J., Takahashi, S., Weiss, J., Machiels, J. P., Baxi, S., Baker, V., Evans, B., Morsli, N., Jill, W., Real, K., L' Hernault, A., Psyrri, A.
Outcomes in biomarker-selected subgroups from the KESTREL study of durvalumab and tremelimumab in recurrent or metastatic head and neck squamous cell carcinoma.
Cancer Immunol. Immunother., 2024. 73 (4) : 70

16. Shigematsu, Y., Saito, R., Amori, G., Kanda, H., Takahashi, Y., Takeuchi, K., Takahashi, S., Inamura, K.
Fusobacterium nucleatum, immune responses, and metastatic organ diversity in colorectal cancer liver metastasis.
Cancer Sci., 2024. 115 (10) : 3248-3255
17. Shigematsu, Y., Saito, R., Kanda, H., Takahashi, Y., Takeuchi, K., Takahashi, S., Inamura, K.
Inverse correlation between pks-carrying Escherichia Coli abundance in colorectal cancer liver metastases and the number of organs involved in recurrence.
Cancers (Basel) , 2024. 16 (17) : 3003
18. Tahara, M., Kiyota, N., Imai, H., Takahashi, S., Nishiyama, A., Tamura, S., Shimizu, Y., Kadowaki, S., Ito, K. I., Toyoshima, M., Hirashima, Y., Ueno, S., Sugitani, I.
A phase II study of encorafenib in combination with binimetinib in patients with metastatic BRAF-mutated thyroid cancer in Japan.
Thyroid, 2024. 34 (4) : 467-476.
19. Tahara, M., Takami, H., Ito, Y., Okamoto, T., Sugitani, I., Sugino, K., Takahashi, S., Takeyama, H., Tsutsui, H., Hara, H., Mitsuma, A., Yamashita, H., Ohashi, Y., Imai, T.
A prospective cohort study exploring the effect of lenvatinib planned drug holidays in treatment of differentiated thyroid cancer.
Thyroid, 2024. 34 (5) : 566-574
20. Wang, X., Nakano, K., Shiga, T., Ohmoto, A., Oyakawa, T., Ebihara, A., Sato, Y., Fukuda, N., Nishizawa, M., Urasaki, T., Ono, M., Yunokawa, M., Tomomatsu, J., Takahashi, S.
Assessment of pazopanib-related heart failure in patients with advanced soft tissue sarcoma: a single institute analysis.
Circ. J., 2024. 88 (2) : 228-233
21. Yasuda, Y., Numao, N., Urasaki, T., Oki, R., Oguchi, T., Fujiwara, R., Yoneoka, Y., Takemura, K., Yonese, J., Yuasa, T.
Efficacy and safety of adjuvant nivolumab after radical surgery for high-risk urothelial carcinoma: a preliminary report of real-world data from a single institution.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (12) : 1925-1930
22. 小野麻紀子
がん薬物療法専門医のための模擬テスト 167 : 解答と解説 .
腫瘍内科 , 2024. 33 (3) : 311
23. 小野麻紀子
がん薬物療法専門医のための模擬テスト 167.
腫瘍内科 , 2024. 33 (2) : 210
24. 小野麻紀子
乳がんに対する周術期治療 .
腫瘍内科 , 2024. 34 (1) : 40-45
25. 小野麻紀子
腫瘍内科のジェンダーバランスについて .
腫瘍内科 , 2024. 33 (2) : 183-186
26. 温泉川真由
婦人科がん化学療法の進化：最適レジメンと管理を考える：子宮体がん：進行・再発子宮体がん治療：ペムブロリズマブをどう使う？レンバチニブとの併用は？
産科と婦人科 , 2024. 91 (3) : 279-282
27. 福田直樹
Precision oncology : がんゲノム医療の最前線における成果と問題点：臓器別ゲノム医療の成果と課題：頭頸部がん，甲状腺がんのゲノム診療 .
腫瘍内科 , 2024. 34 (3) : 268-275

【総合診療部】

1. Chatani, R., Yamashita, Y., Morimoto, T., Muraoka, N., Shioyama, W., Shibata, T., Nishimoto, Y., Ogihara, Y., Doi, K., Oi, M., Shiga, T., Sueta, D., Kim, K., Tanabe, Y., Koitabashi, N., Takada, T., Ikeda, S., Nakagawa, H., Mitsunashi, T., Shoji, M., Sakamoto, J., Hisatake, S., Ogino, Y., Fujita, M., Nakanishi, N., Dohke, T., Hiramori, S., Nawada, R., Kaneda, K., Mushiake, K., Yamamoto, H., Kadota, K., Ono, K., Kimura, T. Home treatment for active cancer patients with low-risk pulmonary embolism: a pre-determined companion report from the ONCO PE trial. Circ. J., 2024: in press
2. Uehara, M., Morita, H. Is isolated cardiac sarcoidosis an independent disease entity with poor prognosis in sarcoidosis cases? Int. Heart J., 2024. 65 (5) : 789-791
3. Uehara, M., Bekki, N., Shiga, T. Radiation-associated cardiovascular disease in patients with cancer: current insights from a cardio-oncologist. J. Radiat. Res., 2024. 65 (5) : 575-590
4. Wang, X., Nakano, K., Shiga, T., Ohmoto, A., Oyakawa, T., Ebihara, A., Sato, Y., Fukuda, N., Nishizawa, M., Urasaki, T., Ono, M., Yunokawa, M., Tomomatsu, J., Takahashi, S. Assessment of pazopanib-related heart failure in patients with advanced soft tissue sarcoma: a single institute analysis. Circ. J., 2024. 88 (2) : 228-233
5. 上原雅恵
腫瘍循環器学：新しい学際領域の最新知見：検査：CT/MRI
日本臨床，2024. 82（増刊2 腫瘍循環器学）：304-310
6. 上原雅恵
身近に潜む心筋症を診る：進歩する診断と治療：[Chapter：2] 心筋症の診断に必要な検査：心臓MRI検査，心臓CT検査．
内科，2024. 134（2）：210-214
7. 中山耕之介
治療法の再整理とアップデートのために：専門家による私の治療：副甲状腺機能亢進症
日本医事新報，2024（5227）：38-40
8. 北澤公
がん治療と糖尿病管理の両立：（Topic 1）がん治療と血糖マネジメント．
DM Ensemble, 2024. 13（3）：24-27
9. 北澤公
目で見えるトレーニング：濾胞腺腫．
Medicina, 2024. 61（11）：2006-2011
10. 北澤公
糖尿病患者の救急医療・急性期医療：悪性腫瘍．
月刊糖尿病，2024. 16（1）：83-87
11. 志賀太郎
心不全の診療 2024：最新の診断と治療：がん治療関連心機能障害．
日本臨床，2024. 82（7）：1140-1146
12. 志賀太郎
清水論文に対する Editorial Comment.
心臓，2024. 56（9）：907-908
13. 戸次宣史，志賀太郎
アントラサイクリン系薬剤による心毒性．
血液内科，2024. 88（1）：87-92
14. 戸次宣史，志賀太郎
Onco-cardiology：がんと心臓．
腫瘍内科，2024. 34（6）：582-588
15. 戸次宣史，志賀太郎
心エコー：何をどこまで評価できるか？：心エコーを活かして心不全を治療する：がん治療に関連する心筋障害：心エコーでどうマネジメントする？
循環器ジャーナル，2024. 72（2）：267-273

16. 武田孝一

今伝えたいクリニカル・パール：つくり方、使い方、活かし方：継承された”とっておきパール”：治り方のディテールは、経験でしか学べない。

総合診療, 2024. 34 (9) : 1046

【麻酔科】

1. Ishikawa, S., Hirashima, J., Hiroyama, M., Ozato, S., Watanabe, M., Terajima, K.
Analysis of factors related to anesthetic management affecting acute kidney injury occurring within 72 h after esophagectomy for esophageal cancer: a historical cohort study.
JA Clin. Rep., 2024. 10 (1) : 74
2. Kang, Y., Nishizawa, D., Ohka, S., Terui, T., Ishitani, K., Morino, R., Yokota, M., Hasegawa, J., Nakayama, K., Ebata, Y., Koshika, K., Ichinohe, T., Ikeda, K.
TMEM132C rs7296262 single-nucleotide polymorphism is significantly associated with nausea induced by opioids administered for cancer pain and postoperative pain.
Int. J. Mol. Sci., 2024. 25 (16) : 8845
3. 寺嶋克幸
手術室の働き方改革を考える：我が麻酔科の組織運営を考える。
日本手術医学会誌, 2024. 45 (3) : 269-272
4. 川上定俊, 河野達郎
麻酔薬についてのトピックス：オピオイドの最新動向：安全性向上と新たな可能性。
臨床麻酔, 2024. 48 (6) : 751-760

【腫瘍精神科】

1. 井上有香, 鈴木一洋, 松下大介, 小林洋子, 高山文博, 西口周, 中村友昭, 佐々木成聖, 阿部朋未, 吉田和世, 前田哲代, 高橋洋子, 荻谷朗子, 宮城由美, 清水研, 高野利実, 上野貴之, 大野真司, 小口正彦
AI ホスピタル事業におけるインフォームドコンセント高度化ソリューション開発研究。
乳癌の臨床, 2024. 39 (3) : 255-266
2. 厚坊浩史
急性期から終末期まで：がん看護の最新知識：消化器がんコンプリート BOOK：病態・検査・治療・ケア：(8章) 緩和ケア・看取り：心に寄り添うケア：ACP。
消化器ナーシング, 2024 (2024 秋季増刊) : 242-246
3. 厚坊浩史
急性期から終末期まで：がん看護の最新知識：消化器がんコンプリート BOOK：病態・検査・治療・ケア：(8章) 緩和ケア・看取り：心に寄り添うケア：メンタルのケア。
消化器ナーシング, 2024 (2024 秋季増刊) : 247-250
4. 川居利有
ペインクリニック診療における心理士の現状と
思うこと：ペインクリニック診療における心理職の役割とその限界。
ペインクリニック, 2024. 45 (11) : 1168-1176
5. 清水研
患者さんに「寄り添って」話を聴くってどういうこと？(第12回)(最終回)：自閉症スペクトラム傾向のある患者さんへの対応。
公衆衛生, 2024. 88 (1) : 97-102
6. 清水研
様々な世界で期待に応える術と心得：がん医療において精神科医が期待に応える術と心得。
精神科治療学, 2024. 39 (2) : 185-190

【感染症科】

1. Harada, S., Aoki, K., Nomura, Y., Ohama, Y., Araoka, H., Hayama, B., Sakurai, T., Ueda, A., Ishii, Y., Tsutsumi, T.
Transmission of global clones of NDM-producing Enterobacteriales and interspecies spread of IncX3 plasmid harboring blaNDM-5 in Tokyo.
J. Glob. Antimicrob. Resist., 2024. 38: 309-316
2. Hayama, B., Harada, S., Suzuki, M., Doi, Y., Nomura, Y., Aoki, K., Takehana, K., Akatsuchi, T., Enokida, T., Takeda, K., Seto, A., Mitani, H., Ohkushi, D.
Outbreak of Streptococcus pyogenes emm89 ST646 in a head and neck surgical oncology ward.
Microbiol. Spectr., 2024. 12 (5) : e0426023
3. 武田孝一
3. : ○○医大○○ ! ?
臨床推論のススメ方 : 全国 GIM カンファで話題を集めた 24 症例 (原田拓 / 沖中敬二編集) , 東京 , 南江堂 : pp.67-77, 2024
4. 武田孝一
どこでもみれる ? : コモンディジーズとしての感染症アップデート : ブレイクスルーと感染症 : 免疫チェックポイント阻害薬と感染症 .
Medicina, 2024. 61 (3) : 554-559
5. 武田孝一
今伝えたいクリニカル・パール : つくり方、使い方、活かし方 : 継承された” とっておきパール” : 治り方のディテールは、経験でしか学べない .
総合診療 , 2024. 34 (9) : 1046
6. 鎗水彰 , 武田孝一
ここからはじめる感染症診療 : 研修医が最初に悩む Fever work-up 教えます。症状や患者背景で整理 ! 発熱時の適切な病歴聴取・診察・検査で、抗菌薬選択にもう迷わない ! (第 2 章) 症状・患者ごとの感染症診療 : シチュエーション別の対応 : がん薬物療法中の患者の発熱 .

レジデントノート , 2024. 26 (8) : 1472-1481

【放射線治療部】

1. Hashimoto, K., Murakami, Y., Omura, K., Takahashi, H., Suzuki, R., Yoshioka, Y., Oguchi, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Ninomiya, H., Nishio, M., Mun, M.
Prediction of tumor PD-L1 expression in resectable non-small cell lung cancer by machine learning models based on clinical and radiological features: Performance comparison with preoperative biopsy.
Clin. Lung Cancer, 2024. 25 (1) : e26
2. Ishibashi, N., Ejima, Y., Soejima, T., Kawaguchi, H., Taguchi, S., Ito, H., Shimizuguchi, T., Isobe, K., Hasegawa, M., Sasai, K., Imai, M., Shimoda, E., Kaizu, H., Okano, N., Imagumbai, T., Akimoto, T.
Autologous peripheral blood stem cell transplantation and timing of local radiation therapy in patients with malignant lymphoma: results of the Japanese radiation oncology study group questionnaire survey.
Anticancer Res., 2024. 44 (7) : 3033-3041
3. Kamima, T., Ueda, Y., Fukunaga, J. I., Shimizu, Y., Yoshioka, Y., Monzen, H.
Enhancing estimation accuracy of prostate cancer VMAT planning: a knowledge-based approach using multiple collimator angles.
Anticancer Res., 2024. 44 (12) : 5303-5312
4. Kusumoto, S., Munakata, W., Machida, R., Terauchi, T., Onaya, H., Oguchi, M., Iida, S., Nosaka, K., Suzuki, Y., Harada, Y., Miyazaki, K., Maruta, M., Fukuhara, N., Toubai, T., Kubota, N., Ohmachi, K., Saito, T., Rai, S., Mizuno, I., Fukuhara, S., Takeuchi, M., Tateishi, U., Maruyama, D., Tsukasaki, K., Nagai, H.

- Interim PET-guided ABVD or ABVD/escalated BEACOPP for newly diagnosed advanced-stage classic Hodgkin lymphoma (JCOG1305) .
Cancer Sci., 2024. 115 (10) : 3384-3393
5. Matsubayashi, F., Kamima, T., Ito, Y., Yoshioka, Y.
Air inflow into vacuum-type immobilization devices impacts setup errors.
Radiol. Phys. Technol., 2024. 17 (3) : 697-702
 6. Matsubayashi, F., Takahashi, T., Miyauchi, H., Ito, Y., Harada, A., Yoshioka, Y.
Modeling of a tissue expander with a radiofrequency identification port in postmastectomy radiation therapy planning.
J. Radiat. Res., 2024. 65 (3) : 360-368
 7. Murakami, Y., Kawahara, D., Soyano, T., Kozuka, T., Takahashi, Y., Miyake, K., Kashi-hara, K., Kashi-hara, T., Kamima, T., Oguchi, M., Murakami, Y., Yoshioka, Y., Nagata, Y.
Dosimetrics for intensity-modulated radiotherapy in patients with prostate cancer: Survival analysis stratified by baseline prostate-specific antigen and Gleason grade group in a 2-institutional retrospective study.
Br. J. Radiol., 2024. 97 (1153) : 142-149
 8. Sato, Y., Takahashi, S., Toshiyasu, T., Tsuji, H., Hanai, N., Homma, A.
Squamous cell carcinoma of the eyelid.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2024. 54 (1) : 4-12
 9. Serizawa, I., Kozuka, T., Soyano, T., Sasamura, K., Kamima, T., Kunogi, H., Kurihara, N., Numao, N., Yamamoto, S., Yonese, J., Yoshioka, Y.
Clinical and dosimetric comparison between non-image-guided radiation therapy and fiducial-based image-guided radiation therapy with or without reduced margin in intensity-modulated radiation therapy for prostate cancer.
Adv. Radiat. Oncol., 2024. 9 (10) : 101612
 10. Serizawa, I., Kozuka, T., Soyano, T., Sasamura, K., Kamima, T., Kunogi, H., Numao, N., Yamamoto, S., Yonese, J., Yoshioka, Y.
Impact of neoadjuvant androgen deprivation therapy on toxicity in intensity-modulated radiation therapy for prostate cancer.
J. Radiat. Res., 2024. 65 (5) : 693-700
 11. Takahashi, R., Osumi, H., Wakatsuki, T., Yamamoto, N., Taguchi, S., Nakayama, I., Ooki, A., Ogura, M., Takahara, D., Chin, K., Yamaguchi, K., Shinozaki, E.
Clinical outcomes and prognostic factors of concurrent chemoradiotherapy for anal squamous cell carcinoma in Japan.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (8) : 1161-1172
 12. 上間達也, 明石華奈, 渡邊詩織, 松林史泰, 橘理絵, 伊藤康
胸部動態ファントムを用いた腫瘍呼吸性移動量評価法の比較について .
日本放射線技術学会雑誌, 2024. 80 (11) : 1124-1134
 13. 佐々木理栄, 田口千蔵, 篠崎英司, 宮内輝, 上間達也, 吉岡靖生
薬物療法後の原発巣残存に対して根治的放射線療法が施行され完全奏効を得た切除不能IV期下部直腸癌の1例 .
日本放射線科専門医会・医会学術雑誌, 2024. 4: 20-24
 14. 吉岡靖生
臨床腎・泌尿器癌 (上): 基礎・臨床研究の進歩: 腎癌の治療: 放射線療法: その他の放射線療法 (緩和照射を含む) .
日本臨床, 2024. 82 (増刊 8 臨床腎・泌尿器癌 (上)) : 412-417
 15. 松林史泰
Syngo.via の使用経験: 手間いらずのオートコントロール自動化 .
放射線治療かたろう会誌, 2024 (29) : 117-118

16. 金子真洋, 宮内春樹, 伊藤康, 吉岡靖生
Surface-guided radiotherapy の実際 : Exac-
Trac Dynamic Surface.
臨床放射線, 2024. 69 (5) : 663-669

【緩和治療科】

1. Matsumoto, Y., Uehara, Y., Mizushima, A., Kosugi, T., Sone, M., Nakamura, N., Miyashita, M., Morita, T., Yamaguchi, T., Satomi, E.
Availability of, barriers to performing, and educational practices of interventional procedures for refractory pain in cancer patients: a nationwide survey of designated cancer hospitals in Japan.
Palliat. Med. Rep., 2024. 5 (1) : 543-552
2. Matsumoto, Y., Umemura, S., Okizaki, A., Fujisawa, D., Yamaguchi, T., Oyamada, S., Miyaji, T., Mashiko, T., Kobayashi, N., Satomi, E., Kiuchi, D., Morita, T., Uchitomi, Y., Goto, K., Ohe, Y.
Nurse-led screening-triggered early specialized palliative care program for patients with advanced lung cancer: a multicenter randomized controlled trial.
Cancer Med., 2024. 13 (22) : e70325
3. Miwa, S., Mori, M., Yamaguchi, T., Suzuki, J., Matsuda, Y., Matsunuma, R., Watanabe, H., Ikari, T., Matsumoto, Y., Imai, K., Yokomichi, N., Yamauchi, T., Okamoto, S., Inoue, S., Inoue, A., Morita, T., Satomi, E., Behalf of the Japanese Dyspnea Relief Investigators.
Potential efficacy of midazolam as second-line treatment for terminal dyspnea in patients with cancer: secondary analysis of a multicenter prospective cohort study.
Palliat. Med. Rep., 2024. 5 (1) : 225-233
4. Saeki, Y., Sumi, Y., Ozaki, Y., Hosonaga, M., Kenmotsu, Y., Onoe, T., Yamaguchi, K., Matsumoto, Y.
Proposal for managing cancer-related insomnia: a systematic literature review of associated factors and a narrative review of treatment.
Cancer Med., 2024. 13 (22) : e70365
5. 佐伯吉規, 大矢希
どうしても眠れません : (不眠) .
今夜からもう困らない! 夜の症状緩和 (平山貴敏 / 五十嵐江美 / 佐々木千幸 / 田上恵太編集) ,
東京, 南江堂 : 2024
6. 佐伯吉規
症状性・器質性精神障害診療ガイド : 精神症状を引き起こす身体疾患, 物質・医薬品 (2024年版) : (第1章) 全身性疾患 : 膠原病・膠原病類縁疾患 : その他の膠原病 .
精神科治療学, 2024. 39 (増刊) : 42-43
7. 佐伯吉規
緩和医療 : がん医療における心のケア : 気持ちのつらさ・がんの不眠 .
カレントセラピー, 2024. 42 (10) : 807-812
8. 星野奈月, 松本禎久, 森田達也
アセトアミノフェンががん免疫療法の効果を減弱する! ?
緩和ケア, 2024. 34 (3) : 266-271
9. 松本禎久
『がん薬物療法に伴う末梢神経障害診療ガイドライン 2023 年版』を読み解く .
ペインクリニック, 2024. 45 (11) : 1199-1205
10. 松本禎久
前立腺癌診療における診療連携 : 緩和治療科との連携 : 前立腺癌診療における専門的緩和ケアとの連携 .
Prostate Journal, 2024. 11 (1) : 83-88
11. 松本禎久
書評 : ようこそ緩和ケアの森 : オピオイドの使い方 .
内科, 2024. 133 (4) : 999

12. 松本禎久
緩和医療のアップデート (Vol.23) (最終回) :
がん患者のサポーターシップケアとサバイバーシッ
プ : 最近の国内外の動向について .
医学のあゆみ, 2024. 291 (6) : 487-491
13. 池田昌弘, 松本禎久, 森田達也
がん疼痛に対する 3 段階鎮痛ラダーのステップ
2 は必要か? : 発展途上国を念頭に置いた国際
研究 .
緩和ケア, 2024. 34 (5) : 438-445
14. 采野優, 結束貴臣, 松本禎久, 石木寛人, 全田
貞幹
複合的介入 (complex : intervention) に関す
る Medical Research Council ガイダンス .
腫瘍内科, 2024. 33 (1) : 97-102

【トータルケアセンター】

1. Abe, T., Kataoka, A., Uehiro, N., Yoshida,
N., Nishimura, M., Ozaki, Y., Kogawa, T.,
Takano, T., Ohno, S., Ueno, T.
Desire for pregnancy and fertility preserva-
tion in young patients with breast cancer.
Breast Cancer, 2024. 31 (6) : 1137-1143
2. Azim, H. A., Jr., Niman, S. M., Partridge, A.
H., Demeestere, I., Ruggeri, M., Colleoni,
M., Saura, C., Shimizu, C., Saetersdal, A. B.,
Kroep, J. R., Mailliez, A., Warner, E., Borg-
es, V. F., Amant, F., Gombos, A., Kataoka, A.,
Rousset-Jablonski, C., Borstnar, S., Takei,
J., Lee, J. E., Walshe, J. M., Ruíz-Borrego,
M., Moore, H. C. F., Saunders, C., Bjelic-Ra-
disic, V., Susnjak, S., Cardoso, F., Klar, N. J.,
Spanic, T., Ruddy, K., Piccart, M., Korde, L.
A., Goldhirsch, A., Gelber, R. D., Pagani, O.,
Peccatori, F. A.
Fertility preservation and assisted repro-
duction in patients with breast cancer in-
terrupting adjuvant endocrine therapy to
attempt pregnancy.
J. Clin. Oncol., 2024. 42 (23) : 2822-2832
3. 上田美佐江
がん医療における「家族ケアの課題」困難事例
への解決アプローチ : よくある家族ケアの困り
ごとと具体的アプローチ : 複雑な家族への多職
種連携の実践 .
がん看護, 2024. 29 (2) : 176-180
4. 伊丹優貴子, 片岡明美, 榎田滋穂, 中屋恵梨香,
高木久美, 松下亜由子, 川名加織, 斎野容子,
井田智, 熊谷厚志
乳がん関連上肢リンパ浮腫患者における体脂肪
量と浮腫の関連 .
学会誌 JSPEN, 2024. 6 (3) : 133-138
5. 勝野幸子, 小笠原麻衣子, 宇津木久仁子
保険診療施設における婦人科がん続発性下肢リ
ンパ浮腫のケア .
日本リンパ浮腫学会雑誌, 2024. 5 (1) : 18-
21
6. 小笠原麻衣子, 勝野幸子, 宇津木久仁子
ドセタキセル治療歴のある腋窩リンパ節郭清乳
がん患者のリンパ浮腫 .
日本リンパ浮腫学会雑誌, 2024. 5 (1) : 14-
17
7. 日本リンパ浮腫学会編集, 宇津木久仁子編集
リンパ浮腫診療ガイドライン : 2024 年版 : 第
4 版
東京, 金原出版 : 124p., 2024
8. 片岡明美
AYA 世代乳癌診療 .
日本臨床外科学会雑誌, 2024. 85 (1) : 1-8
9. 片岡明美, 阿部朋未, 植弘奈津恵, 吉田奈央,
松永有紀, 春山優理恵, 中平詩, 高畑史子, 井
上有香, 山下奈真, 吉田和世, 前田哲代, 稲荷
均, 坂井威彦, 中村美穂, 濱口恵子, 高野利実,
渡邊雅之, 上野貴之
がん診療拠点病院とは : がん診療の均てん化を
考える : いつでもどこでも誰からでもサバイ
バーシップケアが受けられる病院を目指して .
日本外科学会雑誌, 2024. 125 (6) : 585-
588

【医療安全管理部】

1. 山本豊
ASUISHI/CQSO : Dr. によるリレー寄稿 40 :
天命を待って人事を尽くす .
医療安全レポート , 2024. 82: 5-8

【画像診断部】

1. Baba, T., Kusumoto, M., Kato, T., Kurihara, Y., Sasaki, S., Oikado, K., Saito, Y., Endo, M., Fujiwara, Y., Kenmotsu, H., Sata, M., Takano, T., Kato, K., Hirata, K., Katagiri, T., Saito, H., Kuwano, K.
Correction to: Clinical and imaging features of interstitial lung disease in cancer patients treated with trastuzumab deruxtecan.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (1) : 78-79
2. Ishiguro, T., Saida, T., Shikama, A., Akiyama, A., Tenjimbayashi, Y., Mori, K., Satoh, T., Nakajima, T.
Diagnostic imaging analysis to differentiate struma ovarii from mucinous carcinomas, encompassing T2*-based imaging, diffusion-weighted imaging, and dynamic contrast-enhanced imaging.
Br. J. Radiol., 2024. 97 (1163) : 1843-1849
3. Kimura, K., Yamamoto, T., Tsuchiya, J., Yoshida, S., Yanai, S., Onishi, I., Fujii, Y., Tateishi, U.
A diagnostic approach of various urethral diseases using multimodal imaging findings: comprehensive overview.
Abdom. Radiol., 2024. 49 (12) : 4416-4436
4. Kitano, Y., Inoue, Y., Sato, Y., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Matsueda, K., Baba, H., Takahashi, Y.
Management of potential portal vein thrombus during laparoscopic right hemihepatectomy following portal vein embolization.
Langenbecks Arch. Surg., 2024. 409 (1) : 56
5. Kubota, K., Fujioka, T., Tateishi, U., Mori, M., Yashima, Y., Yamaga, E., Katsuta, L., Yamaguchi, K., Tozaki, M., Sasaki, M., Uematsu, T., Monzawa, S., Isomoto, I., Suzuki, M., Satake, H., Nakahara, H., Goto, M., Kikuchi, M.
Investigation of imaging features in contrast-enhanced magnetic resonance imaging of benign and malignant breast lesions.
Jpn. J. Radiol., 2024. 42 (7) : 720-730
6. Omi, M., Tanaka, Y. O., Kurihara, N., Sugiyama, Y., Tonooka, A., Kanno, M., Fusegi, A., Aoki, Y., Netsu, S., Abe, A., Tanigawa, T., Okamoto, S., Nomura, H., Kanao, H.
Preoperative diagnosis of cervical cystic lesions using magnetic resonance imaging: a retrospective study.
BMC women' s health, 2024. 24 (1) : 460
7. Omiya, K., Maekawa, A., Oba, A., Inoue, Y., Hirose, Y., Kobayashi, K., Ono, Y., Sato, T., Ichinose, J., Sasaki, T., Ozaka, M., Wu, Y. H. A., Hiratsuka, M., Matsueda, K., Mun, M., Sasahira, N., Ito, H., Saiura, A., Takahashi, Y.
A proposal of ABCD metastasectomy criteria for synchronous/metachronous metastatic pancreatic cancer in the era of multidisciplinary treatment.
Br. J. Surg., 2024. 111 (1) : znad417
8. Tachibana, T., Nakao, M., Ninomiya, H., Sato, Y., Oikado, K., Kawahara, M., Urabe, T., Suzuki, A., Ichinose, J., Matsuura, Y., Okumura, S., Ikeda, N., Mun, M.
Minimally invasive surgery for intradiaphragmatic bronchogenic cyst.
JTCVS Tech., 2024. 25: 250-253
9. Tamagawa, S., Nakao, M., Oikado, K., Sato, Y., Hashimoto, K., Ichinose, J., Matsuura, Y., Okumura, S., Satoh, Y., Mun, M.
Prognostic impact of ground-glass opacity components in lung cancer with lymph node metastasis.
J. Thorac. Dis., 2024. 16 (5) : 2975-2982

10. Watanabe, H., Oikado, K., Sato, Y., Ichikawa, R., Ninomiya, H., Mun, M., Nakao, M., Matsuura, Y., Ichinose, J., Terauchi, T.
A case of colloid adenocarcinoma of the lung with coarse calcification.
J. Thorac. Imaging, 2024. 39 (6) : W108-W110
11. Yamada, D., Matsusako, M., Yoneoka, D., Oikado, K., Ninomiya, H., Nozaki, T., Ishiyama, M., Makidono, A., Otsuji, M., Itoh, H., Ojiri, H.
Ex-vivo 1.5T MR imaging versus CT in estimating the size of the pathologically invasive component of lung adenocarcinoma spectrum lesions.
Magn. Reson. Med. Sci., 2024. 23 (1) : 92-101
12. Yoshida, M., Saida, T., Mori, K., Hoshiai, S., Sakai, M., Amano, T., Shibuki, S., Miyata, M., Sato, T., Nakajima, T.
Comparison of preoperative diagnostic performance between dual-energy CT, conventional CT, and MRI in endometrial cancer.
Pol. J Radiol, 2024. 89: e358-e367
13. Yoshida, M., Mori, K., Shigeta, S., Nagase, M., Ishige, K., Fukuda, K., Endou, M., Saida, T., Nakajima, T.
Endovascular treatment of a pancreatic artery pseudoaneurysm with arteriportal fistula in chronic pancreatitis: a case report.
Radiol. Case Rep., 2024. 19 (11) : 5257-5261
14. 一川良太, 負門克典, 佐藤嘉尚, 寺内隆司
G-CSF 関連大血管炎.
画像診断, 2024. 44 (1) : 90-91
15. 三宅美穂, 坂井威彦, 前田哲代, 高橋洋子, 春山優理恵, 井上有香, 片岡明美, 稲荷均, 荻谷朗子, 宮城由美, 上野貴之, 金子景香, 植木有紗, 菊池真理, 大迫智, 高野利実, 大野真司
Li-Fraumeni 症候群のサーベイランス中に診断した乳癌の 1 例.
乳癌の臨床, 2024. 39 (3) : 291-297
16. 佐藤嘉尚
ビギナーのための胸部画像診断: Q&A アプローチ 2025: 腫瘍性病変: 肺結節: すりガラス型結節をみたら, どうすればいいですか?
画像診断, 2024. 45 (1) : 29-31
17. 佐藤嘉尚
ビギナーのための胸部画像診断: Q&A アプローチ 2025: 腫瘍性病変: 肺結節: 肺結節の質的診断について, 鑑別のポイントを教えてください.
画像診断, 2024. 45 (1) : 26-28
18. 小嶋結, 外岡暁子, 伊藤藍, 千葉知宏, 幅野愛理, 田中優美子, 植木有紗, 野村秀高
卵巣類内膜癌の診断の後に遺伝性乳癌卵巣癌 (HBOC) と判明した 1 例.
日本婦人科病理学会誌, 2024. 15 (1) : 15-22
19. 山元龍哉
術前画像診断: どう読んで, どう備えるか?: 総論: 画像診断医は術前画像診断レポートをどのように報告するか.
外科, 2024. 86 (9) : 957-960
20. 田中優美子
臨床所見から考える婦人科画像診断: 腫瘍マーカーから考える婦人科腫瘍: CA125, CA19-9, CEA, SCC-Ag.
画像診断, 2024. 44 (8) : 781-788

【臨床遺伝医療部】

1. Abe, A., Nomura, H., Fusegi, A., Yunokawa, M., Ueki, A., Habano, E., Arakawa, H., Kaneko, K., Minoura, Y., Inari, H., Ueno, T., Kanao, H.
Risk-reducing decisions regarding germline BRCA pathogenic variant: Focusing on the timing of genetic testing and RRSO.
J. Med. Genet., 2024. 61 (4) : 392-398
2. Chikatani, K., Ishida, H., Mori, Y., Nakajima, T., Ueki, A., Akagi, K., Takao, A., Yamada, M., Taniguchi, F., Komori, K., Sasaki, K., Sudo, T., Miyakura, Y., Chino, A., Yamaguchi, T., Tanakaya, K., Tomita, N., Ajioka, Y.

- Risk of metachronous colorectal cancer after surgical resection of index rectal cancer in Lynch syndrome: A multicenter retrospective study in Japan.
Surg. Today, 2024. 54 (9) : 1075-1083
3. Chino, A., Tanakaya, K., Nakajima, T., Akagi, K., Takao, A., Yamada, M., Ishida, H., Komori, K., Sasaki, K., Miguchi, M., Hirata, K., Sudo, T., Miyakura, Y., Ishikawa, T., Yamaguchi, T., Tomita, N., Ajioka, Y.
Colorectal cancer and advanced adenoma characteristics according to causative mismatch repair gene variant in Japanese colorectal surveillance for Lynch syndrome.
J. Gastroenterol., 2024. 59 (8) : 699-708
 4. Fusegi, A., Nomura, H., Ueki, A., Abe, A., Kamata, M., Misaka, S., Aoki, Y., Tanigawa, T., Yunokawa, M., Kanao, H.
Ovarian surveillance including endometrial cytology for patients with hereditary breast and ovarian cancer before risk-reducing salpingo-oophorectomy: A retrospective analysis.
J. Obstet. Gynecol. Res., 2024. 50 (6) : 1002-1009
 5. Hayashi, N., Mori, S., Ohmoto, A., Fukada, I., Yamazaki, M., Hosonaga, M., Wang, X., Ueki, A., Kiyotani, K., Tonooka, A., Takeuchi, K., Takahashi, S.
Availability of genome-matched therapy based on clinical practice.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (7) : 964-971
 6. Yoshida, R., Kaneyasu, T., Ueki, A., Yamauchi, H., Ohsumi, S., Ohno, S., Aoki, D., Baba, S., Kawano, J., Matsumoto, N., Nagasaki, M., Ueno, T., Inari, H., Kobayashi, Y., Takei, J., Gotoh, O., Nishi, M., Okamura, M., Kaneko, K., Okawa, M., Suzuki, M., Amino, S., Inuzuka, M., Noda, T., Mori, S., Nakamura, S.
High-risk pathogenic germline variants in blood relatives of BRCA1/2 negative probands.
Breast Cancer, 2024. 31 (6) : 1028-1036
 7. 三宅美穂, 坂井威彦, 前田哲代, 高橋洋子, 春山優理恵, 井上有香, 片岡明美, 稲荷均, 荻谷朗子, 宮城由美, 上野貴之, 金子景香, 植木有紗, 菊池真理, 大迫智, 高野利実, 大野真司
Li-Fraumeni 症候群のサーベイランス中に診断した乳癌の 1 例.
乳癌の臨床, 2024. 39 (3) : 291-297
 8. 久我亜沙美, 植木有紗
ゲノムアレルギーからの脱却 - 泌尿器科医がぜひ知っておきたいゲノムの知識 : Germline 遺伝子異常と泌尿器がん : がん遺伝カウンセリングの実例.
臨床泌尿器科, 2024. 78 (9) : 640-645
 9. 伊藤藍, 伏木淳, 植木有紗, 千葉知宏, 外岡暁子
MLH1/PMS2 の subclonal loss を示した MLH1 病的バリエントを有する Lynch 症候群の一例.
日本婦人科病理学会誌, 2024. 15 (1) : 35-42
 10. 小嶋結, 外岡暁子, 伊藤藍, 千葉知宏, 幅野愛理, 田中優美子, 植木有紗, 野村秀高
卵巣類内膜癌の診断の後に遺伝性乳癌卵巣癌 (HBOC) と判明した 1 例.
日本婦人科病理学会誌, 2024. 15 (1) : 15-22
 11. 幅野愛理, 植木有紗
Precision oncology : がんゲノム医療の最前線における成果と問題点 : ゲノム医療の新たな進展と課題 : がん患者の全ゲノム解析で非腫瘍性疾患が疑われた場合の対応と課題.
腫瘍内科, 2024. 34 (3) : 257-262
 12. 春山優理恵, 中島絵里, 稲荷均, 前田哲代, 西村明子, 幅野愛理, 新川裕美, 金子景香, 國分優美, 大迫智, 植木有紗, 上野貴之, 大野真司
多遺伝子パネル検査で診断に至った Li-Fraumeni 症候群の未発症血縁者 : 初回の乳房ハイリスクサーベイランスで両側乳癌の診断に至った 1 例.

13. 金子景香, 久我亜沙美, 植木有紗
遺伝性婦人科腫瘍の遺伝学的診断に基づくチーム医療:がん研Gene Awarenessプロジェクト.
日本婦人科病理学会誌, 2024. 15 (1) : 1-3

【集中治療部】

1. 寺嶋克幸
手術室の働き方改革を考える: 我が麻酔科の組織運営を考える.
日本手術医学会誌, 2024. 45 (3) : 269-272
2. 望月俊明
Ⅲ 症候・病態編: 外傷.
内科診断学 第4版 (福井次矢 / 奈良信雄 / 松村正巳編集), 東京, 医学書院: pp.854-859, 2024
3. 望月俊明
Ⅲ 症候・病態編: 熱傷.
内科診断学 第4版 (福井次矢 / 奈良信雄 / 松村正巳編集), 東京, 医学書院: pp.872-878, 2024
4. 望月俊明
Ⅵ章 患者背景を考慮した救急診療: 6. 担がん患者
救急診療指針 下巻 改訂第6版 (日本救急医学会監修), 東京, ヘルス出版: pp.875-882, 2024
5. 望月俊明
Ⅵ章 患者背景を考慮した救急診療: 7. 免疫不全患者
救急診療指針 下巻 改訂第6版 (日本救急医学会 / 監修), 東京, ヘルス出版: pp.883-892, 2024
6. 望月俊明
どんとこい!!! 慢性疾患増悪: がん患者の急性増悪.
救急医学, 2024. 48 (2) : 215-224

【核医学部】

1. Fukai, S., Daisaki, H., Umeda, T., Shimada, N., Terauchi, T., Koizumi, M.
Evaluation of two-dimensional total bone uptake (2D-TBU) and bone scan index (BSI) extracted from active bone metastatic burden on the bone scintigraphy in patients with radium-223 treatment.
Ann. Nucl. Med., 2024. 38 (6) : 450-459
2. Kusumoto, S., Munakata, W., Machida, R., Terauchi, T., Onaya, H., Oguchi, M., Iida, S., Nosaka, K., Suzuki, Y., Harada, Y., Miyazaki, K., Maruta, M., Fukuhara, N., Toubai, T., Kubota, N., Ohmachi, K., Saito, T., Rai, S., Mizuno, I., Fukuhara, S., Takeuchi, M., Tateishi, U., Maruyama, D., Tsukasaki, K., Nagai, H.
Interim PET-guided ABVD or ABVD/escalated BEACOPP for newly diagnosed advanced-stage classic Hodgkin lymphoma (JCOG1305) .
Cancer Sci., 2024. 115 (10) : 3384-3393
3. Watanabe, H., Oikado, K., Sato, Y., Ichikawa, R., Ninomiya, H., Mun, M., Nakao, M., Matsuura, Y., Ichinose, J., Terauchi, T.
A case of colloid adenocarcinoma of the lung with coarse calcification.
J. Thorac. Imaging, 2024. 39 (6) : W108-W110
4. 大崎洋充, 久保田千裕, 石川一磨, 佐藤充, 安本佳章, 深井翔平, 坂下哲哉
モンテカルロシミュレーションを用いた ^{177}Lu イメージングにおける定量的精度と変動性の検証.
日本放射線技術学会雑誌, 2024. 80 (6) : 593-604
5. 山下康輔
核医学治療 Update (第4回) : ^{177}Lu -DOTATATE.
東京放射線, 2024. 71 (7) : 12-17

【救急部】

1. 望月俊明
Ⅲ 症候・病態編：外傷．
内科診断学 第4版（福井次矢 / 奈良信雄 / 松村正巳編集），東京，医学書院：pp.854-859, 2024
2. 望月俊明
Ⅲ 症候・病態編：熱傷．
内科診断学 第4版（福井次矢 / 奈良信雄 / 松村正巳編集），東京，医学書院：pp.872-878, 2024
3. 望月俊明
Ⅵ章 患者背景を考慮した救急診療：6. 担がん患者
救急診療指針 下巻 改訂第6版（日本救急医学会監修），東京，ヘルス出版：pp.875-882, 2024
4. 望月俊明
Ⅵ章 患者背景を考慮した救急診療：7. 免疫不全患者
救急診療指針 下巻 改訂第6版（日本救急医学会 / 監修），東京，ヘルス出版：pp.883-892, 2024
5. 望月俊明
どんとこい！！慢性疾患増悪：がん患者の急性増悪．
救急医学，2024. 48（2）：215-224

【臨床検査センター】

1. Hayama, B., Harada, S., Suzuki, M., Doi, Y., Nomura, Y., Aoki, K., Takehana, K., Akatsuchi, T., Enokida, T., Takeda, K., Seto, A., Mitani, H., Ohkushi, D.
Outbreak of *Streptococcus pyogenes* emm89 ST646 in a head and neck surgical oncology ward.
Microbiol. Spectr., 2024. 12（5）：e0426023
2. Shirouchi, Y., Kaihara, K., Sekita, T., Amano, N., Nakayama, K., Miyake, K., Abe, H., Oinuma, H., Maruyama, D.

Impact of M-protein detection on the response evaluations of patients undergoing treatment with the IgG- κ monoclonal antibodies daratumumab or isatuximab, and discrepancies between immunofixation electrophoresis (IFE) systems and reagents.

Cancer Med., 2024. 13（16）：e70128

3. 関根凜太郎，三宅一徳
MT Seminar：読んで、見て、深める臨床検査技師のための誌上講義：抗がん剤の曝露対策と検査上の注意点．
Med. Technol., 2024. 52（8）：866-870

【超音波診断・IVR 部】

1. Maekawa, A., Oba, A., Inoue, Y., Omiya, K., Ono, Y., Sato, T., Watanabe, S., Uchino, Y., Kobayashi, K., Ito, H., Sato, Y., Tanabe, M., Saiura, A., Takahashi, Y.
ASO visual abstract: Technical strategy for pancreatic body cancers-A raison d'etre of distal pancreatectomy with portal resection.
Ann. Surg. Oncol., 2024. 31（2）：1371-1372
2. Maekawa, A., Oba, A., Inoue, Y., Omiya, K., Ono, Y., Sato, T., Watanabe, S., Uchino, Y., Kobayashi, K., Ito, H., Sato, Y., Tanabe, M., Saiura, A., Takahashi, Y.
Technical strategy for pancreatic body cancers: a raison d'etre of distal pancreatectomy with portal resection.
Ann. Surg. Oncol., 2024. 31（2）：1347-1357
3. Nakai, E., Miyagi, Y., Suzuki, K., Pappagallo, A. S., Kayama, H., Matsuba, T., Yang, L., Xu, S., Kelly, C., Najafi, R., Kohlberger, T., Golden, D., Uddin, A., Nakamura, Y., Kokuibu, Y., Takahashi, Y., Ueno, T., Oguchi, M., Ohno, S., Ledsam, J. R.
Artificial intelligence as a second reader for screening mammography.
Radiol. Adv., 2024. 1（2）：umae011

4. Sato, Y., Matsueda, K., Inaba, Y., Tsuchiya, S., Yamamoto, M., Abe, T.
Lymphatic interventional radiology for post-operative lymphatic leakage.
Dig. Dis. Interv., 2024. 8 (3) : 203-210
5. 國分優美
第6章：各種疾患の画像診断 09.：乳癌 / 特殊型浸潤癌：浸潤性微小乳頭癌 (invasive micro-papillary carcinoma)
乳房 画像診断の勘どころ NEO (角田博子編集), 東京, メジカルビュー社：2024
6. 春山優理恵, 中島絵里, 稲荷均, 前田哲代, 西村明子, 幅野愛理, 新川裕美, 金子景香, 國分優美, 大迫智, 植木有紗, 上野貴之, 大野真司
多遺伝子パネル検査で診断に至った Li-Fraumeni 症候群の未発症血縁者：初回の乳房ハイリスクサーベイランスで両側乳癌の診断に至った1例.
遺伝性腫瘍, 2024. 24 (2) : 153-160

【看護部】

1. Hara, F., Nagasaki, R., Minami, R., Izutani, T., Yoshida, T., Arai, A., Nihei, A., Sakurai, N., Ohno, S.
Survey on adverse events associated with drug therapy for breast cancer patients.
BMC women's health, 2024. 24 (1) : 545
2. 上間美夕紀
がん看護キーワード 15：がん看護実践の基本：がん看護実践の基本概念と方法：がんリハビリテーション.
がん看護, 2024. 29 (3) : 277-280
3. 宇津木智子
エビデンスで考えるがん患者さんの終末期ケア：かわりかたと症状マネジメント：(Part：3) 終末期における症状マネジメント：全身症状：がん終末期の「倦怠感 (がん関連倦怠感)」.
YORi-SOU がんナーシング, 2024. 14 (5) : 580-581
4. 木村文香, 浅沼るい, 浅野茜, 窪田珠子, 小島亜美, 佐藤日向, 豊田桃加, 美谷島隆也, 原口昌宏, 松本和史

看護師養成課程における基礎看護学領域でのノーリフティングケア教育に関する実態調査.
日本看護技術学会誌, 2024. 23: 96-104

5. 永澤郁美
患者・介護者が安心して在宅療養できる切れ目のない継続的な支援を目指した地域連携室と外来看護師の協働体制づくり.
継続看護時代の外来看護, 2024. 29 (3) : 54-63
6. 鴨川郁子, 後藤志保
多職種アプローチ時代の骨転移：骨転移に対する治療・ケアの実践：骨転移患者の看護での工夫.
緩和ケア, 2024. 34 (2) : 145-152

【薬剤部】

1. Abe, M., Hashimoto, H., Soejima, A., Nishimura, Y., Ike, A., Sugawara, M., Shimada, M.
Shared decision-making in patients with gynecological cancer and healthcare professionals: a cross-sectional observational study in Japan.
J. Gynecol. Oncol., 2024. 36 (3) : e47
2. Hatori, M., Fukuoka, S., Kimura, S., Kawakami, K., Yamaguchi, K., Yamaguchi, M.
Comparing the efficacy of a triplet anti-emetic regimen in patients with esophageal cancer and diabetes mellitus treated with cisplatin-based chemotherapy: a retrospective study.
Oncology, 2024: 1-9
3. Hatori, M., Tsuji, D., Suzuki, K., Yokokawa, T., Kawakami, K., Moriyama, R., Osada-Tsuchiya, M., Otake, A., Nakao, M., Yano, T., Arakawa, Y., Matsuo, K., Ohashi, Y., Sakata, Y., Kogure, Y., Tamaki, S., Wada, A., Taki, Y., Sasahira, N., Ishii, H., Yamaguchi, M., Itoh, K.
Pharmacogenomic study of gemcitabine efficacy in patients with metastatic pancreatic cancer: A multicenter, prospective,

- observational cohort study (GENESECT study) .
Cancer, 2024. 130 (17) : 2988-2999
4. Matsumoto, K., Ryushima, Y., Sato, J., Aizawa, Y., Aoyama, T., Akaishi, Y., Okamoto, R., Sato, Y., Sugano, K., Tazumi, K., Tsuji, M., Fujikawa, N., Bun, S., Yagasaki, K.
Extravasation associated with cancer drug therapy: multidisciplinary guideline of the Japanese Society of Cancer Nursing, Japanese Society of Medical Oncology, and Japanese Society of Pharmaceutical Oncology. ESMO Open, 2024. 9 (10) : 103932
 5. Nonomiya, Y., Nakayama, I., Kobayashi, K., Amakawa, Y., Shibata, N., Soejima, A., Kawakami, K., Shimizu, H., Takahari, D., Kawai, S., Hara, F., Takano, T., Yamaguchi, K., Yamaguchi, M.
Analysis of adverse events associated with trastuzumab deruxtecan in patients with gastric and breast cancer: a retrospective study.
Biol. Pharm. Bull., 2024. 47 (2) : 411-416
 6. Suzuki, W., Gando, Y., Yasu, T.
Development of a simple high-performance liquid chromatography-ultraviolet detection method for selpercatinib determination in human plasma.
Drug Discov. Ther., 2024. 18 (6) : 387-390
 7. Suzuki, K., Yokokawa, T., Kawaguchi, T., Takada, S., Tamaki, S., Kawasaki, Y., Yamaguchi, T., Koizumi, K., Matsumoto, T., Sakata, Y., Arakawa, Y., Ayuhara, H., Hosonaga, M., Yamaguchi, M., Tsuji, D.
A multicenter, phase II trial of triplet antiemetic therapy with palonosetron, aprepitant, and olanzapine for highly emetogenic chemotherapy in breast cancer (PATROL-II) .
Sci. Rep., 2024. 14 (1) : 28271
 8. Tomomatsu, T., Shimizu, H., Yokokawa, T., Fukada, I., Kawakami, K., Kobayashi, K., Aoyama, T., Suzuki, W., Sugisaki, T., Hashimoto, K., Asano, M., Mori, Y., Hara, F., Takano, T., Ohno, S., Yamaguchi, M.
Cost of pegfilgrastim for the prophylaxis of chemotherapy-induced febrile neutropenia in patients with breast cancer receiving perioperative chemotherapy in daily practice in Japan.
YAKUGAKU ZASSHI, 2024. 144 (9) : 897-904
 9. Tsuji, D., Nakagaki, S., Yonezawa, I., Suzuki, K., Yokokawa, T., Kawasaki, Y., Yamaguchi, T., Kawaguchi, T., Hatori, M., Matsumoto, T., Sakata, Y., Yamamoto, K., Nishimura, T., Kogure, Y., Hayashi, T., Osawa, M., Itoh, K., Watanabe, M.
A multicenter phase II trial of the triplet antiemetic therapy with palonosetron, aprepitant, and olanzapine for a cisplatin-containing regimen. - PATROL-I.
Invest. New Drugs., 2024. 42 (1) : 44-52
 10. Uozumi, S., Enokida, T., Suzuki, S., Nishizawa, A., Kamata, H., Okano, T., Kawasaki, T., Fujisawa, T., Ueda, Y., Okano, S., Tahara, M., Yamaguchi, M.
Efficacy and safety of adapalene gel as a reactive treatment for cetuximab-induced skin toxicity in recurrent or metastatic squamous cell carcinoma of the head and neck:a historical cohort comparison study.
J. Oncol. Pharm. Pract., 2024. 30 (2) : 295-303
 11. 中野泰寛, 森祐佳
がん研有明病院薬剤部のABCセミナーの楽屋話 .
薬局, 2024. 75 (13) : 2228-2232
 12. 伴修平, 川上和宜
がん研有明病院薬剤部のABCセミナーの楽屋話 .
薬局, 2024. 75 (12) : 2018-2021

13. 副島梓
Hey 薬剤師外来：「外来診療の質を上げる方法を教えて」：チェンジ，外来診療：「薬剤師外来」のリアル 15：がん薬物療法外来：婦人科がん：TC 療法の副作用管理．
薬局，2024. 75（8）：1219-1224
14. 副島梓，野々宮悠真
がん研有明病院薬剤部の ABC セミナーの楽屋話．
薬局，2024. 75（14）：2384-2389
15. 小林一男，清水久範，瀧口友美，谷口愉香，青西伊都子，柿木俊彦，山口正和
がん治療専門病院における閉鎖式薬剤移注システム（CSTD）使用下での複数回モニタリングによる環境曝露の評価．
日本病院薬剤師会雑誌，2024. 60（9）：1012-1017
16. 小林一男
加算算定までつなげる！外来がん治療の「病-薬連携」：外来頻用レジメンの「病-薬連携管理」：加算算定までつながった実例集：分子標的薬中止による低血圧：治療レジメン：ベバシズマブ：CAPOX 療法．
薬局，2024. 75（7）：1061-1065
17. 小林一男
口腔機能低下症・嚥下障害のミカタ：服薬サポートの引き出しを増やしませんか！？：多職種から学ぶ！服薬支援力を磨くヒント：抗がん薬による口腔粘膜障害．
薬局，2024. 75（12）：2007-2011
18. 山口正和
加算算定までつなげる！外来がん治療の「病-薬連携」：特集にあたって．
薬局，2024. 75（7）：978-979
19. 山口正和
新連載！：がん研有明病院薬剤部の ABC セミナーの楽屋話：これからはじまる連載の楽しみ方．
薬局，2024. 75（12）：2016-2017
20. 山口正和監修，横川貴志編集，青山剛編集
がん研有明病院薬剤部が作った がん薬物療法 ABC ハンドブック
東京，文光堂：300p.，2024
21. 川上和宜
17. 手足症候群．
がん薬物療法副作用管理マニュアル第3版（吉村知哲／田村和夫監修，川上和宜編集），東京，医学書院：2024
22. 川上和宜
Hey 薬剤師外来：「外来診療の質を上げる方法を教えて」：始動，薬剤師外来：外来診療の質を上げるひとつの方法：薬剤師の働きがい改革！：楽しい薬剤師外来ライフ．
薬局，2024. 75（8）：1160-1163
23. 川上和宜
ガチではじめるマジでわかる：経口抗がん薬：経口抗がん薬の主観的アドヒアランス評価．
薬局，2024. 75（5）：764-770
24. 川上和宜，郷真貴子
ガチではじめるマジでわかる：経口抗がん薬．
薬局，2024. 75（7）：973,1121-1132
25. 川上和宜
ガチではじめるマジでわかる：経口抗がん薬（第6回）：経口抗がん薬の客観的アドヒアランス評価．
薬局，2024. 75（10）：1588-1591
26. 川上和宜
加算算定までつなげる！外来がん治療の「病-薬連携」：外来がん薬物療法を支える！薬剤師業務の「2本柱」．
薬局，2024. 75（7）：981-986
27. 川上和宜
外来がん化学療法における薬剤師外来：がん研究会有明病院における取り組み．
東京都病院薬剤師会雑誌，2024. 73（6）：338-340

28. 横川貴志
3-20. : 肝・胆・膵がん .
がん薬物療法のひきだし 腫瘍薬学の基本から
応用まで (松尾宏一 / 緒方憲太郎 / 林稔展編集),
東京, 医学書院 : pp.217-241, 2024
29. 横川貴志
16. : 過敏症 .
がん薬物療法副作用管理マニュアル第3版 (吉
村知哲 / 田村和夫監修, 川上和宜編集), 東京,
医学書院 : pp.172-188, 2024
30. 浅野舞美, 清水久範, 横川貴志, 鈴木亘, 川上
和宜, 小林一男, 杉崎崇人, 青山剛, 式部さあ
里, 友松拓哉, 深田一平, 高野利実, 山口正和
乳癌周術期 FEC 療法におけるペグフィルグラ
スチム使用による血球成分の推移調査 .
癌と化学療法, 2024. 51 (9) : 913-918
31. 清水久範
がん薬物療法における薬薬連携 (第1回) : 東
京都がん薬物療法協議会の設置について .
都薬雑誌, 2024. 46 (4) : 52-56
32. 清水久範, 中野泰寛, 根本真記, 高橋輝
真に役立つ医療 DX を複眼で考察する : 働き方
改革貢献の実際 : 術前中止薬情報確認システ
ムの概要と業務効率化視点からの有用性 .
新医療, 2024. 51 (7) : 37-39
33. 谷川大夢
ガチではじめるマジでわかる:経口抗がん薬 (第
8回) : タグリッソ (オシメルチニブ) のざ瘡
様皮疹 .
薬局, 2024. 75 (12) : 1885, 2051-2060
34. 青山剛
Hey 薬剤師外来 : 「外来診療の質を上げる方
法を教えて」 : ビルドアップ, 薬剤師外来 : 外
来診療のクオリティ向上に取り組む : 特定機能
病院 (専門病院) での取り組み .
薬局, 2024. 75 (8) : 1169-1173

【栄養管理部】

1. Kokura, Y., Ueshima, J., Saino, Y., Keisuke,
M.
Enhanced protein intake on maintaining
muscle mass, strength, and physical func-
tion in adults with overweight/obesity: A
systematic review and meta-analysis.
Clin. Nutr. ESPEN, 2024. 63: 417-426
2. Matsuo, H., Matsui, R., Kumagai, K., Ida,
S., Saino, Y., Fujiwara, A., Takagi, K., Itami,
Y., Ishii, M., Moriya, N., Izumi-Mishima, Y.,
Nomura, K., Tsutsumi, Y. M., Nunobe, S.,
Tsutsumi, R., Sakaue, H.
Reply to Lee, S.Y. Comment on "Matsuo et
al. Impact of olfactory change on postop-
erative body weight loss in patients with
gastric cancer after gastrectomy. nutrients
2024, 16, 851"
Nutrients, 2024. 16 (15) : 2423
3. Suzuki, M., Nagano, A., Ueshima, J., Saino,
Y., Kawase, F., Kobayashi, H., Murotani, K.,
Inoue, T., Nagami, S., Maeda, K.
Prevalence of dysphagia in patients after
orthopedic surgery.
Arch. Gerontol. Geriatr., 2024. 119:
105312
4. Takahashi, N., Okamura, A., Ishii, M., Mori-
ya, N., Yamaguchi, A., Inamochi, Y., Takagi,
K., Nakaya, E., Kuriyama, K., Terayama,
M., Tamura, M., Kanamori, J., Imamura, Y.,
Saino, Y., Watanabe, M.
Intensified outpatient nutrition manage-
ment improves body weight and skeletal
muscle loss after esophageal cancer sur-
gery: a single-center, retrospective, sin-
gle-arm clinical study.
Langenbecks Arch. Surg., 2024. 409 (1) :
333
5. Ueshima, J., Inoue, T., Saino, Y., Kobayashi,
H., Murotani, K., Mori, N., Maeda, K.
Diagnosis and prevalence of cachexia in
Asians: a scoping review.
Nutrition, 2024. 119: 112301

6. 伊丹優貴子, 片岡明美, 榎田滋穂, 中屋恵梨香, 高木久美, 松下亜由子, 川名加織, 斎野容子, 井田智, 熊谷厚志
乳がん関連上肢リンパ浮腫患者における体脂肪量と浮腫の関連.
学会誌 JSPEN, 2024. 6 (3) : 133-138
7. 斎野容子, 古田桃子
疾患・病態別のポイントがわかる! 栄養指導
オールガイド: 大腸癌の栄養指導.
臨床栄養, 2024. 144 (6) : 871-875

【細胞診断部】

1. Omi, M., Tanaka, Y. O., Kurihara, N., Sugiyama, Y., Tonooka, A., Kanno, M., Fusegi, A., Aoki, Y., Netsu, S., Abe, A., Tanigawa, T., Okamoto, S., Nomura, H., Kanao, H.
Preoperative diagnosis of cervical cystic lesions using magnetic resonance imaging: a retrospective study.
BMC women' s health, 2024. 24 (1) : 460
2. 伊藤崇彦, 千葉知宏
細胞診のトピックス: EUS-FNA における ROSE の役割と脾神経内分泌腫瘍の細胞診断.
日本内分泌外科学会雑誌, 2024. 41 (3) : 171-175
3. 伊藤藍, 伏木淳, 植木有紗, 千葉知宏, 外岡暁子
MLH1/PMS2 の subclonal loss を示した MLH1 病的バリエントを有する Lynch 症候群の一例.
日本婦人科病理学会誌, 2024. 15 (1) : 35-42
4. 千葉知宏
甲状腺癌取り扱い規約第 9 版の病理・細胞診断の改定のポイント: その他の腫瘍・遺伝子異常.
日本内分泌外科学会雑誌, 2024. 41 (1) : 31-35
5. 小嶋結, 外岡暁子, 伊藤藍, 千葉知宏, 幅野愛理, 田中優美子, 植木有紗, 野村秀高
卵巣類内膜癌の診断の後に遺伝性乳癌卵巣癌 (HBOC) と判明した 1 例.
日本婦人科病理学会誌, 2024. 15 (1) : 15-22
6. 山田麻里沙, 阿部仁, 千葉知宏
鑑別の森 (第 37 回): 子宮頸部細胞診での ASC US と LSIL の鑑別: Answer (1)
病理と臨床, 2024. 42 (10) : 1029-1033
7. 池畑浩一
V. 術中迅速細胞診.
術中迅速病理診断スタンダード: 検体の取扱いから診断の実際まで (九嶋亮治 / 笹島ゆう子 / 横尾英明編集), 東京, 文光堂: pp.81-92, 2024
8. 池畑浩一, 千葉知宏
細胞診のトピックス: 乳腺細胞診のトピックス: 細胞診の運用と神経内分泌分化を示す乳腺腫瘍.
日本内分泌外科学会雑誌, 2024. 41 (3) : 166-170
9. 河本貴之, 野村秀高, 佛原悠介, 美坂聡樹, 吉満輝行, 伏木淳, 阿部彰子, 温泉川真由, 金尾祐之, 伊藤崇彦, 千葉知宏, 外岡暁子
子宮頸癌治療後, 腔断端再発に対する腔内照射後に腔内に再発した上皮内病変に対してイミキモドクリームが有効であった 1 例.
東京産科婦人科学会会誌, 2024. 73 (4) : 786-790
10. 鎌田麻由美, 野村秀高, 吉満輝行, 美坂聡樹, 伏木淳, 阿部彰子, 金尾祐之, 千葉知宏, 伊藤崇彦, 外岡暁子
子宮内黄体ホルモン放出システム挿入中に子宮体癌を発症した 2 例.
東京産科婦人科学会会誌, 2024. 73 (3) : 522-526

【検診センター】

1. 勝野幸子, 小笠原麻衣子, 宇津木久仁子
保険診療施設における婦人科がん続発性下肢リンパ浮腫のケア.
日本リンパ浮腫学会雑誌, 2024. 5 (1) : 18-21

2. 宇津木久仁子
婦人科がん治療における下肢リンパ浮腫：センチネルリンパ節生検の保険適用はなぜ必要なのか：婦人科がん治療後の下肢リンパ浮腫への理学療法．
産婦人科の実際，2024. 73（9）：923-929
3. 小笠原麻衣子，勝野幸子，宇津木久仁子
ドセタキセル治療歴のある腋窩リンパ節郭清乳がん患者のリンパ浮腫．
日本リンパ浮腫学会雑誌，2024. 5（1）：14-17
4. 平澤俊明，東佑香，中野薫，山本浩之，福山知香，並河健，渡海義隆，吉水祥一，堀内裕介，石山晃世志，由雄敏之，藤崎順子，河内洋，後藤田卓志
自己免疫性胃炎：病期分類と画像所見：自己免疫性胃炎を背景とした胃癌の臨床病理学的特徴．
胃と腸，2024. 59（1）：63-75
5. 木戸恒陽，由雄敏之，石山晃世志，平澤俊明，金森淳，今村裕，藤崎順子
症例から学ぶ咽頭・食道 ESD：表在型 Barrett 食道腺癌の ESD：Barrett 食道腺癌 ESD 病理結果が pT1b-SM $\geq 500 \mu\text{m}$ ，脈管侵襲陽性だった．
消化器内視鏡，2024. 36（8）：1216-1221

【先進がん治療開発センター】

1. Baba, H., Oba, A., Tanaka, K., Miura, T., Ban, D., Edanami, M., Ishikawa, Y., Ohgi, K., Tanaka, H., Shintakuya, R., Ikenaga, N., Ijichi, T., Kiya, Y., Muranushi, R., Yamaki, S., Miyazaki, N., Takeuchi, S., Aoki, S., Mizui, T., Tanaka, M., Ueda, H., Dei, H., Takami, H., Okada, K., Nakata, K., Mataka, Y., Osakabe, H., Shibuya, K., Hashimoto, D., Inoue, Y., Hirano, S., Unno, M., Esaki, M., Kitago, M., Akahoshi, K., Sugiura, T., Ebata, T., Uemura, K., Nakamura, M., Otsuka, T., Nagakawa, Y., Fujii, T., Satoi, S., Takahashi, Y.
The efficacy of wrapping with polyglycolic acid mesh and fibrin glue in preventing clinically relevant pancreatic fistula after

minimally invasive distal pancreatectomy (WRAP Study) : study protocol for a multi-center randomized controlled trial in Japan. BMC Surg., 2024. 24（1）：314

2. Harada, H., Eto, K., Ohashi, M., Kurihara, N., Ri, M., Makuuchi, R., Ida, S., Hayami, M., Kumagai, K., Sano, T., Nunobe, S.
Equal short-term outcomes of intracorporeal mechanical gastrogastrostomy in laparoscopic pylorus-preserving gastrectomy for cT1N0 gastric cancer in the middle stomach compared with the extracorporeal hand-sewing method.
Surg. Endosc., 2024. 38（6）：3115-3125
3. Hayami, M., Ohashi, M., Kurihara, N., Nunobe, S.
Adequate gross resection margin length ensuring pathologically complete resection in gastrectomy for gastric cancer: A systematic review and meta-analysis.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2024. 8（2）：202-213
4. Izumi, D., Nunobe, S., Ishizuka, N., Yagi, T., Hayami, M., Makuuchi, R., Ohashi, M., Watanabe, M., Sano, T.
Identification of the factor affecting learning curves of laparoscopic gastrectomy through the experience at a Japanese high-volume center over the last decade.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2024. 8（4）：604-610
5. Kumagai, K., Yoshida, M., Ishida, H., Ishizuka, N., Ohashi, M., Makuuchi, R., Hayami, M., Ida, S., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Fujisaki, J., Nunobe, S.
Diagnostic performance of near-infrared fluorescent marking clips in laparoscopic gastrectomy.
J. Surg. Res., 2024. 300: 157-164

6. Omi, M., Tanaka, Y. O., Kurihara, N., Sugiyama, Y., Tonooka, A., Kanno, M., Fusegi, A., Aoki, Y., Netsu, S., Abe, A., Tanigawa, T., Okamoto, S., Nomura, H., Kanao, H.
Preoperative diagnosis of cervical cystic lesions using magnetic resonance imaging: a retrospective study.
BMC women's health, 2024. 24 (1) : 460
7. Wakatsuki, T., Ishizuka, N., Hironaka, S., Minashi, K., Kadowaki, S., Goto, M., Shoji, H., Hirano, H., Nakayama, I., Osumi, H., Ogura, M., Chin, K., Yamaguchi, K., Takahari, D.
Exploratory analysis of serum HER2 extracellular domain for HER2 positive gastric cancer treated with SOX plus trastuzumab.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (6) : 801-812
8. Yunokawa, M., Kurihara, N., Ishizuka, N., Kanao, H., Kajiyama, H., Shimada, M., Okamoto, A., Aoki, D., Sugiyama, T., Enomoto, T.
Investigating the timing and site of recurrence for ovarian clear cell carcinoma: analysis of the JGOG/GCIG trial-JGOG 3017-A3.
Gynecol. Oncol., 2024. 190: 113-118
9. 石崎秀信, 小出恵子, 澤田幸子, 浅井洋, 佐野武
外科臨床研究・臨床試験: どう計画し, どう取り組むか: 総論: 臨床研究法施行規則を理解する.
外科, 2024. 86 (11) : 1167-1173
- clitaxel-resistant cutaneous angiosarcoma: Phase II study protocol.
Exp. Dermatol., 2024. 33 (1) : e14976
2. Fujimura, T., Yoshino, K., Kato, H., Fukushima, S., Ishizuki, S., Otsuka, A., Matsushita, S., Amagai, R., Muto, Y., Yamazaki, E., Kambayashi, Y., Yahata, T., Miyata, T., Fujisawa, Y., Asano, Y.
A phase II multicentre study of plasminogen activator inhibitor-1 inhibitor (TM5614) plus nivolumab for treating anti-programmed cell death 1 antibody-refractory malignant melanoma: TM5614-MM trial.
Br. J. Dermatol., 2024. 191 (5) : 691-697
3. Hatta, N., Ogata, D., Asai, J., Maekawa, T., Ito, T., Takenouchi, T., Kiniwa, Y., Miyashita, A., Miyagawa, T., Muto, I., Yamamoto, Y., Nagano, T., Kiyohara, Y., Nakano, E., Ohe, S., Yamaguchi, B., Fukuyama, M., Matsuya, T., Tsutsumida, A., Namikawa, K., Yamazaki, N.
Recent treatment and prognosis in 643 patients with extramammary Paget's disease.
Exp. Dermatol., 2024. 33 (2) : e15030
4. Hoashi, T., Ishikawa, M., Uehara, J., Oashi, K., Maeda, S., Kato, J., Saruta, H., Shichinohe, R., Ohashi, R., Nakamura, Y., Koga, H., Sugaya, M.
Japanese Dermatological Association guidelines: Outlines of Japanese clinical guidelines for basal cell carcinoma 2021.
J. Dermatol., 2024. 51 (4) : e90-e105
5. Muto, Y., Kambayashi, Y., Kato, H., Fukushima, S., Ito, T., Maekawa, T., Fujisawa, Y., Yoshino, K., Uchi, H., Matsushita, S., Yamamoto, Y., Amagai, R., Ohuchi, K., Hashimoto, A., Asano, Y., Fujimura, T.
Adverse events associated with postoperative outcomes of adjuvant anti-PD-1 antibody therapy in both acral and non-acral cutaneous melanomas: a multicenter, observational, post hoc analysis study.

【皮膚腫瘍科】

1. Fujimura, T., Yoshino, K., Nakamura, M., Kato, H., Ito, T., Maekawa, T., Fujisawa, Y., Matsushita, S., Amagai, R., Yamazaki, E., Takahashi, M., Tamabuchi, E., Hashimoto, A., Kambayashi, Y., Yamazaki, N., Miyata, T., Asano, Y.
Efficacy and safety of TM5614 in combination with paclitaxel in the treatment of pa-

J. Dermatol., 2024. 51 (3) : 458-462

6. Muto, Y., Kambayashi, Y., Kato, H., Mizuhashi, S., Ito, T., Maekawa, T., Ishizuki, S., Uchi, H., Matsushita, S., Yamamoto, Y., Yoshino, K., Fujisawa, Y., Amagai, R., Ohuchi, K., Hashimoto, A., Fukushima, S., Asano, Y., Fujimura, T.
Three-year analysis of adjuvant therapy in postoperative melanoma including acral and mucosal subtypes.
Cancers (Basel) , 2024. 16 (15) : 2755
7. Toyoshima, R., Uehara, J., Matsuzaki, Y., Yoshimura, A., Kitano, S., Yoshino, K.
Troponin-guided utilization of methylprednisolone pulse, intravenous immunoglobulin, and mycophenolate mofetil for successful control of immune checkpoint inhibitor-related myocarditis.
J. Dermatol., 2024. 51 (6) : e207-e208
8. 上原治朗
ここまで治る・ここまでわかった非黒色腫皮膚癌 (NMSC):基底細胞癌の最新情報と治療方法 .
皮膚科 , 2024. 5 (6) : 539-544
9. 上原治朗, 吉村有彩, 吉野公二
悪性黒色腫に対する術後二ボルマブ中に発生したケラトアカントーマ .
皮膚病診療 , 2024. 46 (2) : 152-155
10. 吉野公二
かゆいところに手が届く！入院中の皮膚トラブル完全攻略：治療中はハイリスク！がん患者で注意する皮膚症状：分子標的薬による皮膚障害 .
薬事 , 2024. 66 (13) : 2483-2486
11. 吉野公二
プライベート部分を診る！：(第II章) プライベート部分診療の実際：治療の実際：外陰部手術の実際 .
皮膚科の臨床 , 2024. 66 (7) : 989-994
12. 豊島梨乃, 上原治朗, 松崎友里江, 吉村有彩, 吉野公二

嚢腫様病変を呈した基底細胞癌の1例 .

日本皮膚科学会雑誌 , 2024. 134 (10) : 2559-2564

【先端医療開発科】

1. Abe, T., Kataoka, A., Uehiro, N., Yoshida, N., Nishimura, M., Ozaki, Y., Kogawa, T., Takano, T., Ohno, S., Ueno, T.
Desire for pregnancy and fertility preservation in young patients with breast cancer.
Breast Cancer, 2024. 31 (6) : 1137-1143
2. Bardia, A., Krop, I. E., Kogawa, T., Juric, D., Tolcher, A. W., Hamilton, E. P., Mukohara, T., Lisberg, A., Shimizu, T., Spira, A. I., Tsurutani, J., Damodaran, S., Papadopoulos, K. P., Greenberg, J., Kobayashi, F., Zebger-Gong, H., Wong, R., Kawasaki, Y., Nakamura, T., Meric-Bernstam, F.
Datopotamab deruxtecan in advanced or metastatic HR+/HER2- and triple-negative breast cancer: results from the phase I TROPION-PanTumor01 study.
J. Clin. Oncol., 2024. 42 (19) : 2281-2294
3. Hattori, M., Honma, N., Nagai, S., Narui, K., Shigechi, T., Ozaki, Y., Yoshida, M., Sakatani, T., Sasaki, E., Tanabe, Y., Tsurutani, J., Takano, T., Saji, S., Masuda, S., Horii, R., Tsuda, H., Yamaguchi, R., Toyama, T., Yamauchi, C., Toi, M., Yamamoto, Y.
Trastuzumab deruxtecan for human epidermal growth factor receptor 2-low advanced or metastatic breast cancer: Recommendations from the Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guidelines.
Breast Cancer, 2024. 31 (3) : 335-339
4. Hayashi, N., Mori, S., Ohmoto, A., Fukada, I., Yamazaki, M., Hosonaga, M., Wang, X., Ueki, A., Kiyotani, K., Tonooka, A., Takeuchi, K., Takahashi, S.
Availability of genome-matched therapy based on clinical practice.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (7) : 964-971

5. Heist, R. S., Sands, J., Bardia, A., Shimizu, T., Lisberg, A., Krop, I., Yamamoto, N., Kogawa, T., Al-Hashimi, S., Fung, S. S. M., Galor, A., Pisetzky, F., Basak, P., Lau, C., Meric-Bernstam, F.
Clinical management, monitoring, and prophylaxis of adverse events of special interest associated with datopotamab deruxtec-an.
Cancer Treat. Rev., 2024. 125: 102720
6. Ikezawa, Y., Morita, R., Mizugaki, H., Tateishi, K., Yokoo, K., Sumi, T., Kikuchi, H., Kitamura, Y., Nakamura, A., Kobayashi, M., Aso, M., Kimura, N., Yoshiike, F., Megumi, F., Tanaka, H., Sekikawa, M., Hachiya, T., Nakamura, K., Hommura, F., Sukoh, N., Ito, K., Kikuchi, T., Agatsuma, T., Yokouchi, H.
Real-world first-line treatment with pembrolizumab for non-small cell lung carcinoma with high PD-L1 expression: Updated analysis.
Cancer Med., 2024. 13 (14) : e70036
7. Nagatani, Y., Kiyota, N., Imamura, Y., Koyama, T., Funakoshi, Y., Komatsu, M., Itoh, T., Teshima, M., Nibu, K. I., Sakai, K., Nishio, K., Shimomura, M., Nakatsura, T., Ikarashi, D., Nakayama, T., Kitano, S., Minami, H.
Different characteristics of the tumor immune microenvironment among subtypes of salivary gland cancer.
Asia Pac. J. Clin. Oncol., 2024. 20 (6) : 779-788
8. Park, K. H., Loibl, S., Sohn, J., Park, Y. H., Jiang, Z., Tadjoeidin, H., Nag, S., Saji, S., Md Yusof, M., Villegas, E. M. B., Lim, E. H., Lu, Y. S., Ithimakin, S., Tseng, L. M., Dejthevaporn, T., Chen, T. W., Lee, S. C., Galvez, C., Malwinder, S., Kogawa, T., Bajpai, J., Brahma, B., Wang, S., Curigliano, G., Yoshino, T., Kim, S. B., Pentheroudakis, G., Im, S. A., Andre, F., Ahn, J. B., Harbeck, N.
Pan-Asian adapted ESMO Clinical Practice Guidelines for the diagnosis, treatment and follow-up of patients with early breast cancer.
ESMO Open, 2024. 9 (5) : 102974
9. Patel, M. R., Johnson, M., Winer, I., Arkenau, H. T., Cook, N., Samouëlian, V., Aljumaily, R., Kitano, S., Duffy, C., Ge, M., Elgadi, M., Siu, L. L.
Ezabenlimab (BI 754091) , an anti-PD-1 antibody, in patients with advanced solid tumours.
Cancer Immunol. Immunother., 2024. 73 (5) : 89
10. Xu, S., Shukuya, T., Shimamura, S., Hayashi, T., Sato, Y., Shiozaki, H., Nishioki, T., Nishino, K., Kato, M., Hattori, A., Shimada, N., Suzuki, K., Kitano, S., Takahashi, K.
Hyperprogressive disease under anti-PD-1 rechallenge after initial response to anti-PD-1 treatment for non-small cell lung cancer: a case report.
Transl. Lung Cancer Res., 2024. 13 (3) : 666-672
11. Yamamoto, N., Kitano, S., Koyama, T., Ikeda, M., Mizugaki, H., Narikiyo, T., Yamaguchi, Y., Ishida, T., Takubo, R., Ogami, C., Sekiya, M., Nakagawa, Y., Kuboki, Y.
Phase I study of the safety and clinical activity of the interleukin-8 inhibitor AMY109 combined with atezolizumab in patients with advanced solid cancers.
J. Immunother. Cancer, 2024. 12 (7) : e009262
12. 北野滋久
免疫療法と分子標的治療の併用：免疫療法と分子標的薬の併用の理論（State of the art）.
がん分子標的・免疫治療, 2024. 21 (1) : 4-9
13. 北野滋久
抗体医薬の現状と展望：固形がんに対するチェックポイント阻害剤の現状と展望.
BIO Clinica, 2024. 39 (8) : 634-639

14. 北野滋久
新規がん免疫療法としての T-cell engager の
進歩と可能性：次世代 T-cell engager の可能
性および開発の方向性 .
医学のあゆみ , 2024. 290 (6-7) : 516-521
15. 尾崎由記範
乳癌のすべて 2024 : 最新の治療 : 早期乳癌に
対する薬物療法 : 最新トピックスまとめ .
医学のあゆみ , 2024. 290 (5) : 422-426
16. 尾崎由記範
乳癌簡単解説 .
乳癌の臨床 , 2024. 39 (3) : 252-253

【先端医療開発科がん早期臨床開発部】

1. Abe, T., Kataoka, A., Uehiro, N., Yoshida, N., Nishimura, M., Ozaki, Y., Kogawa, T., Takano, T., Ohno, S., Ueno, T.
Desire for pregnancy and fertility preservation in young patients with breast cancer.
Breast Cancer, 2024. 31 (6) : 1137-1143
2. Bardia, A., Krop, I. E., Kogawa, T., Juric, D., Tolcher, A. W., Hamilton, E. P., Mukohara, T., Lisberg, A., Shimizu, T., Spira, A. I., Tsurutani, J., Damodaran, S., Papadopoulos, K. P., Greenberg, J., Kobayashi, F., Zebger-Gong, H., Wong, R., Kawasaki, Y., Nakamura, T., Meric-Bernstam, F.
Datopotamab deruxtecan in advanced or metastatic HR+/HER2- and triple-negative breast cancer: results from the phase I TROPION-PanTumor01 study.
J. Clin. Oncol., 2024. 42 (19) : 2281-2294
3. Heist, R. S., Sands, J., Bardia, A., Shimizu, T., Lisberg, A., Krop, I., Yamamoto, N., Kogawa, T., Al-Hashimi, S., Fung, S. S. M., Galor, A., Pisetzky, F., Basak, P., Lau, C., Meric-Bernstam, F.
Clinical management, monitoring, and prophylaxis of adverse events of special interest associated with datopotamab deruxtecan.
Cancer Treat. Rev., 2024. 125: 102720
4. Naito, Y., Nakamura, S., Kawaguchi-Sakita, N., Ishida, T., Nakayama, T., Yamamoto, Y., Masuda, N., Matsumoto, K., Kogawa, T., Sudo, K., Shimomura, A., Lai, C., Zhang, D., Iwahori, Y., Gary, D., Huynh, D., Iwata, H.
Preliminary results from ASCENT-J02: a phase 1/2 study of sacituzumab govitecan in Japanese patients with advanced solid tumors.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (11) : 1684-1695
5. Shien, T., Tsuda, H., Sasaki, K., Mizusawa, J., Akiyama, F., Kurosumi, M., Sawaki, M., Tamura, N., Tanaka, K., Kogawa, T., Takahashi, M., Hayashi, N., Mukai, H., Masuda, N., Hara, F., Iwata, H.
Comparison of proportions and prognostic impact of pathological complete response between evaluations of representative specimen and total specimen in primary breast cancer after neoadjuvant chemoradiotherapy: an ancillary study of JCOG0306.
Breast Cancer Res. Treat., 2024. 208 (1) : 145-154

【先端医療開発科がん免疫治療開発部】

1. Hanamura, T., Yokoyama, K., Kitano, S., Kagamu, H., Yamashita, M., Terao, M., Okamura, T., Kumaki, N., Hozumi, K., Iwamoto, T., Honda, C., Kurozumi, S., Richer, J. K., Niikura, N.
Investigating the immunological function of alpha-2-glycoprotein 1, zinc-binding in regulating tumor response in the breast cancer microenvironment.
Cancer Immunol. Immunother., 2024. 73 (3) : 42
2. Ikarashi, D., Kitano, S., Tsuyukubo, T., Yamashita, M., Matsuura, T., Maekawa, S., Kato, R., Kato, Y., Kanehira, M., Takata, R., Sugai, T., Obara, W.
Pathological complete response to neoadjuvant chemotherapy may improve antitumor

immune response via reduction of regulatory T cells in muscle-invasive bladder cancer.

Sci. Rep., 2024. 14 (1) : 1442

3. Kanzawa, M., Shichi, H., Kanie, K., Yamamoto, M., Yamamoto, N., Tsujimoto, Y., Bando, H., Iguchi, G., Kitano, S., Inoshita, N., Yamada, S., Ogawa, W., Itoh, T., Fukuoka, H.
Effects of the cortisol milieu on tumor-infiltrating immune cells in corticotroph tumors.
Endocrinology, 2024. 165 (4) : bqae016
4. Kikuchi, Y., Shimada, H., Hatanaka, Y., Kinoshita, I., Ikarashi, D., Nakatsura, T., Kitano, S., Naito, Y., Tanaka, T., Yamashita, K., Oshima, Y., Nanami, T.
Clinical practice guidelines for molecular tumor markers, 2nd edition review part 1.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (1) : 1-19
5. Okamura, K., Wang, L., Nagayama, S., Yamashita, M., Tate, T., Matsumoto, S., Takamatsu, M., Kitano, S., Kiyotani, K., Nakamura, Y.
Characterization of double-negative T cells in colorectal cancers and their corresponding lymph nodes.
Oncoimmunology, 2024. 13 (1) : 2373530
6. Toyoshima, R., Uehara, J., Matsuzaki, Y., Yoshimura, A., Kitano, S., Yoshino, K.
Troponin-guided utilization of methylprednisolone pulse, intravenous immunoglobulin, and mycophenolate mofetil for successful control of immune checkpoint inhibitor-related myocarditis.
J. Dermatol., 2024. 51 (6) : e207-e208
7. Tsuji, K., Mizugaki, H., Yokoo, K., Kobayashi, M., Kawashima, Y., Kimura, N., Yokouchi, H., Kikuchi, H., Sumi, T., Kawai, Y., Kobashi, K., Morita, R., Ito, K., Kitamura, Y., Minemura, H., Nakamura, K., Aso, M.,

Honjo, O., Tanaka, H., Takashina, T., Tsurumi, K., Sugisaka, J., Tsukita, Y., Konno, S., Oizumi, S.

Durvalumab after chemoradiotherapy in non-small cell lung cancer with EGFR mutation: a real-world study (HOT2101) .
Cancer Sci., 2024. 115 (7) : 1273-1282

8. 北野滋久, 宮本一平, 黒川加奈, 宮脇英里子, 水柿秀紀
免疫チェックポイント阻害薬治療の展開: 肺癌以外の領域.
肺癌, 2024. 64 (3) : 158-167
9. 北野滋久
臨床腎・泌尿器癌 (上): 基礎・臨床研究の進歩: 腎癌の治療: 薬物療法: 腎癌治療薬の作用機序: 免疫チェックポイント阻害薬.
日本臨床, 2024. 82 (増刊 8 臨床腎・泌尿器癌 (上)): 322-327

【ゲノム診療部】

1. Hayashi, N., Ono, M., Fukada, I., Yamazaki, M., Sato, N., Hosonaga, M., Wang, X., Kaneko, K., Arakawa, H., Habano, E., Kuga, A., Kataoka, A., Ueki, A., Kiyotani, K., Tonooka, A., Takeuchi, K., Kogawa, T., Kitano, S., Takano, T., Watanabe, M., Mori, S., Takahashi, S.
Addressing the knowledge gap in the genomic landscape and tailored therapeutic approaches to adolescent and young adult cancers.
ESMO Open, 2024. 9 (8) : 103659
2. Hayashi, N., Mori, S., Ohmoto, A., Fukada, I., Yamazaki, M., Hosonaga, M., Wang, X., Ueki, A., Kiyotani, K., Tonooka, A., Takeuchi, K., Takahashi, S.
Availability of genome-matched therapy based on clinical practice.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (7) : 964-971

3. Hosonaga, M., Habano, E., Arakawa, H., Kaneko, K., Nakajima, T., Hayashi, N., Fukada, I., Nakamura, A., Haruyama, Y., Maeda, T., Inari, H., Kobayashi, T., Nakashima, E., Ueno, T., Takano, T., Takahashi, S., Ohno, S., Ueki, A.
Case series of Li-Fraumeni syndrome: carcinogenic mechanisms in breast cancer with TP53 pathogenic variant carriers.
Breast Cancer, 2024. 31 (5) : 988-996
4. Nakano, K., Hayashi, N., Wang, X., Ohmoto, A., Urasaki, T., Fukuda, N., Sato, Y., Ono, M., Tomomatsu, J., Yunokawa, M., Funachi, Y., Hayakawa, K., Tanizawa, T., Ae, K., Matsumoto, S., Takahashi, S.
Gemcitabine-based chemotherapy for advanced soft tissue sarcoma: identifying the appropriate dose and schedule.
Cureus, 2024. 16 (12) : e76149
5. Ohmoto, A., Hayashi, N., Takahashi, S., Ueki, A.
Current prospects of hereditary adrenal tumors: towards better clinical management.
Hered. Cancer Clin. Pract., 2024. 22 (1) : 4
6. Oridate, N., Takahashi, S., Tanaka, K., Shimizu, Y., Fujimoto, Y., Matsumoto, K., Yokota, T., Yamazaki, T., Takahashi, M., Ueda, T., Hanai, N., Yamaguchi, H., Hara, H., Yoshizaki, T., Yasumatsu, R., Nakayama, M., Shiga, K., Fujii, T., Mitsugi, K., Takahashi, K., Nohata, N., Gumuscu, B., Lerman, N., Tahara, M.
First-line pembrolizumab with or without chemotherapy for recurrent or metastatic head and neck squamous cell carcinoma: 5-year follow-up of the Japanese population of KEYNOTE-048.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (12) : 1825-1839
7. Takahashi, S., Bando, H., Kinoshita, I., Modi, S., Tsurutani, J., Bang, Y. J., Sato, Y., Nakatani, S., Lee, C., Sugihara, M., Okuda, Y., Iwata, H.
Trastuzumab deruxtecan in patients with human epidermal growth factor receptor 2-expressing salivary gland carcinoma: a pooled analysis of two phase I studies.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2024. 54 (4) : 434-443
8. 深田一平
CGPにおけるリキッドバイオプシー検査の現状 .
腫瘍内科 , 2024. 33 (2) : 199-205
9. 深田一平 , 上野貴之
わが国におけるがんゲノム医療の現在と未来 : パネル検査から全ゲノム解析研究を含めて .
日本外科学会雑誌 , 2024. 125 (3) : 252-257
10. 深田一平
特集新しいがんの分子解析技術の臨床応用 : がん全ゲノム解析の今とこれから .
癌と化学療法 , 2024. 51 (1) : 7-13

【医療情報部】

1. Hashimoto, K., Murakami, Y., Omura, K., Takahashi, H., Suzuki, R., Yoshioka, Y., Oguchi, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Ninomiya, H., Nishio, M., Mun, M.
Prediction of tumor PD-L1 expression in resectable non-small cell lung cancer by machine learning models based on clinical and radiological features: Performance comparison with preoperative biopsy.
Clin. Lung Cancer, 2024. 25 (1) : e26
2. Kusumoto, S., Munakata, W., Machida, R., Terauchi, T., Onaya, H., Oguchi, M., Iida, S., Nosaka, K., Suzuki, Y., Harada, Y., Miyazaki, K., Maruta, M., Fukuhara, N., Toubai, T., Kubota, N., Ohmachi, K., Saito, T., Rai, S., Mizuno, I., Fukuhara, S., Takeuchi, M., Tateishi, U., Maruyama, D., Tsukasaki, K., Nagai, H.
Interim PET-guided ABVD or ABVD/escalated BEACOPP for newly diagnosed ad-

vanced-stage classic Hodgkin lymphoma (JCOG1305) .

Cancer Sci., 2024. 115 (10) : 3384-3393

3. Murakami, Y., Kawahara, D., Soyano, T., Kozuka, T., Takahashi, Y., Miyake, K., Kashi-hara, K., Kashi-hara, T., Kamima, T., Oguchi, M., Murakami, Y., Yoshioka, Y., Nagata, Y. Dosiomics for intensity-modulated radiotherapy in patients with prostate cancer: Survival analysis stratified by baseline prostate-specific antigen and Gleason grade group in a 2-institutional retrospective study. Br. J. Radiol., 2024. 97 (1153) : 142-149

4. Nakai, E., Miyagi, Y., Suzuki, K., Pappagallo, A. S., Kayama, H., Matsuba, T., Yang, L., Xu, S., Kelly, C., Najafi, R., Kohlberger, T., Golden, D., Uddin, A., Nakamura, Y., Koku-bu, Y., Takahashi, Y., Ueno, T., Oguchi, M., Ohno, S., Ledsam, J. R. Artificial intelligence as a second reader for screening mammography. Radiol. Adv., 2024. 1 (2) : umae011

5. 井上有香, 鈴木一洋, 松下大介, 小林洋子, 高山文博, 西口周, 中村友昭, 佐々木成聖, 阿部朋未, 吉田和世, 前田哲代, 高橋洋子, 荻谷朗子, 宮城由美, 清水研, 高野利実, 上野貴之, 大野真司, 小口正彦
AI ホスピタル事業におけるインフォームドコンセント高度化ソリューション開発研究 . 乳癌の臨床, 2024. 39 (3) : 255-266

【脳腫瘍外科】

1. Oort, Q., Reijneveld, J. C., Sikkes, S. A. M., Koekkoek, J. A. F., Boele, F., Young, T., Brannan, C., Chalk, T., Talacchi, A., Mazzotta, A., Narita, Y., Sato, H., Miyakita, Y., Shamieh, O., Alrjoob, W., Pace, A., Petranovic, D., Ploh, M., Capela, A., Silva, J., Hjermsstad, M. J., Purkart, T. U., Seidel, C., Talhi, N., Pichler, J., Holmluller, I., Brown, L., Hand, M., Klein, M., Aaronson, N. K., Uitdehaag, B. M. J., Taphoorn, M. J. B., Dirven, L.

Instrumental activities of daily living in neuro-oncology: International validation of the EORTC IADL-BN32 questionnaire.

Eur. J. Cancer, 2024. 212: 114335

2. 宮北康二
Precision oncology : がんゲノム医療の最前線における成果と問題点 : 臓器別ゲノム医療の成果と課題 : 脳腫瘍のゲノム診療 . 腫瘍内科, 2024. 34 (3) : 263-267

【直腸がん集学的治療センター】

1. Ando, Y., Sakurai, T., Ozaki, K., Matsui, S., Mukai, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Nakayama, I., Shigematsu, Y., Oba, A., Chino, A., Fukunaga, Y. Integrating surgical intervention and watch-and-wait approach in dMMR metastatic rectal cancer with pembrolizumab: a case report. Surg. Case Rep., 2024. 10 (1) : 198
2. Emoto, S., Fukunaga, Y., Takamatsu, M., Kawachi, H., Sano, S., Tominaga, T., Mukai, T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Nagayama, S., Ueno, M. Prognostic factors of para-aortic lymph node metastasis from colorectal cancer in highly selected patients undergoing para-aortic lymph node dissection. Surg. Today, 2024. 54 (4) : 356
3. Fujiyoshi, K., Sudo, T., Fujita, F., Tanihara, S., Ishida, H., Shichijo, S., Chino, A., Nagasaki, T., Takao, A., Sasaki, K., Akagi, K., Matsubara, T., Ueno, H., Hirata, K., Miyakura, Y., Ishikawa, T., Sunami, E., Takahashi, Y., Yamaguchi, T., Tanakaya, K., Tomita, N., Ajioka, Y. Marital status after colorectal surgery in familial adenomatous polyposis: a nationwide multicenter study in Japan. Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (9) : 1274-1283

4. Goto, K., Watanabe, J., Nagasaki, T., Uemura, M., Ozawa, H., Kurose, Y., Akagi, T., Ichikawa, N., Iijima, H., Inomata, M., Takeuchi, A., Naitoh, T.
Impact of the endoscopic surgical skill qualification system on conversion to laparotomy after low anterior resection for rectal cancer in Japan (a secondary analysis of the EnSSURE study) .
Surg. Endosc., 2024. 38 (5) : 2454-2464
5. Gries, J. J., Virk, H. U. H., Chen, B., Sakamoto, T., Alam, M., Krittanawong, C.
Advancements in revascularization strategies for acute mesenteric ischemia: a comprehensive review.
J. Clin. Med., 2024. 13 (2) : 570
6. Gries, J. J., Sakamoto, T., Chen, B., Virk, H. U. H., Alam, M., Krittanawong, C.
Revascularization strategies for acute and chronic mesenteric ischemia: a narrative review.
J. Clin. Med., 2024. 13 (5) : 1217
7. Hamabe, A., Takemasa, I., Kotake, M., Nakano, D., Hasegawa, S., Shiomi, A., Numata, M., Sakamoto, K., Kimura, K., Hanai, T., Naitoh, T., Fukunaga, Y., Kinugasa, Y., Watanabe, J., Kawamura, J., Ozawa, M., Okabayashi, K., Matoba, S., Takano, Y., Uemura, M., Kanemitsu, Y., Sakai, Y., Watanabe, M.
Feasibility of robotic-assisted surgery in advanced rectal cancer: a multicentre prospective phase II study (VITRUVIANO trial) .
BJS Open, 2024. 8 (3) : zrae048
8. Ito, S., Tsukamoto, S., Kagawa, H., Kanemitsu, Y., Hiro, J., Kawai, K., Nozawa, H., Takii, Y., Yamaguchi, T., Akagi, Y., Suto, T., Hirano, Y., Ozawa, H., Komori, K., Ohue, M., Toiyama, Y., Shinji, S., Minami, K., Shimizu, T., Sakamoto, K., Uehara, K., Sugihara, K., Kinugasa, Y., Ajioka, Y.
Short- and long-term outcomes of surgical treatment for inguinal lymph node metastasis in rectal and anal canal adenocarcinoma.
Colorectal Dis., 2024. 26 (7) : 1378-1387
9. Kagawa, H., Kinugasa, Y., Yamaguchi, T., Ohue, M., Kawai, K., Hiro, J., Shinji, S., Nozawa, H., Hirano, Y., Komori, K., Takii, Y., Suto, T., Tsukamoto, S., Akagi, Y., Ozawa, H., Toiyama, Y., Minami, K., Shimizu, T., Uehara, K., Sakamoto, K., Mori, K., Sugihara, K., Ajioka, Y.
Impact of resection for ovarian metastases from colorectal cancer and clinicopathologic analysis: a multicenter retrospective study in Japan.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2024. 8 (2) : 273-283
10. Kono, E., Nomura, S., Sakamoto, T., Okoshi, K., Tanaka, C., Shirabe, K., Lee, S. W., Kitagawa, Y.
Gender equity in surgical instruments: ergonomics of ring-handled forceps.
Minim. Invasive Ther. Allied Technol., 2024. 33 (1) : 21-28
11. Miyakura, Y., Yamaguchi, T., Lefor, A. K., Tamaki, S., Takao, A., Takao, M., Mori, Y., Chikatani, K., Ishida, H., Kono, M., Takeuchi, Y., Ishikawa, H., Nagasaki, T., Sasaki, K., Matsubara, T., Hirata, K., Taniguchi, F., Tanakaya, K., Tomita, N., Ajioka, Y.
Clinical features and distribution of the APC variant in duodenal and ampullary polyps in patients with familial adenomatous polyposis: a multicenter retrospective cohort study in Japan.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (2) : 169-178
12. Mukai, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Hiyoshi, Y., Yamaguchi, T., Kawachi, H., Fukunaga, Y.

The impact of staple transection of the dorsal venous complex and urethra on intraoperative blood loss in cooperative laparoscopic and transperineal endoscopic pelvic exenteration.

Surg. Today, 2024. 54 (1) : 23-30

13. Mukai, T., Matsui, S., Sakurai, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y.
Short-term outcomes of the “minimal skin incision and no stoma” procedure in needlescopic intersphincteric resection and delayed coloanal anastomosis for low rectal cancer.
Tech. Coloproctol., 2024. 28 (1) : 110
14. Ota, E., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Mukai, T., Hiyoshi, Y., Yamaguchi, T., Fukunaga, Y.
Incidence and risk factors of bowel dysfunction after minimally invasive rectal cancer surgery and discrepancies between the Wexner score and the low anterior resection syndrome (LARS) score.
Surg. Today, 2024. 54 (7) : 763-770
15. Ouchi, A., Komori, K., Masahiro, T., Toriyama, K., Kajiwar, Y., Oka, S., Fukunaga, Y., Hotta, K., Ikematsu, H., Tsukamoto, S., Nagata, S., Yamada, K., Konno, M., Ishihara, S., Saitoh, Y., Matsuda, K., Togashi, K., Ishiguro, M., Kuwai, T., Okuyama, T., Ohuchi, A., Ohnuma, S., Sakamoto, K., Sugai, T., Katsumata, K., Matsushita, H. O., Nakai, K., Uraoka, T., Akimoto, N., Kobayashi, H., Ajioka, Y., Sugihara, K., Ueno, H.
How does omitting additional surgery after local excision affect the prognostic outcome of patients with high-risk T1 colorectal cancer?
Ann. Surg., 2024. 279 (2) : 290-296
16. Sakimoto, Y., Kumegawa, K., Matsui, S., Yamaguchi, T., Mukai, T., Okabayashi, K., Mori, S., Kitagawa, Y., Akiyoshi, T., Maruyama, R.
Single-cell RNA-seq analysis of cancer-endothelial cell interactions in primary tumor

and peritoneal metastasis from a single patient with colorectal cancer.

BJC Rep., 2024. 2 (1) : 88

17. Sano, S., Fukunaga, Y., Sakamoto, T., Hiyoshi, Y., Mukai, T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T.
Laparoscopic resection for locally advanced rectal cancer: propensity score-matched analysis.
Br. J. Surg., 2024. 111 (1) : znad350
18. Tamaru, Y., Kuwai, T., Kajiwar, Y., Oka, S., Saito, S., Fukunaga, Y., Kawachi, H., Takamatsu, M., Hotta, K., Ikematsu, H., Kojima, M., Saito, Y., Kanemitsu, Y., Yamada, M., Sekine, S., Tanaka, S., Nagata, S., Nakamura, T., Yamada, K., Konno, M., Ishihara, S., Saitoh, Y., Matsuda, K., Togashi, K., Komori, K., Ishiguro, M., Okuyama, T., Ohuchi, A., Ohnuma, S., Sakamoto, K., Sugai, T., Katsumata, K., Matsushita, H. O., Yamano, H. O., Nakai, K., Uraoka, T., Akimoto, N., Kobayashi, H., Ajioka, Y., Sugihara, K., Ueno, H.
Long-term outcomes of additional surgery after endoscopic resection versus primary surgery for T1 colorectal cancer.
Am. J. Gastroenterol., 2024. 119 (12) : 2418-2425
19. Udagawa, S., Osumi, H., Kozuki, R., Ooki, A., Wakatsuki, T., Kurihara, N., Mukai, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y., Yamaguchi, K., Shinozaki, E.
Clinical utility of the carcinoembryonic antigen level in patients with stage III colon cancer after surgery and adjuvant chemotherapy.
Surg. Today, 2024. 54 (7) : 692-701
20. Yatabe, Y., Hanaoka, M., Hanazawa, R., Hirakawa, A., Mukai, T., Kimura, K., Yamanoi, K., Kono, J., Yokota, M., Takahashi, H., Kobayashi, A., Kobayashi, K., Ichikawa, N., Yasui, M., Nakane, K., Yamamoto, M.,

Takenaka, A., Nakamura, Y., Takemasa, I., Yabusaki, N., Akamoto, S., Tatarano, S., Murata, K., Manabe, T., Fujimura, T., Kawamura, M., Egi, H., Yamaguchi, S., Terai, Y., Inoue, S., Ito, A., Kinugasa, Y.

Robotic versus open and laparoscopic pelvic exenterations for pelvic cancer: a multicenter propensity-matched analysis in Japan.

Surg. Endosc., 2024. 38 (8) : 4390-4401

21. 佐藤健太郎

直腸癌(Rb,cT3N1,cCRM-)に対する治療選択; 術前療法 vs. 側方郭清: 術前療法の立場から. 消化器外科, 2024. 47 (8) : 946-950

22. 坂本貴志, 山口智弘, 甲津卓実, 野口竜剛, 松井信平, 向井俊貴, 秋吉高志, 福長洋介

2024 年最新版: 外科局所解剖全図: ランドマークの出し方と損傷回避法: 下部消化管: 直腸間膜全切除 (TME) に必要な局所解剖.

臨床外科, 2024. 79 (11) : 136-141

23. 小澤直也, 山口智弘, 向井俊貴, 秋吉高志, 福長洋介

ロボット支援手術 標準治療としてのさらなる普及を目指して: 消化器外科領域のロボット支援手術: 直腸切除術: ロボット支援下直腸手術に対する標準的手術手技.

日本臨床, 2024. 82 (増刊 1 ロボット支援手術) : 197-203

24. 甲津卓実, 山口智弘, 秋吉高志

消化器外科領域におけるロボット手術の最前線: 脾彎曲部癌に対するロボット支援手術.

医学のあゆみ, 2024. 288 (6) : 481-485

【病理部】

1. Ando, Y., Sakurai, T., Ozaki, K., Matsui, S., Mukai, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Nakayama, I., Shigematsu, Y., Oba, A., Chino, A., Fukunaga, Y.

Integrating surgical intervention and watch-and-wait approach in dMMR metastatic rectal cancer with pembrolizumab: a case report.

Surg. Case Rep., 2024. 10 (1) : 198

2. Chiba, T.

Molecular pathology of thyroid tumors: essential points to comprehend regarding the latest WHO classification.

Biomedicines 2024. 12 (4) : 712

3. Djinbachian, R., Rex, D. K., Chiu, H. M., Fukami, N., Aihara, H., Bastiaansen, B. A. J., Bechara, R., Bhandari, P., Bhatt, A., Bourke, M. J., Byeon, J. S., Cardoso, D., Chino, A., Chiu, P. W. Y., Dekker, E., Draganov, P. V., Elkholy, S., Emura, F., Goldblum, J., Haji, A., Ho, S. H., Jung, Y., Kawachi, H., Khashab, M., Khomvilai, S., Kim, E. R., Maselli, R., Messmann, H., Moons, L., Mori, Y., Nakaniishi, Y., Ngamruengphong, S., Parra-Blanco, A., Pellisé, M., Pinto, R. C., Pioche, M., Pohl, H., Rastogi, A., Repici, A., Sethi, A., Singh, R., Suzuki, N., Tanaka, S., Vieth, M., Yamamoto, H., Yang, D. H., Yokoi, C., Saito, Y., von Renteln, D.

International consensus on the management of large (≥ 20 mm) colorectal laterally spreading tumors: World Endoscopy Organization Delphi study.

Dig. Endosc., 2024. 36 (11) : 1253-1268

4. Emoto, S., Fukunaga, Y., Takamatsu, M., Kawachi, H., Sano, S., Tominaga, T., Mukai, T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Nagayama, S., Ueno, M.

Prognostic factors of para-aortic lymph node metastasis from colorectal cancer in highly selected patients undergoing para-aortic lymph node dissection.

Surg. Today, 2024. 54 (4) : 356

5. Hashimoto, K., Murakami, Y., Omura, K., Takahashi, H., Suzuki, R., Yoshioka, Y., Oguchi, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Ninomiya, H., Nishio, M., Mun, M.

Prediction of tumor PD-L1 expression in resectable non-small cell lung cancer by machine learning models based on clinical and radiological features: Performance comparison with preoperative biopsy.

6. Hayashi, N., Ono, M., Fukada, I., Yamazaki, M., Sato, N., Hosonaga, M., Wang, X., Kaneko, K., Arakawa, H., Habano, E., Kuga, A., Kataoka, A., Ueki, A., Kiyotani, K., Tonooka, A., Takeuchi, K., Kogawa, T., Kitano, S., Takano, T., Watanabe, M., Mori, S., Takahashi, S.
Addressing the knowledge gap in the genomic landscape and tailored therapeutic approaches to adolescent and young adult cancers.
ESMO Open, 2024. 9 (8) : 103659
7. Hayashi, N., Mori, S., Ohmoto, A., Fukada, I., Yamazaki, M., Hosonaga, M., Wang, X., Ueki, A., Kiyotani, K., Tonooka, A., Takeuchi, K., Takahashi, S.
Availability of genome-matched therapy based on clinical practice.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (7) : 964-971
8. Hibiya, T., Nagahama, K., Matsumoto, Y., Saito, K., Sasaki, N., Kobayashi, K., Otsu, A., Shimasaki, T., Takeuchi, K., Shiokawa, Y., Nagane, M., Shibahara, J.
Epstein-Barr virus-positive monoclonal lymphoplasmacytic proliferation associated with neurosyphilis in an immunocompetent patient: a case report.
Neuropathology, 2024. 44 (2) : 104-108
9. Hirose, Y., Oba, A., Takamatsu, M., Hamada, T., Takeda, T., Suzuki, T., Maekawa, A., Kitano, Y., Sato, S., Kobayashi, K., Omiya, K., Ono, Y., Sato, T., Ito, H., Sasaki, T., Ozaka, M., Takeuchi, K., Sasahira, N., Inoue, Y., Wakai, T., Takahashi, Y.
Caveolin-1 expression is a predictor of survival and recurrence patterns in resected pancreatic ductal adenocarcinoma.
Pancreatology, 2024. 24 (7) : 1021-1030
10. Ichinose, J., Suzuki, A., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Ninomiya, H., Mun, M.
Impact of tumor location and pleural invasion on the frequency of skip hilar lymph node metastasis in lung cancer.
J. Thorac. Dis., 2024. 16 (9) : 5958-5968
11. Ikenoyama, Y., Namikawa, K., Takamatsu, M., Kumazawa, Y., Tokai, Y., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Fujisaki, J.
Long- vs short-segment Barrett' s esophagus-derived adenocarcinoma: clinical features and outcomes of endoscopic submucosal dissection.
Surg. Endosc., 2024. 38 (7) : 3636-3644
12. Ikenoyama, Y., Namikawa, K., Takamatsu, M., Kumazawa, Y., Tokai, Y., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Ogura, T., Fujisaki, J.
Risk stratification for synchronous/meta-chronous recurrence after endoscopic submucosal dissection for Barrett' s esophageal adenocarcinoma using the length of Barrett' s esophagus.
Esophagus, 2024. 21 (3) : 357-364
13. Inamura, K.
Re: Mingxiao Feng, Andres Matoso, Gabriel Epstein, et al. Identification of lineage-specific transcriptional factor-defined molecular subtypes in small cell bladder cancer. Eur Urol. In press. <https://doi.org/10.1016/j.eururo.2023.05.023>.
Eur. Urol., 2024. 85 (4) : e120
14. Ito, Y., Marouf, A., Kogure, Y., Koya, J., Liévin, R., Bruneau, J., Tabata, M., Saito, Y., Shingaki, S., Yuasa, M., Yamaguchi, K., Murakami, K., Weil, R., Vavasseur, M., Andrieu, G. P., Latiri, M., Veleanu, L., Dussiot, M., André, I., Joshi, A., Lagresle-Peyrou, C., Magerus, A., Chaubard, S., Lavergne, D., Bachy, E., Brunet, E., Fataccioli, V., Brouzes, C., Laurent, C., de Leval, L., Traverse-Glehen, A., Bossard, C., Parrens, M., Meignin, V., Philippe, L., Rossignol, J., Suarez, F., Michot, J. M., Tournilhac, O.,

- Damaj, G., Lemonnier, F., Bôle-Feysot, C., Nitschké, P., Tesson, B., Laurent, C., Molina, T., Asnafi, V., Watatani, Y., Chiba, K., Okada, A., Shiraishi, Y., Tsukita, S., Izutsu, K., Miyoshi, H., Ohshima, K., Sakata, S., Dobashi, A., Takeuchi, K., Sanada, M., Gaulard, P., Jaccard, A., Ogawa, S., Hermine, O., Kataoka, K., Couronné, L.
Comprehensive genetic profiling reveals frequent alterations of driver genes on the X chromosome in extranodal NK/T-cell lymphoma.
Cancer Res., 2024. 84 (13) : 2181-2201
15. Izumi, A., Horiuchi, Y., Takamatsu, M., Fukuyama, C., Yamamoto, H., Namikawa, K., Tokai, Y., Yoshimizu, S., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Fujisaki, J., Goto, T.
Prognostic factors for patients 85 years or older undergoing endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer.
Surg. Endosc., 2024. 38 (8) : 4306-4315
 16. Kajiwar, M., Takahashi, H., Nakaguro, M., Kawakita, D., Hirai, H., Utsumi, Y., Urano, M., Sato, Y., Tsukahara, K., Kano, S., Okami, K., Ozawa, H., Yamazaki, K., Okada, T., Shimizu, A., Hanyu, K., Sakai, A., Yamauchi, M., Sekimizu, M., Hanazawa, T., Saito, Y., Ueki, Y., Honma, Y., Arai, T., Iwaki, S., Yamamura, K., Imanishi, Y., Sato, Y., Tada, Y., Nagao, T.
The clinicopathological and prognostic significance of autonomic nerves in salivary duct carcinoma.
Virchows Arch., 2024. 485 (3) : 439-452
 17. Kato, K., Yamashita, K., Dobashi, A., Togashi, Y., Baba, S., Ae, K., Matsumoto, S., Takeuchi, K.
Novel THBS1::IGF1R fusion in myopericytic tumour.
Histopathology, 2024. 85 (1) : 197-201
 18. Kato, S., Shigematsu, Y., Saito, R., Ito, H., Inamura, K.
Schistosoma japonicum-related hepatitis: potential contributor to hepatocellular carcinoma.
QJM, 2024. 117 (10) : 737-738
 19. Kinowaki, Y., Fukumura, Y., Kawade, G., Sugita, K., Kinowaki, K., Akahoshi, K., Kobayashi, M., Ono, H., Kudo, A., Tanabe, M., Akashi, T., Ohashi, K., Kurata, M.
Gene expression profiling of pancreatic neuroendocrine carcinoma and mixed neuroendocrine-non-neuroendocrine neoplasm.
Gene, 2024. 893: 147916
 20. Kiritani, S., Ono, Y., Takamatsu, M., Yoshio, S., Miyashita, M., Oba, A., Sato, T., Ito, H., Inoue, Y., Saiura, A., Takahashi, Y.
Unique biology of pancreatic ductal adenocarcinoma accompanied by rapidly impaired diabetes: A favorable long-term survival after curative resection.
Ann. Surg. Oncol., 2024. 31 (1) : 514-524
 21. Kitahama, K., Shigematsu, Y., Amori, G., Sugawara, E., Yonese, J., Shibahara, J., Takeuchi, K., Inamura, K.
RAS family gene mutations, clinicopathological features, and spread patterns of inverted urothelial papilloma of the bladder.
Am. J. Surg. Pathol., 2024. 48 (4) : 458-464
 22. Kouzu, K., Tsujimoto, H., Imamura, Y., Kajiwar, Y., Nearchou, I. P., Einama, T., Takamatsu, M., Haraguchi, I., Watanabe, T., Horiguchi, H., Kishi, Y., Tsuda, H., Watanabe, M., Ueno, H.
Development and validation study of the prognostic impact of deep learning-determined myxoid stroma after neoadjuvant chemotherapy in patients with esophageal squamous cell carcinoma.
Ann. Surg. Oncol., 2024. 31 (9) : 6300-6308

23. Morita, Y., Yoshimizu, S., Takamatsu, M., Kawachi, H., Nakano, K., Ikenoyama, Y., Tokai, Y., Namikawa, K., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Fujisaki, J.
Prediction of the invasion depth of superficial nonampullary duodenal adenocarcinoma.
Dig. Endosc., 2024. 58 (8) : 927-938
24. Mukai, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Hiyoshi, Y., Yamaguchi, T., Kawachi, H., Fukunaga, Y.
The impact of staple transection of the dorsal venous complex and urethra on intraoperative blood loss in cooperative laparoscopic and transperineal endoscopic pelvic exenteration.
Surg. Today, 2024. 54 (1) : 23-30
25. Narita, K., Okamoto, A., Iba, S., Tabata, R., Ikeda, D., Oura, M., Uehara, A., Takeuchi, M., Takeuchi, K., Tomita, A., Matsue, K.
Analysis of the clinical features and outcomes of relapsed intravascular large B-cell lymphoma: a single center study.
Leuk. Lymphoma, 2024. 65 (13) : 2052-2055
26. Ninomiya, H., Sato, Y., Inamura, K., Dobashi, A., Takeuchi, K., Mitani, H., Mun, M., Nishio, M., Ishikawa, Y.
Neuroendocrine and squamous cell phenotypes of NUT carcinoma are potential diagnostic pitfalls that discriminating it from mimickers, such as small cell and squamous cell carcinoma.
Diagn. Pathol., 2024. 19 (1) : 27
27. Ninomiya, H.
Resurgence of morphology: Discarded small cell lung carcinoma subtypes reflect current molecular classification.
Pathol. Int., 2024. 74 (7) : 419-421
28. Noda, H., Sakata, S., Baba, S., Togashi, Y., Nakano, K., Hirasawa, T., Nakayama, I., Hata, C., Takamatsu, M., Sugawara, E., Yamamoto, N., Fujisaki, J., Nunobe, S., Iwakiri, K., Takeuchi, K., Kawachi, H.
Early gastric cancer with RhoGAP fusion is linked to frequent nodal metastasis and a part of microtubular-mucocellular histology.
Gastric Cancer, 2024. 27 (4) : 772-784
29. Norimatsu, Y., Akatsuka, T., Matsuoka, A., Hamada, T., Mori, I., Shiomi, T., Mori, N., Onishi, K., Togashi, Y., Inoue, N., Takeuchi, K., Sugaya, M.
Detection of TRAF1-ALK fusion in skin lesions of systemic ALK+ anaplastic large cell lymphoma initially involving the skin and the draining lymph node.
J. Dermatol., 2024. 51 (1) : 120-124
30. Oka, S., Tanaka, S., Kajiwarra, Y., Saito, S., Fukunaga, Y., Takamatsu, M., Kawachi, H., Hotta, K., Ikematsu, H., Kojima, M., Saito, Y., Yamada, M., Kanemitsu, Y., Sekine, S., Nagata, S., Yamada, K., Kobayashi, N., Ishihara, S., Saitoh, Y., Matsuda, K., Togashi, K., Komori, K., Ishiguro, M., Kuwai, T., Okuyama, T., Ohuchi, A., Ohnuma, S., Sakamoto, K., Sugai, T., Katsumata, K., Matsushita, H. O., Yamano, H. O., Eda, H., Uraoka, T., Akimoto, N., Kobayashi, H., Sugihara, K., Ueno, H.
Correction to: Treatment decision for locally resected T1 colorectal carcinoma-verification of the Japanese guideline criteria for additional surgery based on long-term clinical outcomes.
Am. J. Gastroenterol., 2024. 119 (11) : 2352
31. Oka, S., Tanaka, S., Kajiwarra, Y., Saito, S., Fukunaga, Y., Takamatsu, M., Kawachi, H., Hotta, K., Ikematsu, H., Kojima, M., Saito, Y., Yamada, M., Kanemitsu, Y., Sekine, S., Nagata, S., Yamada, K., Kobayashi, N., Ishihara, S., Saitoh, Y., Matsuda, K., To-

- gashi, K., Komori, K., Ishiguro, M., Kuwai, T., Okuyama, T., Ohuchi, A., Ohnuma, S., Sakamoto, K., Sugai, T., Katsumata, K., Matsushita, H. O., Yamano, H. O., Eda, H., Uraoka, T., Akimoto, N., Kobayashi, H., Sugihara, K., Ueno, H.
- Treatment decision for locally resected T1 colorectal carcinoma-verification of the Japanese guideline criteria for additional surgery based on long-term clinical outcomes. *Am. J. Gastroenterol.*, 2024. 119 (8) : 1483-1491
32. Okamura, K., Wang, L., Nagayama, S., Yamashita, M., Tate, T., Matsumoto, S., Takamatsu, M., Kitano, S., Kiyotani, K., Nakamura, Y.
Characterization of double-negative T cells in colorectal cancers and their corresponding lymph nodes.
Oncoimmunology, 2024. 13 (1) : 2373530
 33. Omi, M., Tanaka, Y. O., Kurihara, N., Sugiyama, Y., Tonooka, A., Kanno, M., Fusegi, A., Aoki, Y., Netsu, S., Abe, A., Tanigawa, T., Okamoto, S., Nomura, H., Kanao, H.
Preoperative diagnosis of cervical cystic lesions using magnetic resonance imaging: a retrospective study.
BMC women' s health, 2024. 24 (1) : 460
 34. Sato, N., Ono, S., Kamiya, K., Uesugi, N., Fujishima, F., Kawachi, H., Sugai, T.
Gut-associated lymphoid tissue carcinoma analyzed using next-generation sequencing: a case report.
Pathol. Res. Pract., 2024. 263: 155621
 35. Shien, T., Tsuda, H., Sasaki, K., Mizusawa, J., Akiyama, F., Kurosumi, M., Sawaki, M., Tamura, N., Tanaka, K., Kogawa, T., Takahashi, M., Hayashi, N., Mukai, H., Masuda, N., Hara, F., Iwata, H.
Comparison of proportions and prognostic impact of pathological complete response between evaluations of representative specimen and total specimen in primary breast cancer after neoadjuvant chemoradiotherapy: an ancillary study of JCOG0306.
Breast Cancer Res. Treat., 2024. 208 (1) : 145-154
 36. Shigematsu, Y., Saito, R., Amori, G., Kanda, H., Takahashi, Y., Takeuchi, K., Takahashi, S., Inamura, K.
Fusobacterium nucleatum, immune responses, and metastatic organ diversity in colorectal cancer liver metastasis.
Cancer Sci., 2024. 115 (10) : 3248-3255
 37. Shigematsu, Y., Saito, R., Kanda, H., Takahashi, Y., Takeuchi, K., Takahashi, S., Inamura, K.
Inverse correlation between pks-carrying *Escherichia Coli* abundance in colorectal cancer liver metastases and the number of organs involved in recurrence.
Cancers (Basel) , 2024. 16 (17) : 3003
 38. Shigematsu, Y., Tanaka, K., Amori, G., Kanda, H., Takahashi, Y., Takazawa, Y., Takeuchi, K., Inamura, K.
Potential involvement of oncostatin M in the immunosuppressive tumor immune microenvironment in hepatocellular carcinoma with vessels encapsulating tumor clusters.
Hepatol. Res., 2024. 54 (4) : 368-381
 39. Sugawara, K., Fukuda, T., Murakami, C., Oka, D., Yoshii, T., Amori, G., Ishibashi, K., Kobayashi, Y., Hara, H., Kanda, H., Motoi, N.
Impacts of tumor microenvironment during neoadjuvant chemotherapy in patients with esophageal squamous cell carcinoma.
Cancer Sci., 2024. 115 (8) : 2819-2830
 40. Tachibana, T., Nakao, M., Ninomiya, H., Sato, Y., Oikado, K., Kawahara, M., Urabe, T., Suzuki, A., Ichinose, J., Matsuura, Y., Okumura, S., Ikeda, N., Mun, M.
Minimally invasive surgery for intradialphragmatic bronchogenic cyst.
JTCVS Tech., 2024. 25: 250-253

41. Tachibana, T., Matsuura, Y., Ninomiya, H., Ichinose, J., Nakao, M., Okumura, S., Nishio, M., Ikeda, N., Mun, M.
Optimal treatment strategy for oligo-recurrence lung cancer patients with driver mutations.
Cancers (Basel), 2024. 16 (2) : 464
42. Takahashi, R., Osumi, H., Wakatsuki, T., Yamamoto, N., Taguchi, S., Nakayama, I., Ooki, A., Ogura, M., Takahari, D., Chin, K., Yamaguchi, K., Shinozaki, E.
Clinical outcomes and prognostic factors of concurrent chemoradiotherapy for anal squamous cell carcinoma in Japan.
Int. J. Clin. Oncol., 2024. 29 (8) : 1161-1172
43. Takizawa, J., Suzuki, R., Izutsu, K., Kiguchi, T., Asaoku, H., Saburi, Y., Masunari, T., Utsunomiya, A., Takeuchi, K., Nakamura, N., Ohshima, K., Gruber, M., Jäger, U., Aoki, S., Suzumiya, J.
Characteristics of chronic lymphocytic leukemia in Japan: Comprehensive analysis of the CLLRSG-01 study.
Int. J. Hematol., 2024. 119 (6) : 686-696
44. Tamaru, Y., Kuwai, T., Kajiwara, Y., Oka, S., Saito, S., Fukunaga, Y., Kawachi, H., Takamatsu, M., Hotta, K., Ikematsu, H., Kojima, M., Saito, Y., Kanemitsu, Y., Yamada, M., Sekine, S., Tanaka, S., Nagata, S., Nakamura, T., Yamada, K., Konno, M., Ishihara, S., Saitoh, Y., Matsuda, K., Togashi, K., Komori, K., Ishiguro, M., Okuyama, T., Ohuchi, A., Ohnuma, S., Sakamoto, K., Sugai, T., Katsumata, K., Matsushita, H. O., Yamano, H. O., Nakai, K., Uraoka, T., Akimoto, N., Kobayashi, H., Ajioka, Y., Sugihara, K., Ueno, H.
Long-term outcomes of additional surgery after endoscopic resection versus primary surgery for T1 colorectal cancer.
Am. J. Gastroenterol., 2024. 119 (12) : 2418-2425
45. Terao, A., Ninomiya, H., Takeuchi, K.
Prognostic value of large amino acid transporter type 1 (LAT1) expression in pulmonary adenocarcinoma: a tissue microarray study.
Cancer Treat. Res. Commun., 2024. 39: 100814
46. Tsukada, Y., Bando, H., Inamori, K., Wakabayashi, M., Togashi, Y., Koyama, S., Kotani, D., Yuki, S., Komatsu, Y., Homma, S., Taketomi, A., Uemura, M., Kato, T., Fukui, M., Nakamura, N., Kojima, M., Kawachi, H., Kirsch, R., Yoshida, T., Sato, A., Nishikawa, H., Ito, M., Yoshino, T.
Three-year outcomes of preoperative chemoradiotherapy plus nivolumab in microsatellite stable and microsatellite instability-high locally advanced rectal cancer.
Br. J. Cancer, 2024. 131 (2) : 283-289
47. Watanabe, H., Oikado, K., Sato, Y., Ichikawa, R., Ninomiya, H., Mun, M., Nakao, M., Matsuura, Y., Ichinose, J., Terauchi, T.
A case of colloid adenocarcinoma of the lung with coarse calcification.
J. Thorac. Imaging, 2024. 39 (6) : W108-W110
48. Yamada, D., Matsusako, M., Yoneoka, D., Oikado, K., Ninomiya, H., Nozaki, T., Ishiyama, M., Makidono, A., Otsuji, M., Itoh, H., Ojiri, H.
Ex-vivo 1.5T MR imaging versus CT in estimating the size of the pathologically invasive component of lung adenocarcinoma spectrum lesions.
Magn. Reson. Med. Sci., 2024. 23 (1) : 92-101
49. Yonese, I., Numao, N., Inamura, K., Yoneoka, Y., Fujiwara, R., Yasuda, Y., Oguchi, T., Yamamoto, S., Yuasa, T., Yonese, J.
A case of neoadjuvant chemotherapy-resistant muscle-invasive bladder cancer that markedly responded to pembrolizumab before conversion radical cystectomy.

50. 三宅美穂, 坂井威彦, 前田哲代, 高橋洋子, 春山優理恵, 井上有香, 片岡明美, 稲荷均, 荻谷朗子, 宮城由美, 上野貴之, 金子景香, 植木有紗, 菊池真理, 大迫智, 高野利実, 大野真司
Li-Fraumeni 症候群のサーベイランス中に診断した乳癌の 1 例.
乳癌の臨床, 2024. 39 (3) : 291-297
51. 中村暁, 荻谷朗子, 大迫智, 丸山大, 竹内賢吾, 上野貴之, 大野真司
乳腺原発免疫不全関連リンパ増殖性疾患と対側乳癌を同時に認めた 1 例.
乳癌の臨床, 2024. 39 (1) : 85-92
52. 中野薫, 河内洋, 後藤田卓志
皮下発育を呈する食道病変の診断: 食道上皮下病変の病理診断.
胃と腸, 2024. 59 (3) : 279-293
53. 中野薫, 河内洋
臨床と病理のマリアージュ: 消化管切除標本の取り扱いと肉眼診断・肉眼写真撮影法の基本
胃と腸, 2024. 59 (8) : 1043-1054
54. 伊藤孝助, 斎藤彰一, 泉敦子, 熊澤祐介, 鈴木啓太, 唐渡修一郎, 東佑香, 古谷建悟, 渡邊昌人, 十倉淳紀, 鈴木桂悟, 安江千尋, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広, 高松学
大腸ポリープのすべて: 大腸上皮性ポリープの鑑別診断: 腫瘍性ポリープ: 内視鏡診断の立場から.
胃と腸, 2024. 59 (2) : 151-162
55. 伊藤藍, 伏木淳, 植木有紗, 千葉知宏, 外岡暁子
MLH1/PMS2 の subclonal loss を示した MLH1 病的バリエントを有する Lynch 症候群の一例.
日本婦人科病理学会誌, 2024. 15 (1) : 35-42
56. 十倉淳紀, 河内洋, 千野晶子, 鈴木桂悟, 安江千尋, 井出大資, 五十嵐正広, 斎藤彰一
大腸ポリープのすべて: 隆起型粘膜脱症候群に合併した早期直腸癌の 1 例.
胃と腸, 2024. 59 (2) : 244-249
57. 唐渡修一郎, 斎藤彰一, 鈴木桂悟, 千野晶子, 五十嵐正広, 高松学
大腸内視鏡治療: CP/EMR/ESD/Underwater 関連手技の今: 総論: 内視鏡治療の適応と内視鏡診断 Up to Date.
臨床消化器内科, 2024. 39 (6) : 607-615
58. 小嶋結, 外岡暁子, 伊藤藍, 千葉知宏, 幅野愛理, 田中優美子, 植木有紗, 野村秀高
卵巣類内膜癌の診断の後に遺伝性乳癌卵巣癌 (HBOC) と判明した 1 例.
日本婦人科病理学会誌, 2024. 15 (1) : 15-22
59. 市村香代子, 河内洋, 中澤温子
内視鏡診断・治療に関わる小児消化器疾患の特徴: 病理の立場から.
消化器内視鏡, 2024. 36 (10) : 1379-1391
60. 平澤俊明, 並河健, 渡海義隆, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 藤崎順子, 多田智裕, 後藤田卓志, 河内洋
基本が大切: 胃内視鏡診断: 胃癌診断の振り返り (ピロリ関連胃癌).
消化器内視鏡, 2024. 36 (2) : 256-264
61. 平澤俊明, 東佑香, 中野薫, 山本浩之, 福山知香, 並河健, 渡海義隆, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 藤崎順子, 河内洋, 後藤田卓志
自己免疫性胃炎: 病期分類と画像所見: 自己免疫性胃炎を背景とした胃癌の臨床病理学的特徴.
胃と腸, 2024. 59 (1) : 63-75
62. 河内洋
基本が大切: 胃内視鏡診断: 総論: 内視鏡医が知っておくべき・病理医が内視鏡医に伝えておきたい胃病理診断.
消化器内視鏡, 2024. 36 (2) : 184-196
63. 河内洋, 藤島史喜
病理形態学キーワード 2024: (第 5 章) 食道: 表層分化型上皮内扁平上皮癌.
病理と臨床, 2024. 42 (臨増) : 96-99

64. 河内洋
症例から学ぶ咽頭・食道 ESD：総論：表在型食道扁平上皮癌 ESD 検体の病理診断：注意点と問題点．
消化器内視鏡，2024. 36（8）：1120-1126
65. 河内洋
食道癌 2024：基礎・臨床の最新動向：食道腫瘍の病理：特殊組織型腫瘍（非上皮性腫瘍を含む）．
日本臨床，2024. 82（増刊 3 食道癌 2024）：115-118
66. 渡邊昌人，平澤俊明，中野薫，福山知香，山本浩之，並河健，渡海義隆，吉水祥一，堀内裕介，石山晃世志，由雄敏之
胃・十二指腸神経内分泌腫瘍（NEN）：up to date：Rindi 分類に含まれない胃神経内分泌腫瘍（NET）の疾患概念．
胃と腸，2024. 59（5）：731-736
67. 渡邊昌人，斎藤彰一，十倉淳紀，鈴木桂悟，安江千尋，井出大資，千野晶子，五十嵐正広，高松学
臨床と病理のマリアージュ：臨床医の考える臨床画像と病理所見の対比：大腸．
胃と腸，2024. 59（8）：1153-1162
68. 都宮美華，由雄敏之，中野薫，河内洋，石山晃世志
消化管粘膜下腫瘍のすべて：食道：case study：粘膜下腫瘍様の形態を呈した食道表在癌の 1 例．
消化器内視鏡，2024. 36（7）：988-989
69. 鈴木啓太，安江千尋，高松学，斎藤彰一
大腸内視鏡のトラブルシューティング：診断におけるトラブルシューティング：早期癌の深達度診断で迷うときどうする？
消化器内視鏡，2024. 36（3）：364-368
70. 鎌田麻由美，野村秀高，吉満輝行，美坂聡樹，伏木淳，阿部彰子，金尾祐之，千葉知宏，伊藤崇彦，外岡暁子
子宮内黄体ホルモン放出システム挿入中に子宮体癌を発症した 2 例．
東京産科婦人科学会誌，2024. 73（3）：522-526
71. 鳥居淳一，瀬戸陽，佐藤由紀子，福島啓文，佐々木徹，新橋渉，神山亮介，市川千恭，岩城弘尚，松居祐樹，今泉冴恵，三谷浩樹
低悪性度耳下腺癌 Stage I・II の検討．
頭頸部外科，2024. 34（2）：151-155

11. 獲得研究費一覧

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
文部科学省	基盤研究 (A)	次世代遺伝子発現解析法に立脚したシーケンスレスながん分子サブタイプ規定法の開発	500,000	がん免疫治療開発部 北野滋久
文部科学省	基盤研究 (B)	次世代トランスクリプトーム解析を用いた肺癌個別化医療開発	330,000	がん免疫治療開発部 北野滋久
文部科学省	基盤研究 (B)	系譜可塑性を内包する難治性前立腺癌の分子制御機構の解明と個別化治療戦略の確立	300,000	がん免疫治療開発部 北野滋久
文部科学省	基盤研究 (B)	がん免疫療法の有害事象と抗腫瘍免疫抑制に寄与するマクロファージサブセットの解明	500,000	総合腫瘍科 三浦裕司
文部科学省	基盤研究 (C)	転移性乳癌患者における全身免疫病態の網羅的集団動態解析	300,000	がん免疫治療開発部 山下万貴子
文部科学省	基盤研究 (C)	周術期乳癌患者における抗腫瘍B細胞免疫応答の解明	1,600,000	がん免疫治療開発部 北野滋久
文部科学省	基盤研究 (C)	上部尿路上皮癌の個別化術後補助療法に向けた腫瘍微小環境と遺伝子変異による統合解析	100,000	がん免疫治療開発部 北野滋久
文部科学省	基盤研究 (C)	子宮頸がん患者の放射線治療による腔関連有害事象に対する患者支援プログラムの開発	1,000,000	看護部 後藤志保
文部科学省	基盤研究 (C)	肝癌EUS-FNA検体のCaveolin-1発現と化学療法選択の臨床的基盤の確立	1,400,000	肝胆脾外科 大庭篤志
文部科学省	基盤研究 (C)	未知の機能的リンパ管解剖の探求からリンパ浮腫外科治療の効果を向上させる研究	700,000	形成外科 関征央
文部科学省	基盤研究 (C)	リンパ浮腫に特異的なT細胞の同定・新規バイオマーカーの確立と薬物療法を目指して	800,000	形成外科 今井洋文
文部科学省	基盤研究 (C)	組織血流動態と組織硬さを定量指標化する形成外科手術支援システム	50,000	形成外科 矢野智之
文部科学省	基盤研究 (C)	中学生ビロリ菌検診の検証:検査の精度と除菌治療後フォロー体制の確立に向けて	100,000	検診部 藤崎順子
文部科学省	基盤研究 (C)	胆管がんリキッドバイオプシーの開発と臨床応用	800,000	消化器外科 伊藤寛倫
文部科学省	基盤研究 (C)	食道癌手術後の呼吸器合併症減少を目指した革新的リスク評価法の確立	100,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究 (C)	胃切除後の血糖変動を考慮した個別化栄養介入によるダンピング症候群の克服	20,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究 (C)	空間的トランスクリプトームとマルチオミクスによる食道癌の新規免疫治療分子の同定	1,200,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究 (C)	食道癌手術後の呼吸器合併症減少を目指した革新的リスク評価法の確立	300,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究 (C)	胃切除後の血糖変動を考慮した個別化栄養介入によるダンピング症候群の克服	20,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究 (C)	ディーブラーニングによる上部消化器腺癌の分子亜型診断モデルの構築	1,500,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究 (C)	進行下部直腸癌に対する待機療法の前向きコホートを用いた縦断的循環腫瘍DNA解析	1,400,000	大腸外科 秋吉高志
文部科学省	基盤研究 (C)	血中循環腫瘍細胞の経時的トランスクリプトーム解析による薬剤耐性メカニズムの解明	1,300,000	乳腺内科 小林隆之
文部科学省	基盤研究 (C)	WHO分類における新規脂肪性腫瘍の検証とテロメア維持機構を含む全体像の解明	1,000,000	病理部 山下享子
文部科学省	基盤研究 (C)	人工知能を活用した組織類似性評価による子宮体癌卵巣癌共存例の新規鑑別診断法の開発	1,100,000	婦人科 阿部彰子
文部科学省	基盤研究 (C)	前立腺癌の高精度放射線治療技術別の至適治療開発と適応拡大に関する基盤研究	50,000	放射線治療部 吉岡靖生
文部科学省	基盤研究 (C)	経口抗がん薬のアドヒアランスをリアルタイムに評価しアドヒアランス向上を目指す研究	100,000	薬剤部 川上和宜
文部科学省	若手研究	言語化困難な切除適応と治療結果のAI解析に基づく進行大腸癌肝転移の切除適応標準化	200,000	肝胆脾外科 小林光助
文部科学省	若手研究	オルガノイド技術と新規シンジェニックマウスモデルを用いた胆道癌・肝癌の治療開発	900,000	肝胆脾内科 春日章良
文部科学省	若手研究	サルコペニア・肥満が肝癌患者予後を不良にする癌微小環境における分子機序の解明	1,300,000	肝胆脾内科 武田剛志

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
文部科学省	若手研究	『皮膚－再生軟骨複合組織』による体表欠損治療法の検討	500,000	形成外科 鍵本慎太郎
文部科学省	若手研究	EGFR陽性肺癌における小細胞癌転化の分子プロファイル解析と転化機構の解明	1,300,000	呼吸器内科 内堀健
文部科学省	若手研究	臓器横断的腫瘍内細菌叢の解析によるがん免疫応答への関わり の解明	2,400,000	消化器化学療法科 福岡聖大
文部科学省	若手研究	人工知能による狭帯域光併用エンドサイトスコピー画像を用いた胃 癌の診断性能	900,000	上部消化管内科 堀内裕介
文部科学省	若手研究	BH3 profilingを用いた、頭頸部扁平上皮癌に対する免疫療法の治 療戦略探索研究	1,500,000	先端医療開発科 在原洋平
文部科学省	若手研究	最適ながん免疫療法の実現に向けた根治的放射線治療施行頭頸 部癌患者の免疫応答解析	1,300,000	先端医療開発科 豊島雄二郎
文部科学省	若手研究	がん関連線維芽細胞を標的とした免疫微小環境モデリング機序 の解明	1,600,000	大腸外科 秋山貴彦
文部科学省	若手研究	炎症性大腸癌におけるDNA 損傷と免疫応答に着目した新たな治 療の開発	1,800,000	大腸外科 小澤直也
文部科学省	若手研究	炭酸ガス血管造影とポリドカノールを組み合わせた静脈瘤硬化療 法の改善	1,100,000	超音波診断・IVR部 土屋智史
文部科学省	若手研究	非ウイルス性非アルコール性肝癌の発癌および再発に関連する腫 瘍内細菌の同定	1,600,000	病理部 重松康之
文部科学省	若手研究	炎症性サイトカインによる炭素イオン線治療後の放射線肺臓炎の 早期予測・予防法確立	1,000,000	放射線治療部 青木秀梨
文部科学省	若手研究	Opioid-free anesthesiaによる重症睡眠時無呼吸症候群への治療 効果の解明	700,000	麻酔科 川上定俊
文部科学省	若手研究	支持療法の個別化医療を目指した、抗がん薬の悪心嘔吐における 遺伝的リスク因子の解明	1,000,000	薬剤部 横川貴志
文部科学省	研究活動スタート支援(基金)	機械学習を用いた直腸癌術後再発の予測モデルの構築と臨床応 用	200,000	大腸外科 坂本貴志
厚生労働省	がん対策推進総合研究事業	がん関連苦痛症状の体系的治療の開発と実践および専門的がん 疼痛治療の地域連携体制モデル構築に関する研究	500,000	緩和治療科 松本禎久
厚生労働省	がん対策推進総合研究事業	胃がんの一次および二次予防の現状把握とヘリコバクター・ピロリ 未感染時代に対応した新たな胃がん検診の提案に向けた研究	1,200,000	上部消化管内科・部長 後藤田卓志
厚生労働省	がん対策推進総合研究事業	小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療における心理社 会的支援体制の構築と安全な長期検体保管体制の構築を目指し た研究―サバイバーシップ向上を志向して	200,000	乳腺センター 片岡明美
厚生労働省	エイズ対策政策研究事業	非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染者に合併する悪性腫瘍 の制御を目指した研究	300,000	総合腫瘍科 高橋俊二
日本医療研究開発 機構	ムーンショット型研究開発事業	炎症誘発細胞除去による100歳を目指した健康寿命延伸医療の実 現	8,000,000	乳腺センター 上野貴之
日本医療研究開発 機構	医療機器等研究成果展開事業	機械学習を基にした胃癌バーチャル色素内視鏡検査システムの開 発	908,710	上部消化管内科 平澤俊明
日本医療研究開発 機構	医療分野国際科学技術共同研究開 発推進事業	日・リトアニアにおける遺伝性乳癌の遺伝学的特徴の比較検討及 び乳房MRIによる早期乳癌の検出能に関する研究	100,000	乳腺外科 春山優理恵
日本医療研究開発 機構	革新的がん医療実用化研究事業	進行胃癌を対象とした大網切除に対する大網温存の非劣性を検 証するランダム化比較第Ⅲ相試験	300,000	中央手術部 兼 消化器センター消化器外科 胃外科 大橋学
日本医療研究開発 機構	革新的がん医療実用化研究事業	炎症誘発細胞除去による100歳を目指した健康寿命延伸医療の実 現	8,000,000	乳腺センター 上野貴之
日本医療研究開発 機構	革新的がん医療実用化研究事業	未治療高腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するオビヌツズマブ＋ベンダ ムスチン療法後のオビヌツズマブ維持療法の省略に関するランダ ム化第Ⅲ相試験	1,000,000	画像診断センター 寺内隆司
日本医療研究開発 機構	革新的がん医療実用化研究事業	がん患者のオピオイド不応の神経障害性疼痛への標準的薬物療 法の開発：国際共同試験ならびに普及実装に向けた研究	100,000	緩和治療科 松本禎久
日本医療研究開発 機構	革新的がん医療実用化研究事業	高齢者切除可能膀胱癌に対する術前ゲムシタピン＋S-1療法と術前 ゲムシタピン＋ナブパクリタキセル療法のランダム化比較第Ⅲ相試 験	1,000,000	肝胆臓内科 尾阪将人
日本医療研究開発 機構	革新的がん医療実用化研究事業	高齢者多発性骨髄腫に対する標準治療の確立と治療効果・耐性 獲得に関わる分子基盤の探索(JCOG1911)	9,800,000	血液腫瘍科 丸山大
日本医療研究開発 機構	革新的がん医療実用化研究事業	未治療低腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するリツキシマブ早期介入に 関するランダム化比較第3相試験	200,000	血液腫瘍科 丸山大

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
日本医療研究開発機構	革新的がん医療実用化研究事業	造血管腫瘍臨床におけるクリニカルWGSのfeasibilityと有用性の検討	400,000	血液腫瘍科 丸山大
日本医療研究開発機構	革新的がん医療実用化研究事業	未治療末梢性T細胞リンパ腫に対する初回導入化学療法後の完全奏効例に対する自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法のランダム化第Ⅲ相試験(JCOG2210)	500,000	血液腫瘍科 山内寛彦
日本医療研究開発機構	革新的がん医療実用化研究事業	局所進行胃癌に対する術前化学療法の有効性を検証する第Ⅲ相試験	600,000	消化器センター消化器外科 胃外科 布部創也
日本医療研究開発機構	革新的がん医療実用化研究事業	cT1-4aN0-3胃癌におけるロボット支援下胃切除術の腹腔鏡下胃切除術に対する優越性を検証するランダム化比較試験	500,000	消化器センター消化器外科 胃外科 幕内梨恵
日本医療研究開発機構	革新的がん医療実用化研究事業	進行食道胃接合部腺癌に対する標準的な周術期治療の開発研究	200,000	消化器外科 渡邊雅之
日本医療研究開発機構	革新的がん医療実用化研究事業	胃癌食道癌術後患者に対するアナモレリンの臨床効果に関するランダム化比較試験	800,000	消化器外科 渡邊雅之
日本医療研究開発機構	革新的がん医療実用化研究事業	オールジャパン体制による食道がん等消化器難治がんの全ゲノム配列データ及び臨床情報による先端的創薬開発・全ゲノム医療基盤構築	900,000	消化器外科 渡邊雅之
日本医療研究開発機構	革新的がん医療実用化研究事業	切除不能肺癌に対する標準治療の確立に関する研究	1,000,000	消化器内科肝胆膵内科 尾阪将人
日本医療研究開発機構	革新的がん医療実用化研究事業	高リスク後腹膜肉腫に対する標準治療法開発のための国際多施設共同臨床試験	600,000	整形外科 阿江啓介
日本医療研究開発機構	革新的がん医療実用化研究事業	全ゲノム情報等の高精度かつ迅速な患者還元および新たな創薬等の創出を通じた高度化がんプレシジョン医療の実践	223,477,579	先端医療開発センター がんゲノム医療開発部 上野貴之
日本医療研究開発機構	革新的がん医療実用化研究事業	小児・AYA世代のGD2陽性難治性固形がんに対する機能強化型CAR-T第Ⅰ相医師主導治験	1,000,000	先端医療開発科 北野滋久
日本医療研究開発機構	革新的がん医療実用化研究事業	がん全ゲノム解析等の臨床的有用性の検証、および、患者還元の体制構築に関する研究	4,692,308	先端医療開発科 北野滋久
日本医療研究開発機構	革新的がん医療実用化研究事業	進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究	400,000	総合腫瘍科ゲノム診療部 高橋俊二
日本医療研究開発機構	革新的がん医療実用化研究事業	進行直腸癌に対する導入/強化化学療法を併用した化学放射線療法後の待機療法に関する多施設ランダム化第Ⅱ相試験	9,100,000	大腸外科 秋吉高志
日本医療研究開発機構	革新的がん医療実用化研究事業	薬物療法により臨床的完全奏効が得られたHER2陽性原発乳癌に対する非切除療法の有効性に関する単群検証的試験	307,693	乳腺センター 乳腺内科 尾崎由記範
日本医療研究開発機構	革新的がん医療実用化研究事業	乳がん患者の乳がん切除後疼痛症候群に対するスマホ精神療法の開発：革新的な分散型基盤を用いた多機関共同無作為割付比較試験	200,000	乳腺外科 植弘奈津恵
日本医療研究開発機構	革新的がん医療実用化研究事業	高齢卵巣がん患者に最適な治療選択を行うための開発研究	7,100,000	婦人科 温泉川真由
日本医療研究開発機構	革新的がん医療実用化研究事業	中枢神経系再発高リスクの未治療びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対する中枢神経系再発予防を組み入れた治療法のランダム化第Ⅲ相試験	1,500,000	放射線治療部 田口千蔵
日本医療研究開発機構	革新的がん医療実用化研究事業	早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療線量増加ランダム化比較試験	100,000	放射線治療部 徳増健二
日本医療研究開発機構	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する疫学研究	400,000	婦人科 金尾祐之
日本医療研究開発機構	臨床研究・治験推進研究事業	BRAF V600E変異型切除可能大腸癌遠隔転移に対する個別化周術期治療の医師主導治験の実施	1,000,000	消化器化学療法科 篠崎英司
日本医療研究開発機構	臨床研究・治験推進研究事業	切除可能な高頻度マイクロサテライト不安定性結腸直腸癌に対して免疫チェックポイント阻害薬を用いた根治治療の有効性・安全性を検討する研究	3,000,000	大腸外科 秋吉高志
日本医療研究開発機構	臨床研究・治験推進研究事業	子宮内膜異型増殖症・子宮体癌妊孕性温存療法に対するメトホルミンの適応拡大にむけた多施設共同医師主導治験	100,000	婦人科 温泉川真由
内閣府 (NCGM)	統合型ヘルスケアシステムの構築	医療機関・ベンダー・システムの垣根を超えた医療データ基盤構築による組織横断的な医療情報収集の実現	11,160,000	医療情報部 小口正彦
内閣府 (NCGM)	統合型ヘルスケアシステムの構築	がん診療についての統合的臨床データベースの社会実装	9,361,728	医療情報部 鈴木一洋
国立がん研究センター	国立がん研究センター研究開発費	画像診断支援AIを持続的に開発・性能評価する基盤環境の構築に関する研究	400,000	画像診断センター 寺内隆司
国立がん研究センター	国立がん研究センター研究開発費	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	300,000	中央手術部 兼 消化器センター消化器外科 胃外科 大橋学

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
日本胸部外科学会	第7回 JATS award for young investigators (若手胸部外科医研究助成)	非糖尿病患者における食道癌術後の糖質制限経腸栄養剤投与による術後高血圧抑制効果を探るランダム化比較第Ⅱ相試験	500,000	食道外科 寺山 仁祥
日本気管食道科学会	研究助成金	食道癌および頭頸部癌の同時性重複癌の治療法に関する全国調査	100,000	消化器外科 渡邊 雅之
内視鏡医学研究振興財団	多施設共同研究助成	切除不能隣癌に伴う遠位胆管閉塞に対するカバー付き金属ステント不応後のDuckbill型逆流防止弁付き金属ステント治療に関する多施設共同無作為化比較試験	1,000,000	肝・胆・膵内科 笹平 直樹
内視鏡医学研究振興財団	多施設共同研究助成	未分化型早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術の更なる適応拡大に関する他機関共同適応的観察研究	1,000,000	上部消化管内科 堀内 裕介
内視鏡医学研究振興財団	研究助成A	内視鏡手術用触診デバイスの開発	1,000,000	呼吸器外科 一瀬 淳二
臨床薬理研究振興財団	研究奨励金	Neo RAS野生型 切除不能・進行再発大腸癌の発生メカニズムの解明	3,000,000	消化器化学療法科 大隅 寛木
ファイザー	医学教育プロジェクト助成事業	遠隔遺伝カウンセリングを用いた地域差のない協働遺伝診療モデルの構築 Development of a cooperative genetic practice model without regional differences using remote genetic counseling	3,840,000	臨床遺伝医療部 石岡 宏太
日本対がん協会	がん検診研究助成	AYA世代がんサバイバーのプレコンセプションケアとしての妊娠前がん検診に関する実態調査	1,000,000	乳腺外科 片岡 明美
ゲルベ・ジャパン株式会社	研究助成(奨学寄付)	がん診療における経過観察の画像診断に関する研究	100,000	画像診断部 森 健作
ゲルベ・ジャパン株式会社	研究助成(奨学寄付)	抗腫瘍薬腹部有害事象の画像診断における定量解析の有用性	100,000	健診センター検診部／ 医療情報部AI医療推進室 上田 和彦
臨床研究奨励基金	コメディカル臨床研究助成	併存疾患が与えるがん化学療法誘発性悪心・嘔吐に対する制吐療法の有効性への影響の解明	300,000	薬剤部 羽鳥 正浩

12. 学術研究講演

回	日付	開催時間	演題	発表者
第326回	2025年1月6日	17:25～18:25	Title : Achievements in the Field of Pancreatic Surgery at Seoul National University Hospital: Past, Present, and Future, Title : Updates of surgical techniques in pancreatic cancer resection at Seoul National University Hospital	Jin-Young Jang 教授 Joon-Seong Park教授
第327回	2025年1月30日	17:30～20:30	がん患者さんの糖尿病診療	糖尿病・代謝・内分泌内科副部長 北澤公医師
第328回	2025年2月28日	18:00～19:00	Aggregation,Integration and Anlysis of Multi-Dimentional, Multimodal Omics and Clinical Data Across Cancers.	Dr.Scott E. Woodman
	2025年3月6日	18:00～19:30	2024年度 Best English Paper 受賞記念講演会	
			【ゴールド賞】	
			Clinical features associated with NeoRAS wild-type metastatic colorectal cancer A SCRUM-Japan GOZILA substudy.	消化器化学療法科 大隅寛木医師
			【シルバー賞】	
			Impact of perioperative immunonutrition on postoperative outcomes for patients undergoing head and neck or gastrointestinal cancer surgeries: A systematic review and meta-analysis of randomized controlled trials.	胃外科 松井亮太医師
			Early gastric cancer with RhoGAP fusion is linked to frequent nodal metastasis and a part of microtubular-mucocellular histology	病理部 野田啓人医師
			【ブロンズ賞】	
			Randomized controlled trial of an artificial intelligence diagnostic system for the detection of esophageal squamous cell carcinoma in clinical practice.	上部消化管内科 中尾栄祐医師
			Addressing the knowledge gap in the genomic landscape and tailored therapeutic approaches to adolescent and young adult cancers.	ゲノム診療部/林直美医師
			Long-term outcomes of breast cancer patients with local recurrence after mastectomy undergoing immediate breast reconstruction: A retrospective multi-institutional study of 4153 cases.	乳腺外科/荻谷朗子医師
			【第1回Muto Memorial Award】	消化器化学療法科/大隅寛木医師
	2025年3月7日	17:30～18:30	仕事と治療の 両立支援	LINEヤフー株式会社 産業保健チーフアドバイザー 三宅琢様 厚生労働省労働基準局 安全衛生部労働衛生課 阪井 幸恵様
	2025年3月10日	17:30～18:30	「小児がん看護の基本」について	順天堂大学大学院医療看護研究科/医療看護学部 平田美佳教授
	2025年4月3日	18:00～19:00	Title : " Robotic Surgery - Taipei Veterans General Hospital's experience" Title : Updates on Pancreatic Cancer Treatment at Taipei Veterans General Hospital	Shin-E Wang教授 Ying-Ming Shyr教授
	2025年4月14日	16:00～17:00	Title : Chemoprevention strategies in familial breast and ovarian cancer and in particular on the role of Denosumab in breast cancer prevention in BRCA Mutation carriers	Prof. Christian F. Singer, MD, MPH
	2025年6月5日	17:30～18:30	「虐待と合理的配慮（仮題）」	東京医科大学 教育IRセンター 准教授 瀬戸山 陽子先生
	2025年6月26日	18:00～19:00	Current Status of pancreatic surgery in Asan medical center and South Korea / Great journey in Japan.(仮)	Jaer Hoon Lee先生
	2025年8月5日	18:00～20:00	医用画像からの3DCG再構成を「超早く」「超綺麗に」しただけで何かが変わるのか	瀬尾弘史先生
	2025年10月9日	18:00～19:00		国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 所長 片桐 豊雅 先生
	2025年12月1日	17:30～18:30	Development of a Prognostic Prediction Model for Breast Cancer (仮)	Dr Paul Pharoad

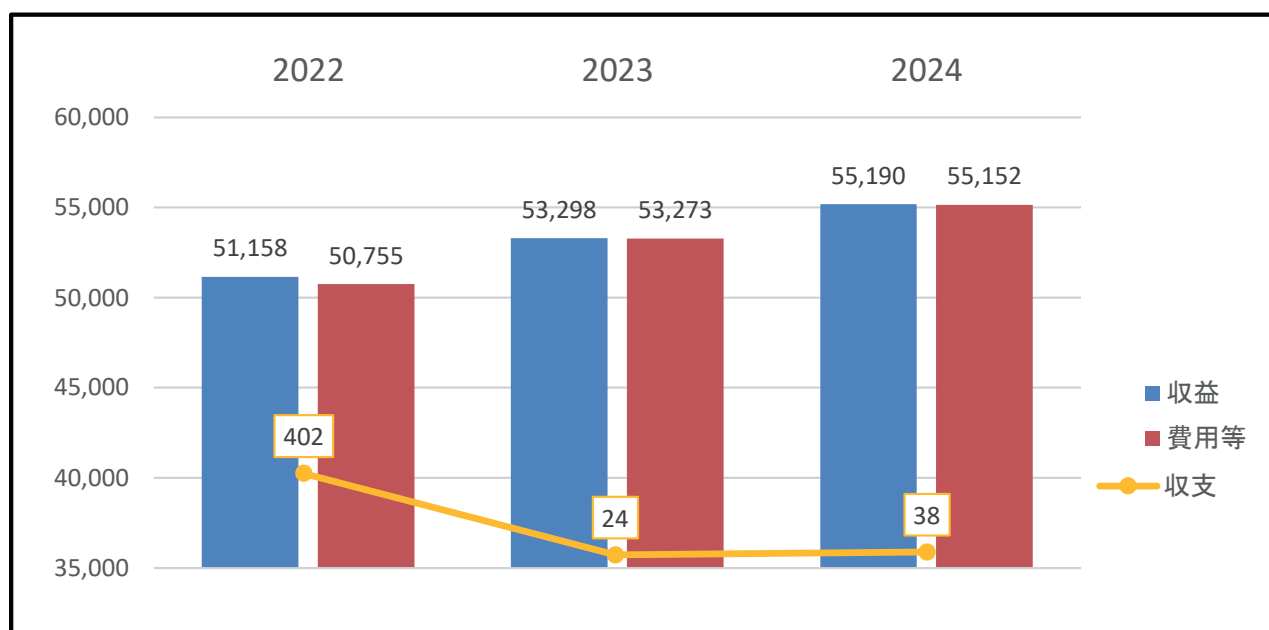
13. 財政状況

正味財産増減計算書 (2022年度-2024年度)

(単位：百万円)

科 目	2022年度	2023年度	2024年度
経常収支の部			
経常収益			
基本財産運用益	3	4	4
事業収益	48,841	51,672	53,433
受取補助金等	762	618	620
受取負担金	21	22	24
受取寄付金	1,103	571	640
雑収益	428	412	469
合計	51,158	53,298	55,190
経常費用			
事業費	49,857	52,334	54,083
管理費	897	932	1,049
合計	50,754	53,266	55,132
評価損益等	13	0	▲ 1
当期経常収支	① 417	31	57
経常外収支の部			
当期経常外収支	② ▲ 15	▲ 7	▲ 19
当期 正味財産増減	③=①+② 402	24	38

※ 端数処理のため、合計が合わないことがあります。





公益財団法人 **がん**研究会